
福山市子どもの生活実態調査 報告書

2018年（平成30年）3月
広島県 福山市

～ 目 次 ～

第1章 調査の概要	1
【1】調査概要	1
【2】生活困難の定義について	2
【3】報告書の見方	7
【4】回答者の基本属性	8
第2章 生活困窮の状況	10
【1】家計の状況	10
(1) 食料が買えなかった経験	10
(2) 衣類が買えなかった経験	12
(3) 公共料金等の滞納経験	14
(4) 物品等の所有状況	22
(5) 現在の（主観的）暮らし向き	24
(6) 家計の収支状況	26
【2】子どもの生活水準	28
(1) 所有物の状況	28
(2) 子どもへの支出	44
(3) 子どもの体験	54
【3】子どもの食と栄養	60
(1) 朝食の摂取状況	60
(2) 栄養群の摂取状況	61
第3章 子どもの学び	68
【1】学校について	68
(1) 学校の種類	68
(2) 私立選択の理由	69
【2】学校の成績	70
(1) 成績の主観的評価	70
(2) 得意教科	72
【3】授業の理解や学習の状況	74
(1) 授業の理解度	74
(2) 授業がわからなくなった時期	76
【4】学校生活の楽しみ	78
【5】学校外での学習・勉強の状況	91
(1) 勉強を教えてくれる人	91
(2) 学校外での勉強時間	93
(3) 学習塾・家庭教師の頻度	94
(4) 自宅での教材使用状況	95
(5) 計画的な勉強実施状況	97
(6) 宿題への対応状況	98
(7) 学校規則の遵守状況	99

【6】学習環境 -----	100
【7】将来の夢 -----	104
(1) 夢の有無と夢がない理由 -----	104
(2) 将来の進学希望 -----	107
【8】子どもの教育 -----	110
(1) 子どもがこれまでに通った保育・教育機関 -----	110
(2) 子どもに受けさせたい教育レベルとその理由 -----	112
(3) 私立進学への保護者意向とその理由 -----	116
【9】学習関連の支援プログラムの利用意向 -----	119
第4章 子どもの日常生活 -----	123
【1】家族や友だち -----	123
(1) 家族の接し方 -----	123
(2) 一番仲がよい友だち -----	128
(3) 友だちとの関係 -----	130
【2】平日の食事 -----	135
(1) 朝食を一緒にとる人 -----	135
(2) 夕食を一緒にとる人 -----	137
【3】平日の放課後の過ごし方 -----	139
(1) 放課後を一緒に過ごす人 -----	139
(2) 平日の放課後を過ごす場所 -----	140
(3) 放課後児童クラブ・学校の部活動への参加状況 -----	152
(4) 放課後児童クラブ・学校の部活動に参加していない理由 -----	153
【4】休日の過ごし方 -----	155
(1) 休日の午後を一緒に過ごす人 -----	155
(2) 休日の午後を過ごす場所 -----	156
【5】活動の状況 -----	158
(1) 活動の状況 -----	158
(2) 運動の状況 -----	167
(3) 読書の状況 -----	168
(4) 会話の状況 -----	169
(5) 就寝時刻 -----	178
(6) 起床時刻 -----	179
(7) 歯磨き・入浴の頻度 -----	180
【6】各種経験状況 -----	182
【7】居場所関連等の支援プログラムの利用意向 -----	186
第5章 子どもの健康と自己肯定感 -----	192
【1】子どもの健康状態 -----	192
(1) 子どもの主観的健康状態 -----	192
(2) 保護者からみた子どもの健康状態 -----	193

(3) 子どもの医療受診抑制経験とその理由	194
(4) 予防接種状況と未接種の理由	197
(5) 虫歯の本数	204
(6) 身長・体重	205
【2】自己肯定感	207
(1) 自己肯定感	207
(2) 心の状態	221
第6章 子育てと各種制度・サービス	242
【1】子育てにかかる費用	242
【2】就学援助	252
(1) 就学援助受給状況と受給していない理由	252
(2) 支給額と実費との差が大きい経費	255
【3】公的年金等の支給額	256
【4】世帯年収	262
【5】子どもとのかかわり	265
(1) 子どもとのかかわり頻度	265
(2) 子どもの将来についての会話	277
【6】子どものしつけ	278
【7】子育て上の経験	291
【8】制度・サービスの利用	293
(1) 子ども関連情報の入手方法の現状と意向	293
(2) 各種支援制度の利用経験	297
(3) 各種経済的支援制度の利用経験	307
(4) 将来的に必要と思う支援	312
【9】相談	315
(1) 相談相手の有無	315
(2) 公的相談機関の利用経験	316
(3) 子どもについて悩んでいること	327
第7章 保護者の状況	330
【1】回答者	330
(1) 婚姻状況	330
(2) 健康状態	331
(3) 心の状態	332
(4) 朝食をとる頻度	339
(5) 朝食を一緒にとる人	340
(6) 15歳の頃の家族構成	342
(7) 15歳の頃の（主観的）暮らし向き	344
(8) 成人するまでの体験	345
(9) 子どもの頃の親の接し方	347

【2】	家族	-----	352
(1)	人数	-----	352
(2)	高齢・障害の同居家族の有無	-----	353
(3)	頼れる親族・友人の有無	-----	354
(4)	転居経験	-----	355
【3】	母親のこと	-----	356
(1)	職業	-----	356
(2)	就労時間	-----	358
(3)	税込収入	-----	359
(4)	平日日中以外の勤務状況	-----	361
(5)	最終学歴	-----	363
(6)	最終学校の卒業の有無	-----	365
【4】	父親のこと	-----	366
(1)	職業	-----	366
(2)	就労時間	-----	368
(3)	税込収入	-----	369
(4)	平日日中以外の勤務状況	-----	371
(5)	最終学歴	-----	373
(6)	最終学校の卒業の有無	-----	375

第1章 調査の概要

【1】調査概要

1 調査の目的

本調査は、子どもの生活状況の実態や家庭の状況、生活環境についての意識やニーズなどを把握し、今後の子どもの貧困対策における、効果的な支援のあり方を検討するための基礎資料とすることを目的として実施した。

2 調査対象者

小学5年生とその保護者、中学2年生とその保護者

3 調査方法

学校を通じた配付・回収

調査票は「小学生票」「中学生票」（以下「子ども票」と表記）及び「小学生保護者」「中学生保護者」（以下「保護者票」と表記）で構成され、学校を通じて配付した。子ども票と保護者票はそれぞれ無記名で記入の上、各々個別の封筒に入れ封かんした後、さらに世帯用の封筒に入れたものを、学校を通じて回収した。

4 調査時期

2017年（平成29年）7月

5 回収状況

		小学5年生の家庭	中学2年生の家庭
子ども	配付数	1,502人	1,554人
	有効回答数	1,326人	1,288人
	回答率	88.3%	82.9%
保護者	配付数	1,502人	1,554人
	有効回答数	1,324人	1,281人
	回答率	88.1%	82.4%

【2】生活困難の定義について

1 本調査における「生活困難」の定義

- ・子どもの生活実態調査（以下「本調査」と表記）では、子どもの生活における「生活困難」を、次の3つの要素から分類している。
 - ① 低所得
 - ② 家計の逼迫
 - ③ 子どもの体験や所有物の欠如
- ・「①低所得」は、先進諸国の貧困の測定に最も一般的に用いられ、厚生労働省も用いている指標である。しかし、本調査においては自記入式の質問紙調査であるため、把握できる世帯所得の精緻度が限られている。そこで、所得データを補完するために、「② 家計の逼迫」と「③ 子どもの体験や所有物の欠如」に用いられている物質的剥奪指標を用いている。物質的剥奪指標とは、所得データによる貧困率と併せて用いることで、貧困の測定の精緻化が可能であることが、欧州連合などをはじめ国内外の研究より判明している。以下にそれぞれの詳細な定義を示す。

（1）低所得

- ・「低所得」とは、世帯所得（勤労収入、事業収入等＋社会保障給付）を、世帯人数の平方根で除した値（＝等価世帯所得）が、厚生労働省「平成 28 年国民生活基礎調査」から算出される基準^{*}未満の世帯と定義している。なお、低所得世帯の割合は、世帯所得の把握の方法や、可処分所得ではなく当初所得を用いている点などの違いがあるため、厚生労働省「平成 28 年国民生活基礎調査」において公表されている「子どもの貧困率」（13.9%）との比較はできない。

^{*}厚生労働省「平成 28 年国民生活基礎調査」(所得は平成 27 年値)の世帯所得の中央値(428 万円)を、平均世帯人数(2.47 人)の平方根で除した値の 50%である 136.2 万円

（2）家計の逼迫

- ・「家計の逼迫（ひっぱく）」は、経済的な制約を子どもに課し、生活水準を低下させるだけでなく、親の心理的なゆとりや心身的健康状態の悪化を通して、子どもに悪影響をもたらす可能性があることとされている。そこで、本調査においては「家計の逼迫」を、公共料金や食料・衣類の費用などが、家計の中で大きな比重を占めるとともに、これらが家計から捻出できないことにより、基本的な生活水準を保つことが難しいと考えられる状況と定義している。
- ・具体的には、保護者票において、過去1年間に経済的な理由で「電話」「電気」「ガス」「水道」「家賃」などの料金の滞納があったか、また、過去1年間に「家族が必要とする食料が買えなかった経験」「家族が必要とする衣類が買えなかった経験」の7つの項目のうち、1つ以上が該当する場合を「家計の逼迫がある」と定義している。

(3) 子どもの体験や所有物の欠如

- ・上記(1)と(2)は、世帯全体の生活困難の状況を表すが、子ども自身の生活困難を表す指標として、「子どもの体験や所有物の欠如」を用いている。ここで用いられる子どもの体験や所有物とは、日本社会において、大多数の子どもが一般的に享受していると考えられる経験や物品であることとしている。
- ・具体的には、保護者票において過去1年間に「海水浴に行く」「博物館・科学館・美術館などに行く」「キャンプやバーベキューに行く」「スポーツ観戦や劇場に行く」「遊園地やテーマパークに行く」ことが経済的にできない、また「毎月お小遣いを渡す」「毎年新しい洋服・靴を買う」「習いごと(音楽, スポーツ, 習字等)に通わせる」「学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」「お誕生日のお祝いをする」「1年に1回くらい家族旅行に行く」「クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる」ことが経済的にできない、または「子どもの年齢に合った本」「子ども用のスポーツ用品・おもちゃ」「子どもが自宅で宿題ができる場所」が経済的理由のために世帯に無い場合である(全15項目)。これらの項目のうち3つ以上が該当している場合に、「子どもの体験や所有物の欠如」の状態にあると定義している。

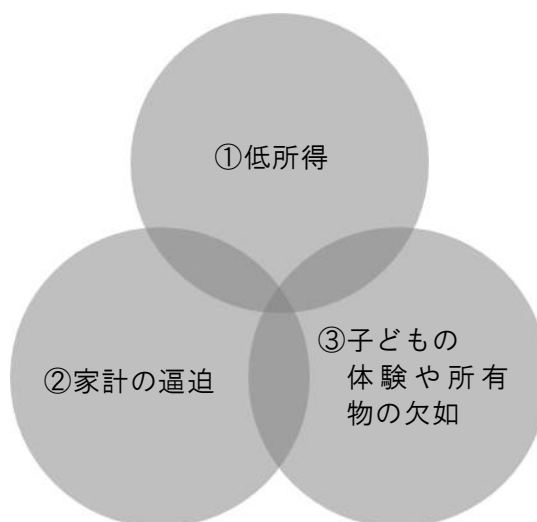
2 生活困難層の定義について

- ・本調査では、基本クロス集計に用いている「生活困難層」等を、以下の3つの要素に基づいて分類している。

①低所得	<p>●等価世帯所得が厚生労働省「平成 28 年国民生活基礎調査」から算出される基準未満の世帯</p> <p><低所得基準> 世帯所得の中央値 428 万円 ÷ √平均世帯人数 (2.47 人) × 50% = 136.2 万円</p>
②家計の逼迫	<p>●経済的な理由で、公共料金や家賃を支払えなかった経験や食料・衣類を買えなかった経験などの7項目のうち、1つ以上に該当</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 電話料金 2 電気料金 3 ガス料金 4 水道料金 5 家賃 6 家族が必要とする食料が買えなかった 7 家族が必要とする衣類が買えなかった
③子どもの体験や所有物の欠如	<p>●子どもの体験や所有物などに関する次の15項目のうち、経済的な理由で、欠如している項目が3つ以上該当</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 海水浴に行く 2 博物館・科学館・美術館などに行く 3 キャンプやバーベキューに行く 4 スポーツ観戦や劇場に行く 5 遊園地やテーマパークに行く 6 毎月お小遣いを渡す 7 毎年新しい洋服・靴を買う 8 習いごと（音楽，スポーツ，習字等）に通わせる 9 学習塾に通わせる（又は家庭教師に来てもらう） 10 お誕生日のお祝いをする 11 1年に1回くらい家族旅行に行く 12 クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる 13 子どもの年齢に合った本 14 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ 15 子どもが自宅で宿題をすることができる場所

【生活困難層（困窮層・周辺層），非生活困難層】

生活困難層	困窮層＋周辺層
生活困窮層	2つ以上の要素に該当
周辺層	いずれか1つの要素に該当
非生活困難層	いずれの要素にも該当しない



3 生活困難層の割合とクロス集計について

「低所得」や「家計の逼迫」, 「子どもの体験や所有物の欠如」のうち2つ以上に該当し, 生活困窮層にあると思われる小学5年生の家庭は10.5%, いずれか1つに該当するその周辺層まで含めた生活困難層にあたる小学5年生の家庭は28.1%, 同様に中学2年生の家庭は生活困窮層が11.2%, 生活困難層が32.7%であった(「生活困難度別クロス集計」)。

生活困難層を世帯の状況別に区分した「生活困難層世帯タイプ別」では, 小学5年生のひとり親家庭の32.2%が生活困窮層, 中学2年生のひとり親家庭の31.8%が生活困窮層である。

【生活困難度別クロス集計】

区 分	小学5年生	中学2年生
生活困難層	28.1%	32.7%
生活困窮層	10.5%	11.2%
周辺層	17.6%	21.5%
非生活困難層	71.9%	67.3%

【生活困難層世帯タイプ別クロス集計】

区 分	生活困難層				非生活困難層	
	生活困窮層		周辺層		小学5年生	中学2年生
	小学5年生	中学2年生	小学5年生	中学2年生		
ひとり親の家庭	32.2%	31.8%	32.2%	38.5%	35.7%	29.7%
ふたり親の家庭	6.7%	7.1%	15.2%	18.3%	78.1%	74.6%

本報告書においては, 上記のクロス集計結果を中心に分析を行い, 世帯タイプ別クロス集計については, 特徴のある箇所についてコメントしている。又, 図表においては, 例えば「小学5年生保護者」を「小5保護者」などと略記している。

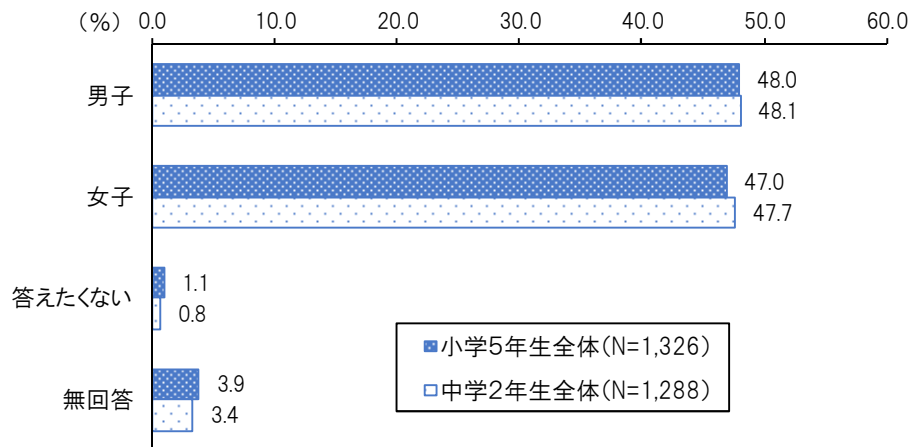
【3】 報告書の見方

- 1 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- 2 2つ以上の回答を可能とした（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- 3 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数（標本数）である。全標本数を示す「全体」を「N」，「該当数」を「n」で表記している。
- 4 図表中における生活困難度別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
- 5 各設問文の文頭に表記している「保」は「保護者票」，「子」は「子ども票」の設問であることを示す。又、設問文はそれぞれ中学生用の文章を採用している。
- 6 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値（例：0.0%，0.1%など）は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
- 7 この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

【4】回答者の基本属性

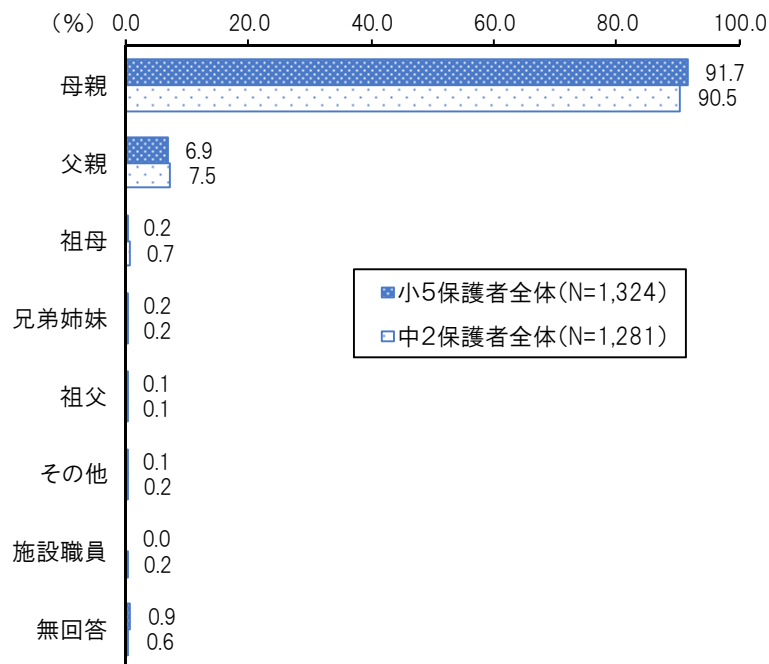
1 子どもの性別

子どもの性別については、小学5年生、中学2年生ともにおおむね同割合となっており、大きな差はみられない。



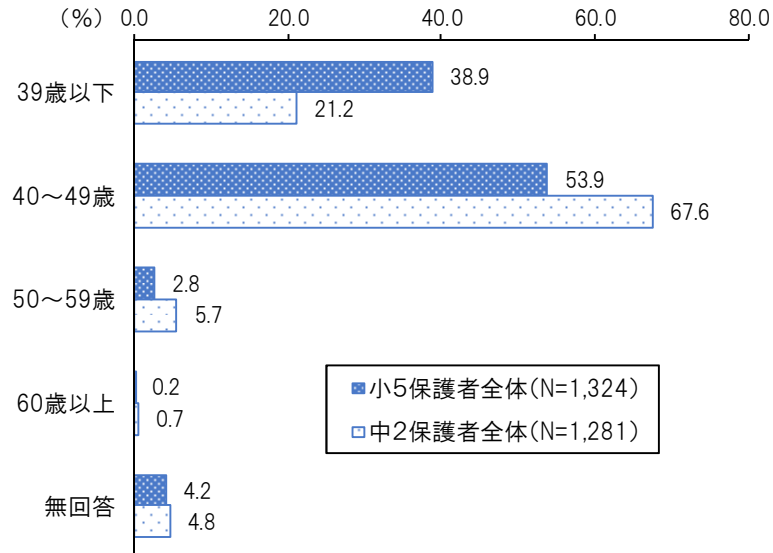
2 子どもからみた保護者の続柄

子どもからみた保護者の続柄については、小学5年生、中学2年生ともに母親が約9割を占めており、父親は1割未満となっている。



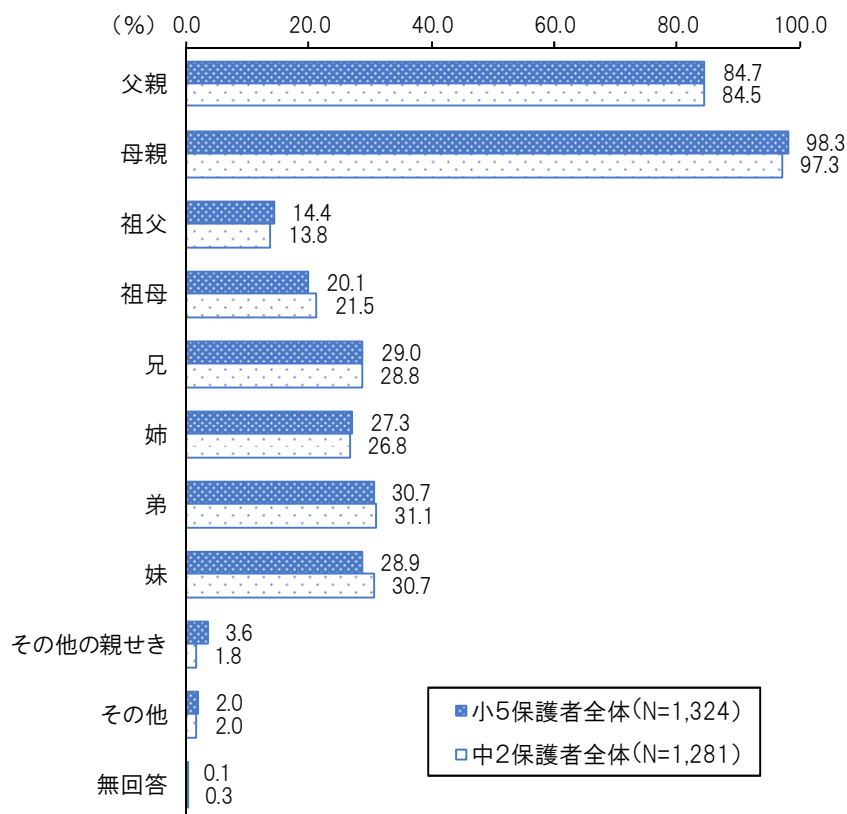
3 保護者の年齢

保護者の年齢については、小学5年保護者全体では、39歳以下が約4割を占め中学2年保護者全体を大きく上回っており、中学2年保護者全体では、40～49歳が7割近くを占めている。



4 世帯構成

世帯構成については、「母親」の割合が最も高く、次いで「父親」となっている。この他、兄弟姉妹、祖母、祖父の順となっている。



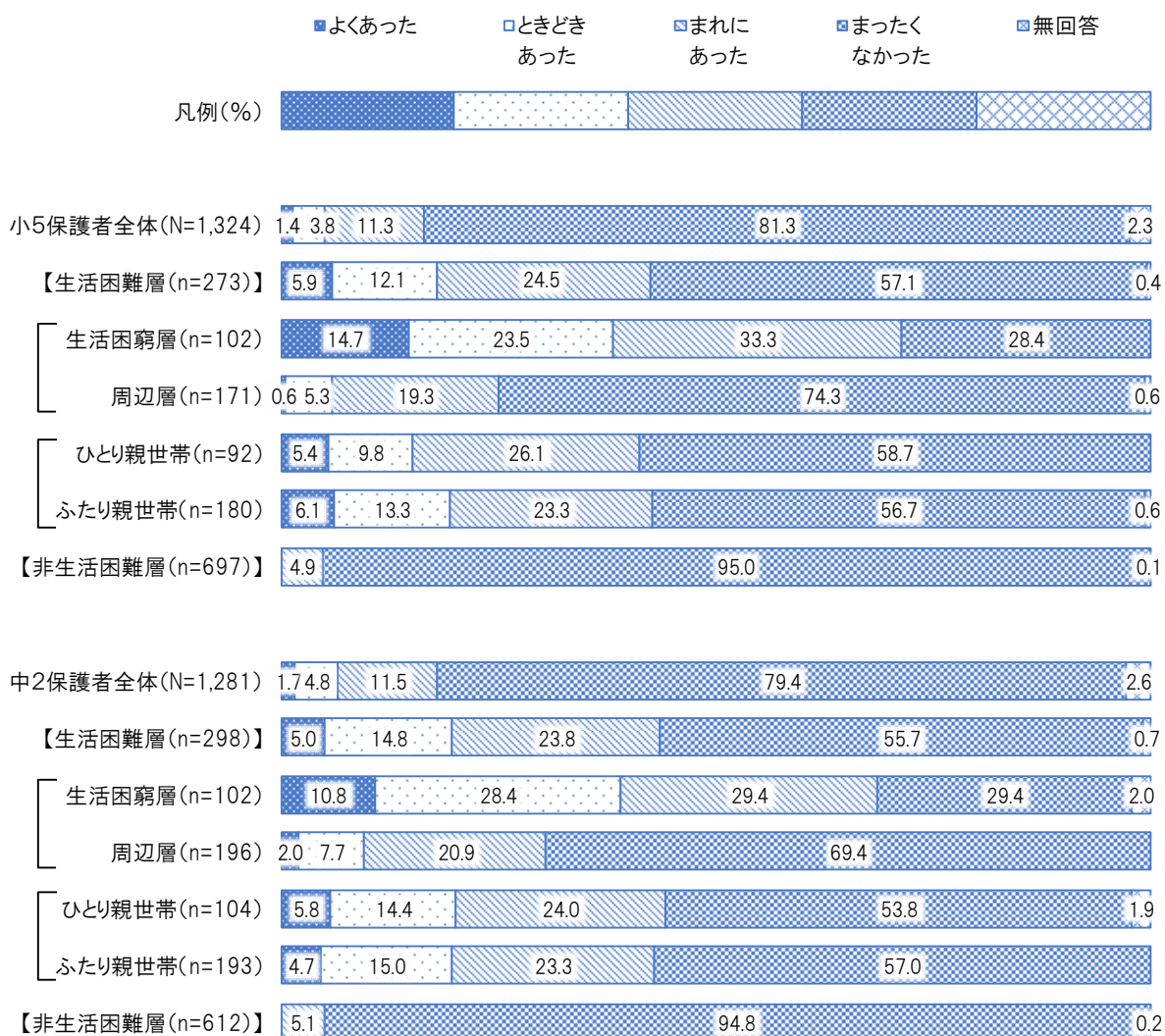
第2章 生活困窮の状況

【1】家計の状況

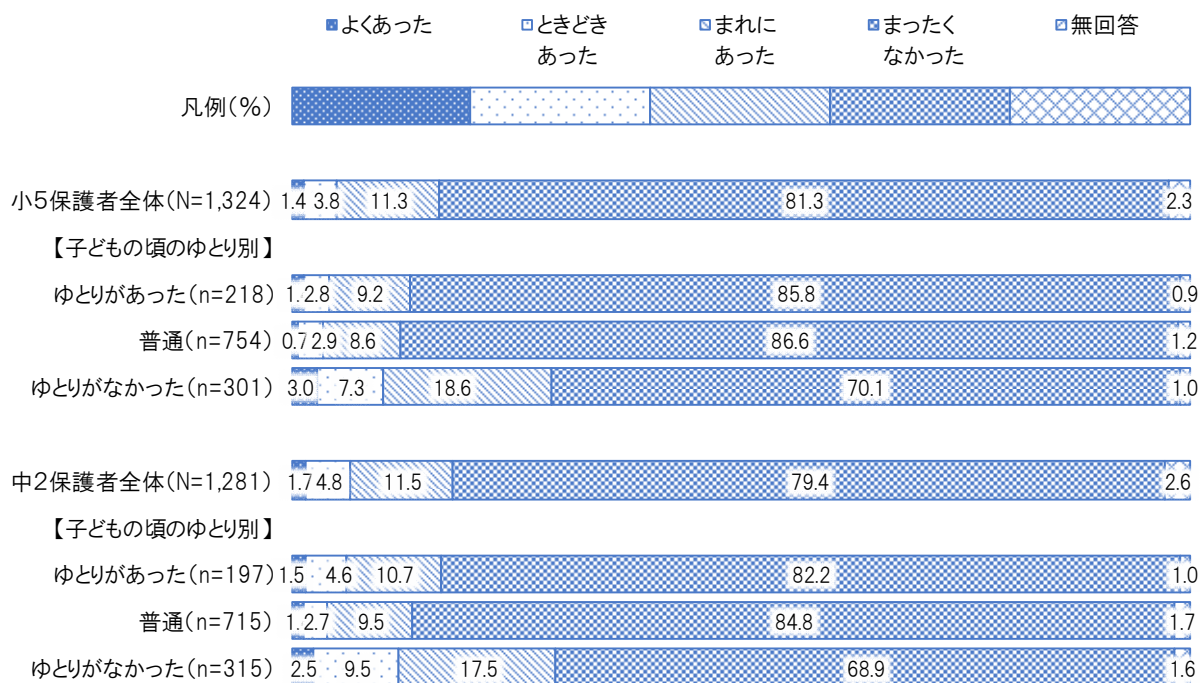
(1) 食料が買えなかった経験

保／問 31 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。(あてはまる番号1つに○)

食料が買えなかった経験については、小学5年保護者全体では、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の合計が16.5%，中学2年保護者全体では18.0%となっている。生活困難度別にみた『あった(合計)』割合は、小学5年保護者の生活困窮層で71.5%，中学2年保護者で68.6%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。



子どもの頃のゆとり別（問 39）でみると、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ゆとりがなかった層で『あった（合計）』割合が、他の層に比べて高くなっている。



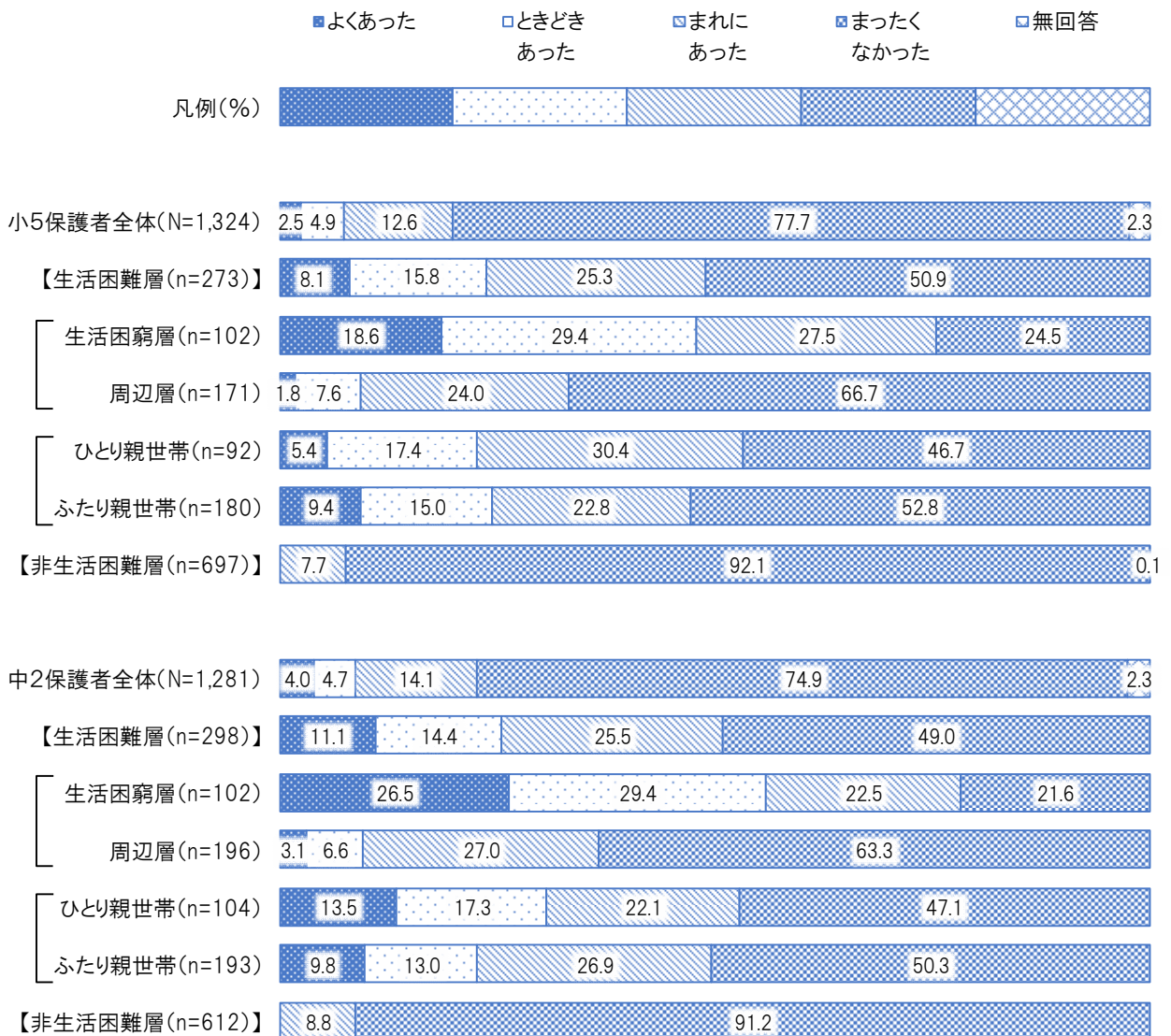
(2) 衣類が買えなかった経験

保/問 32 あなたの家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類が買えないことがありましたか。(あてはまる番号1つに○)

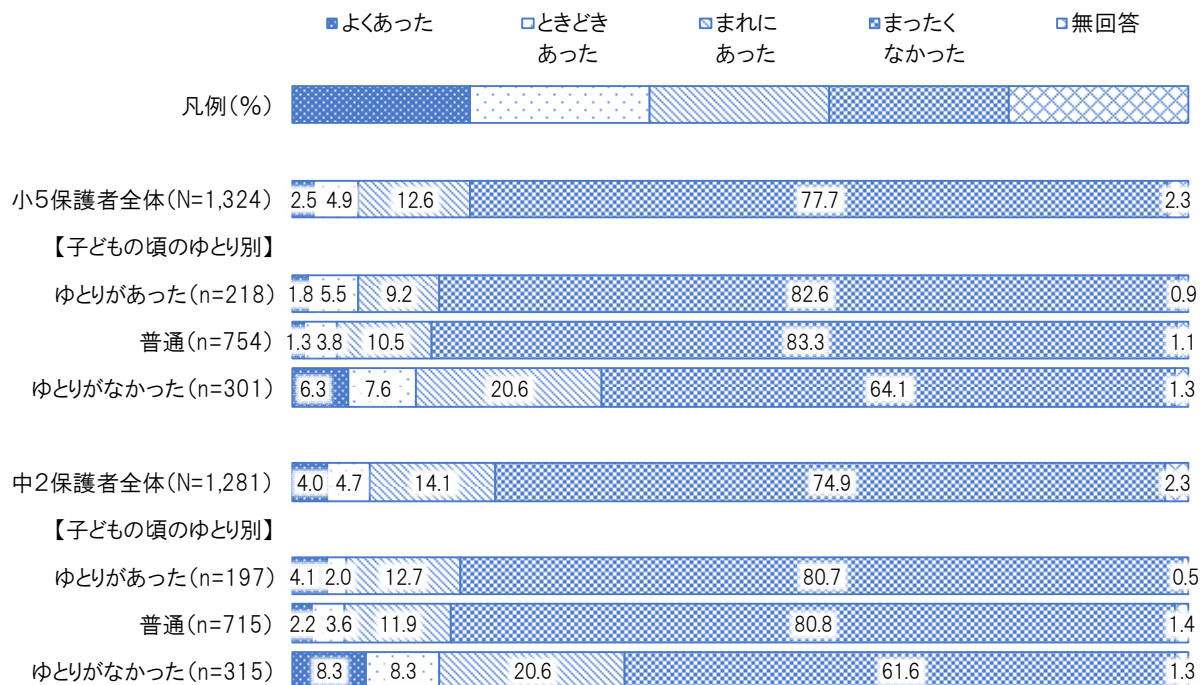
衣類が買えなかった経験については、小学5年保護者全体では、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の合計が20.0%，中学2年保護者全体では22.8%となっている。

生活困難度別にみた『あった(合計)』割合は、小学5年保護者の生活困窮層で75.5%，中学2年保護者で78.4%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のひとり親世帯で「よくあった」「ときどきあった」の合計がふたり親世帯に比べて高くなっている。



子どもの頃のゆとり別（問 39）でみると、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ゆとりがなかった層で『あった（合計）』割合が、他の層に比べて高くなっている。

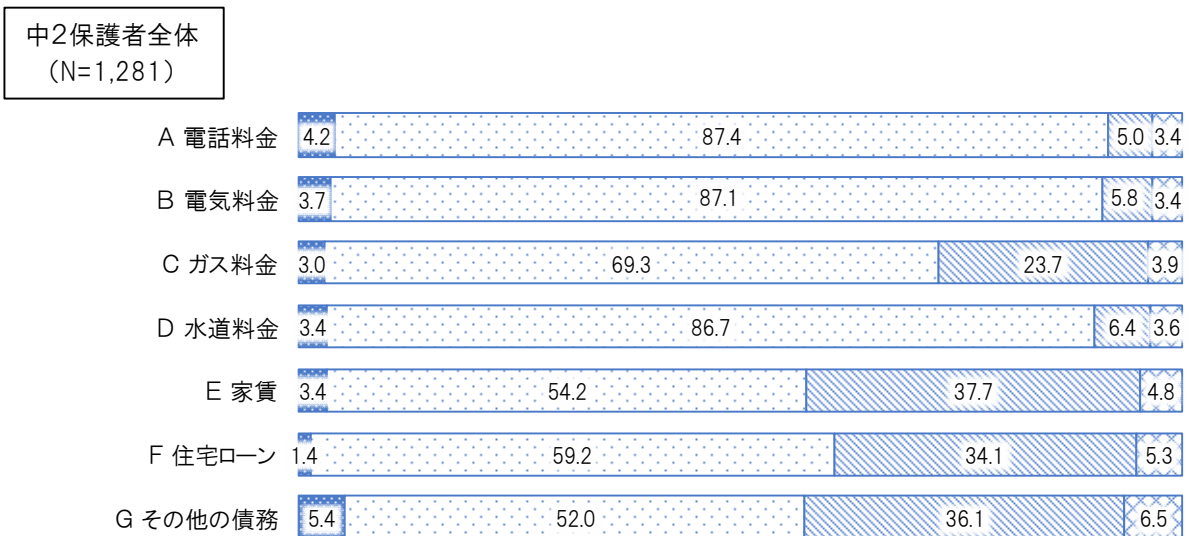
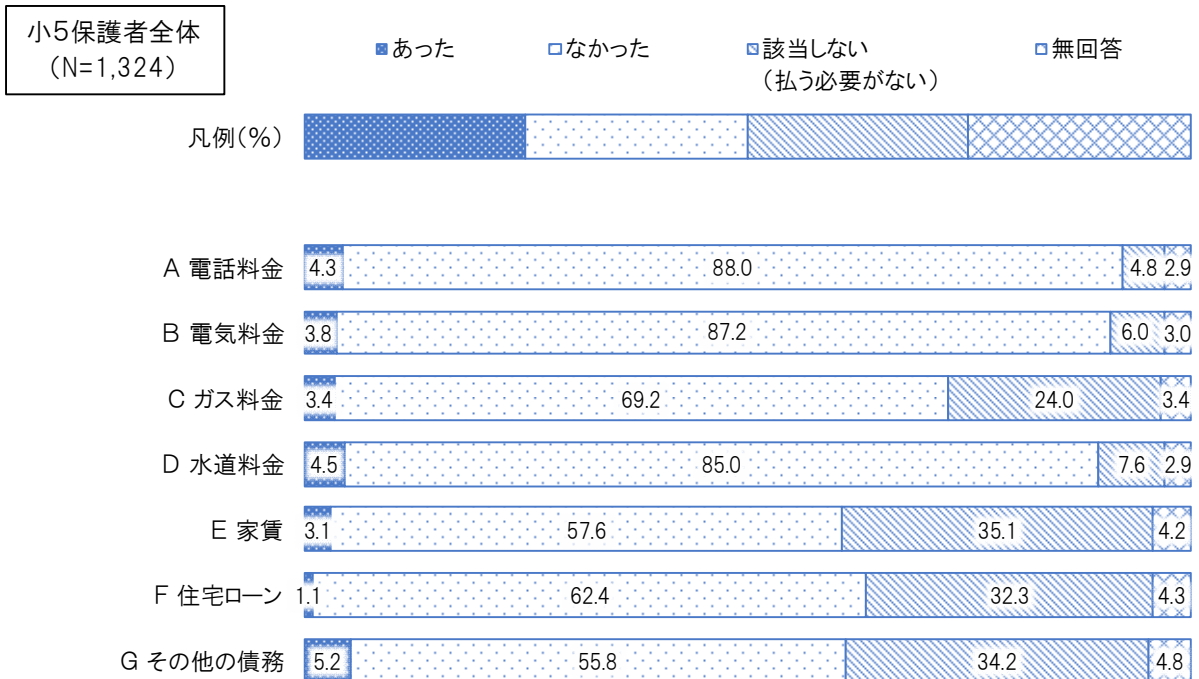


(3) 公共料金等の滞納経験

保／問 33 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

公共料金等の滞納経験については、小学5年保護者全体では「あった」割合が高い順に「G その他の債務」(5.2%)、「D 水道料金」(4.5%)、「A 電話料金」(4.3%)となっている。

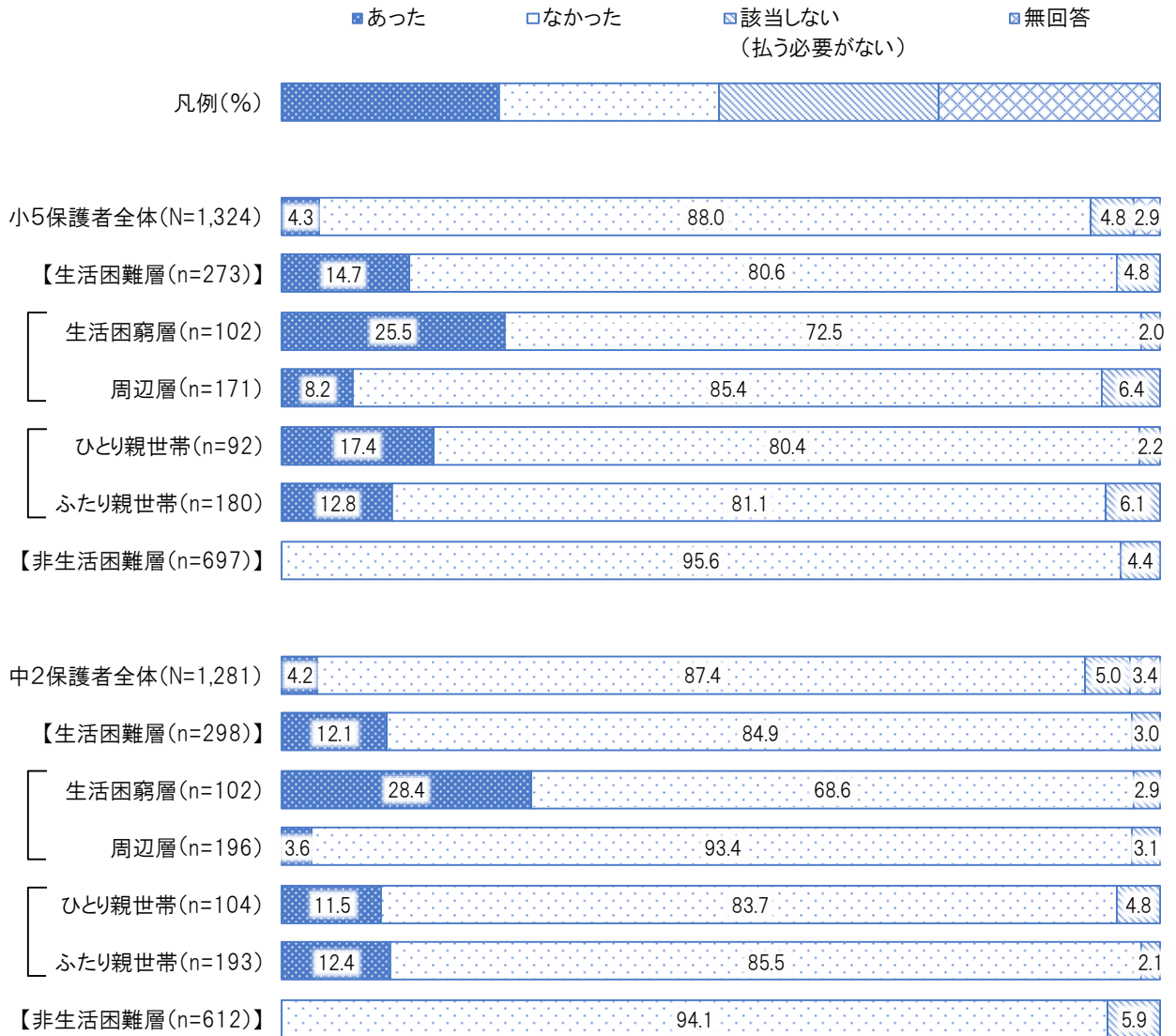
中学2年保護者全体では、「G その他の債務」(5.4%)、「A 電話料金」(4.2%)、「B 電気料金」(3.7%)などがあげられる。



A 電話料金

電話料金の滞納経験について「あった」割合は、小学5年保護者の生活困窮層で25.5%、周辺層で8.2%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で28.4%、周辺層で3.6%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

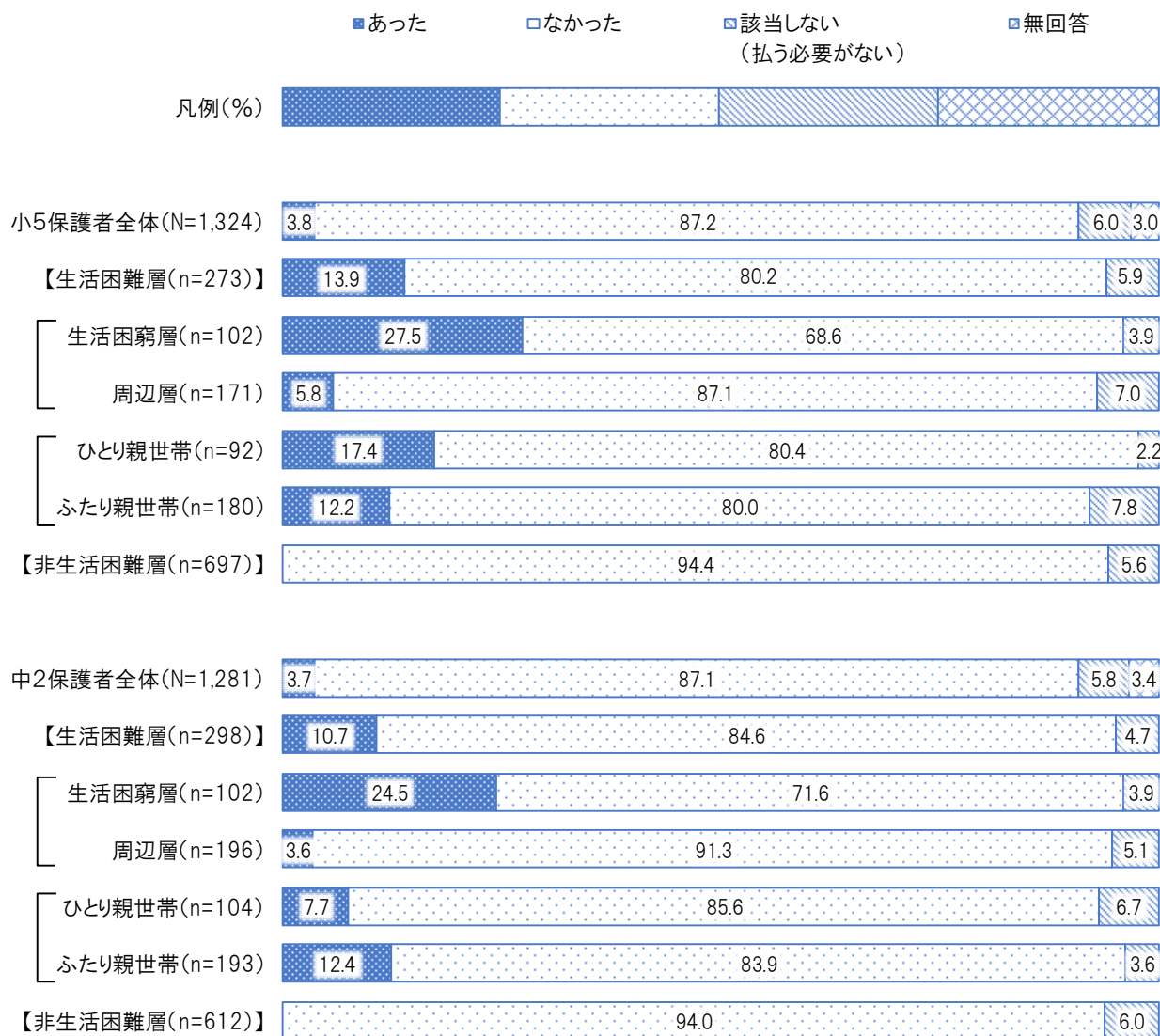
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のひとり親世帯で「あった」割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



B 電気料金

電気料金の滞納経験について「あった」割合は、小学5年保護者の生活困窮層で27.5%、周辺層で5.8%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で24.5%、周辺層で3.6%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

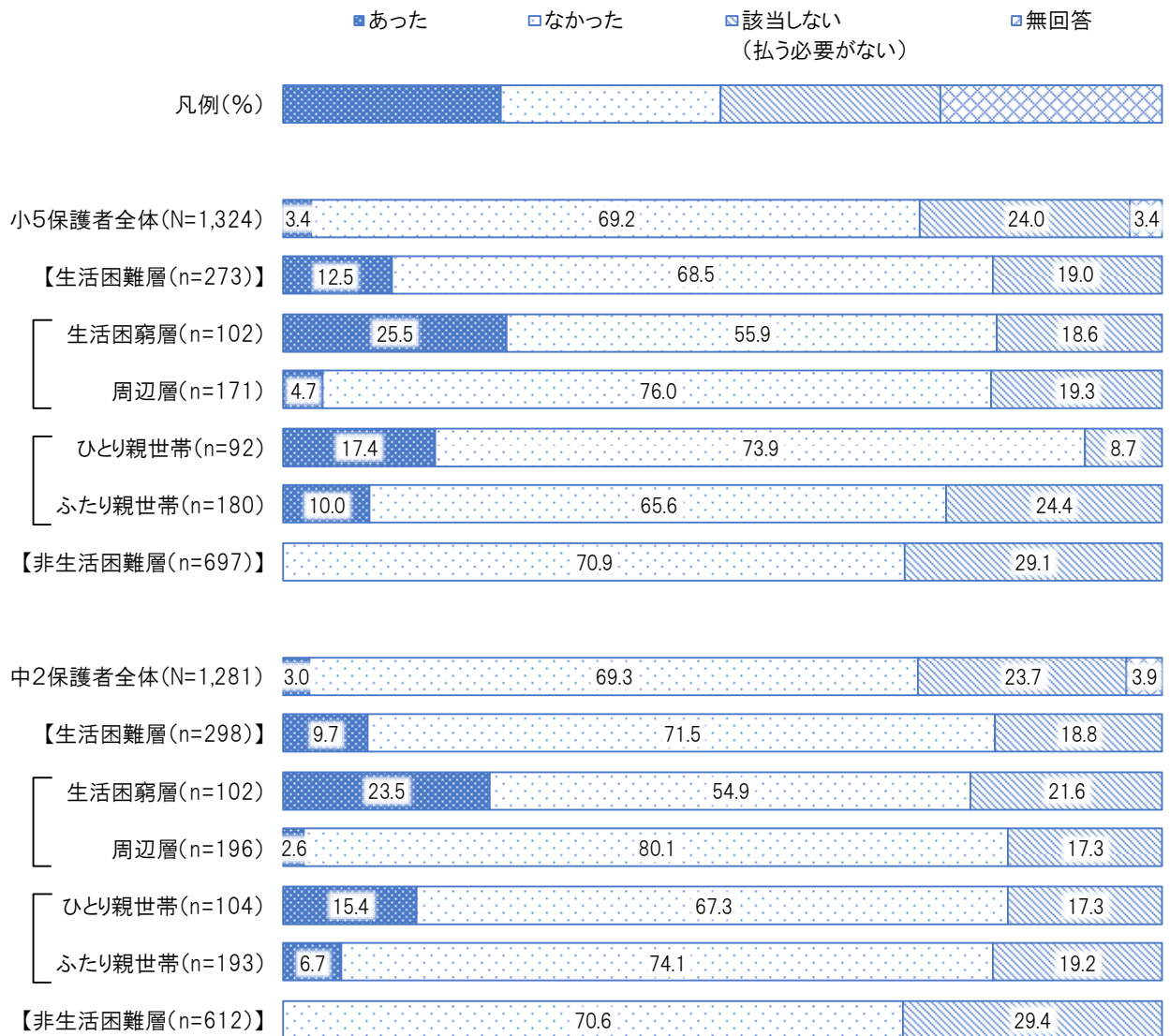
生活困難層世帯タイプ別では「あった」割合が、小学5年保護者ではひとり親世帯、中学2年保護者ではふたり親世帯で高くなっている。



C ガス料金

ガス料金の滞納経験について「あった」割合は、小学5年保護者の生活困窮層で25.5%、周辺層で4.7%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で23.5%、周辺層で2.6%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

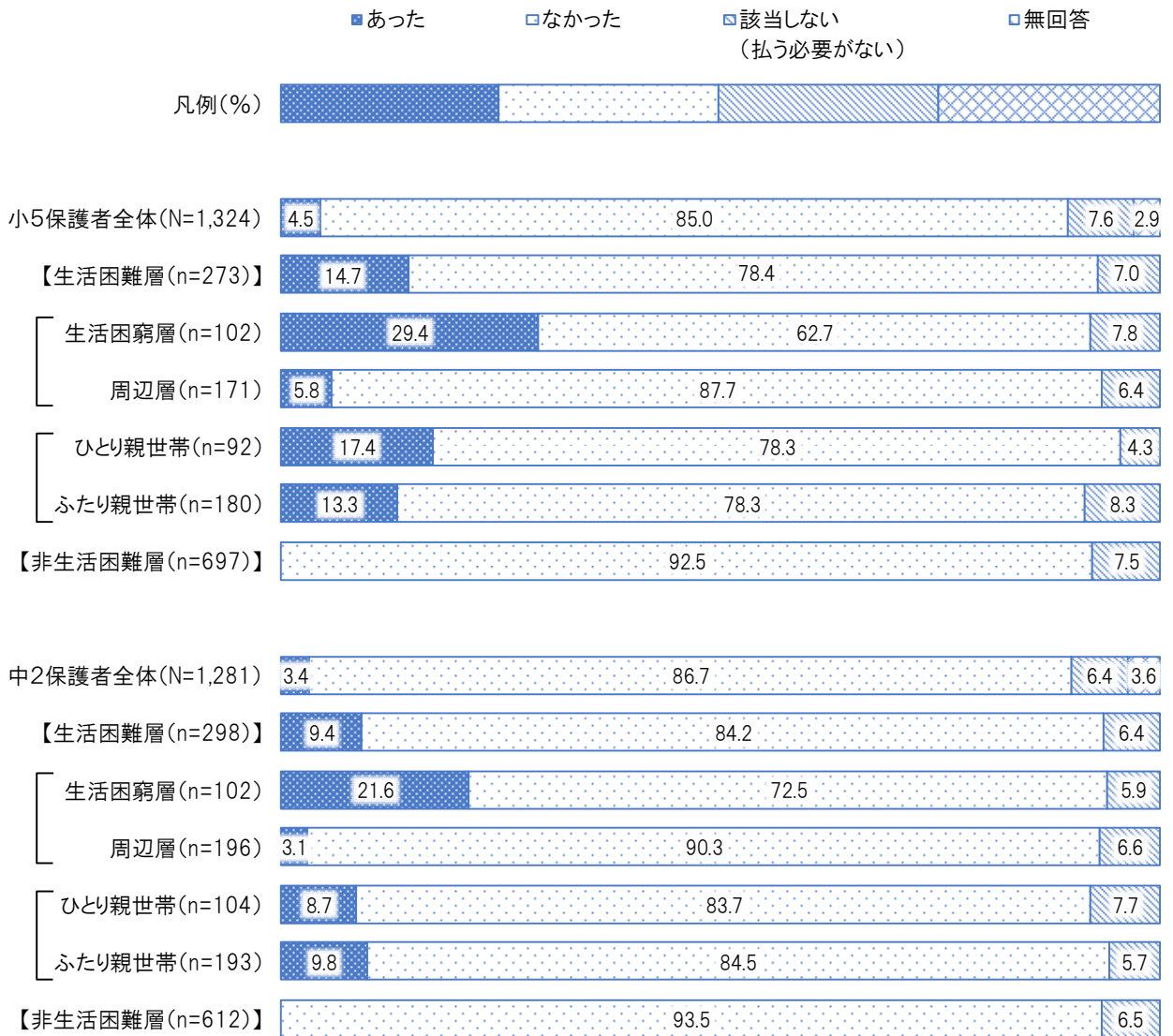
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「あった」割合が高くなっている。



D 水道料金

水道料金の滞納経験について「あった」割合は、小学5年保護者の生活困窮層で29.4%、周辺層で5.8%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で21.6%、周辺層で3.1%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

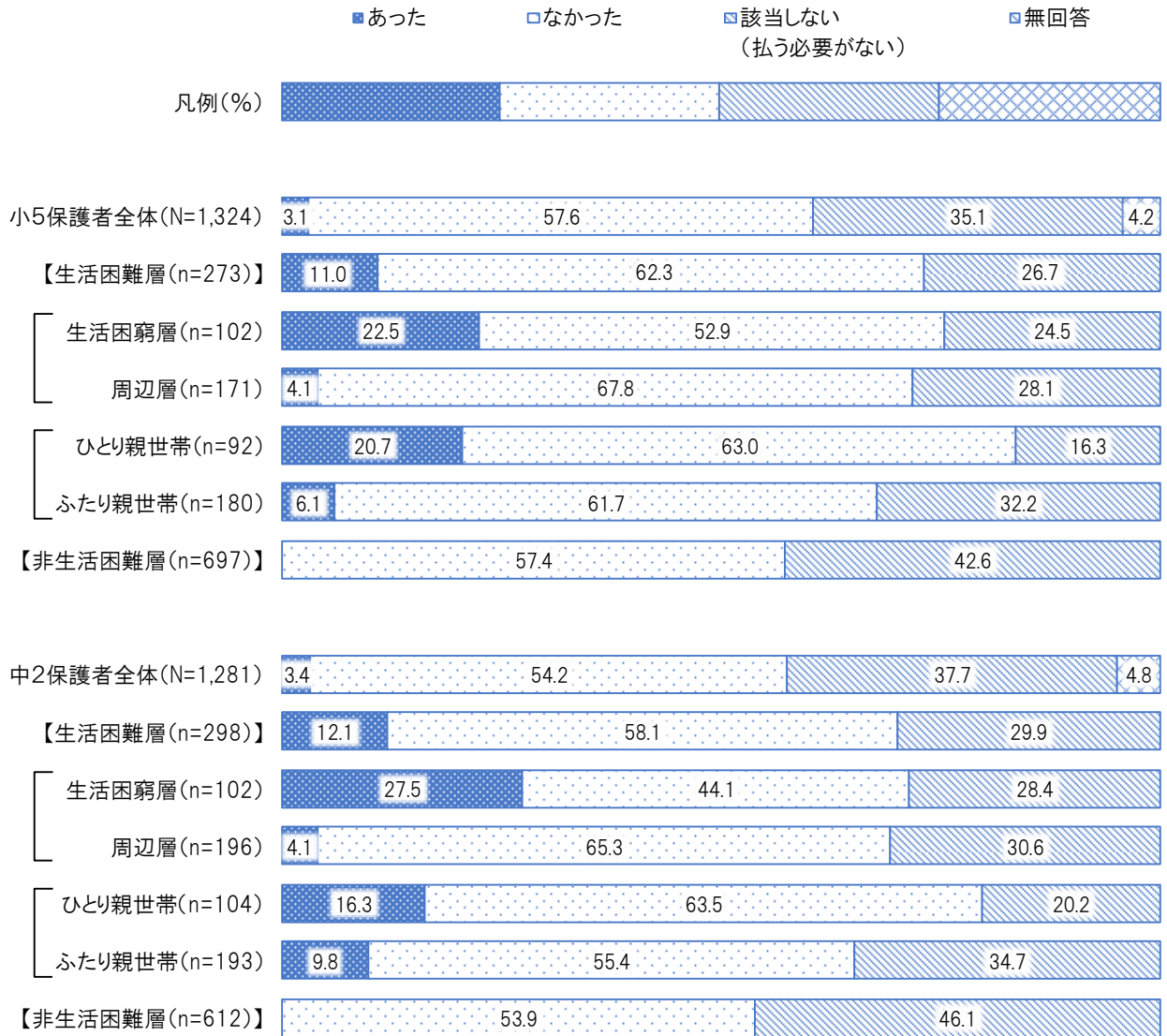
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のひとり親世帯で「あった」割合がふたり親世帯に比べてやや高くなっている。



E 家賃

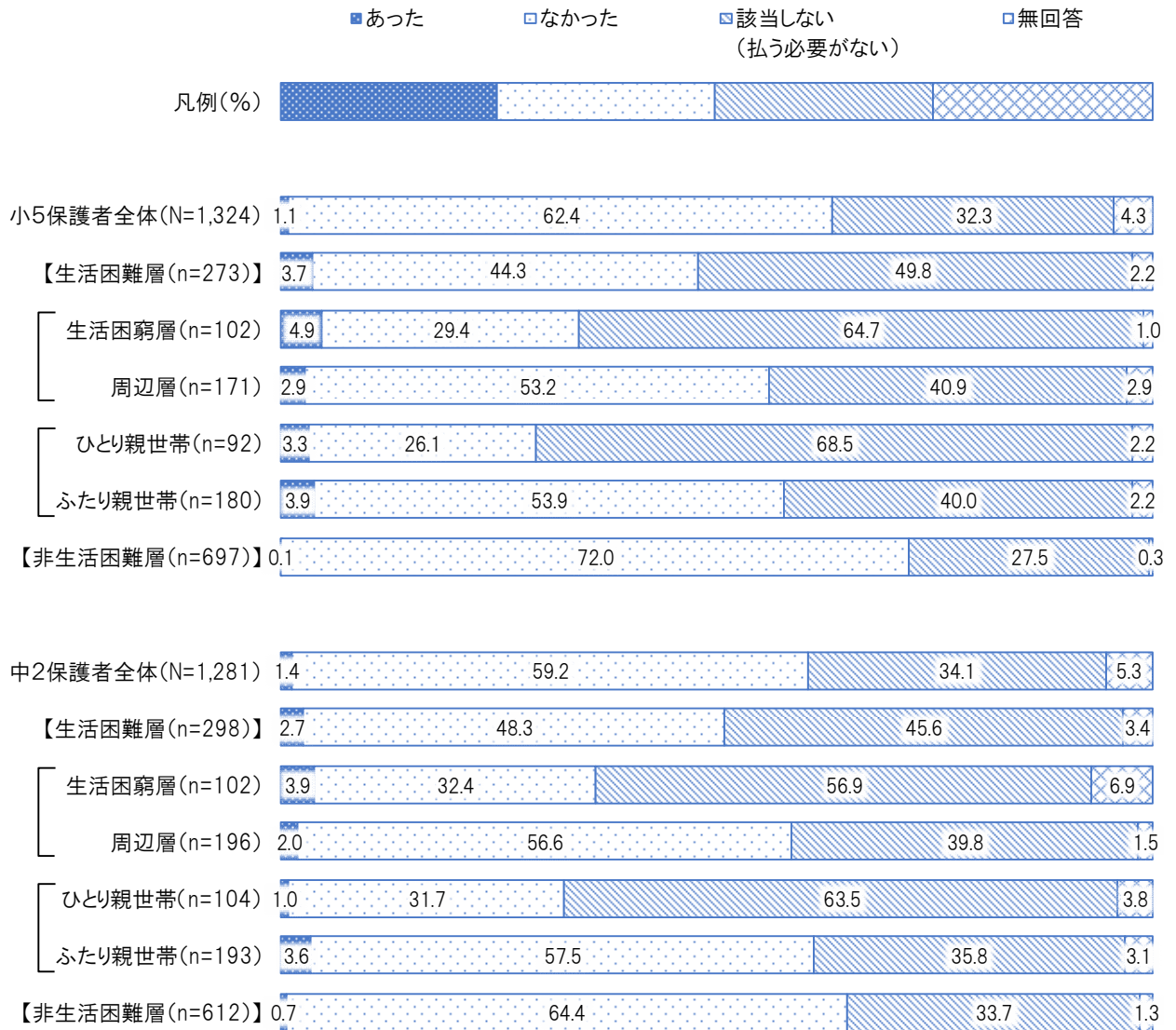
家賃の滞納経験について「あった」割合は、小学5年保護者の生活困窮層で22.5%、周辺層で4.1%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で27.5%、周辺層で4.1%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「あった」割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



F 住宅ローン

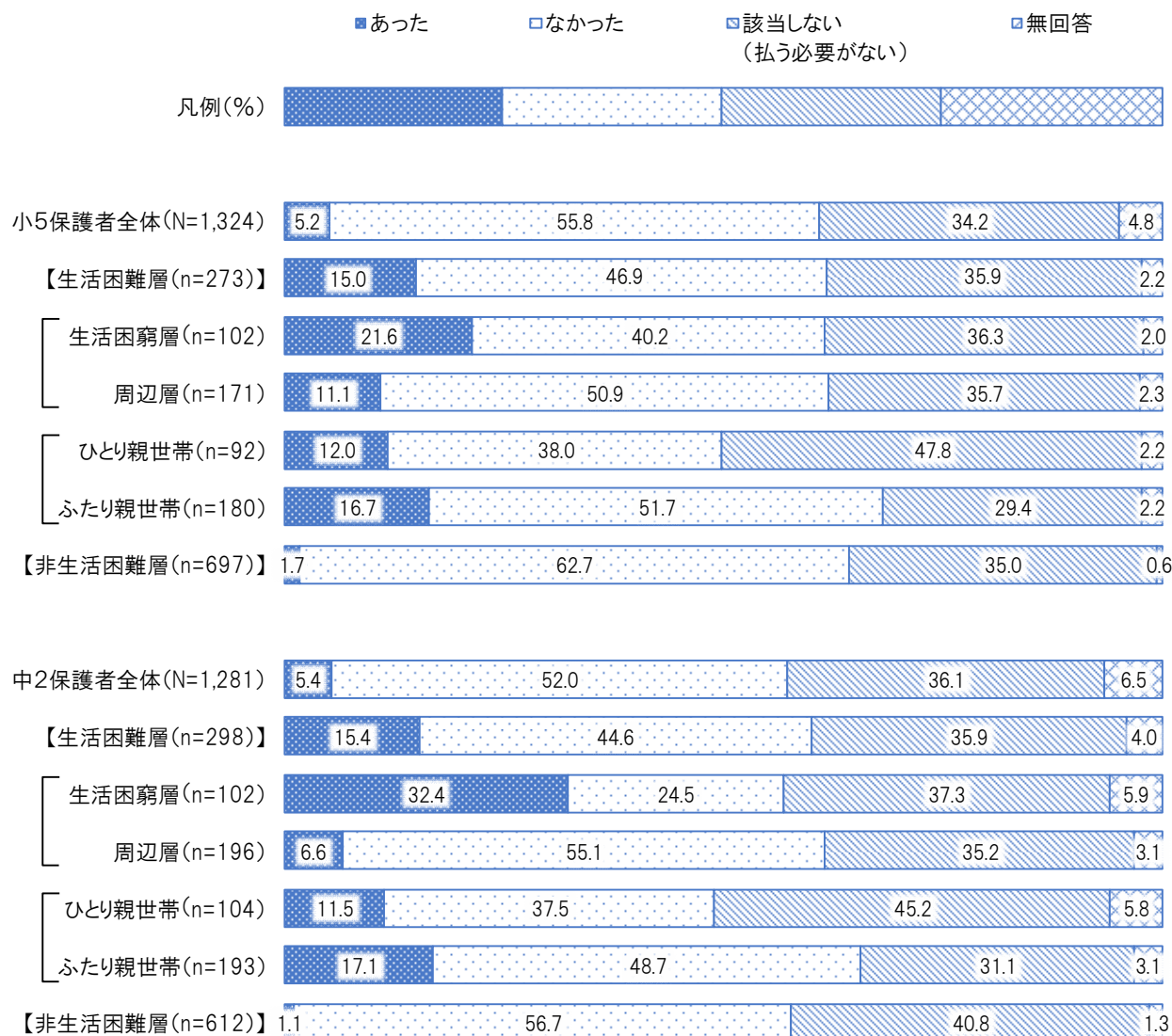
住宅ローンの滞納経験について「あった」割合は、小学5年保護者の生活困窮層で4.9%、周辺層で2.9%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で3.9%、周辺層で2.0%となっており、生活困難度による大きな差はみられない。



G その他の債務

その他の債務の滞納経験について「あった」割合は、小学5年保護者の生活困窮層で21.6%、周辺層で11.1%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で32.4%、周辺層で6.6%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ふたり親世帯で「あった」割合が高くなっている。

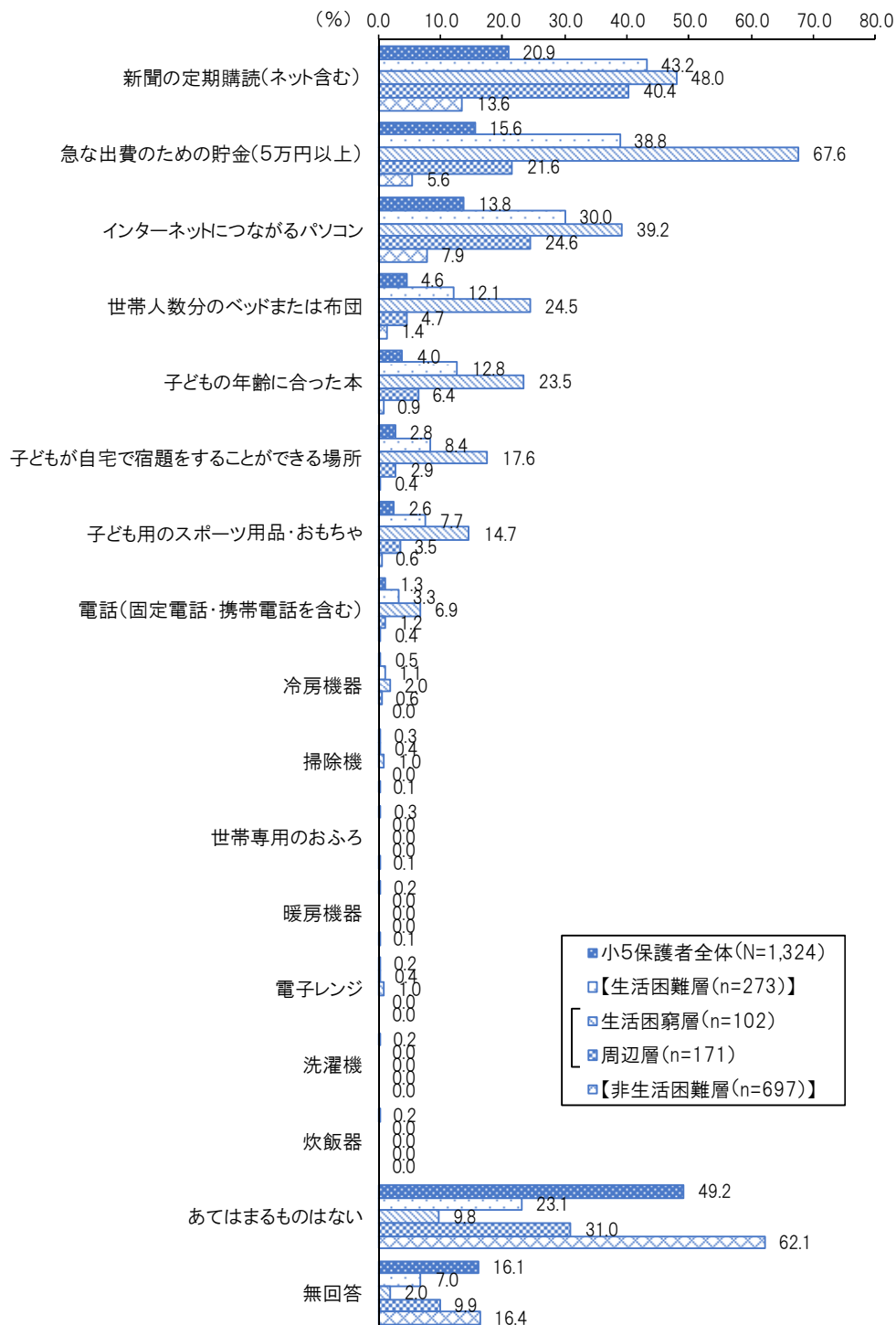


(4) 物品等の所有状況

保／問 35-1 次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

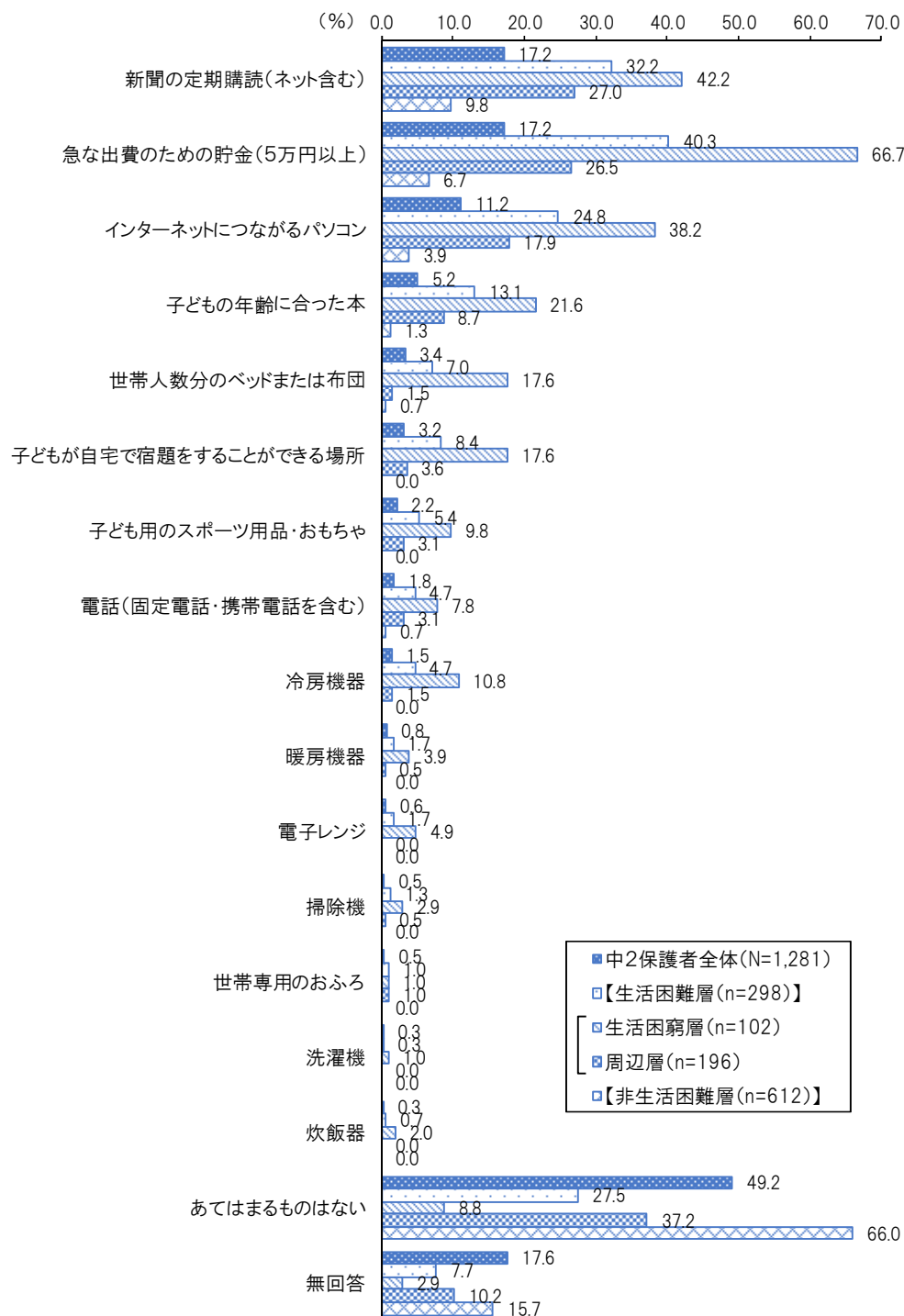
物品等の所有状況については、小学5年保護者全体の世帯にない割合が高い順に、「新聞の定期購読(ネット含む)」(20.9%)、「急な出費のための貯金(5万円以上)」(15.6%)、「インターネットにつながるパソコン」(13.8%)となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「急な出費のための貯金(5万円以上)」「世帯人数分のベッドまたは布団」「子どもの年齢に合った本」などの割合が他の層を大きく上回っている。



中学2年保護者全体の世帯にない割合が高い順に、「新聞の定期購読（ネット含む）」「急な出費のための貯金（5万円以上）」（各 17.2%）、「インターネットにつながるパソコン」（11.2%）となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「急な出費のための貯金（5万円以上）」「インターネットにつながるパソコン」「世帯人数分のベッドまたは布団」「子どもが自宅で宿題をすることができる場所」などの割合が他の層を大きく上回っている。



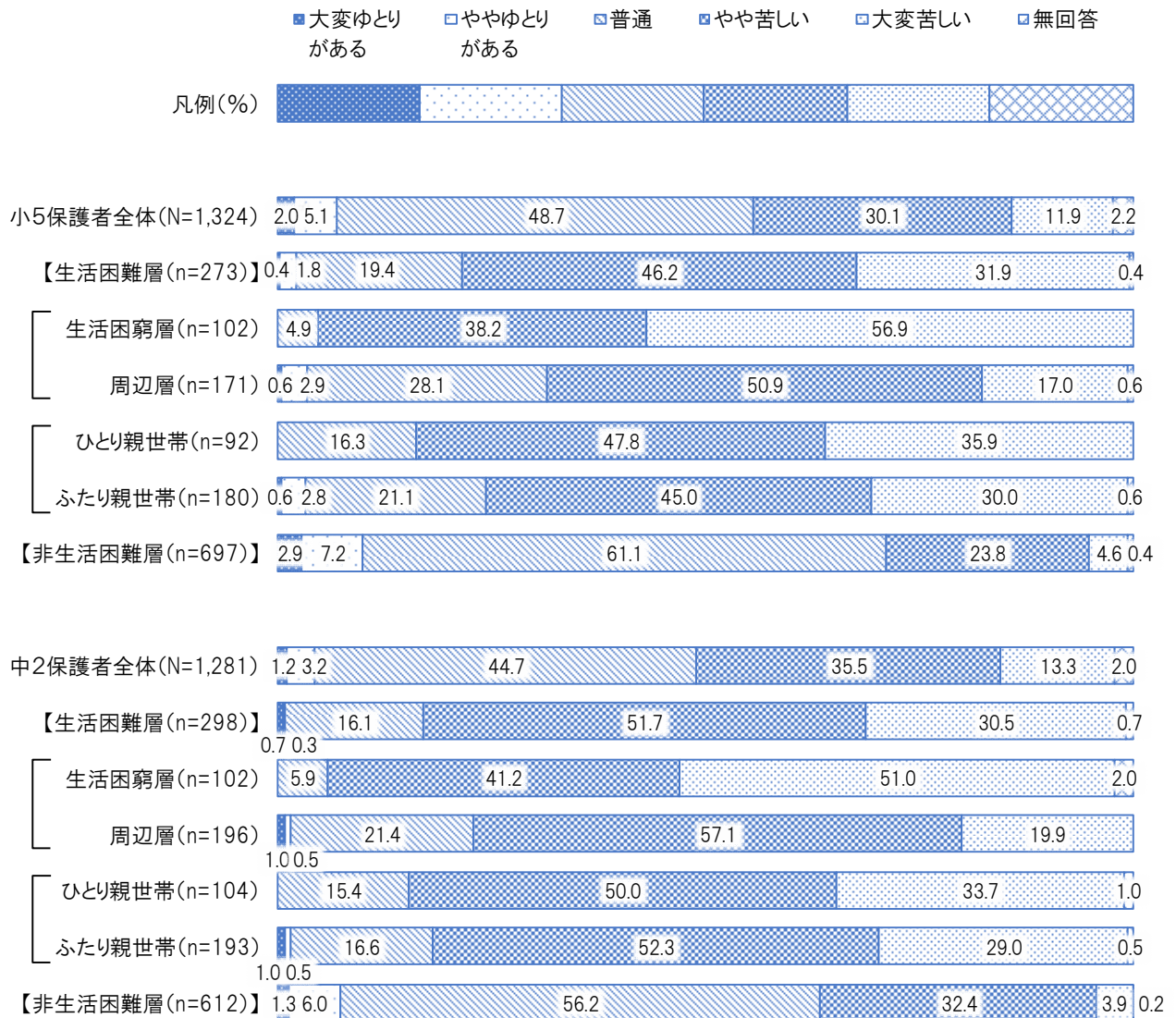
(5) 現在の（主観的）暮らし向き

保／問 29 現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。
 (あてはまる番号1つに○)

現在の（主観的）暮らし向きについては、小学5年保護者全体では「大変ゆとりがある」「ややゆとりがある」の合計が7.1%、中学2年保護者全体では4.4%となっている。一方、「やや苦しい」「大変苦しい」の合計は、小学5年保護者全体では42.0%、中学2年保護者全体では48.8%となっている。

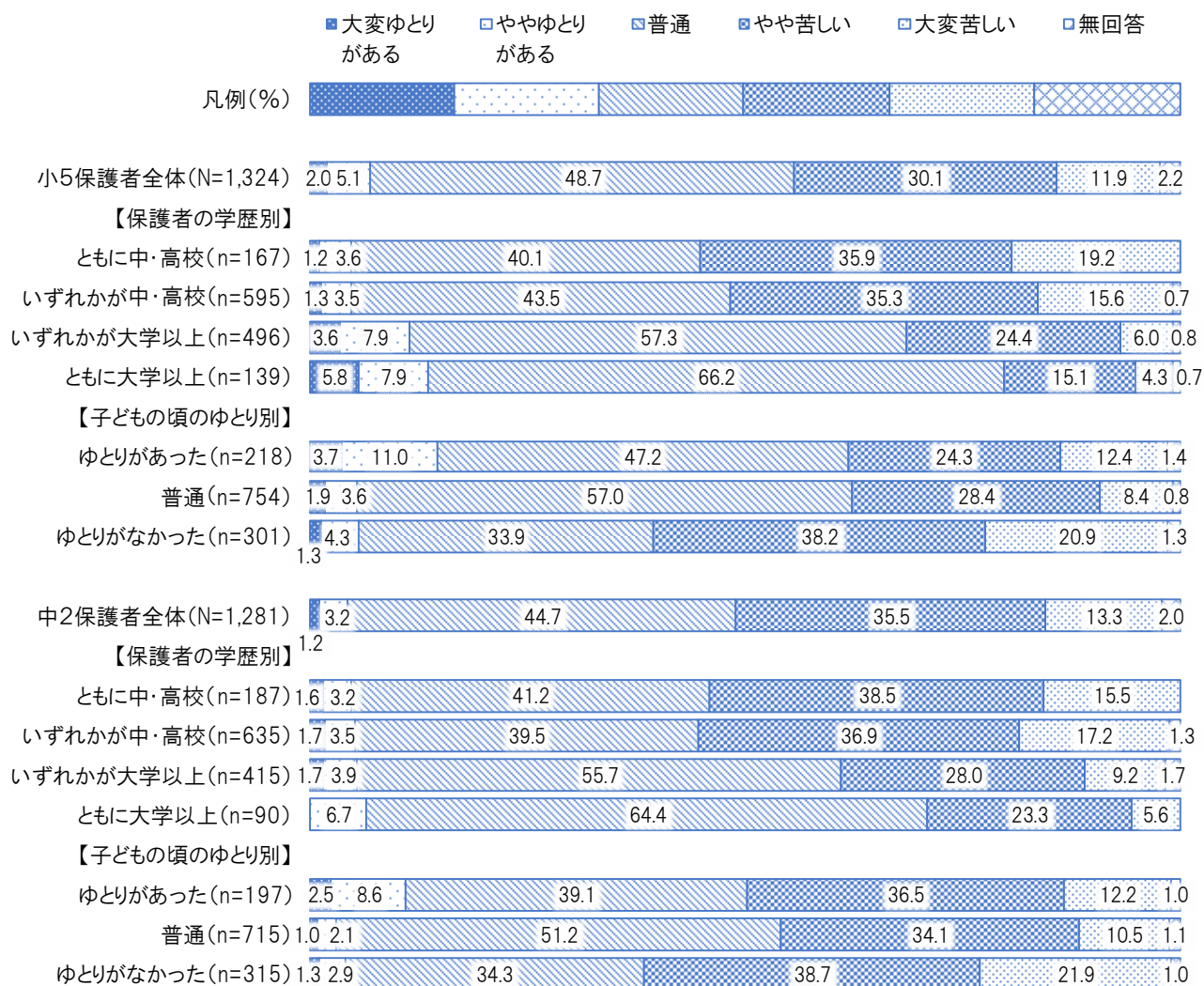
生活困難度別にみた『苦しい（合計）』の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で95.1%、中学2年保護者で92.2%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のひとり親世帯で『苦しい（合計）』の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



保護者の学歴別（問 36・問 37）でみると、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ともに中・高校、いずれかが中・高校では他の層に比べ『苦しい（合計）』の割合が高くなっている。

子どもの頃のゆとり別（問 39）でみると、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ゆとりがなかった層で『苦しい（合計）』の割合が、他の層に比べて高くなっている。



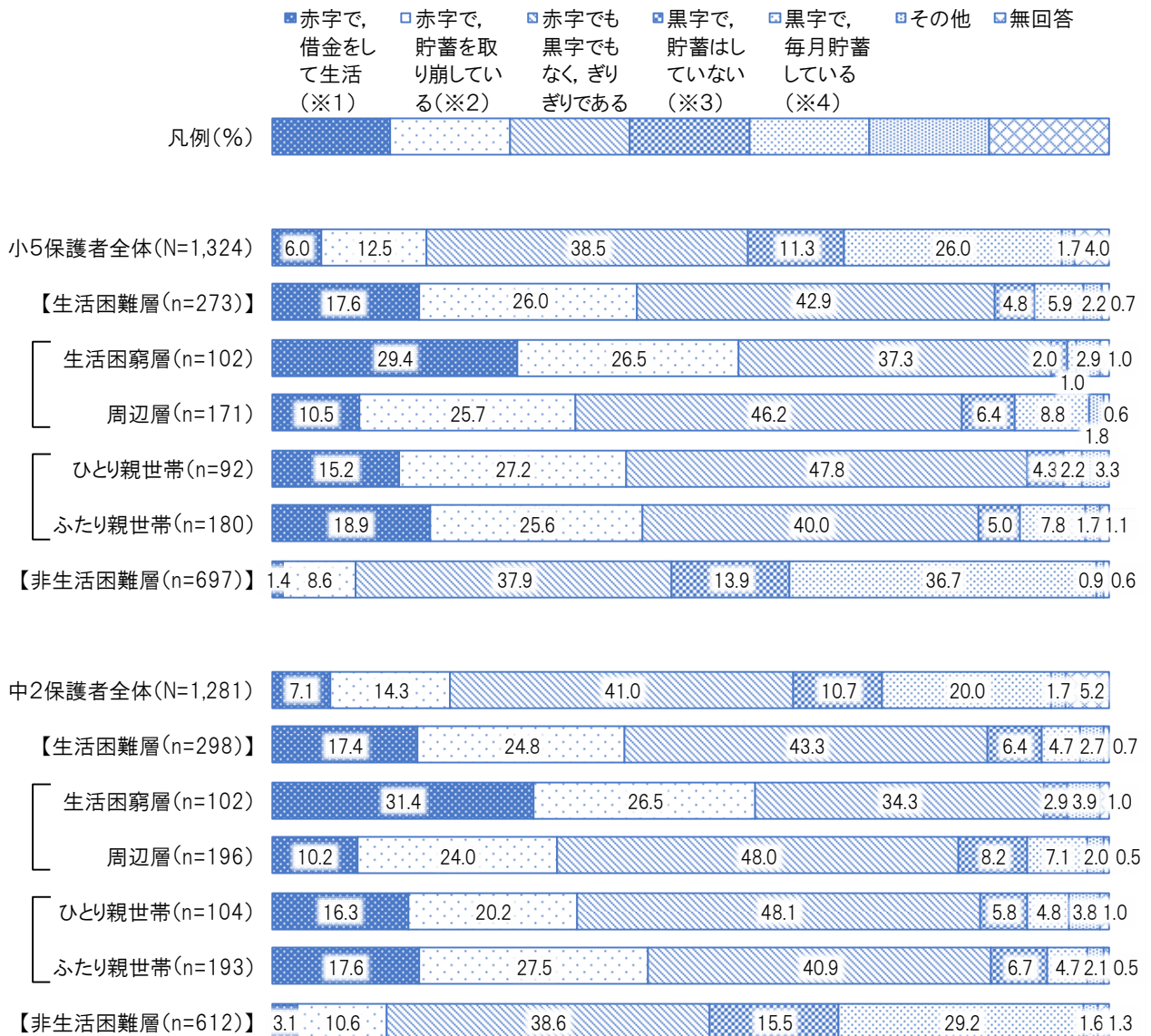
(6) 家計の収支状況

保／問 30 ご家庭の家計について、最も近いものをお答えください。
(あてはまる番号1つに○)

家計の収支状況については、小学5年保護者全体では「赤字であり、借金をして生活している」「赤字であり、貯蓄を取り崩している」の合計が18.5%、中学2年保護者全体では21.4%となっている。一方、「黒字であるが、貯蓄はしていない」「黒字であり、毎月貯蓄をしている」の合計は、小学5年保護者全体では37.3%、中学2年保護者全体では30.7%となっている。

生活困難度別にみた『赤字である(合計)』の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で55.9%、中学2年保護者で57.9%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

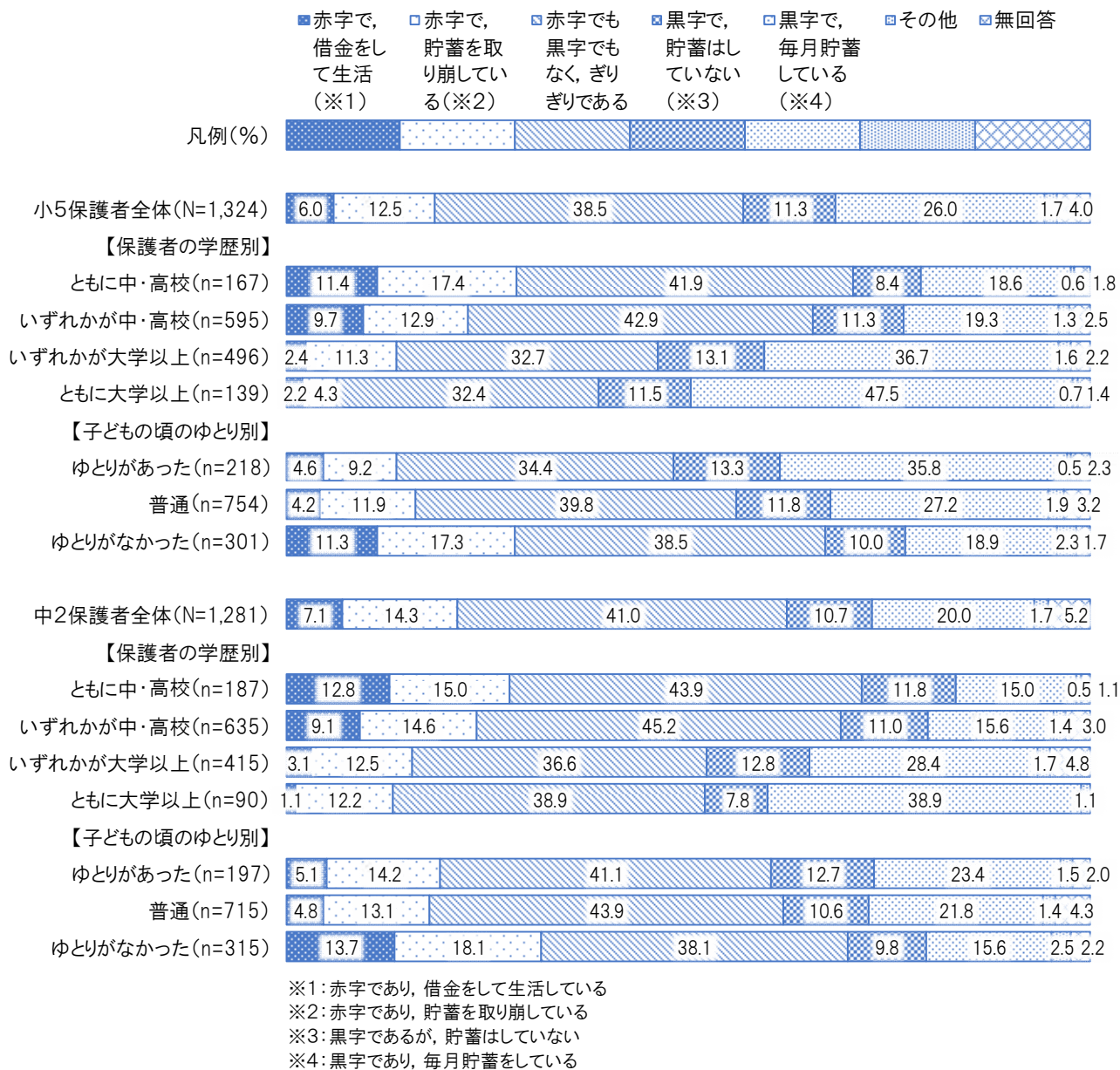
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のふたり親世帯で「赤字であり、貯蓄を取り崩している」の割合がひとり親世帯を大きく上回っている。



※1:赤字であり、借金をして生活している
 ※2:赤字であり、貯蓄を取り崩している
 ※3:黒字であるが、貯蓄はしていない
 ※4:黒字であり、毎月貯蓄をしている

保護者の学歴別（問 36・問 37）でみると、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ともに中・高校、いずれかが中・高校では他の層に比べ『赤字である（合計）』の割合が高くなっている。

子どもの頃のゆとり別（問 39）でみると、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ゆとりがなかった層で『赤字である（合計）』の割合が、他の層を大きく上回っている。

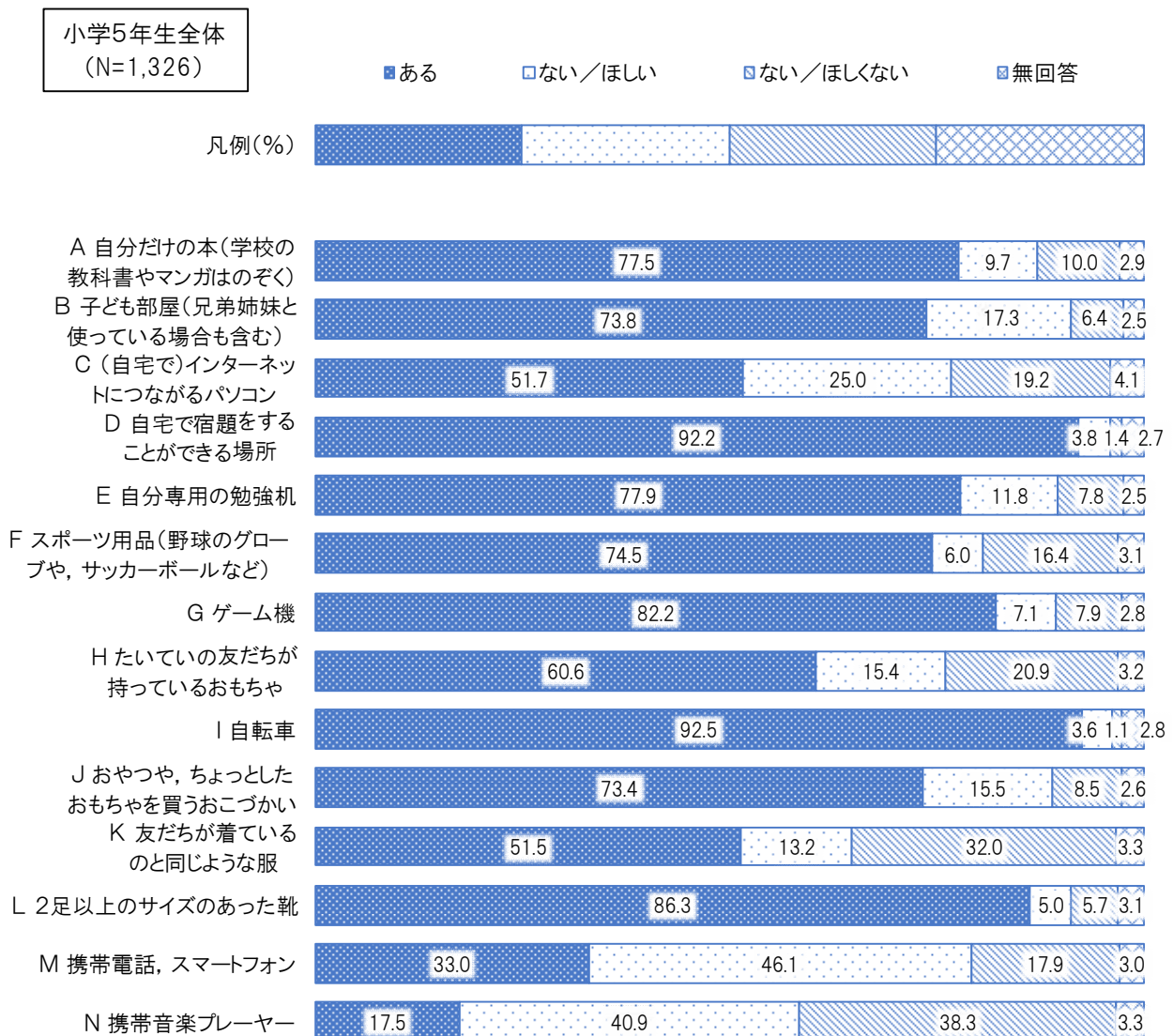


【2】子どもの生活水準

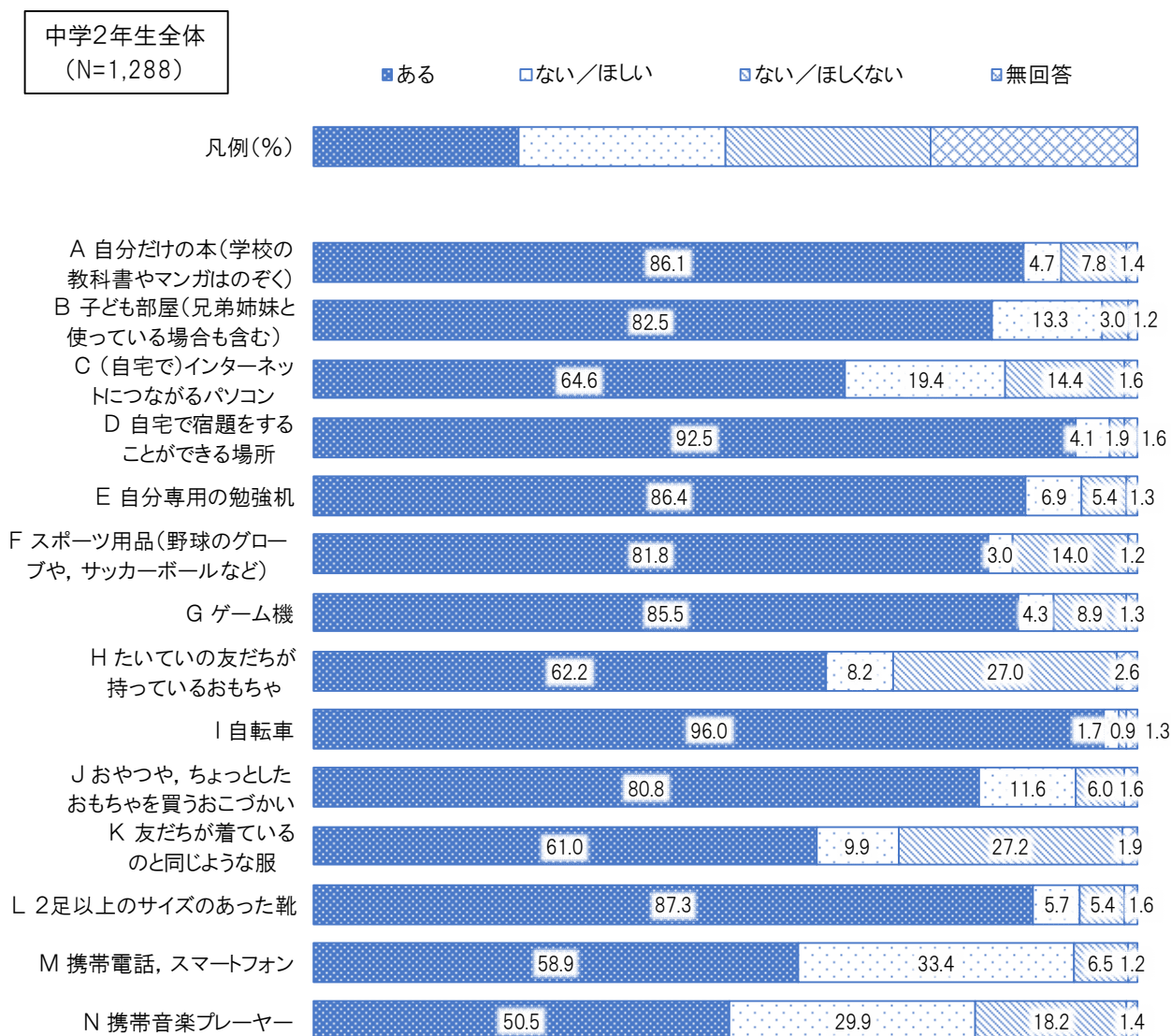
(1) 所有物の状況

子／問4 あなたには、自分が使うことができる、次のものがありますか。ある場合は「1 ある」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2 ほしい」、いらないと思うものであれば「3 ほしくない」に○をつけてください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

所有物の状況について、小学5年生全体では「ない／ほしい」の割合が高い順に「M 携帯電話、スマートフォン」(46.1%)、「N 携帯音楽プレーヤー」(40.9%)、「C (自宅で)インターネットにつながるパソコン」(25.0%)となっている。また、「ない／ほしくない」では「N 携帯音楽プレーヤー」(38.3%)、「K 友だちが着ているのと同じような服」(32.0%)などがあげられる。



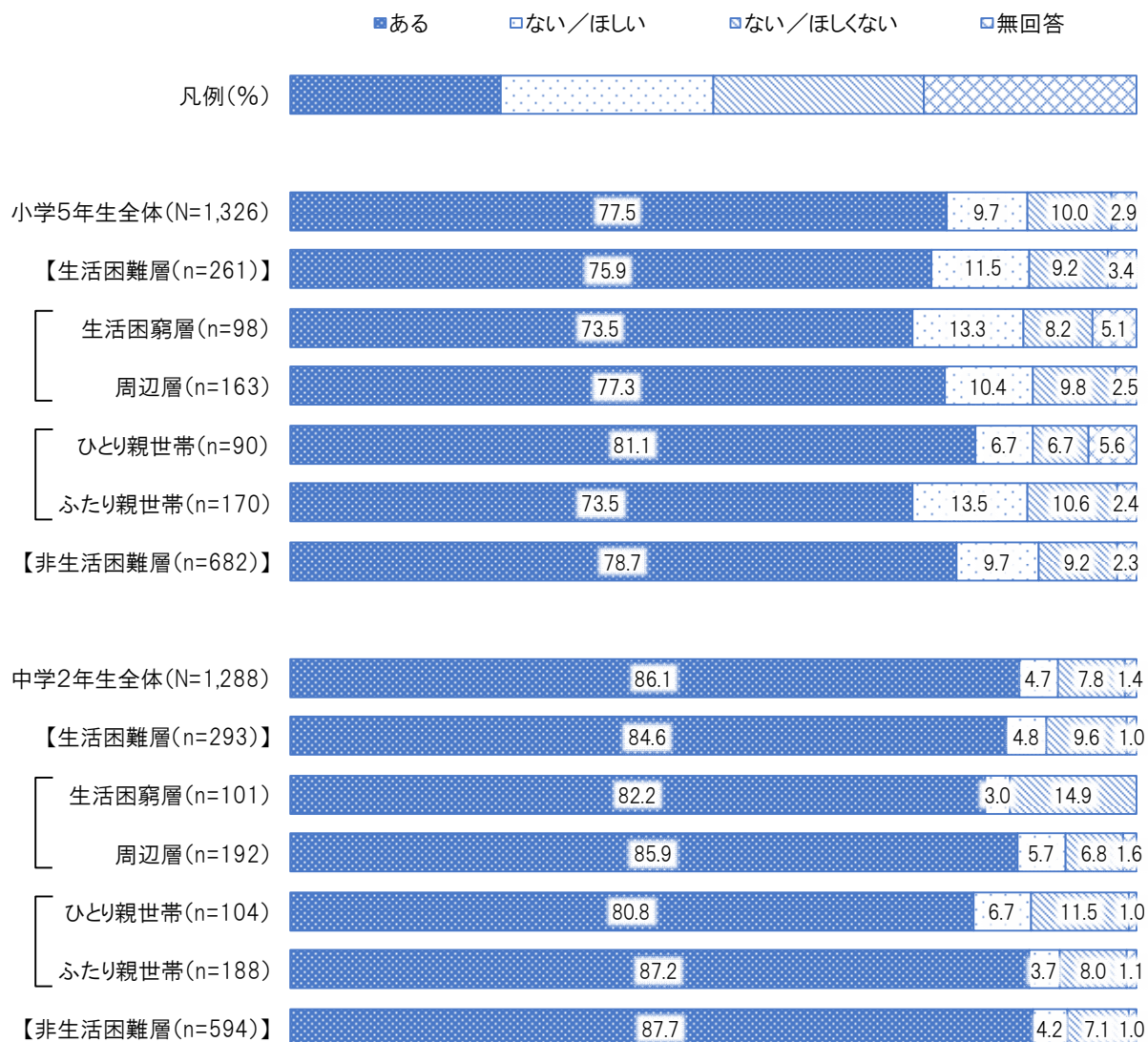
中学2年生全体では、「ない／ほしい」の割合が高い順に「M 携帯電話，スマートフォン」(33.4%)，「N 携帯音楽プレーヤー」(29.9%)，「C (自宅) インターネットにつながるパソコン」(19.4%) となっている。また，「ない／ほしくない」では「K 友だちが着ているのと同じような服」(27.2%)，「H たいていの友だちが持っているおもちゃ」(27.0%)，「N 携帯音楽プレーヤー」(18.2%) などがあげられる。



A 自分だけの本（学校の教科書やマンガはのぞく）

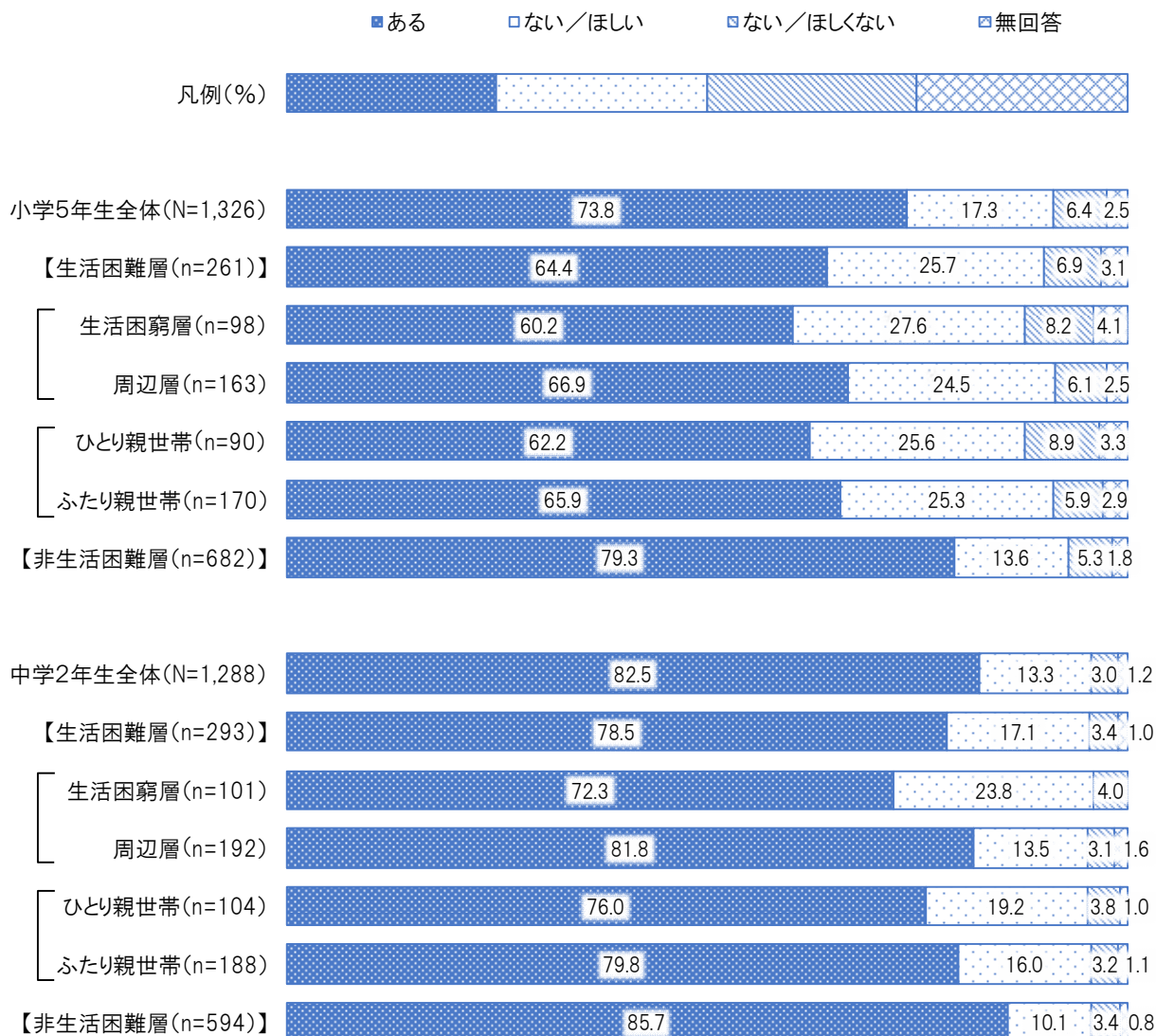
自分だけの本（学校の教科書やマンガはのぞく）について「ない／ほしい」の割合は、小学5年生の生活困窮層で13.3%，周辺層で10.4%となっている。中学2年生では、生活困窮層で3.0%，周辺層で5.7%となっており、生活困難度による大きな差はみられない。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生のふたり親世帯で「ない／ほしい」の割合がひとり親世帯に比べて高くなっている。



B 子ども部屋（兄弟姉妹と使っている場合も含む）

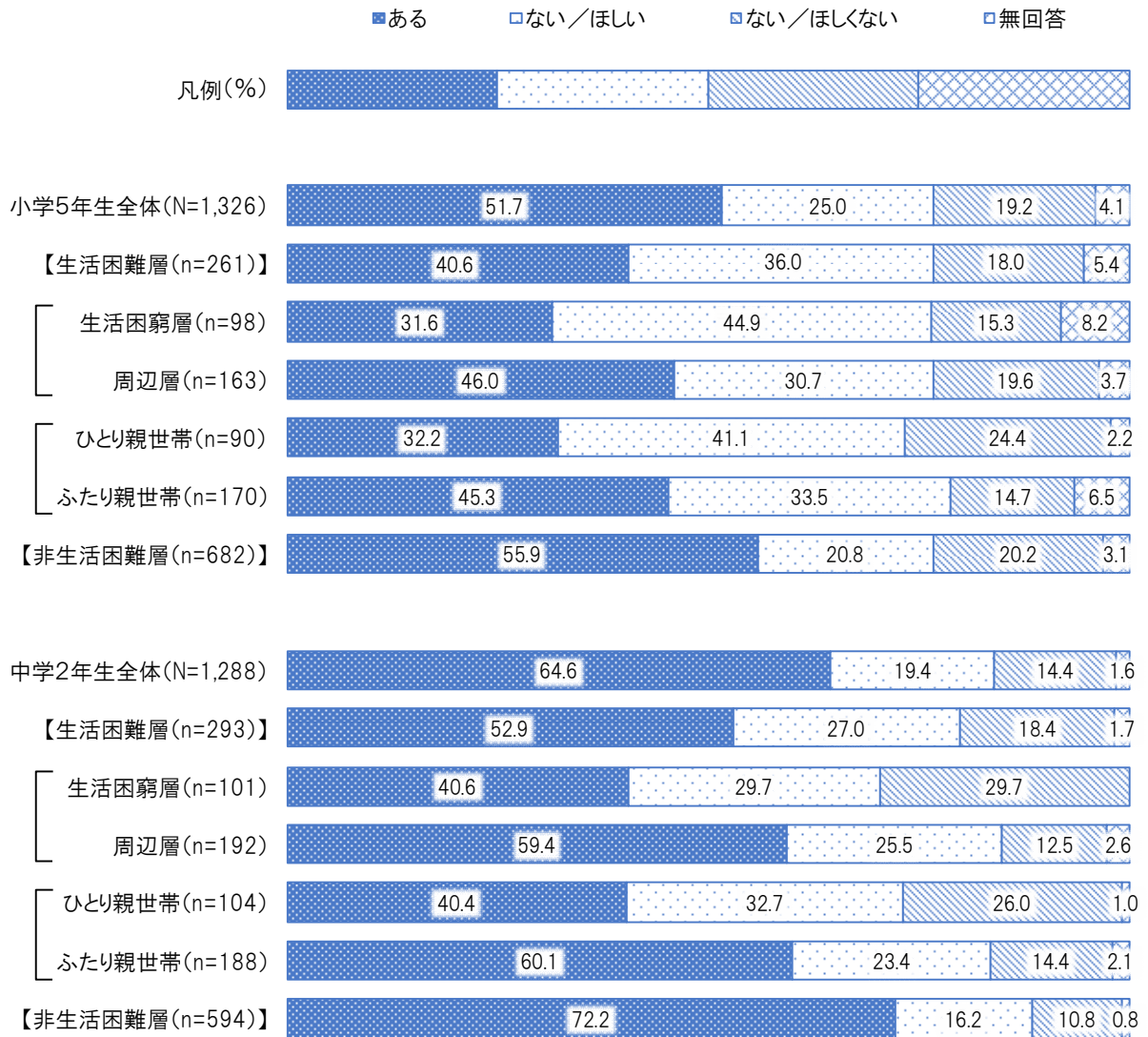
子ども部屋（兄弟姉妹と使っている場合も含む）について「ない／ほしい」の割合は、小学5年生の生活困窮層で 27.6%，周辺層で 24.5%となっている。中学2年生では，生活困窮層で 23.8%，周辺層で 13.5%となっており，生活困窮層で高くなっている。



C (自宅で) インターネットにつながるパソコン

(自宅で) インターネットにつながるパソコンについて「ない／ほしい」の割合は、小学5年生の生活困窮層で 44.9%，周辺層で 30.7%となっている。中学2年生では、生活困窮層で 29.7%，周辺層で 25.5%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

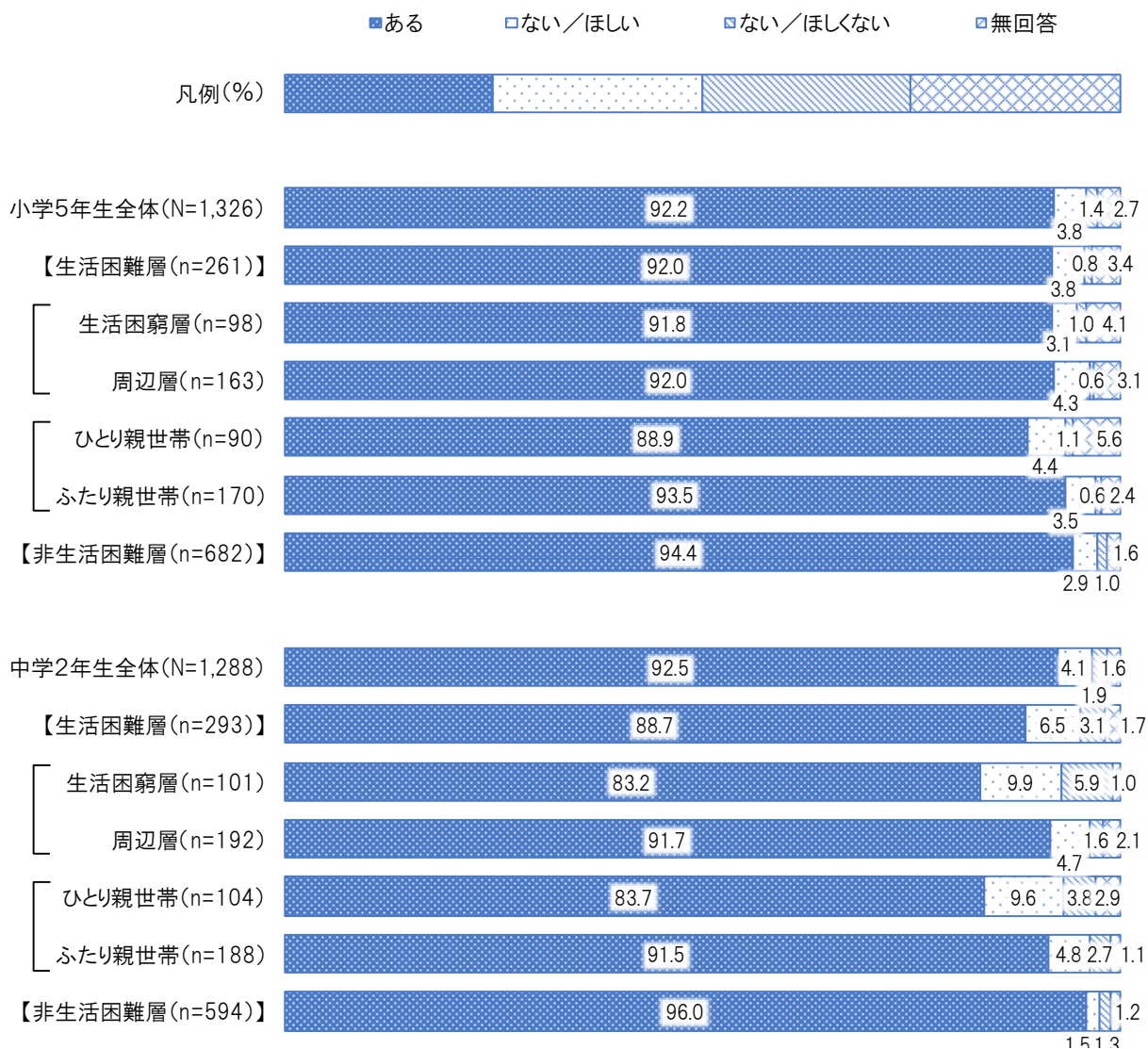
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともにひとり親世帯で「ない／ほしい」の割合が高くなっている。



D 自宅で宿題をすることができる場所

自宅で宿題をすることができる場所について「ない／ほしい」の割合は、小学5年生の生活困窮層で3.1%，周辺層で4.3%となっている。中学2年生では，生活困窮層で9.9%，周辺層で4.7%となっており，生活困窮層で高くなっている。

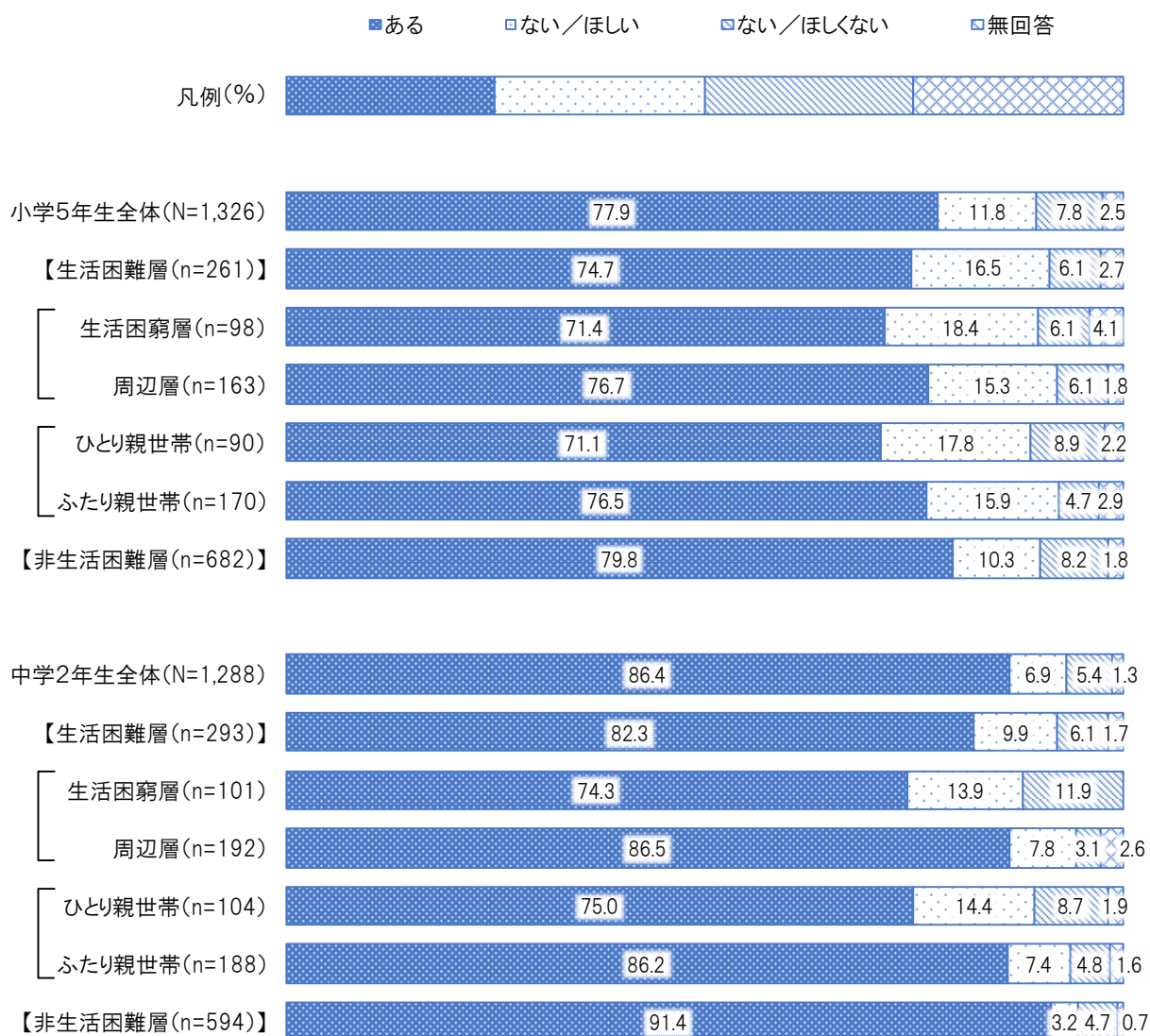
生活困難層世帯タイプ別では，中学2年生のひとり親世帯で「ない／ほしい」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



E 自分専用の勉強机

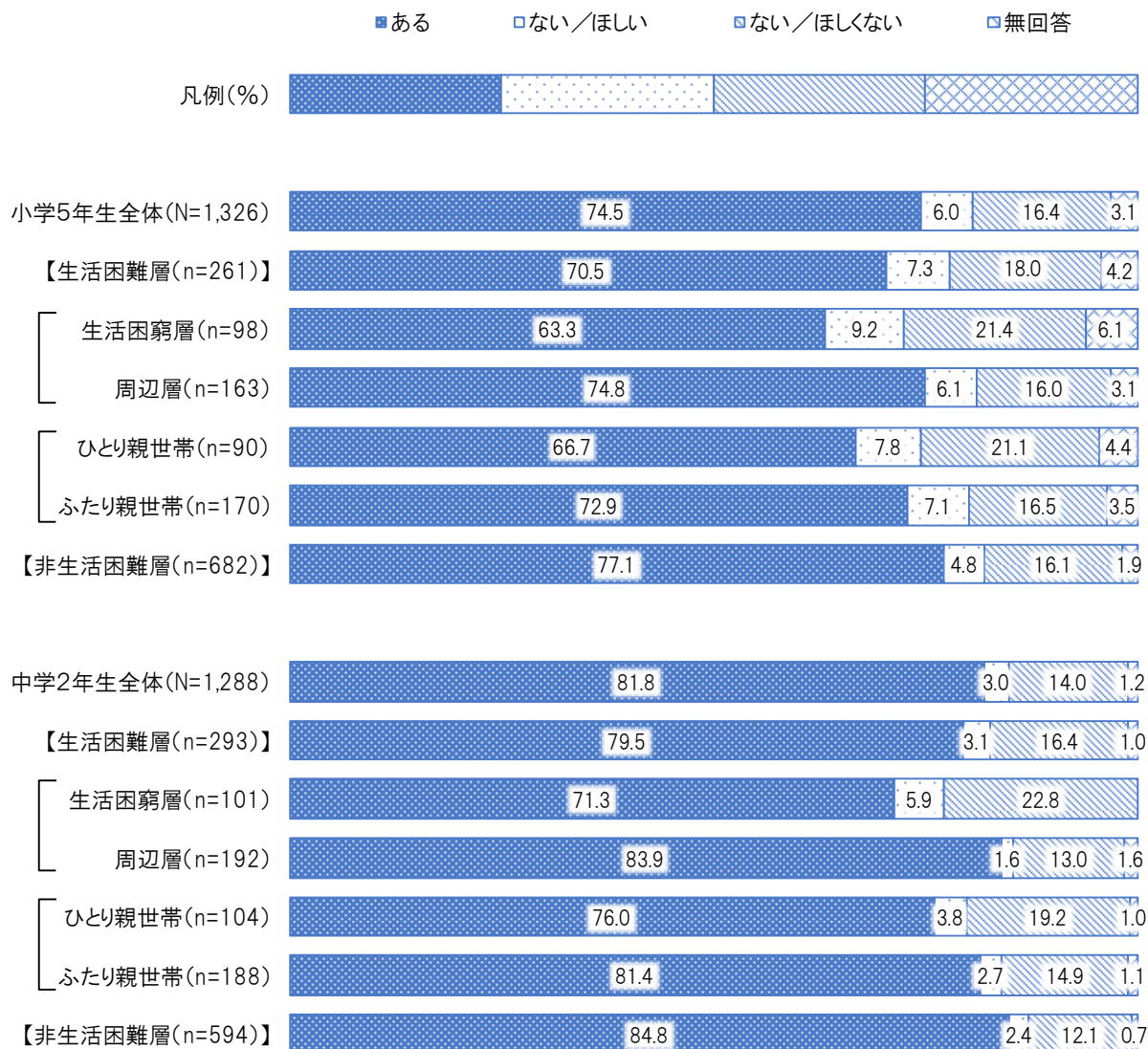
自分専用の勉強机について「ない／ほしい」の割合は、小学5年生の生活困窮層で18.4%、周辺層で15.3%となっている。中学2年生では、生活困窮層で13.9%、周辺層で7.8%となっており、生活困窮層で高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「ない／ほしい」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



F スポーツ用品（野球のグローブや、サッカーボールなど）

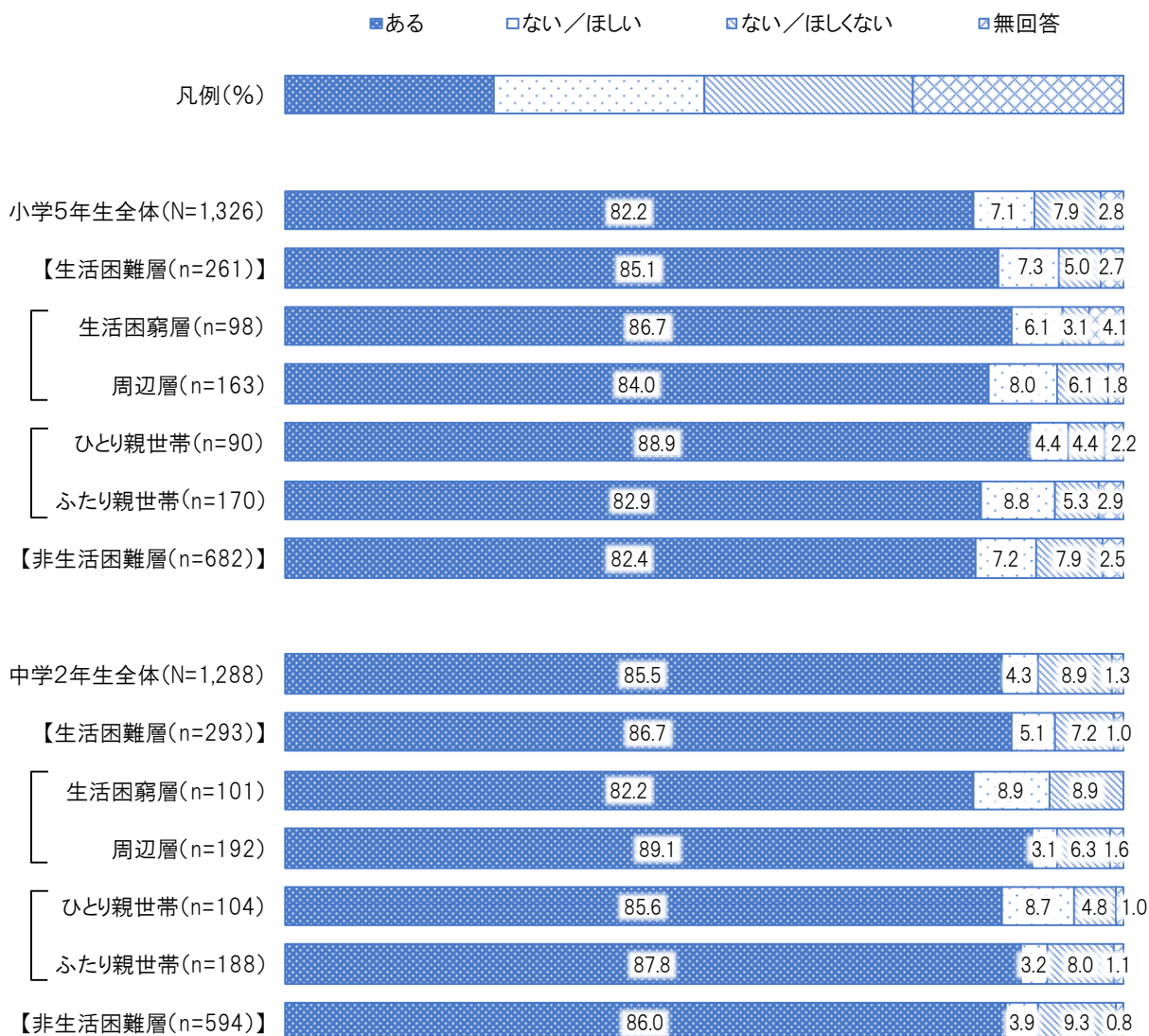
スポーツ用品（野球のグローブや、サッカーボールなど）について「ない／ほしい」の割合は、小学5年生の生活困窮層で 9.2%，周辺層で 6.1%となっている。中学2年生では、生活困窮層で 5.9%，周辺層で 1.6%となっており、生活困窮層でやや高くなっている。



G ゲーム機

ゲーム機について「ない／ほしい」の割合は、小学5年生の生活困窮層で6.1%、周辺層で8.0%となっている。中学2年生では、生活困窮層で8.9%、周辺層で3.1%となっており、生活困窮層で高くなっている。

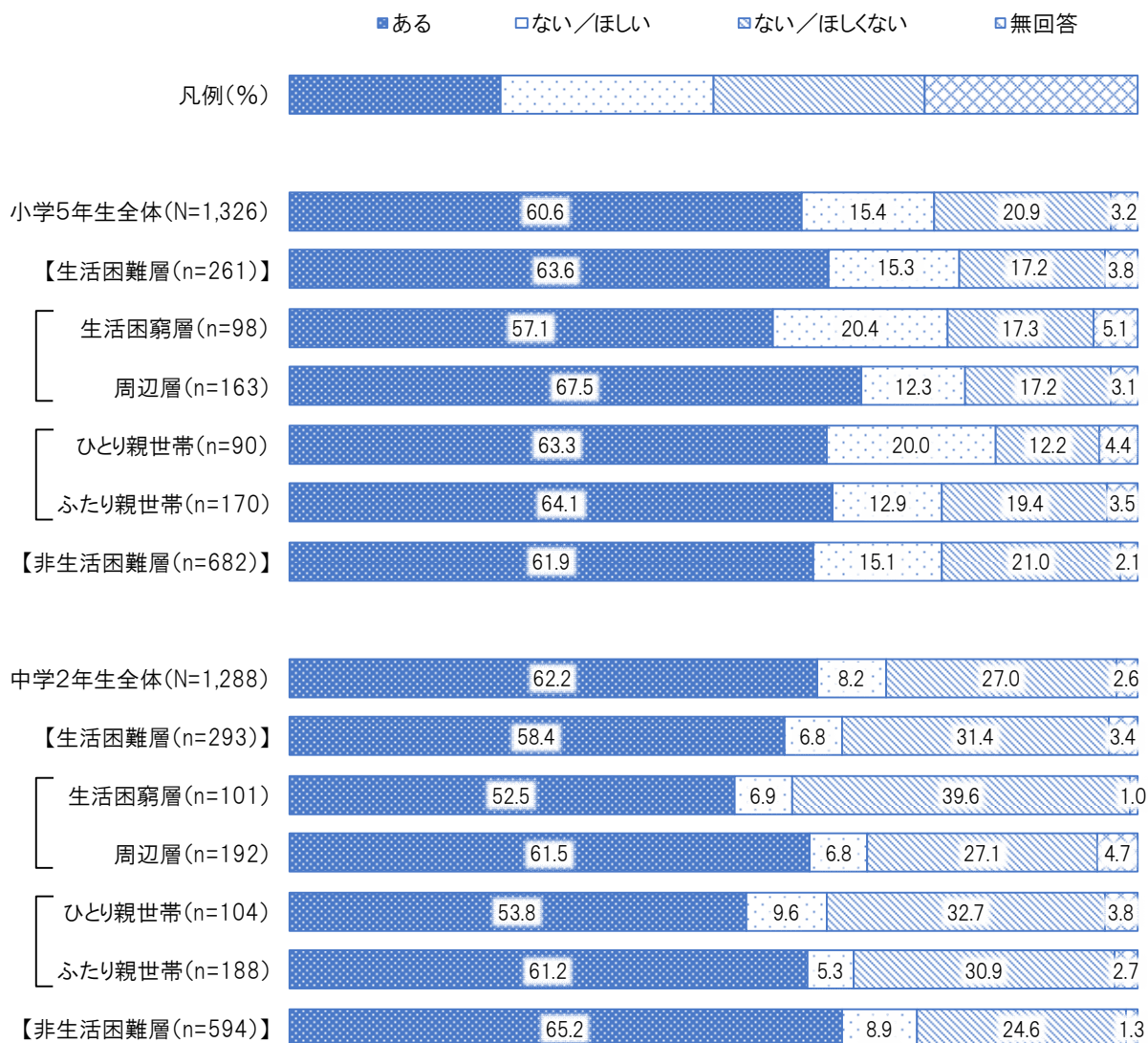
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生のふたり親世帯、中学2年生のひとり親世帯で「ない／ほしい」の割合が他の層に比べて高くなっている。



H たいていの友だちが持っているおもちゃ

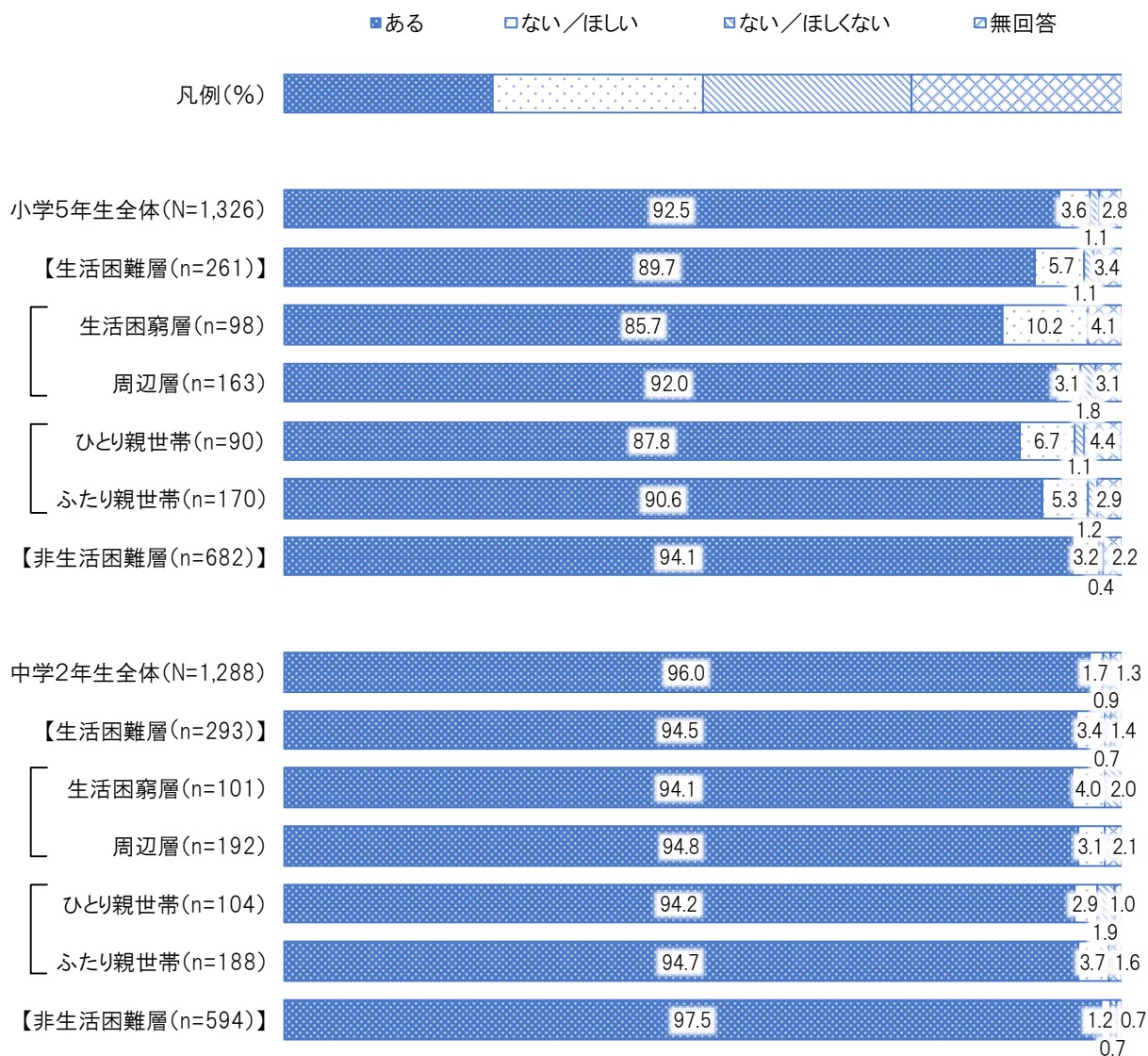
たいていの友だちが持っているおもちゃについて「ない／ほしい」の割合は、小学5年生の生活困窮層で20.4%、周辺層で12.3%となっており、生活困窮層で高くなっている。中学2年生では、生活困窮層で6.9%、周辺層で6.8%となっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともにひとり親世帯で「ない／ほしい」の割合が高くなっている。



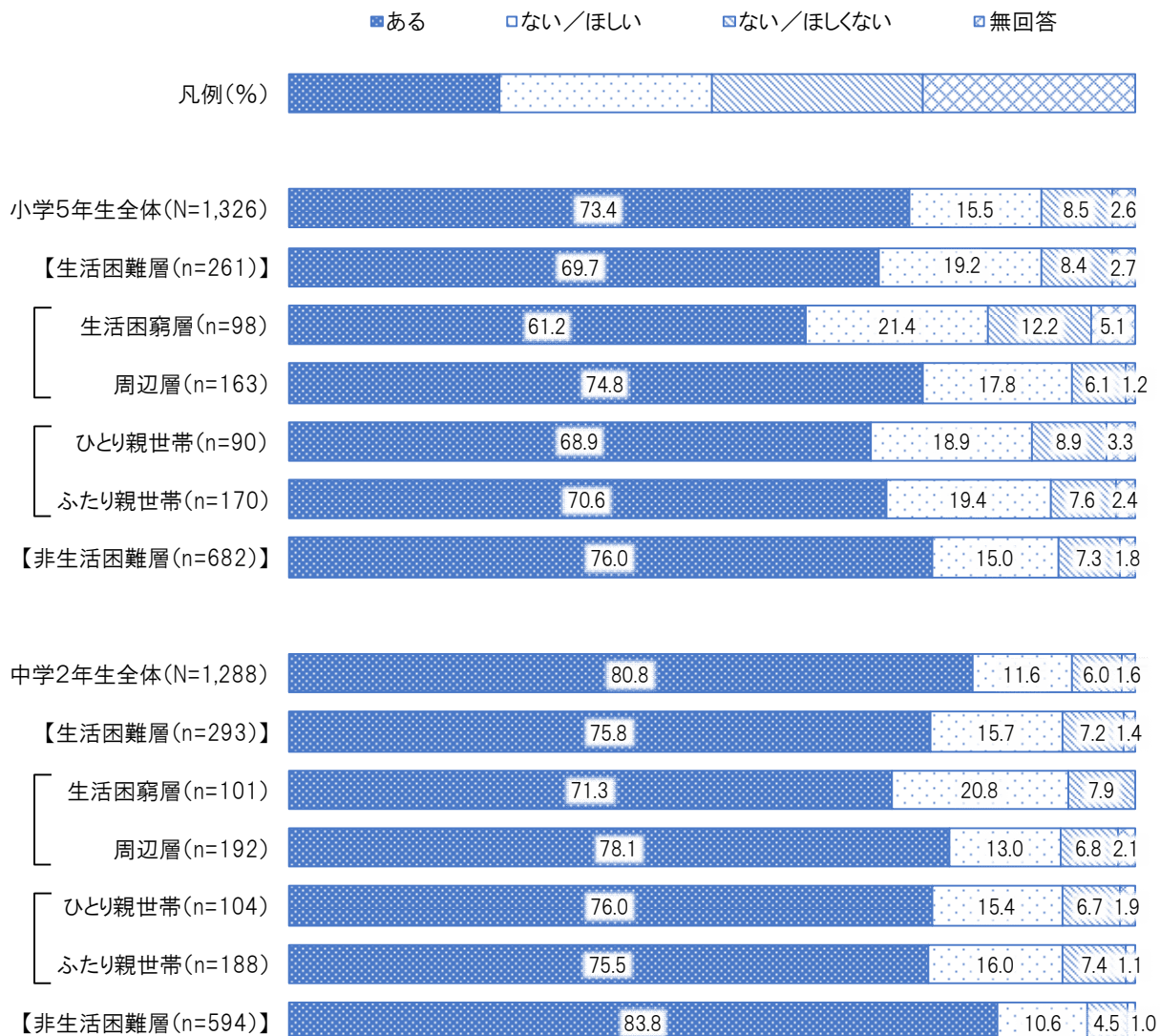
I 自転車

自転車について「ない／ほしい」の割合は、小学5年生の生活困窮層で10.2%、周辺層で3.1%となっており、生活困窮層で高くなっている。中学2年生では、生活困窮層で4.0%、周辺層で3.1%となっている。



J おやつや、ちょっとしたおもちゃを買うおこづかい

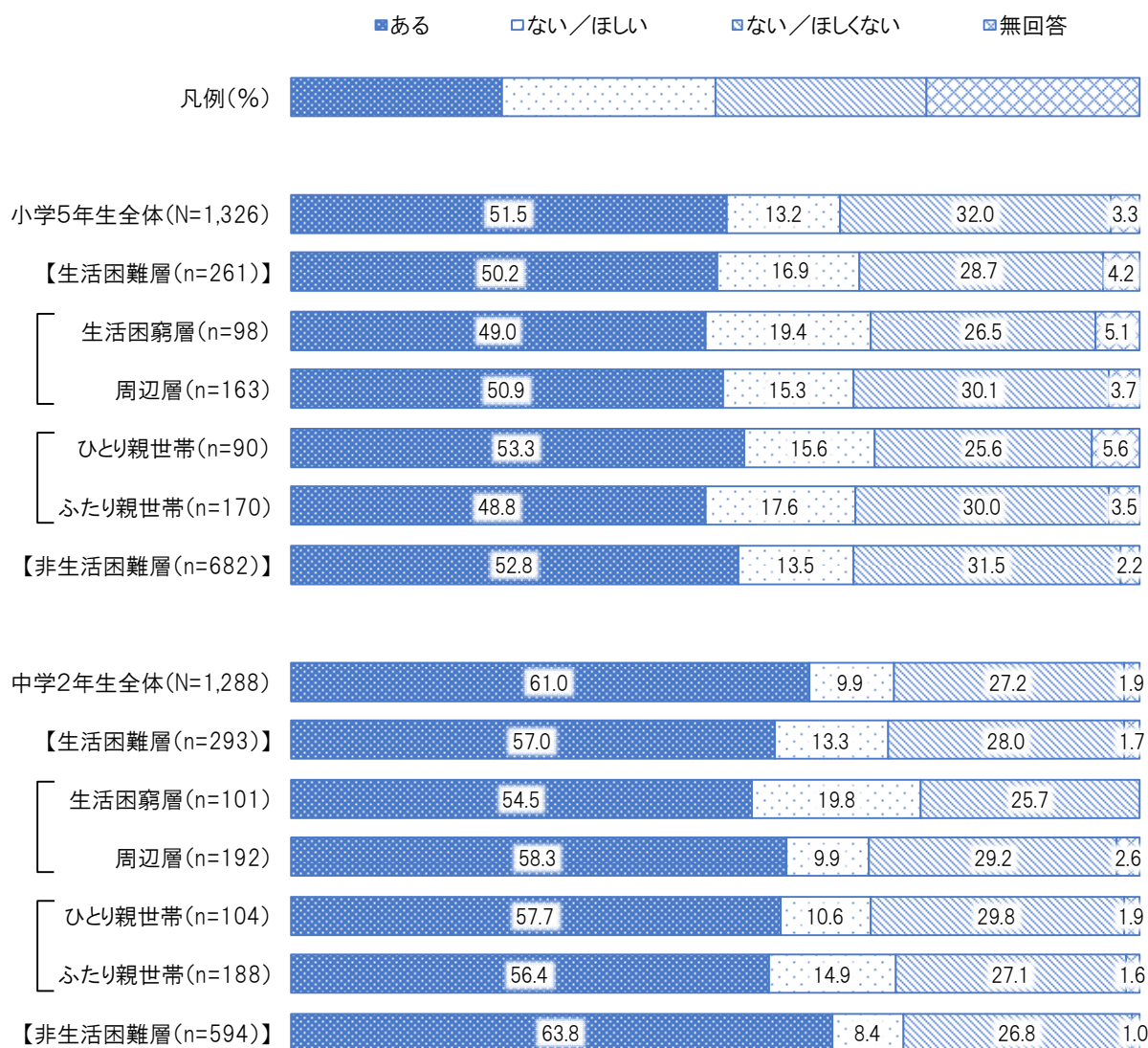
おやつや、ちょっとしたおもちゃを買うおこづかいについて「ない／ほしい」の割合は、小学5年生の生活困窮層で 21.4%，周辺層で 17.8%となっている。中学2年生では，生活困窮層で 20.8%，周辺層で 13.0%となっており，生活困窮層で高くなっている。



K 友だちが着ているのと同じような服

友だちが着ているのと同じような服について「ない／ほしい」の割合は、小学5年生の生活困窮層で19.4%，周辺層で15.3%となっている。中学2年生では、生活困窮層で19.8%，周辺層で9.9%となっており、生活困窮層で高くなっている。

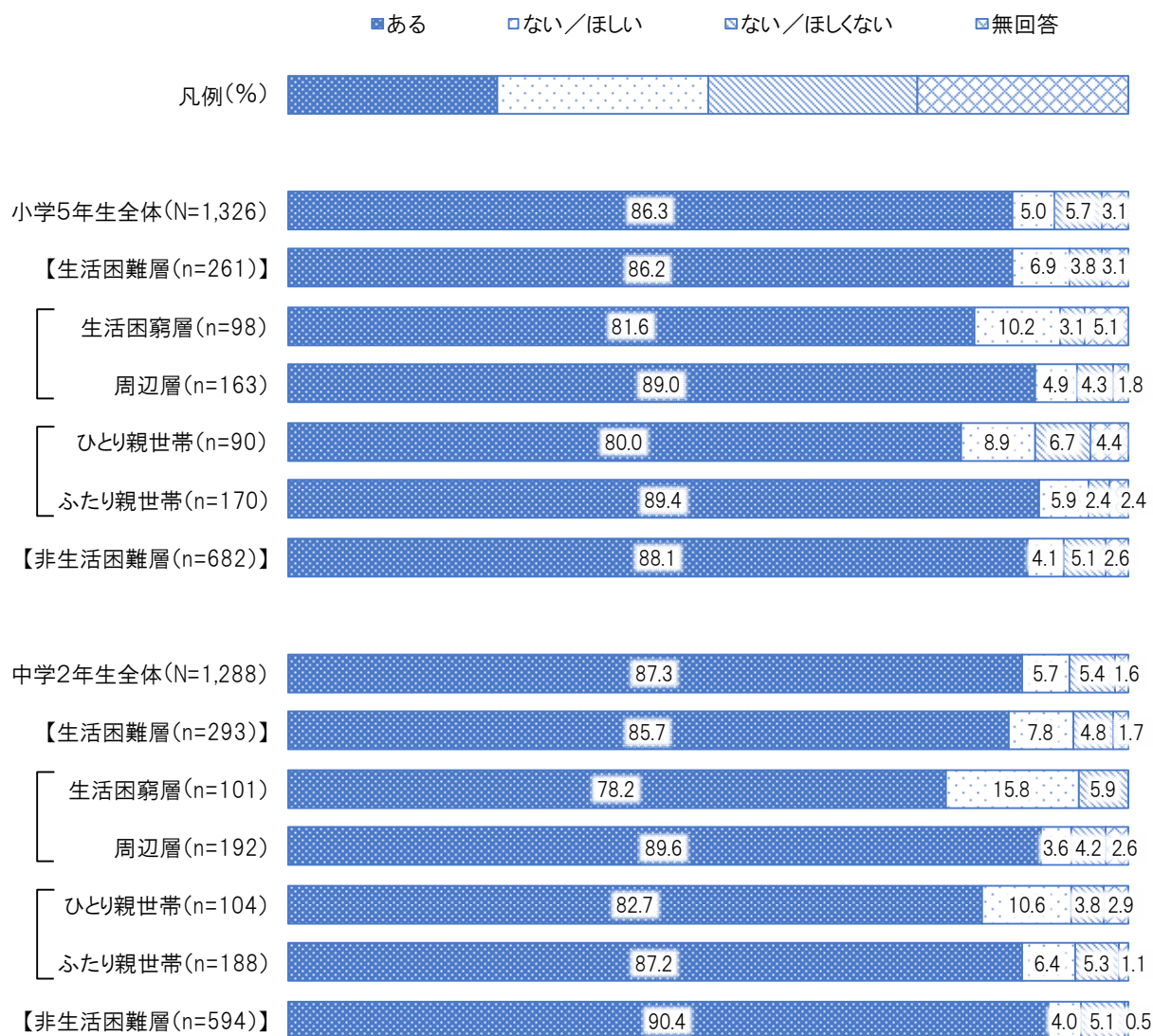
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のふたり親世帯で「ない／ほしい」の割合がひとり親世帯に比べて高くなっている。



L 2足以上のサイズのあった靴

2足以上のサイズのあった靴について「ない／ほしい」の割合は、小学5年生の生活困窮層で10.2%，周辺層で4.9%となっている。中学2年生では，生活困窮層で15.8%，周辺層で3.6%となっており，生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

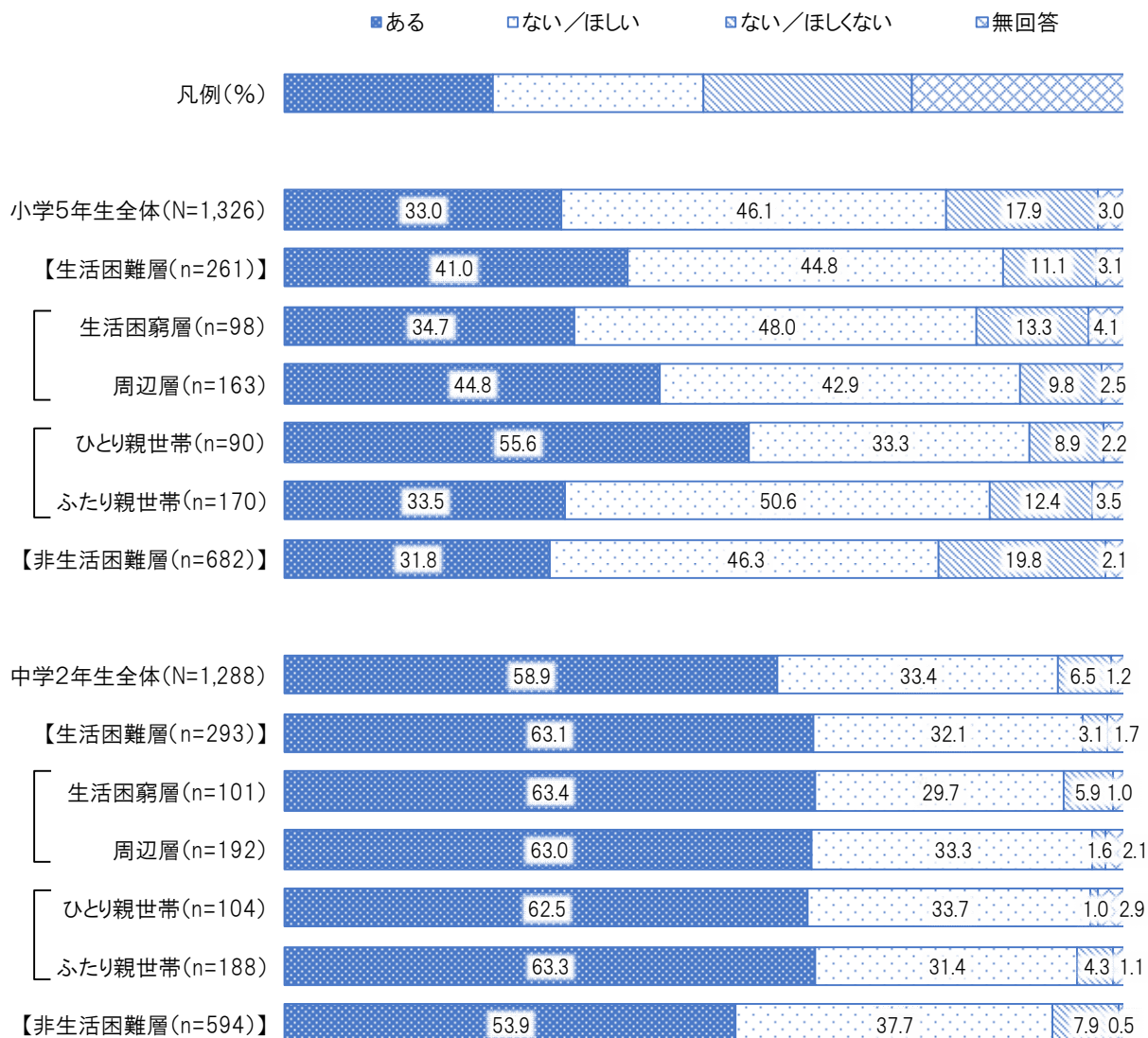
生活困難層世帯タイプ別では，小学5年保護者，中学2年保護者ともに，ひとり親世帯で「ない／ほしい」の割合が高くなっている。



M 携帯電話，スマートフォン

携帯電話，スマートフォンについて「ない／ほしい」の割合は，小学5年生の生活困窮層で48.0%，周辺層で42.9%となっており，生活困窮層で高くなっている。中学2年生では，生活困窮層で29.7%，周辺層で33.3%となっている。

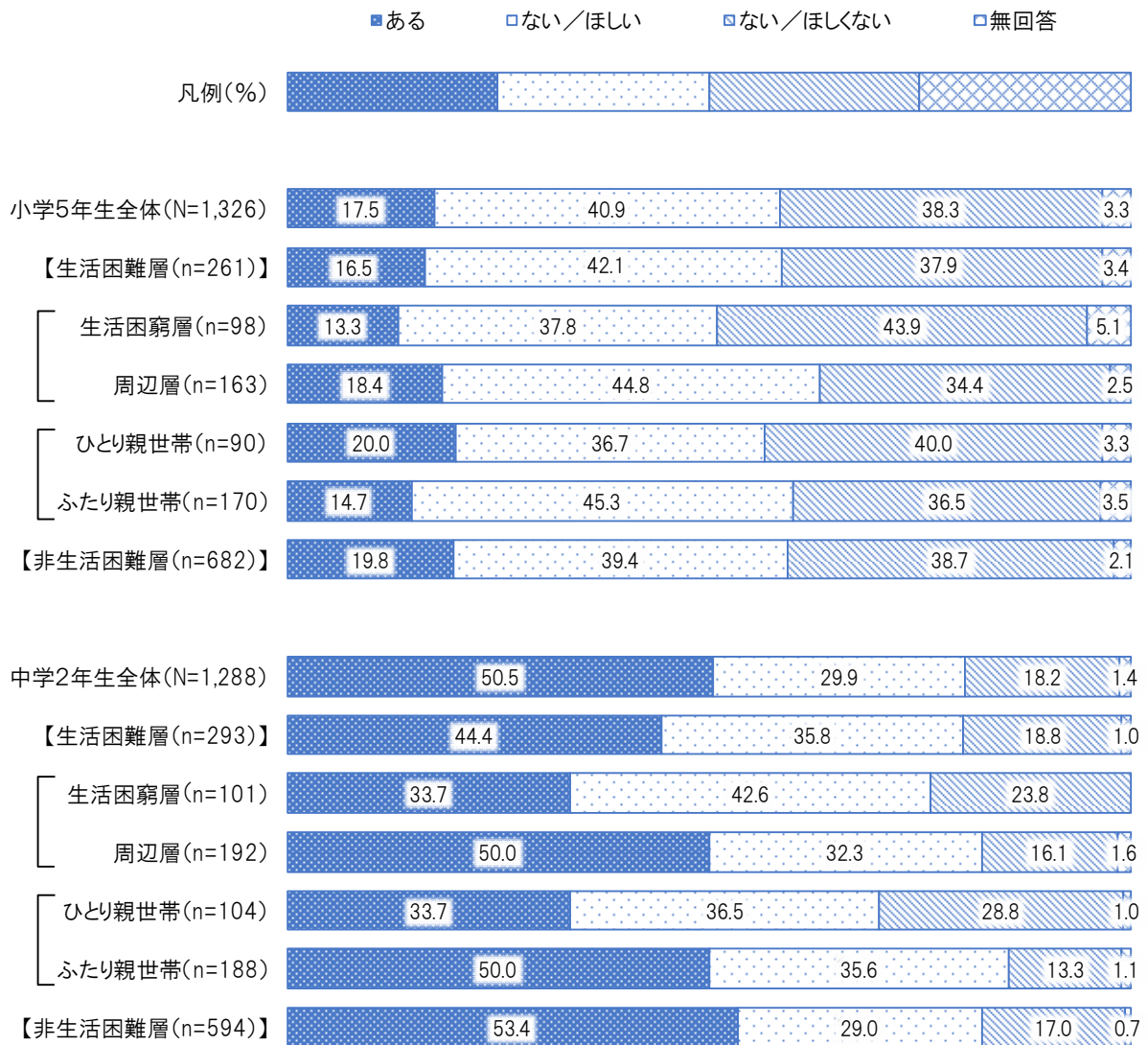
生活困難層世帯タイプ別では，小学5年生のふたり親世帯で「ない／ほしい」の割合がひとり親世帯を大きく上回っている。



N 携帯音楽プレーヤー

携帯音楽プレーヤーについて「ない／ほしい」の割合は、小学5年生の生活困窮層で37.8%、周辺層で44.8%となっている。中学2年生では、生活困窮層で42.6%、周辺層で32.3%となっており、生活困窮層で高くなっている。

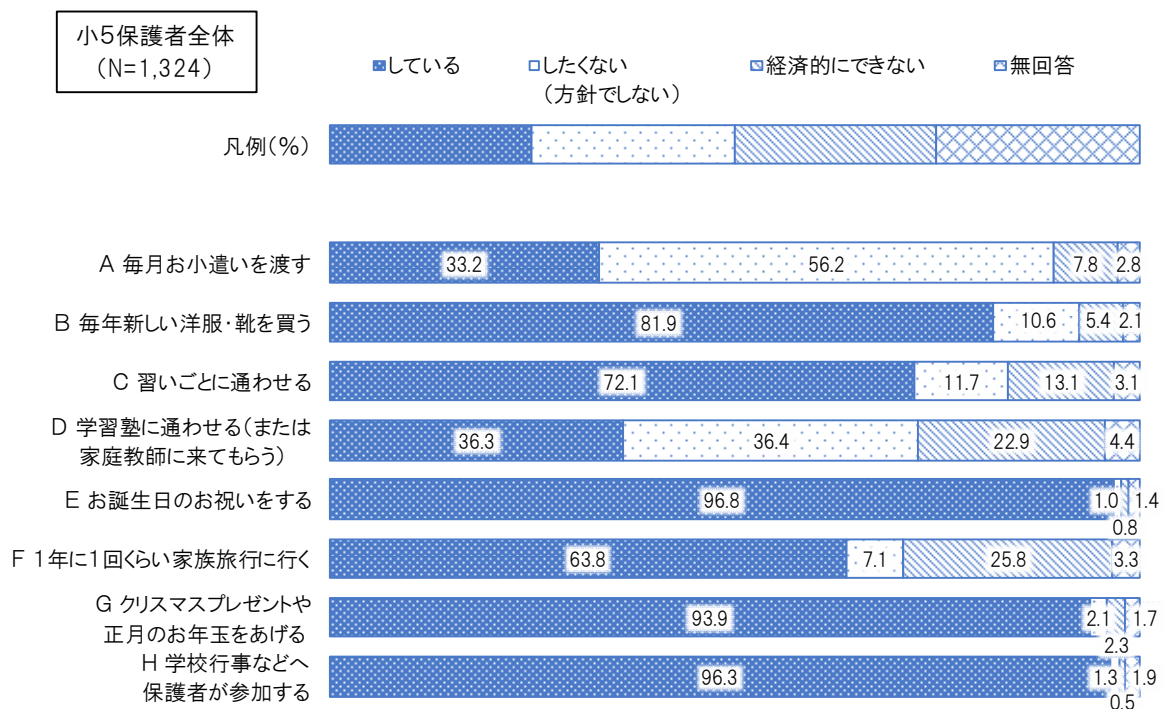
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生のふたり親世帯で「ない／ほしい」の割合がひとり親世帯に比べて高くなっている。



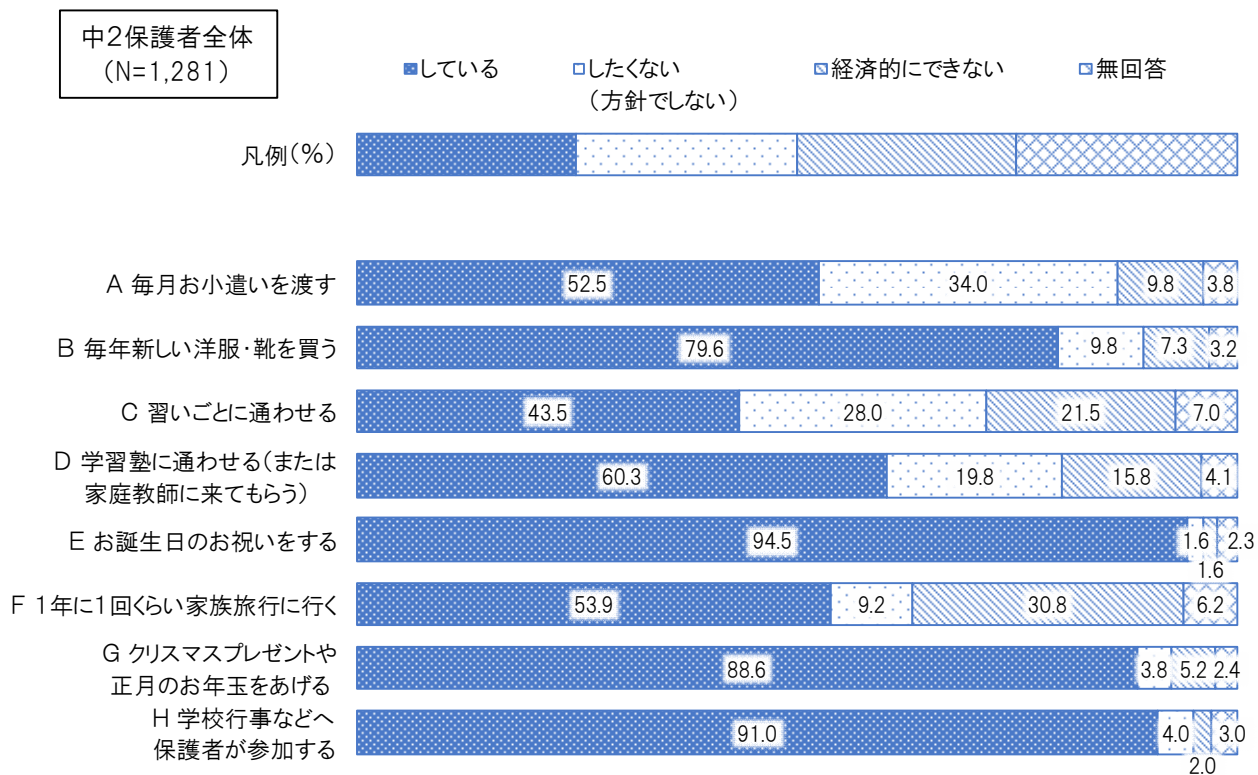
(2) 子どもへの支出

保／問 35 あなたの家庭では、お子さんに下のことをしていますか。A～Hについて、「1 している」「2 していない、したくない（方針でしない）」「3 していない、経済的にできない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

子どもへの支出については、小学5年保護者全体では「経済的にできない」の割合が高い順に「F 1年に1回くらい家族旅行に行く」(25.8%)、「D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）」(22.9%)、「C 習いごとに通わせる」(13.1%)となっている。また、「したくない（方針でしない）」では「A 毎月お小遣いを渡す」(56.2%)、「D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）」(36.4%)などがあげられる。

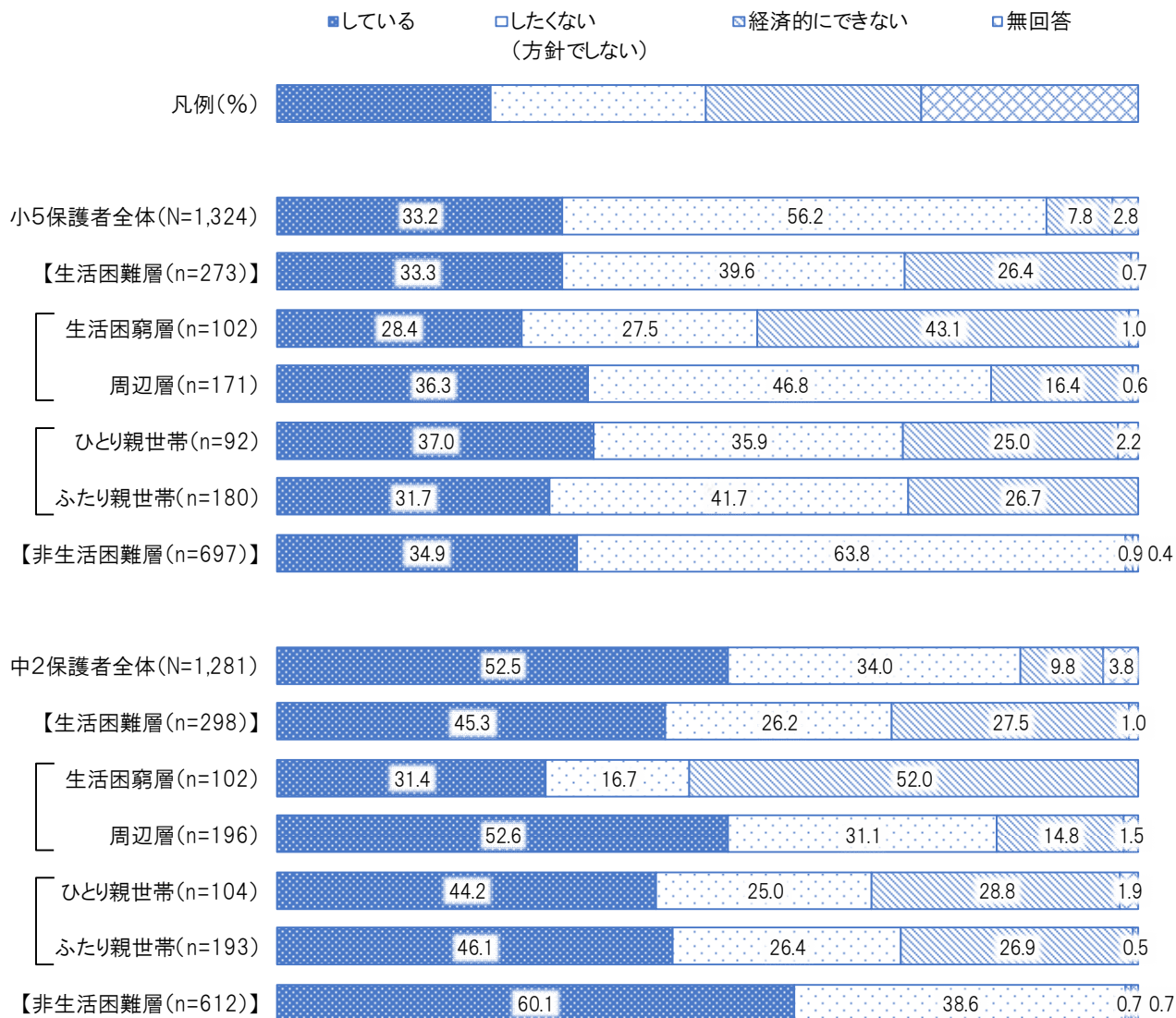


中学2年保護者全体では「経済的にできない」の割合が高い順に「F 1年に1回くらい家族旅行に行く」(30.8%)、「C 習いごとに通わせる」(21.5%)、「D 学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」(15.8%)となっている。また、「したくない(方針でしない)」では「A 毎月お小遣いを渡す」(34.0%)、「C 習いごとに通わせる」(28.0%)、「D 学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」(19.8%)などがあげられる。



A 毎月お小遣いを渡す

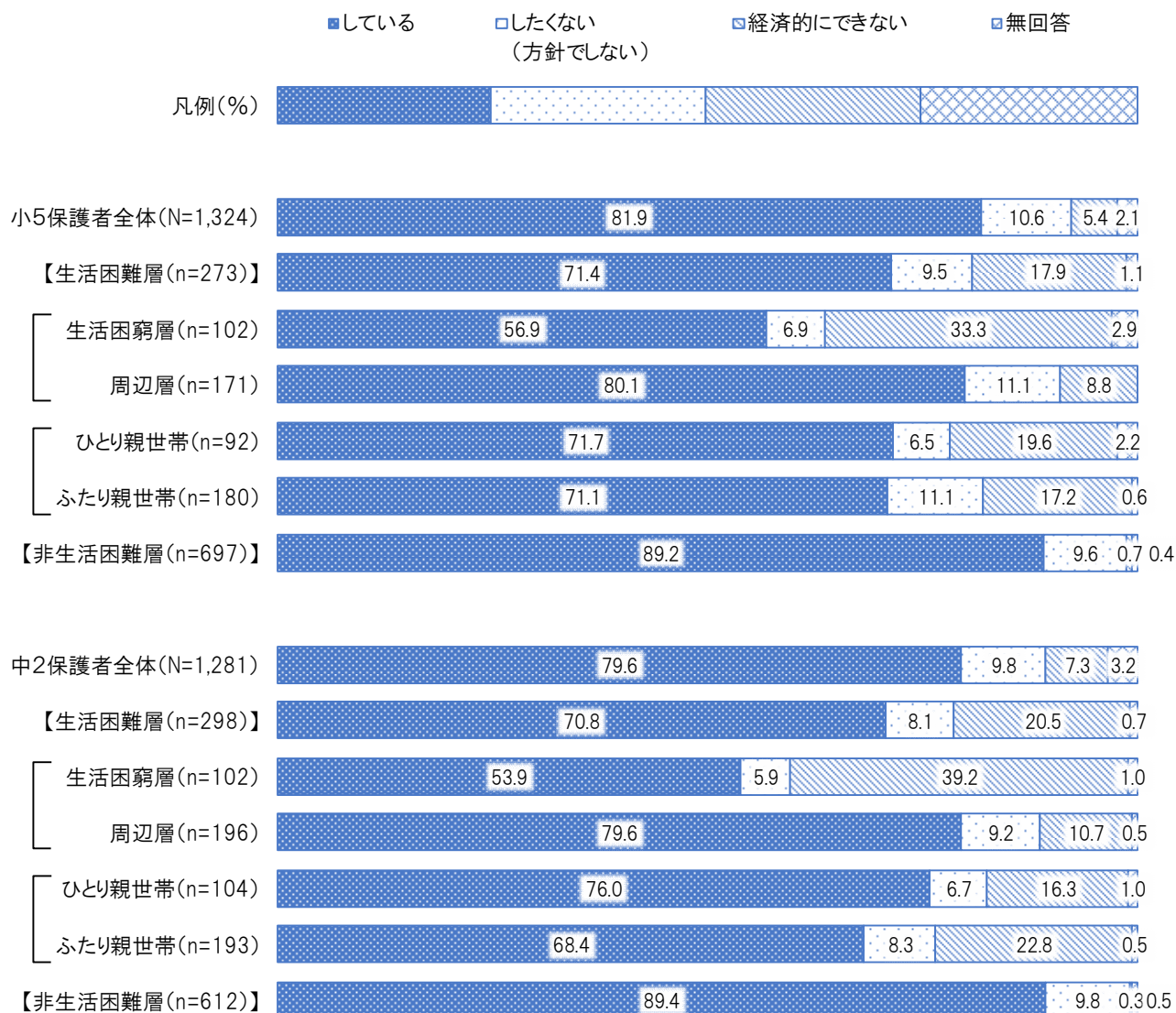
毎月お小遣いを渡すことについて「経済的にできない」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で43.1%、周辺層で16.4%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で52.0%、周辺層で14.8%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。



B 毎年新しい洋服・靴を買う

毎年新しい洋服・靴を買うことについて「経済的にできない」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で33.3%，周辺層で8.8%となっている。中学2年保護者では，生活困窮層で39.2%，周辺層で10.7%となっており，生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

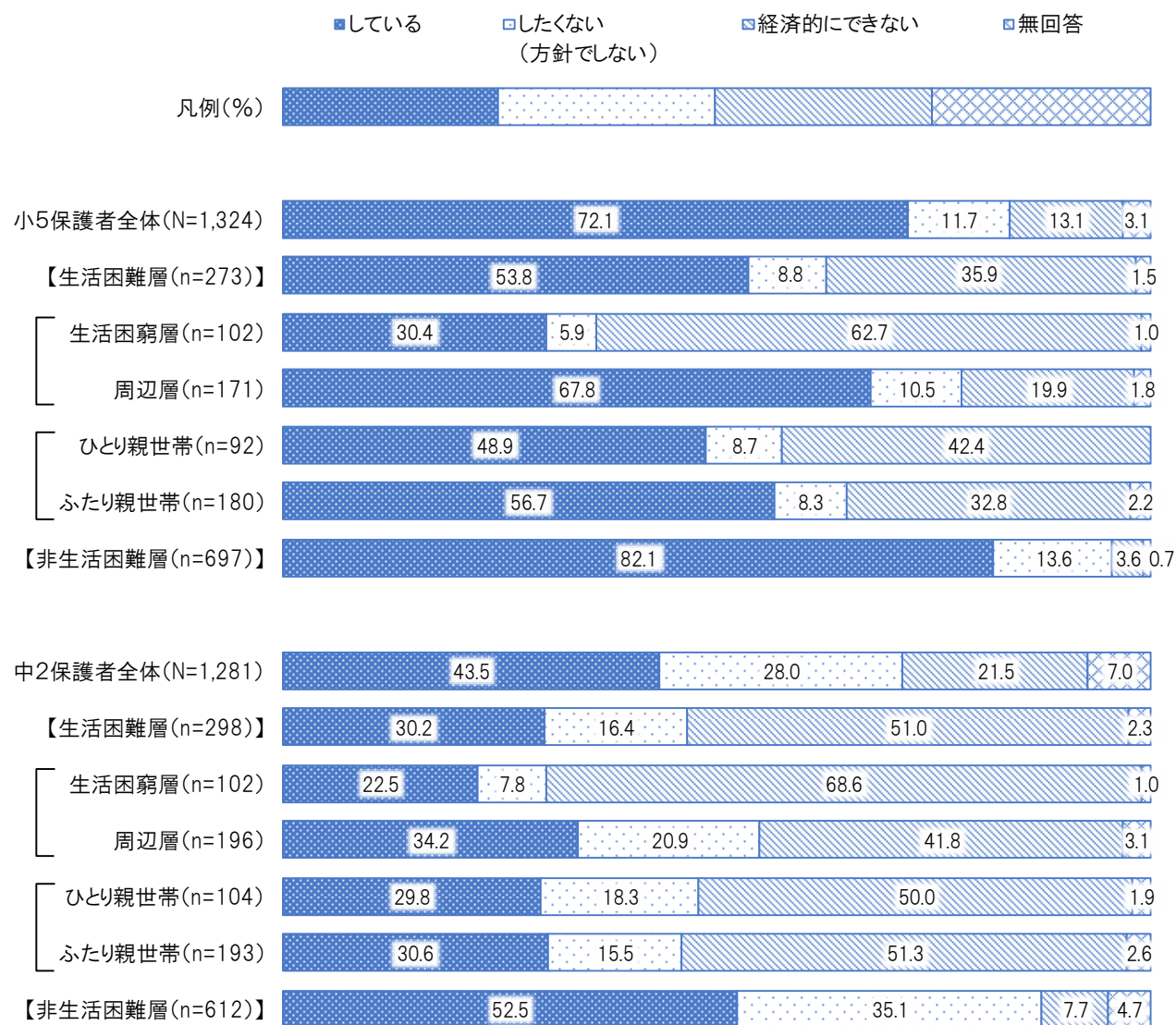
生活困難層世帯タイプ別では，中学2年保護者のふたり親世帯で「経済的にできない」の割合がひとり親世帯に比べて高くなっている。



C 習いごとに通わせる

習いごとに通わせることについて「経済的にできない」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で62.7%、周辺層で19.9%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で68.6%、周辺層で41.8%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

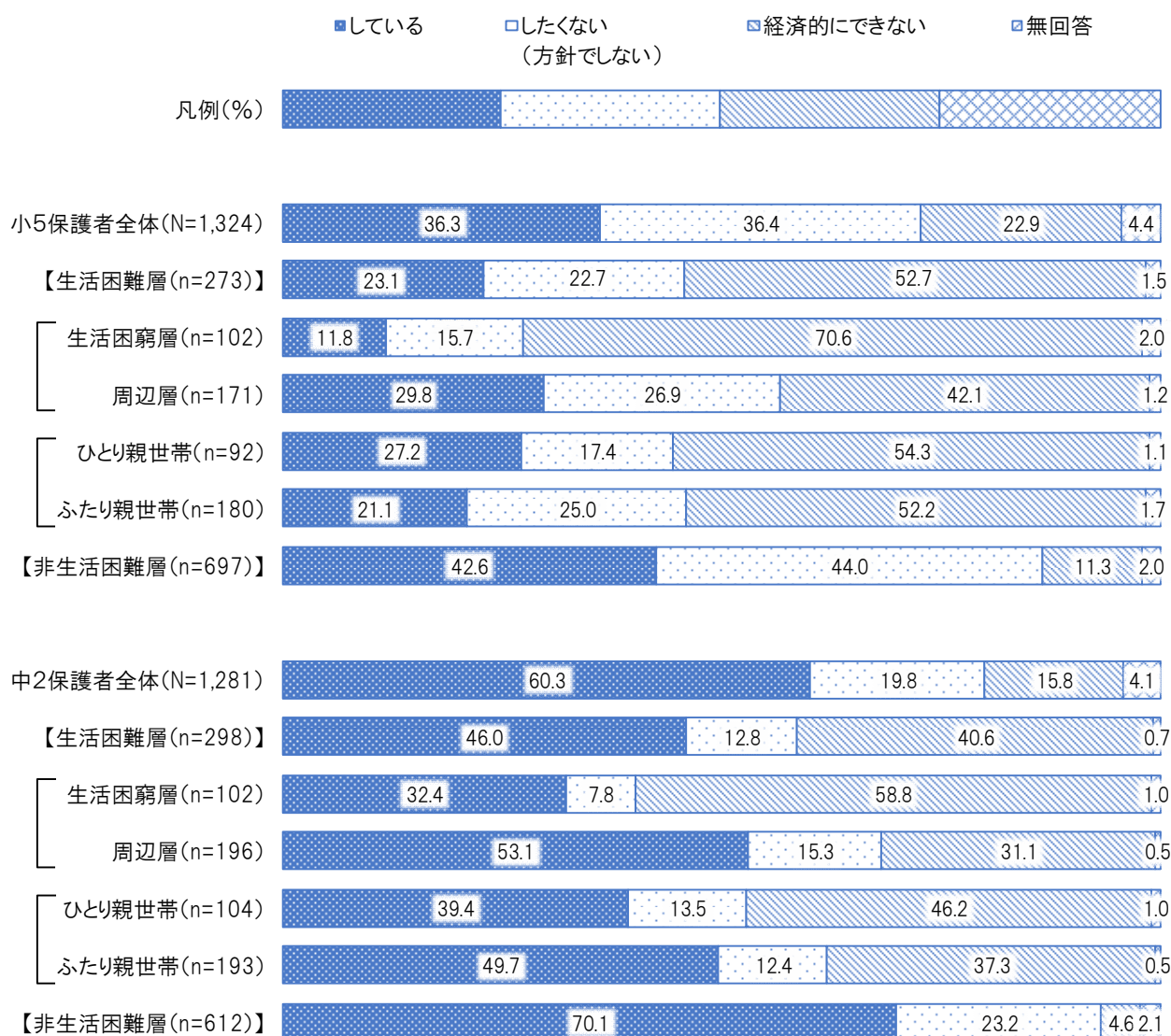
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のひとり親世帯で「経済的にできない」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）

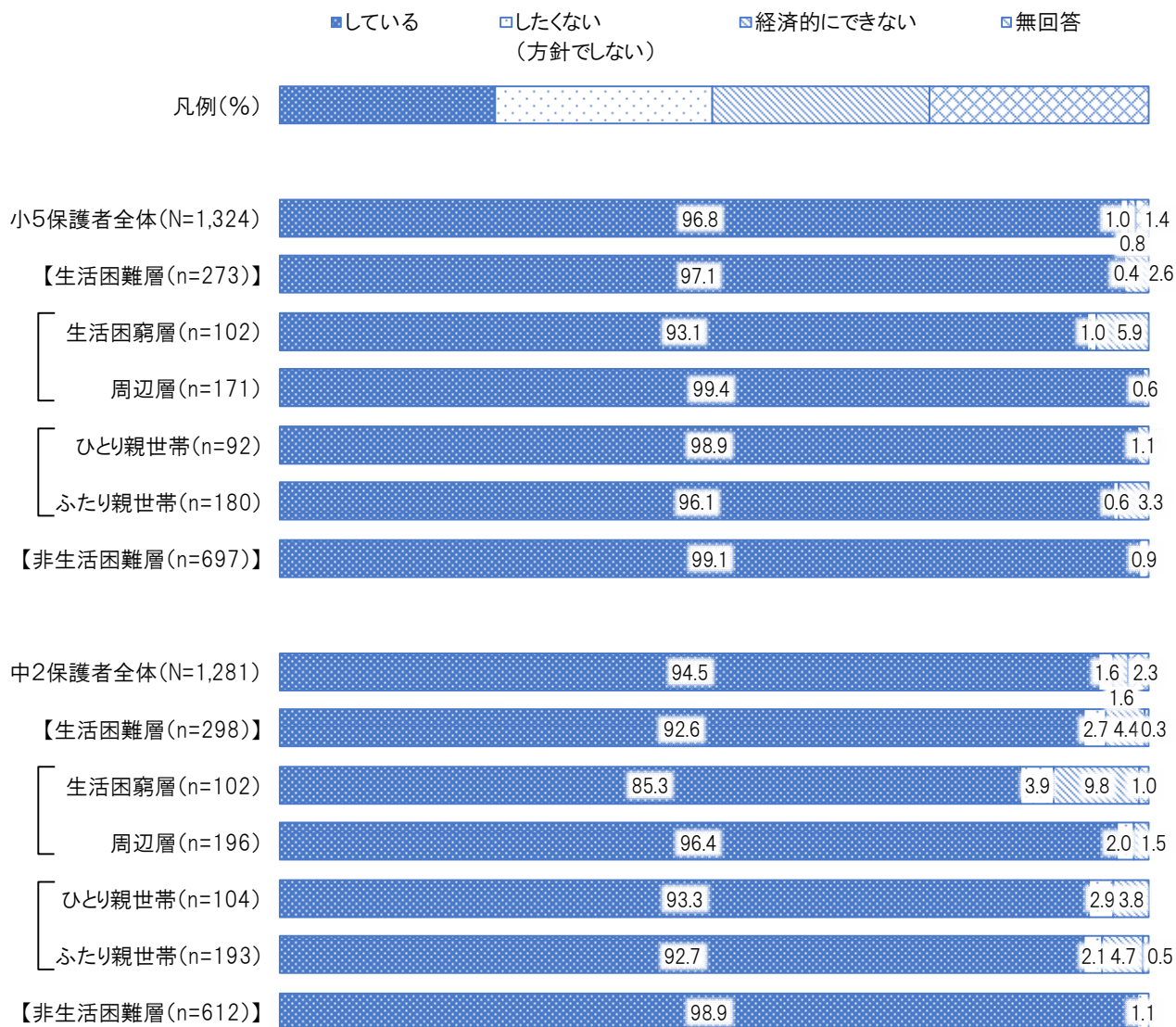
学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）ことについて「経済的にできない」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で70.6%、周辺層で42.1%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で58.8%、周辺層で31.1%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のひとり親世帯で「経済的にできない」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



E お誕生日のお祝いをする

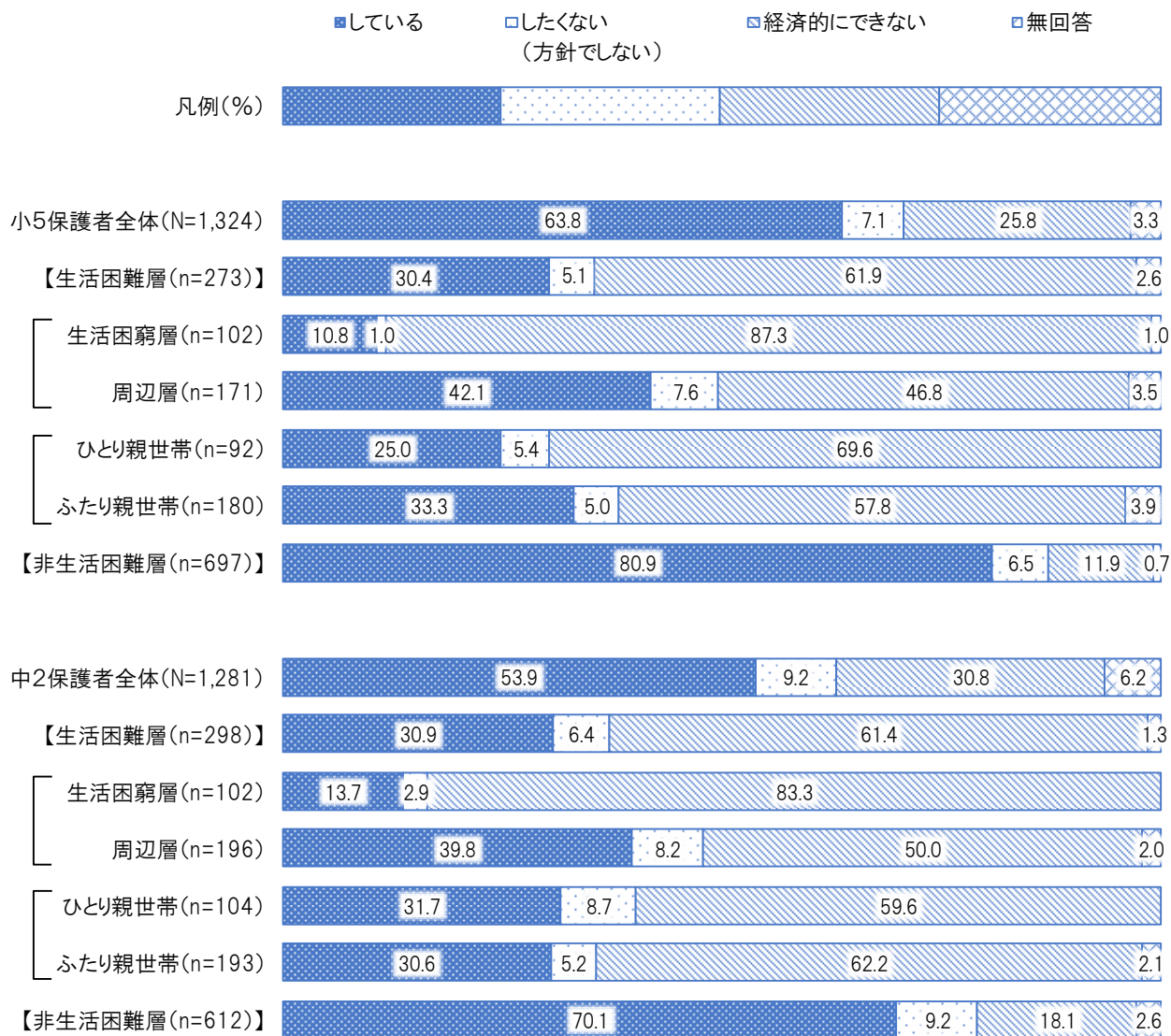
お誕生日のお祝いをするについて「経済的にできない」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で5.9%、周辺層で0.6%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で9.8%、周辺層で1.5%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。



F 1年に1回くらい家族旅行に行く

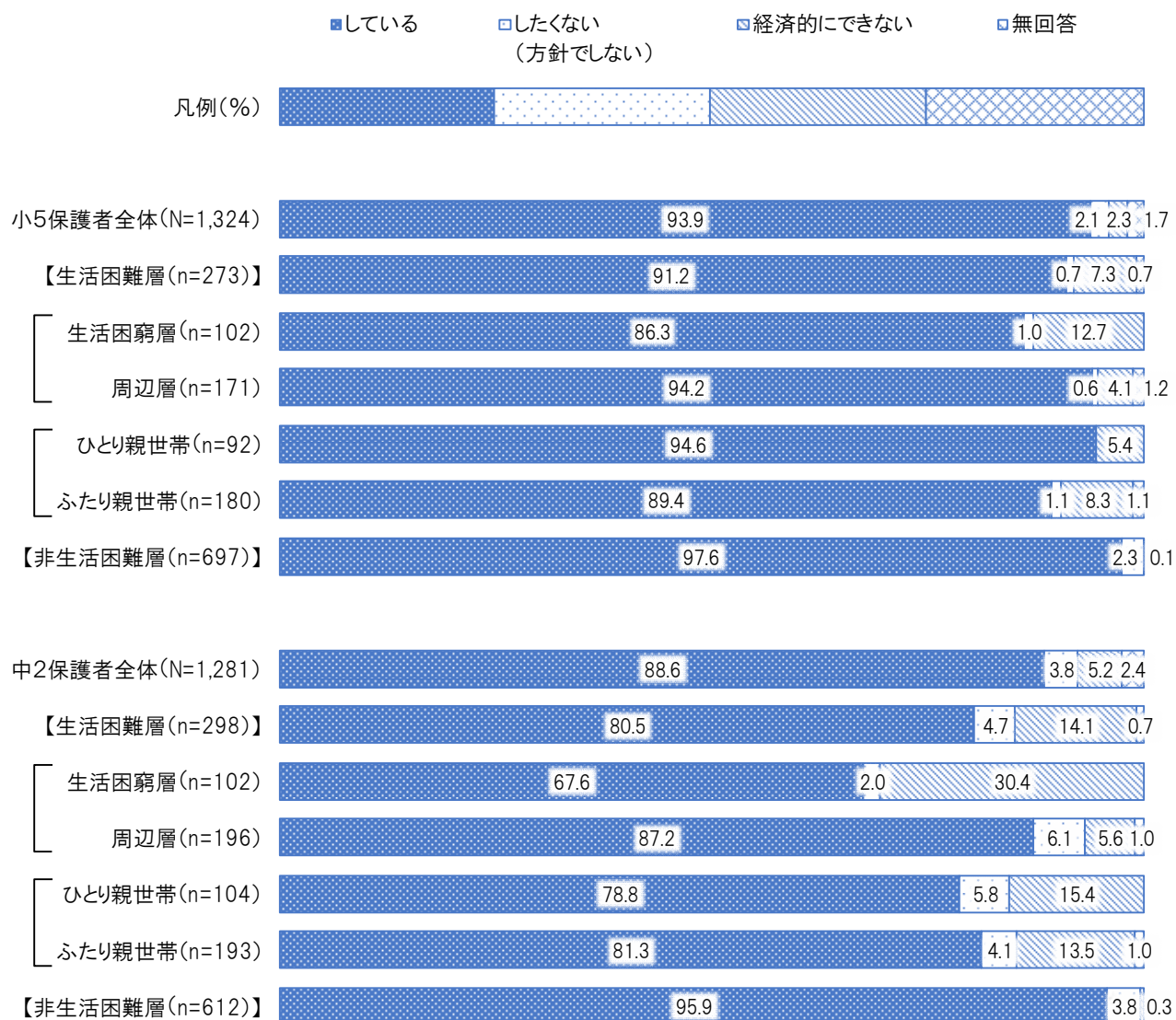
1年に1回くらい家族旅行に行くことについて「経済的にできない」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で87.3%、周辺層で46.8%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で83.3%、周辺層で50.0%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のひとり親世帯で「経済的にできない」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



G クリスマスプレゼントや正月のお年玉をあげる

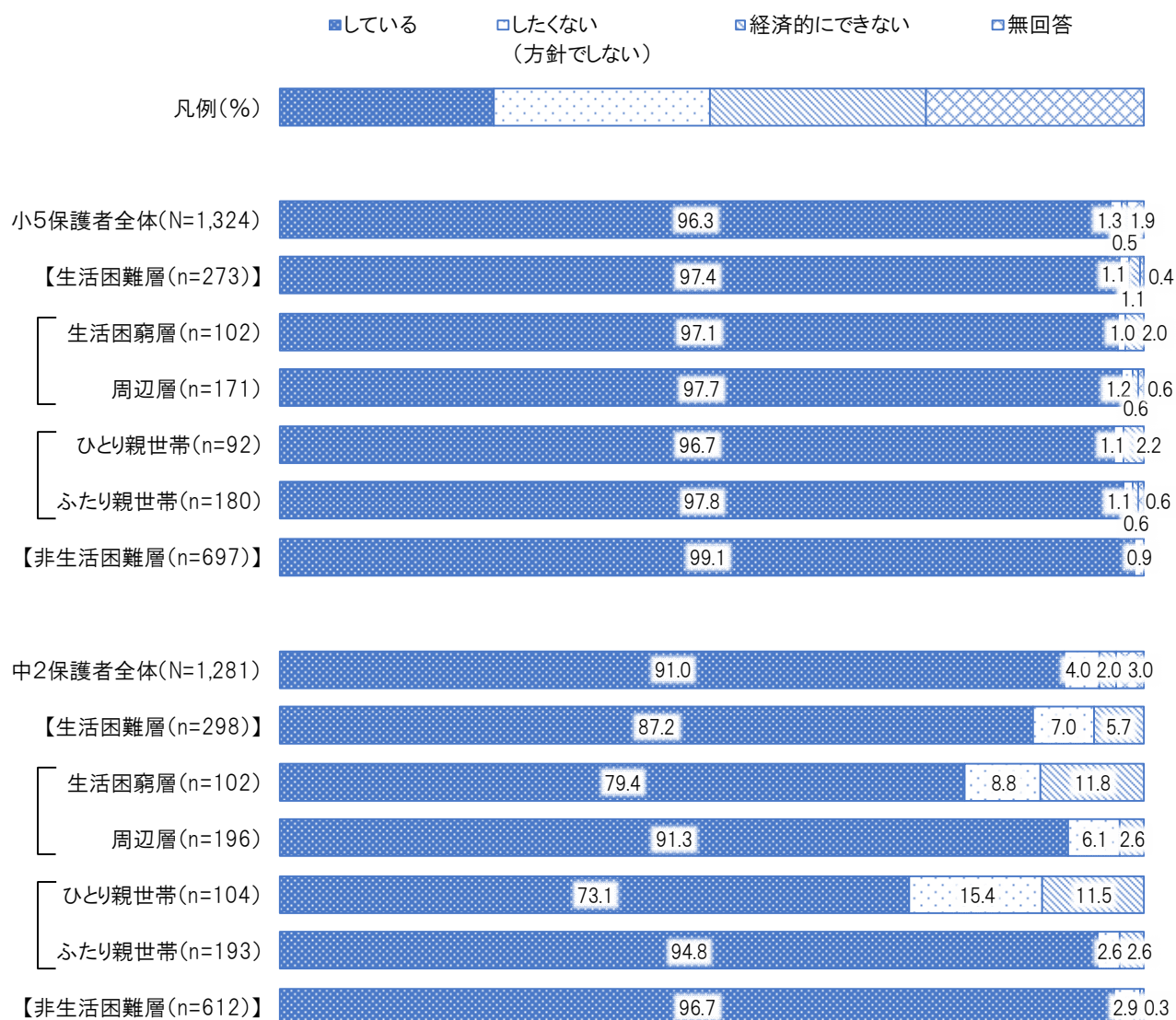
クリスマスプレゼントや正月のお年玉をあげることについて「経済的にできない」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で12.7%、周辺層で4.1%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で30.4%、周辺層で5.6%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。



H 学校行事などへ保護者が参加する

学校行事などへ保護者が参加することについて「経済的にできない」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で2.0%、周辺層で0.6%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で11.8%、周辺層で2.6%となっており、生活困窮層で高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のひとり親世帯で「したくない（方針ではない）」「経済的にできない」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。

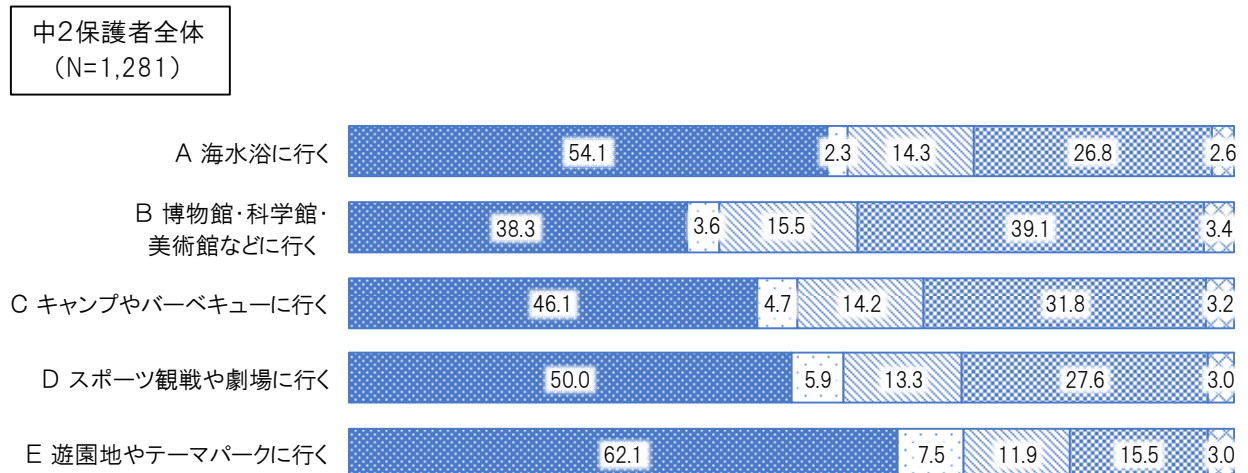
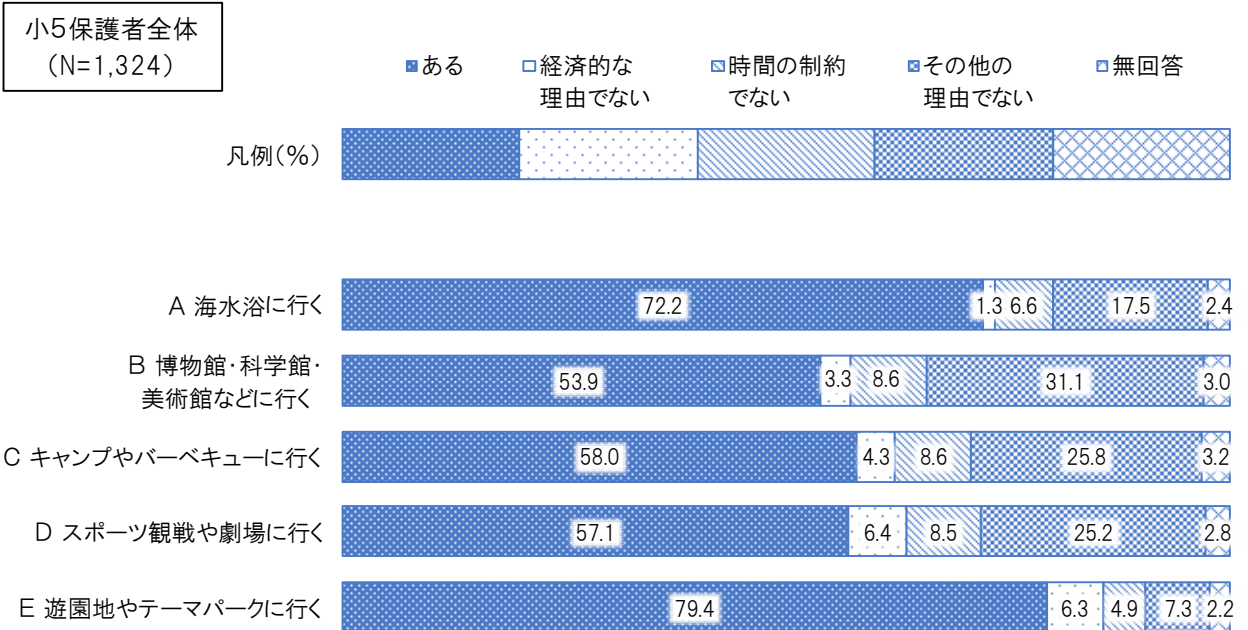


(3) 子どもの体験

保／問 27 あなたの家庭では、お子さんと次のような体験をすることがありますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

子どもの体験については、小学5年保護者全体では「経済的な理由でない」の割合が高い順に「D スポーツ観戦や劇場に行く」(6.4%), 「E 遊園地やテーマパークに行く」(6.3%), 「C キャンプやバーベキューに行く」(4.3%) となっている。また、「時間の制約でない」では「B 博物館・科学館・美術館などに行く」「C キャンプやバーベキューに行く」(各8.6%), 「D スポーツ観戦や劇場に行く」(8.5%) などがあげられる。

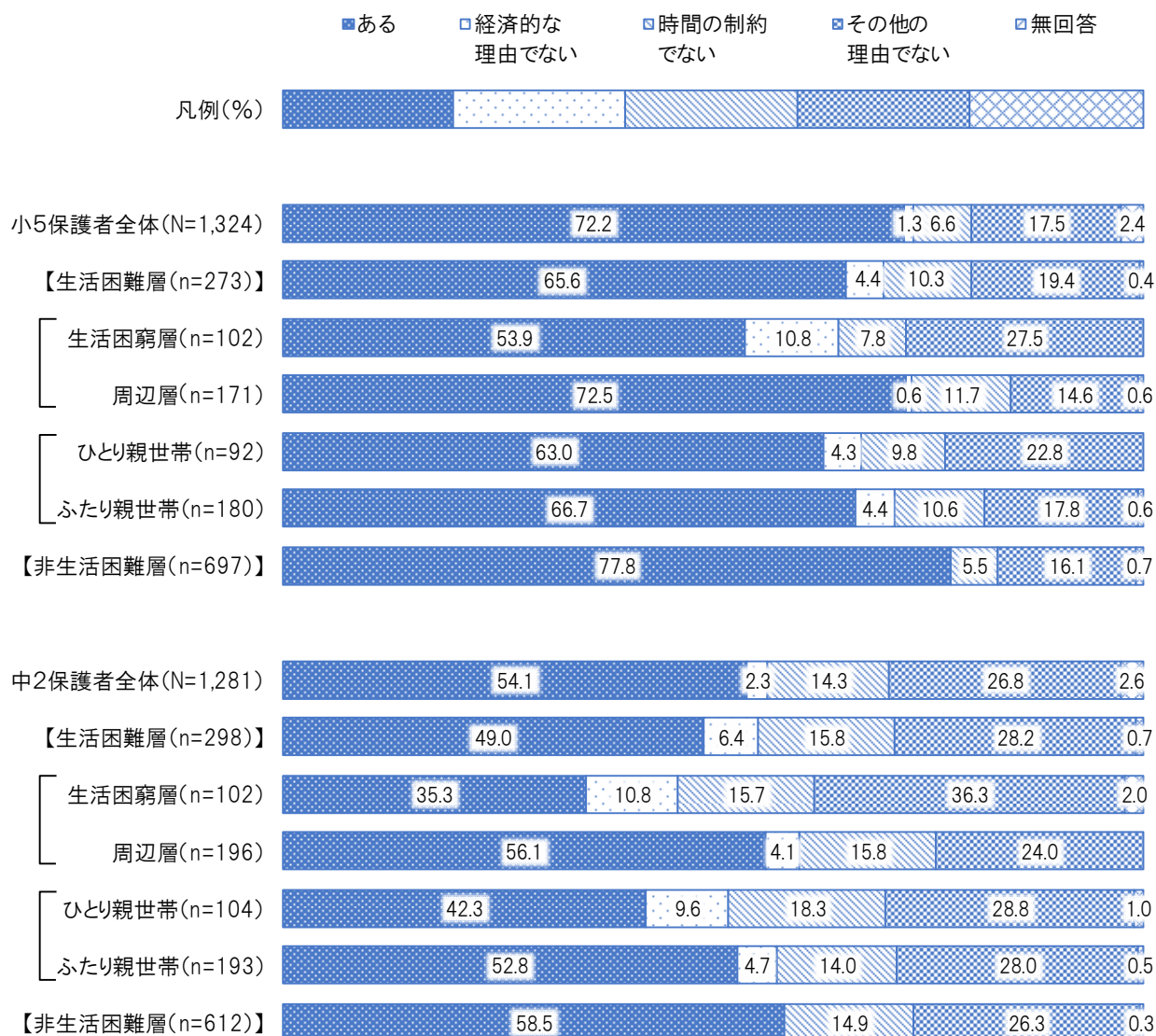
中学2年保護者全体では、「経済的な理由でない」の割合が高い順に「E 遊園地やテーマパークに行く」(7.5%), 「D スポーツ観戦や劇場に行く」(5.9%), 「C キャンプやバーベキューに行く」(4.7%) となっている。また、「時間の制約でない」では「B 博物館・科学館・美術館などに行く」(15.5%), 「A 海水浴に行く」(14.3%), 「C キャンプやバーベキューに行く」(14.2%) などがあげられる。



A 海水浴に行く

海水浴に行くことについて「経済的な理由でない」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で10.8%、周辺層で0.6%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で10.8%、周辺層で4.1%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

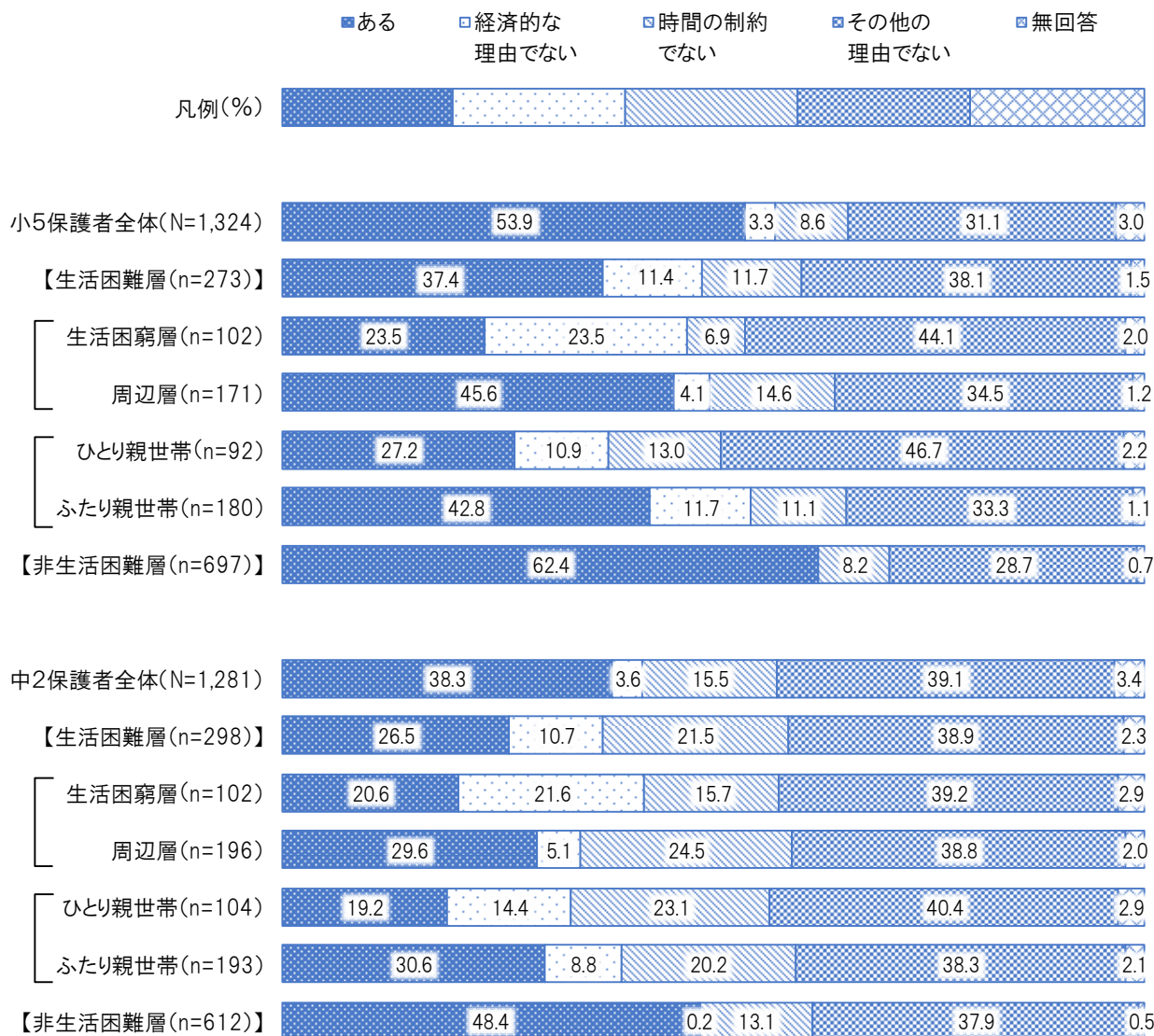
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のひとり親世帯で「経済的な理由でない」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



B 博物館・科学館・美術館などに行く

博物館・科学館・美術館などに行くことについて「経済的な理由でない」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で23.5%，周辺層で4.1%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で21.6%，周辺層で5.1%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

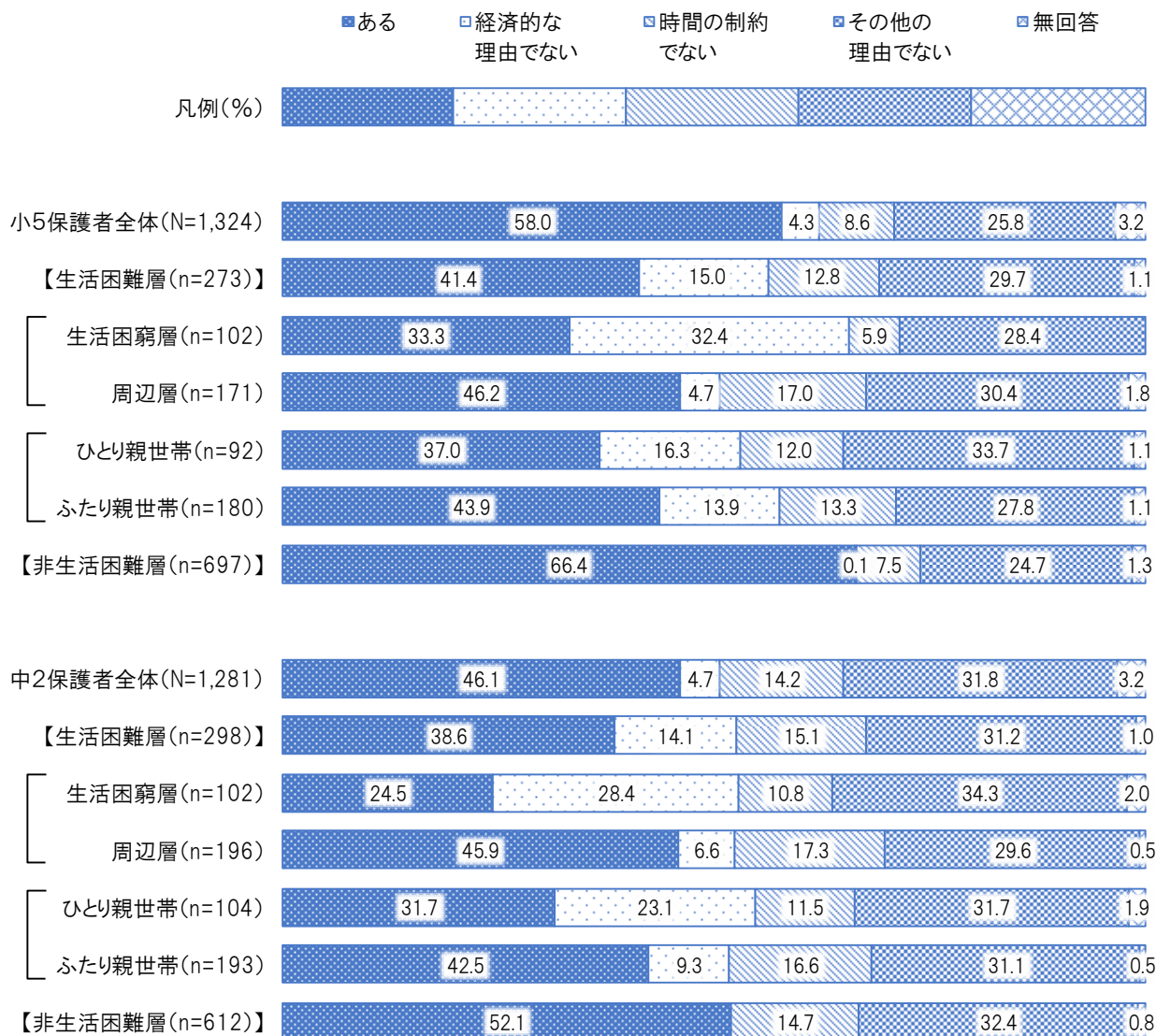
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のひとり親世帯で「経済的な理由でない」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



C キャンプやバーベキューに行く

キャンプやバーベキューに行くことについて「経済的な理由でない」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で32.4%、周辺層で4.7%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で28.4%、周辺層で6.6%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

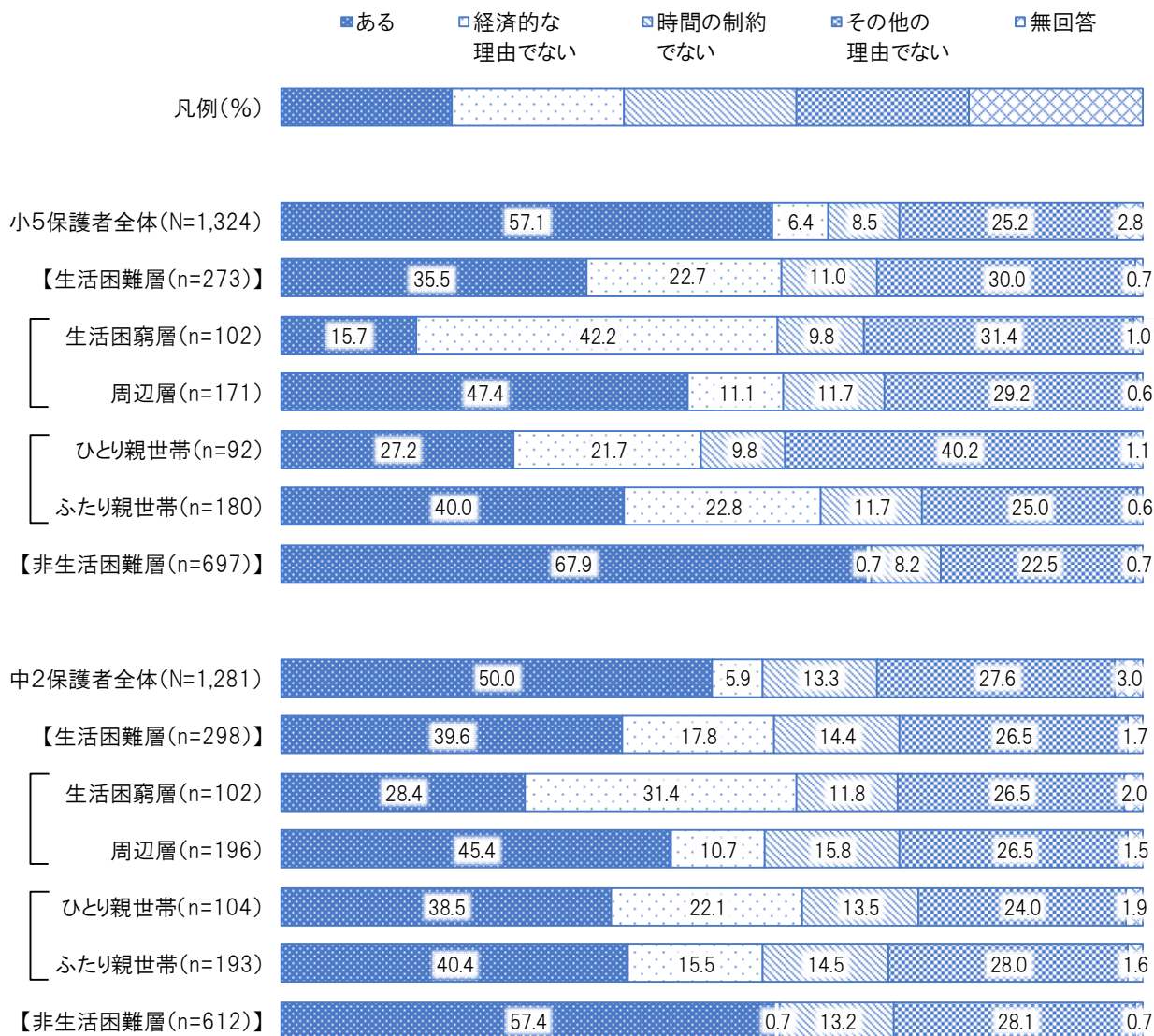
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のひとり親世帯で「経済的な理由でない」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



D スポーツ観戦や劇場に行く

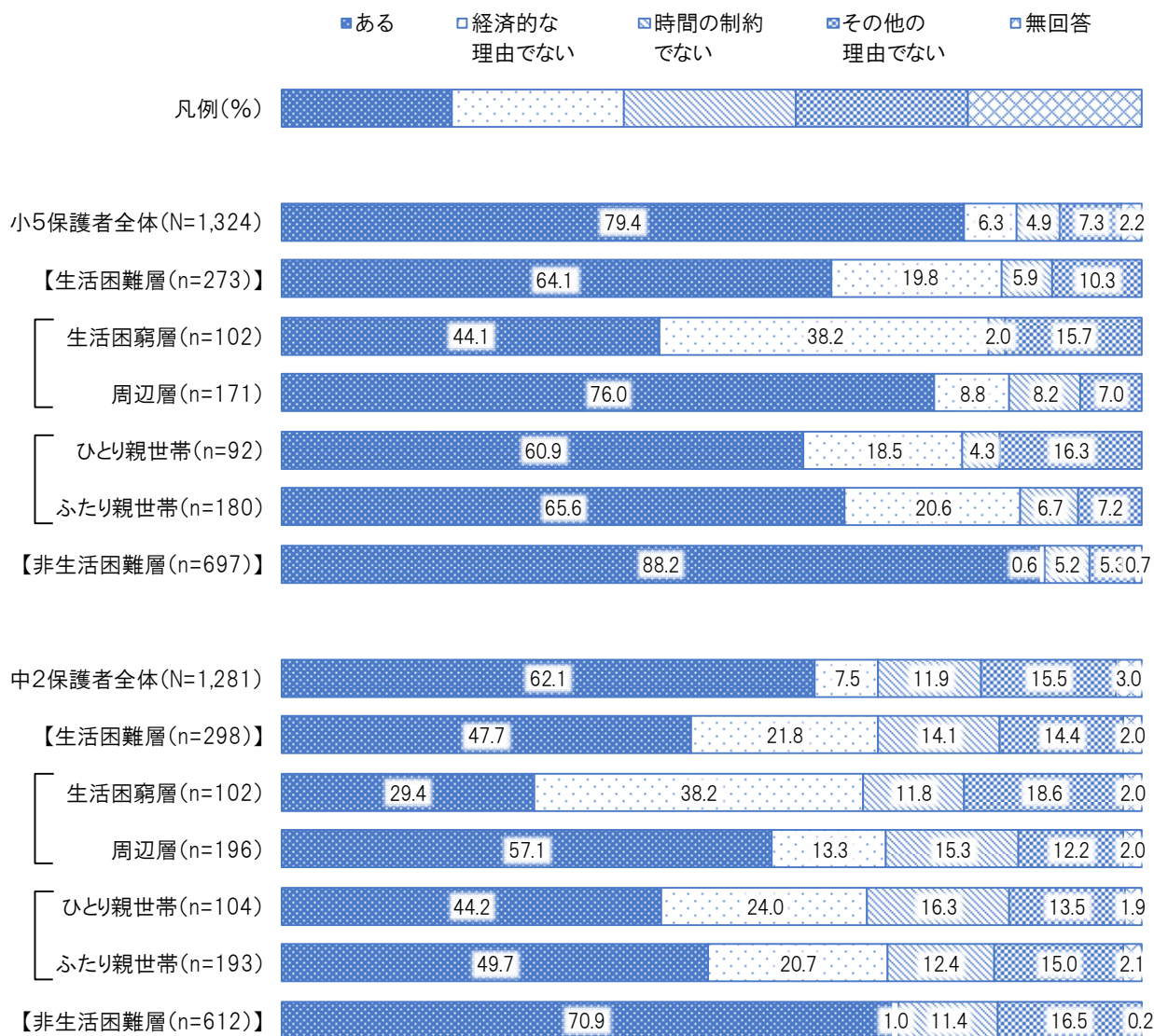
スポーツ観戦や劇場に行くことについて「経済的な理由でない」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で42.2%、周辺層で11.1%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で31.4%、周辺層で10.7%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のひとり親世帯で「経済的な理由でない」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



E 遊園地やテーマパークに行く

遊園地やテーマパークに行くことについて「経済的な理由でない」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で38.2%、周辺層で8.8%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で38.2%、周辺層で13.3%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。



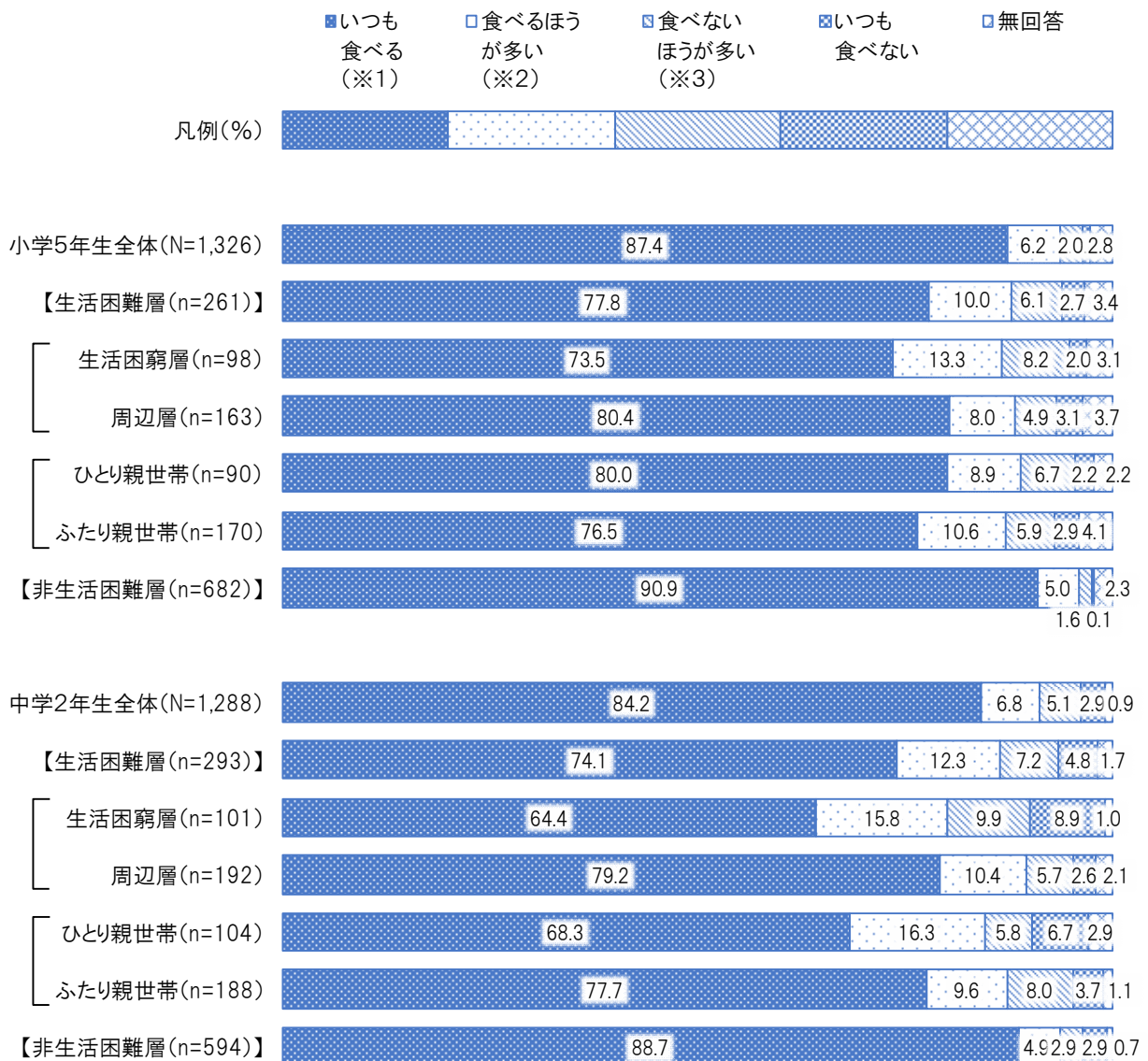
【3】子どもの食と栄養

(1) 朝食の摂取状況

子／問 21 あなたは、平日（学校に行く日）に毎日、朝ごはんを食べますか。
（あてはまる番号1つに○）

朝食の摂取状況については、「いつも食べる（週に5日）」「食べるほうが多い（週に3，4日）」の合計は、小学5年生全体では93.6%，中学2年生全体では91.0%となっている。一方、「食べないほうが多い（週に1，2日）」「いつも食べない」の合計は、小学5年生全体では3.6%，中学2年生全体では8.0%となっている。

生活困難度別にみた『食べない（合計）』の割合は、小学5年生の生活困窮層で10.2%，中学2年生で18.8%となっており、中学2年生の生活困窮層で高くなっている。



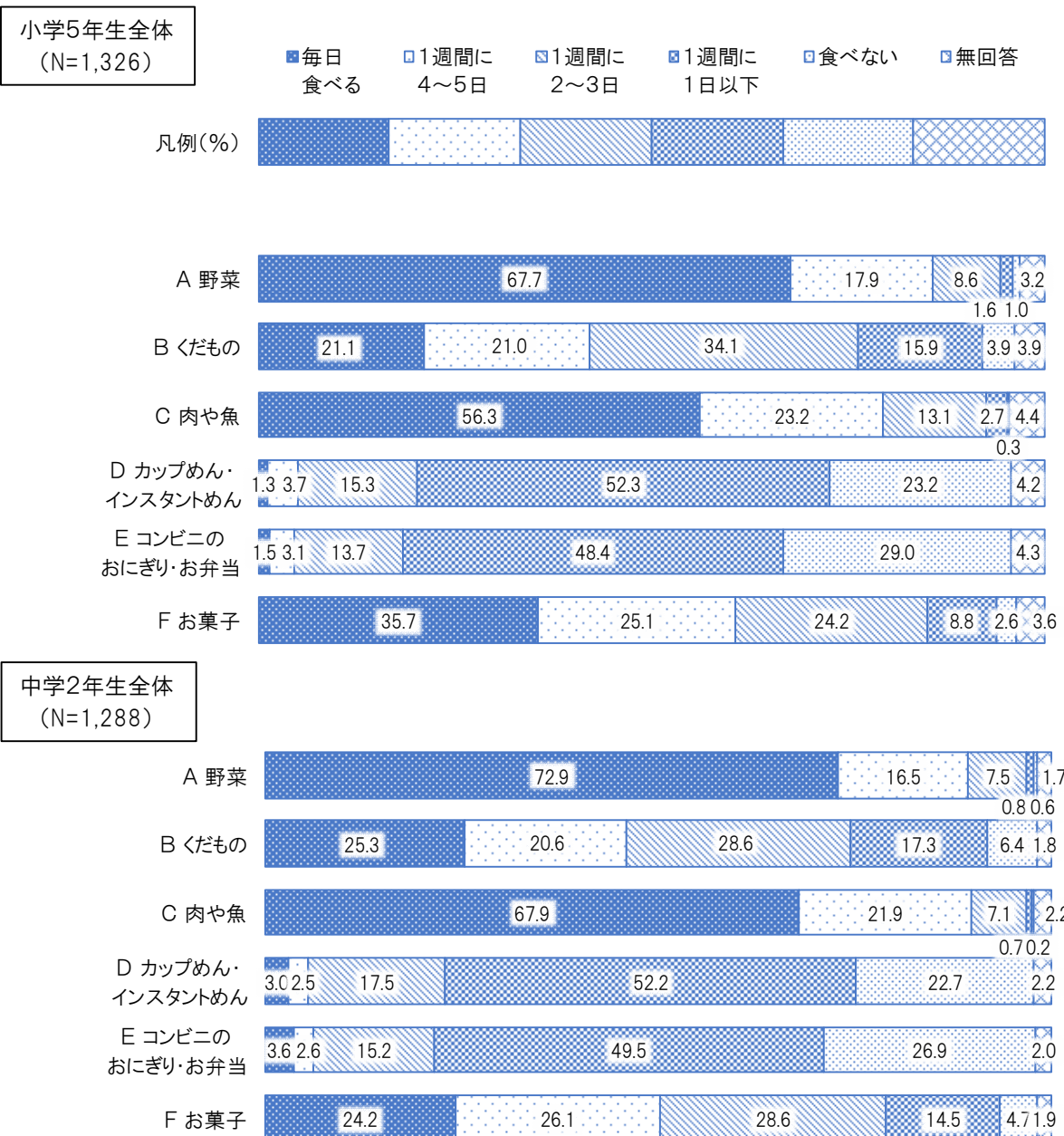
※1:いつも食べる(週に5日)
 ※2:食べるほうが多い(週に3, 4日)
 ※3:食べないほうが多い(週に1, 2日)

(2) 栄養群の摂取状況

子／問 24 あなたは、給食をのぞいて、次の食物をふだんどれくらい食べますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

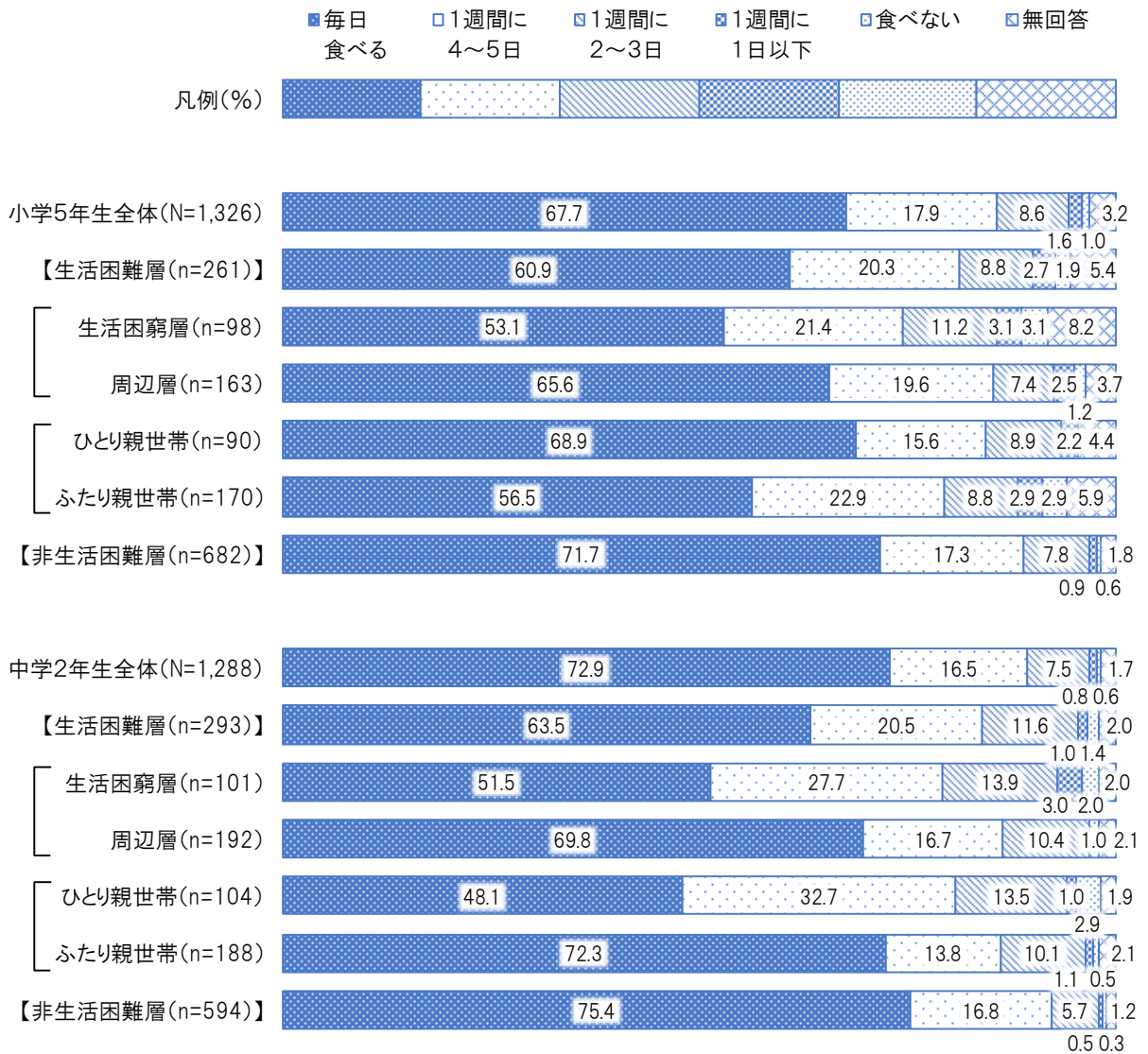
栄養群の摂取状況については、小学5年生全体では「1週間に1日以下」「食べない」を合計した割合が高い順に「E コンビ尼のおにぎり・お弁当」(77.4%)、「D カップめん・インスタントめん」(75.5%)、「B くだもの」(19.8%)となっている。また、「毎日食べる」では「A 野菜」(67.7%)、「C 肉や魚」(56.3%)、「F お菓子」(35.7%)などがあげられる。

中学2年生全体では「1週間に1日以下」「食べない」を合計した割合が高い順に「E コンビ尼のおにぎり・お弁当」(76.4%)、「D カップめん・インスタントめん」(74.9%)、「B くだもの」(23.7%)となっている。また、「毎日食べる」では「A 野菜」(72.9%)、「C 肉や魚」(67.9%)などがあげられる。



A 野菜

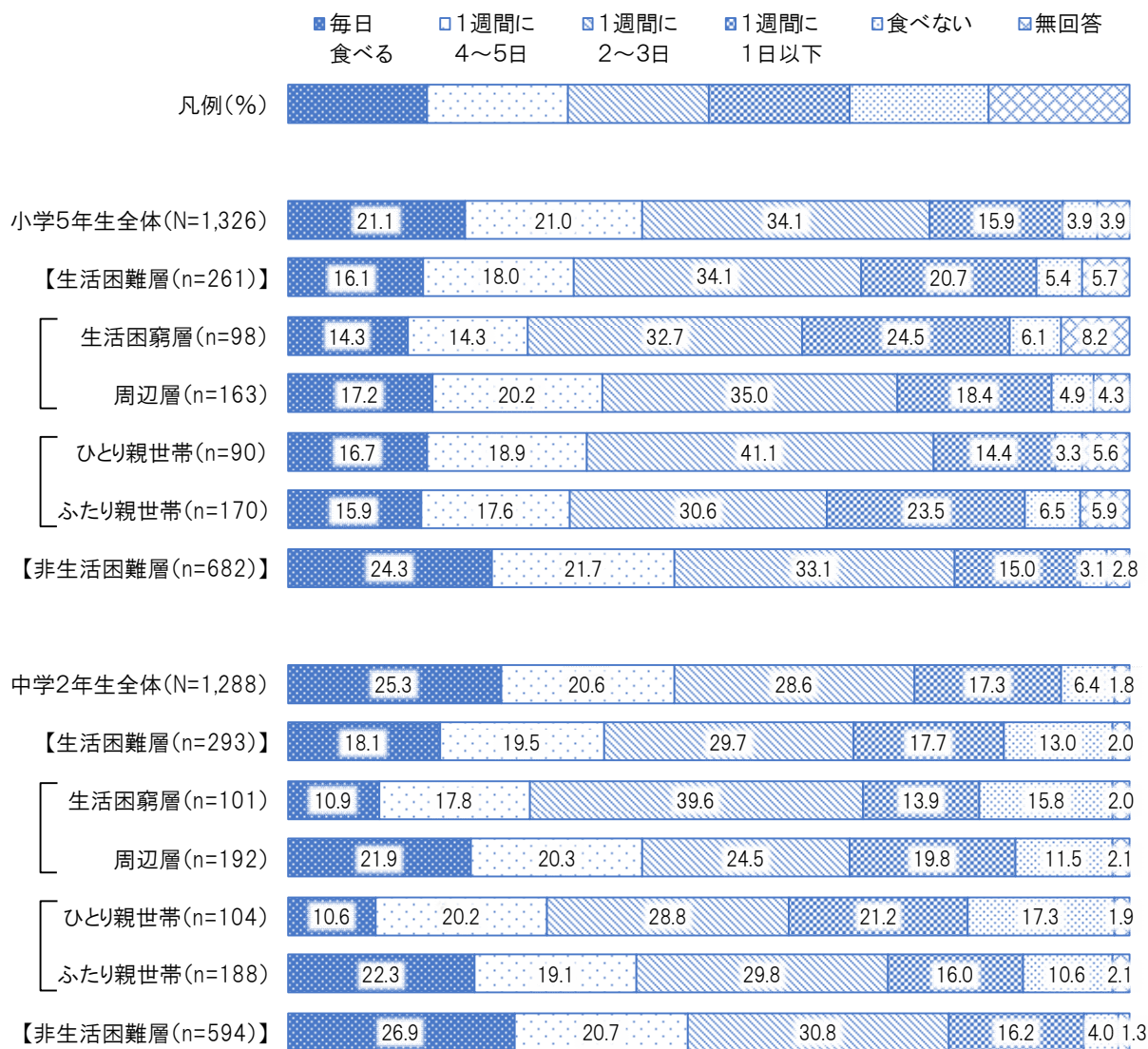
野菜について「1週間に1日以下」「食べない」の合計は、小学5年生の生活困窮層で6.2%、周辺層で3.7%となっている。中学2年生では、生活困窮層で5.0%、周辺層で1.0%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。



B くだもの

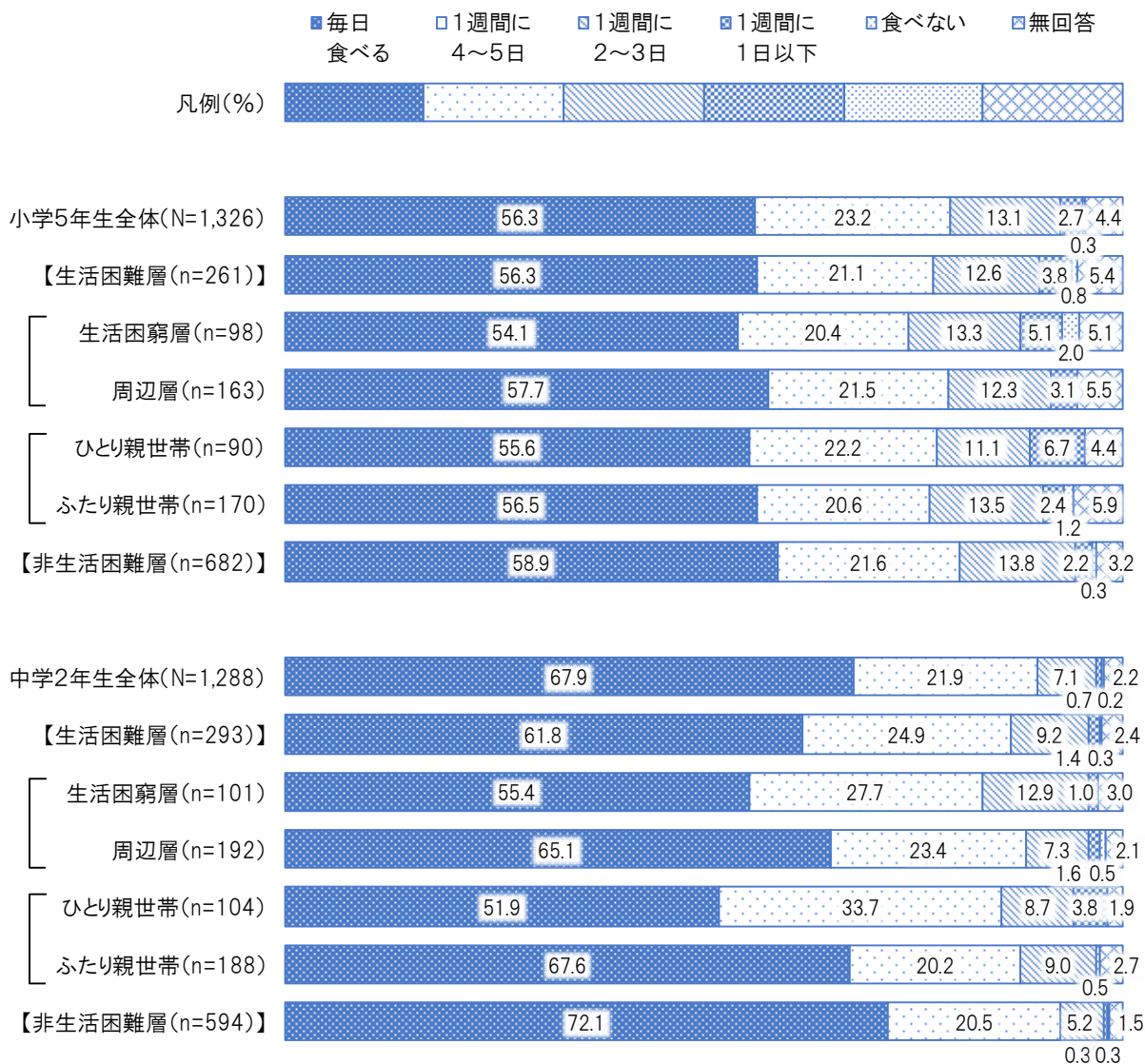
くだものについて「1週間に1日以下」「食べない」の合計は、小学5年生の生活困窮層で30.6%、周辺層で23.3%となっており、生活困窮層で高くなっている。中学2年生では、生活困窮層で29.7%、周辺層で31.3%となっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生のふたり親世帯、中学2年生のひとり親世帯で「1週間に1日以下」「食べない」の合計が他の層に比べて高くなっている。



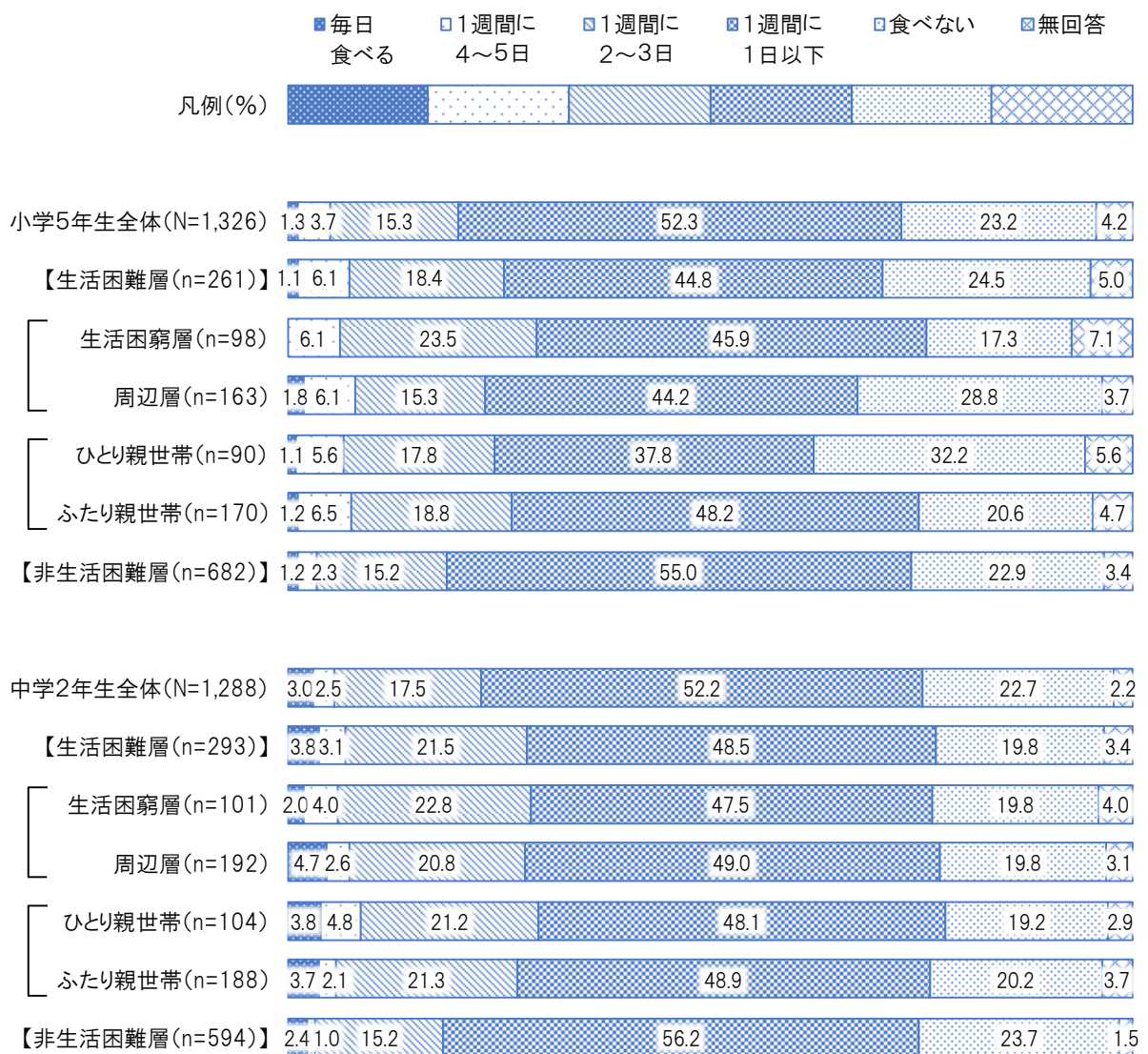
C 肉や魚

肉や魚について「1週間に1日以下」「食べない」の合計は、小学5年生の生活困窮層で7.1%、周辺層で3.1%となっており、生活困窮層で高くなっている。中学2年生では、生活困窮層で1.0%、周辺層で2.1%となっている。



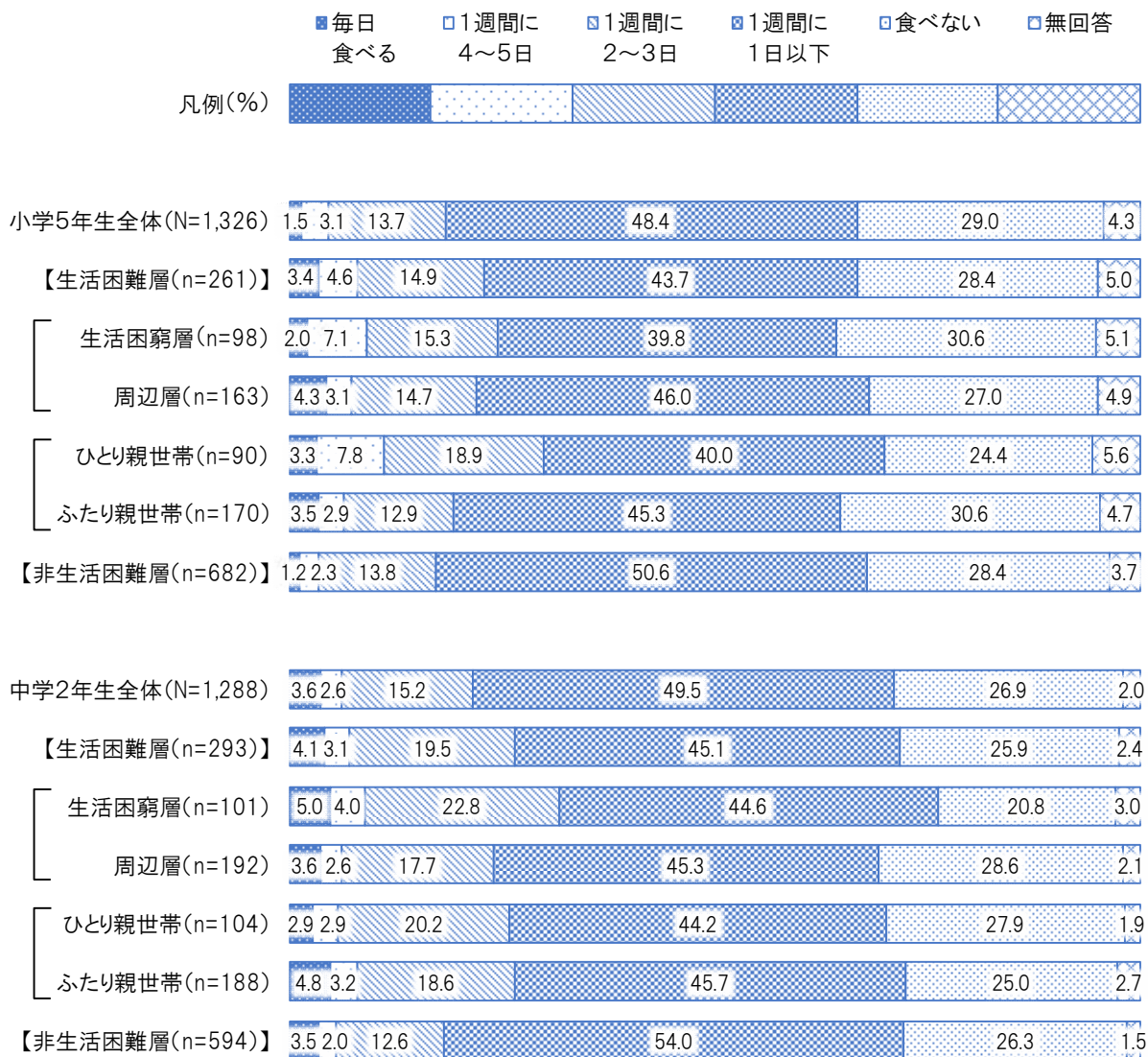
D カップめん・インスタントめん

カップめん・インスタントめんについて「1週間に1日以下」「食べない」の合計は、小学5年生の生活困窮層で63.2%、周辺層で73.0%となっており、生活困窮層で低くなっている。中学2年生では、生活困窮層で67.3%、周辺層で68.8%となっている。



E コンビニのおにぎり・お弁当

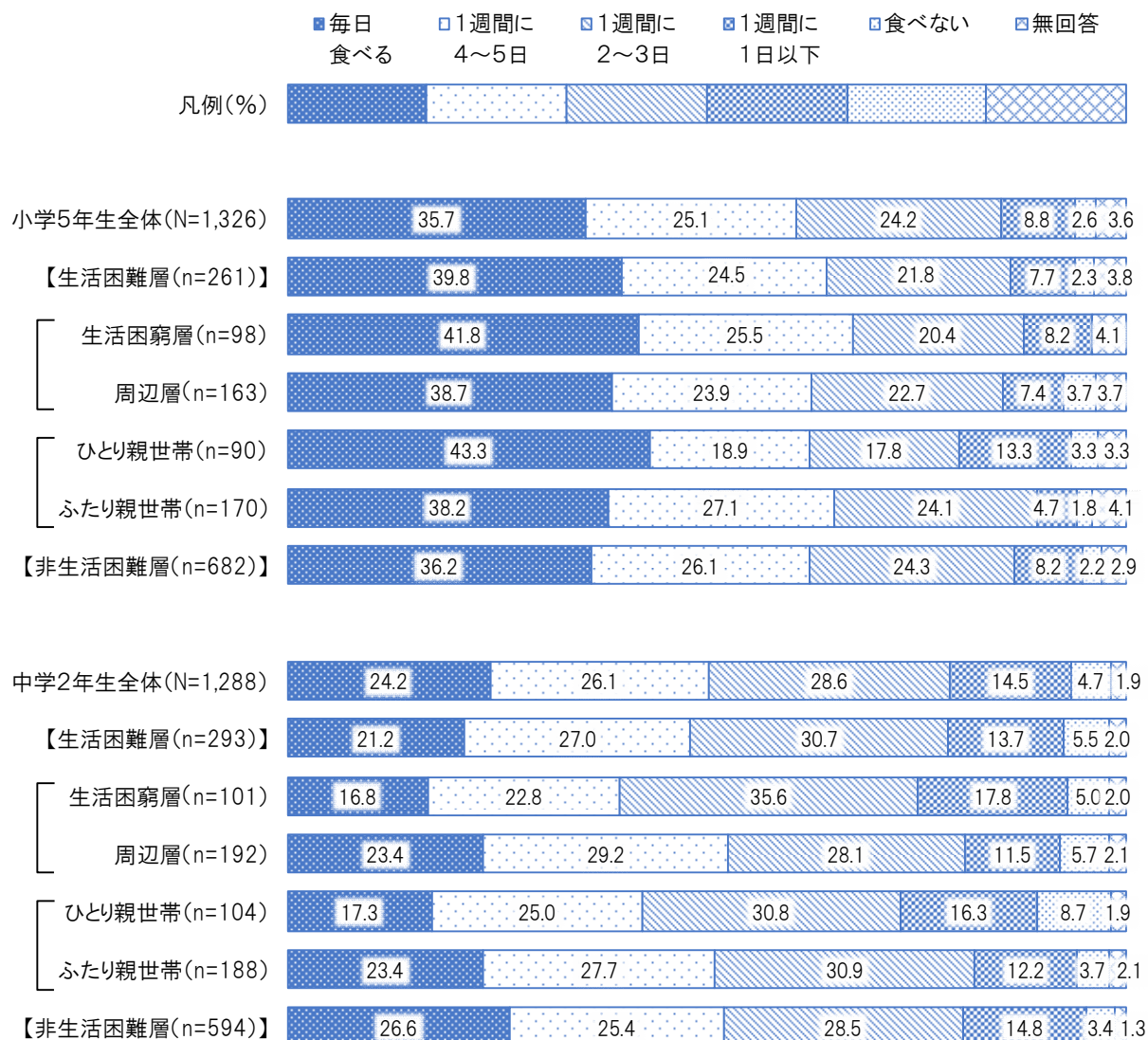
コンビニのおにぎり・お弁当について「1週間に1日以下」「食べない」の合計は、小学5年生の生活困窮層で70.4%、周辺層で73.0%となっている。中学2年生では、生活困窮層で65.4%、周辺層で73.9%となっており、生活困窮層で低くなっている。



F お菓子

お菓子について「1週間に1日以下」「食べない」の合計は、小学5年生の生活困窮層で8.2%、周辺層で11.1%となっている。中学2年生では、生活困窮層で22.8%、周辺層で17.2%となっており、生活困窮層で高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生のひとり親世帯で「1週間に1日以下」「食べない」の合計が、ふたり親世帯を大きく上回っている。



第3章 子どもの学び

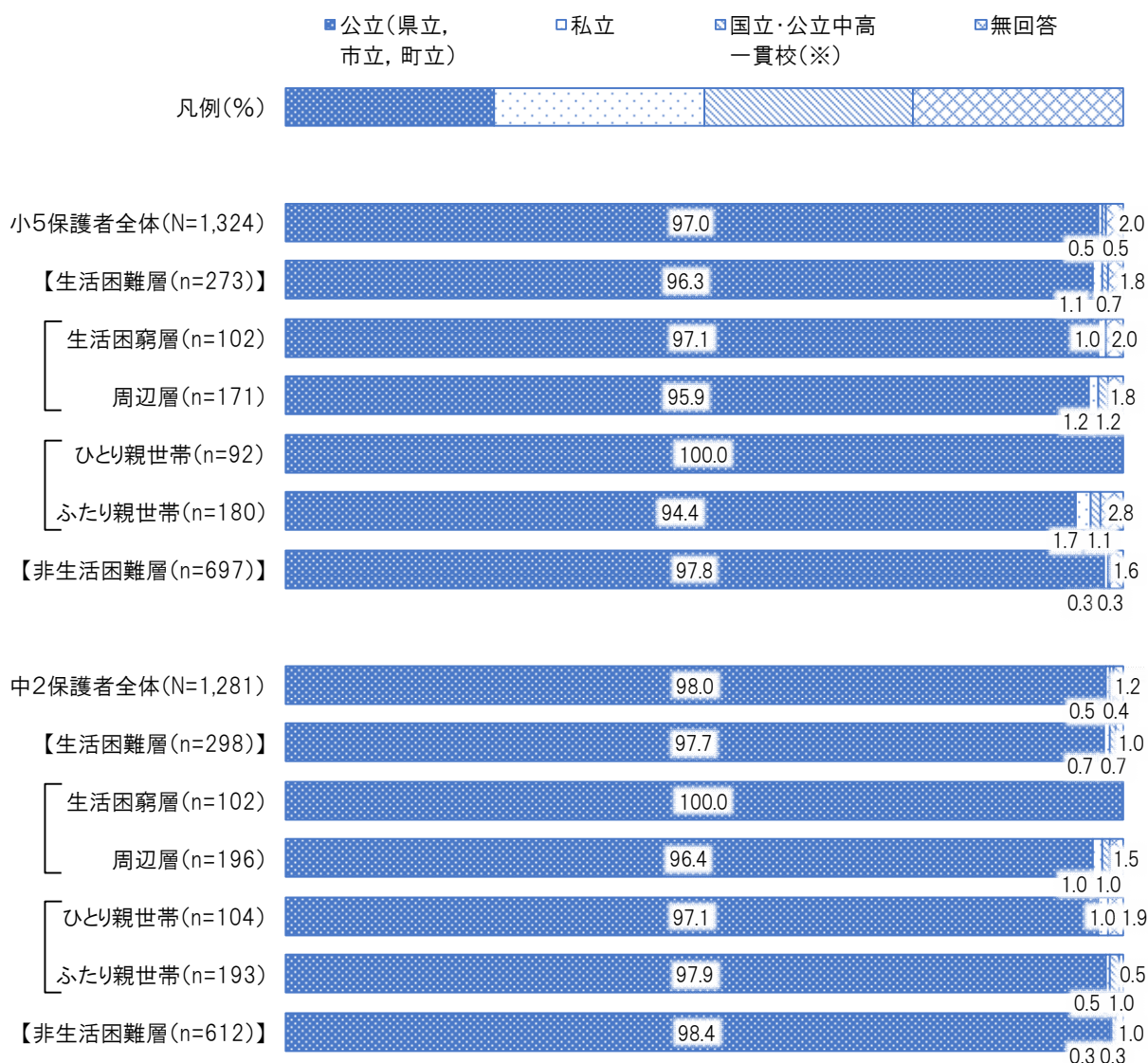
【1】学校について

(1) 学校の種類

保／問1 お子さんが通学している学校の種類は、次のどれになりますか。
 (あてはまる番号1つに○)

学校の種類については、小学5年保護者全体では、「公立（県立，市立，町立）」の割合が97.0%，「私立」「国立」が各0.5%となっている。中学2年保護者全体では、「公立（県立，市立，町立）」の割合が98.0%，「私立」が0.5%，「国立・公立中高一貫校」が0.4%となっている。

生活困難度別では、小学5年保護者の生活困窮層で「公立（県立，市立，町立）」が97.1%，「私立」が1.0%，中学2年保護者で「公立（県立，市立，町立）」が100.0%となっている。



※小学生保護者票では「国立」

(2) 私立選択の理由

【問1で「2私立」を選んだ方におうかがいします。】

保／問1-1 私立の中学校※に進学したのは、なぜですか。(あてはまる番号1つに○)

※小学生票では「私立の小学校」

私立選択の理由については、小学5年保護者全体では、回答者6名中「私立小学校の教育方針が気に入った」「近くによい公立小学校がなかった」がそれぞれ1名ずつ、中学2年保護者全体では、「私立中学校の教育方針が気に入った」「近くによい公立中学がなかった」「公立中高一貫校の入試に合格しなかった」が6名中それぞれ1名ずつみられた。

【2】学校の成績

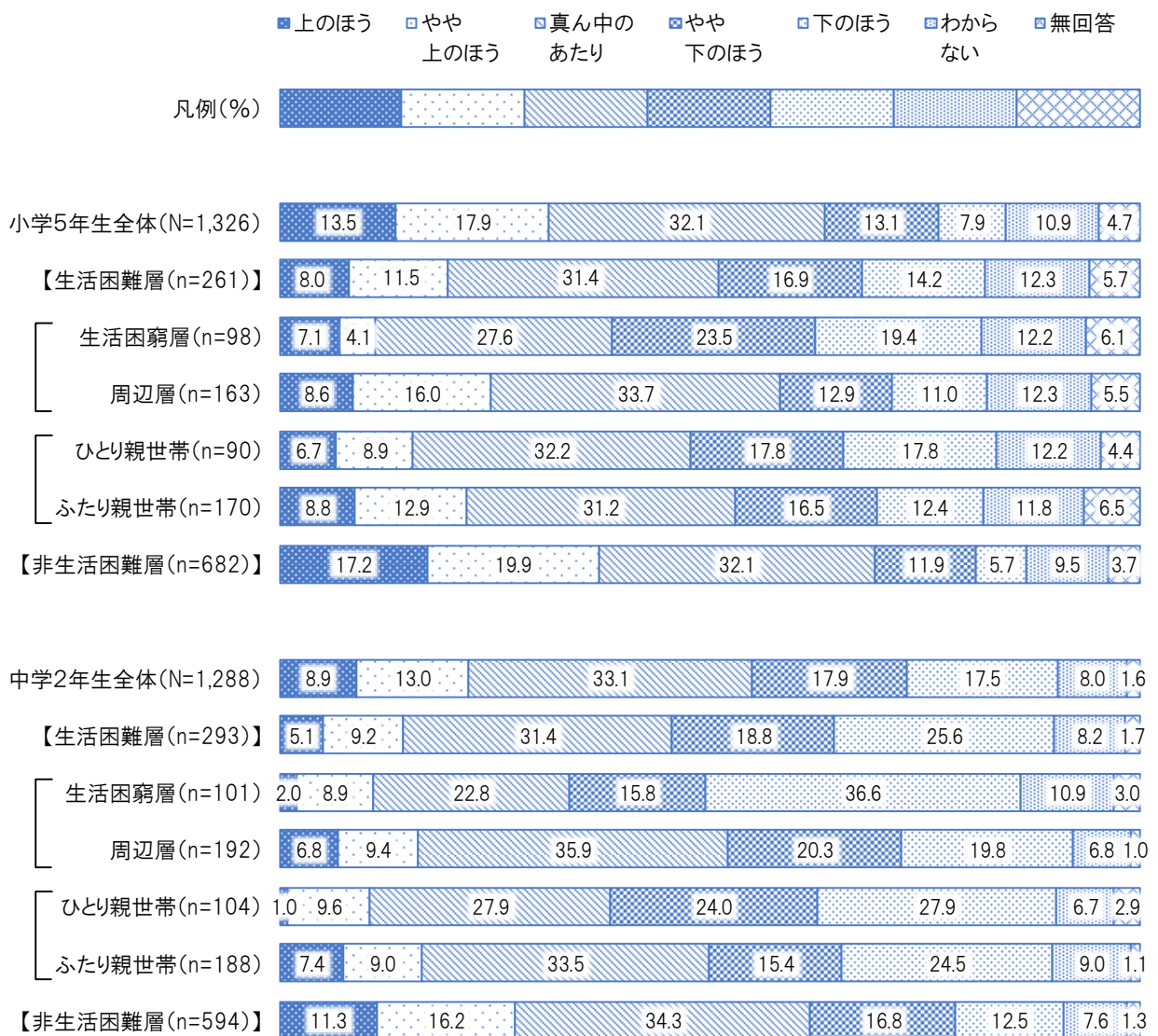
（1）成績の主観的評価

子／問 30 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。
（あてはまる番号1つに○）

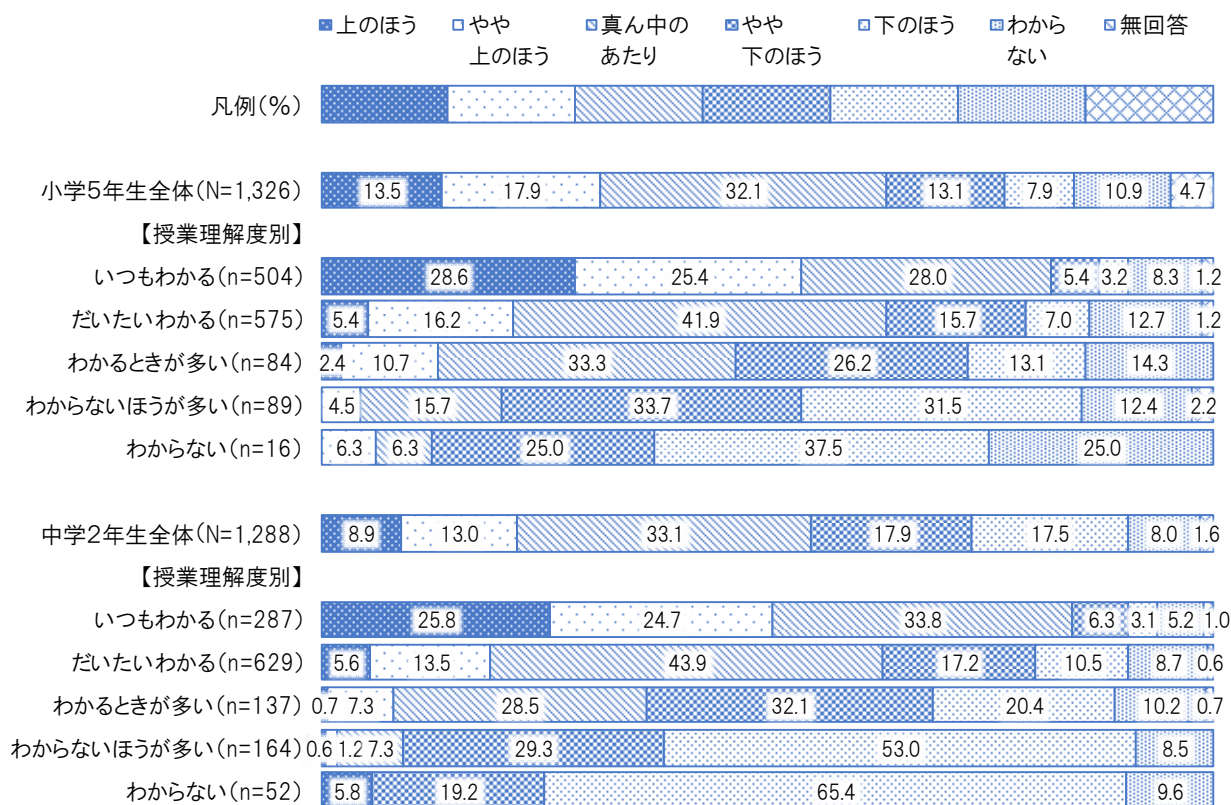
成績の主観的評価については、小学5年生全体では、「上のほう」「やや上のほう」の合計が31.4%、中学2年生全体では21.9%となっている。一方、「やや下のほう」「下のほう」の合計は、小学5年生全体では21.0%、中学2年生全体では35.4%となっている。

生活困難度別にみた『下のほう（合計）』の割合は、小学5年生の生活困窮層で42.9%、中学2年生で52.4%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともに、ひとり親世帯で『下のほう（合計）』の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



授業理解度別（問 28）で見ると、小学 5 年生、中学 2 年生ともに理解度が高い層ほど「上のほう」「やや上のほう」の割合が高く、理解度が低い層ほど「やや下のほう」「下のほう」の割合が高い傾向にある。

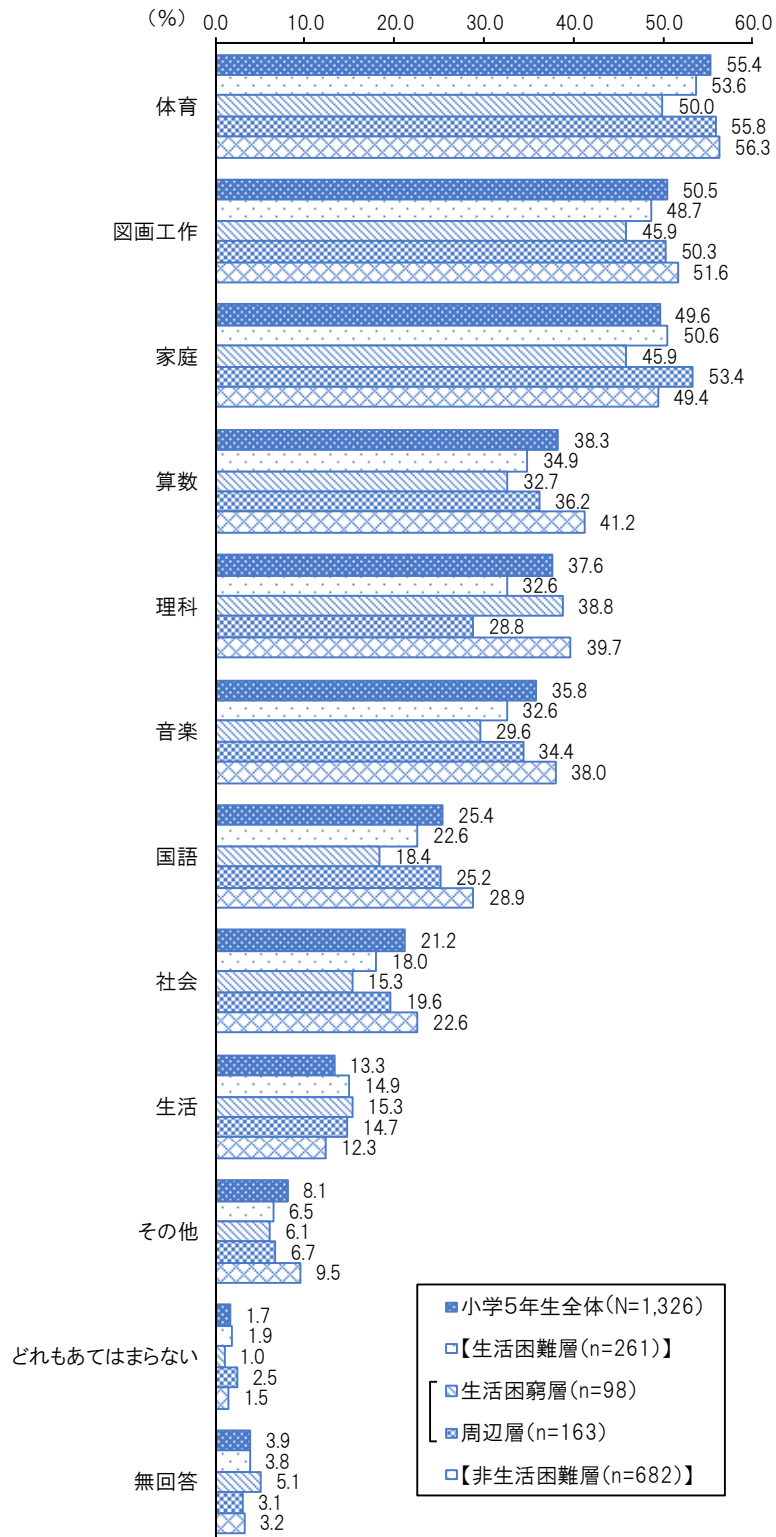


(2) 得意教科

子／問 31 あなたの得意な教科は、どれですか。(あてはまる番号すべてに○)

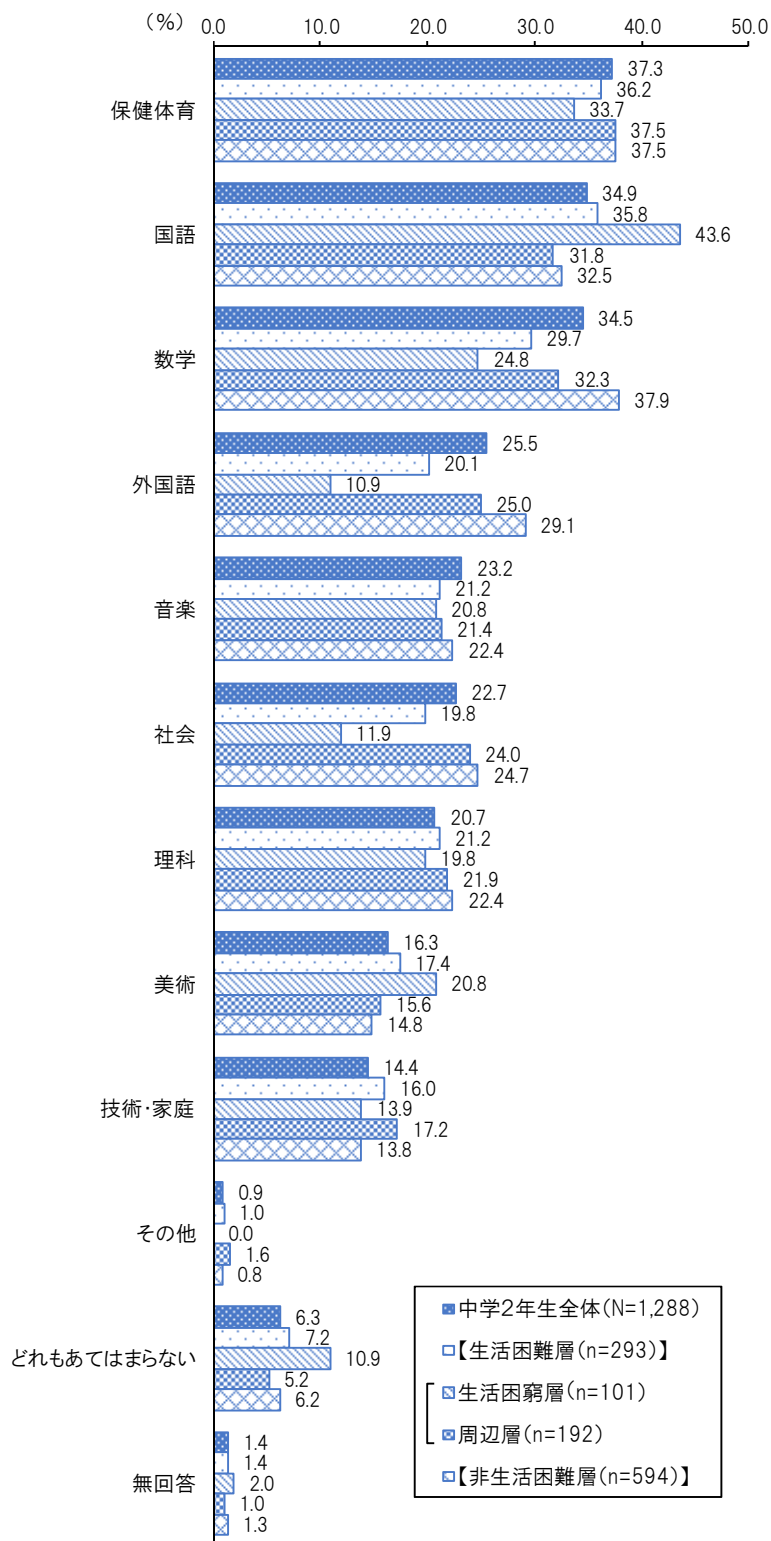
得意教科については、小学5年生全体の割合が高い順に、「体育」(55.4%)、「図画工作」(50.5%)、「家庭」(49.6%)となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は他の層に比べ全体的に割合が低い傾向にある。



中学2年生全体の割合が高い順に、「保健体育」(37.3%)、「国語」(34.9%)、「数学」(34.5%)となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は他の層に比べ「国語」「美術」の割合が高く、「数学」「外国語」「社会」などの割合が低くなっている。



【3】授業の理解や学習の状況

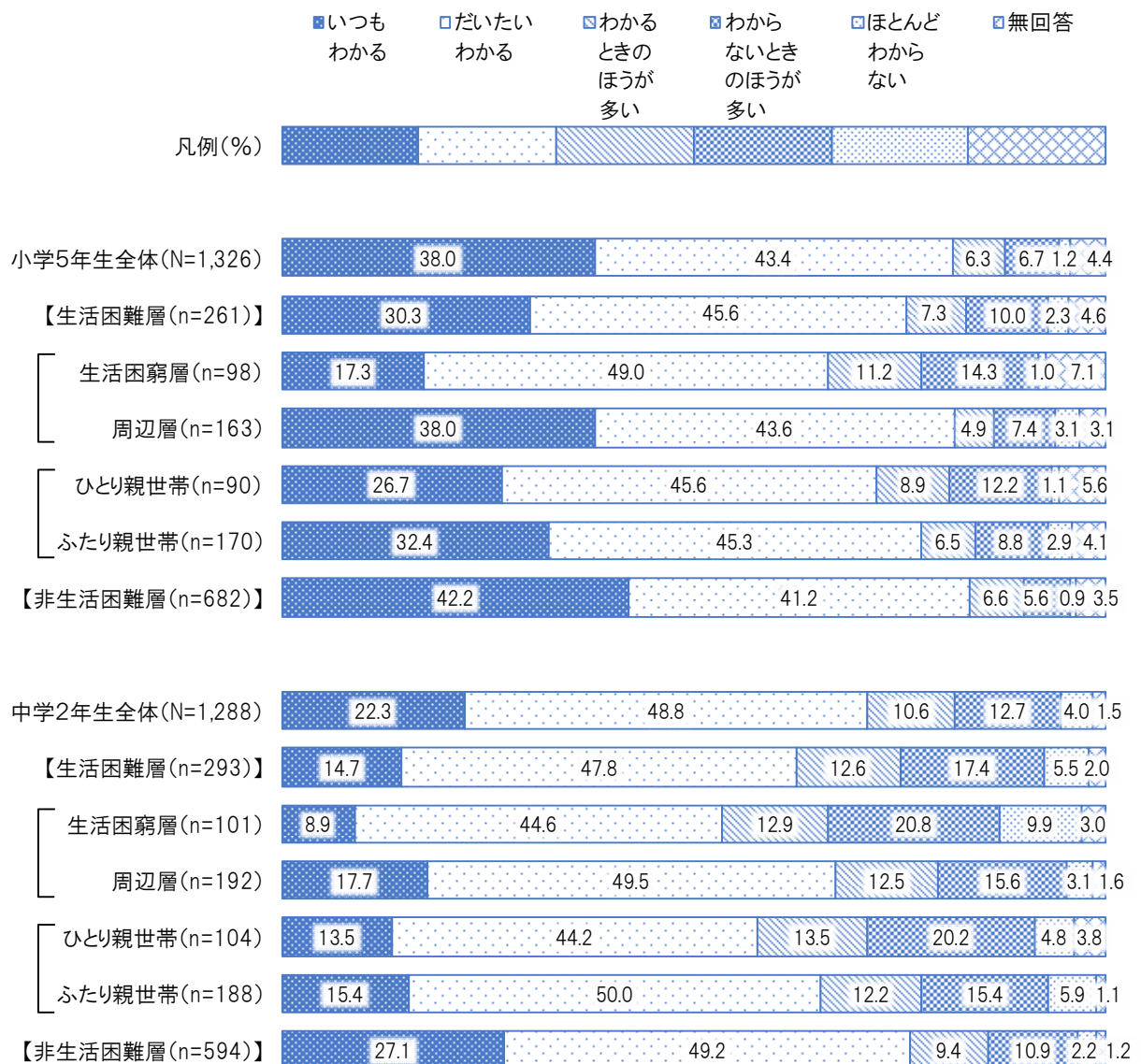
(1) 授業の理解度

子／問 28 あなたは、学校の授業がわかりますか。(あてはまる番号1つに○)

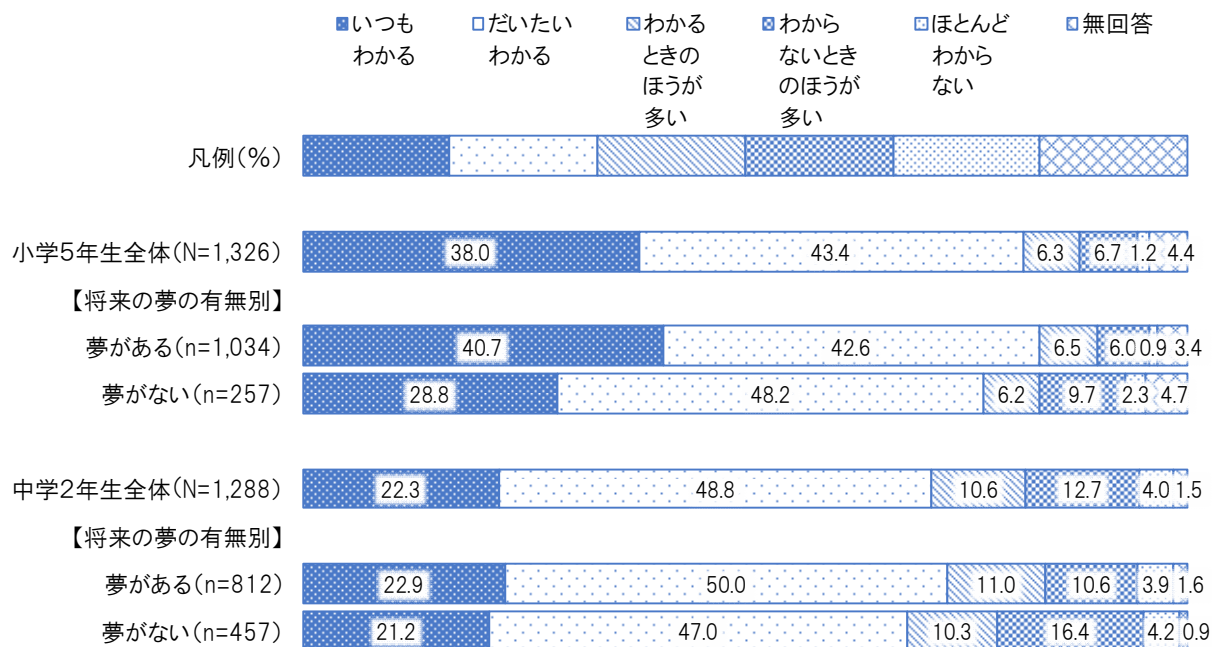
授業の理解度については、小学5年生全体では「いつもわかる」は38.0%、中学2年生全体では22.3%となっている。一方、「わからないときのほうが多い」「ほとんどわからない」の合計は、小学5年生全体では7.9%、中学2年生全体では16.7%となっている。

生活困難度別にみた『わからない(合計)』の割合は、小学5年生の生活困窮層で15.3%、中学2年生で30.7%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともにひとり親世帯で「わからないときのほうが多い」の割合が高くなっている。



小学5年生について将来の夢の有無別（問5）でみると、夢がある層では、夢がない層に比べ「いつもわかる」の割合が高くなっている。



(2) 授業がわからなくなった時期

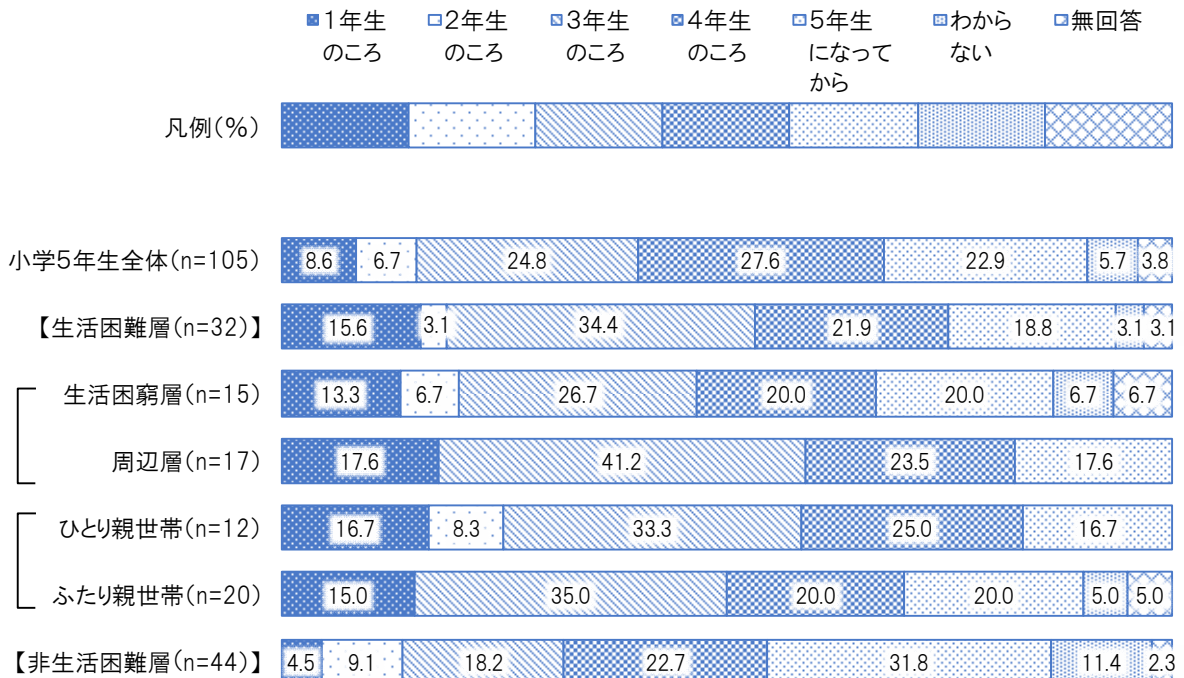
【学校の授業が「4 わからないときのほうが多い」または「5 ほとんどわからない」と答えた人におききします。】

子/問 28-1 いつごろから、授業がわからなくなりましたか。

(あてはまる番号1つに○)

授業がわからなくなった時期については、小学5年生全体では、「4年生のころ」が27.6%と最も高く、次いで「3年生のころ」(24.8%)、「5年生になってから」(22.9%)となっている。

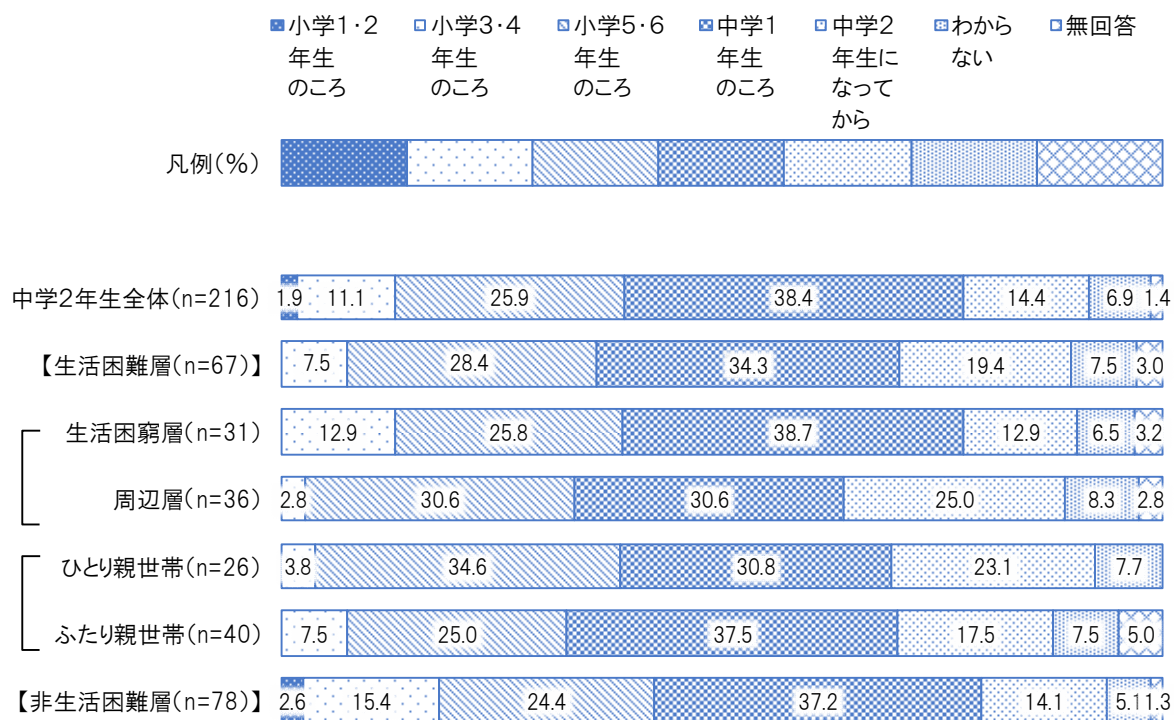
生活困難度別にみると、生活困窮層では「3年生のころ」が26.7%と最も高く、次いで「4年生のころ」「5年生になってから」(各20.0%)となっている。



中学2年生全体では、「中学1年生のころ」が38.4%と最も高く、次いで「小学5・6年生のころ」(25.9%)、「中学2年生になってから」(14.4%)となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層では「中学1年生のころ」が38.7%と最も高く、次いで「小学5・6年生のころ」(25.8%)となっている。

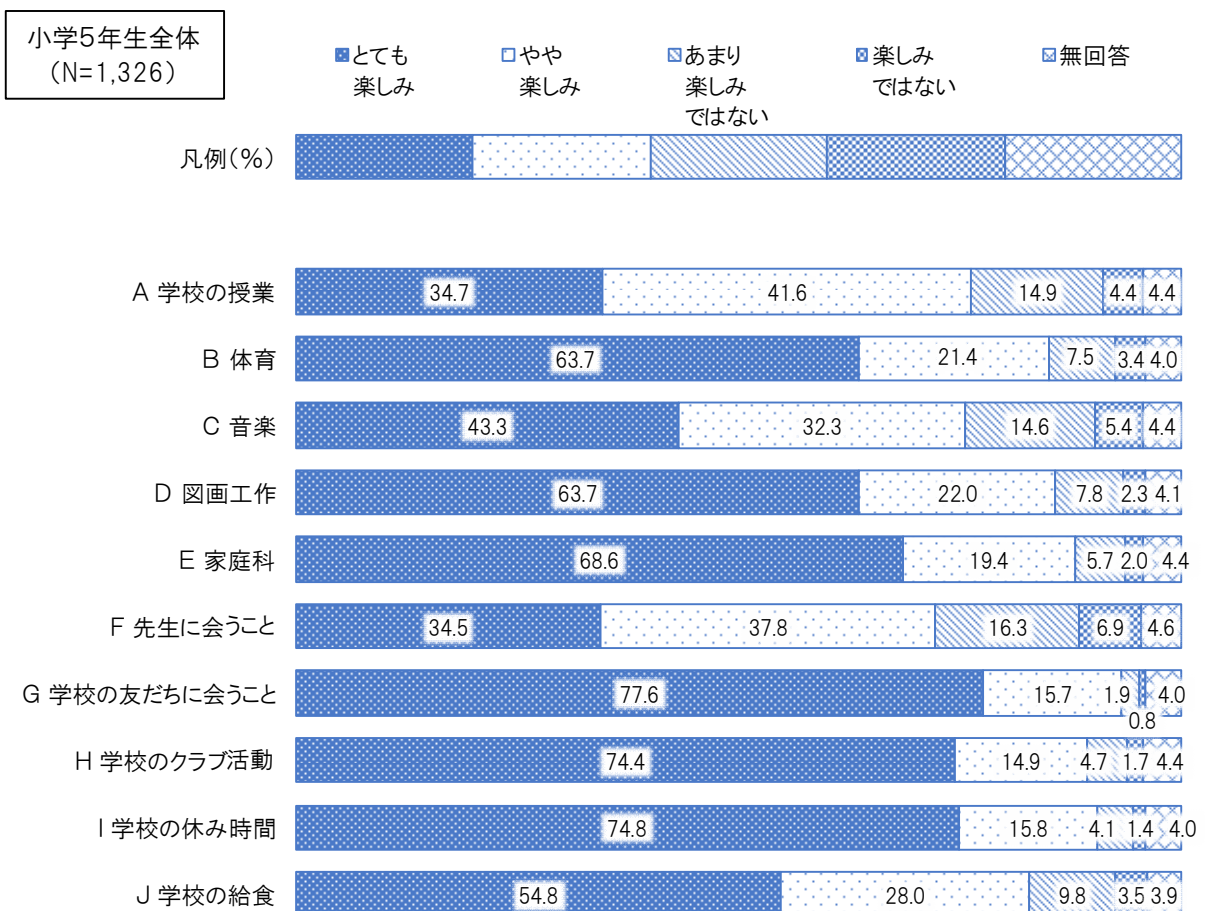
生活困難層世帯タイプ別では、ひとり親世帯で「小学5・6年生のころ」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



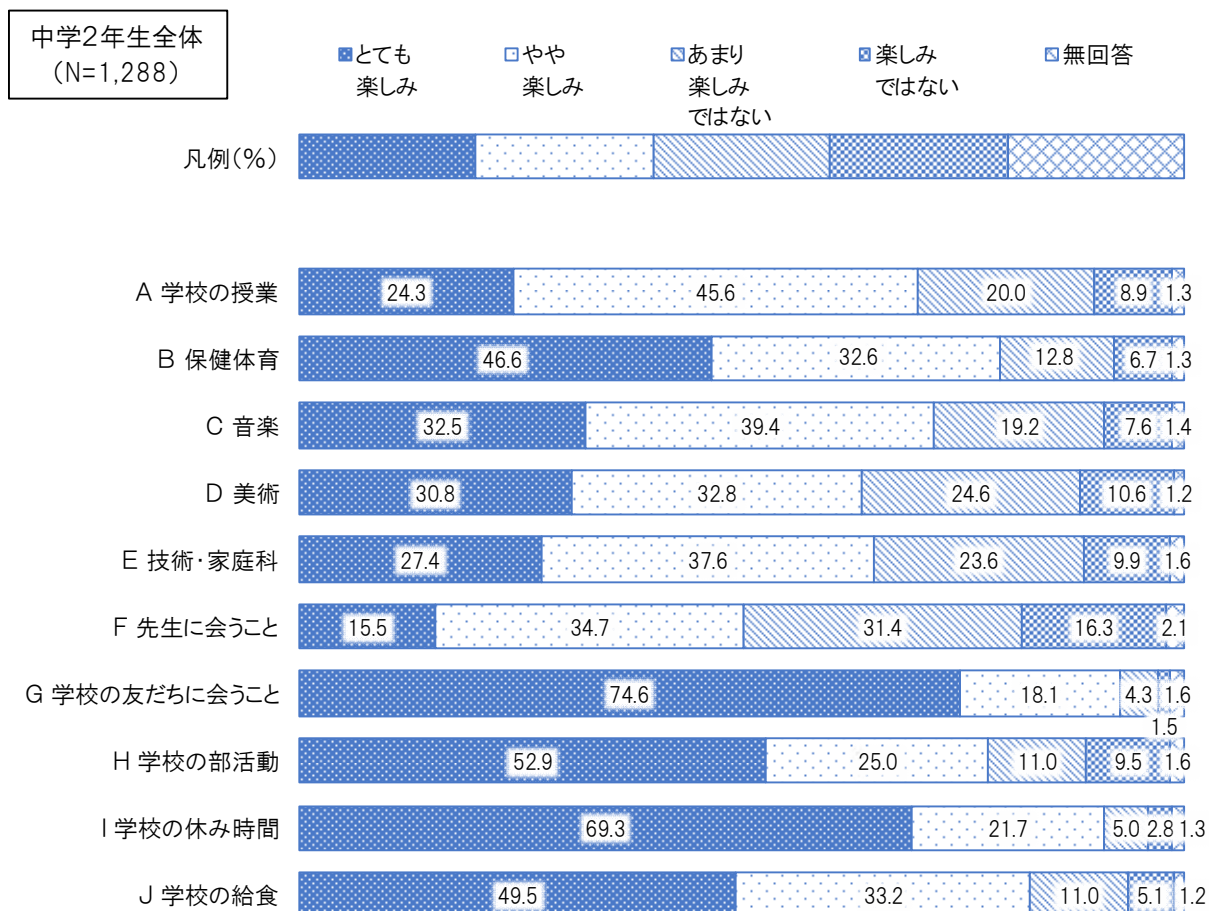
【4】学校生活の楽しみ

子／問 27 あなたの学校生活についておたずねします。次の項目について、「1 とても楽しみ」から「4 楽しみではない」のもっとも近いものに○をつけてください。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

学校生活の楽しみについては、小学5年生全体では「とても楽しみ」の割合が高い順に「G 学校の友だちに会うこと」(77.6%)、「I 学校の休み時間」(74.8%)、「H 学校のクラブ活動」(74.4%)となっている。また、「あまり楽しみではない」「楽しみではない」の合計が高い順に「F 先生に会うこと」(23.2%)、「C 音楽」(20.0%)、「A 学校の授業」(19.3%)となっている。



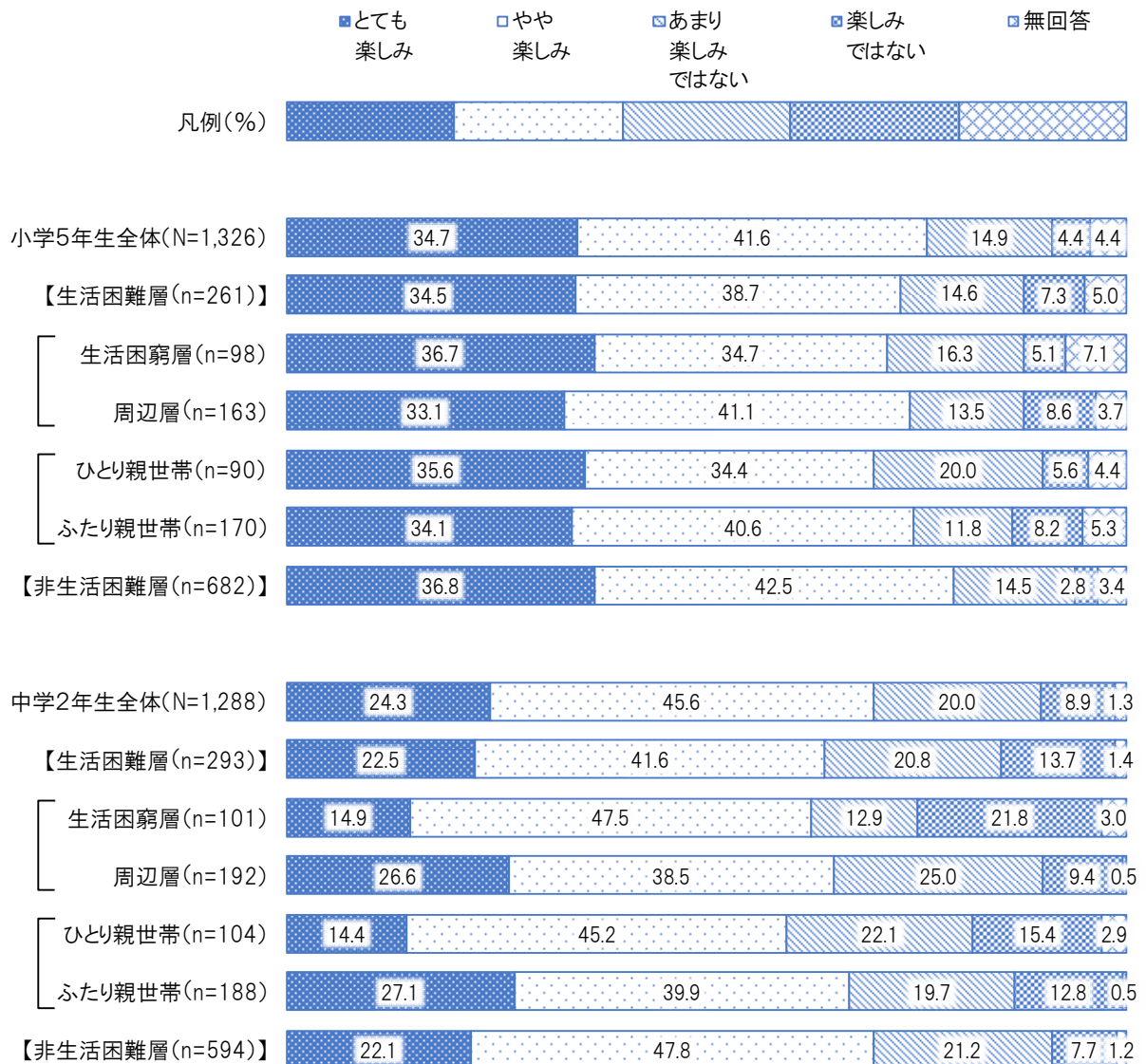
中学2年生全体では「とても楽しみ」の割合が高い順に「G 学校の友だちに会うこと」(74.6%)、「I 学校の休み時間」(69.3%)、「H 学校の部活動」(52.9%)となっている。また、「あまり楽しみではない」「楽しみではない」の合計が高い順に「F 先生に会うこと」(47.7%)、「D 美術」(35.2%)、「E 技術・家庭科」(33.5%)となっている。



A 学校の授業※（保健体育・音楽・美術・技術・家庭科以外で道徳，総合学習の時間を含む。）

学校の授業について「あまり楽しみではない」「楽しみではない」の合計は，小学5年生の生活困窮層で21.4%，周辺層で22.1%となっている。中学2年生では，生活困窮層で34.7%，周辺層で34.4%となっており，生活困窮層で「楽しみではない」の割合が高くなっている。

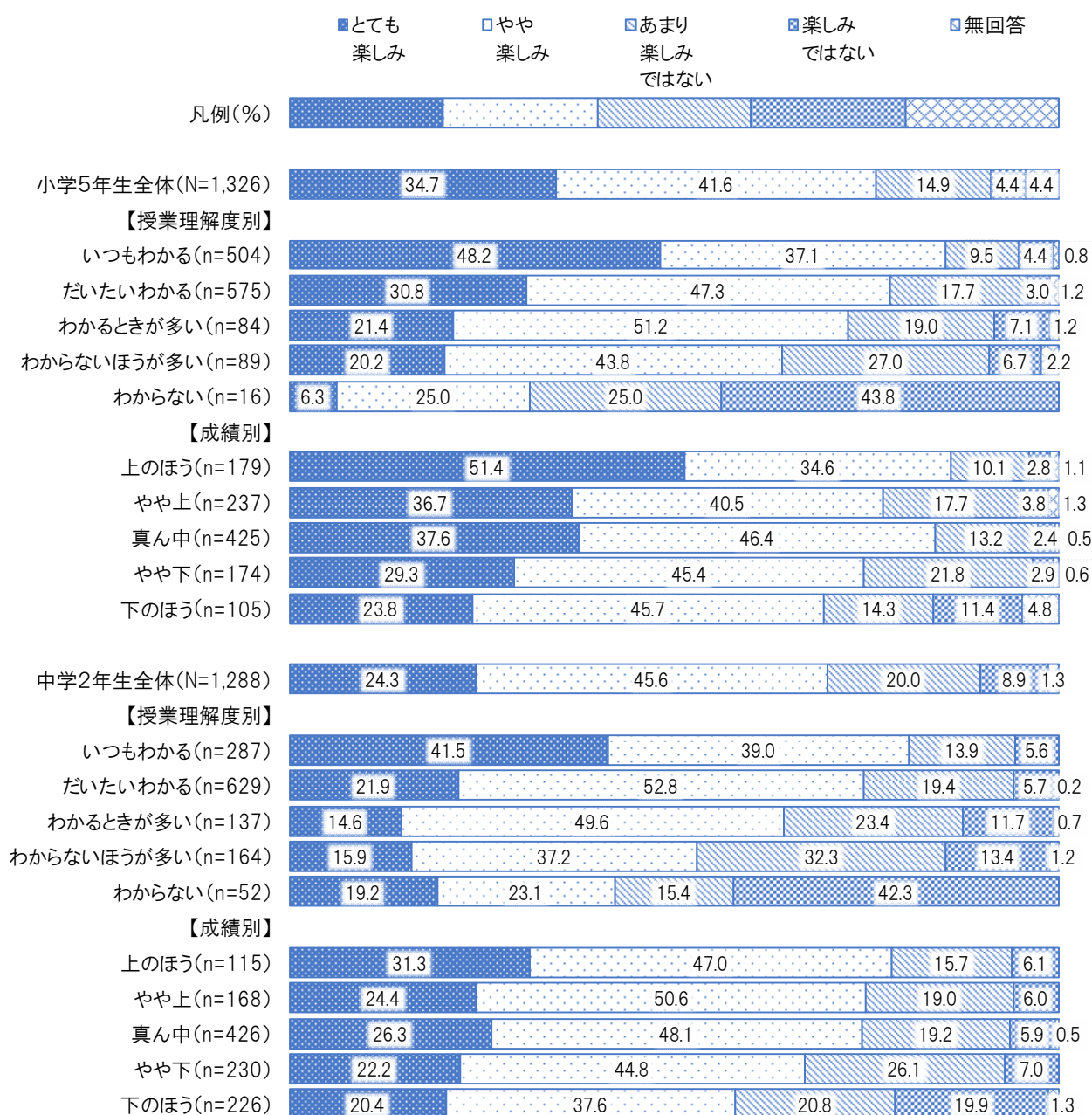
生活困難層世帯タイプ別では，小学5年生のひとり親世帯で「あまり楽しみではない」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



※小学生票では「学校の授業(体育・音楽・図工・家庭科以外で道徳，総合学習の時間をふくむ。)」

授業理解度別（問 28）でみると、小学 5 年生、中学 2 年生ともに理解度が高い層ほど「とても楽しみ」「やや楽しみ」の割合が高い傾向にある。

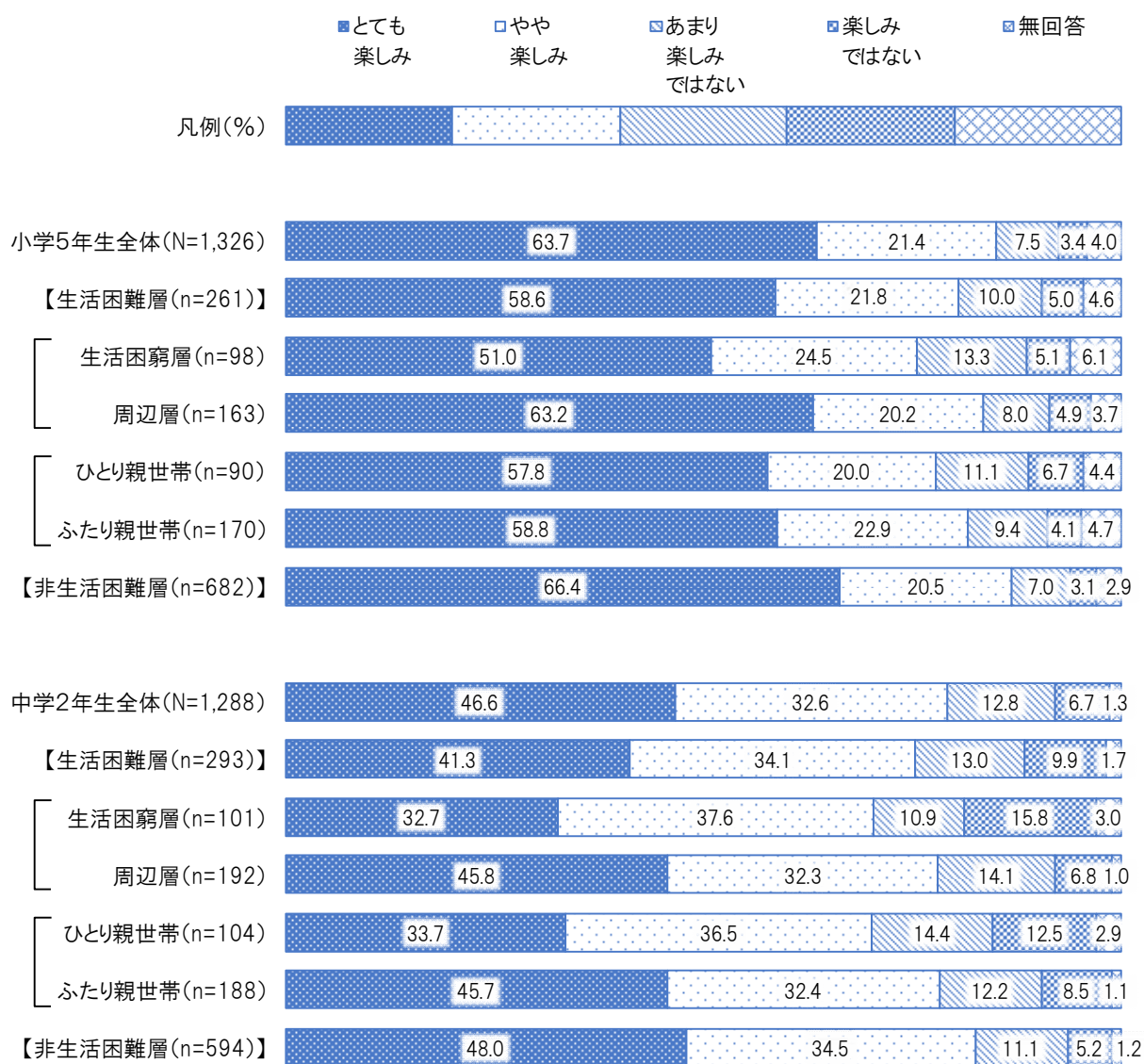
成績別（問 30）でみると、小学 5 年生、中学 2 年生ともに成績が上の層ほど「とても楽しみ」「やや楽しみ」の割合が高い傾向にあり、特に小学 5 年生で目立っている。



B 保健体育*

保健体育について「あまり楽しみではない」「楽しみではない」の合計は、小学5年生の生活困窮層で18.4%、周辺層で12.9%となっている。中学2年生では、生活困窮層で26.7%、周辺層で20.9%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともにひとり親世帯で『楽しみではない（合計）』の割合が高くなっている。

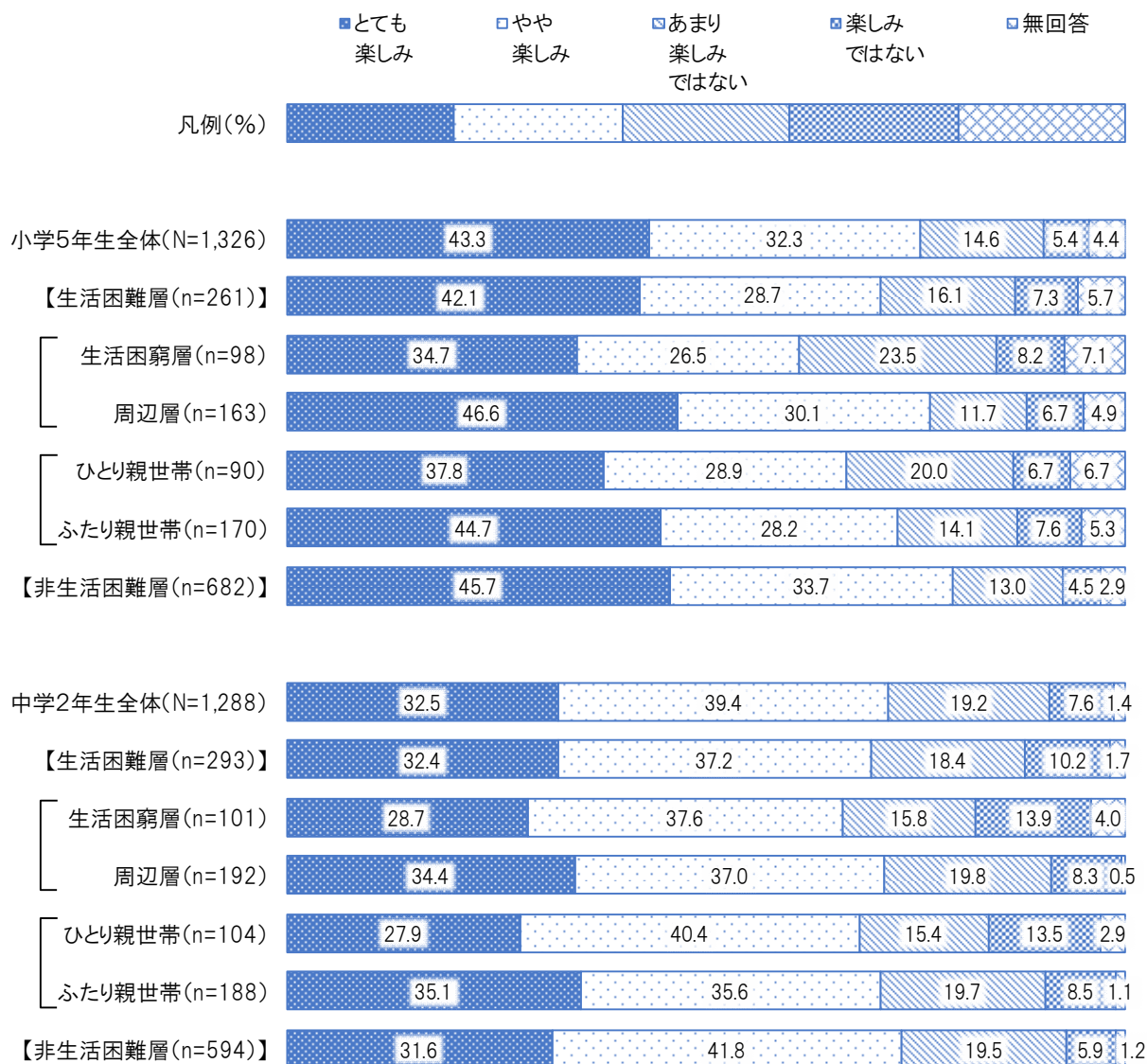


※小学生票では「体育」

C 音楽

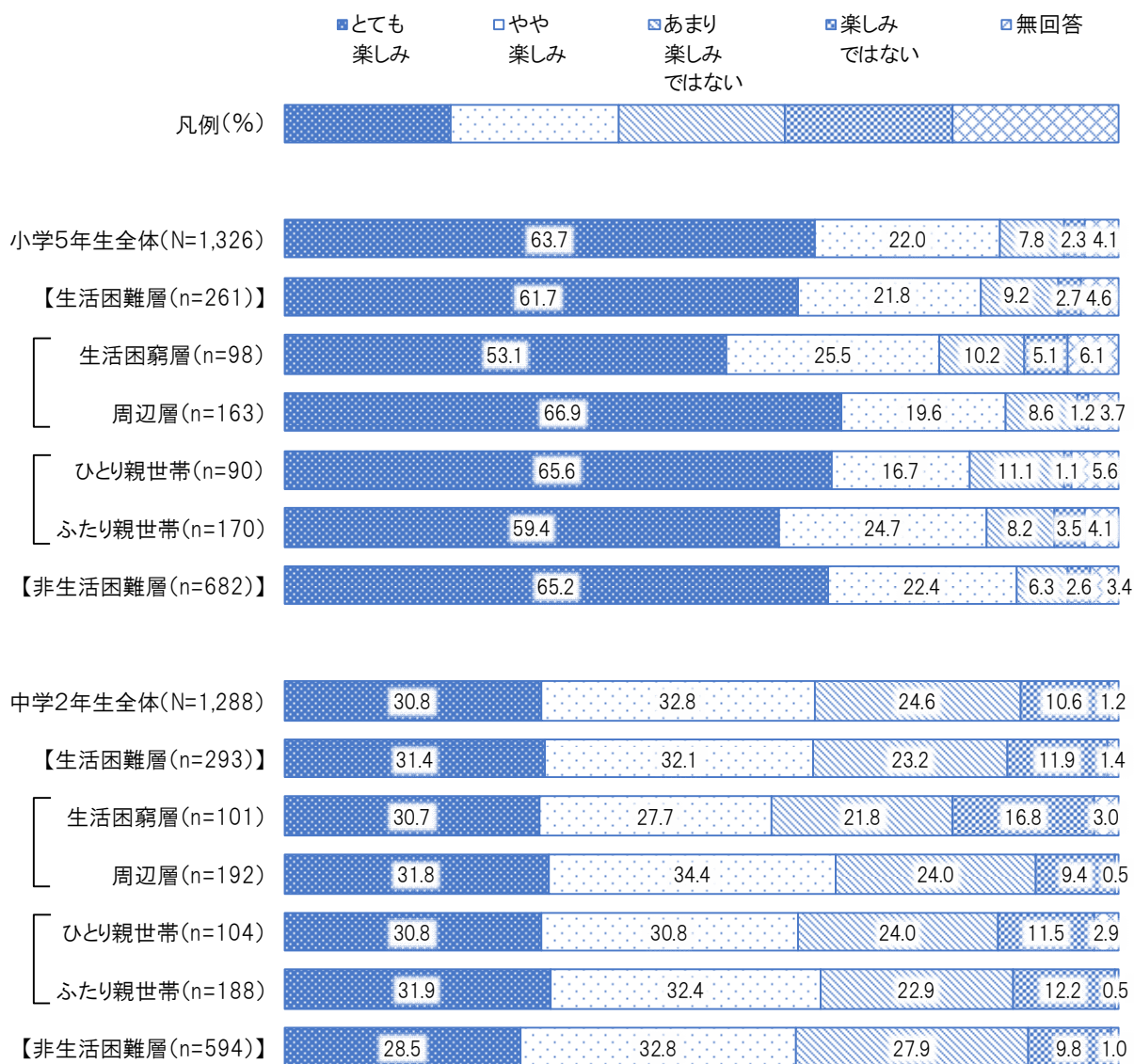
音楽について「あまり楽しみではない」「楽しみではない」の合計は、小学5年生の生活困窮層で 31.7%，周辺層で 18.4%となっており，生活困窮層で「あまり楽しみではない」の割合が高くなっている。中学2年生では，生活困窮層で 29.7%，周辺層で 28.1%となっている。

生活困難層世帯タイプ別では，小学5年生のひとり親世帯で「あまり楽しみではない」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



D 美術*

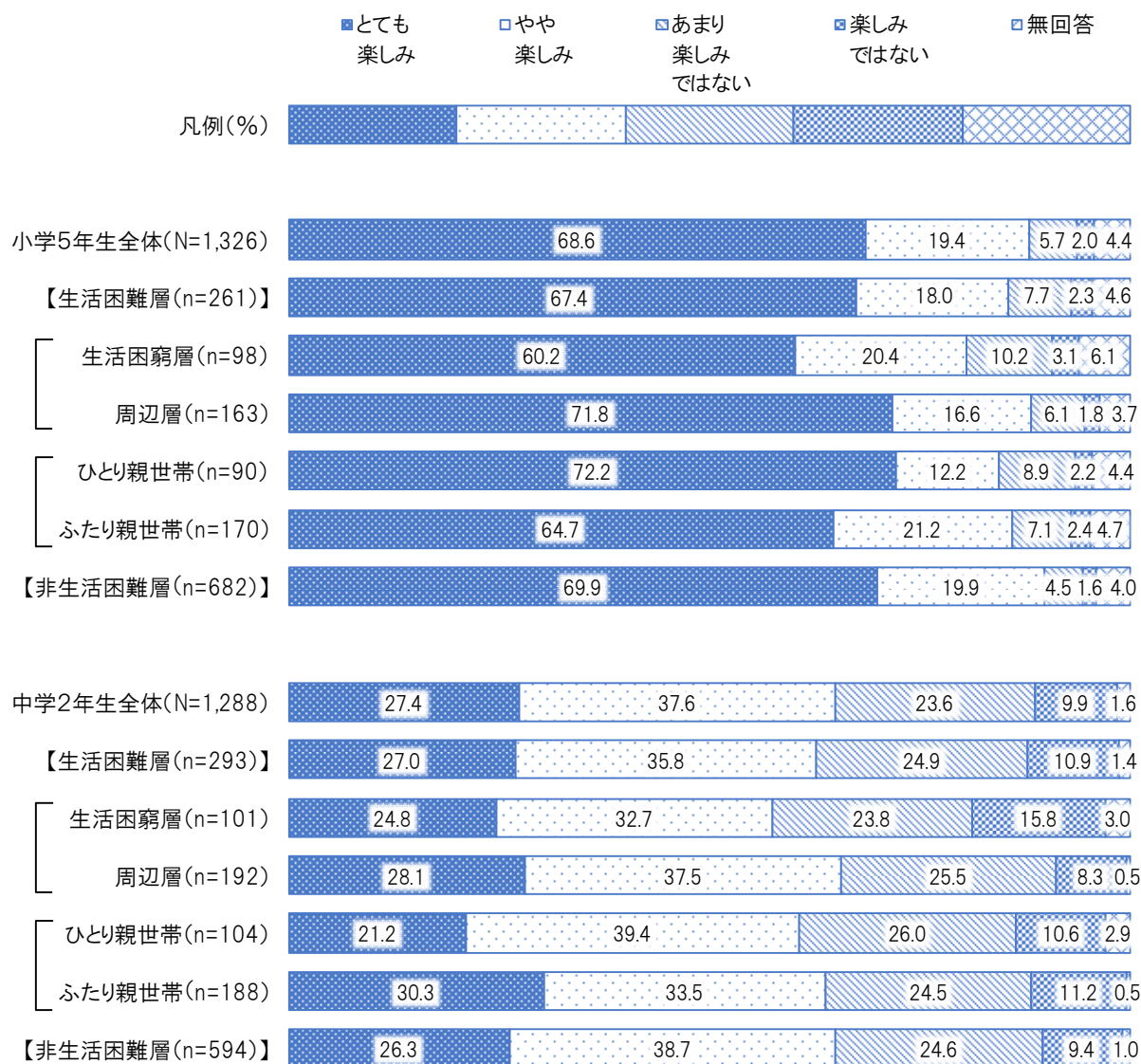
美術について「あまり楽しみではない」「楽しみではない」の合計は、小学5年生の生活困窮層で15.3%、周辺層で9.8%となっている。中学2年生では、生活困窮層で38.6%、周辺層で33.4%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。



※小学生票では「図画工作」

E 技術・家庭科*

技術・家庭科について「あまり楽しみではない」「楽しみではない」の合計は、小学5年生の生活困窮層で13.3%、周辺層で7.9%となっている。中学2年生では、生活困窮層で39.6%、周辺層で33.8%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

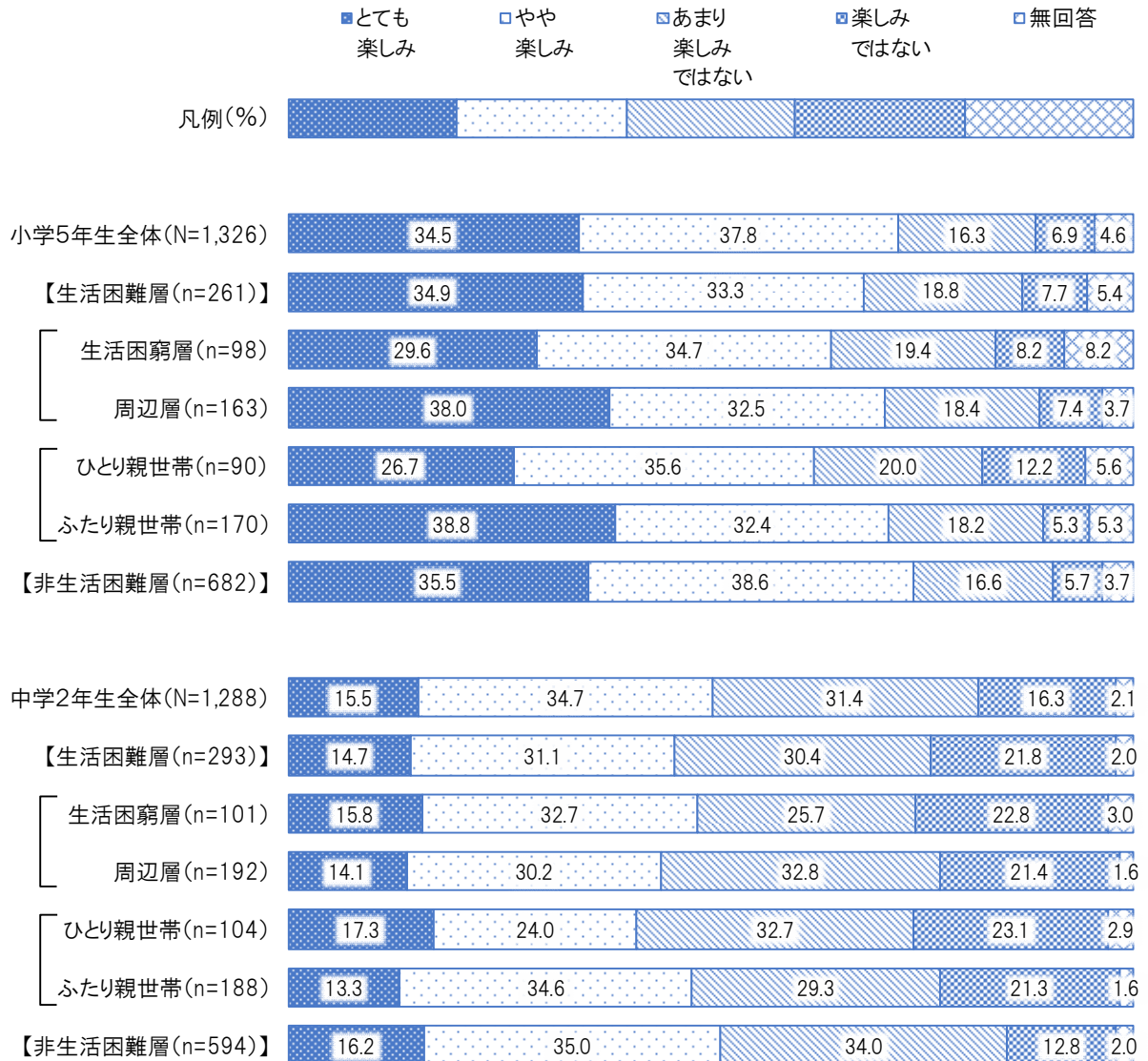


※小学生票では「家庭科」

F 先生に会うこと

先生に会うことについて「あまり楽しみではない」「楽しみではない」の合計は、小学5年生の生活困窮層で27.6%、周辺層で25.8%となっている。中学2年生では、生活困窮層で48.5%、周辺層で54.2%となっており、周辺層で「あまり楽しみではない」の割合が高くなっている。

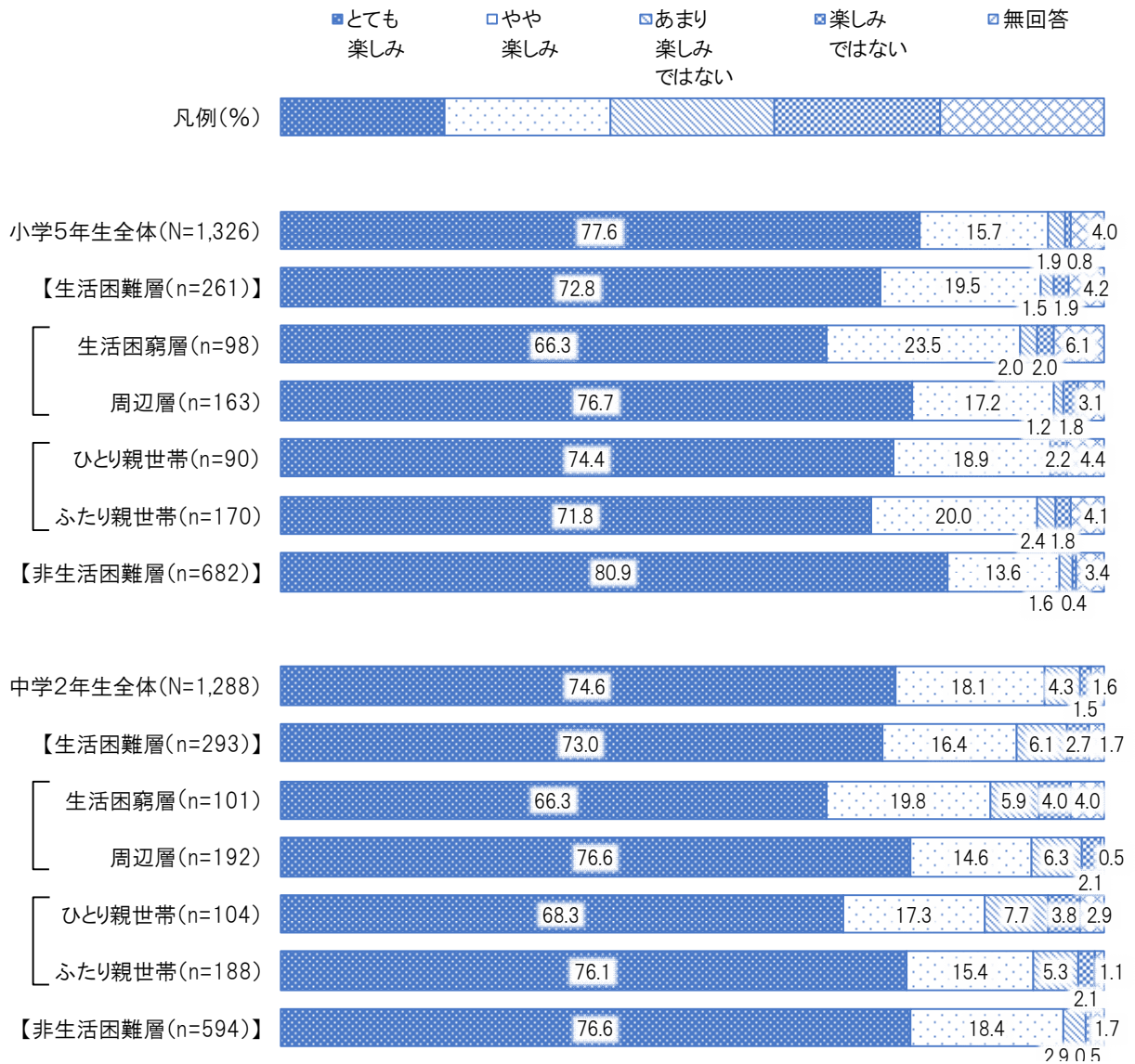
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生のひとり親世帯で「楽しみではない」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



G 学校の友だちに会うこと

学校の友だちに会うことについて「あまり楽しみではない」「楽しみではない」の合計は、小学5年生の生活困窮層で4.0%、周辺層で3.0%となっている。中学2年生では、生活困窮層で9.9%、周辺層で8.4%となっており、生活困難度による大きな差はみられない。

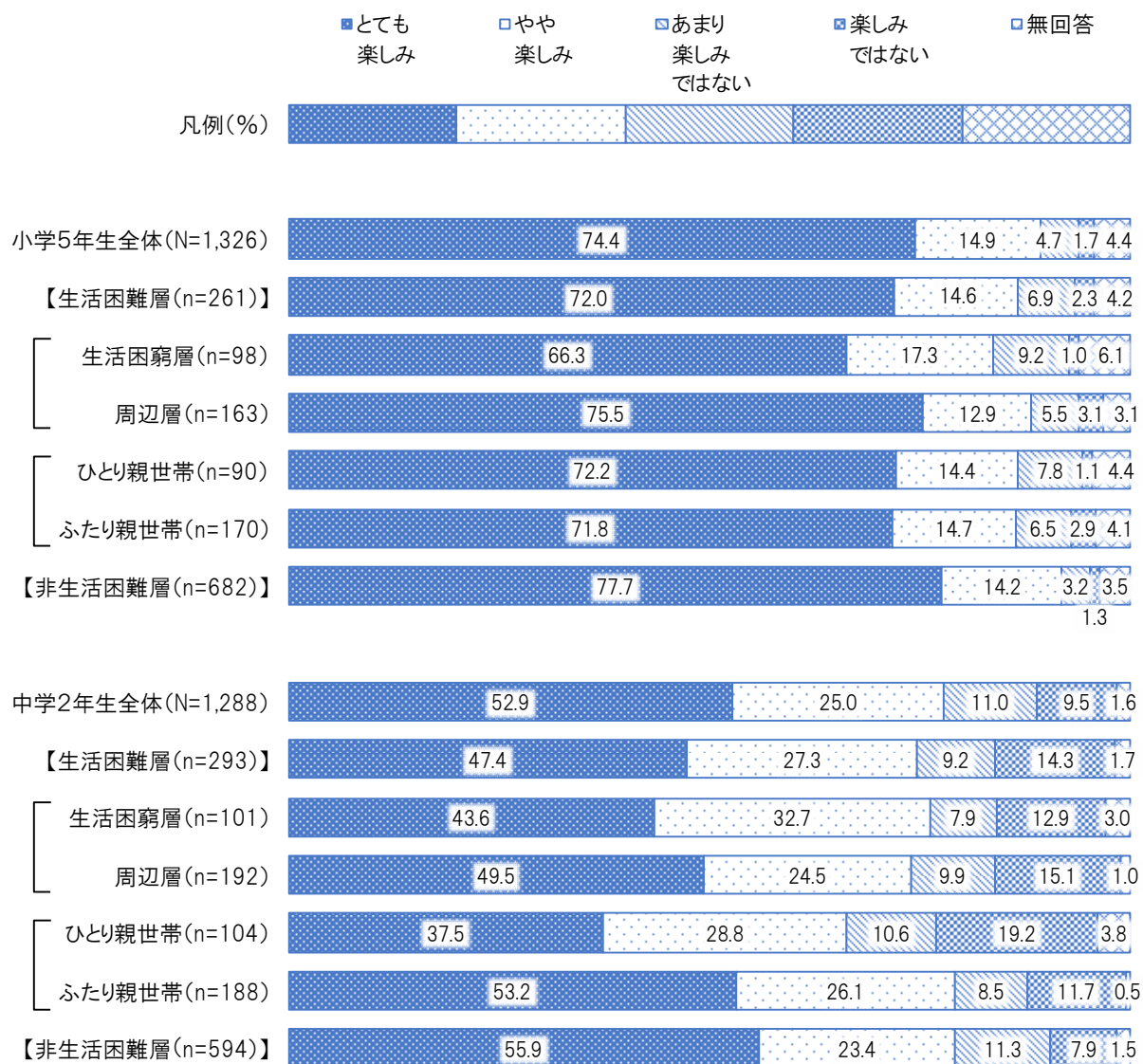
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で『楽しみではない（合計）』の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



H 学校の部活動*

学校の部活動について「あまり楽しみではない」「楽しみではない」の合計は、小学5年生の生活困窮層で10.2%、周辺層で8.6%となっている。中学2年生では、生活困窮層で20.8%、周辺層で25.0%となっており、非生活困難層に比べて「楽しみではない」の割合が高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「楽しみではない」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。

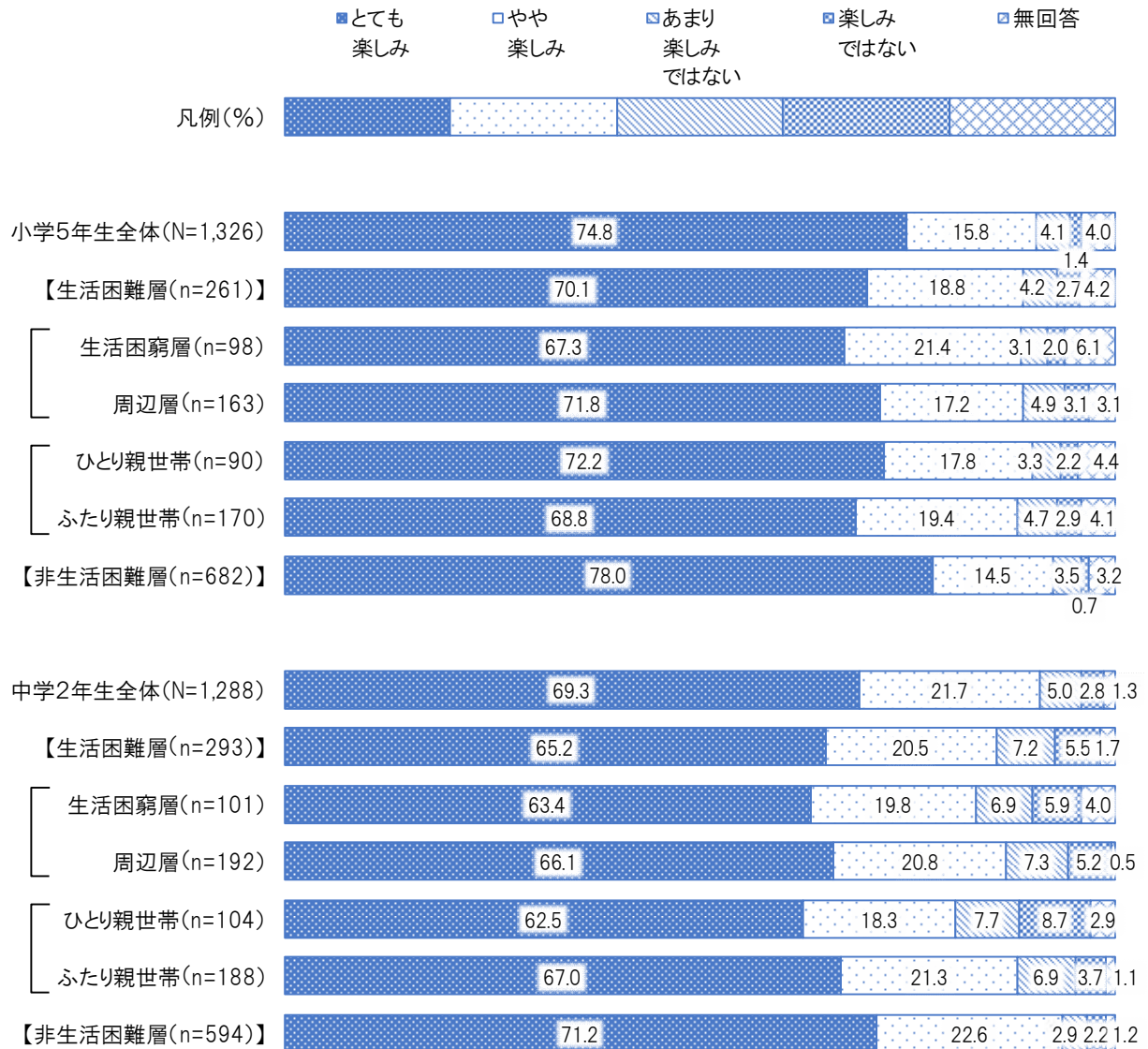


※小学生票では「学校のクラブ活動」

I 学校の休み時間

学校の休み時間について「あまり楽しみではない」「楽しみではない」の合計は、小学5年生の生活困窮層で 5.1%，周辺層で 8.0%となっている。中学2年生では、生活困窮層で 12.8%，周辺層で 12.5%となっており，生活困難度による大きな差はみられない。

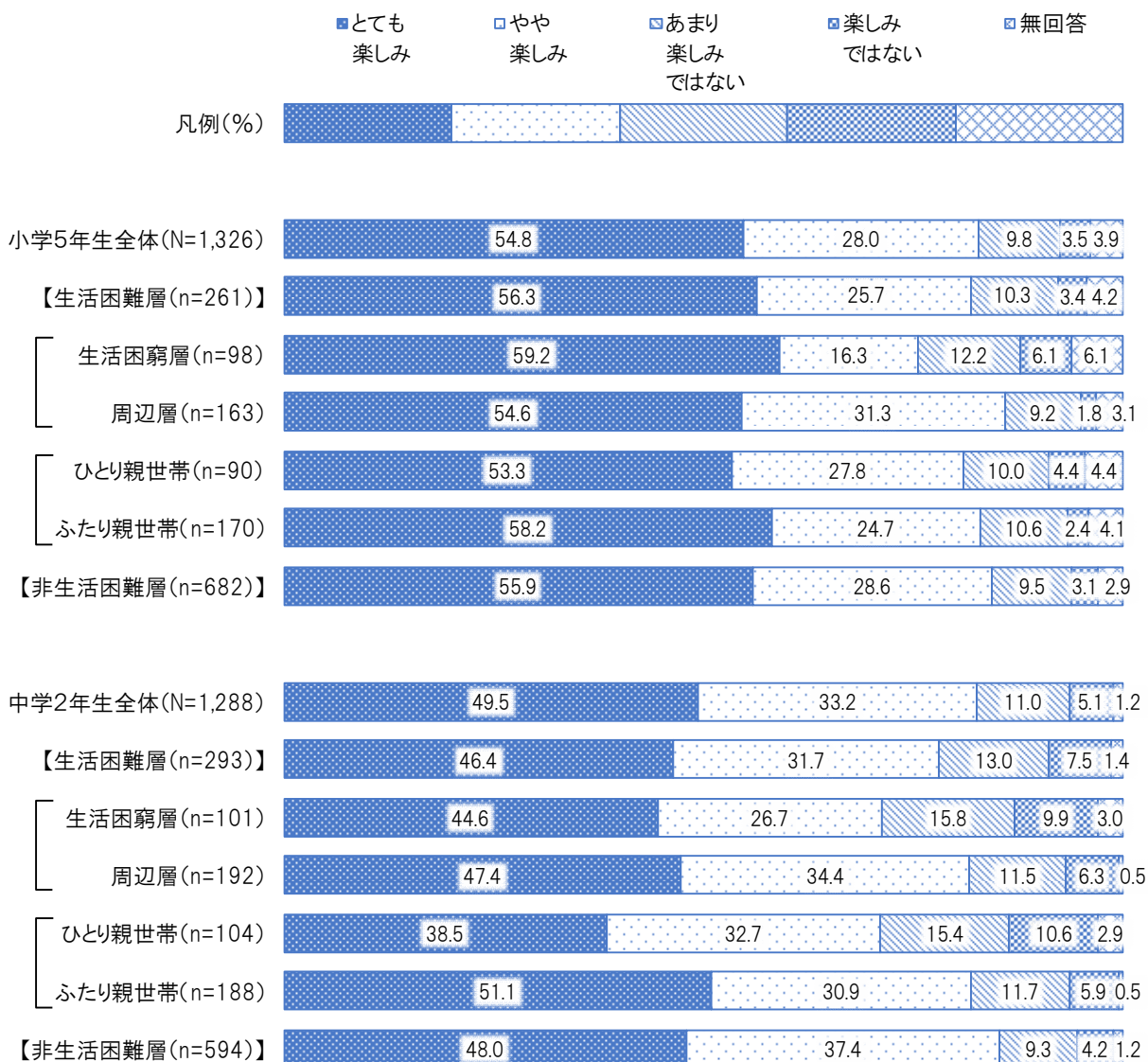
生活困難層世帯タイプ別では，中学2年生のひとり親世帯で「楽しみではない」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



J 学校の給食（お弁当など）

学校の給食（お弁当など）について「あまり楽しみではない」「楽しみではない」の合計は、小学5年生の生活困窮層で 18.3%，周辺層で 11.0%となっている。中学2年生では、生活困窮層で 25.7%，周辺層で 17.8%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で『楽しみではない（合計）』の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



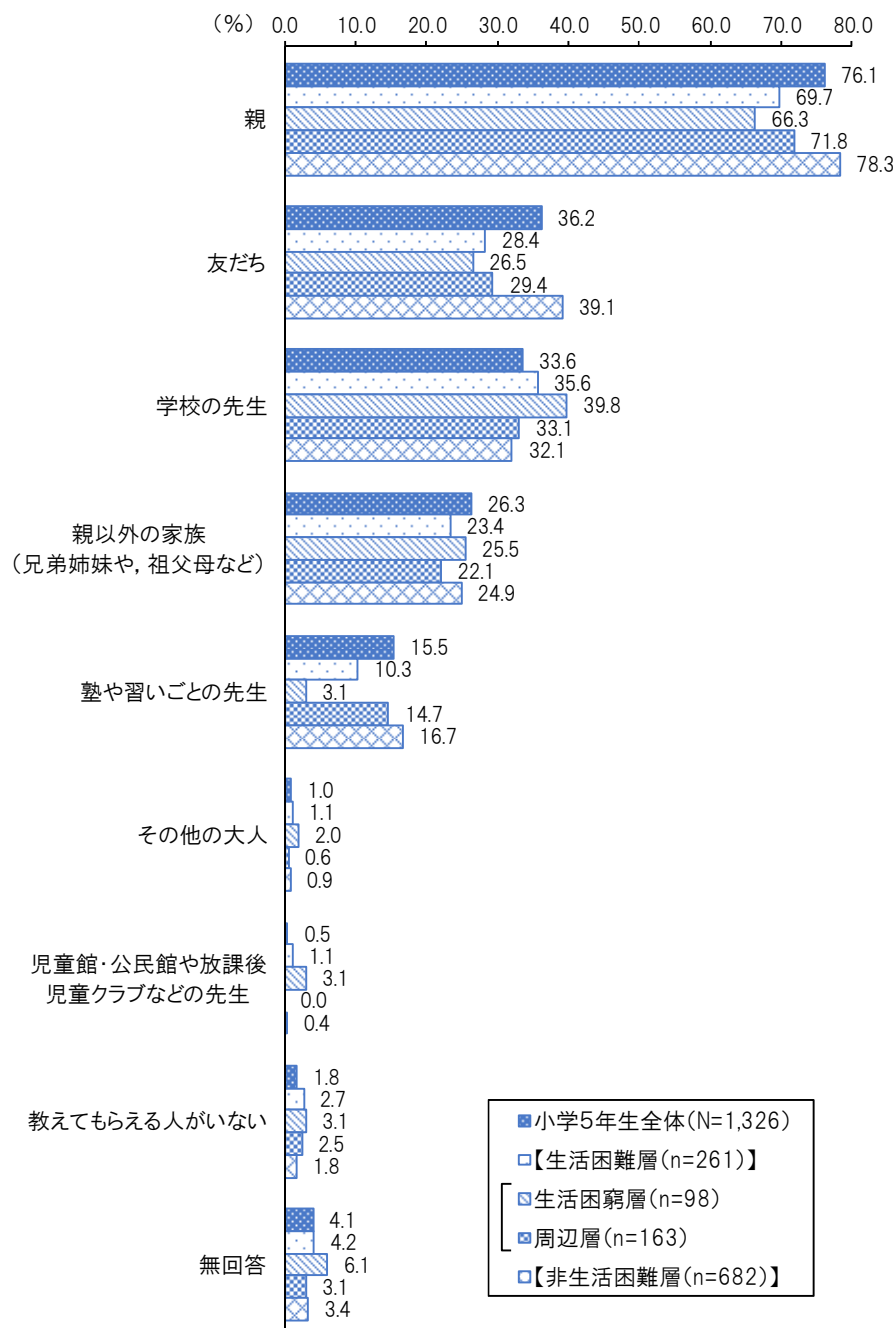
【5】学校外での学習・勉強の状況

(1) 勉強を教えてくれる人

子／問 29 勉強がわからないときは、誰に教えてもらいますか。
(あてはまる番号すべてに○)

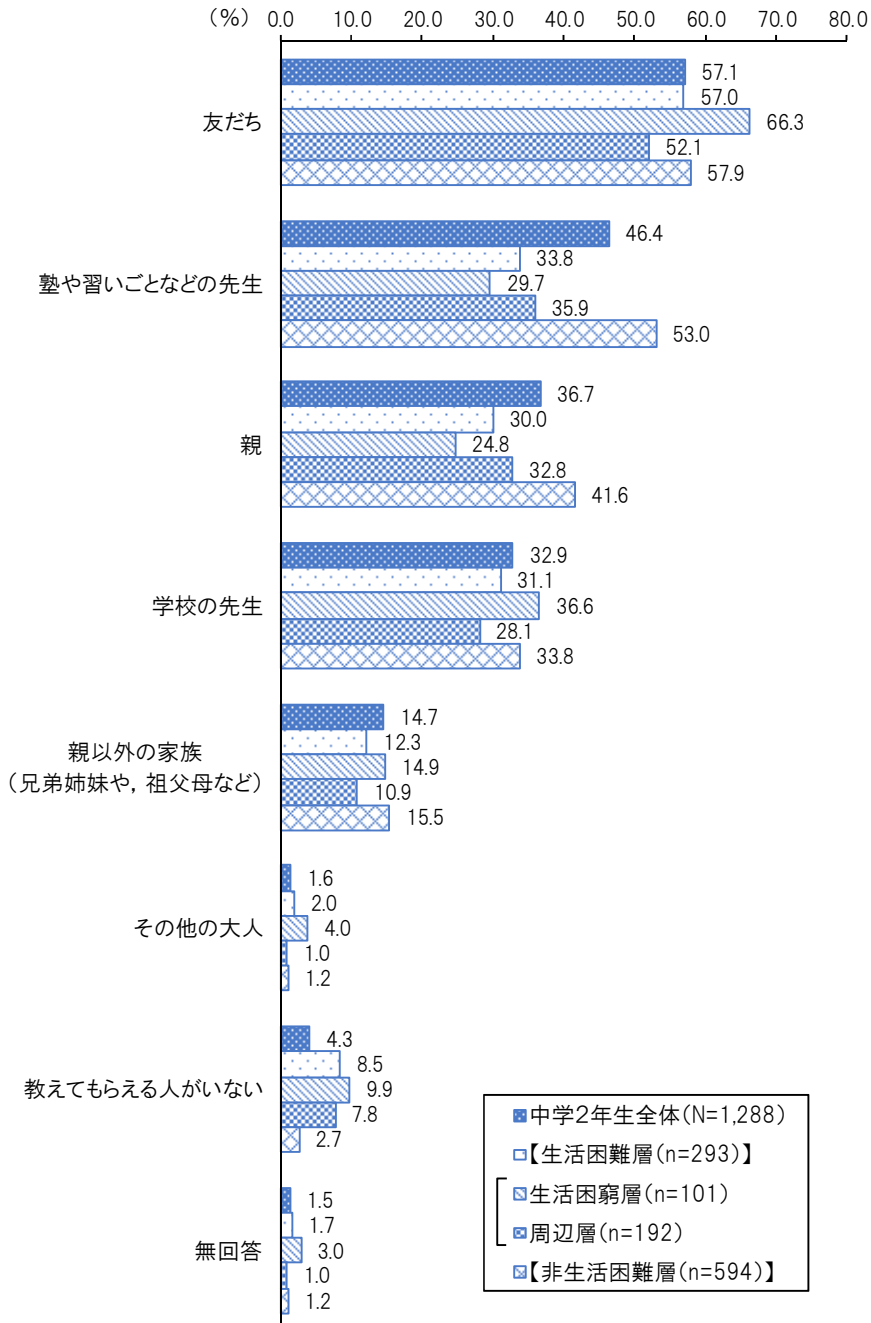
勉強を教えてくれる人について、小学5年生全体では「親」が76.1%と最も高く、次いで「友だち」(36.2%)、「学校の先生」(33.6%)、「親以外の家族(兄弟姉妹や、祖父母など)」(26.3%)の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「親」「友だち」「塾や習いごとの先生」の割合が低く、「学校の先生」の割合が他の層に比べて高くなっている。



中学2年生全体では「友だち」が 57.1%と最も高く、次いで「塾や習いごとなどの先生」(46.4%)、「親」(36.7%)、「学校の先生」(32.9%)の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「塾や習いごとの先生」「親」の割合が低く、「友だち」の割合が他の層を大きく上回っている。



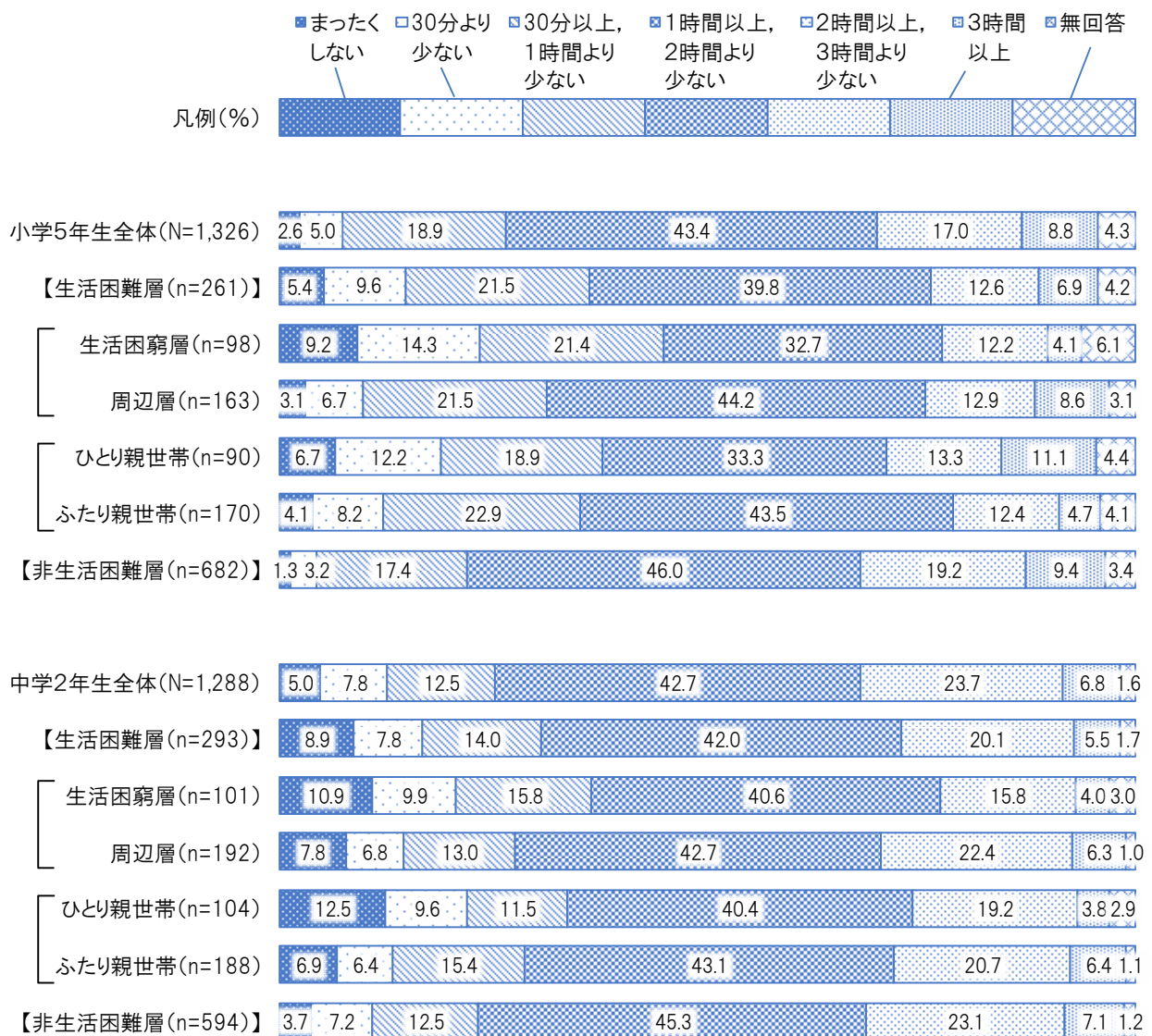
(2) 学校外での勉強時間

子／問 32 あなたは、ふだん(月～金曜日)学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか。1日あたりの勉強時間を教えてください。
 (あてはまる番号1つに○)
 ※塾などでの時間も含まれます。

学校外での勉強時間については、小学5年生全体では、「まったくしない」「30分より少ない」の合計が7.6%、中学2年生全体では12.8%となっている。一方、「2時間以上、3時間より少ない」「3時間以上」の合計は、小学5年生全体では25.8%、中学2年生全体では30.5%となっている。

生活困難度別にみた「まったくしない」「30分より少ない」の合計は、小学5年生の生活困窮層で23.5%、中学2年生で20.8%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともにひとり親世帯で「まったくしない」「30分より少ない」の合計がふたり親世帯に比べて高くなっている。

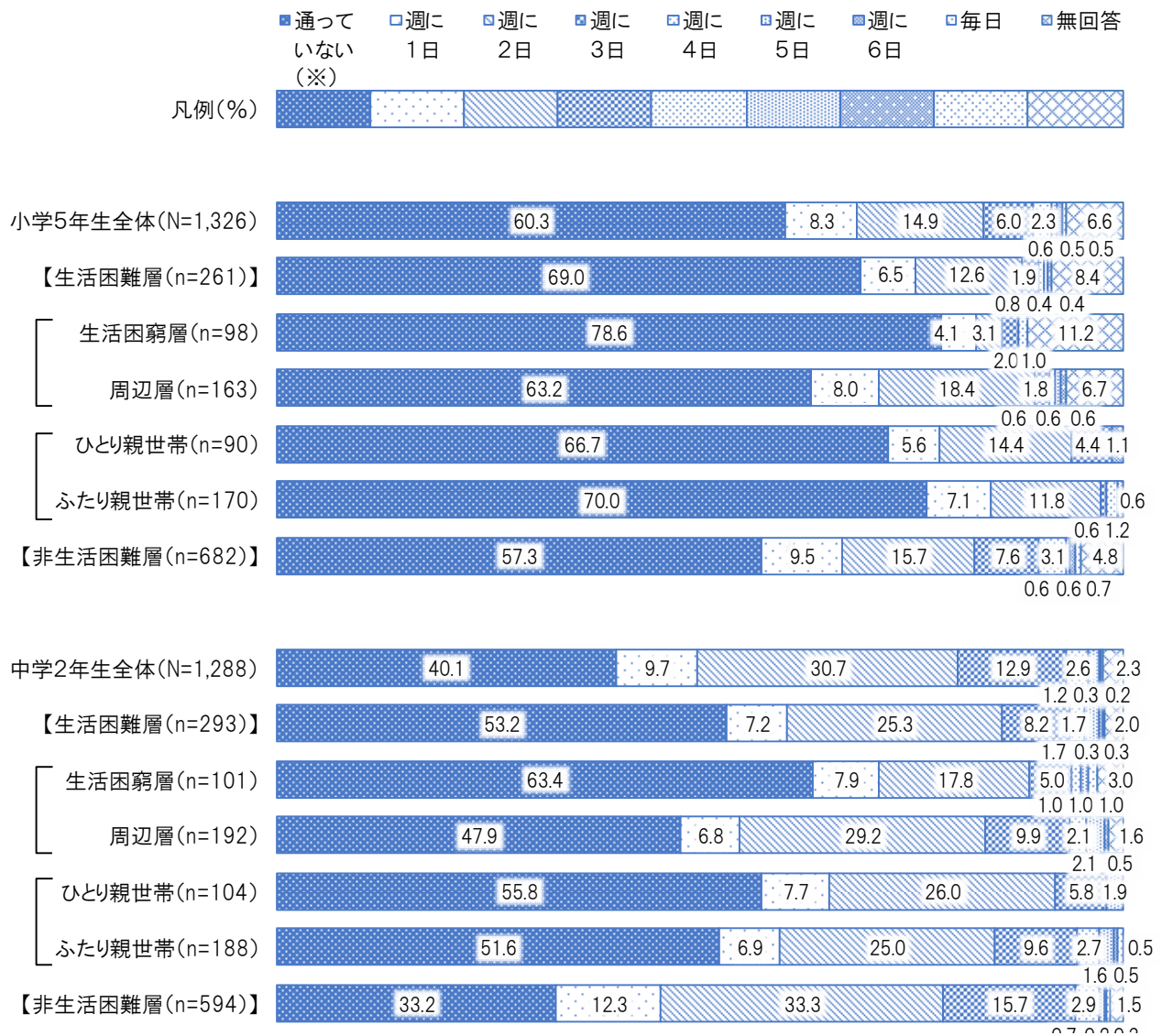


(3) 学習塾・家庭教師の頻度

子／問 33 あなたは、学習塾に通ったり、家庭教師に来てもらっていますか。通っている（来てもらっている）場合、1週間に何日通って（来てもらって）いますか。（あてはまる番号1つに○）

学習塾・家庭教師の頻度については、小学5年生全体では「通って（来てもらって）いない」の割合が60.3%、中学2年生全体では、40.1%となっている。一方、「週に1日」「週に2日」「週に3日」の合計は、小学5年生全体では29.2%、中学2年生全体では53.3%となっている。

生活困難度別にみた「通って（来てもらって）いない」割合は、小学5年生の生活困窮層で78.6%、中学2年生で63.4%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。



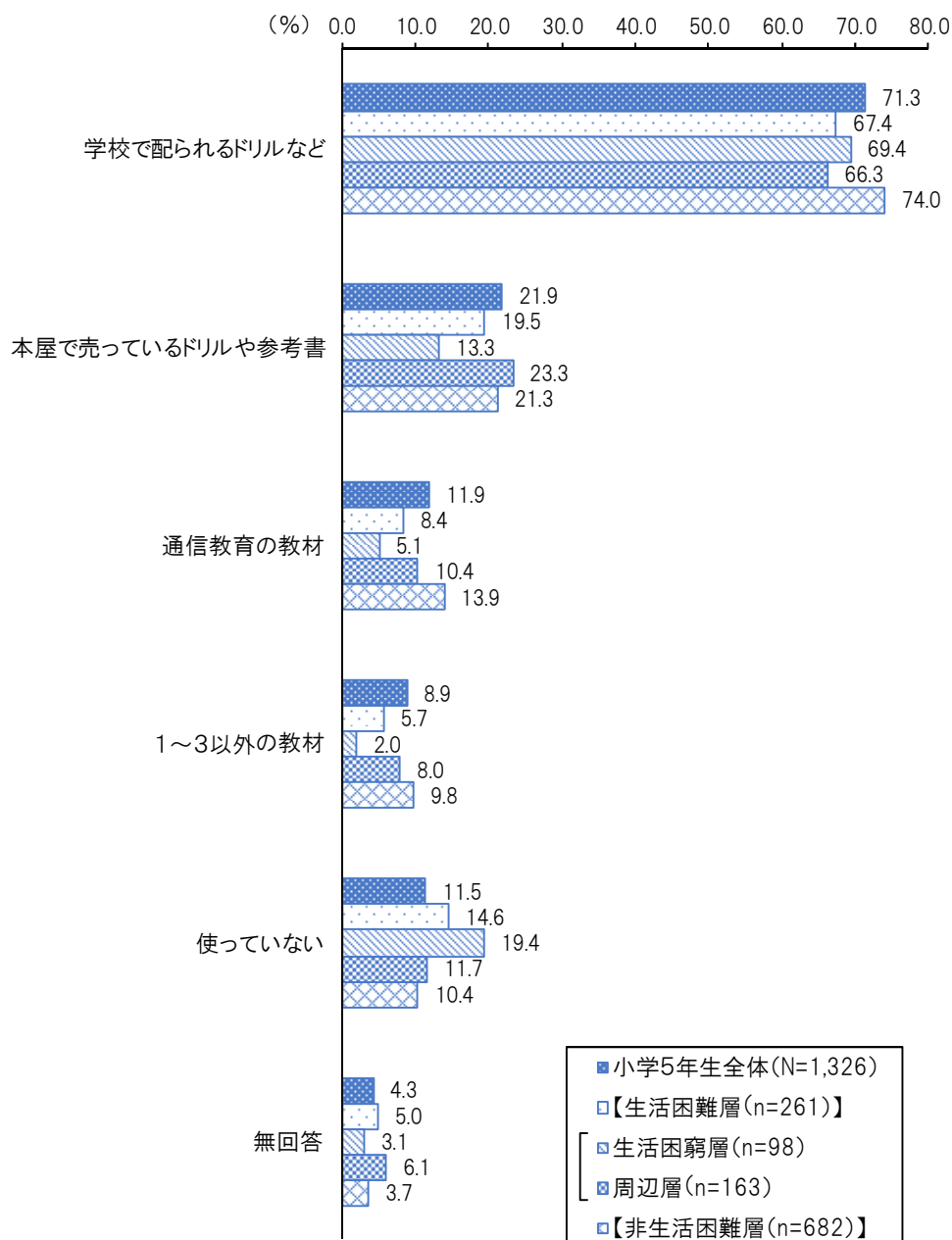
※通って(来てもらって)いない

(4) 自宅での教材使用状況

子／問 34 あなたは、自宅で次の教材を使っていますか。(あてはまる番号すべてに○)

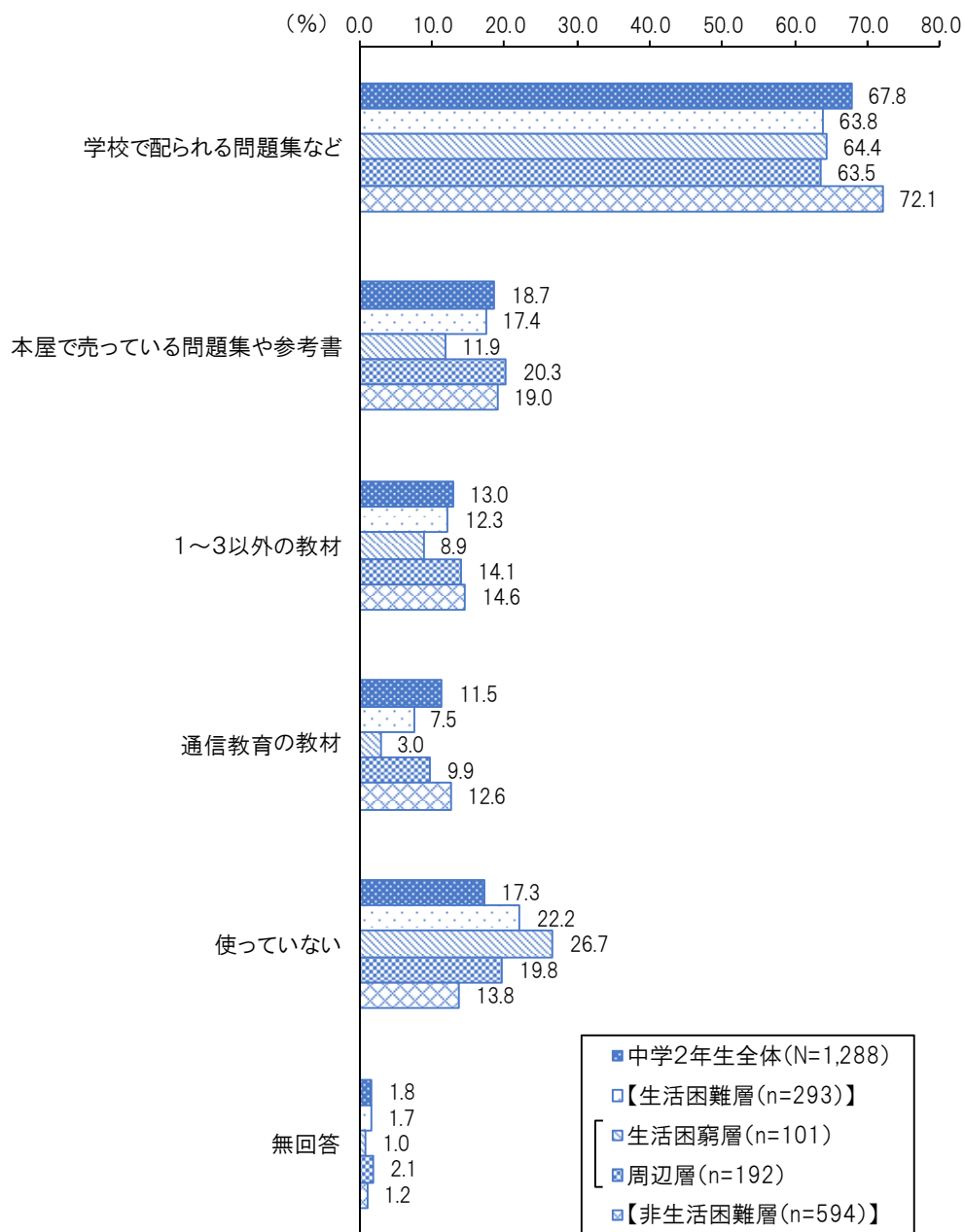
自宅での教材使用状況について、小学5年生全体では「学校で配られるドリルなど」が71.3%と最も高く、次いで「本屋で売っているドリルや参考書」(21.9%)、「通信教育の教材」(11.9%)の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「本屋で売っているドリルや参考書」「通信教育の教材」などの割合が低く、「使っていない」の割合が他の層に比べて高くなっている。



中学2年生全体では、「学校で配られる問題集など」が67.8%と最も高く、次いで「本屋で売っている問題集や参考書」(18.7%)、「1～3以外の教材」(13.0%)の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「本屋で売っている問題集や参考書」「1～3以外の教材」などの割合が低く、「使っていない」の割合が他の層に比べて高くなっている。



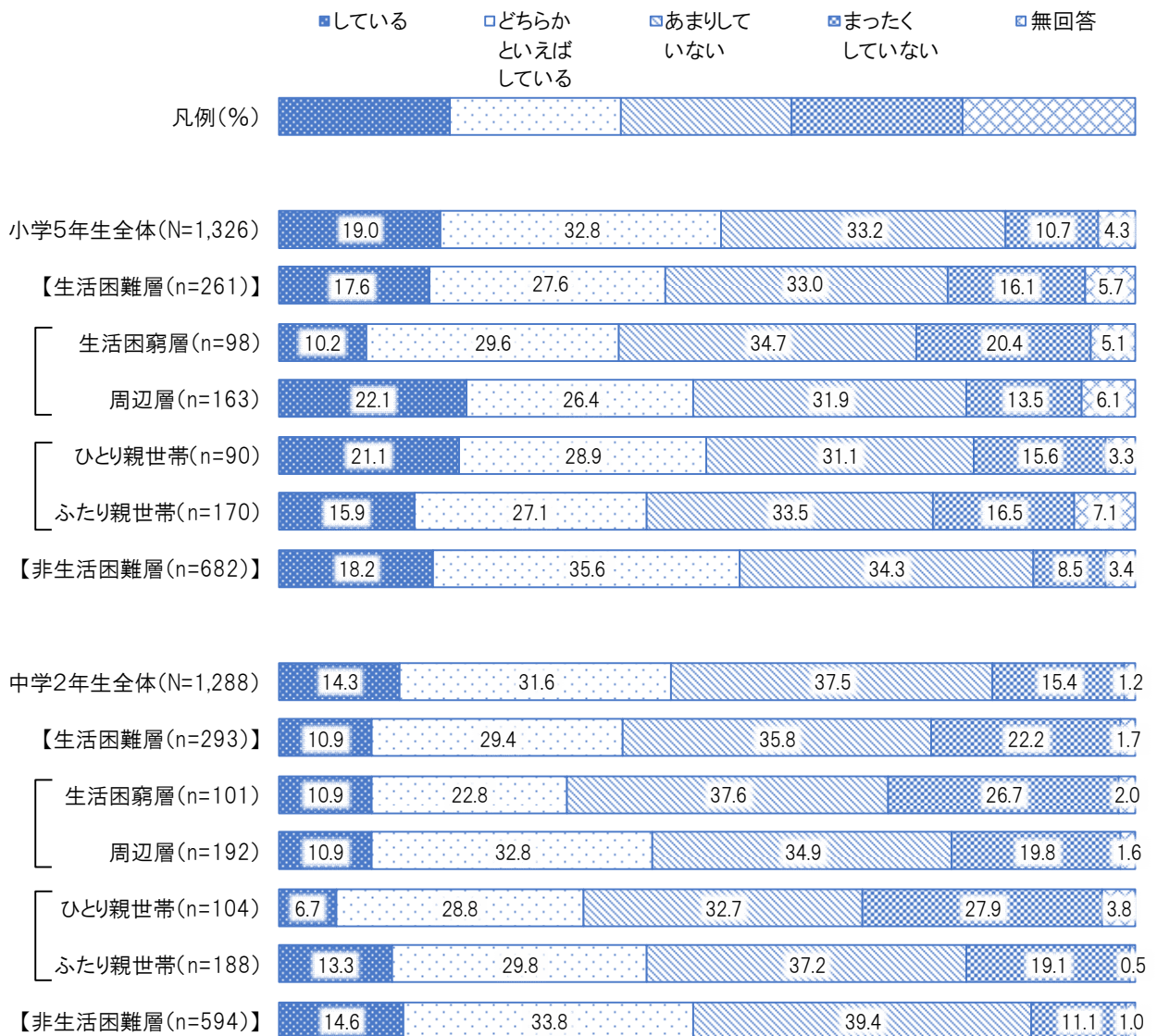
(5) 計画的な勉強実施状況

子／問 35 あなたは、ふだん、自分で計画を立てて勉強をしていますか。
(あてはまる番号1つに○)

計画的な勉強実施状況については、小学5年生全体では「している」「どちらかといえばしている」の合計が51.8%、中学2年生全体では45.9%となっている。一方、「まったくしていない」の割合は、小学5年生全体では10.7%、中学2年生全体では15.4%となっている。

生活困難度別にみた「まったくしていない」の割合は、小学5年生の生活困窮層で20.4%、中学2年生で26.7%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では中学2年生のひとり親世帯で「まったくしていない」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。

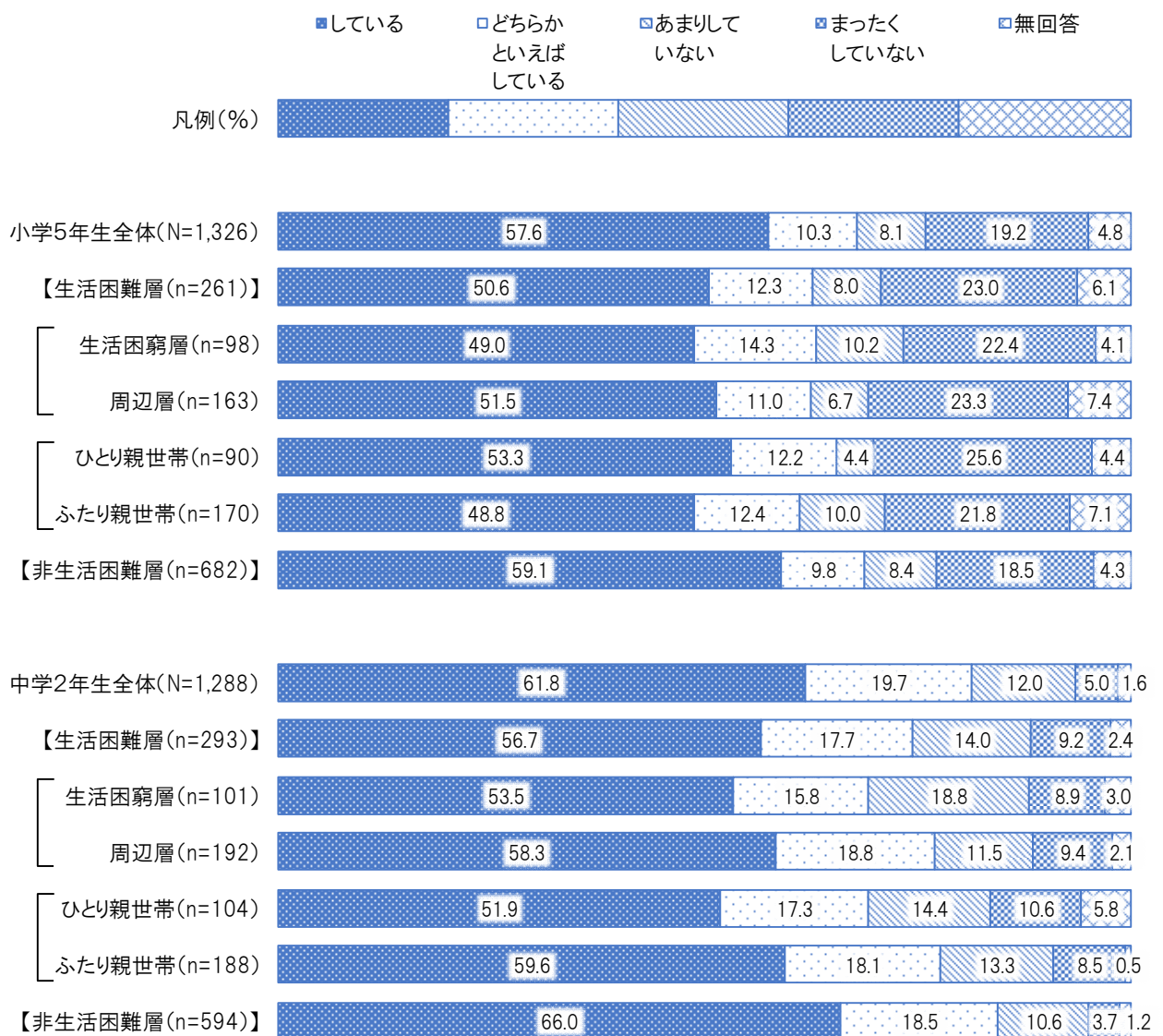


(6) 宿題への対応状況

子／問 36 あなたは、ふだん、自宅や学習塾などで学校の宿題をしていますか。
(あてはまる番号1つに○)

宿題への対応状況については、小学5年生全体では「している」の割合が57.6%、中学2年生全体では61.8%となっている。一方、「あまりしていない」「まったくしていない」の合計は、小学5年生全体では27.3%、中学2年生全体では17.0%となっている。

生活困難度別にみた「あまりしていない」「まったくしていない」の合計は、小学5年生の生活困窮層で32.6%、中学2年生で27.7%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。



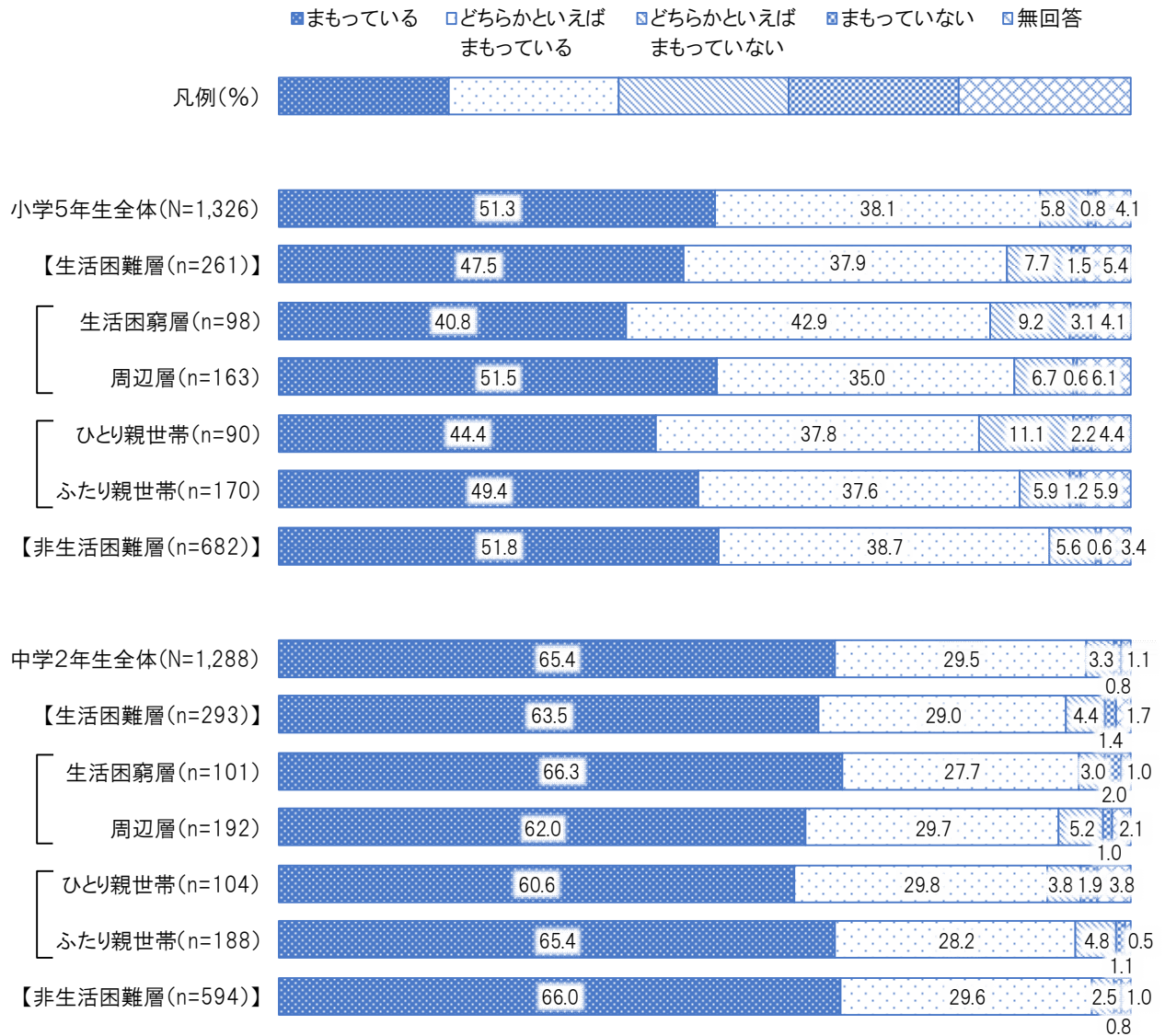
(7) 学校規則の遵守状況

子／問 37 あなたは、ふだん、学校の規則をまもっていますか。
(あてはまる番号1つに○)

学校規則の遵守状況については、小学5年生全体では「まもっている」の割合が51.3%、中学2年生全体では65.4%となっている。一方、「どちらかといえばまもっていない」「まもっていない」の合計は、小学5年生全体では6.6%、中学2年生全体では4.1%となっている。

生活困難度別にみた「まもっている」の割合は、小学5年生の生活困窮層で40.8%、中学2年生で66.3%となっており、小学5年生の生活困窮層で「まもっている」の割合が周辺層に比べて低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともにひとり親世帯で「まもっている」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。

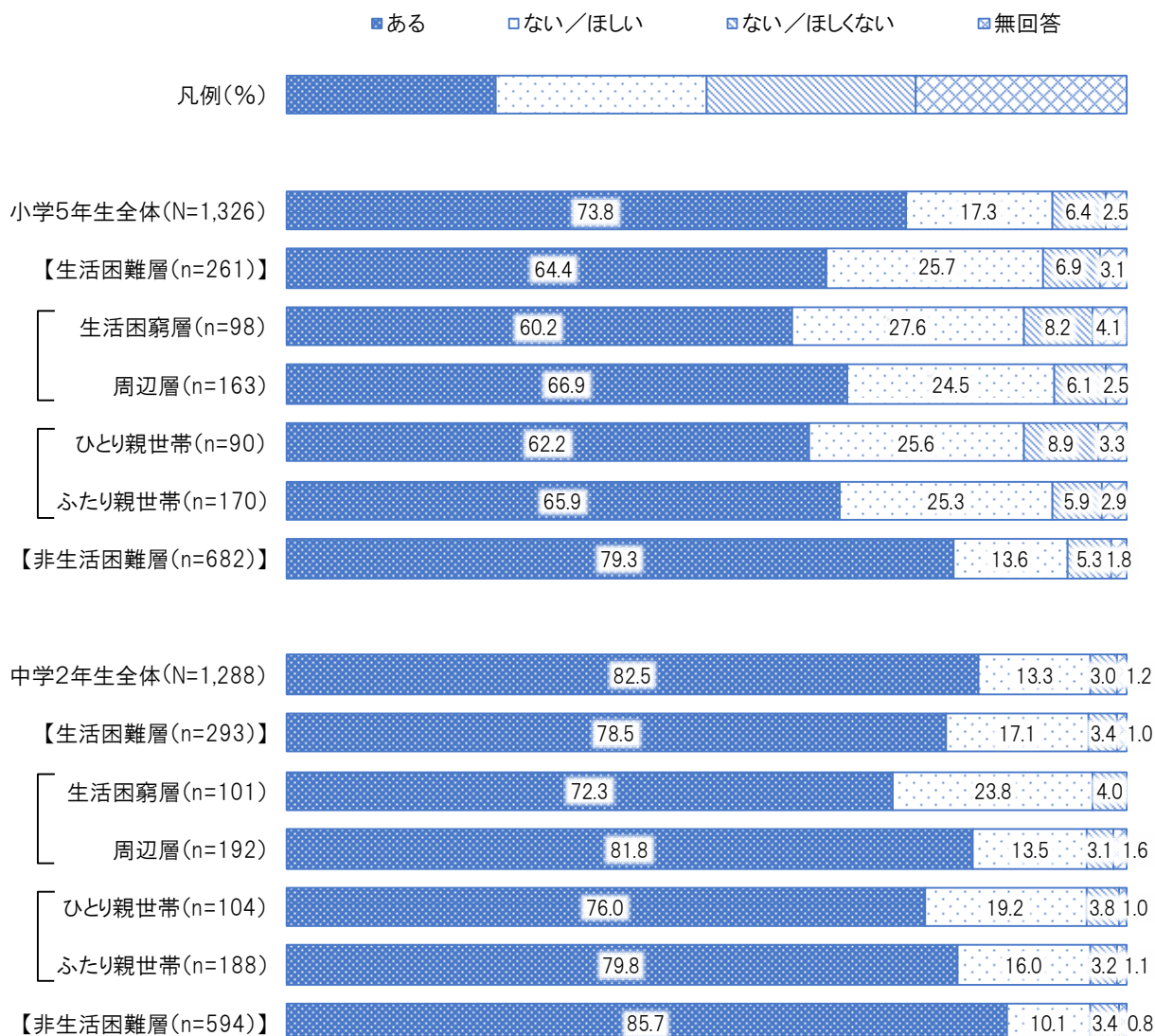


【6】学習環境

子／問4 あなたには、自分が使うことができる、次のものがありますか。ある場合は「1 ある」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2 ほしい」、いらないと思うものであれば「3 ほしくない」に○をつけてください。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

B 子ども部屋（兄弟姉妹と使っている場合も含む）（再掲）

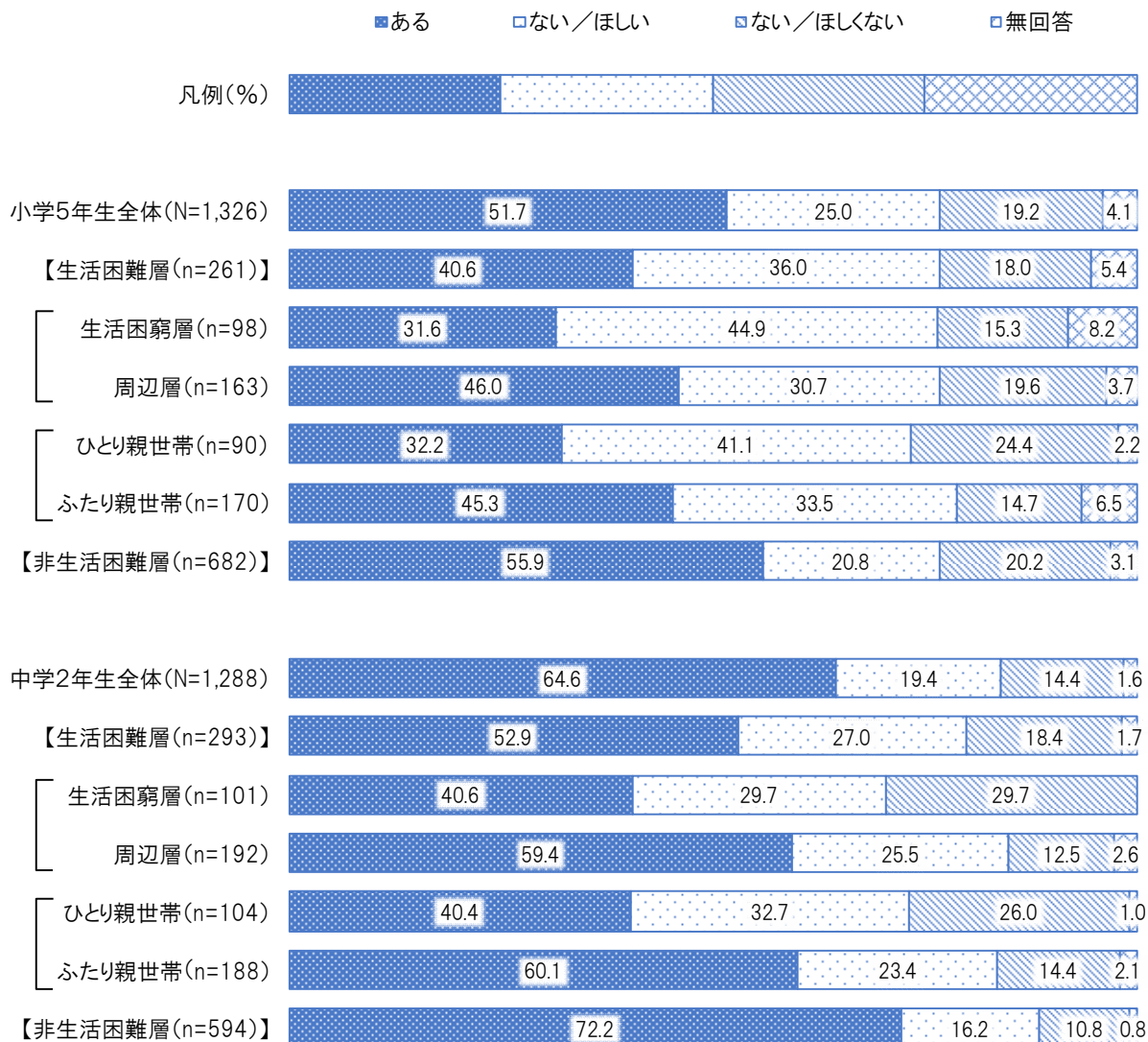
子ども部屋（兄弟姉妹と使っている場合も含む）について「ない／ほしい」の割合は、小学5年生の生活困窮層で27.6%、周辺層で24.5%となっている。中学2年生では、生活困窮層で23.8%、周辺層で13.5%となっており、生活困窮層で高くなっている。



C (自宅で)インターネットにつながるパソコン(再掲)

(自宅で)インターネットにつながるパソコンについて「ない/ほしい」の割合は、小学5年生の生活困窮層で44.9%、周辺層で30.7%となっている。中学2年生では、生活困窮層で29.7%、周辺層で25.5%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

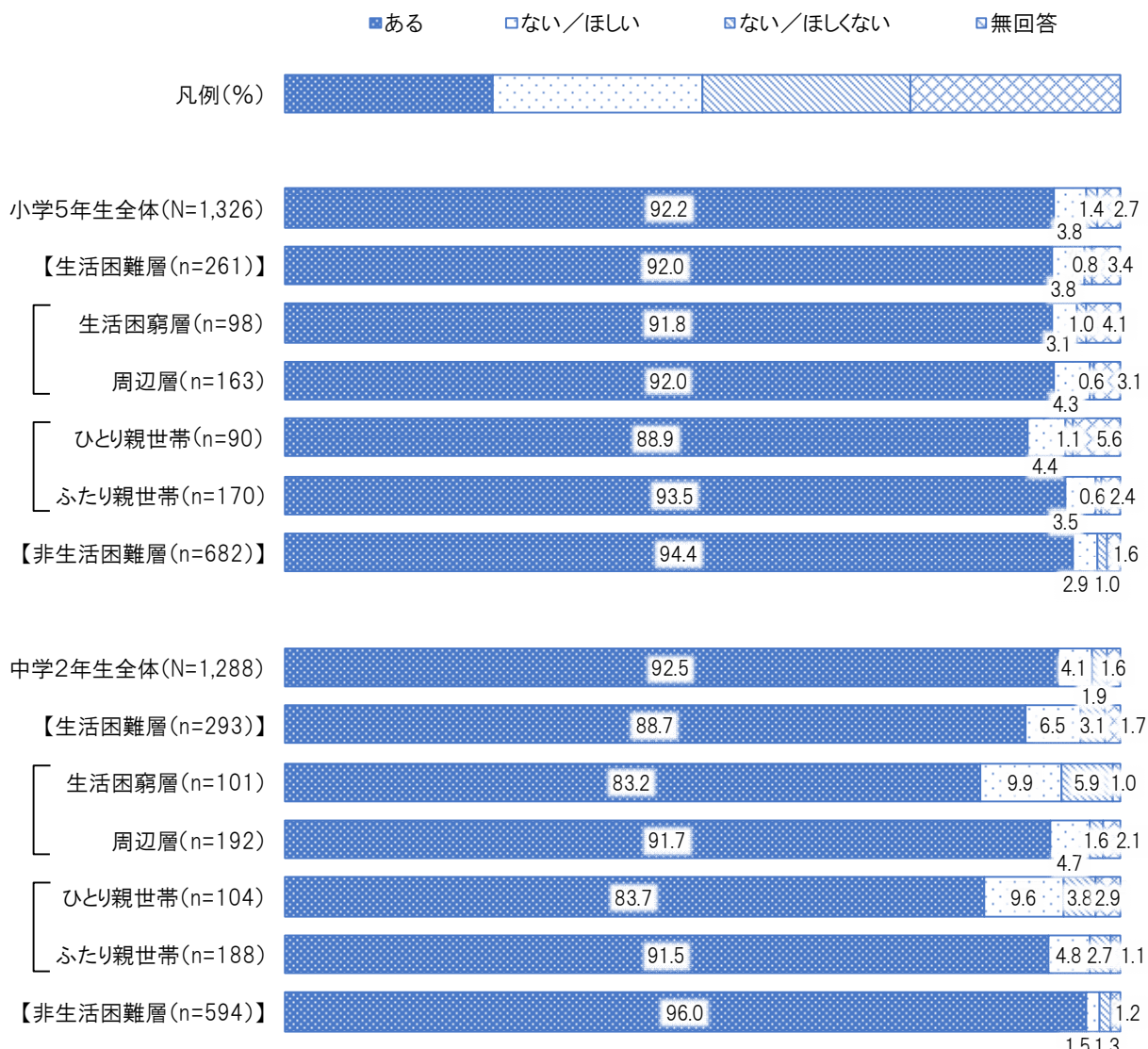
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともにひとり親世帯で「ない/ほしい」の割合が高くなっている。



D 自宅で宿題をすることができる場所（再掲）

自宅で宿題をすることができる場所について「ない／ほしい」の割合は、小学5年生の生活困窮層で3.1%，周辺層で4.3%となっている。中学2年生では，生活困窮層で9.9%，周辺層で4.7%となっており，生活困窮層で高くなっている。

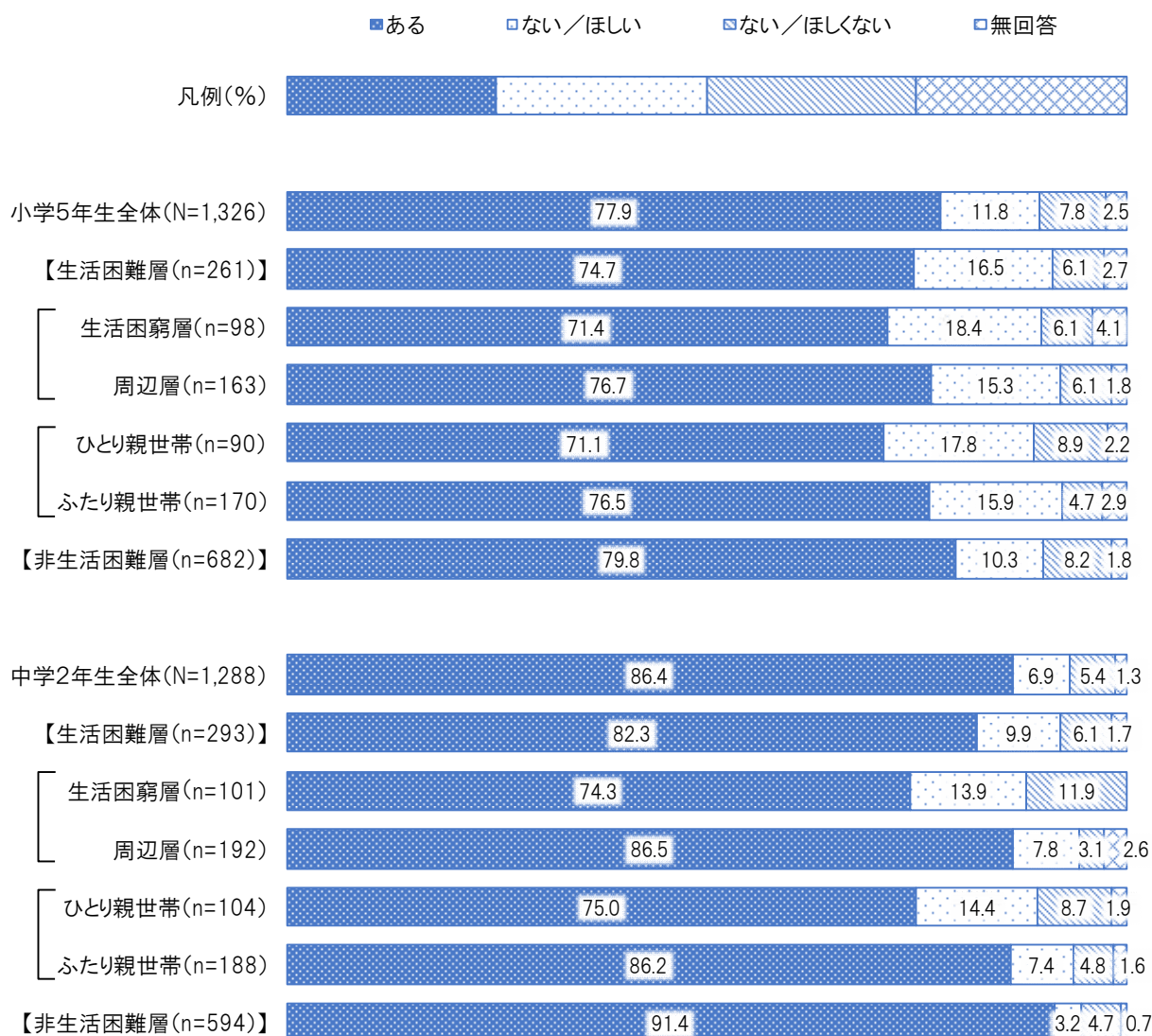
生活困難層世帯タイプ別では，中学2年生のひとり親世帯で「ない／ほしい」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



E 自分専用の勉強机（再掲）

自分専用の勉強机について「ない／ほしい」の割合は、小学5年生の生活困窮層で18.4%、周辺層で15.3%となっている。中学2年生では、生活困窮層で13.9%、周辺層で7.8%となっており、生活困窮層で高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「ない／ほしい」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



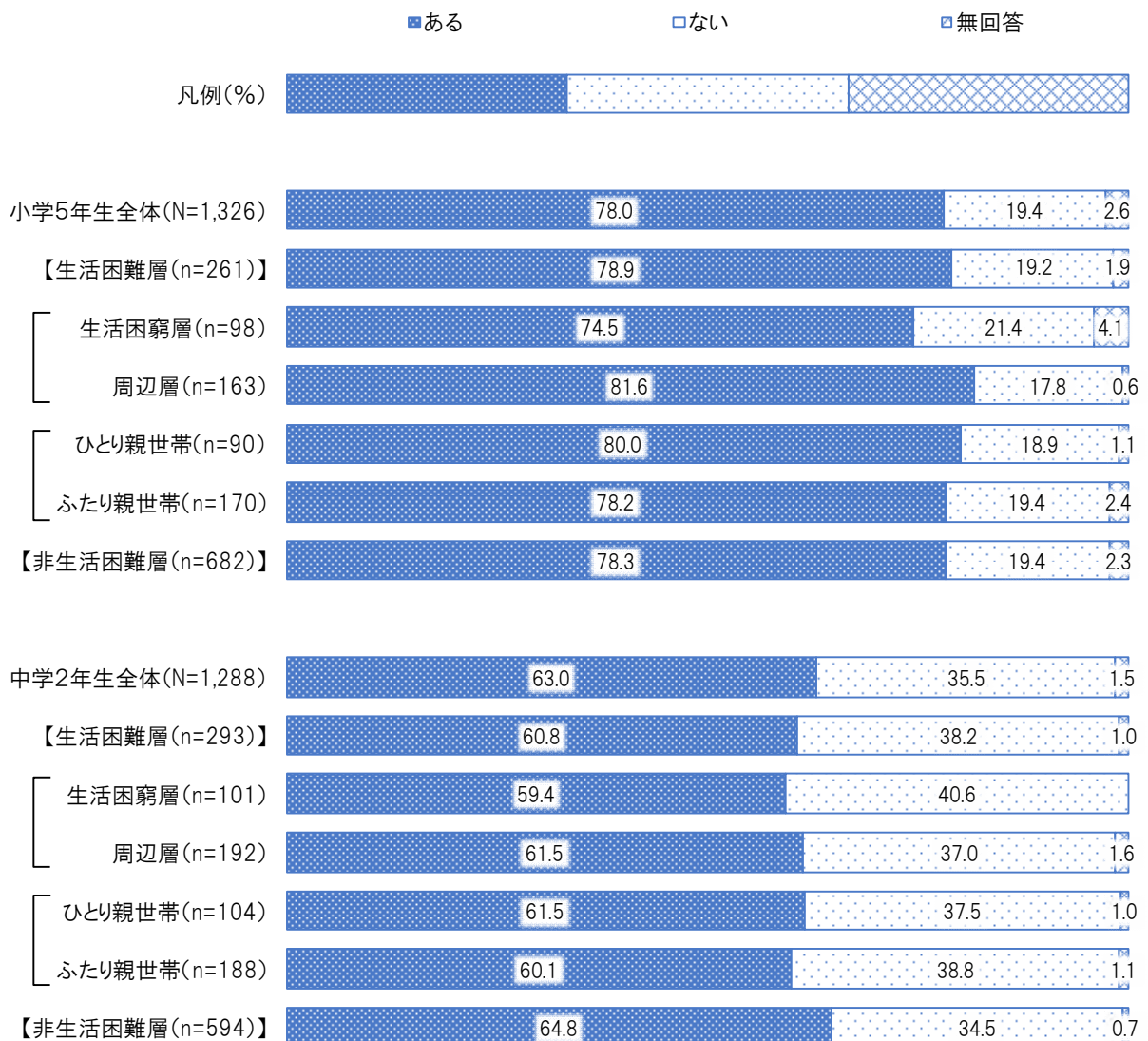
【7】将来の夢

(1) 夢の有無と夢がない理由

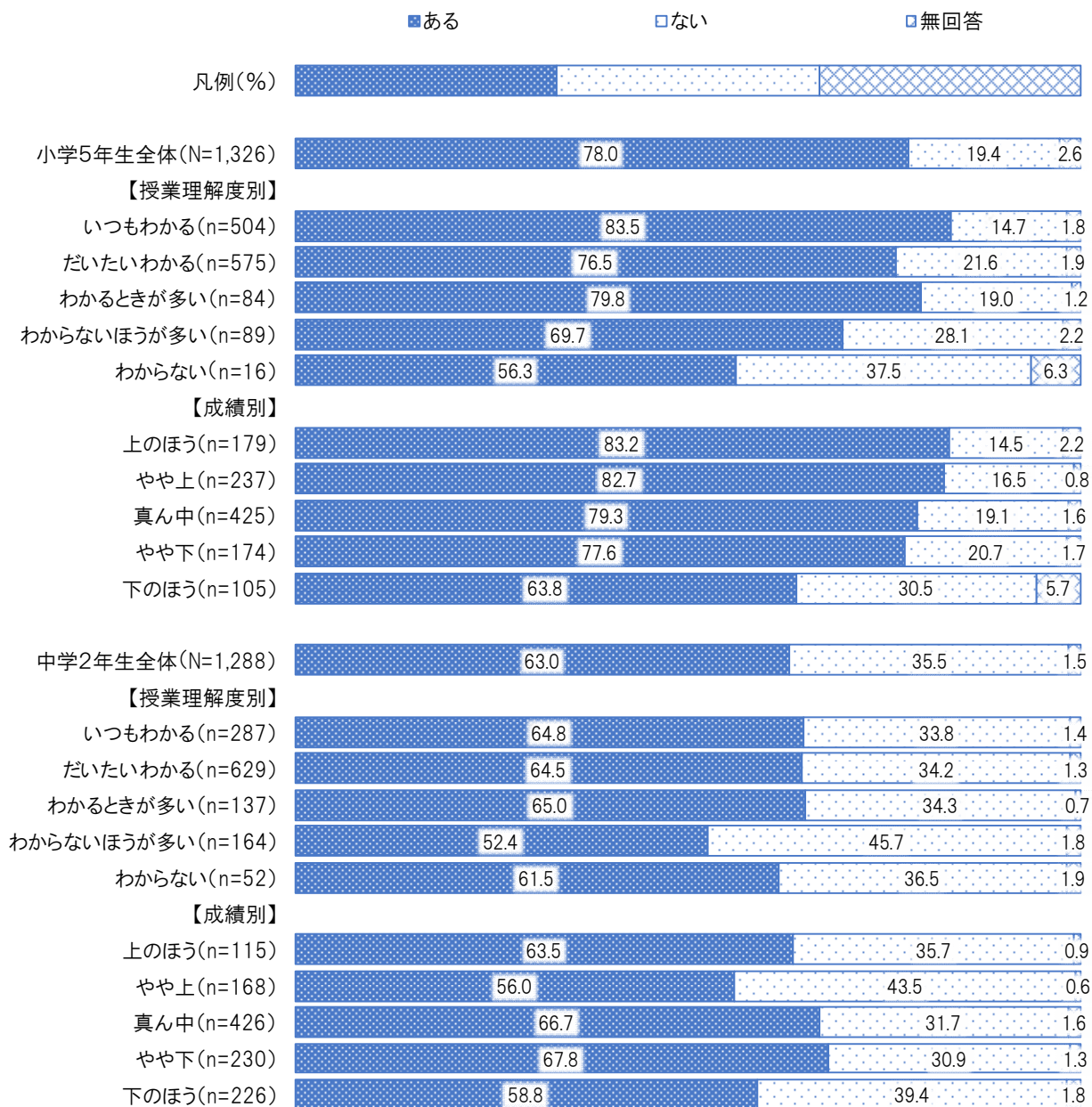
子／問5 あなたには、将来の夢やつきたい職業がありますか。
(あてはまる番号1つに○)

将来の夢やつきたい職業については、小学5年生全体では「ある」が78.0%、中学2年生全体では63.0%となっている。一方、「ない」は、小学5年生全体では19.4%、中学2年生全体では35.5%となっている。

生活困難度別にみた「ない」の割合は、小学5年生の生活困窮層で21.4%、中学2年生で40.6%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。



授業理解度別（問 28）で見ると、小学 5 年生は理解度が高い層ほど「ある」の割合が高く、成績別（問 30）では、成績が上の層ほど「ある」の割合が高い傾向にある。

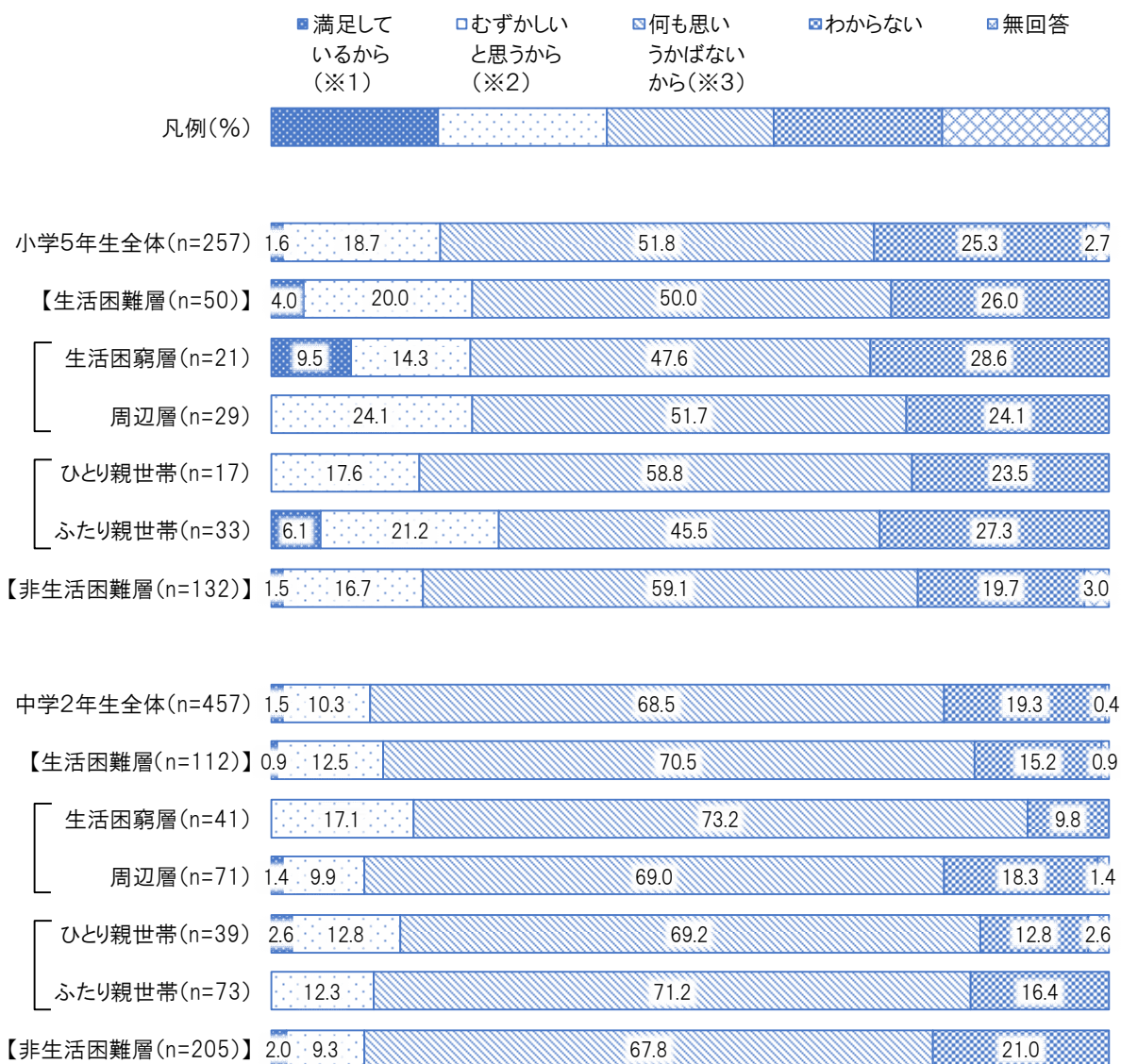


【将来の夢やつきたい職業が「2ない」と答えた人におききします。】
 子／問5-2 夢やつきたい職業がない理由は何ですか。（あてはまる番号1つに○）

夢やつきたい職業がない理由については、「具体的に、何も思いうかばないから」が小学5年生全体で51.8%、中学2年生全体で68.5%となっており、「夢をかなえるのはむずかしいと思うから」が小学5年生全体で18.7%、中学2年生全体で10.3%となっている。

生活困難度別にみると、小学5年生の周辺層、中学2年生の生活困窮層で「夢をかなえるのはむずかしいと思うから」の割合が他の層に比べて高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生のひとり親世帯で「具体的に、何も思いうかばないから」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



※1:もうすべてに満足しているから
 ※2:夢をかなえるのはむずかしいと思うから
 ※3:具体的に、何も思いうかばないから

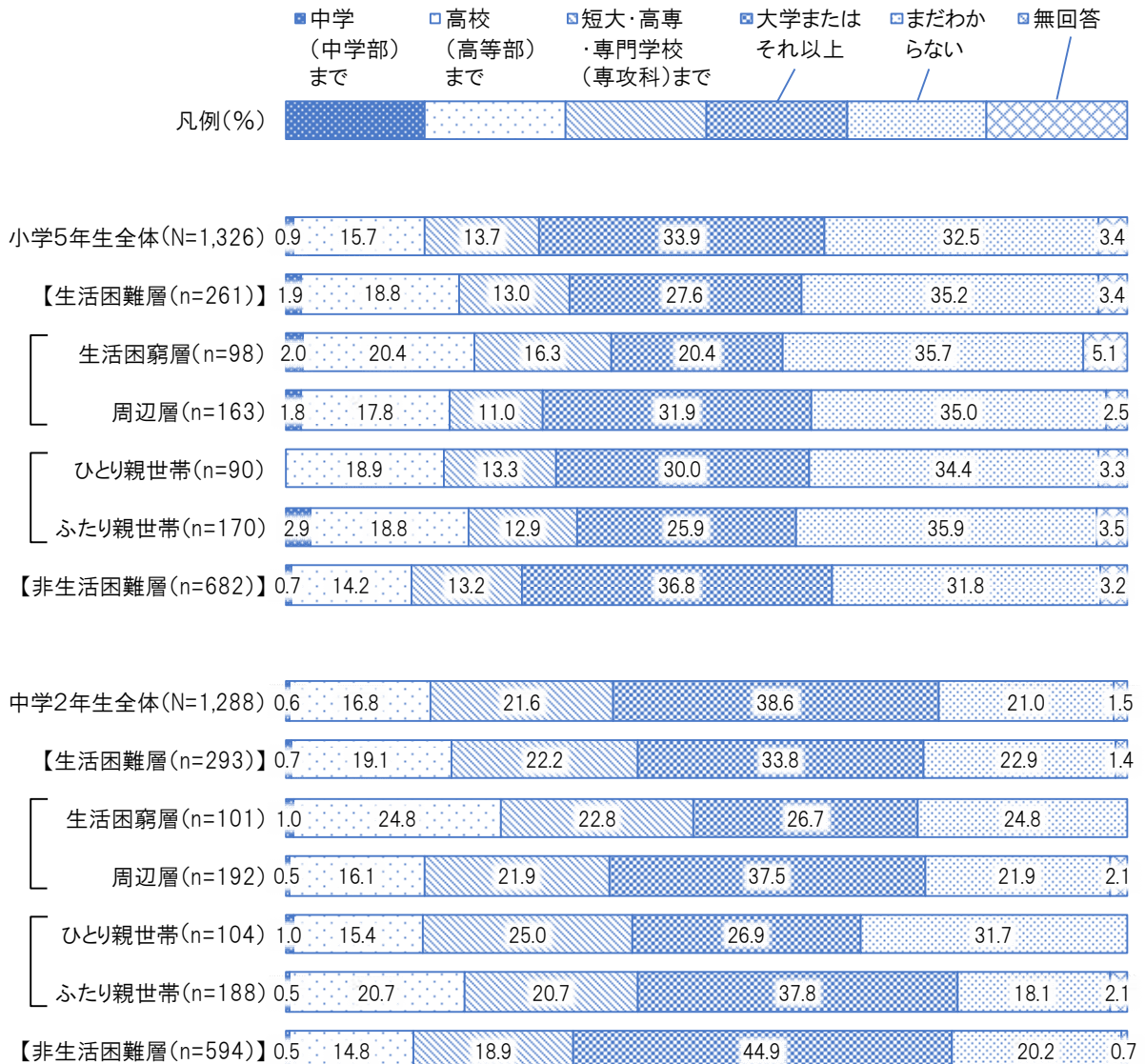
(2) 将来の進学希望

子／問5-3 あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。
 あなたの考えにもっとも近いものに○をつけてください。
 (あてはまる番号1つに○)

将来の進学希望については、「大学またはそれ以上」が小学5年生全体で33.9%、中学2年生全体で38.6%、「短大・高専・専門学校(専攻科)まで」が小学5年生全体で13.7%、中学2年生全体で21.6%、「高校(高等部)まで」が小学5年生全体で15.7%、中学2年生全体で16.8%となっている。

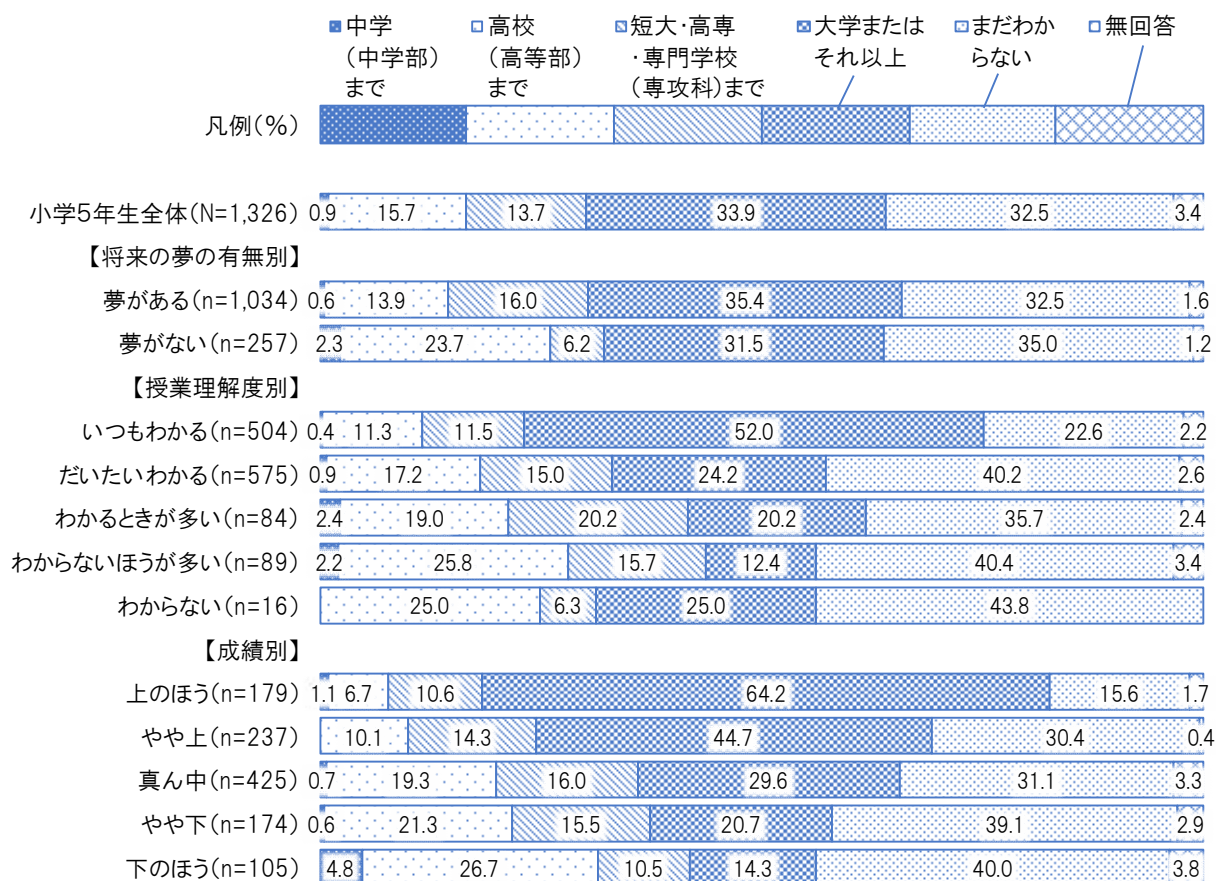
生活困難度別にみた「大学またはそれ以上」の割合は、小学5年生の生活困窮層で20.4%、中学2年生で26.7%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「大学またはそれ以上」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



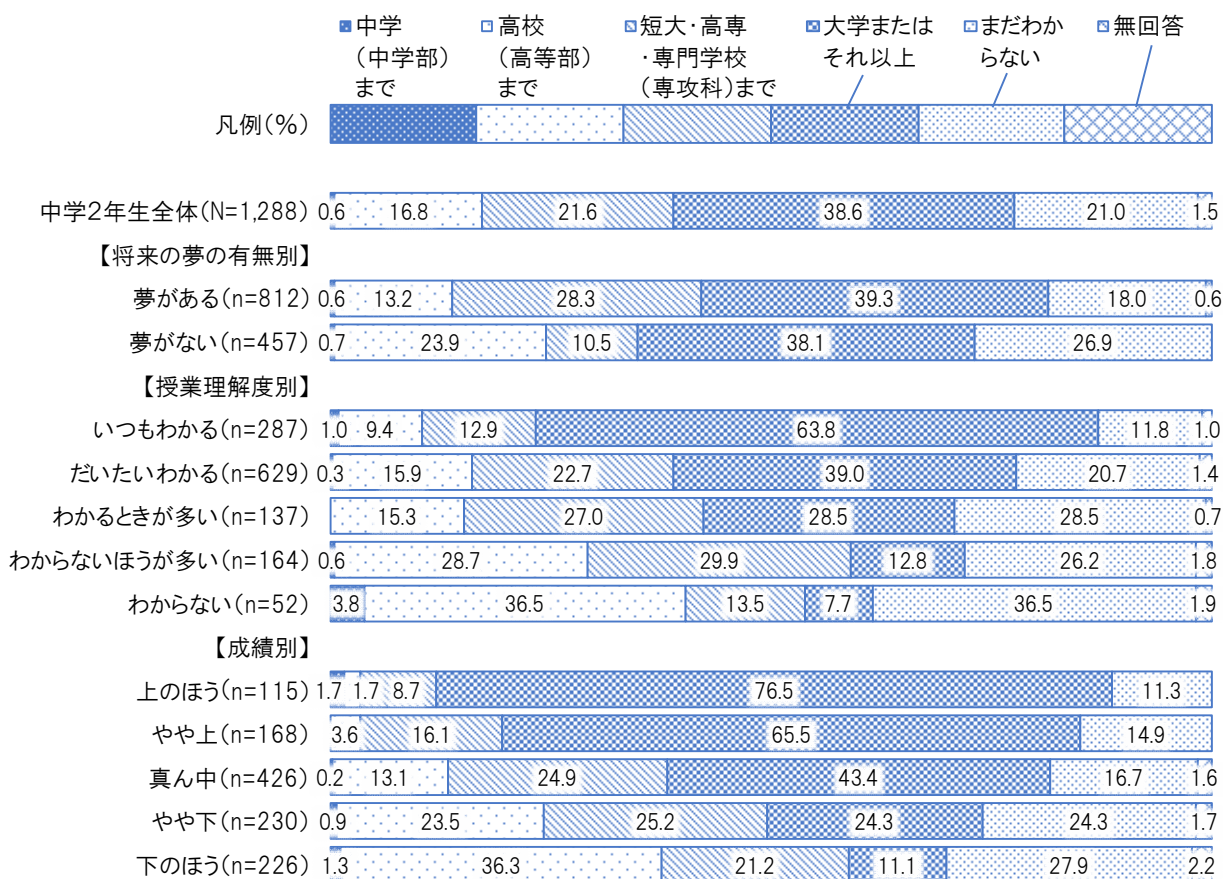
小学5年生について将来の夢の有無別（問5）でみると、夢がない層では、夢がある層に比べ「高校（高等部）まで」が高くなっている。

授業理解度別（問28）では、理解度が高い層ほど、成績別（問30）では成績が上の層ほど「大学またはそれ以上」の割合がそれぞれ高い傾向にある。



中学2年生について将来の夢の有無別（問5）でみると、夢がない層では、夢がある層に比べ「高校（高等部）まで」及び「まだわからない」の割合が高くなっている。

授業理解度別（問28）では、理解度が高い層ほど、成績別（問30）では成績が上の層ほど「大学またはそれ以上」の割合がそれぞれ高い傾向にある。



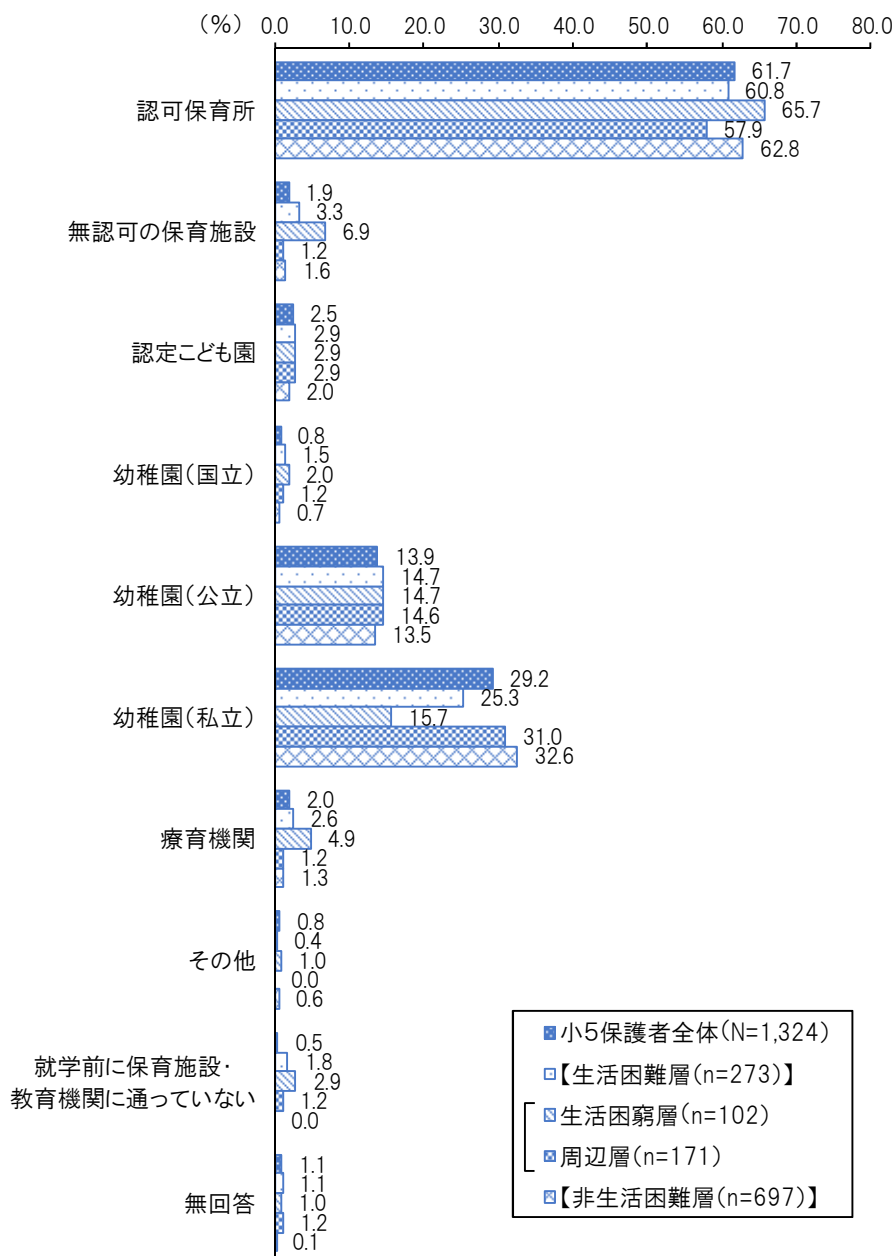
【8】子どもの教育

(1) 子どもがこれまでに通った保育・教育機関

保／問 12 お子さんが就学前に通ったことのある保育施設・教育機関をすべてお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

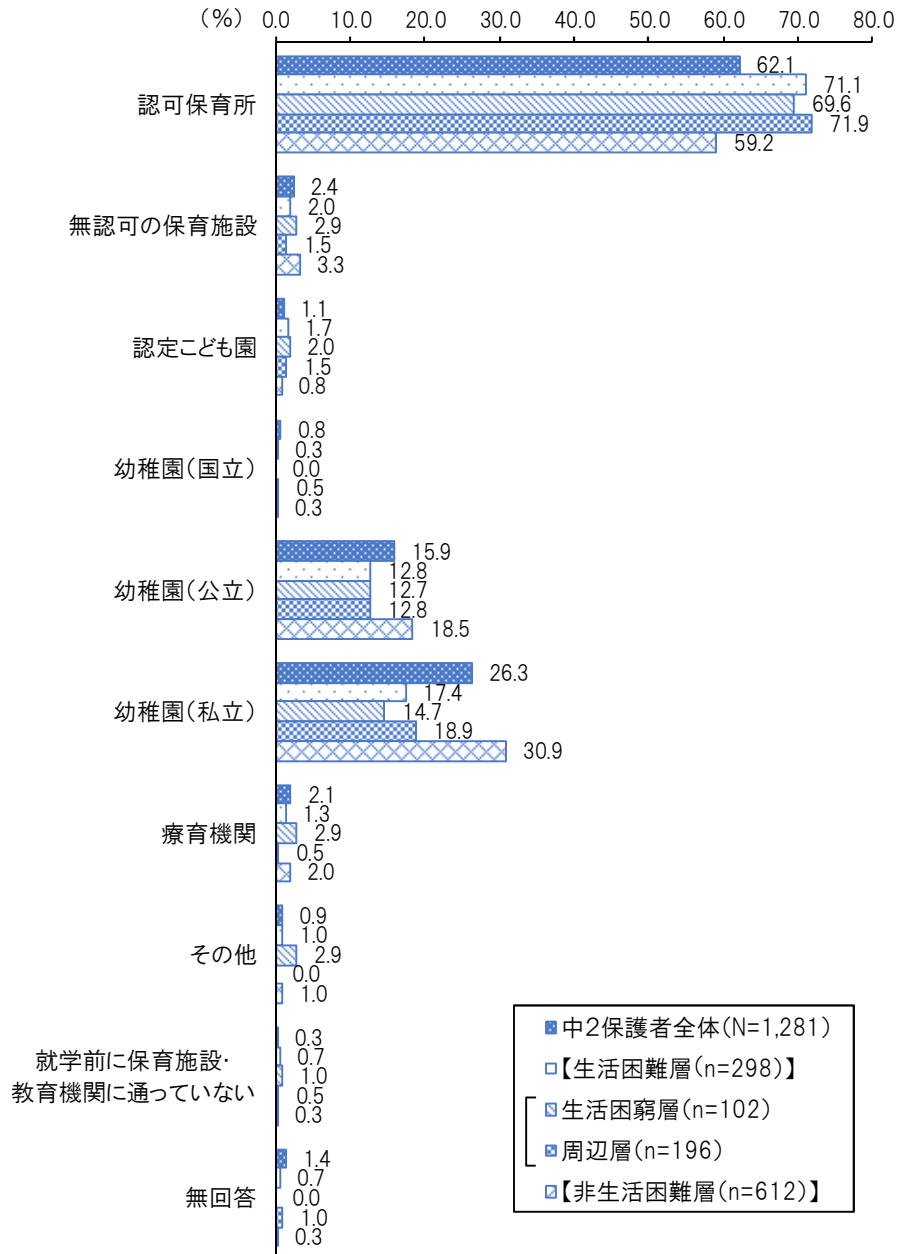
これまでに通った保育・教育機関について、小学5年保護者全体では「認可保育所」が61.7%と最も高く、次いで「幼稚園（私立）」（29.2%）、「幼稚園（公立）」（13.9%）となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「幼稚園（私立）」の割合が低く、「認可保育所」「無認可の保育施設」などの割合が他の層に比べて高くなっている。



中学2年保護者全体では、「認可保育所」が62.1%と最も高く、次いで「幼稚園（私立）」(26.3%)、「幼稚園（公立）」(15.9%)となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「幼稚園（私立）」の割合が他の層に比べて低くなっている。



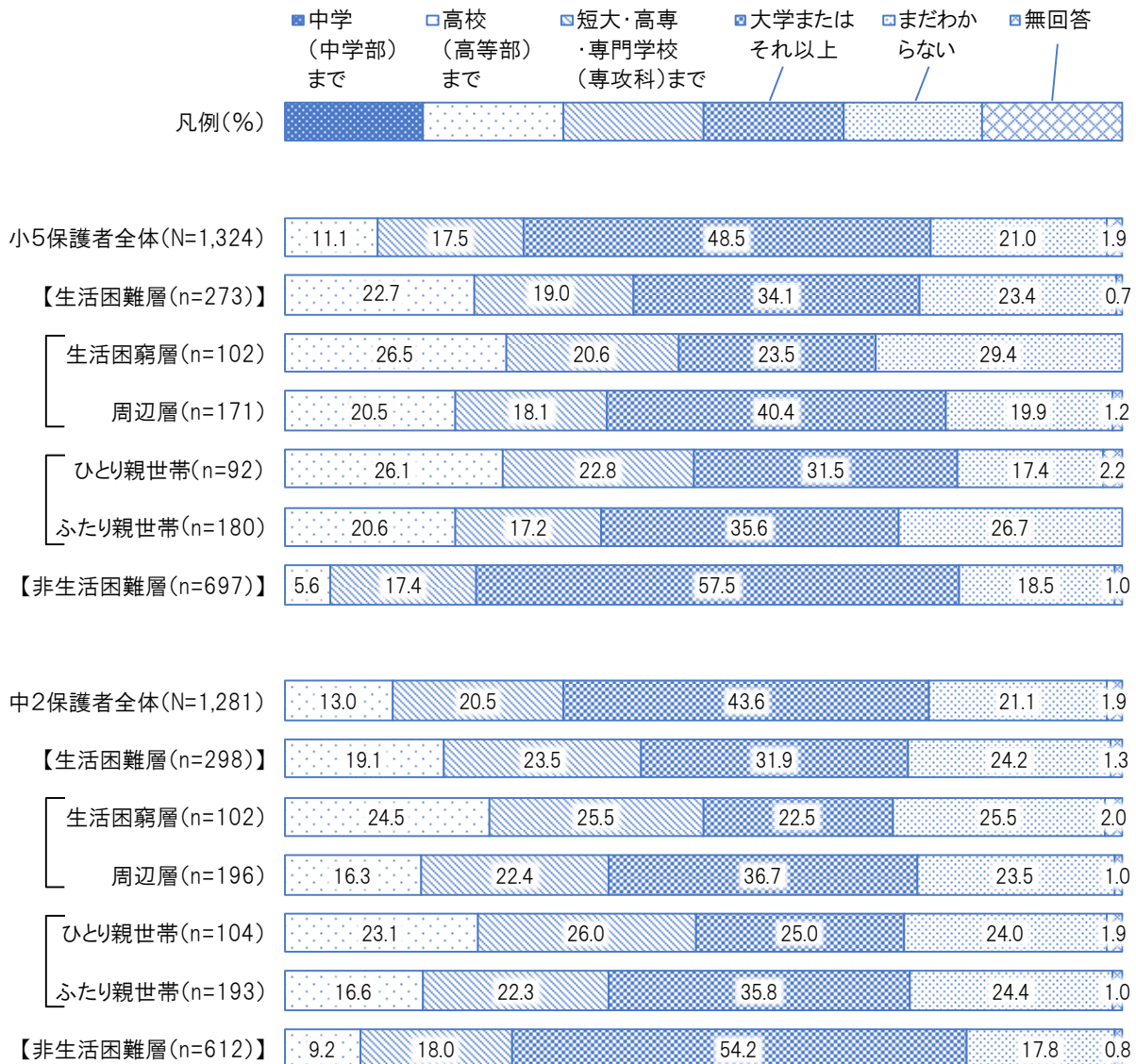
(2) 子どもに受けさせたい教育レベルとその理由

保／問 13 お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。(あてはまる番号1つに○)

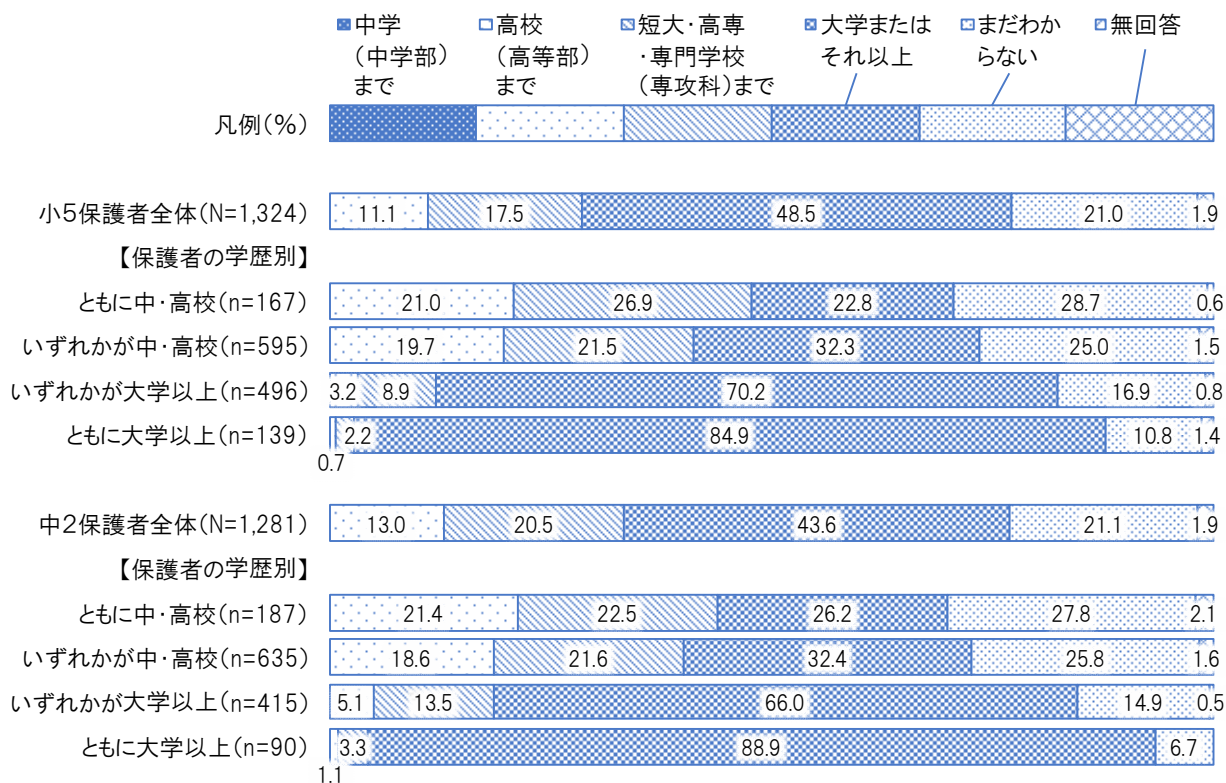
子どもに受けさせたい教育レベルについては、「大学またはそれ以上」が小学5年保護者全体で48.5%，中学2年保護者全体で43.6%，「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」が小学5年保護者全体で17.5%，中学2年保護者全体で20.5%，「高校（高等部）まで」が小学5年保護者全体で11.1%，中学2年保護者全体で13.0%となっている。

生活困難度別にみた「大学またはそれ以上」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で23.5%，中学2年保護者で22.5%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「大学またはそれ以上」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



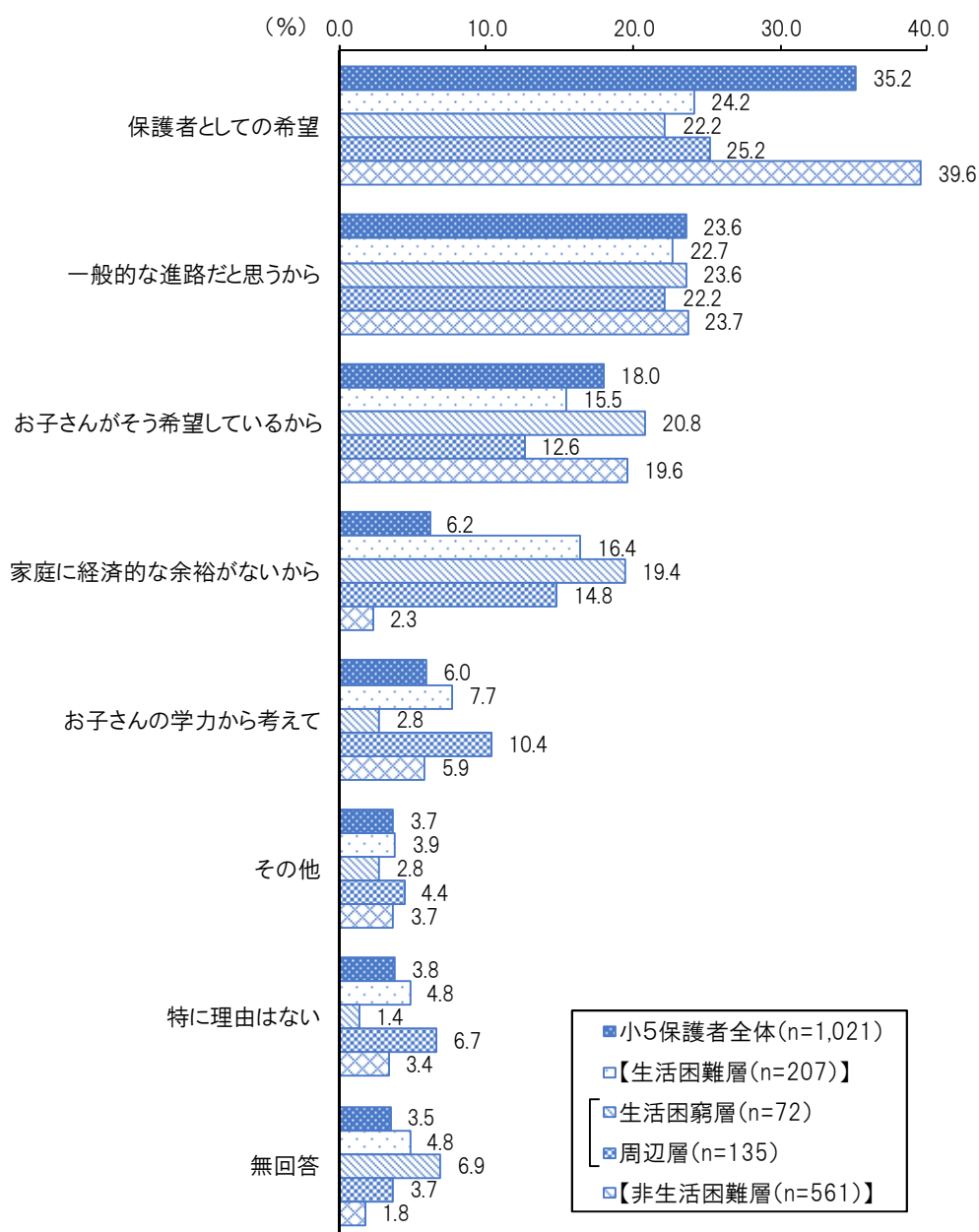
保護者の学歴別（問 36・問 37）でみると、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ともに中・高校、いずれかが中・高校では他の層に比べ「高校（高等部）まで」「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」の割合が高く、いずれかが大学以上、ともに大学以上では「大学またはそれ以上」の割合が高い傾向にある。



【問 13 で「1」～「4」を選んだ方におうかがいします。】
 保／問 13-1 その理由は、何ですか。次の中から、最も近いものに○をつけてください。
 (あてはまる番号1つに○)

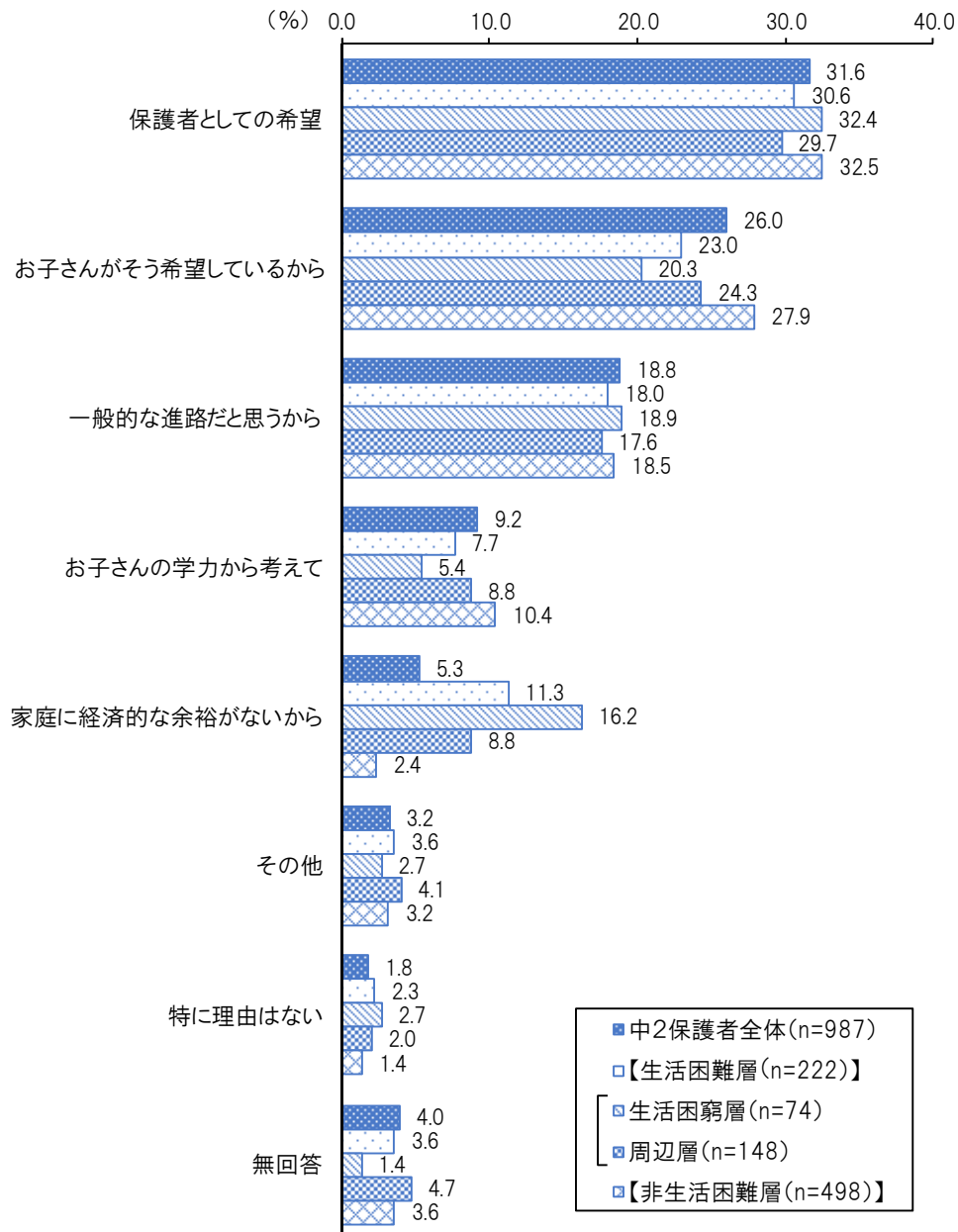
子どもに受けさせたい教育レベルについて、小学5年保護者全体では「保護者としての希望」が35.2%と最も高く、次いで「一般的な進路だと思うから」(23.6%)、「お子さんがそう希望しているから」(18.0%)の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「保護者としての希望」「お子さんの学力から考えて」などの割合が低く、「お子さんがそう希望しているから」「家庭に経済的な余裕がないから」の割合が高くなっている。



中学2年保護者全体では「保護者としての希望」が31.6%と最も高く、次いで「お子さんがそう希望しているから」(26.0%)、「一般的な進路だと思うから」(18.8%)の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「お子さんがそう希望しているから」「お子さんの学力から考えて」の割合が低く、「家庭に経済的な余裕がないから」の割合が他の層に比べて高くなっている。

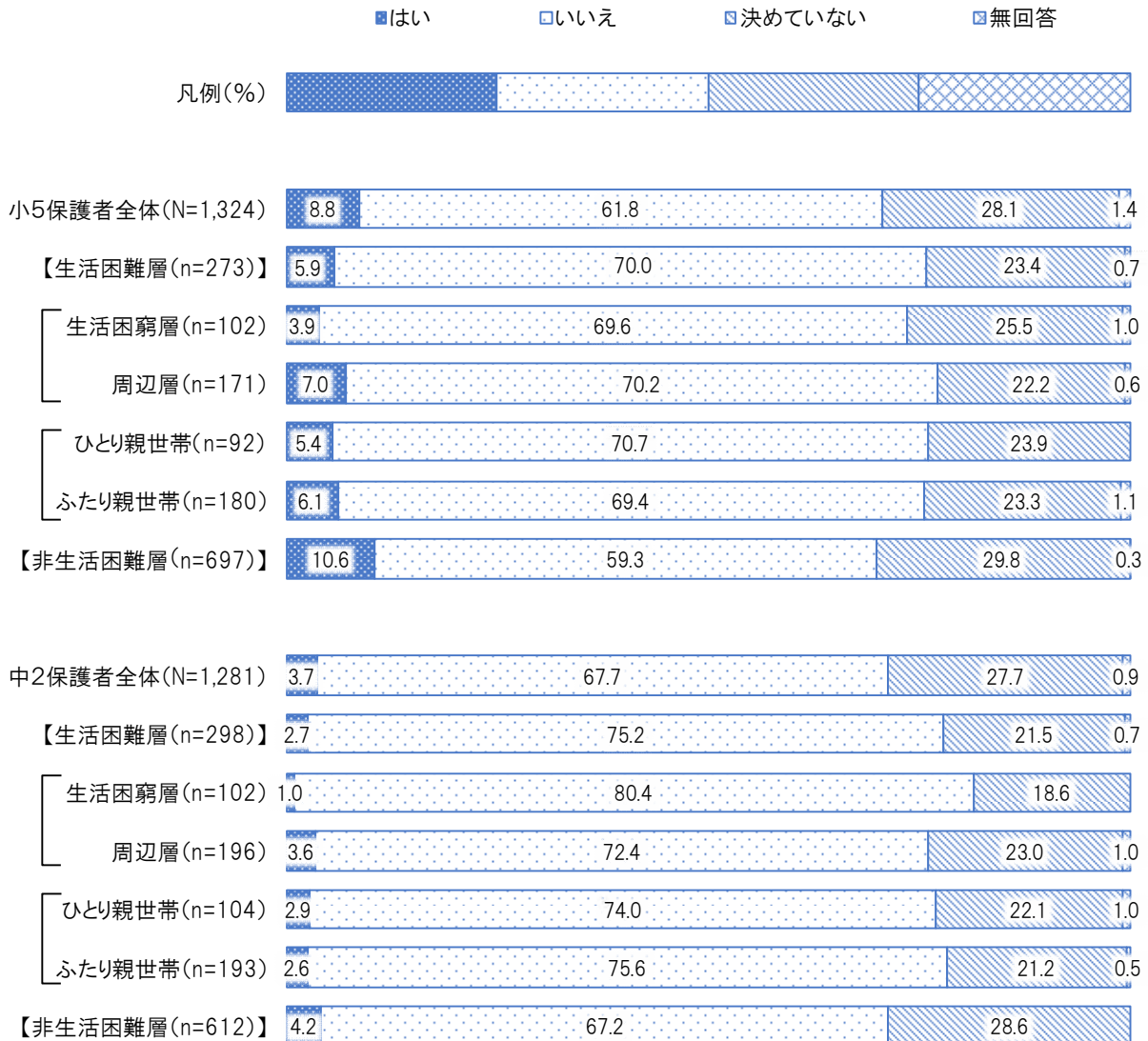


(3) 私立進学への保護者意向とその理由

保／問 14 お子さんを私立高校※に行かせたいと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

※小学生保護者票では「私立中学」

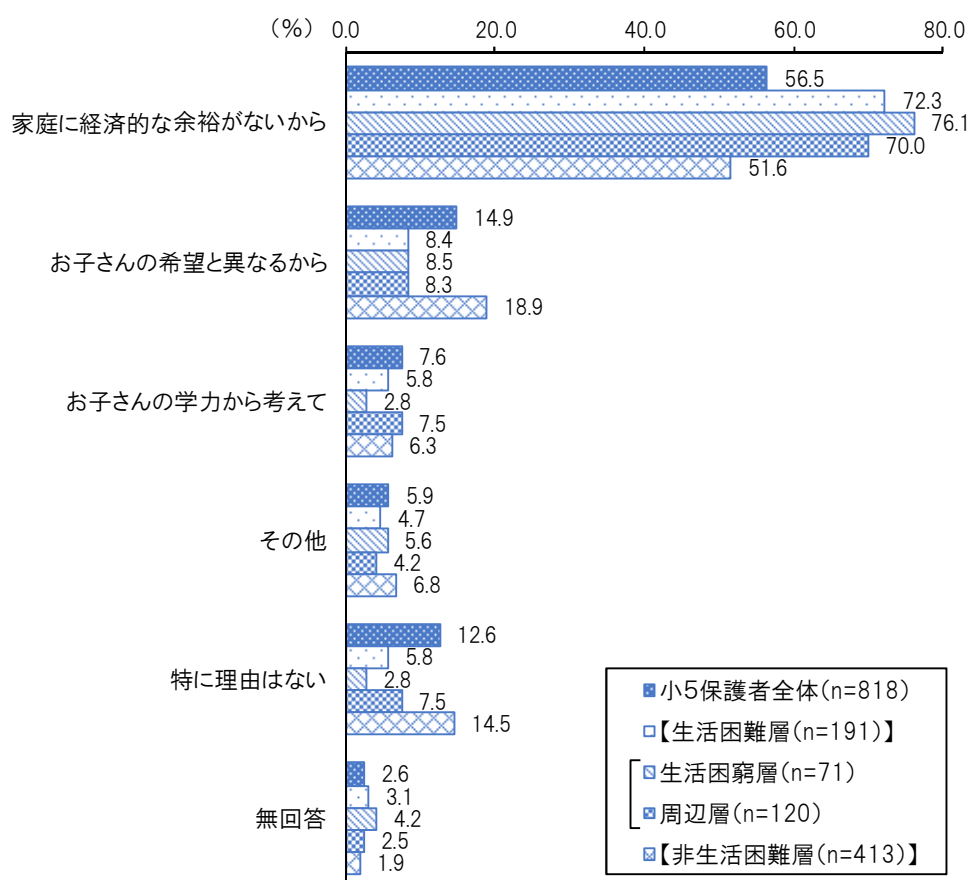
私立進学への保護者意向については、「はい」は小学5年保護者全体で8.8%、中学2年保護者全体で3.7%となっており、「いいえ」は小学5年保護者全体で61.8%、中学2年保護者全体で67.7%となっている。



【問 14 で「2 いいえ」を選んだ方におうかがいします。】
 保／問 14-1 その理由は、何ですか。次の中から、最も近いものに○をつけてください。
 (あてはまる番号1つに○)

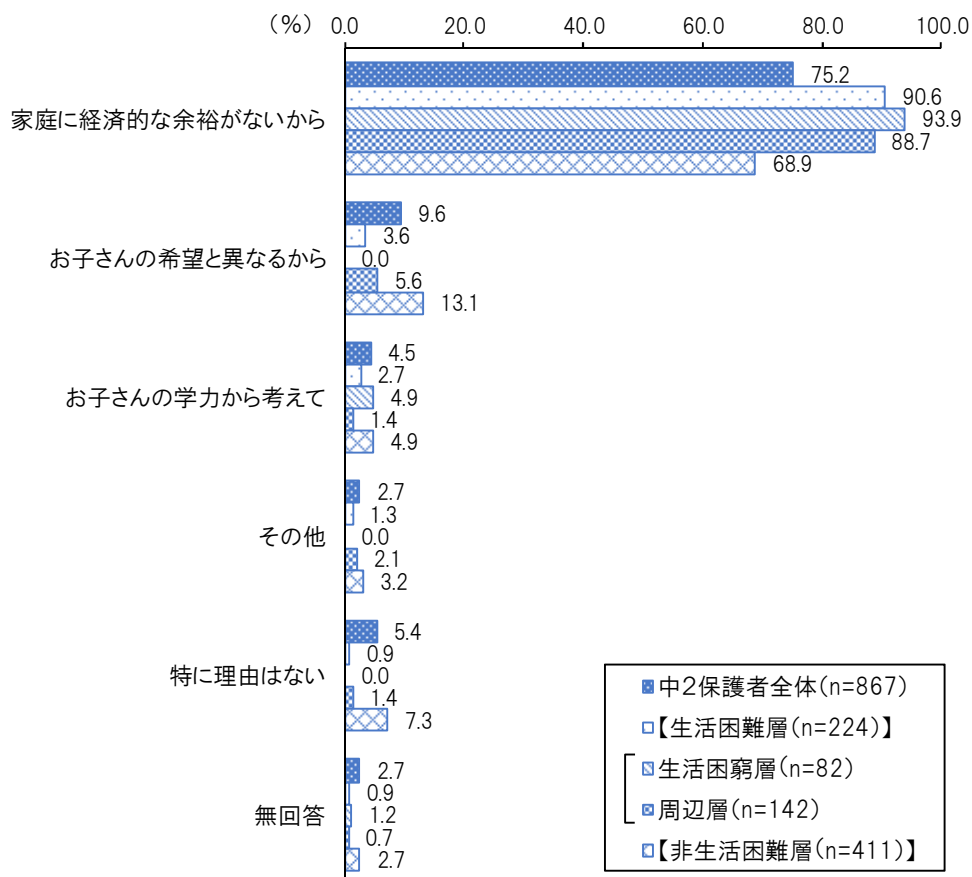
私立進学を希望しない理由について、小学5年保護者全体では「家庭に経済的な余裕がないから」が56.5%と最も高く、次いで「お子さんの希望と異なるから」(14.9%)が続いている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「お子さんの学力から考えて」の割合が低く、「家庭に経済的な余裕がないから」の割合が他の層に比べて高くなっている。



中学2年保護者全体では、「家庭に経済的な余裕がないから」が75.2%と最も高く、次いで「お子さんの希望と異なるから」(9.6%)が続いている。

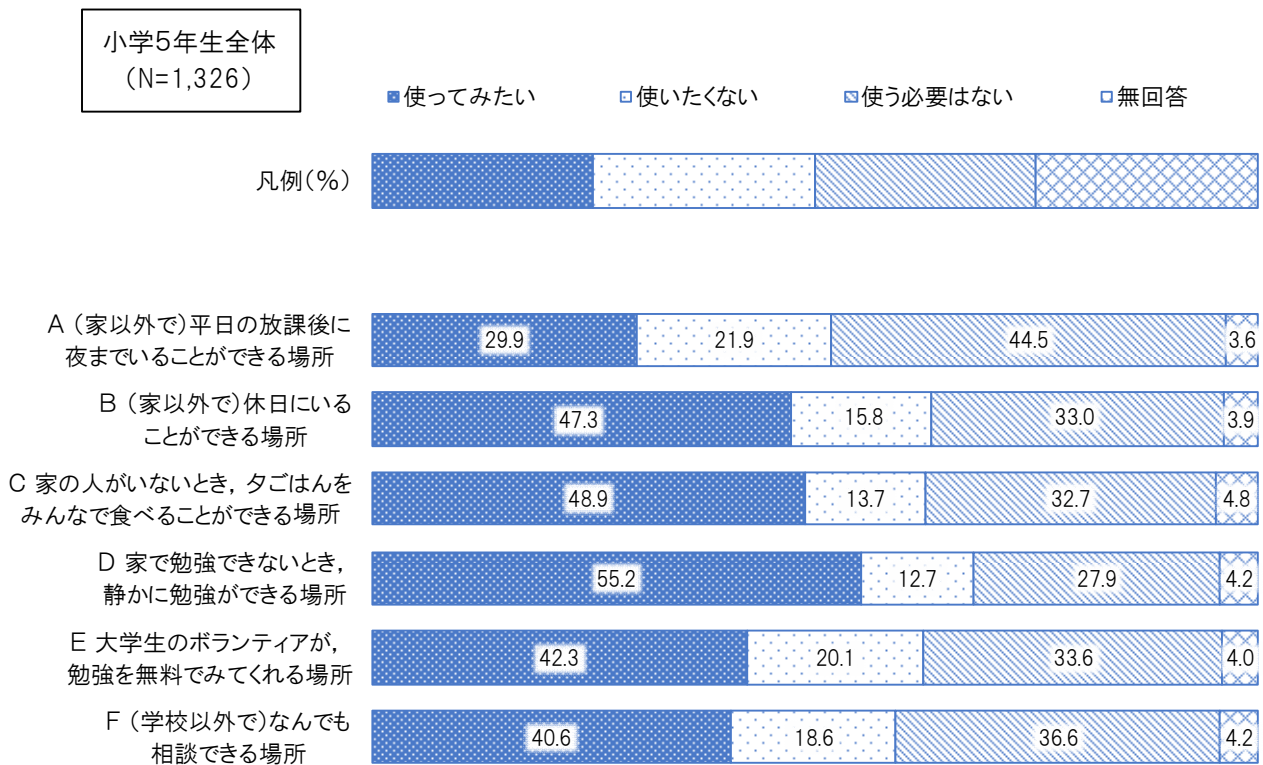
生活困難度別にみると、生活困窮層は「家庭に経済的な余裕がないから」の割合が他の層を大きく上回っている。



【9】学習関連の支援プログラムの利用意向

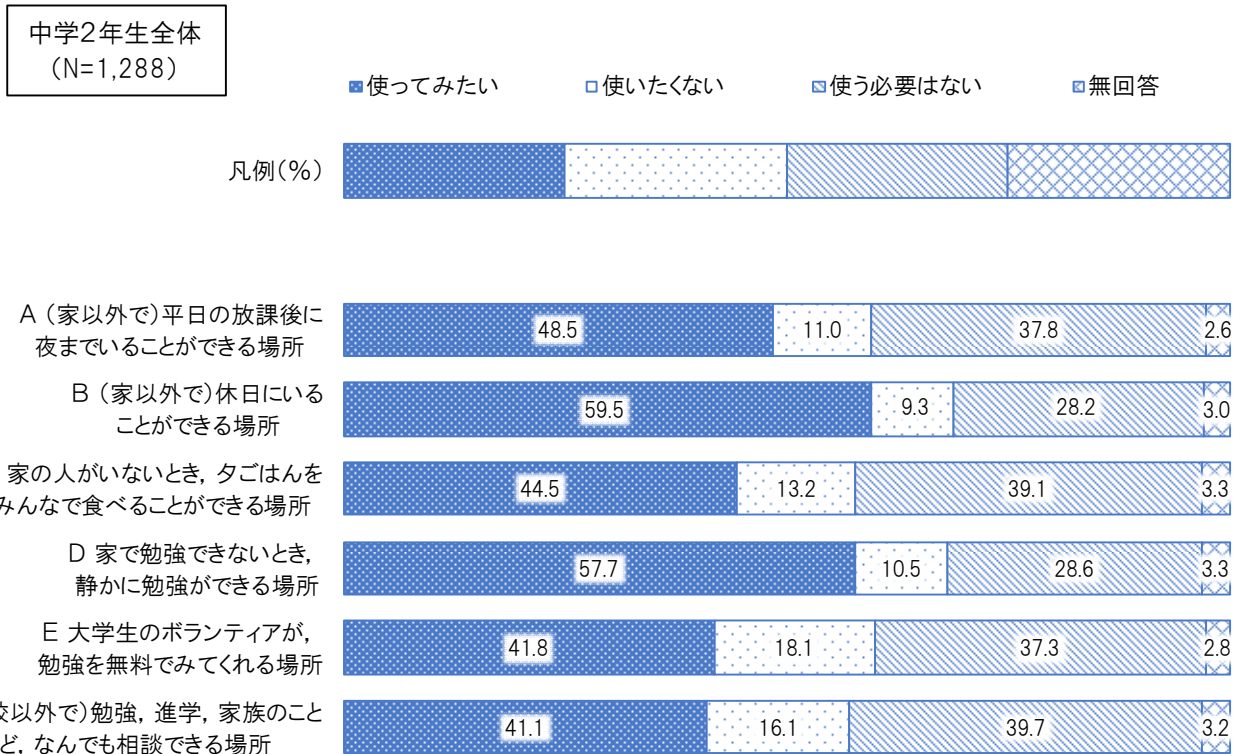
子／問 41 あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

支援プログラムの利用意向については、小学5年生全体では「使ってみたい」の割合が高い順に「D 家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所」(55.2%)、「C 家の人がないとき、夕ごはんをみんなで食べることができる場所」(48.9%)、「B (家以外で) 休日にいることができる場所」(47.3%)となっている。



注:A, B, C, Fの個別結果については、第4章 7居場所関連等の支援プログラムの利用意向に掲載

中学2年生全体では、「使ってみたい」の割合が高い順に「B（家以外で）休日にいることができる場所」（59.5%）、「D 家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所」（57.7%）、「A（家以外で）平日の放課後に夜までいることができる場所」（48.5%）となっている。

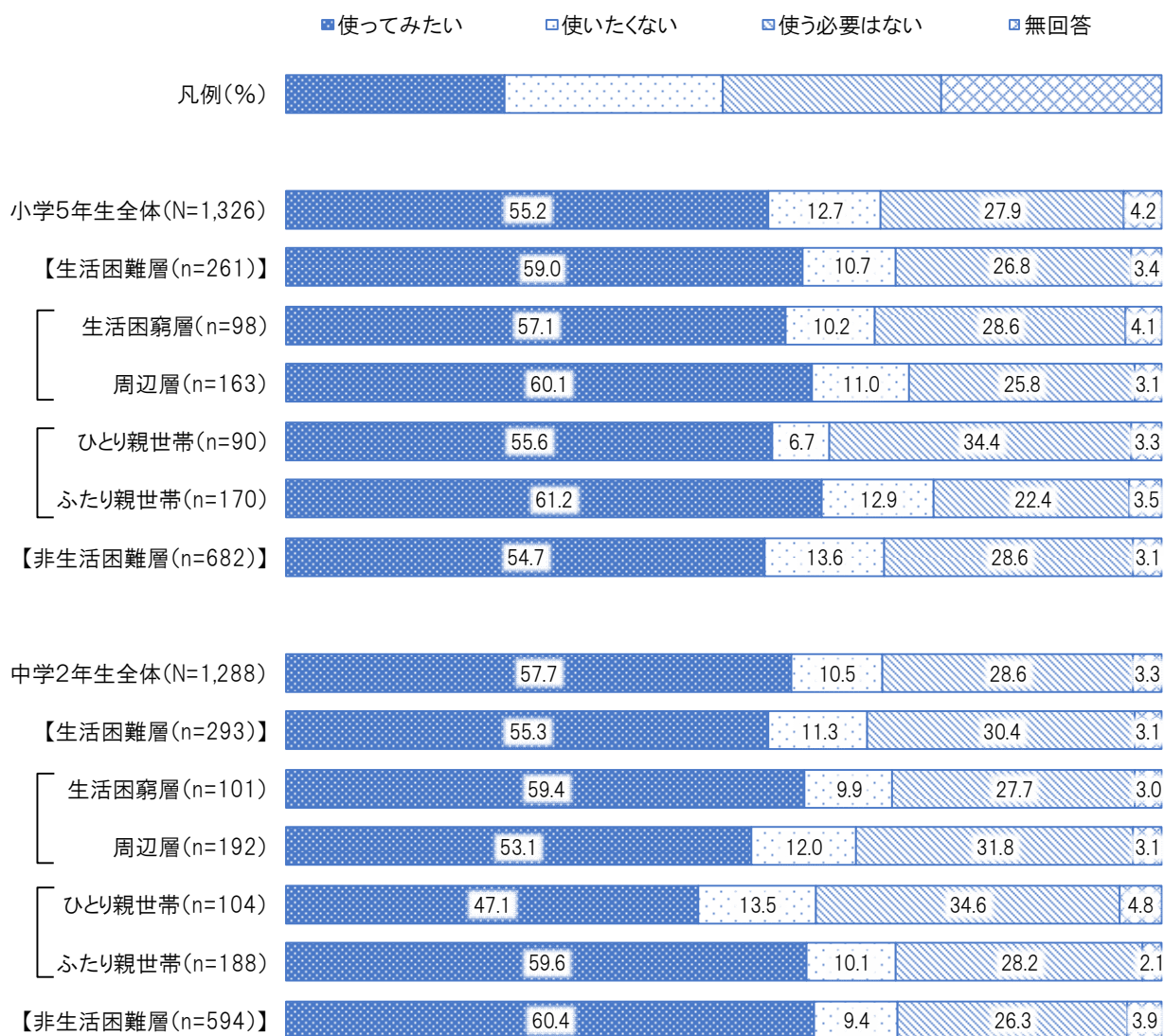


注：A, B, C, Fの個別結果については、第4章 7居場所関連等の支援プログラムの利用意向に掲載

D 家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所

家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所について「使ってみたい」の割合は、小学5年生の生活困窮層で57.1%、周辺層で60.1%となっている。中学2年生では、生活困窮層で59.4%、周辺層で53.1%となっており、生活困窮層で高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともにひとり親世帯で「使う必要はない」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。

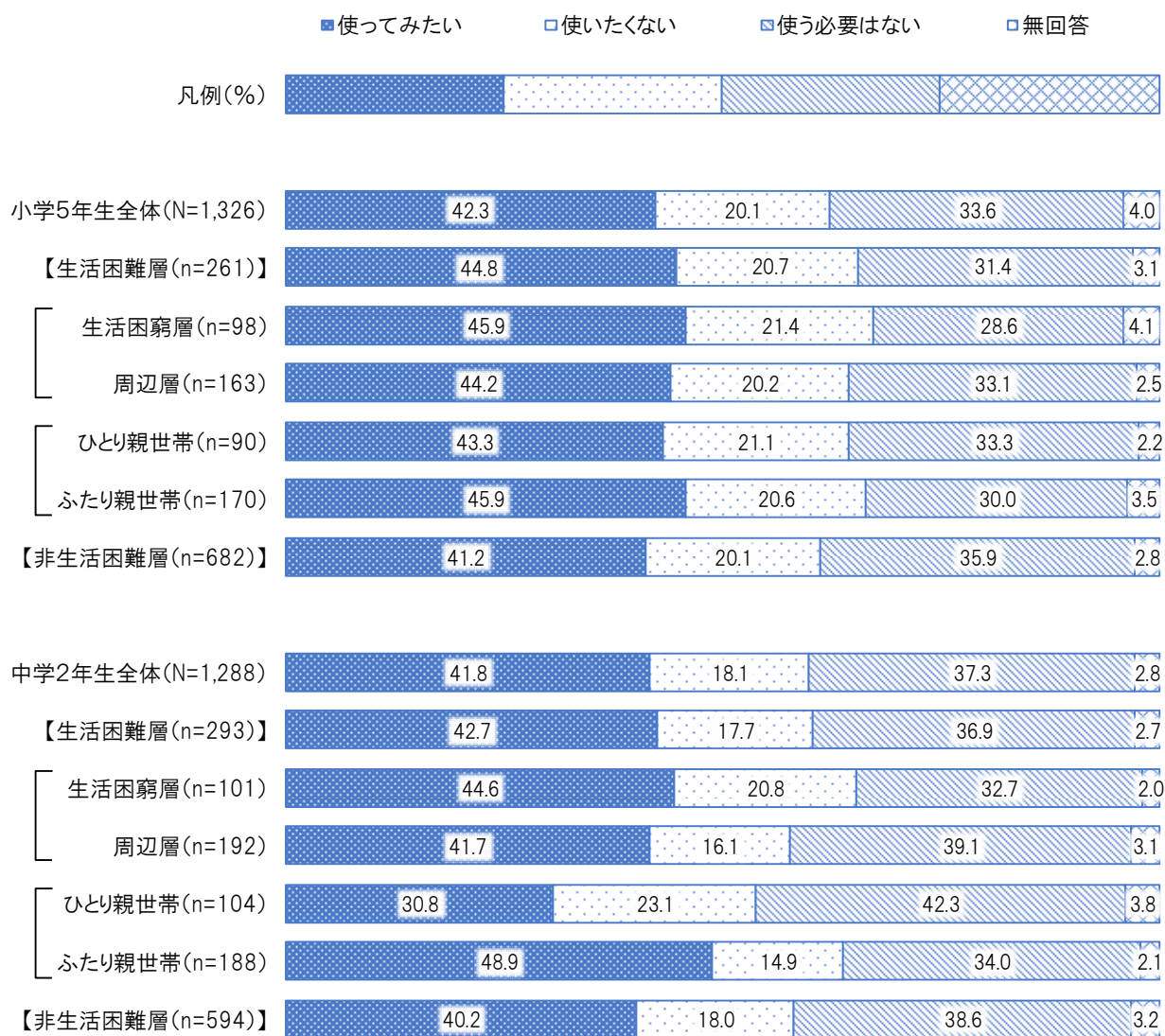


注：A, B, C, Fの個別結果については、第4章 7居場所関連等の支援プログラムの利用意向に掲載

E 大学生のボランティアが、勉強を無料でみてくれる場所

大学生のボランティアが、勉強を無料でみてくれる場所について「使ってみたい」の割合は、小学5年生の生活困窮層で45.9%、周辺層で44.2%となっている。中学2年生では、生活困窮層で44.6%、周辺層で41.7%となっており、生活困難度による大きな差はみられない。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のふたり親世帯で「使ってみたい」の割合がひとり親世帯を大きく上回っている。



第4章 子どもの日常生活

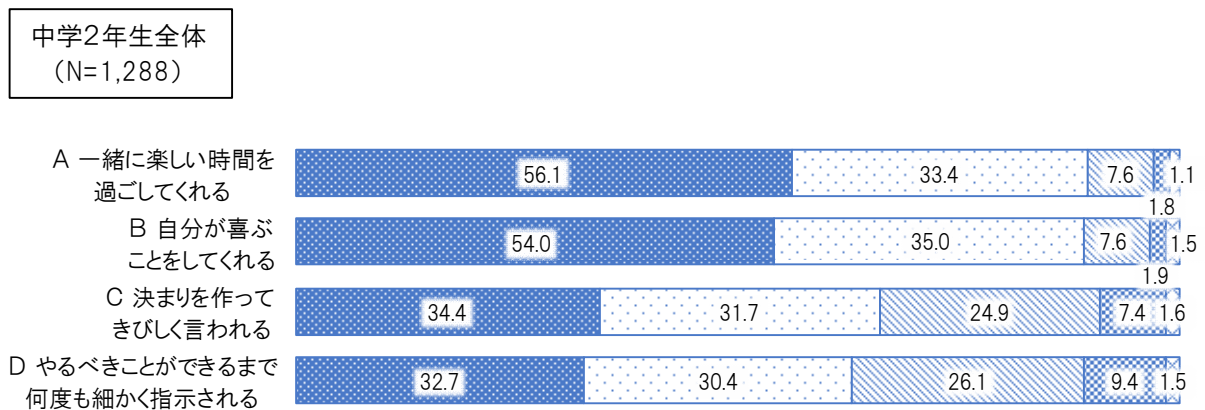
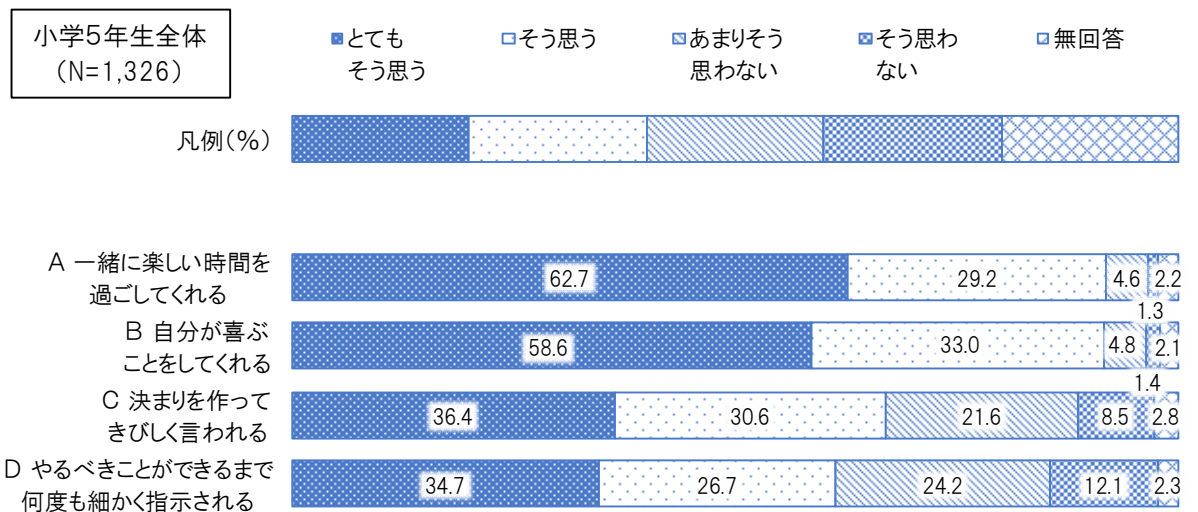
【1】家族や友だち

(1) 家族の接し方

子／問6 あなたの家族はあなたに対していつもどのようにしていますか。
 もっとも近いと思うものに○をつけてください。
 (それぞれ、あてはまる番号1つに○)

家族の接し方については、小学5年生全体では「とてもそう思う」の割合が高い順に「A 一緒に楽しい時間を過ごしてくれる」(62.7%)、「B 自分が喜ぶことをしてくれる」(58.6%)、「C 決まりを作ってきびしく言われる」(36.4%)、「D やるべきことができるまで何度も細かく指示される」(34.7%)となっている。

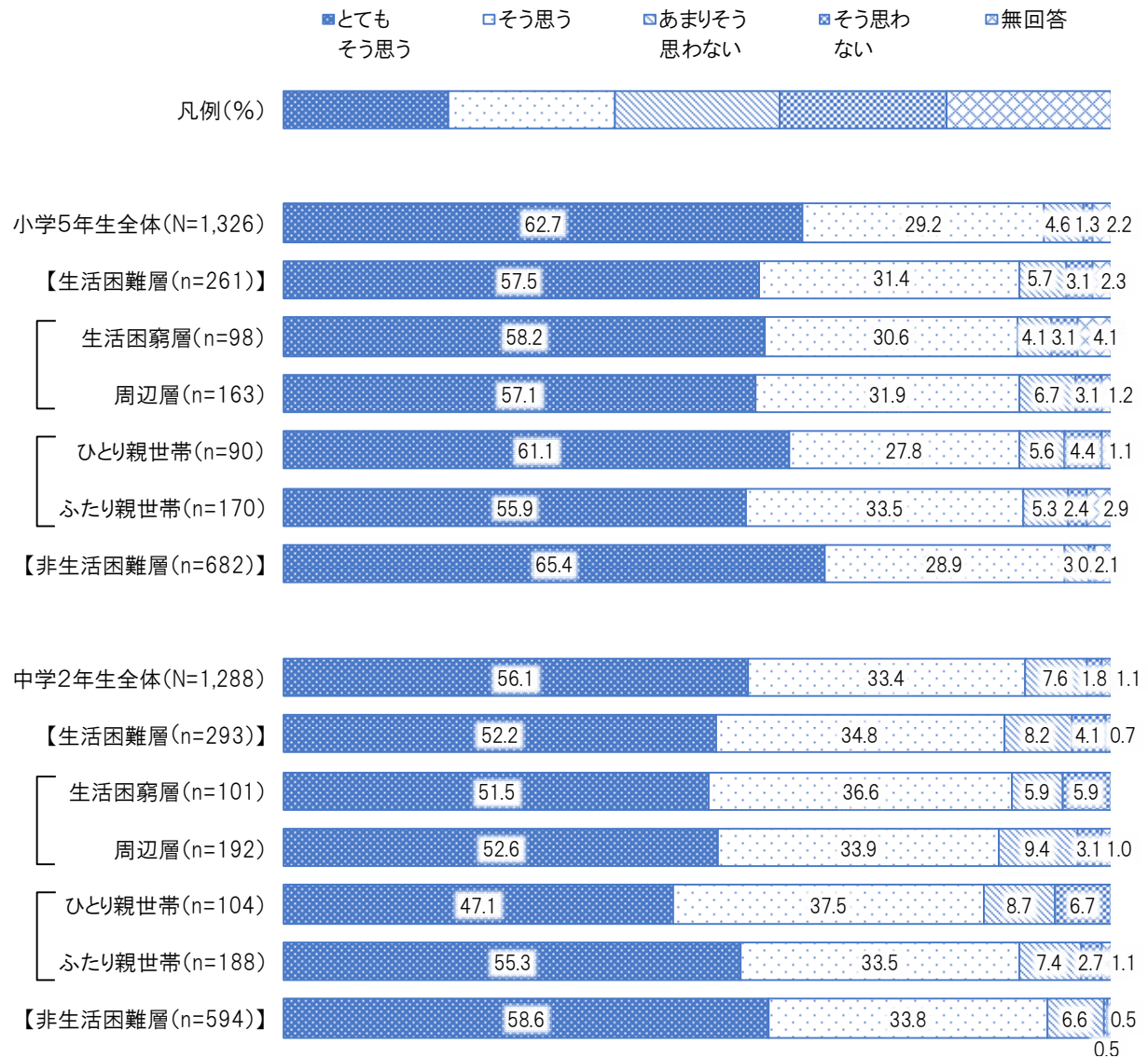
中学2年生全体では「A 一緒に楽しい時間を過ごしてくれる」(56.1%)、「B 自分が喜ぶことをしてくれる」(54.0%)、「C 決まりを作ってきびしく言われる」(34.4%)、「D やるべきことができるまで何度も細かく指示される」(32.7%)となっている。



A 一緒に楽しい時間を過ごしてくれる

一緒に楽しい時間を過ごしてくれることについて「とてもそう思う」の割合は、小学5年生の生活困窮層で 58.2%、中学2年生の生活困窮層で 51.5%となっており、非生活困難層に比べて低くなっている。

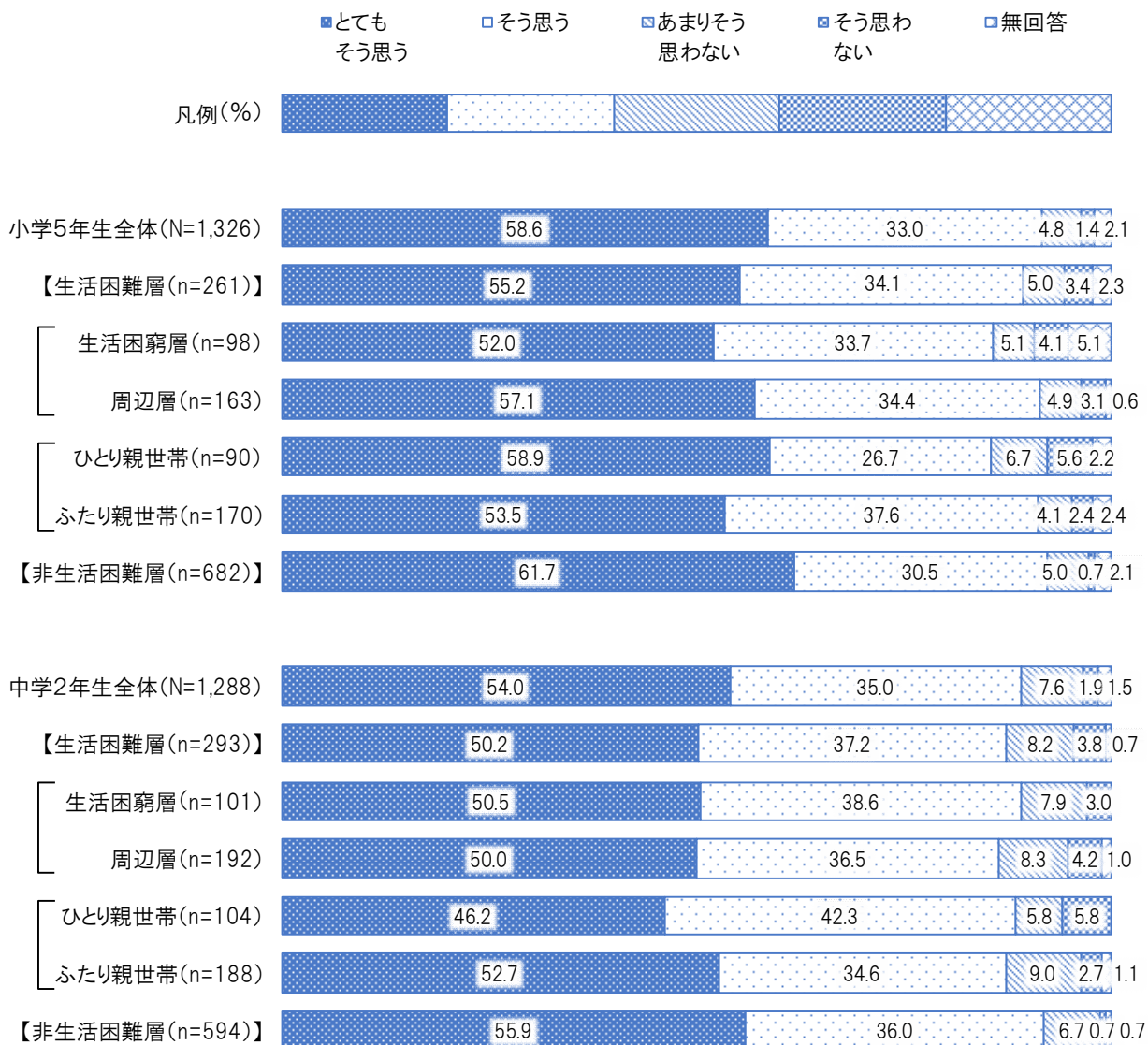
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「とてもそう思う」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



B 自分が喜ぶことをしてくれる

自分が喜ぶことをしてくれることについて「とてもそう思う」の割合は、小学5年生の生活困窮層で 52.0%，中学2年生の生活困窮層で 50.5%となっており、非生活困難層に比べて低くなっている。

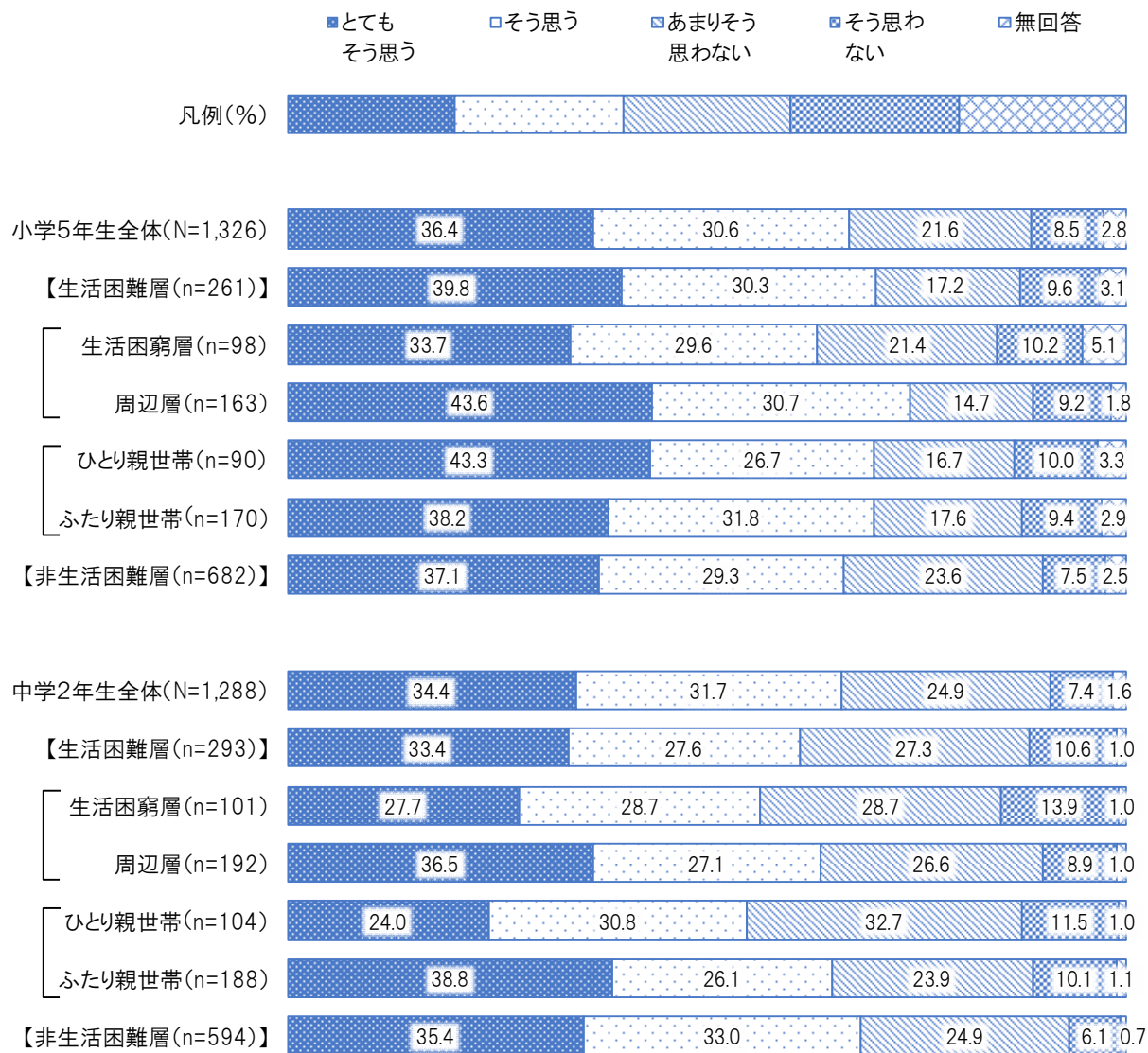
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「とてもそう思う」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



C 決まりを作ってきびしく言われる

決まりを作ってきびしく言われることについて「とてもそう思う」の割合は、小学5年生の生活困窮層で33.7%、周辺層で43.6%となっている。中学2年生では、生活困窮層で27.7%、周辺層で36.5%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

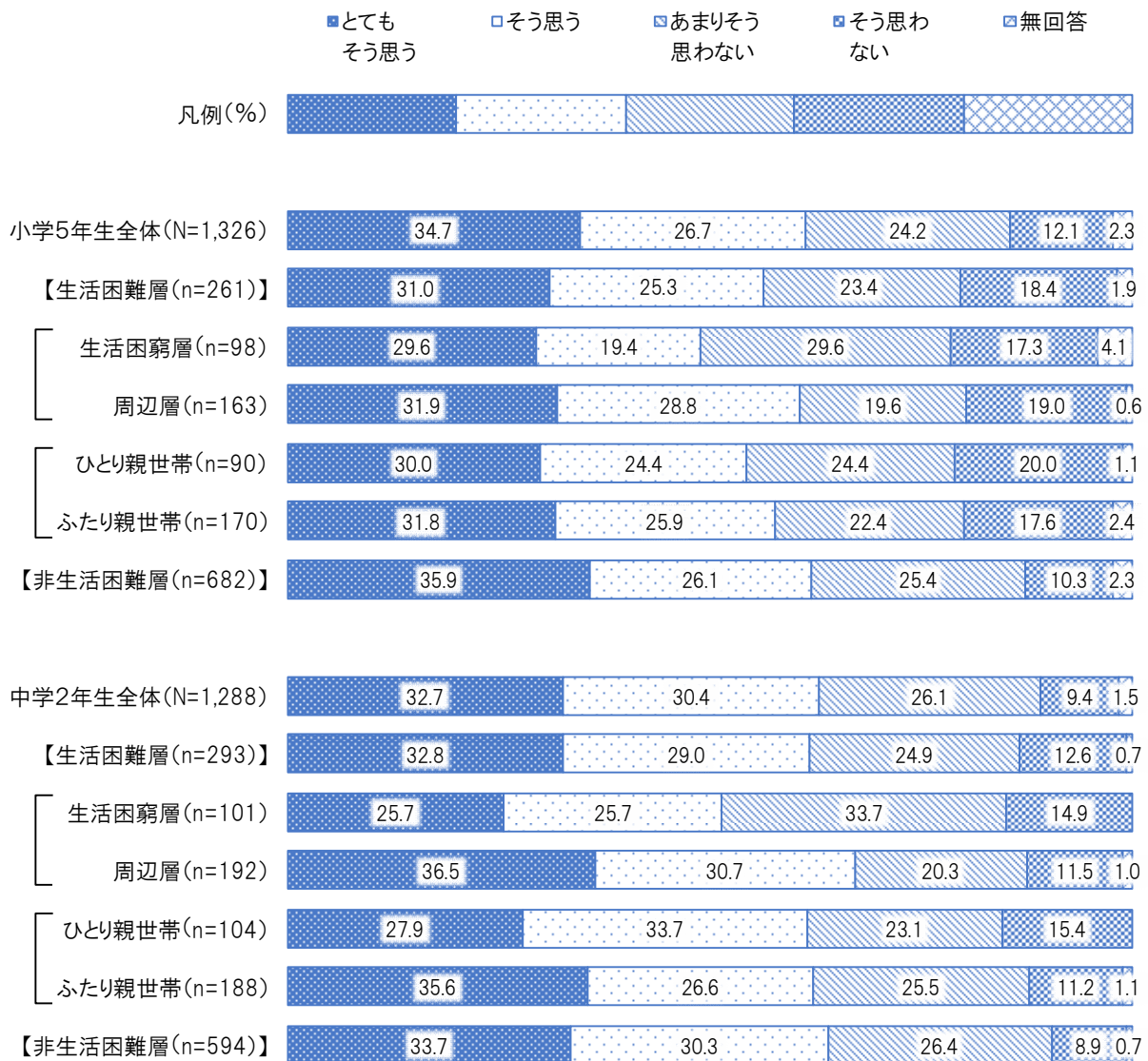
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「とてもそう思う」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



D やるべきことができるまで何度も細かく指示される

やるべきことができるまで何度も細かく指示されることについて「とてもそう思う」の割合は、小学5年生の生活困窮層で29.6%，周辺層で31.9%となっている。中学2年生では、生活困窮層で25.7%，周辺層で36.5%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「とてもそう思う」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。

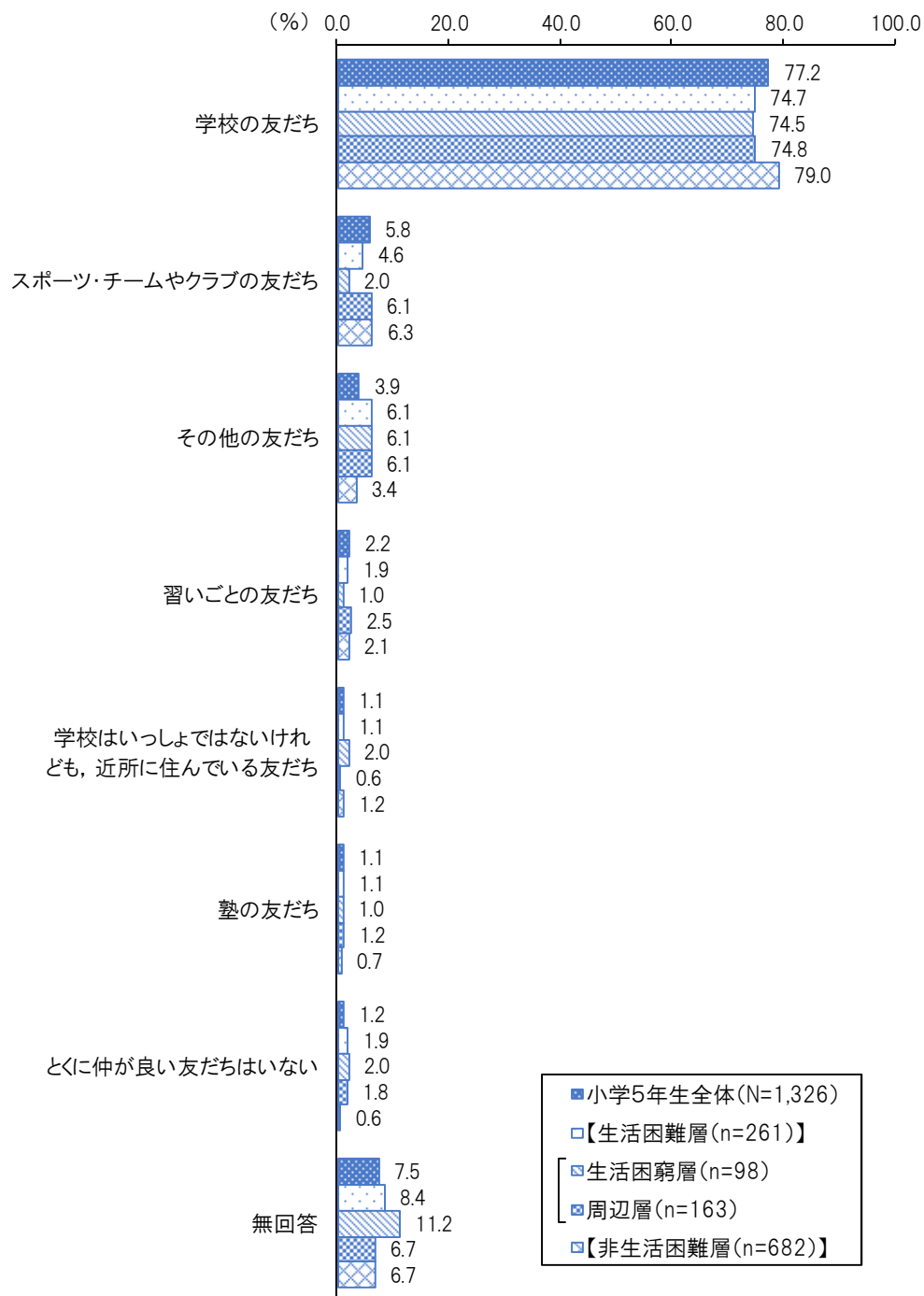


(2) 一番仲がよい友だち

子／問7 あなたの一番仲が良い友だちは、どのような友だちですか。
(あてはまる番号1つに○)

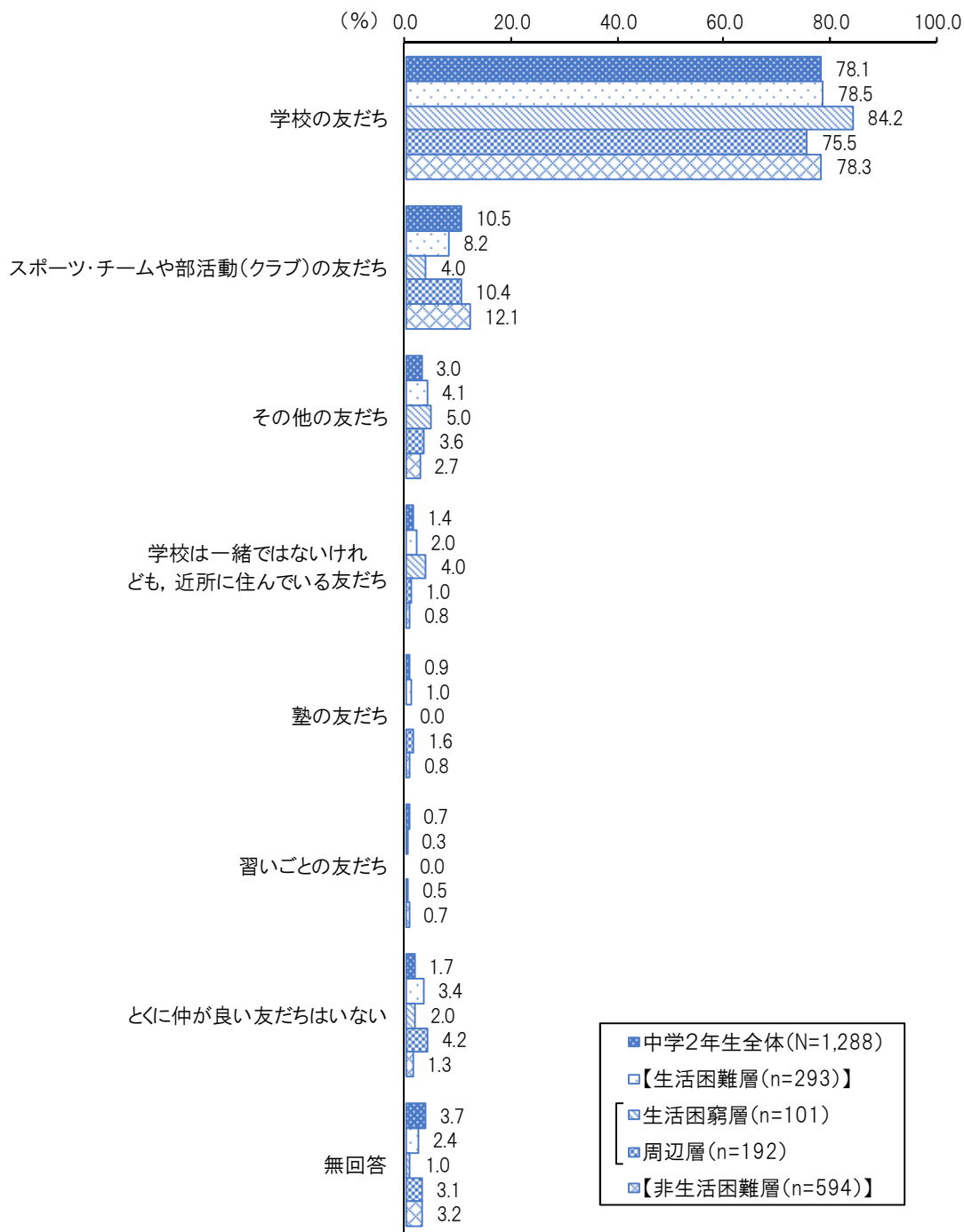
一番仲がよい友だちについて、小学5年生全体では「学校の友だち」が77.2%と最も高く、次いで「スポーツ・チームやクラブの友だち」(5.8%)となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「スポーツ・チームやクラブの友だち」の割合が他の層に比べて低くなっている。



中学2年生全体では、「学校の友だち」が78.1%と最も高く、次いで「スポーツ・チームや部活動（クラブ）の友だち」（10.5%）となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「スポーツ・チームや部活動（クラブ）の友だち」の割合が低く、「学校の友だち」などの割合が他の層に比べて高くなっている。

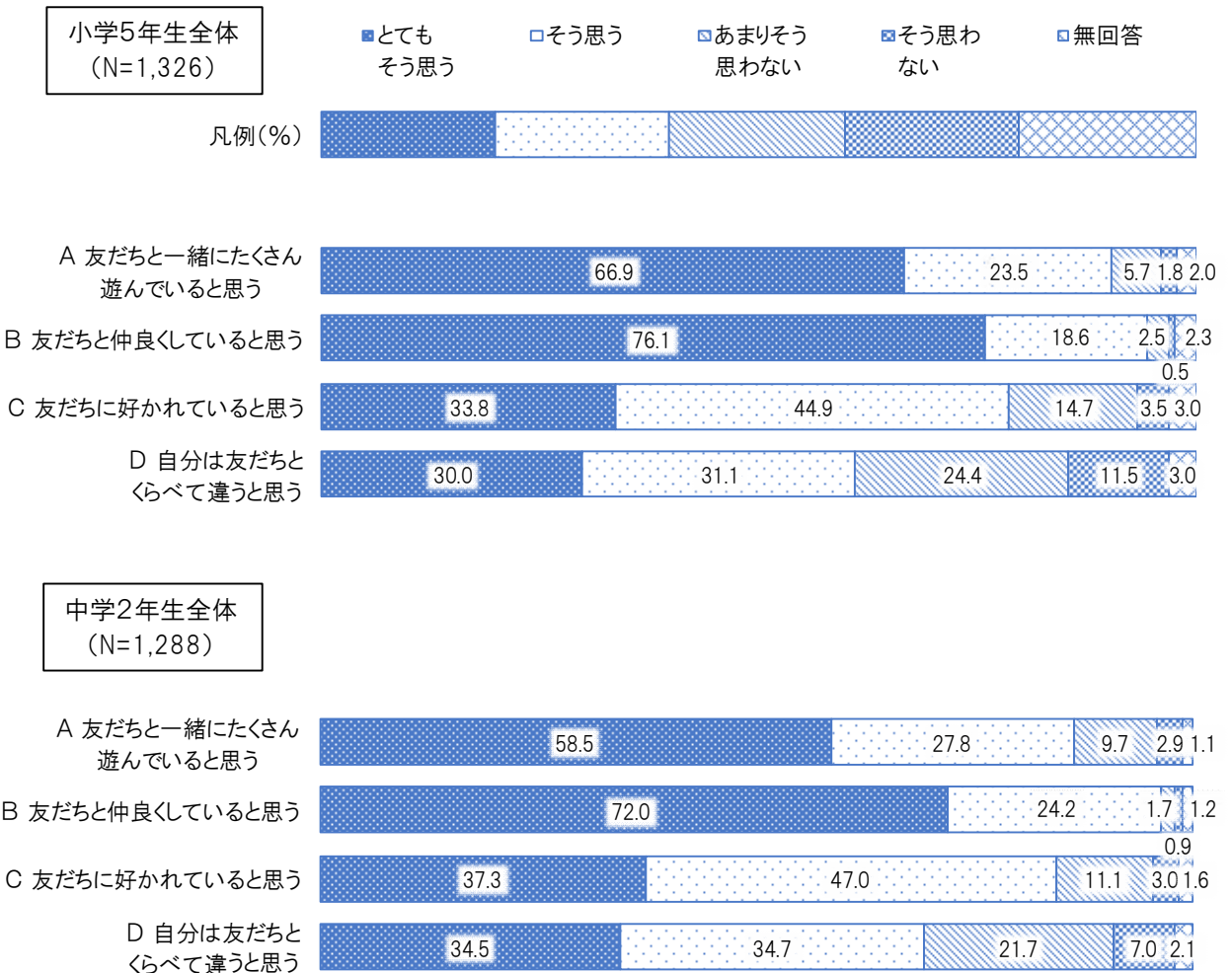


(3) 友だちとの関係

子／問8 あなたと友だちの関係について、どのように思いますか。もっとも近いものに○をつけてください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

友だちとの関係については、小学5年生全体では「とてもそう思う」の割合が高い順に「B 友だちと仲良くしていると思う」(76.1%)、「A 友だちと一緒にたくさん遊んでいると思う」(66.9%)、「C 友だちに好かれていると思う」(33.8%)、「D 自分は友だちとくらべて違うと思う」(30.0%)となっている。

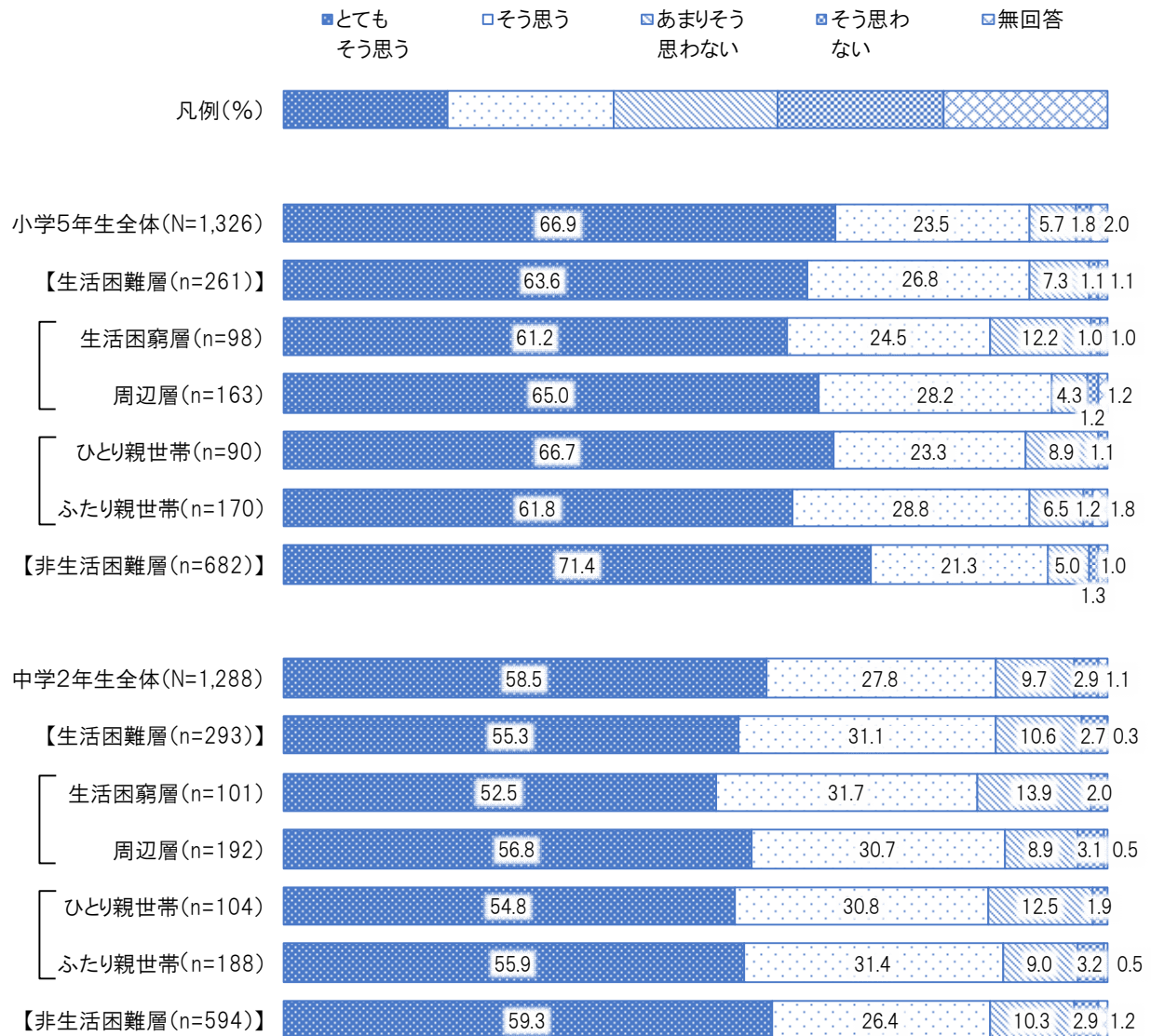
中学2年生全体では、「B 友だちと仲良くしていると思う」(72.0%)、「A 友だちと一緒にたくさん遊んでいると思う」(58.5%)、「C 友だちに好かれていると思う」(37.3%)、「D 自分は友だちとくらべて違うと思う」(34.5%)となっている。



A 友だちと一緒にたくさん遊んでいると思う

友だちと一緒にたくさん遊んでいると思うことについて「とてもそう思う」の割合は、小学5年生の生活困難層で61.2%、周辺層で65.0%となっている。中学2年生では、生活困難層で52.5%、周辺層で56.8%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

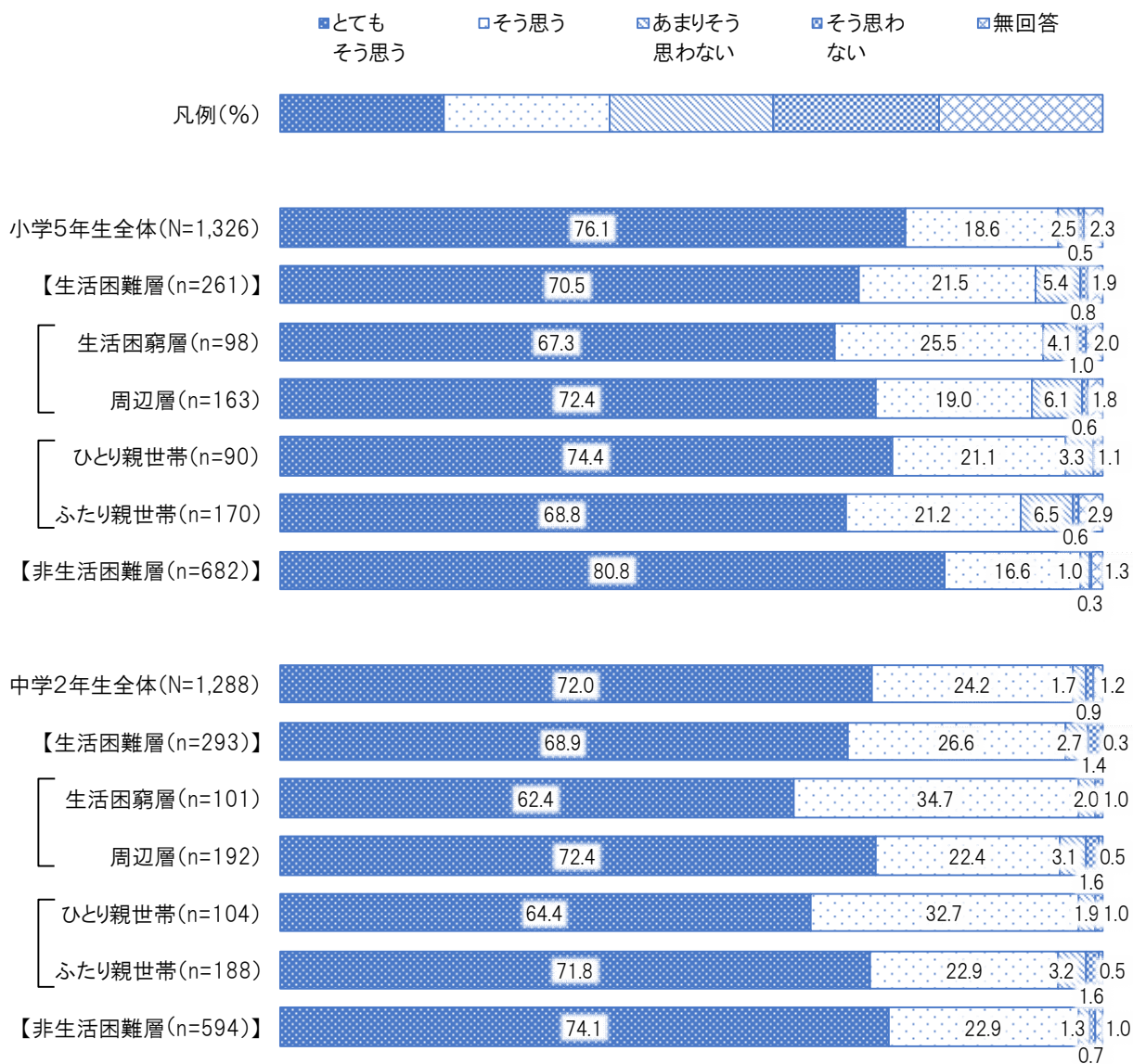
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生のひとり親世帯で「とてもそう思う」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



B 友だちと仲良くしていると思う

友だちと仲良くしていると思うことについて「とてもそう思う」の割合は、小学5年生の生活困窮層で67.3%,周辺層で72.4%となっている。中学2年生では,生活困窮層で62.4%,周辺層で72.4%となっており,生活困難度が高い層ほど低くなっている。

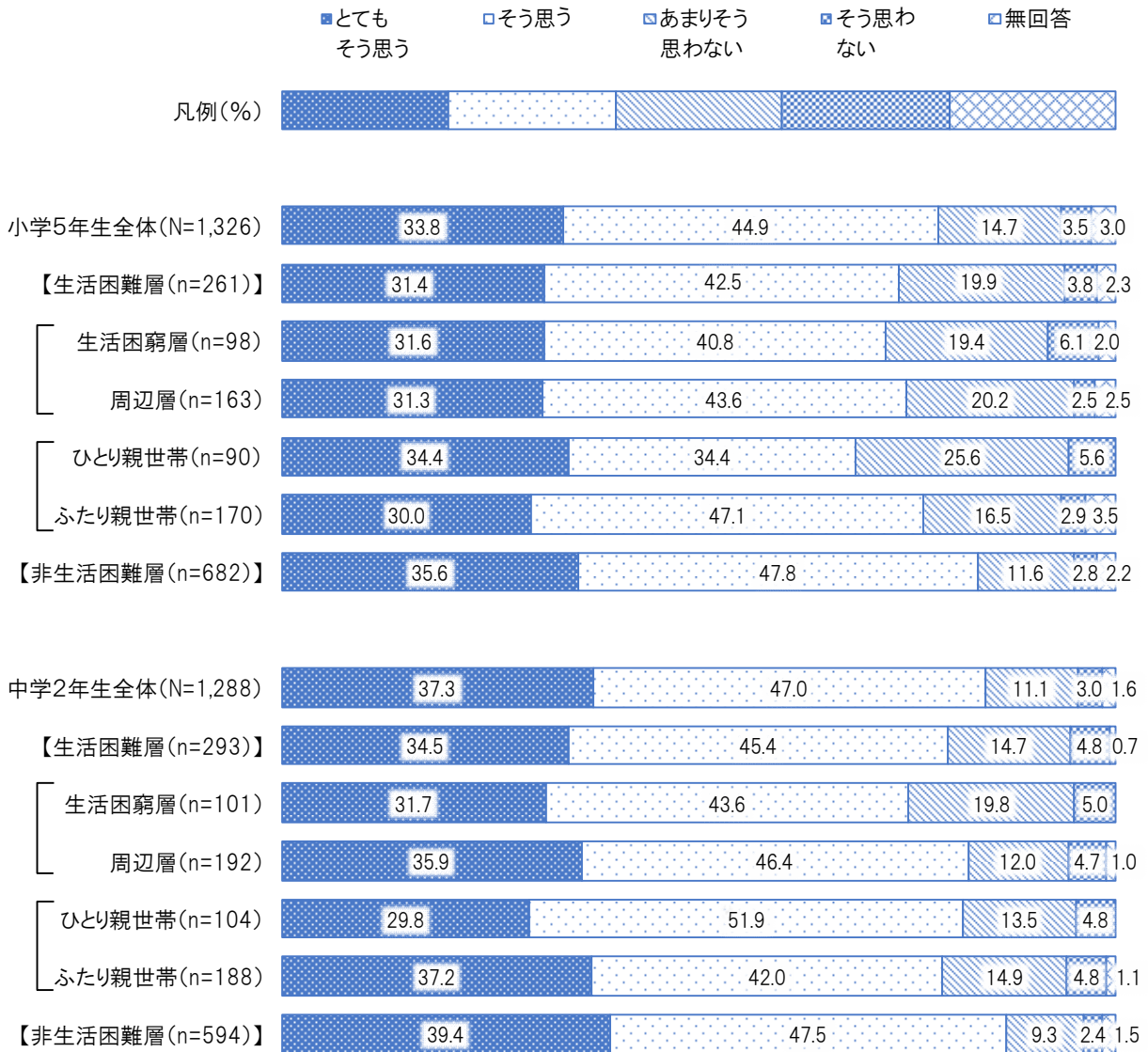
生活困難層世帯タイプ別では,中学2年生のひとり親世帯で「とてもそう思う」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



C 友だちに好かれていると思う

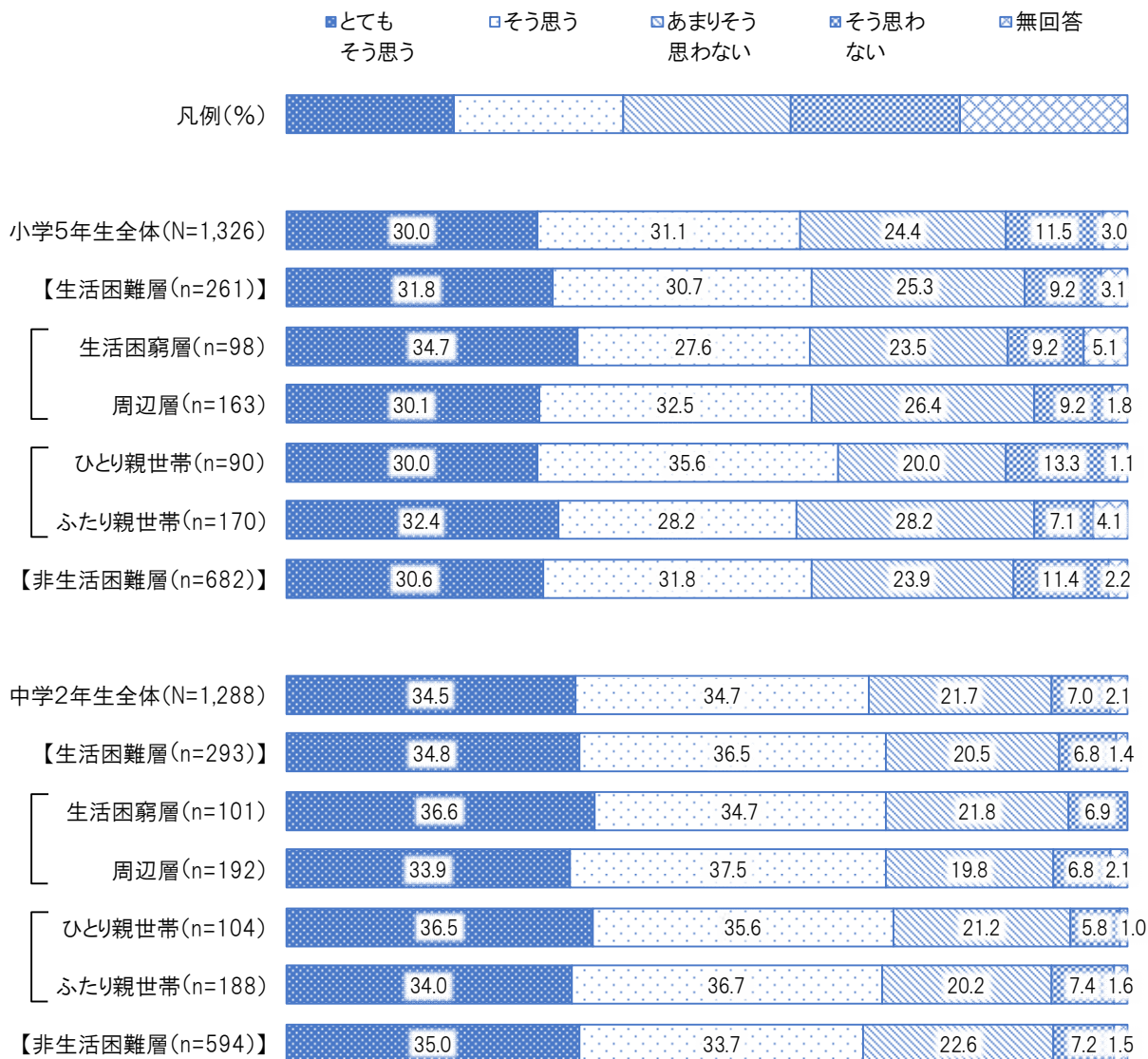
友だちに好かれていると思うことについて「とてもそう思う」の割合は、小学5年生の生活困窮層で31.6%、周辺層で31.3%となっている。中学2年生では、生活困窮層で31.7%、周辺層で35.9%となっており、生活困窮層でやや低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「とてもそう思う」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



D 自分は友だちとくらべて違うと思う

自分は友だちとくらべて違うと思うことについて「とてもそう思う」の割合は、小学5年生の生活困窮層で 34.7%，周辺層で 30.1%となっている。中学2年生では，生活困窮層で 36.6%，周辺層で 33.9%となっており，生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。



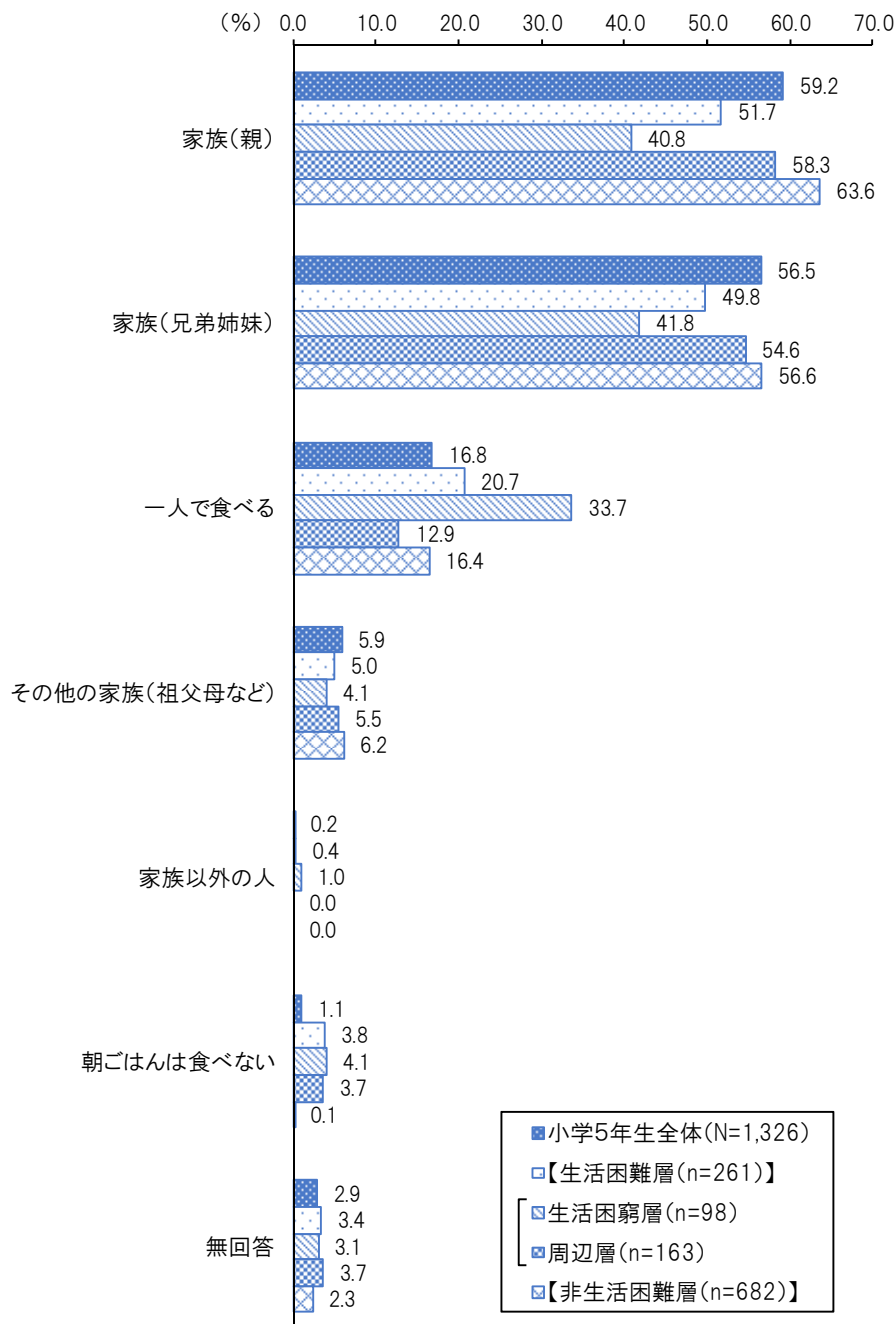
【2】 平日の食事

(1) 朝食を一緒にとる人

子／問 22 あなたは、平日（学校に行く日）に朝ごはんをだれと食べますか。
（あてはまる番号すべてに○）

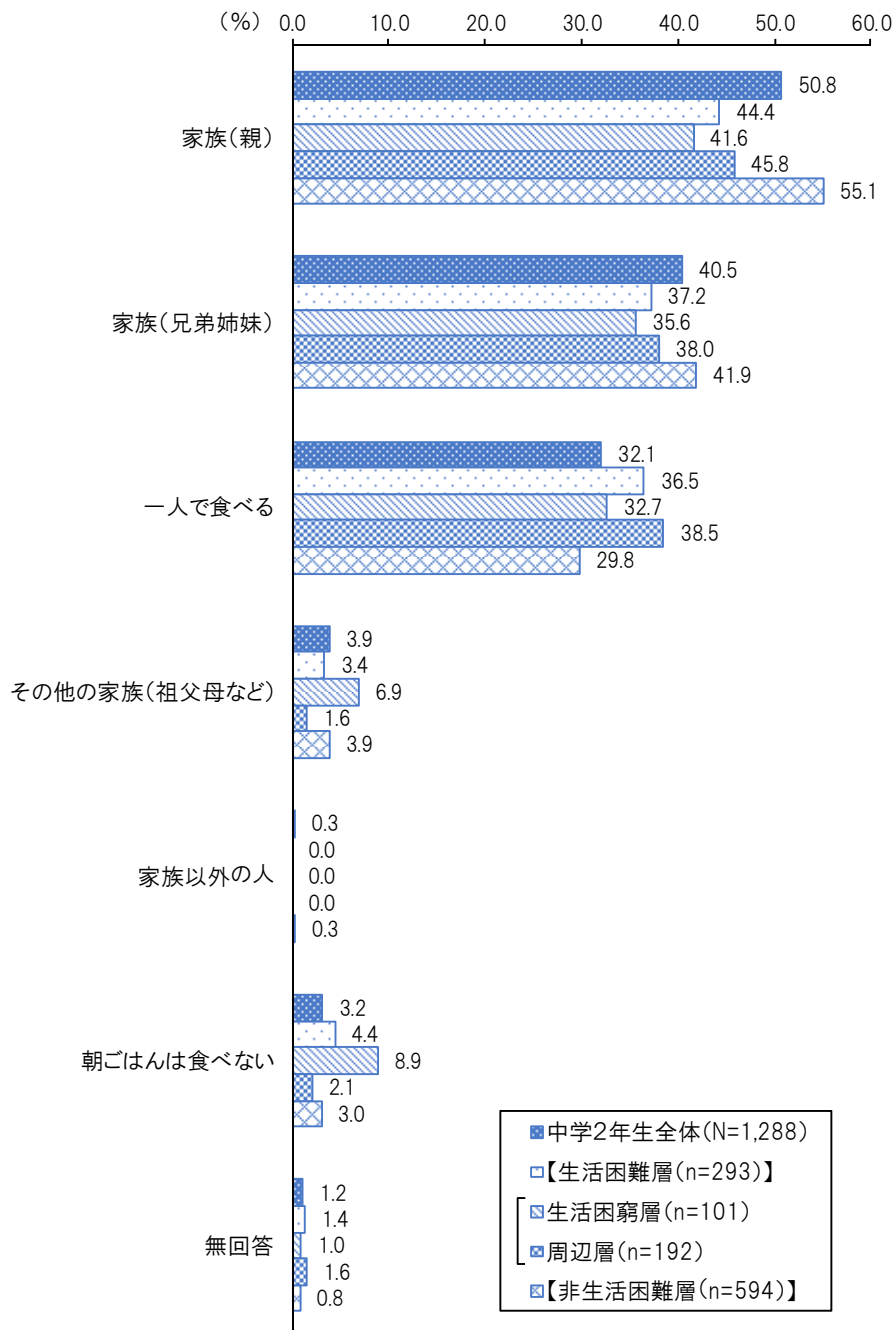
朝食を一緒にとる人について、小学5年生全体では「家族（親）」が 59.2%と最も高く、次いで「家族（兄弟姉妹）」(56.5%)、「一人で食べる」(16.8%) の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「家族（親）」「家族（兄弟姉妹）」の割合が低く、「一人で食べる」の割合が他の層を大きく上回っている。



中学2年生全体では、「家族(親)」が50.8%と最も高く、次いで「家族(兄弟姉妹)」(40.5%)、「一人で食べる」(32.1%)の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「家族(親)」「家族(兄弟姉妹)」などの割合が低く、「その他の家族(祖父母など)」「朝ごはんは食べない」の割合が高くなっている。

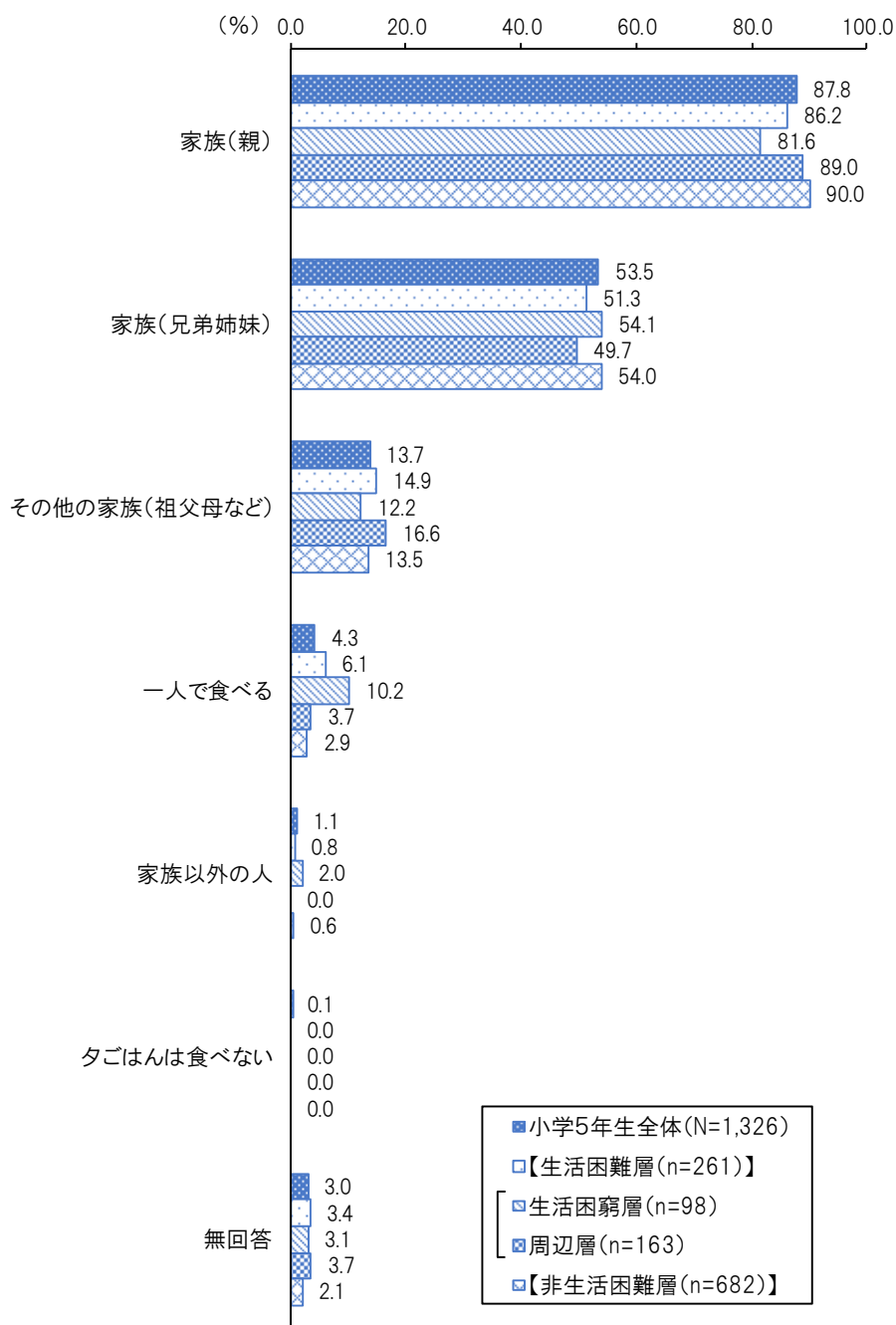


(2) 夕食を一緒にとる人

子／問 23 あなたは、平日（学校に行く日）に夕ごはんをだれと食べますか。
 （あてはまる番号すべてに○）

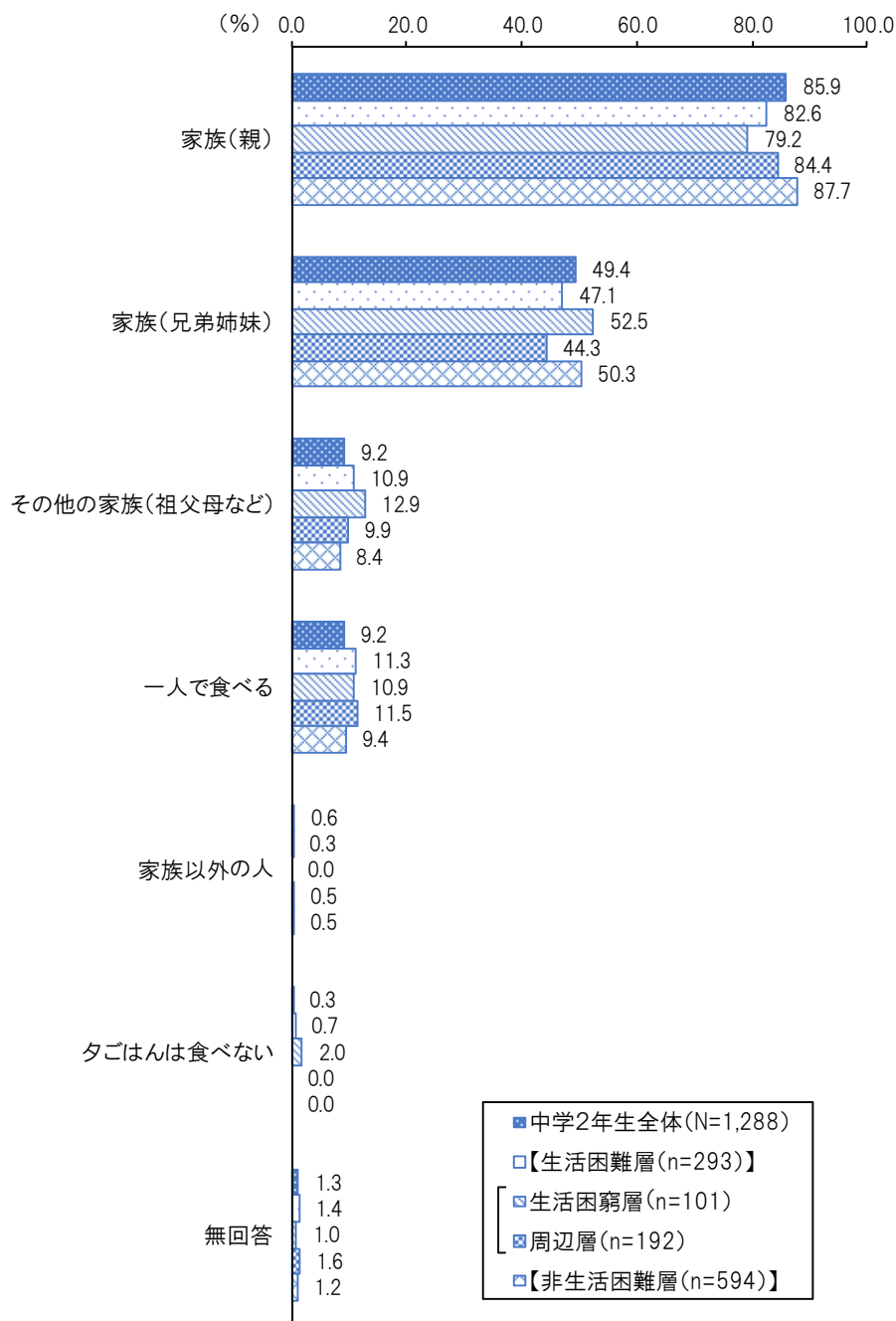
夕食を一緒にとる人について、小学5年生全体では「家族（親）」が 87.8%と最も高く、次いで「家族（兄弟姉妹）」(53.5%)、「その他の家族（祖父母など）」(13.7%)の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「家族（親）」などの割合が低く、「一人で食べる」の割合が他の層を上回っている。



中学2年生全体では、「家族(親)」が85.9%と最も高く、次いで「家族(兄弟姉妹)」(49.4%)の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「家族(親)」の割合が低く、「家族(兄弟姉妹)」「その他の家族(祖父母など)」の割合が高くなっている。



【3】 平日の放課後の過ごし方

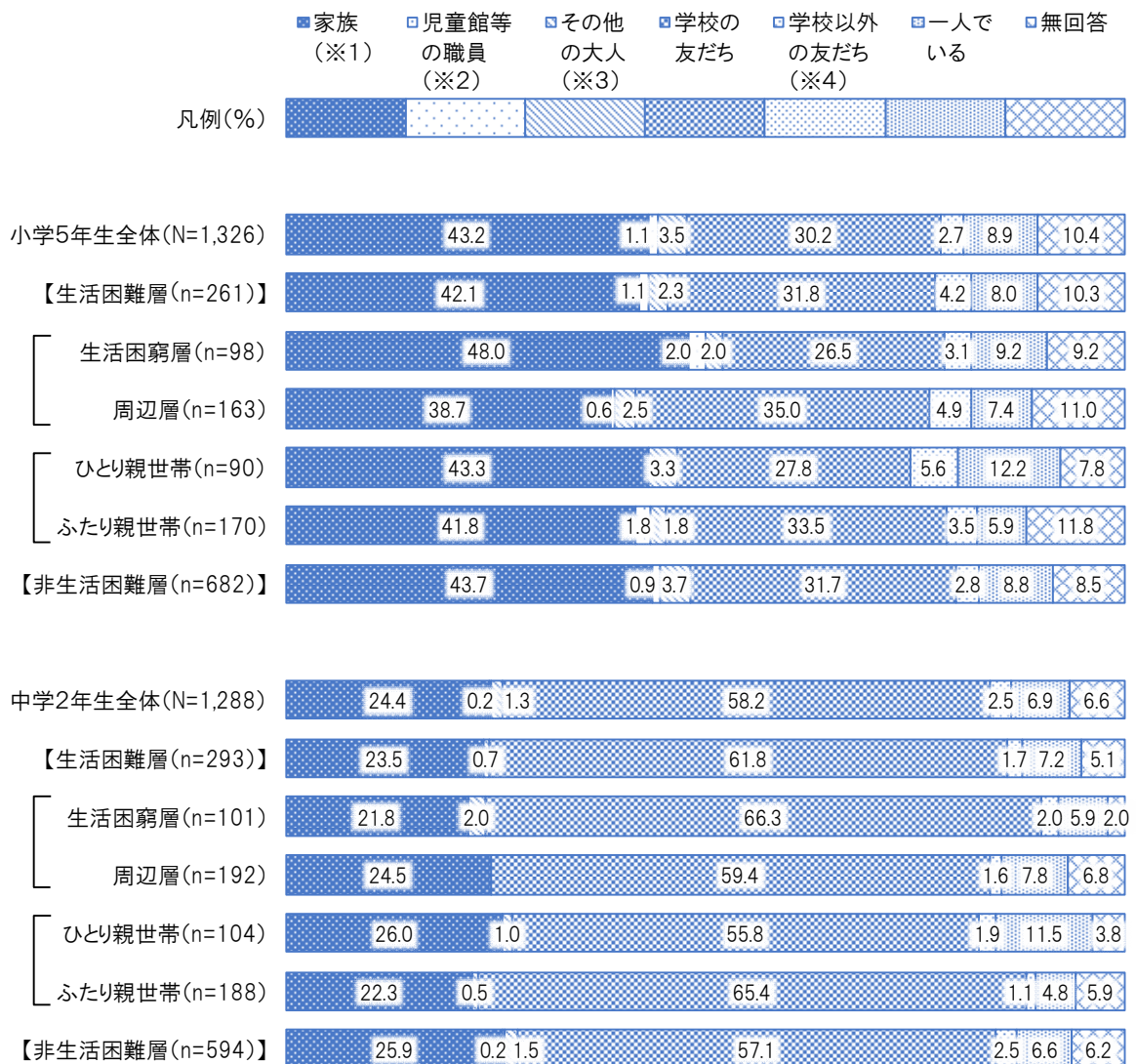
(1) 放課後を一緒に過ごす人

子／問9 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）はだれと過ごしますか。一緒に過ごすことが一番多い人に○をつけてください。（あてはまる番号1つに○）

放課後を一緒に過ごす人については、「家族」が小学5年生全体で43.2%、中学2年生全体で24.4%となっており、「学校の友だち」が小学5年生全体で30.2%、中学2年生全体で58.2%となっている。

生活困難度別にみると、小学5年生の生活困窮層で「家族」、中学2年生で「学校の友だち」の割合が高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともに、ひとり親世帯で「一人である」、ふたり親世帯で「学校の友だち」の割合が高くなっている。



※1:家族(祖父母、親せきなども含みます)

※2:小学生票では「放課後児童クラブ、放課後子ども教室、その他の施設の先生」
中学生票では「児童館・公民館やその他の施設(放課後等デイサービス含む)の職員」

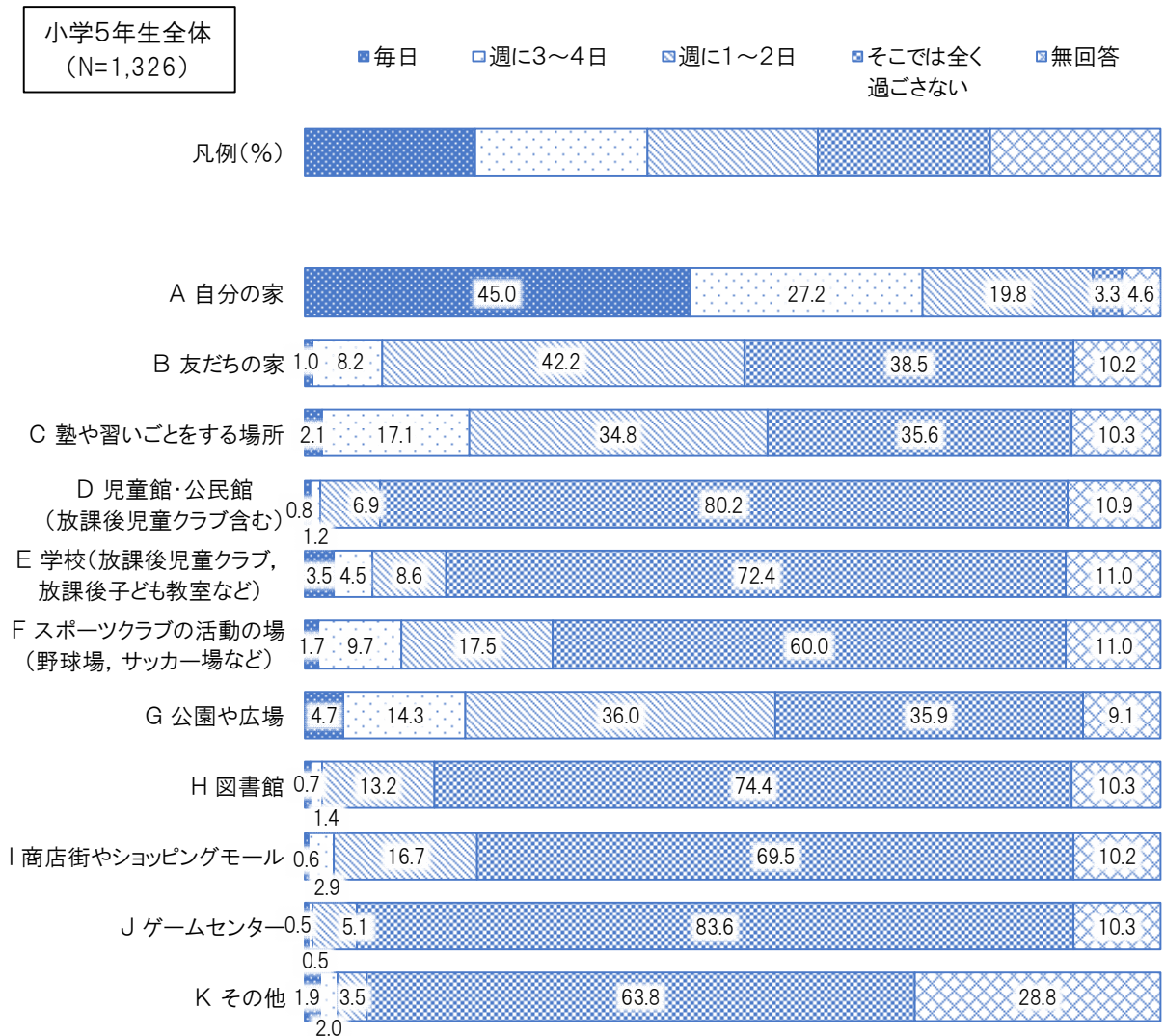
※3:その他の大人(近所の大人、塾や習いごとの先生など)

※4:学校以外の友だち(地域のスポーツクラブ、近所の友だちなど)

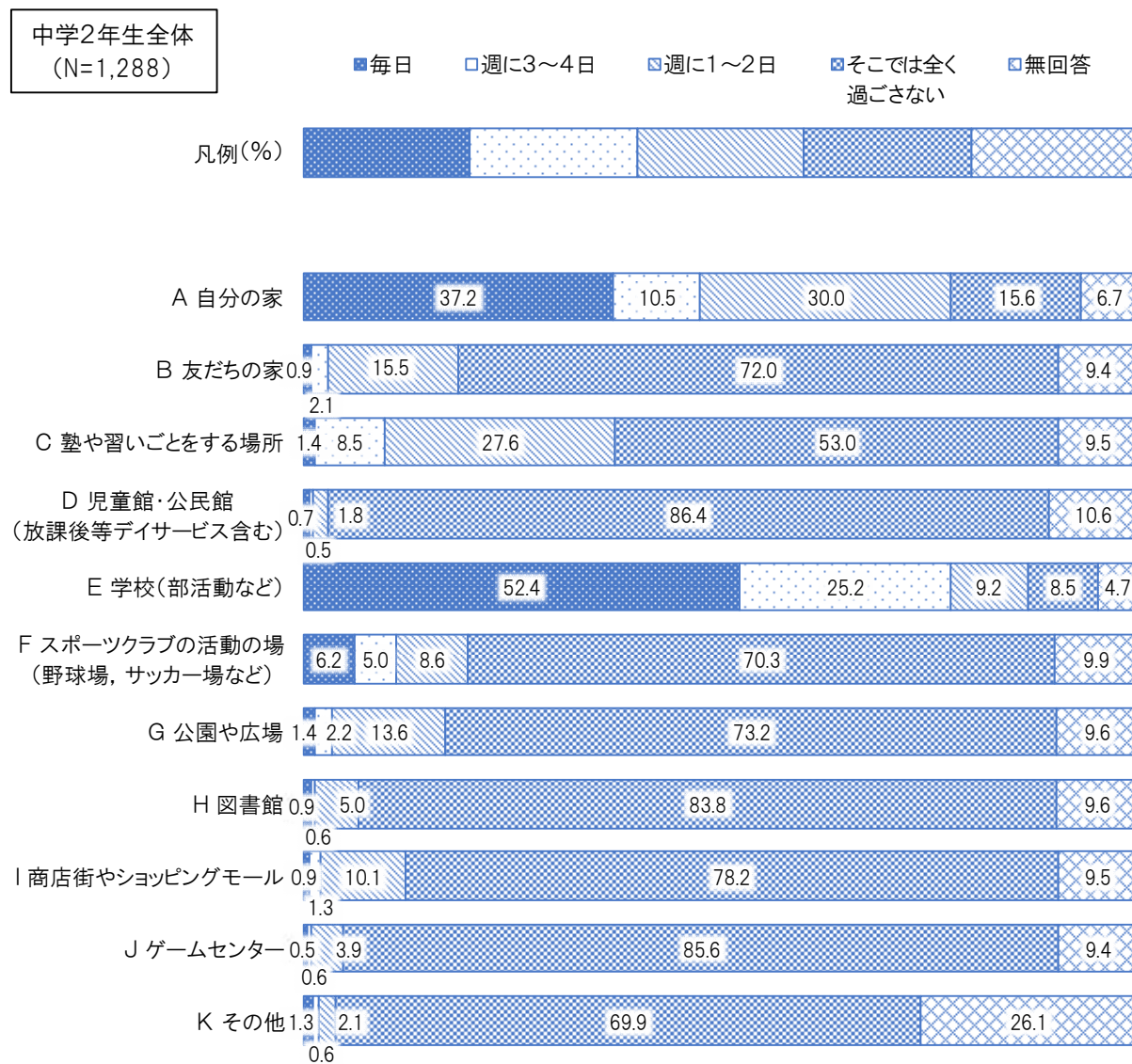
(2) 平日の放課後を過ごす場所

子／問 10 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）どこで過ごしますか。1週間のうち、そこで過ごすおおよその日数に○をつけてください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

平日の放課後を過ごす場所について、小学5年生全体では「毎日」「週に3～4日」を合計した割合が高い順に「A 自分の家」(72.2%)、「C 塾や習いごとをする場所」(19.2%)、「G 公園や広場」(19.0%)となっている。また、「そこでは全く過ごさない」では「J ゲームセンター」(83.6%)、「D 児童館・公民館（放課後児童クラブ含む）」(80.2%)などがあげられる。



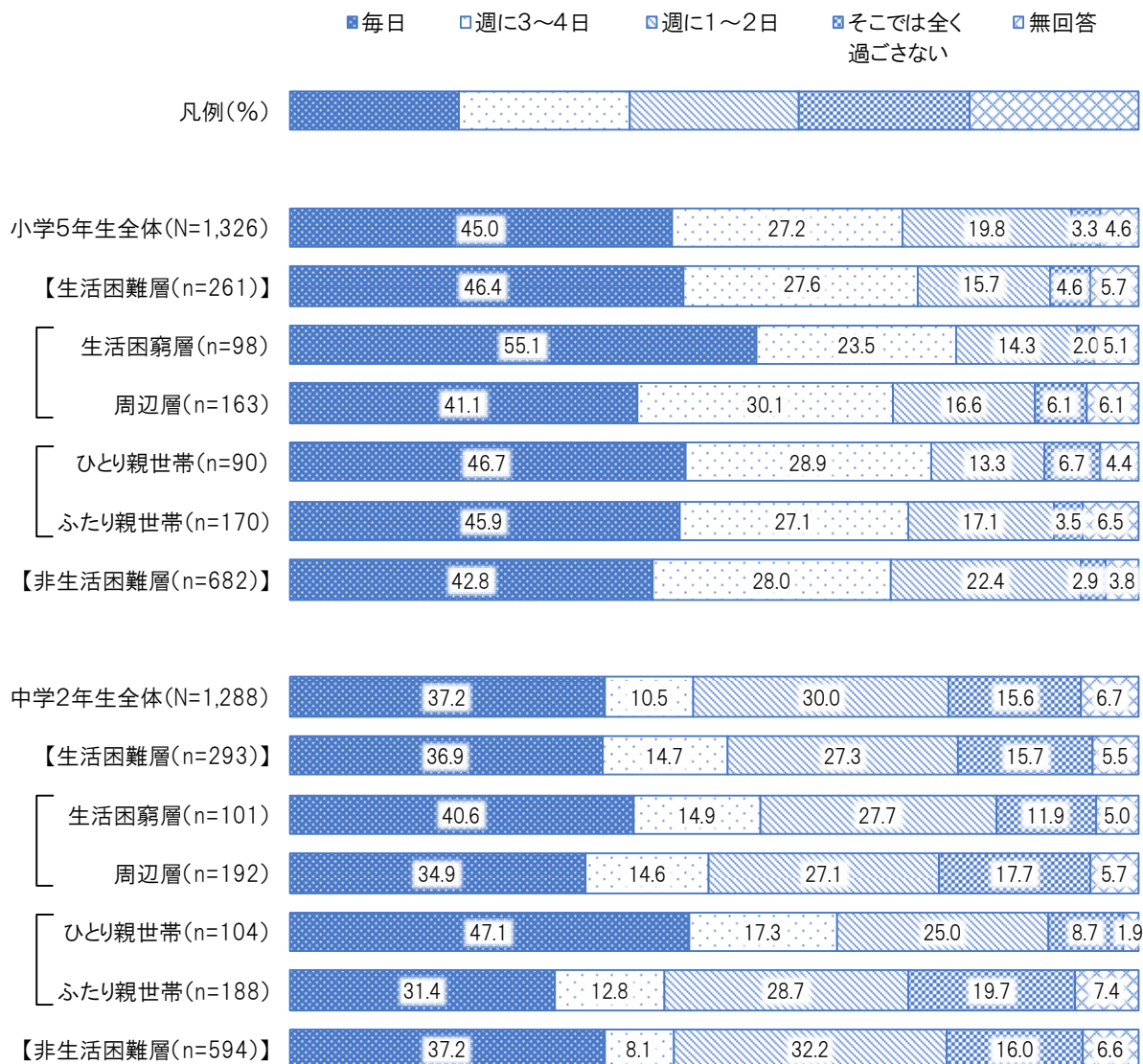
中学2年生全体では、「毎日」「週に3～4日」を合計した割合が高い順に「E 学校（部活動など）」（77.6%）、「A 自分の家」（47.7%）、「F スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）」（11.2%）となっている。また、「そこでは全く過ごさない」では「D 児童館・公民館（放課後等デイサービス含む）」（86.4%）、「H 図書館」（85.6%）、「J ゲームセンター」（83.8%）などがあげられる。



A 自分の家

自分の家について「毎日」の割合は、小学5年生の生活困窮層で55.1%、周辺層で41.1%となっている。中学2年生では、生活困窮層で40.6%、周辺層で34.9%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

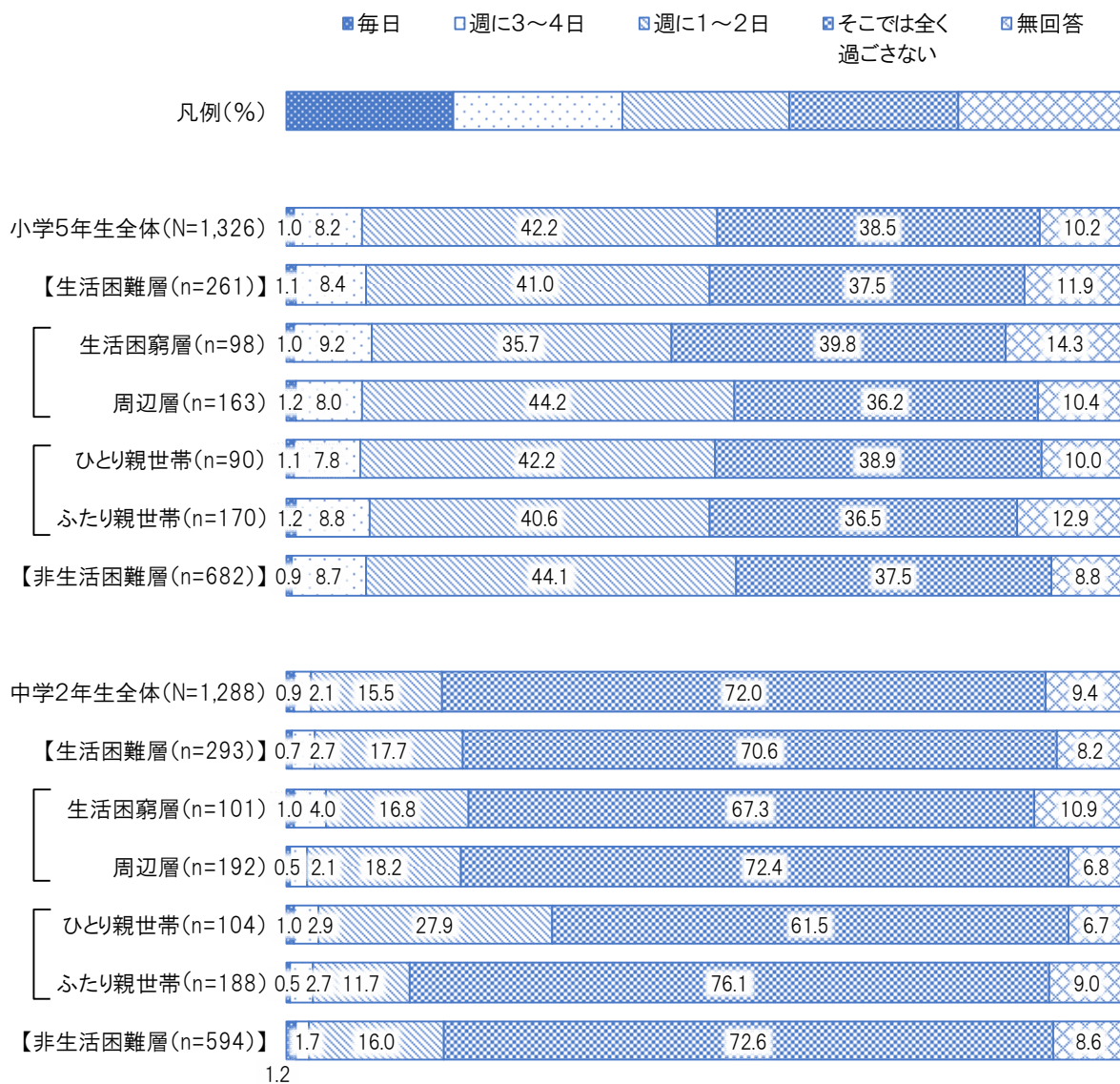
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「毎日」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



B 友だちの家

友だちの家について「そこでは全く過ごさない」の割合は、小学5年生の生活困窮層で39.8%、周辺層で36.2%となっている。中学2年生では、生活困窮層で67.3%、周辺層で72.4%となっており、周辺層で高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「週に1～2日」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。

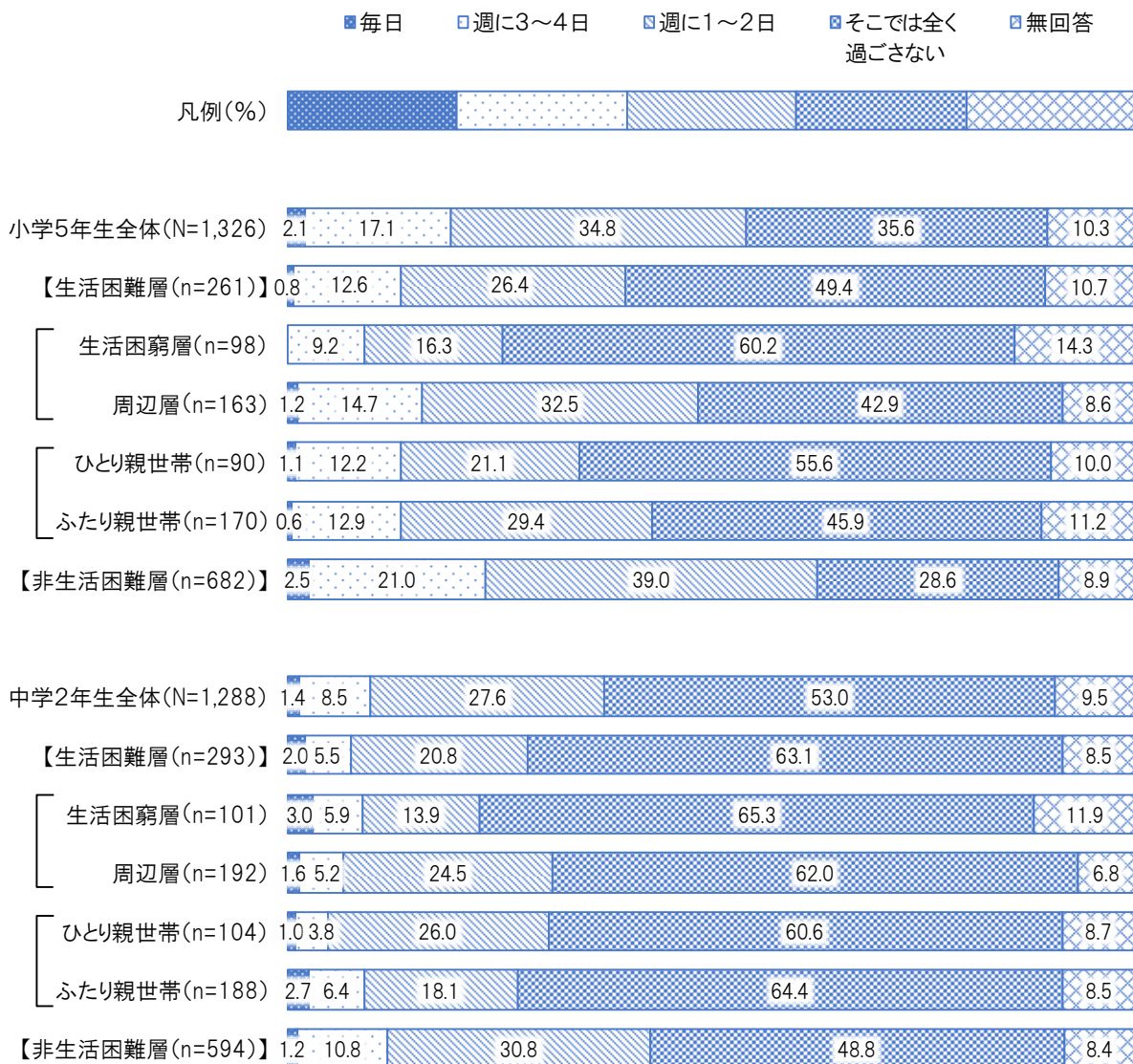


1.2

C 塾や習いごとをする場所

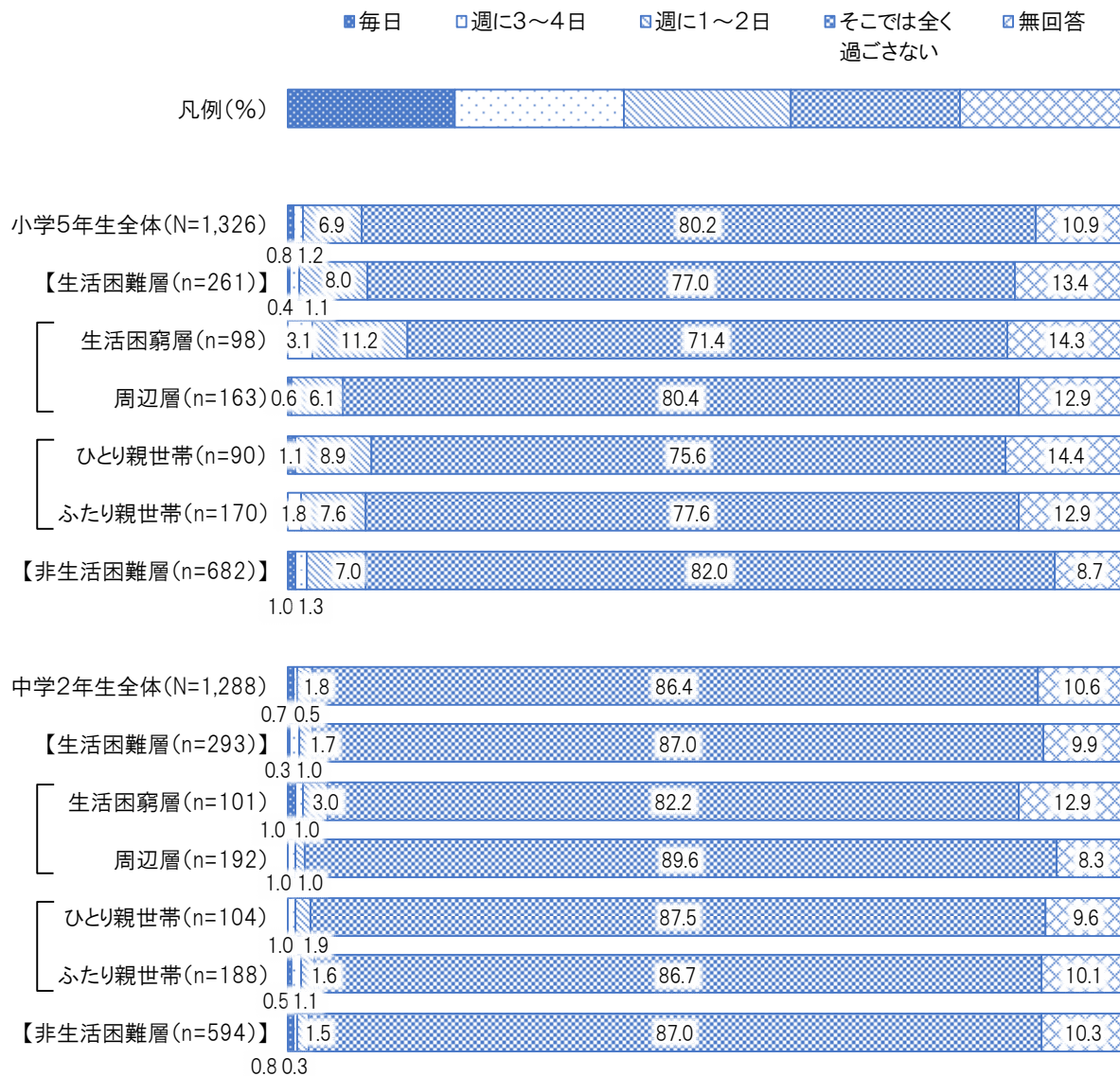
塾や習いごとをする場所について「そこでは全く過ごさない」の割合は、小学5年生の生活困窮層で60.2%、周辺層で42.9%となっている。中学2年生では、生活困窮層で65.3%、周辺層で62.0%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生のひとり親世帯で「そこでは全く過ごさない」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



D 児童館・公民館※（放課後等デイサービス含む）

児童館・公民館について「そこでは全く過ごさない」の割合は、小学5年生の生活困窮層で71.4%，周辺層で80.4%となっている。中学2年生では、生活困窮層で82.2%，周辺層で89.6%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

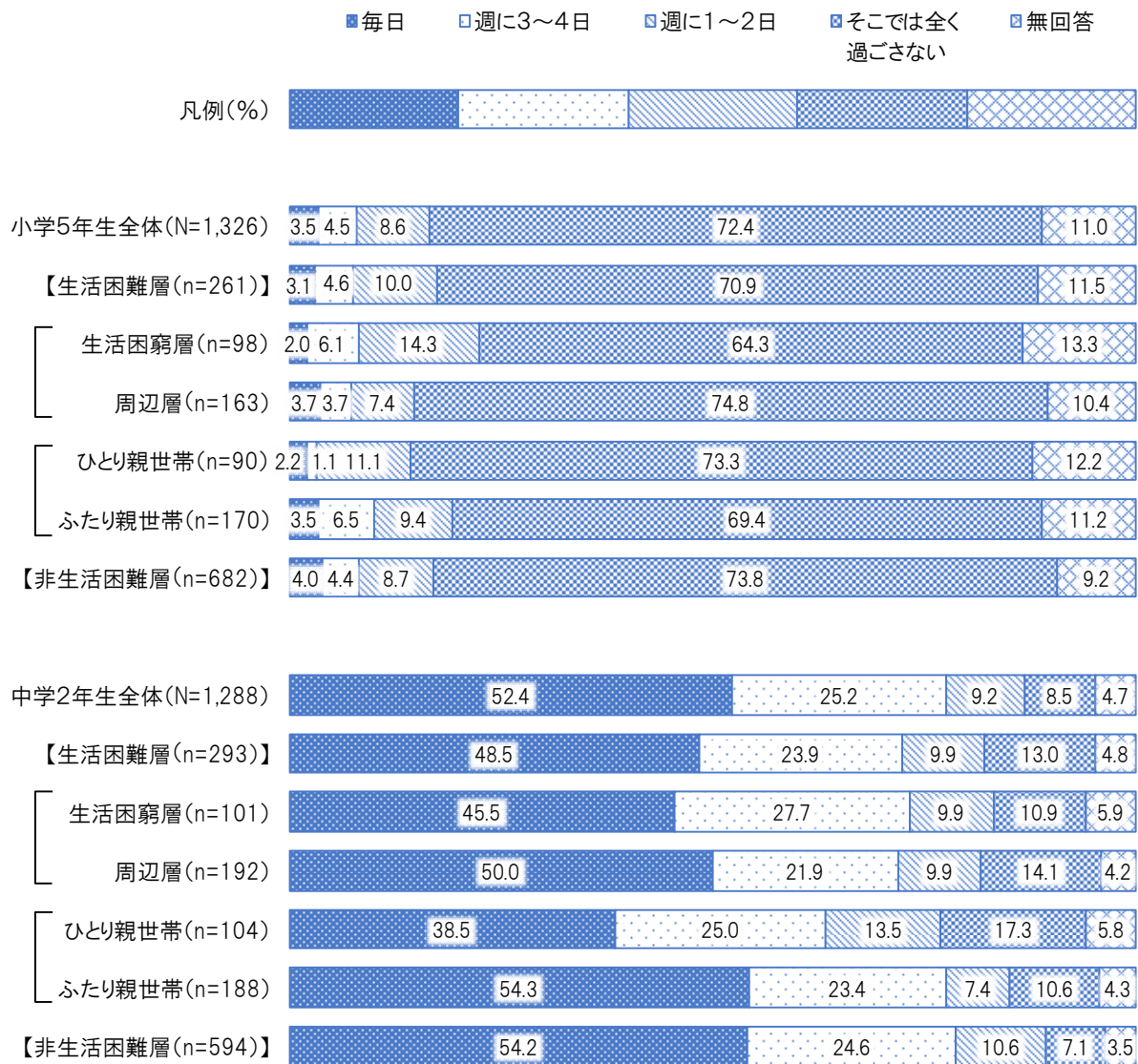


※小学生票では「児童館・公民館(放課後児童クラブふくむ)」

E 学校※（部活動など）

学校について、小学5年生の「そこでは全く過ごさない」の割合は、生活困窮層で64.3%、周辺層で74.8%となっており、生活困窮層で低くなっている。また、中学2年生の「毎日」の割合は、生活困窮層で45.5%、周辺層で50.0%となっており、生活困窮層で低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「毎日」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。

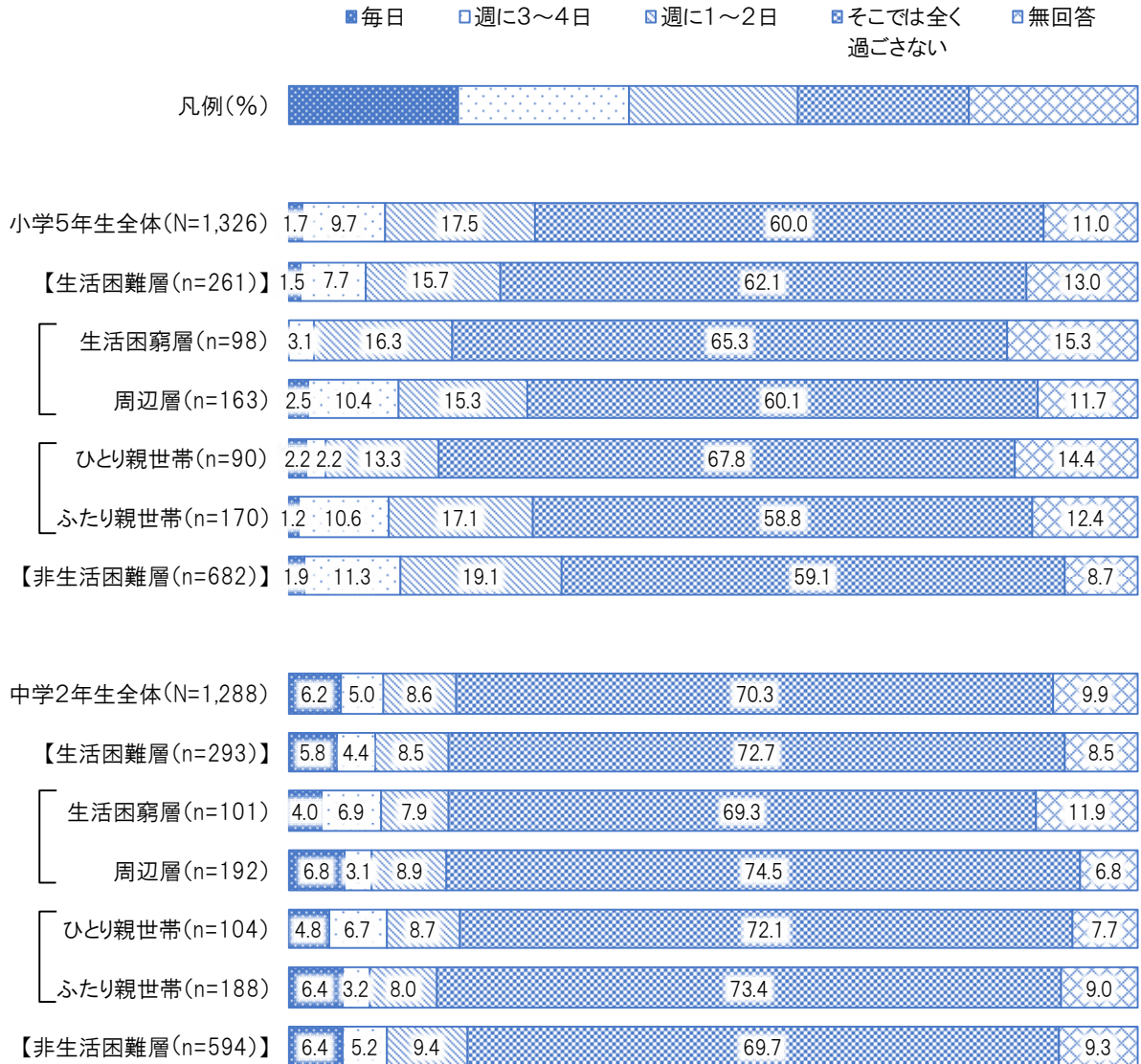


※小学生票では「学校(放課後児童クラブ, 放課後子ども教室など)」

F スポーツクラブの活動の場（野球場，サッカー場など）

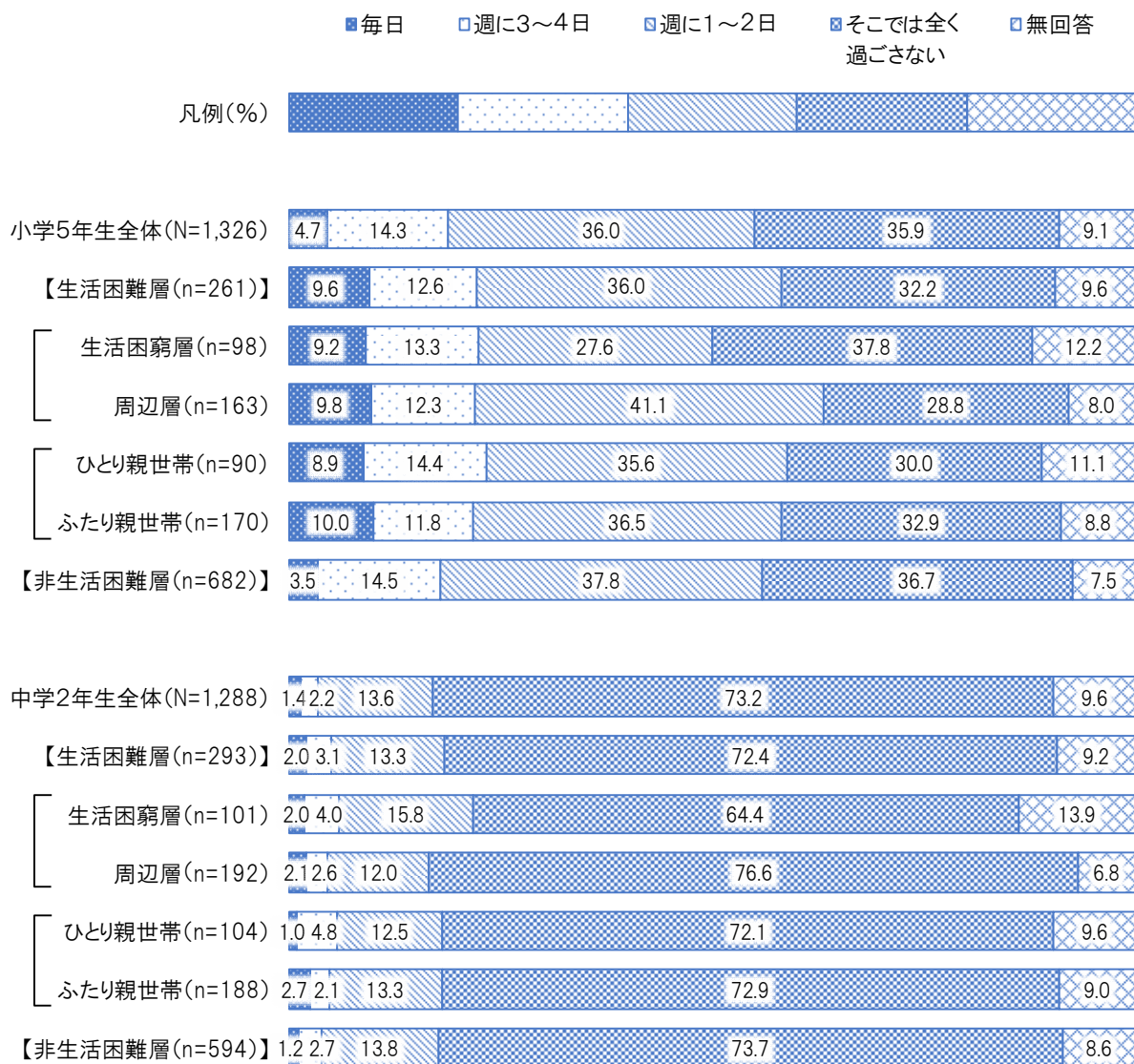
スポーツクラブの活動の場について「そこでは全く過ごさない」の割合は、小学5年生の生活困窮層で65.3%，周辺層で60.1%となっており、生活困窮層で高くなっている。中学2年生では、生活困窮層で69.3%，周辺層で74.5%となっており、周辺層で高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生のひとり親世帯で「そこでは全く過ごさない」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



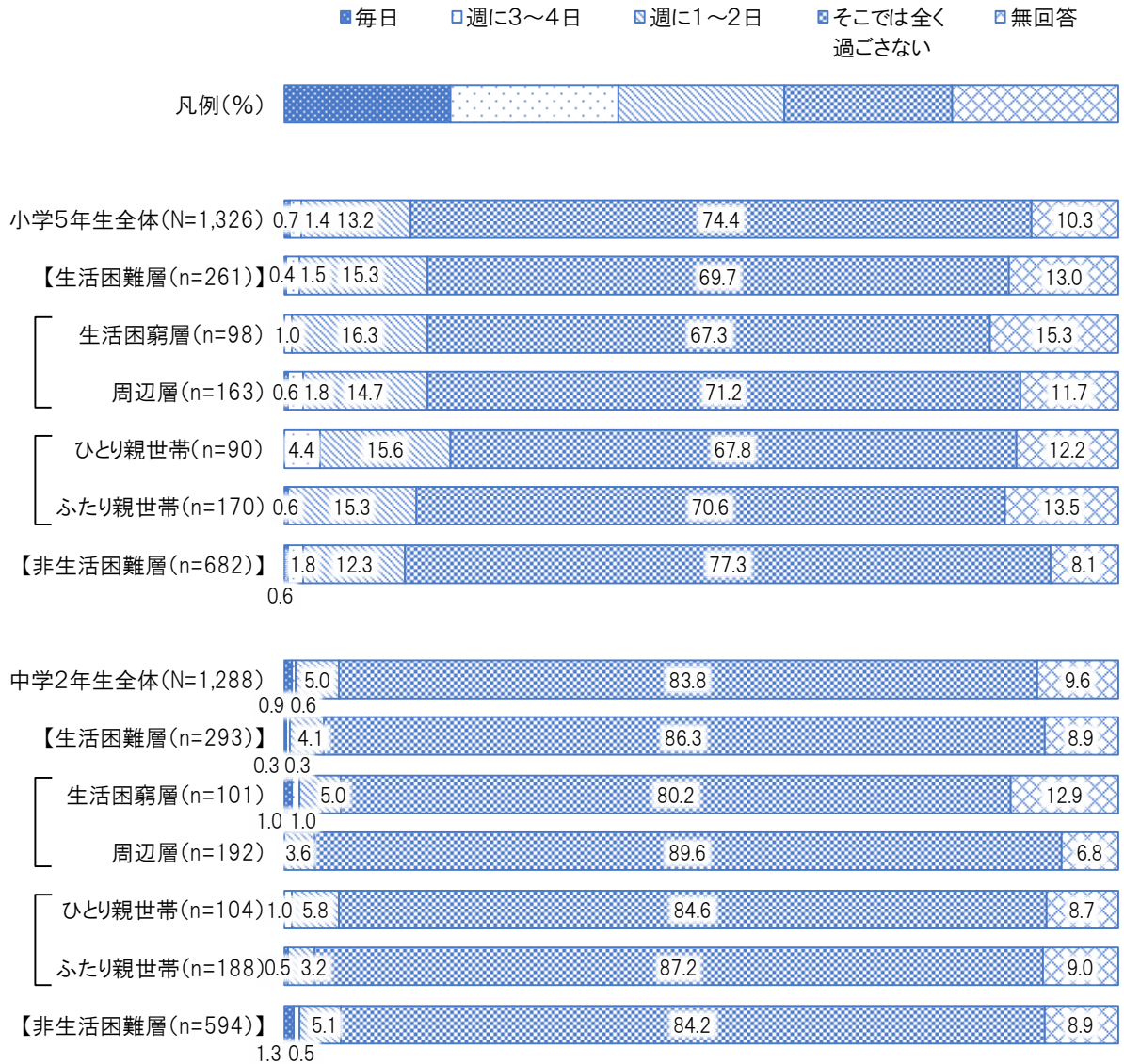
G 公園や広場

公園や広場について「そこでは全く過ごさない」の割合は、小学5年生の生活困窮層で37.8%、周辺層で28.8%となっており、生活困窮層で高くなっている。中学2年生では、生活困窮層で64.4%、周辺層で76.6%となっており、生活困窮層で低くなっている。



H 図書館

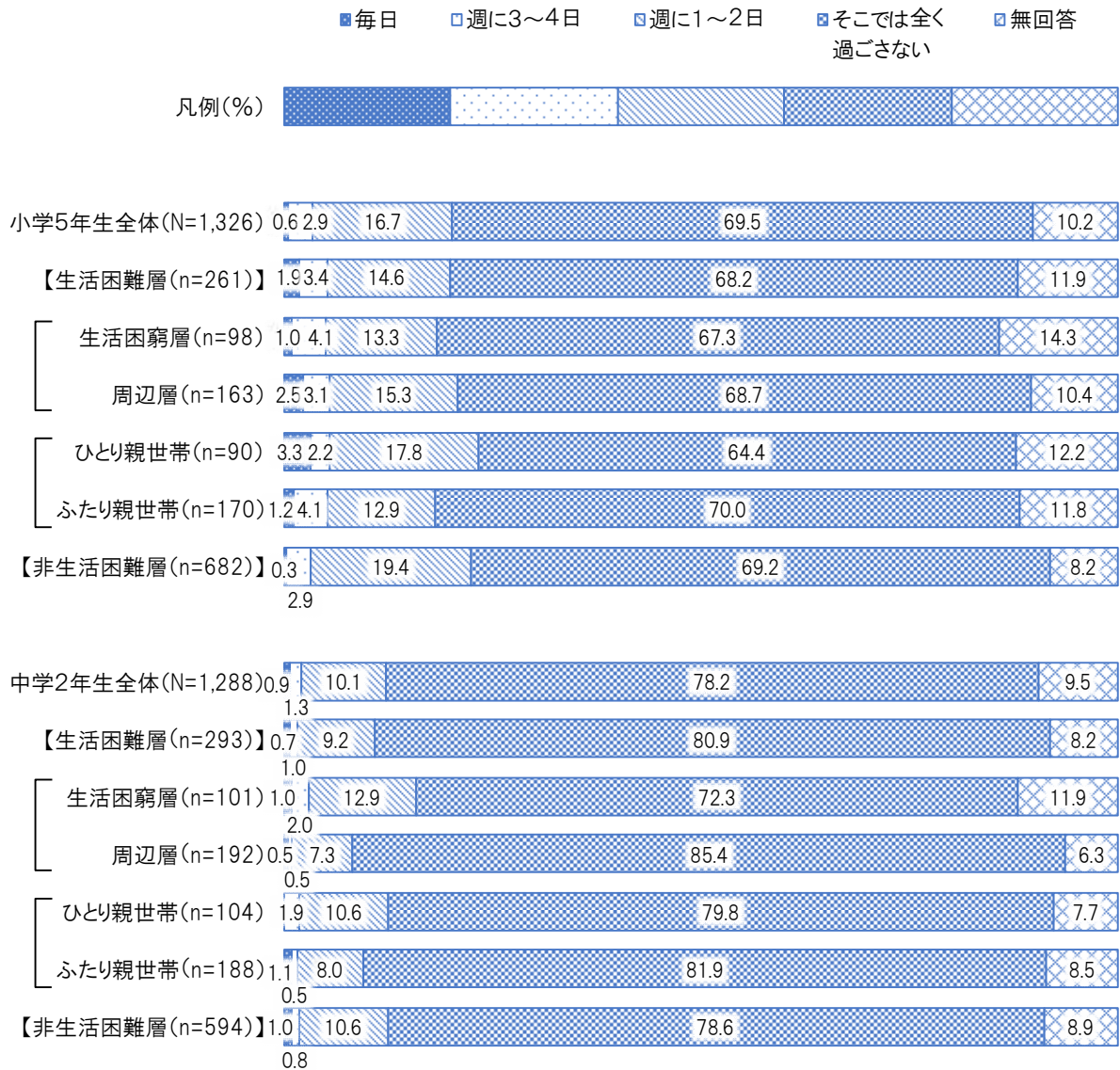
図書館について「そこでは全く過ごさない」の割合は、小学5年生の生活困窮層で67.3%、周辺層で71.2%となっている。中学2年生では、生活困窮層で80.2%、周辺層で89.6%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。



I 商店街やショッピングモール

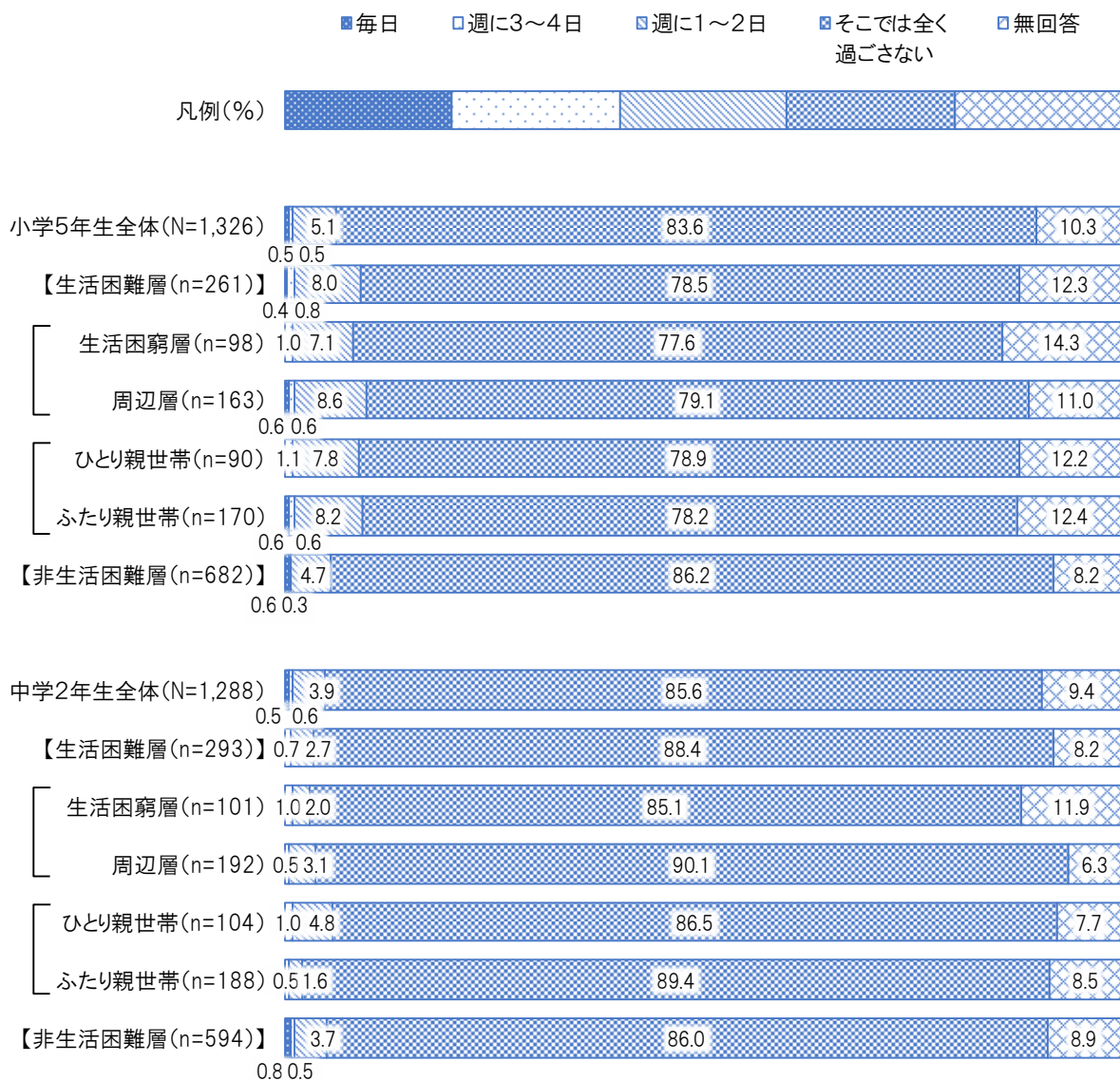
商店街やショッピングモールについて「そこでは全く過ごさない」の割合は、小学5年生の生活困窮層で67.3%、周辺層で68.7%となっている。中学2年生では、生活困窮層で72.3%、周辺層で85.4%となっており、生活困窮層で低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生のひとり親世帯で「週に1～2日」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



J ゲームセンター

ゲームセンターについて「そこでは全く過ごさない」の割合は、小学5年生の生活困窮層で77.6%、周辺層で79.1%となっている。中学2年生では、生活困窮層で85.1%、周辺層で90.1%となっており、生活困窮層で低くなっている。



(3) 放課後児童クラブ・学校の部活動への参加状況

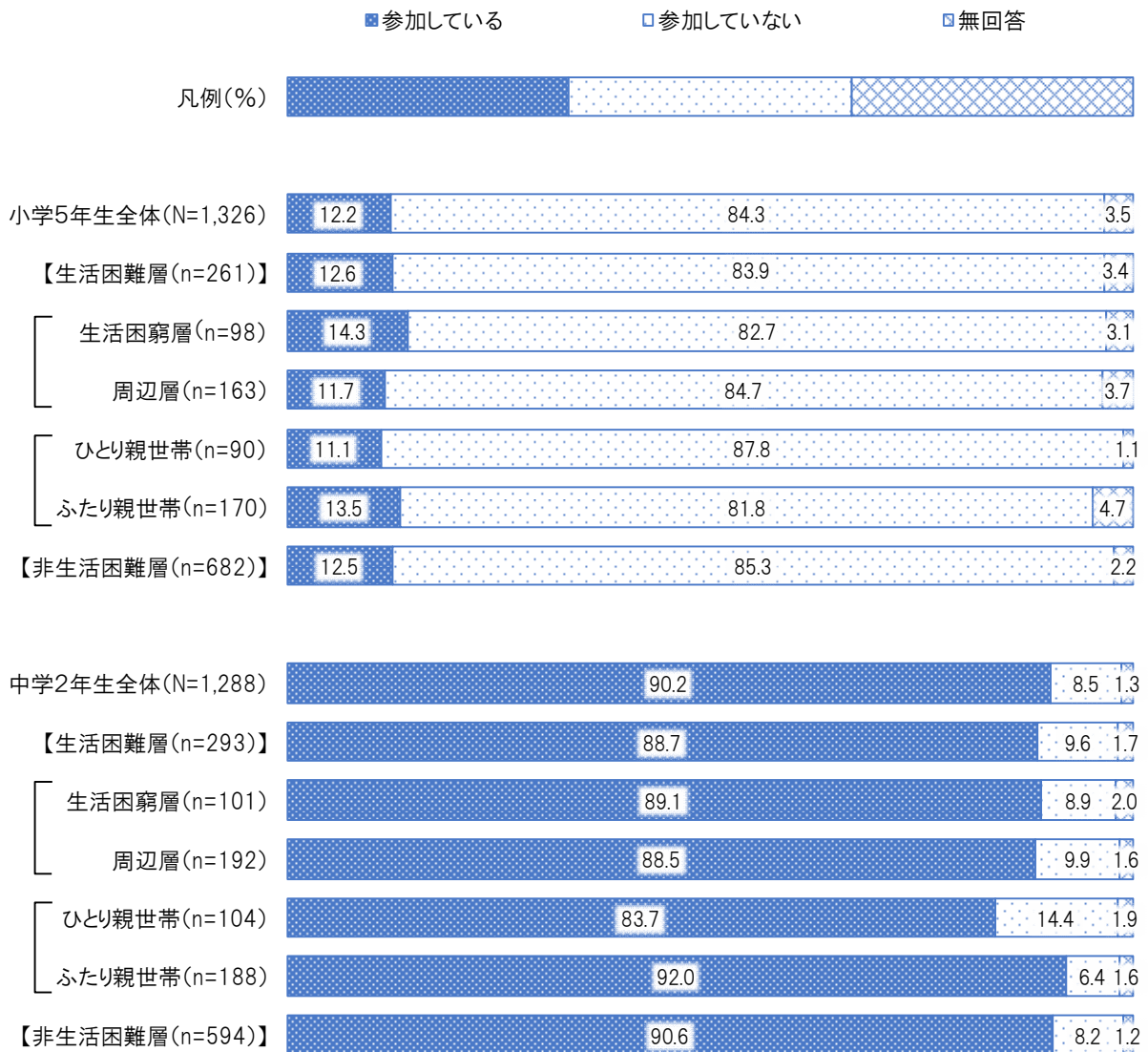
子／問 11 あなたは、学校の部活動※に参加していますか。（あてはまる番号1つに○）

※小学生票では「放課後児童クラブや放課後子ども教室（以下「放課後児童クラブなど）」

放課後児童クラブへの参加状況については、小学5年生全体では「参加している」の割合が12.2%、学校の部活動への参加状況について中学2年生全体では90.2%となっている。一方、「参加していない」は、小学5年生全体では84.3%、中学2年生全体では8.5%となっている。

生活困難度別にみた「参加している」の割合は、小学5年生の生活困窮層で14.3%、中学2年生で89.1%となっており、生活困難度による大きな差はみられない。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「参加していない」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



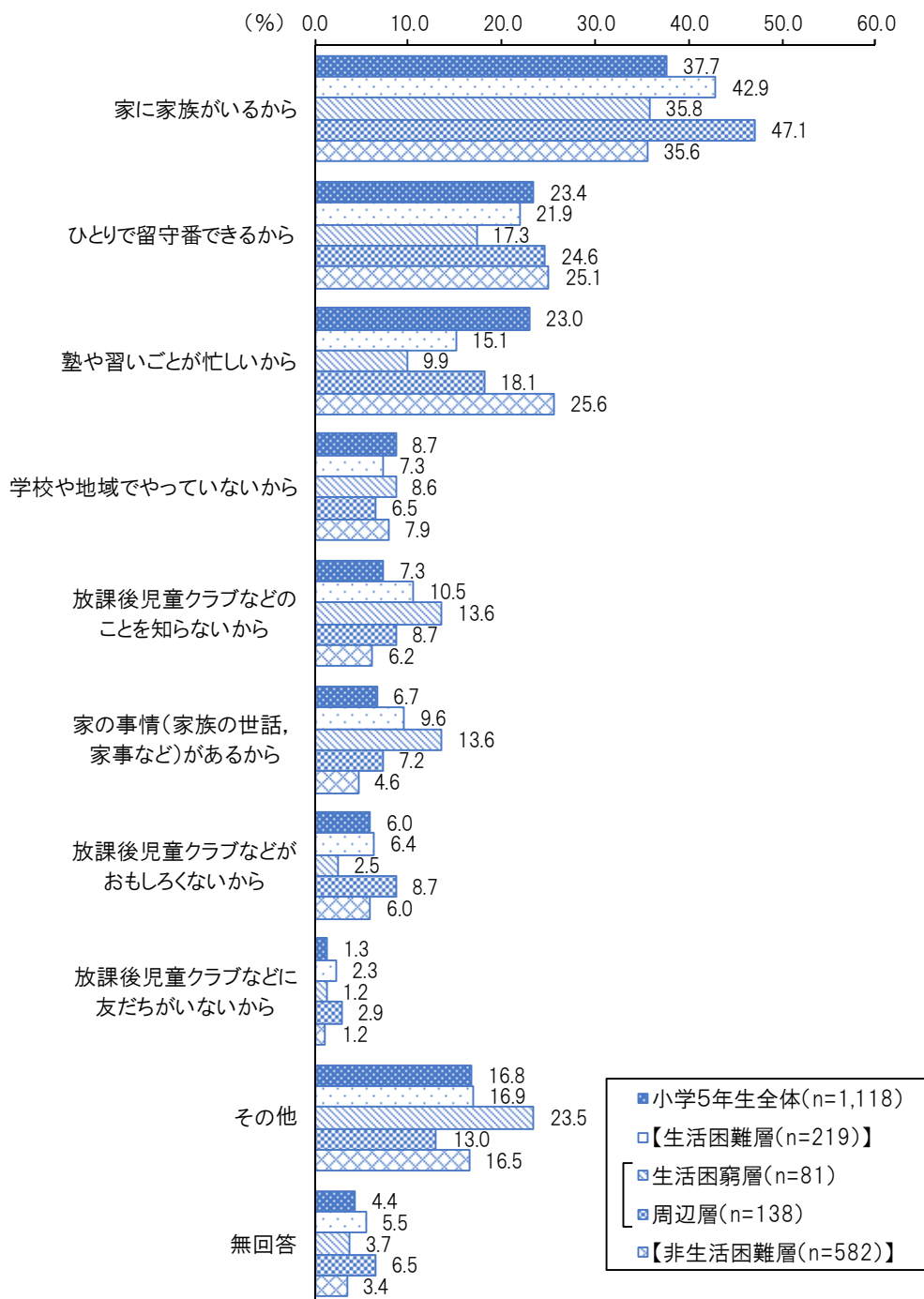
(4) 放課後児童クラブ・学校の部活動に参加していない理由

【学校の部活動※に「2参加していない」と答えた人におききします。】
 子／問 11-1 参加しない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

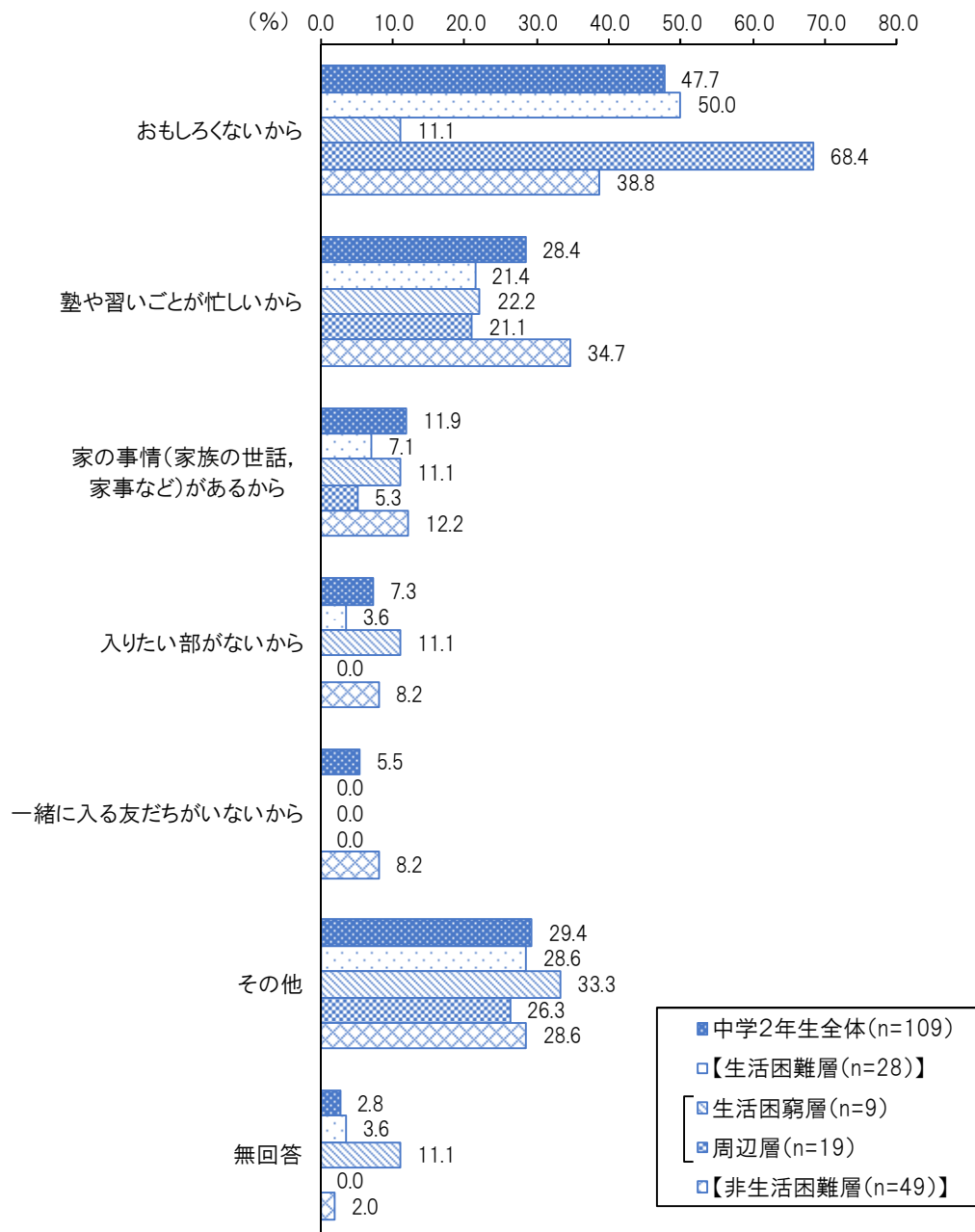
※小学生票では「放課後児童クラブなど」

放課後児童クラブに参加していない理由について、小学5年生全体では「家に家族がいるから」が37.7%と最も高く、次いで「ひとりで留守番できるから」(23.4%)、「塾や習いごとが忙しいから」(23.0%)の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「ひとりで留守番できるから」「塾や習いごとが忙しいから」などの割合が低く、「放課後児童クラブなどのことを知らないから」「家の事情(家族の世話, 家事など)があるから」の割合が他の層に比べて高くなっている。



学校の部活動に参加していない理由について、中学2年生全体では、「おもしろくないから」が47.7%と最も高く、次いで「塾や習いごとが忙しいから」(28.4%)、「家の事情(家族の世話, 家事など)があるから」(11.9%)の順となっている。



注:生活困窮層については、件数(n=)が少ないため参考値として参照

【4】休日の過ごし方

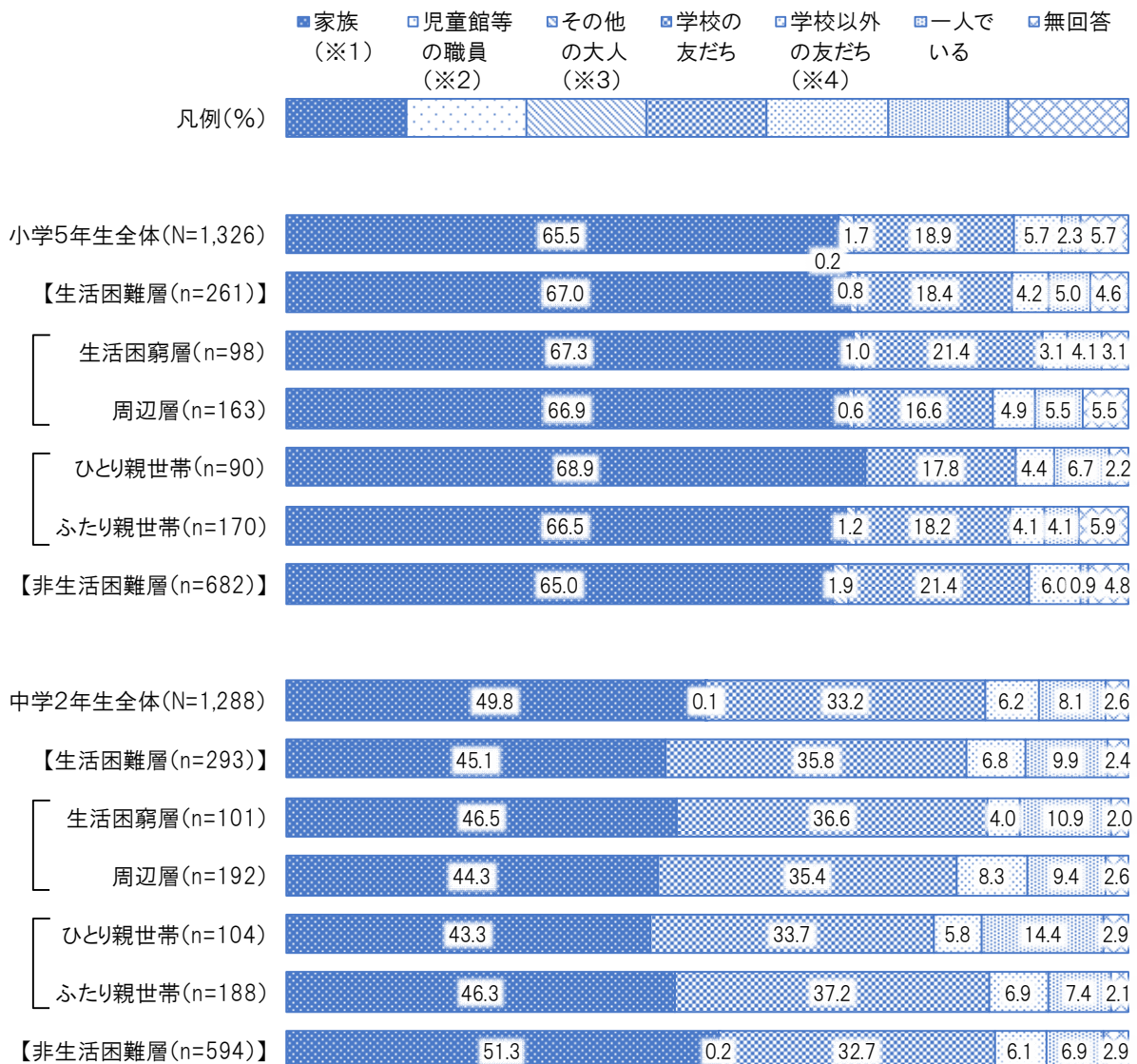
(1) 休日の午後を一緒に過ごす人

子／問 12 あなたは、休日（学校がお休みの日）の午後はだれと過ごしますか。一緒に過ごすことが一番多い人に○をつけてください。（あてはまる番号1つに○）

休日の午後を一緒に過ごす人については、「家族」が小学5年生全体で65.5%、中学2年生全体で49.8%となっており、「学校の友だち」が小学5年生全体で18.9%、中学2年生全体で33.2%となっている。

生活困難度別にみると、小学5年生の生活困窮層で「学校の友だち」の割合が周辺層に比べて高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「一人である」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



※1:家族(祖父母、親せきなども含む)

※2:小学生票では「放課後児童クラブ、その他の施設の先生」

中学生票では「児童館・公民館やその他の施設(放課後等デイサービス含む)の職員」

※3:その他の大人(近所の大人、塾や習いごとの先生など)

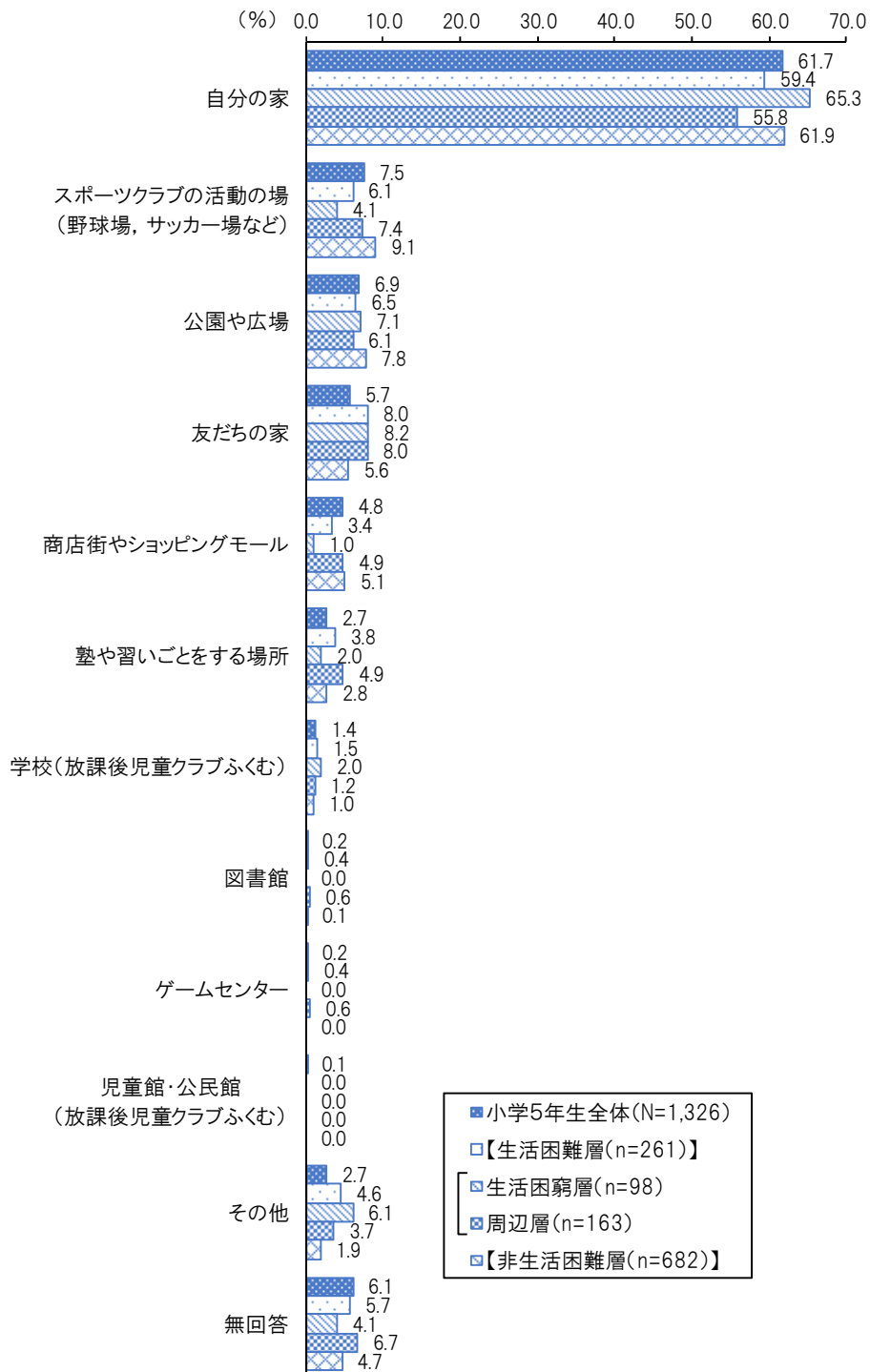
※4:学校以外の友だち(地域のスポーツクラブ、近所の友だちなど)

(2) 休日の午後を過ごす場所

子／問 13 あなたは、休日（学校がお休みの日）の午後は、どこで過ごしますか。一番多く過ごす場所に○をつけてください。（あてはまる番号1つに○）

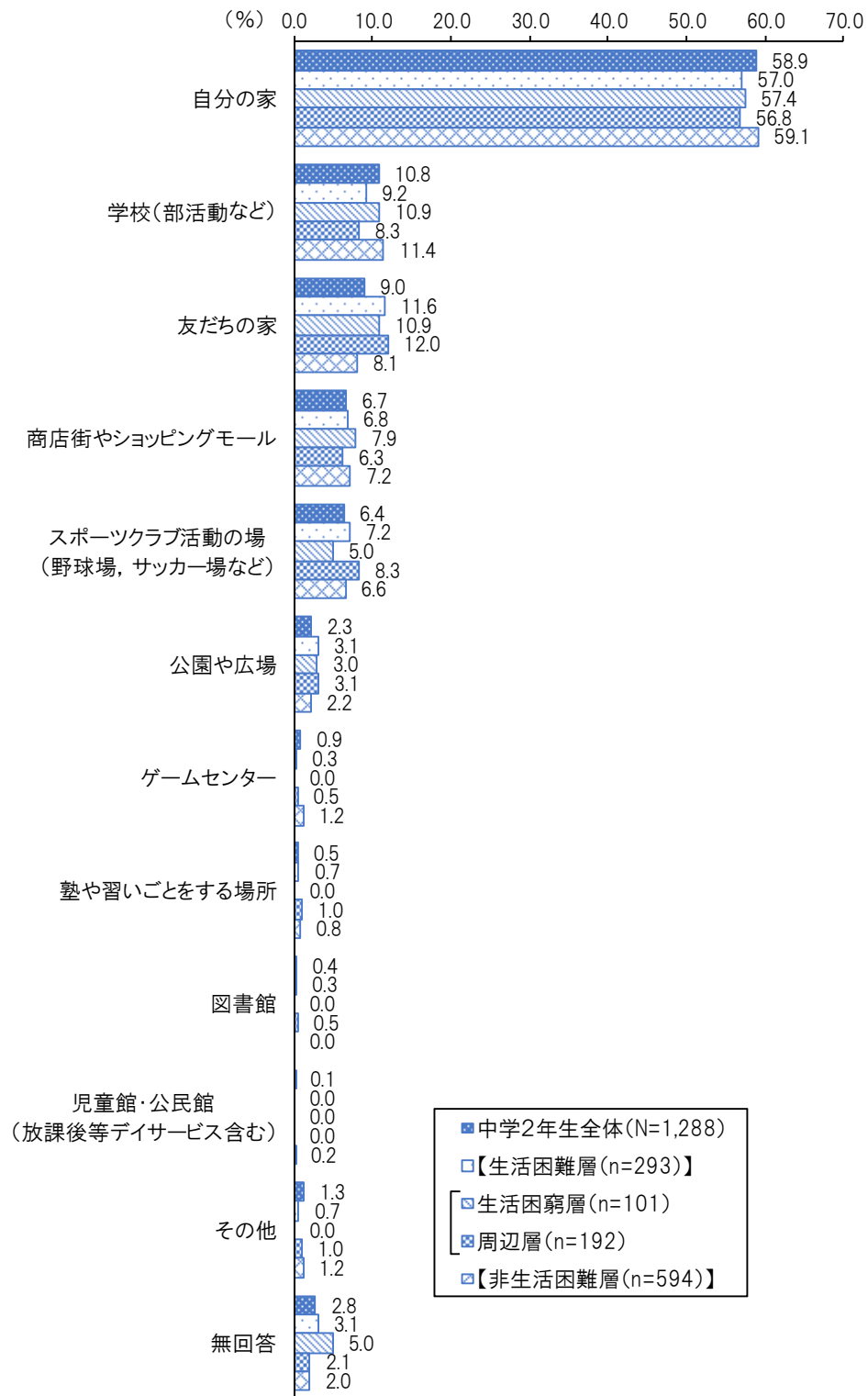
休日の午後を過ごす場所について、小学5年生全体では「自分の家」が61.7%と突出して最も高く、次いで「スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）」（7.5%）が続いている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場など）」などの割合が低く、「自分の家」の割合が他の層に比べて高くなっている。



中学2年生全体では、「自分の家」が58.9%と突出して最も高く、次いで「学校（部活動など）」（10.8%）が続いている。

生活困難度による大きな差はみられない。

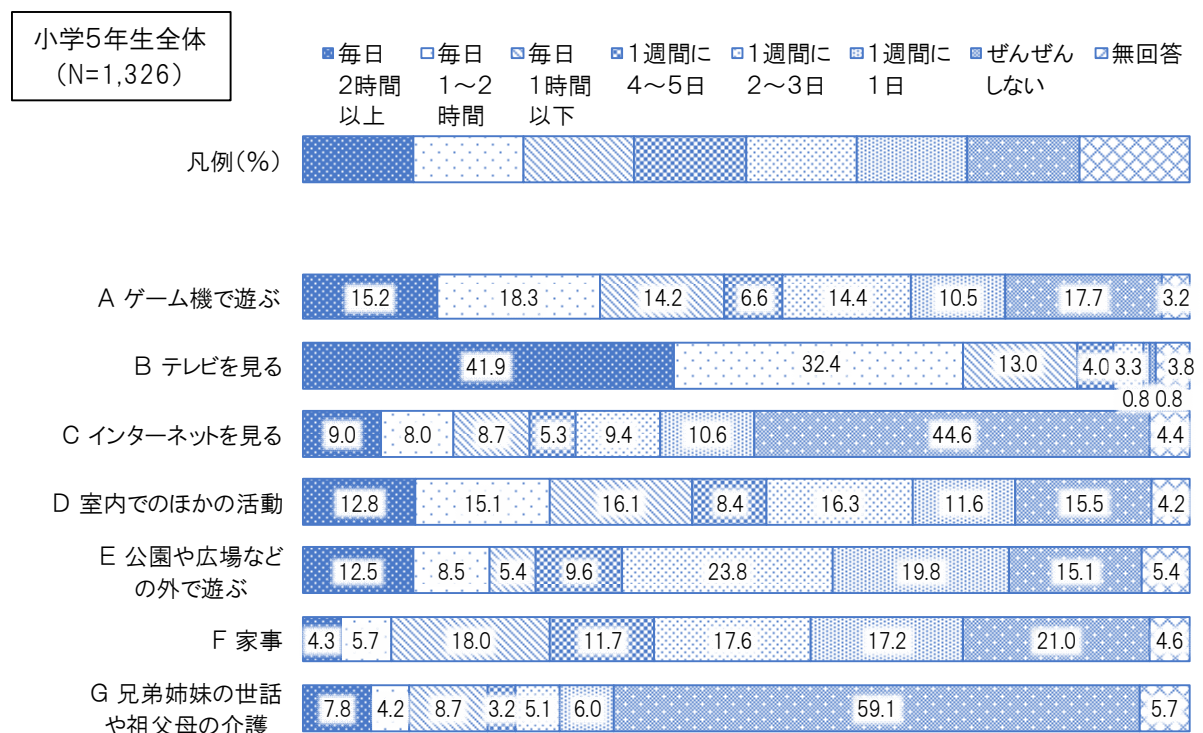


【5】活動の状況

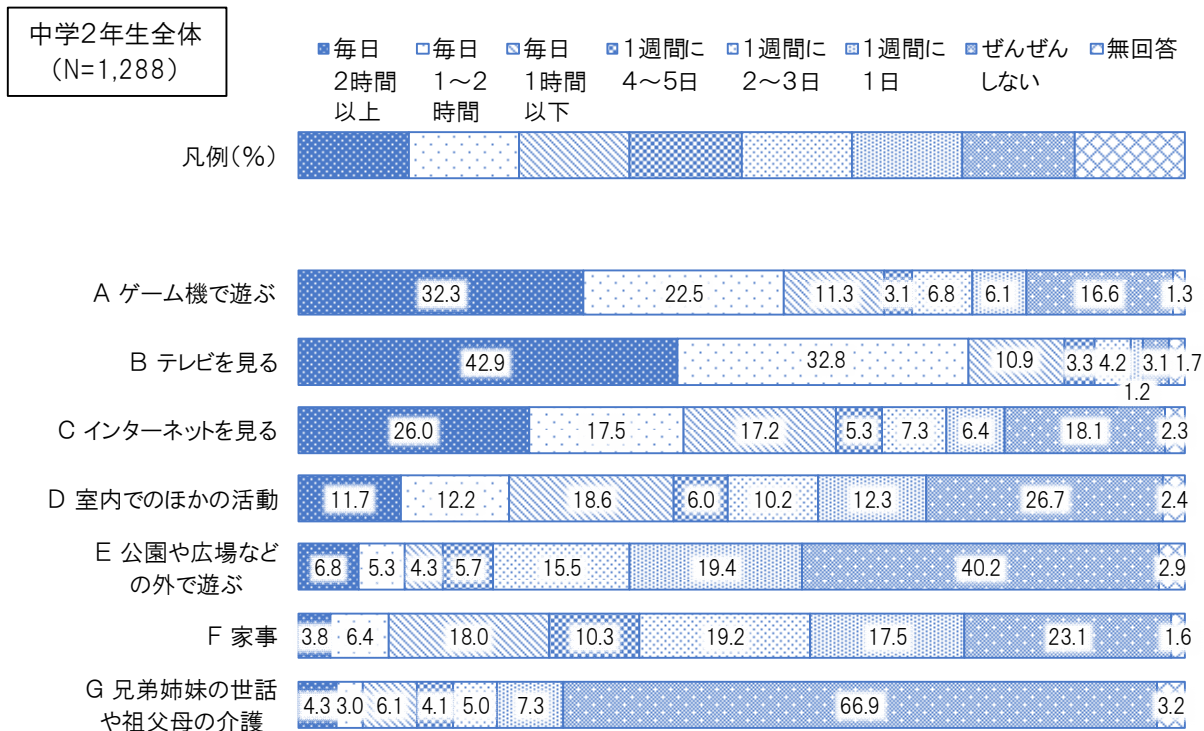
(1) 活動の状況

子／問 14 あなたは、次の活動を、ふだんどれくらいしますか。
 (それぞれ、あてはまる番号1つに○)

活動の状況については、小学5年生全体では「毎日2時間以上」の割合が高い順に「B テレビを見る」(41.9%)、「A ゲーム機で遊ぶ」(15.2%)、「D 室内でのほかの活動」(12.8%)、「E 公園や広場などの外で遊ぶ」(12.5%) となっている。また、「ぜんぜんしない」では「G 兄弟姉妹の世話や祖父母の介護」(59.1%)、「C インターネットを見る」(44.6%) などがあげられる。



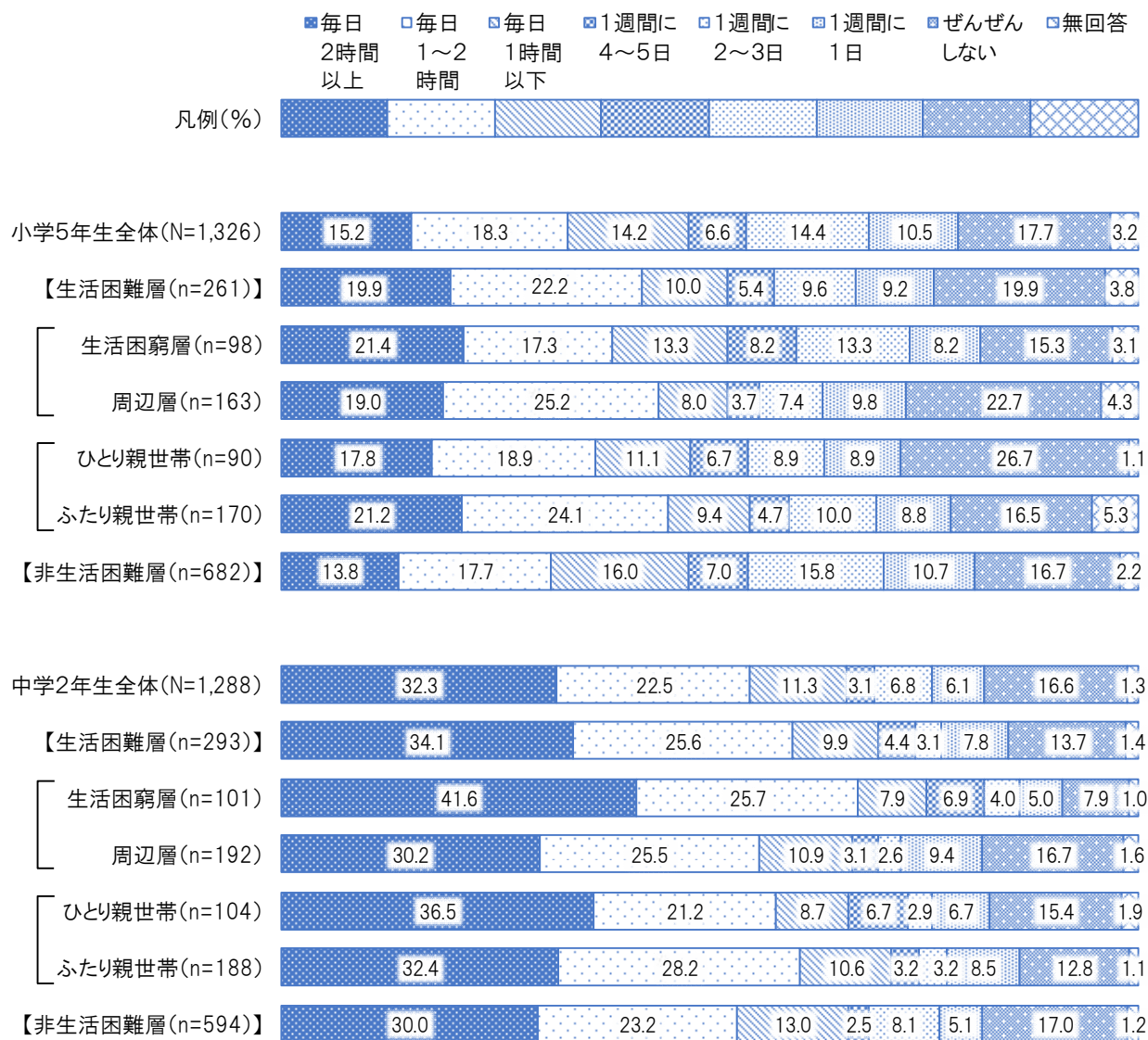
中学2年生全体では、「毎日2時間以上」の割合が高い順に「B テレビを見る」(42.9%)、「A ゲーム機で遊ぶ」(32.3%)、「C インターネットを見る」(26.0%)となっている。また、「ぜんぜんしない」では「G 兄弟姉妹の世話や祖父母の介護」(66.9%)、「E 公園や広場などの外で遊ぶ」(40.2%)などがあげられる。



A ゲーム機で遊ぶ

ゲーム機で遊ぶことについて「毎日2時間以上」の割合は、小学5年生の生活困窮層で21.4%、周辺層で19.0%となっている。中学2年生では、生活困窮層で41.6%、周辺層で30.2%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

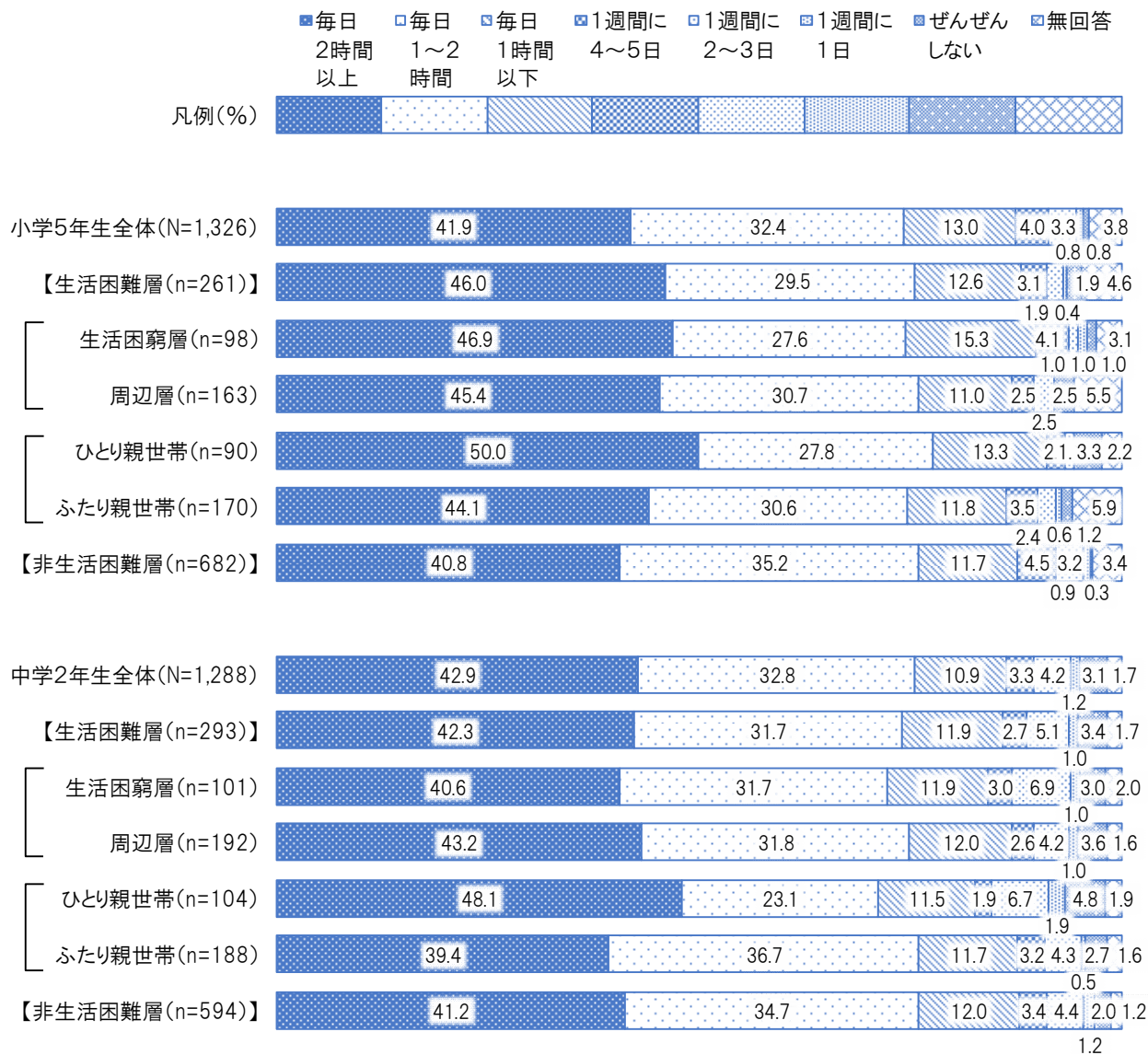
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生のひとり親世帯で「ぜんぜんしない」がふたり親世帯を大きく上回っている。



B テレビを見る

テレビを見ることについて「毎日2時間以上」の割合は、小学5年生の生活困窮層で46.9%、周辺層で45.4%となっており、非生活困難層に比べて高くなっている。中学2年生では、生活困窮層で40.6%、周辺層で43.2%となっている。

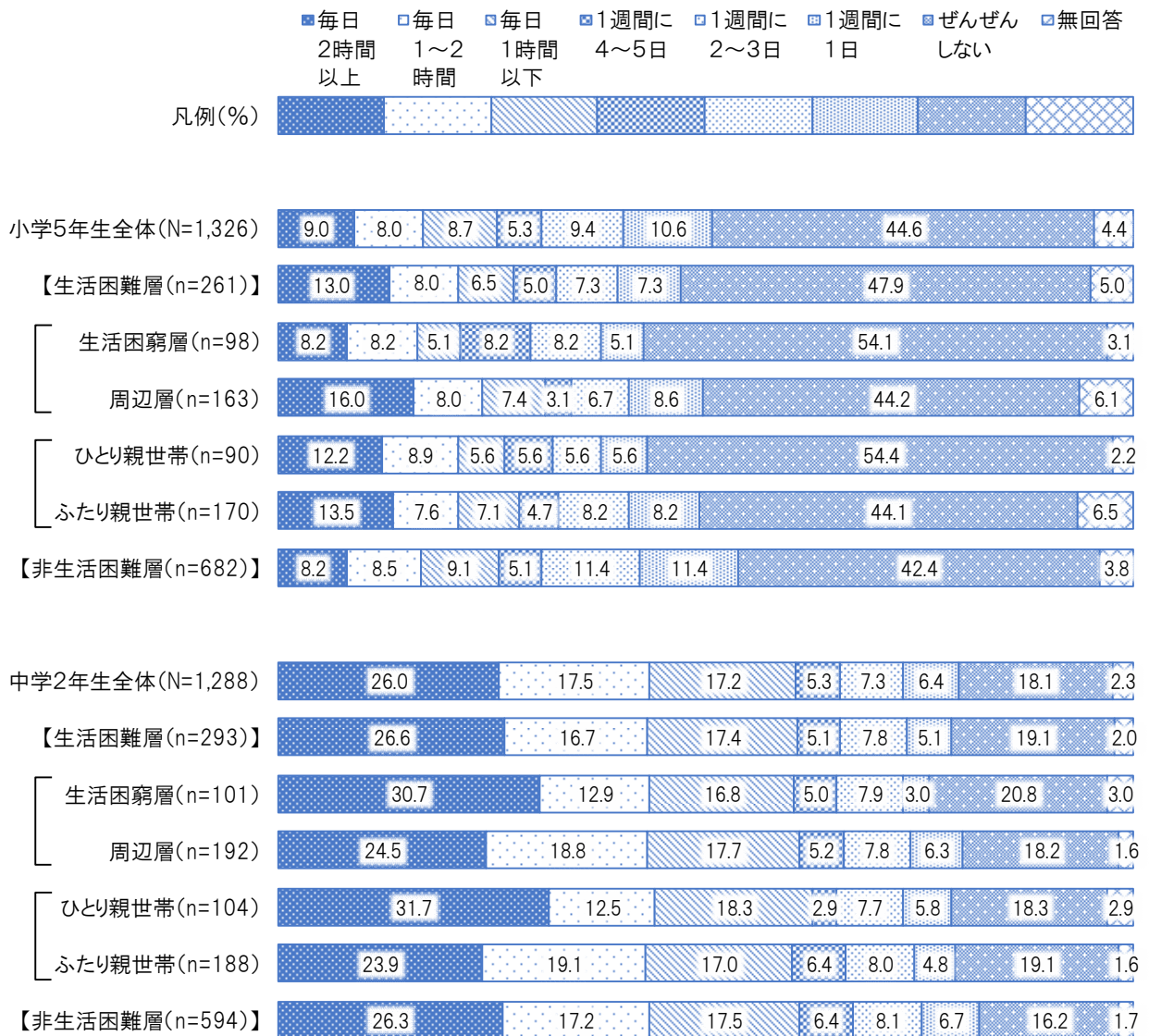
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともにひとり親世帯で「毎日2時間以上」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



C インターネットを見る

インターネットを見ることについて「毎日2時間以上」の割合は、小学5年生の生活困窮層で8.2%、周辺層で16.0%となっており、周辺層で高くなっている。中学2年生では、生活困窮層で30.7%、周辺層で24.5%となっており、生活困窮層で高くなっている。

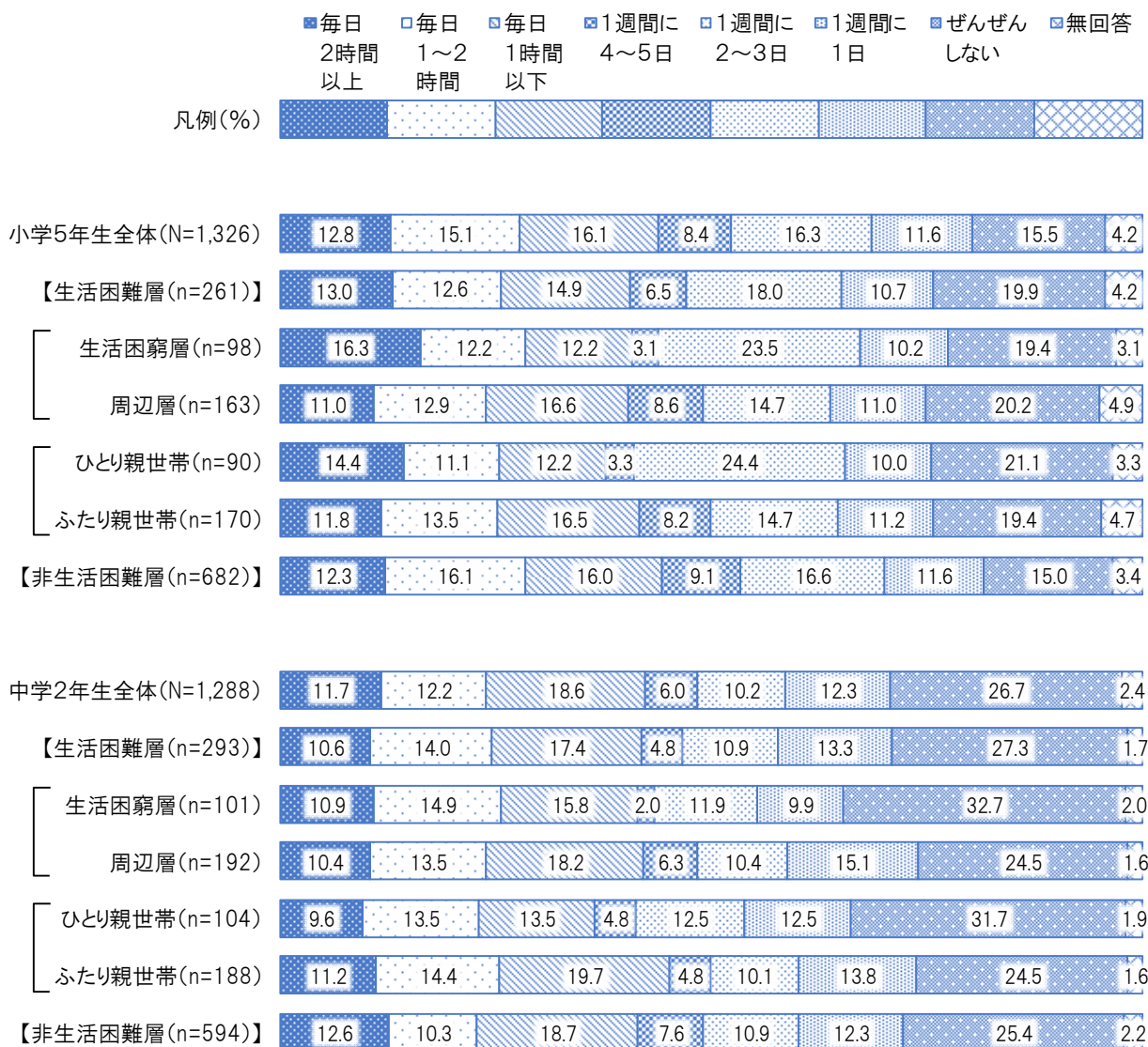
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「毎日2時間以上」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



D 室内でのほかの活動

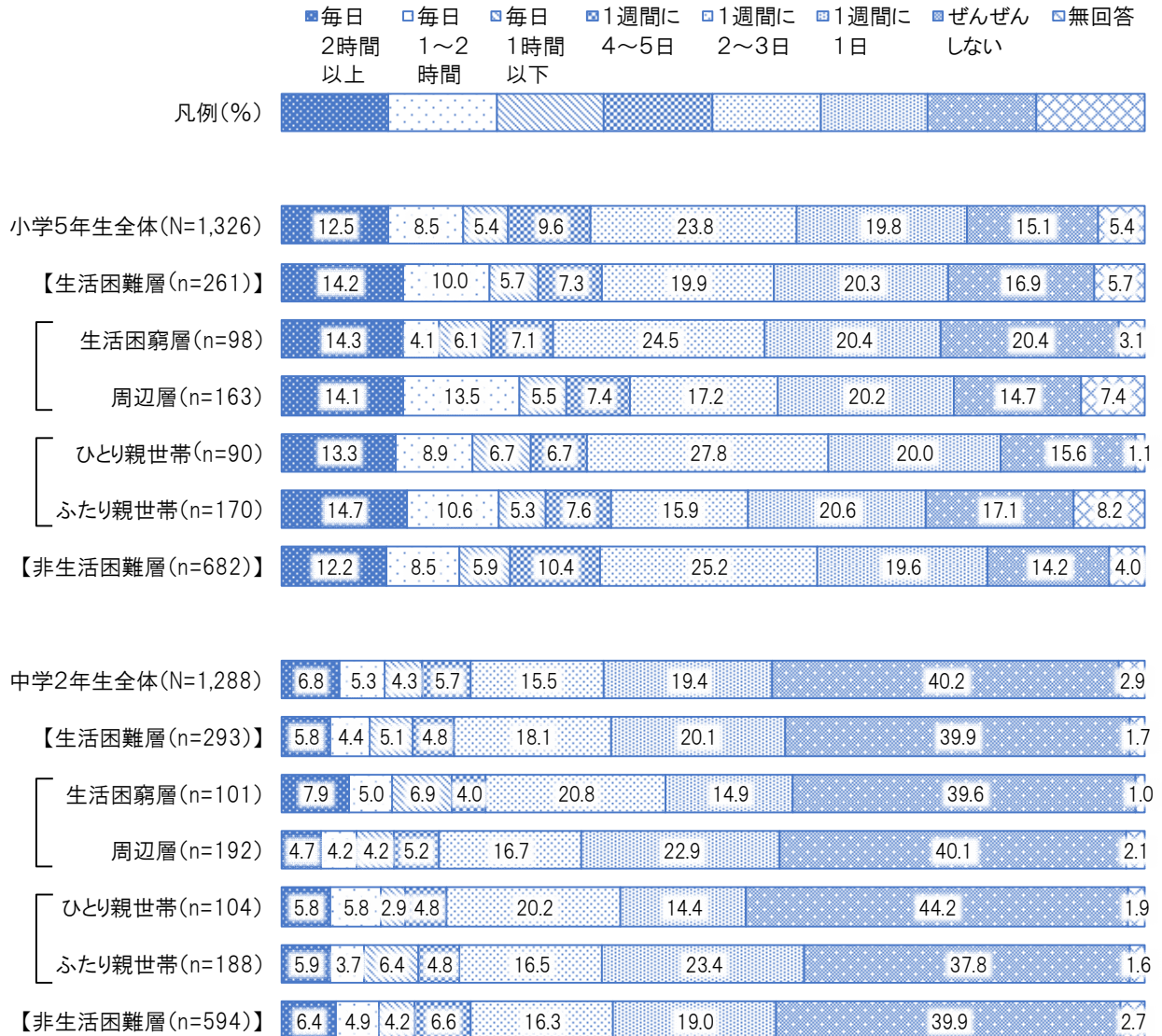
室内でのほかの活動について「毎日2時間以上」の割合は、小学5年生の生活困窮層で16.3%、周辺層で11.0%となっており、生活困窮層で高くなっている。中学2年生では、生活困窮層で10.9%、周辺層で10.4%となっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「ぜんぜんしない」がふたり親世帯を大きく上回っている。



E 公園や広場などの外で遊ぶ

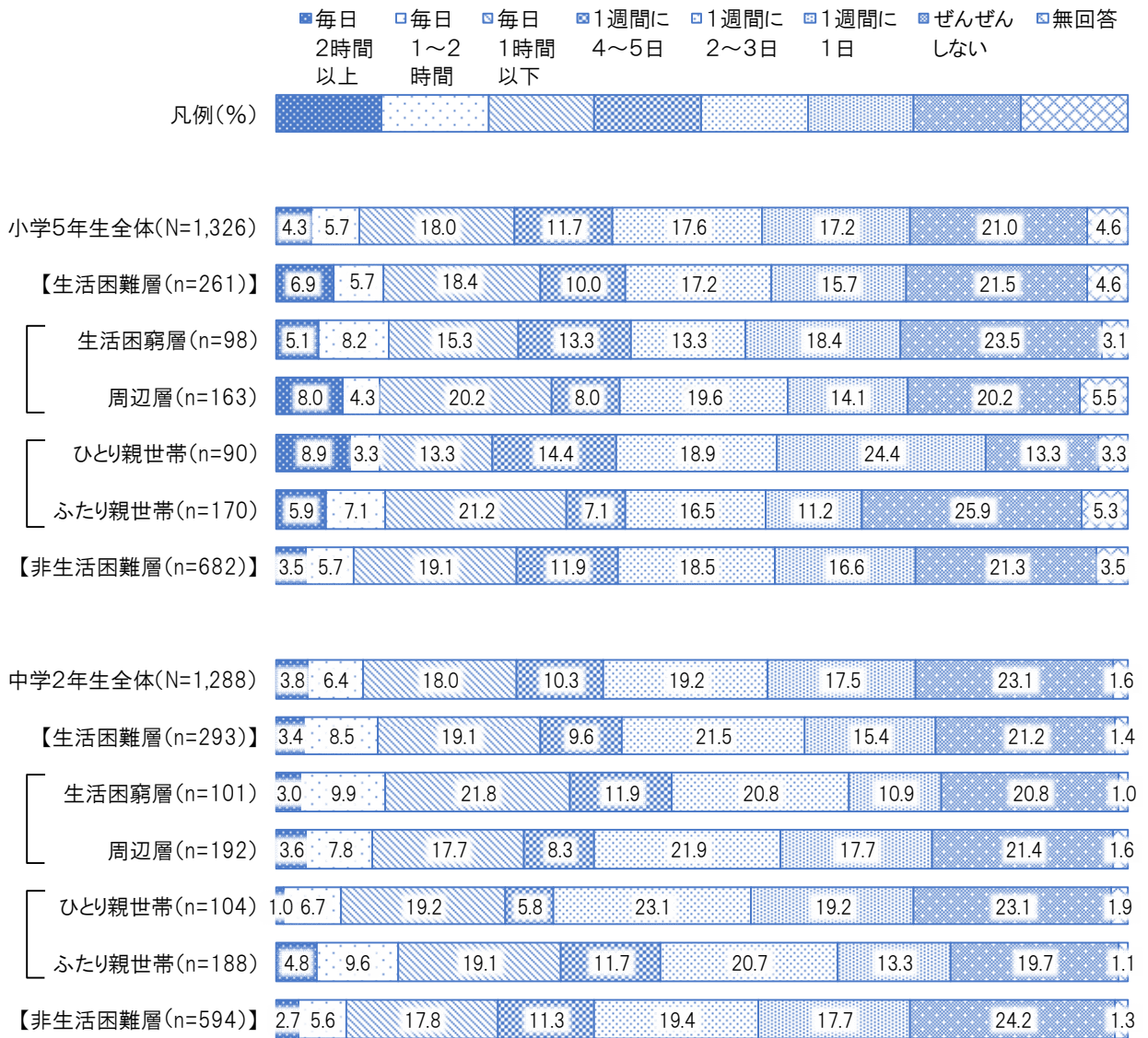
公園や広場などの外で遊ぶことについて「毎日2時間以上」の割合は、小学5年生の生活困窮層で14.3%，周辺層で14.1%となっている。中学2年生では、生活困窮層で7.9%，周辺層で4.7%となっており、生活困窮層でやや高くなっている。



F 家事

家事について「ぜんぜんしない」の割合は、小学5年生の生活困窮層で23.5%、周辺層で20.2%となっている。中学2年生では、生活困窮層で20.8%、周辺層で21.4%となっており、生活困難度による大きな差はみられない。

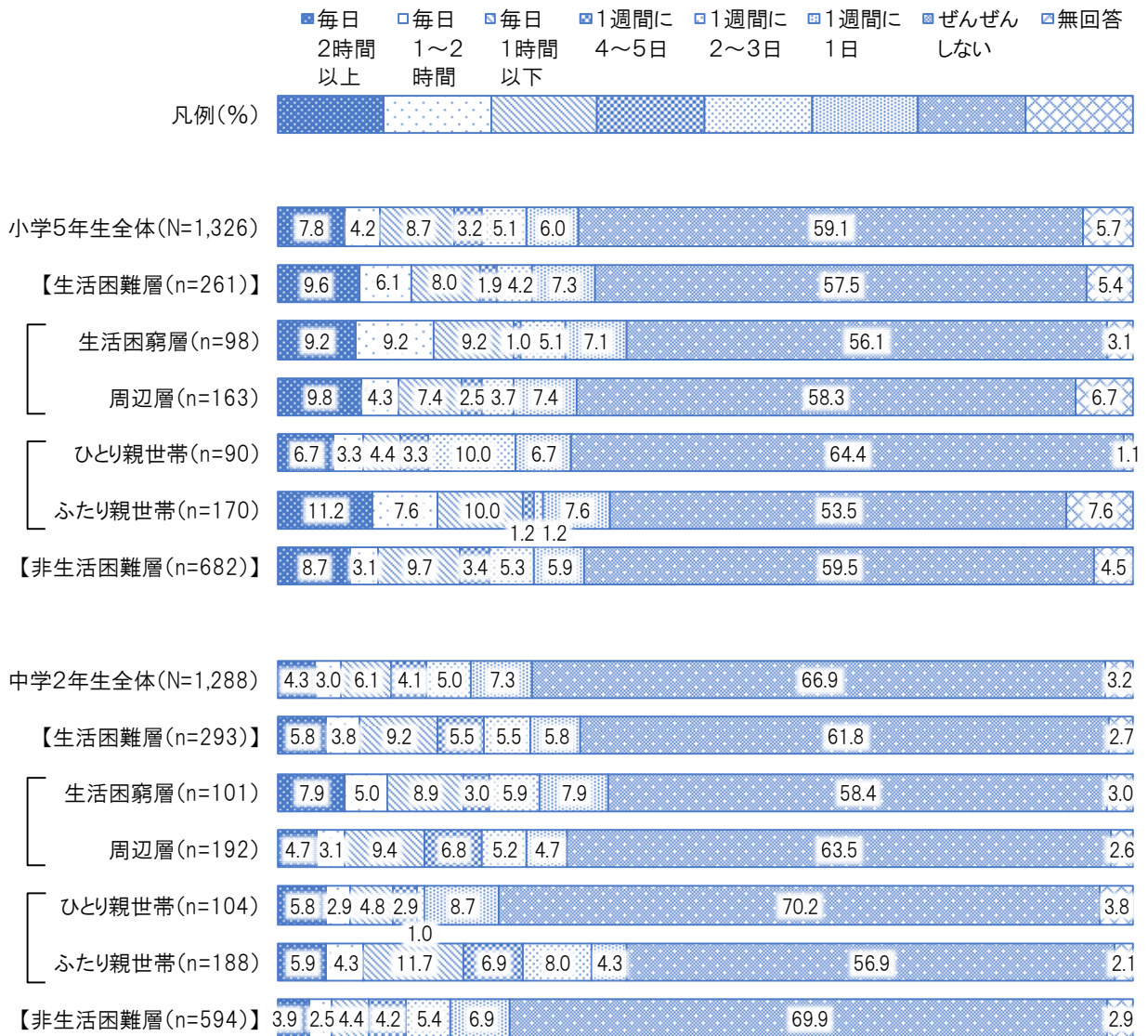
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生のひとり親世帯で「ぜんぜんしない」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



G 兄弟姉妹の世話や祖父母の介護

兄弟姉妹の世話や祖父母の介護について「毎日2時間以上」の割合は、小学5年生の生活困窮層で9.2%，周辺層で9.8%となっている。中学2年生では、生活困窮層で7.9%，周辺層で4.7%となっており、生活困窮層でやや高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生のふたり親世帯で「毎日2時間以上」の割合がひとり親世帯に比べてやや高くなっている。



(2) 運動の状況

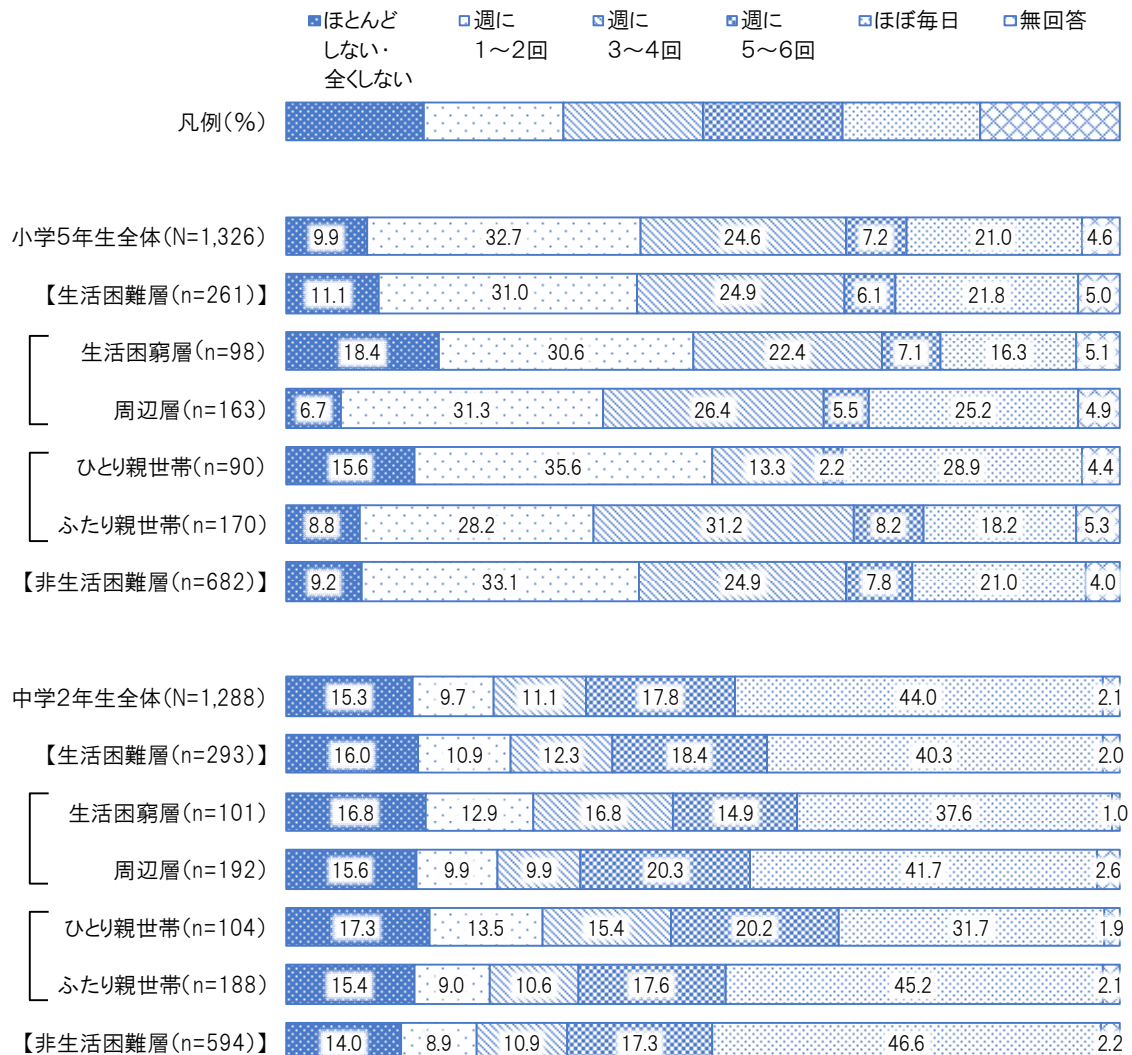
子／問 15 あなたは、30分以上からだを動かす遊びや習いごとを、1週間でどれくらいしますか。(あてはまる番号1つに○)

※例：ボール遊び、自転車、サッカー、野球、空手、剣道、体操、バレエ、水泳など。部活動を含みます。

運動の状況については、「ほぼ毎日」が小学5年生全体で21.0%、中学2年生全体で44.0%となっており、「ほとんどしない・全くしない」は小学5年生全体で9.9%、中学2年生全体で15.3%となっている。

生活困難度別にみると、小学5年生の生活困窮層で「ほとんどしない・全くしない」の割合が周辺層を大きく上回っている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「ほぼ毎日」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



(3) 読書の状況

子／問 16 あなたは、この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか。

(あてはまる番号1つに○)

※自宅以外で読んだ本も数えてください。

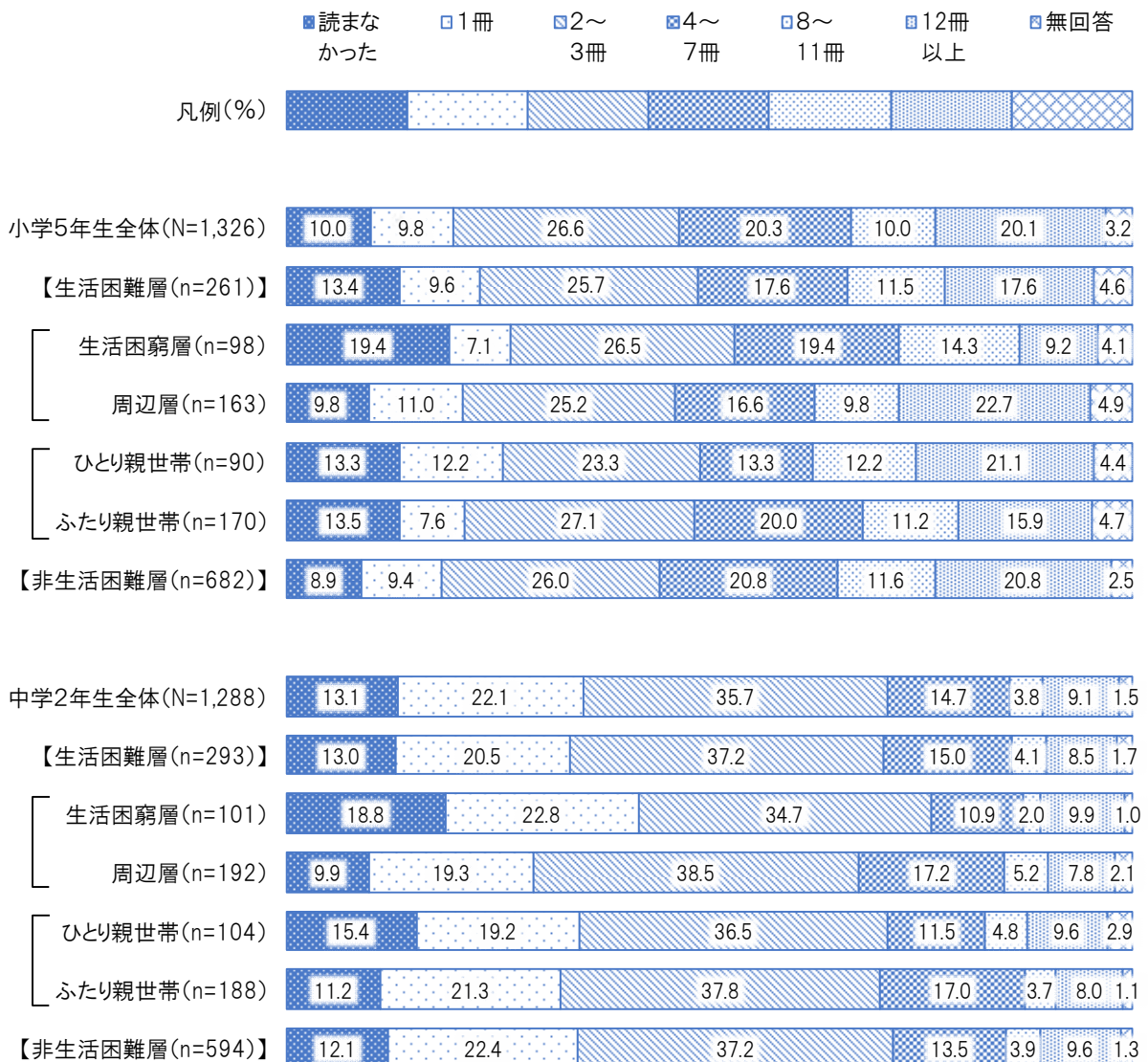
※パソコンやタブレット、スマートフォンなどで読める本(電子書籍)も数えてください。

※雑誌やマンガは、内容に関わらず、数に含めないでください。

読書の状況については、小学5年生全体では「2～3冊」が26.6%と最も高く、次いで「4～7冊」(20.3%)、「12冊以上」(20.1%)となっており、「読まなかった」は10.0%であった。中学2年生全体では「2～3冊」が35.7%と最も高く、次いで「1冊」(22.1%)となっており、「読まなかった」は13.1%であった。

生活困難度別にみた「読まなかった」の割合は、小学5年生の生活困窮層で19.4%、中学2年生で18.8%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

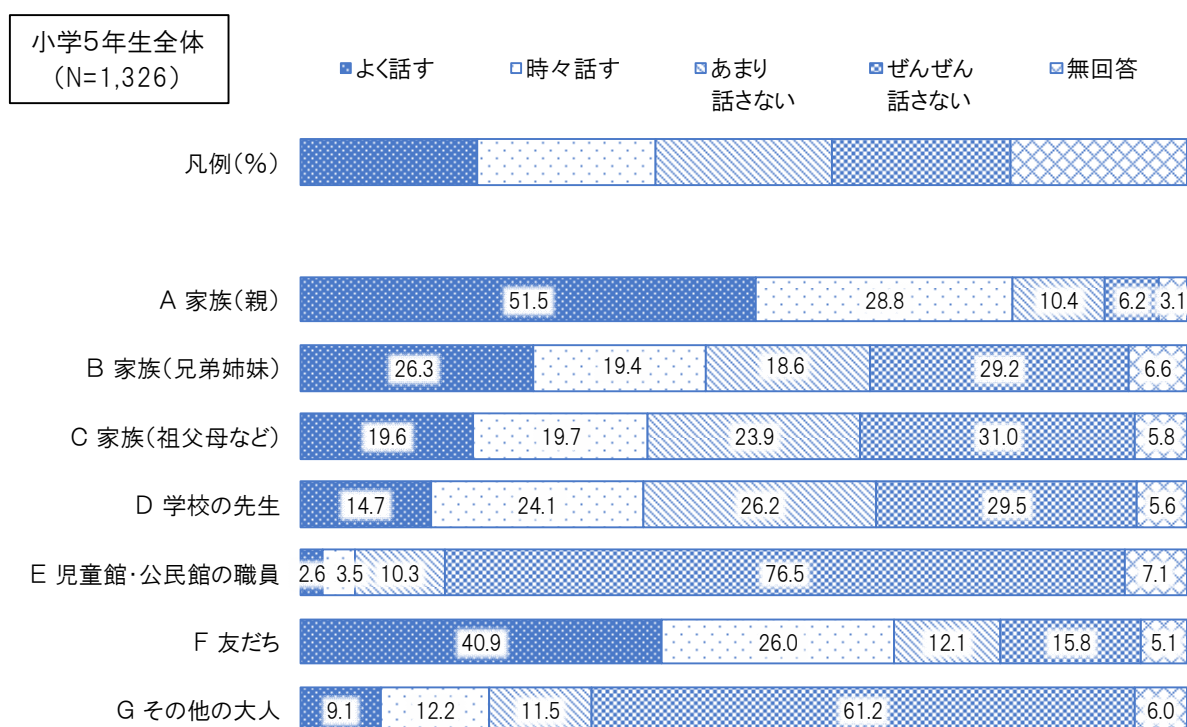
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「読まなかった」の割合がふたり親世帯に比べてやや高くなっている。



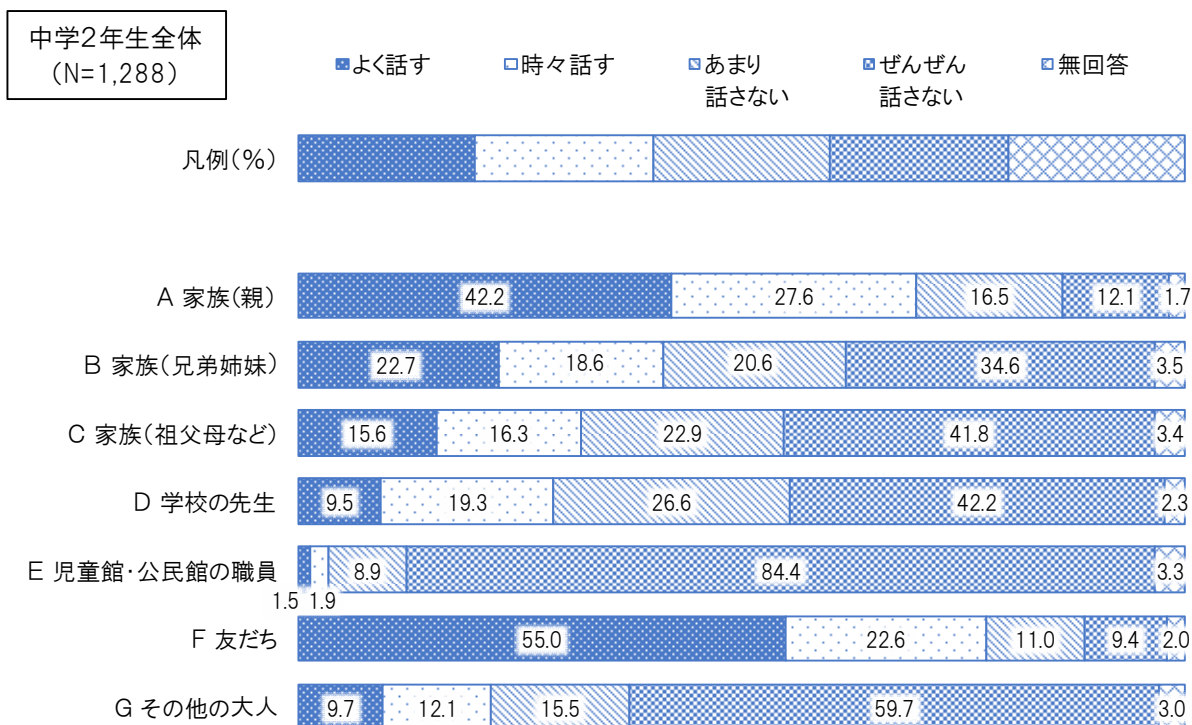
(4) 会話の状況

子／問 17 あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことを、他の人にどれくらい話しますか。「1 よく話す」から「4 ぜんぜん話さない」のうち、もっとも近いものに○をつけてください。電話、メール、LINE なども含めて考えてください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

会話の状況について、小学5年生全体では「よく話す」割合が高い順に「A 家族（親）」（51.5%）、「F 友だち」（40.9%）、「B 家族（兄弟姉妹）」（26.3%）となっている。また、「ぜんぜん話さない」では「E 児童館・公民館の職員」（76.5%）、「G その他の大人」（61.2%）などがあげられる。



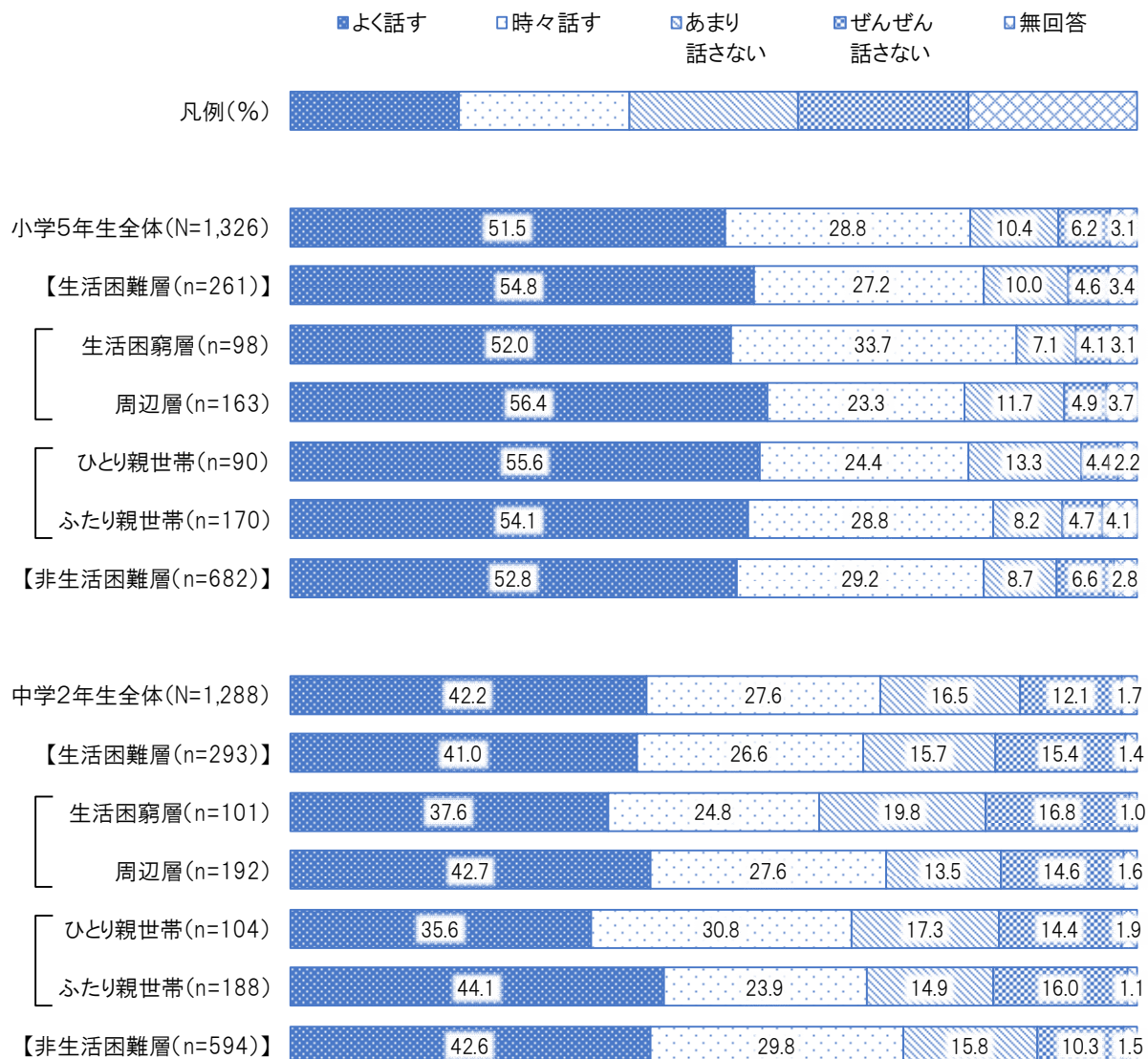
中学2年生全体では「よく話す」割合が高い順に「F 友だち」(55.0%), 「A 家族(親)」(42.2%), 「B 家族(兄弟姉妹)」(22.7%) となっている。また, 「ぜんぜん話さない」では「E 児童館・公民館の職員」(84.4%), 「G その他の大人」(59.7%) などがあげられる。



A 家族（親）

家族（親）について「よく話す」の割合は、小学5年生の生活困窮層で52.0%、周辺層で56.4%となっている。中学2年生では、生活困窮層で37.6%、周辺層で42.7%となっており、生活困窮層で低くなっている。

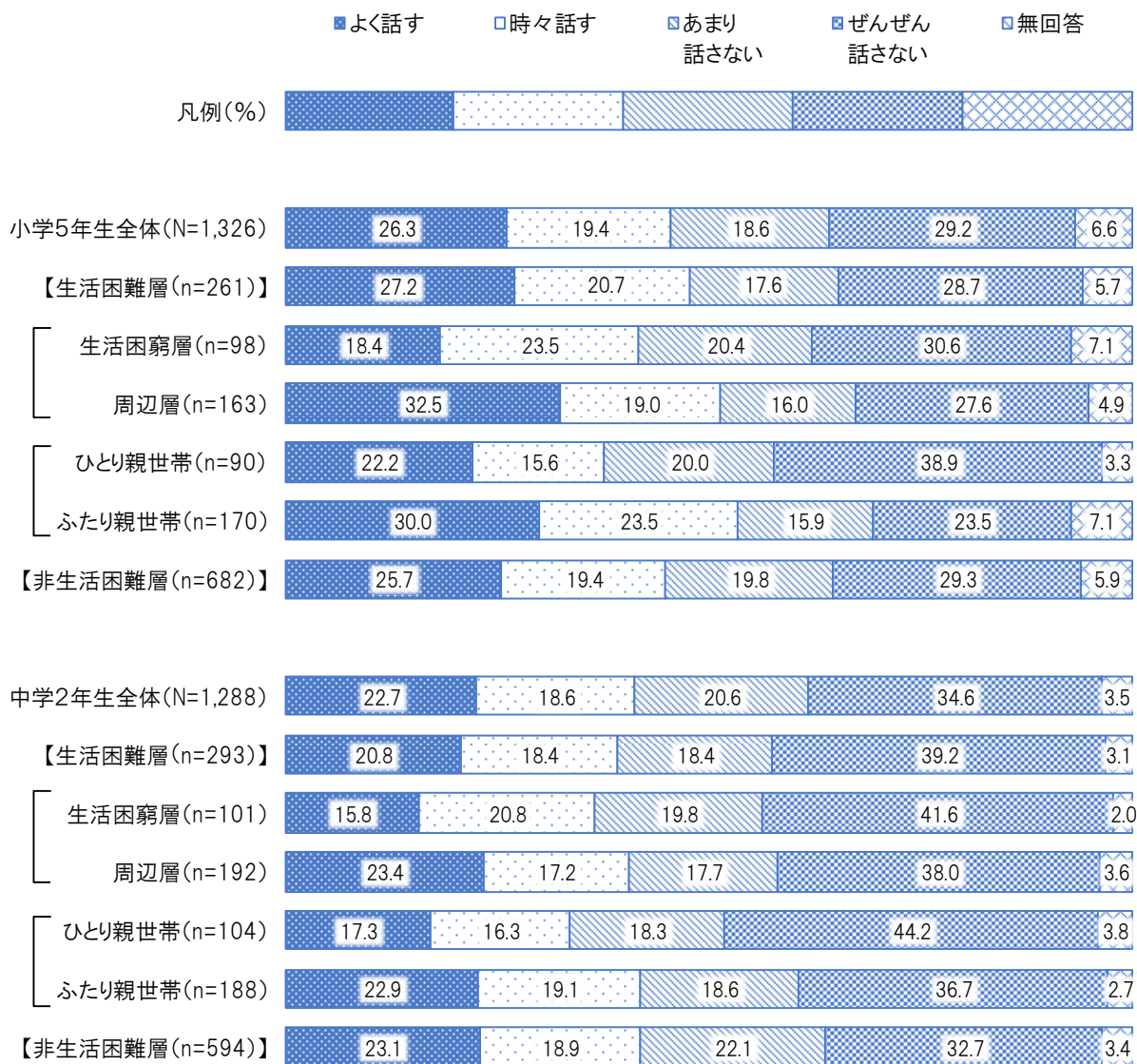
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「よく話す」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



B 家族（兄弟姉妹）

家族（兄弟姉妹）について「よく話す」の割合は、小学5年生の生活困窮層で18.4%、周辺層で32.5%となっている。中学2年生では、生活困窮層で15.8%、周辺層で23.4%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

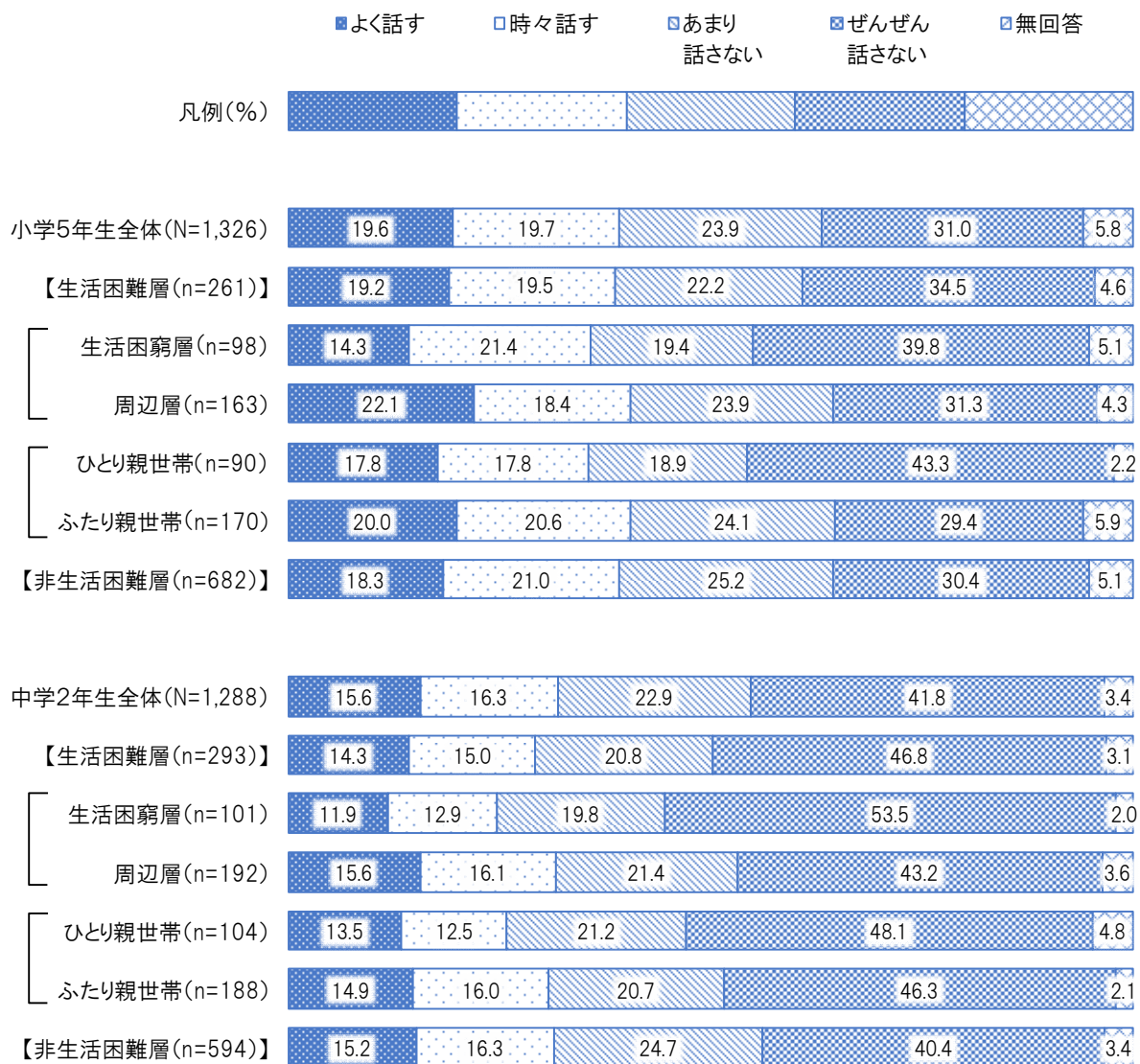
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともにひとり親世帯で「よく話す」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



C 家族（祖父母など）

家族（祖父母など）について「よく話す」の割合は、小学5年生の生活困窮層で14.3%、周辺層で22.1%となっている。中学2年生では、生活困窮層で11.9%、周辺層で15.6%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

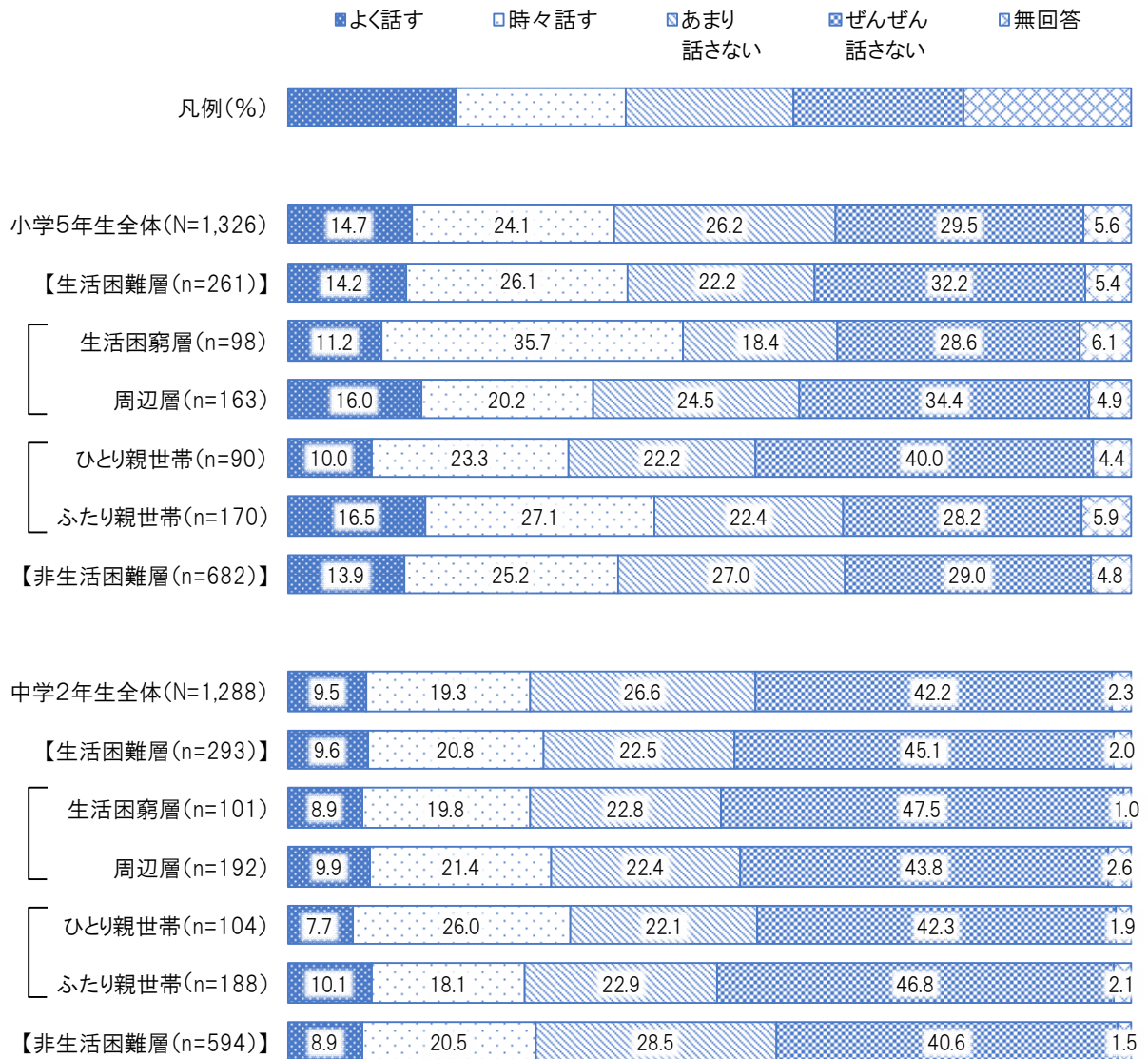
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともにひとり親世帯で「ぜんぜん話さない」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



D 学校の先生

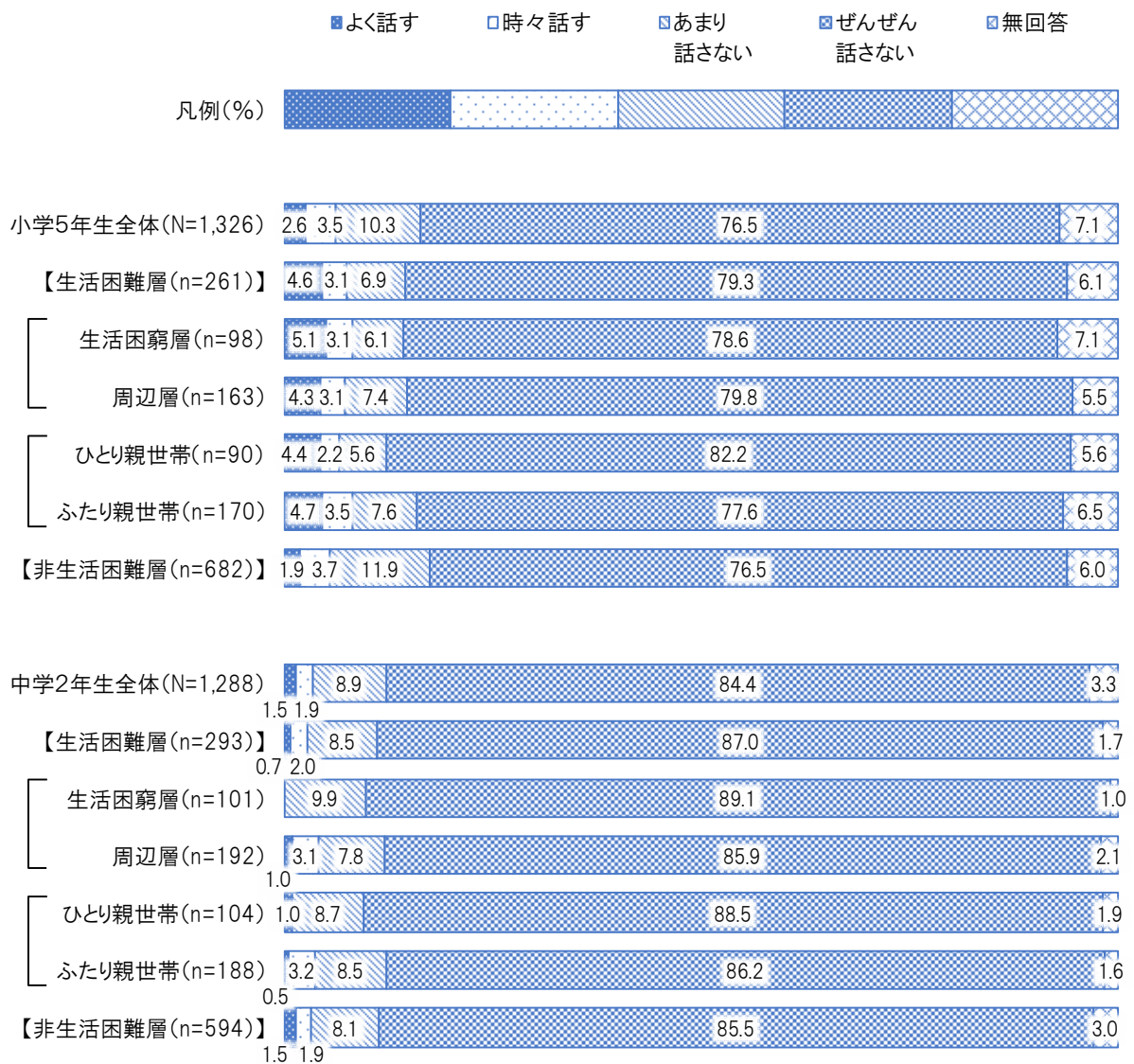
学校の先生について「よく話す」の割合は、小学5年生の生活困窮層で11.2%、周辺層で16.0%となっており、中学2年生の生活困窮層で8.9%、周辺層で9.9%となっている。また、小学5年生の生活困窮層で「時々話す」の割合が他の層を大きく上回っている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生のひとり親世帯で「よく話す」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



E 児童館・公民館の職員

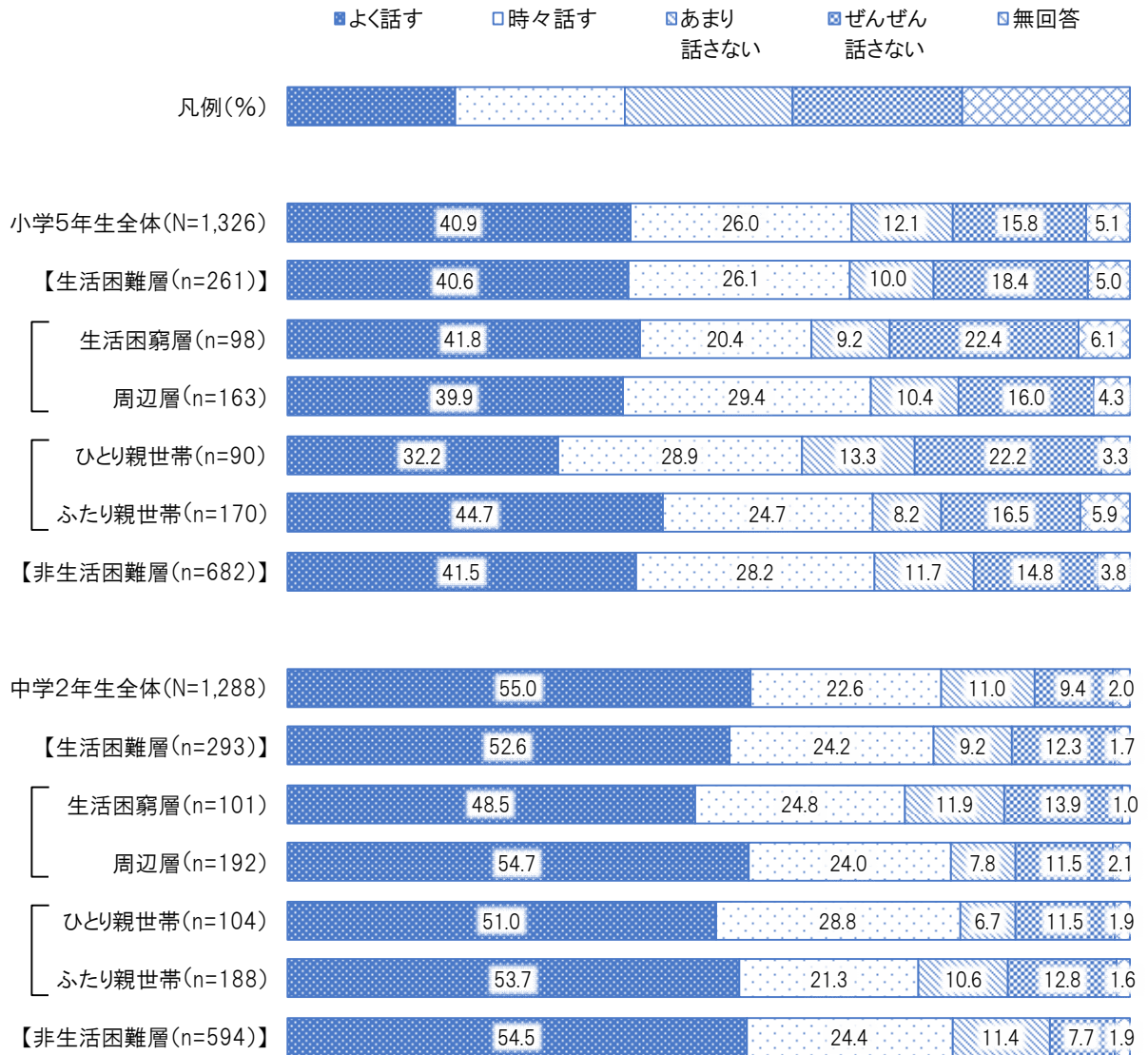
児童館・公民館の職員について「ぜんぜん話さない」の割合は、小学5年生の生活困窮層で78.6%、周辺層で79.8%となっている。中学2年生では、生活困窮層で89.1%、周辺層で85.9%となっており、生活困難度による大きな差はみられない。



F 友だち

友だちについて「よく話す」の割合は、小学5年生の生活困窮層で41.8%、周辺層で39.9%となっている。中学2年生では、生活困窮層で48.5%、周辺層で54.7%となっており、生活困窮層で低くなっている。

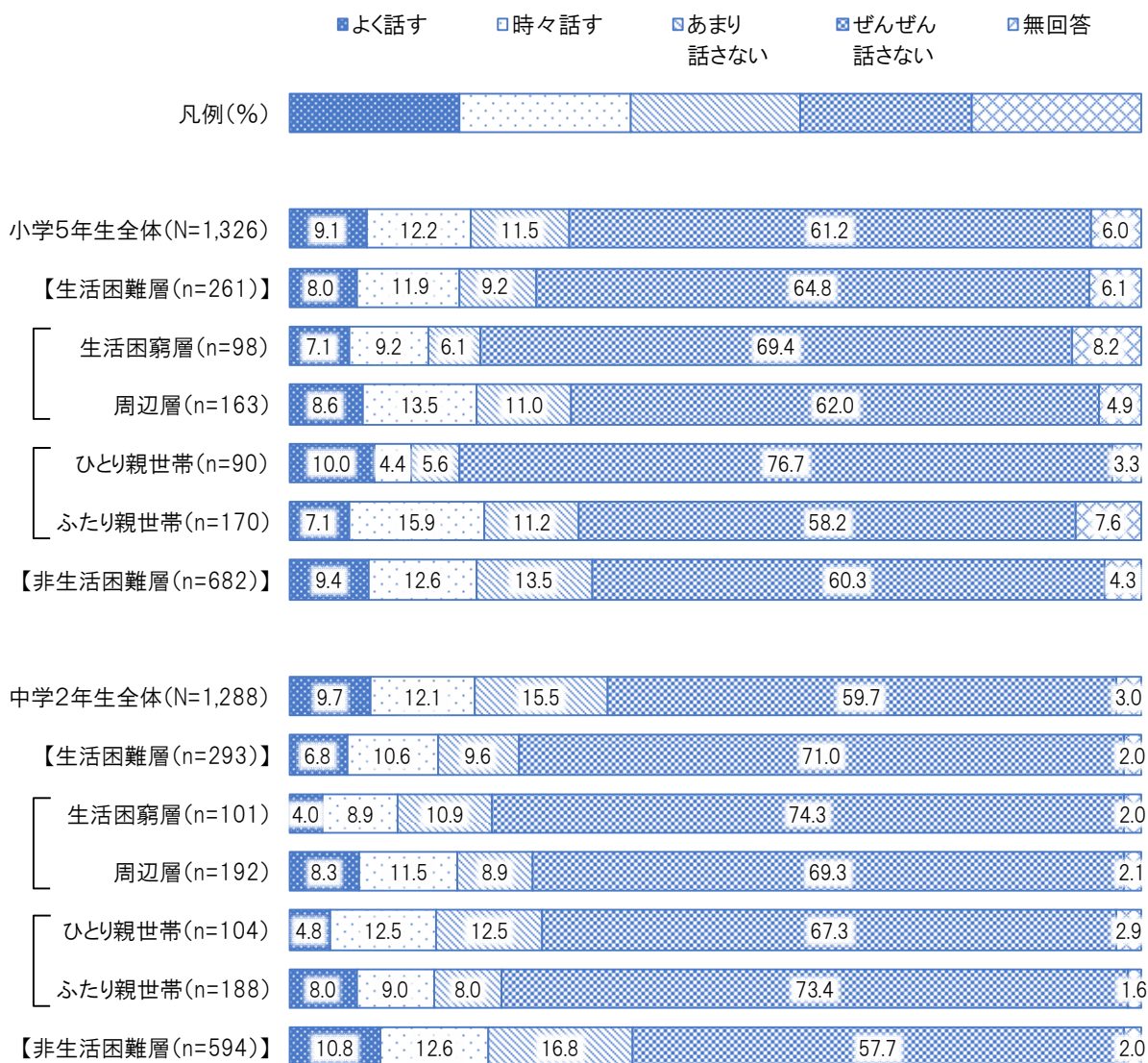
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生のひとり親世帯で「よく話す」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



G その他の大人

その他の大人について「よく話す」の割合は、小学5年生の生活困窮層で7.1%、周辺層で8.6%となっている。中学2年生では、生活困窮層で4.0%、周辺層で8.3%となっており、生活困窮層で低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「よく話す」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。

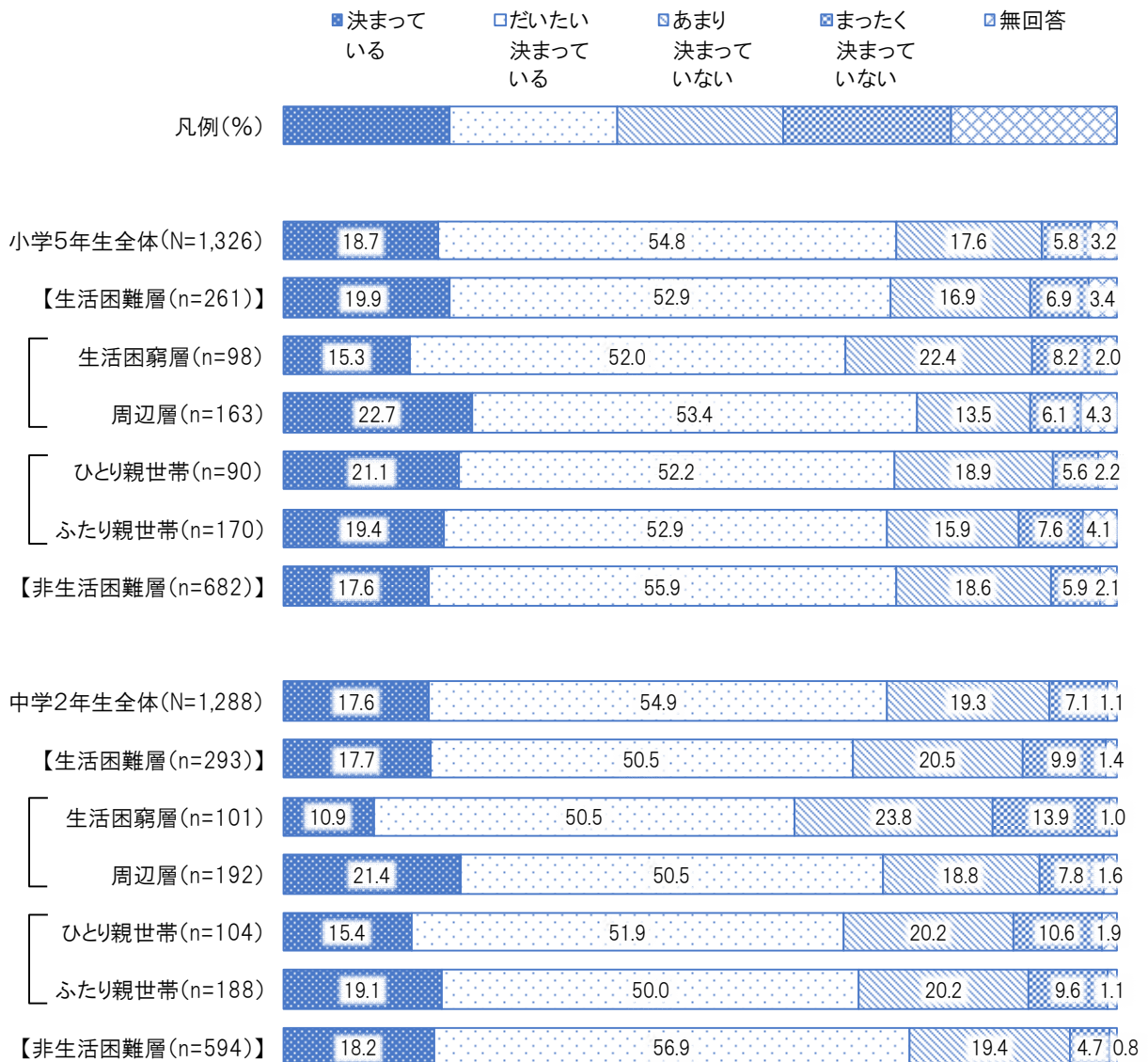


(5) 就寝時刻

子／問 18 あなたは毎日、夜、寝る時刻が決まっていますか。
(あてはまる番号1つに○)

就寝時刻については、小学5年生全体では「決まっている」の割合が18.7%、中学2年生全体では17.6%となっている。一方、「あまり決まっていない」「まったく決まっていない」の合計は、小学5年生全体では23.4%、中学2年生全体では26.4%となっている。

生活困難度別にみた『決まっていない(合計)』の割合は、小学5年生の生活困窮層で30.6%、中学2年生で37.7%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

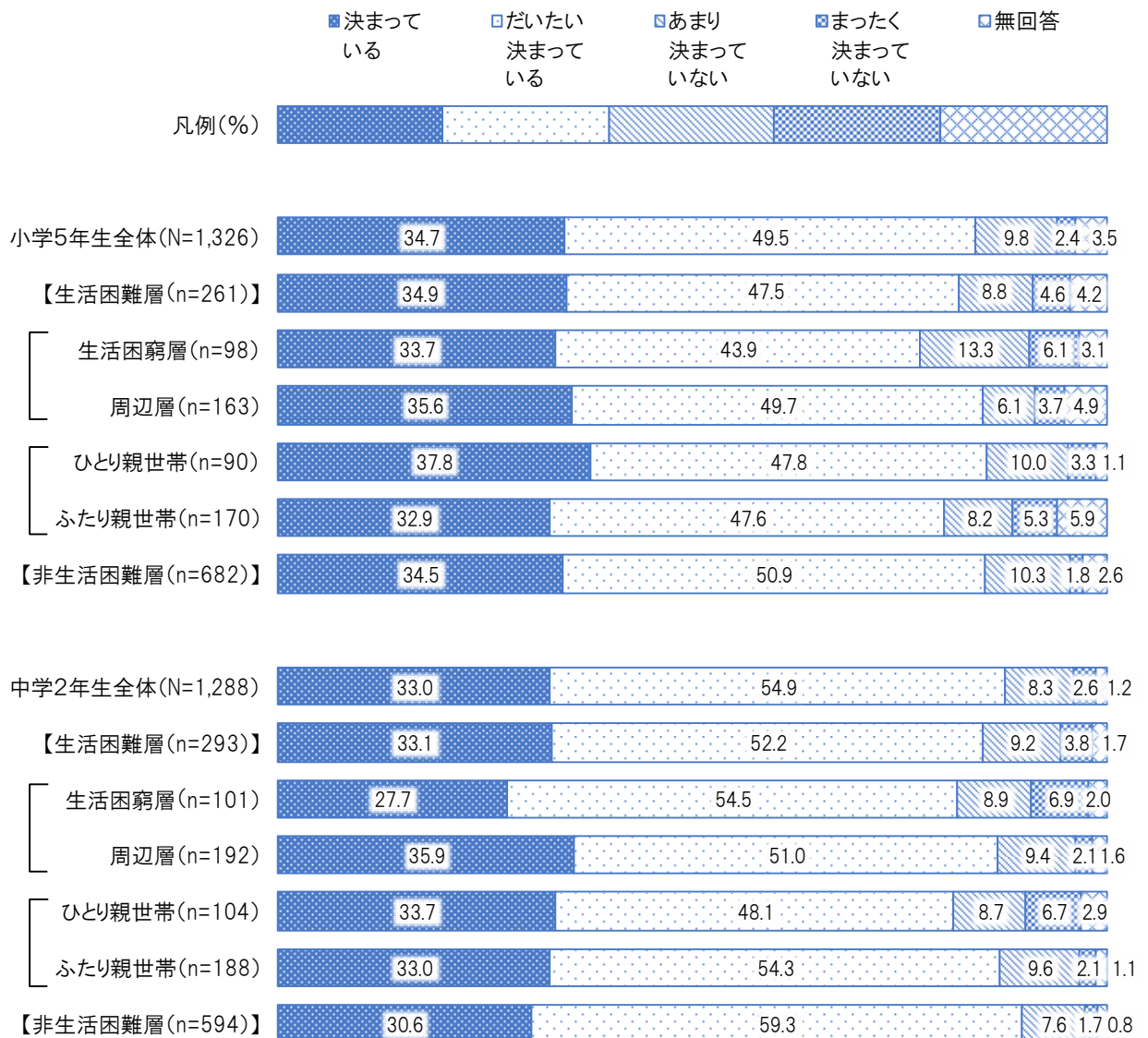


(6) 起床時刻

子／問 19 あなたは毎日、朝、起きる時刻が決まっていますか。
(あてはまる番号1つに○)

起床時刻については、小学5年生全体では「決まっている」の割合が34.7%、中学2年生全体では33.0%となっている。一方、「あまり決まっていない」「まったく決まっていない」の合計は、小学5年生全体では12.2%、中学2年生全体では10.9%となっている。

生活困難度別にみた『決まっていない(合計)』の割合は、小学5年生の生活困窮層で19.4%、中学2年生で15.8%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。



(7) 歯磨き・入浴の頻度

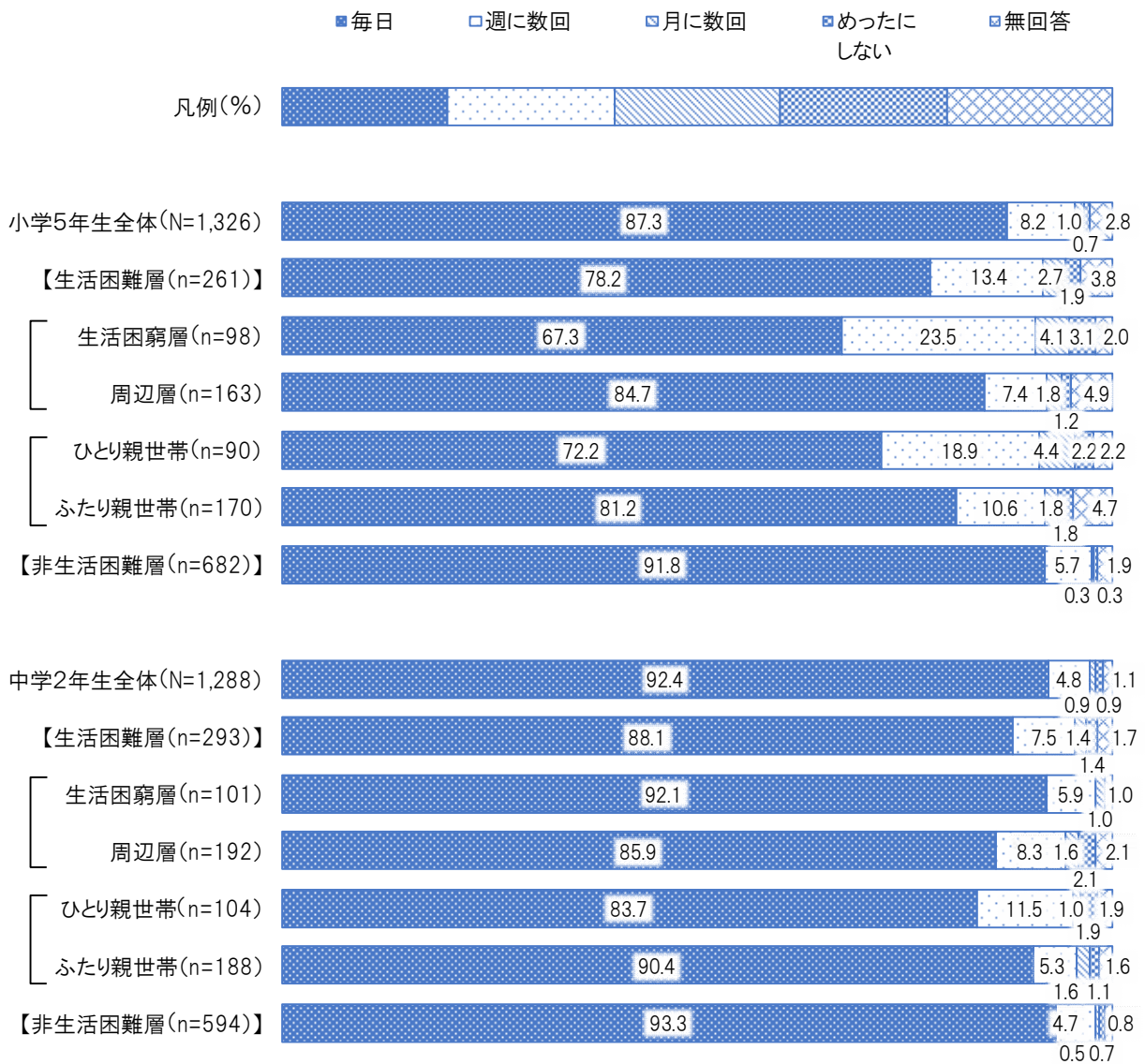
子／問 20 あなたは、歯磨きや入浴（風呂，シャワー）をしますか。
（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

A 歯磨き

歯磨きについて、小学5年生全体では「毎日」の割合が87.3%，中学2年生全体では92.4%となっている。

生活困難度別にみた「毎日」の割合は、小学5年生の生活困窮層で67.3%，中学2年生で92.1%となっており、小学5年生の生活困窮層で低くなっている。

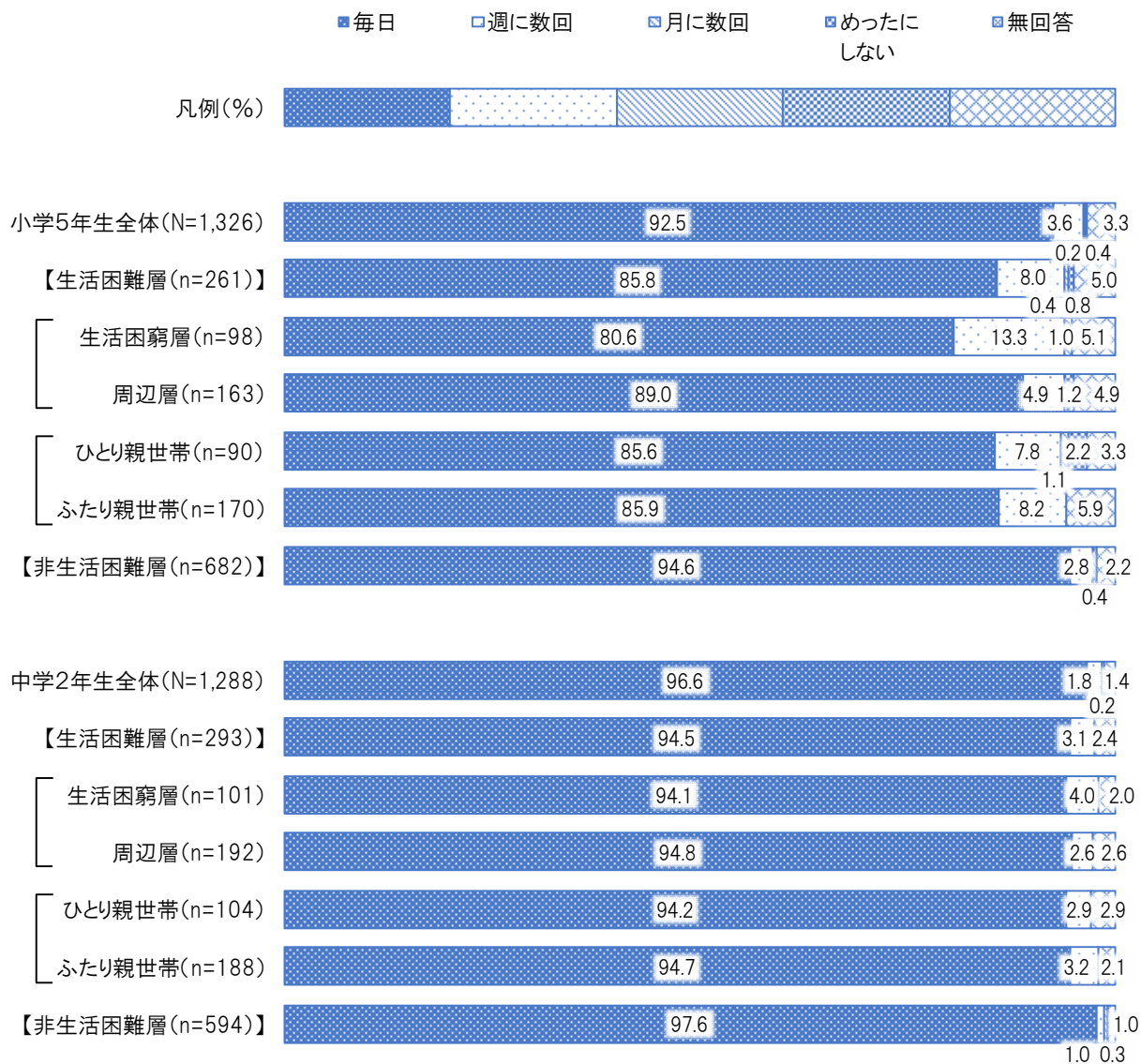
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともにひとり親世帯で「毎日」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



B 入浴

入浴について、小学5年生全体では「毎日」の割合が92.5%、中学2年生全体では96.6%となっている。

生活困難度別にみた「毎日」の割合は、小学5年生の生活困窮層で80.6%、中学2年生で94.1%となっており、小学5年生の生活困窮層で低くなっている。

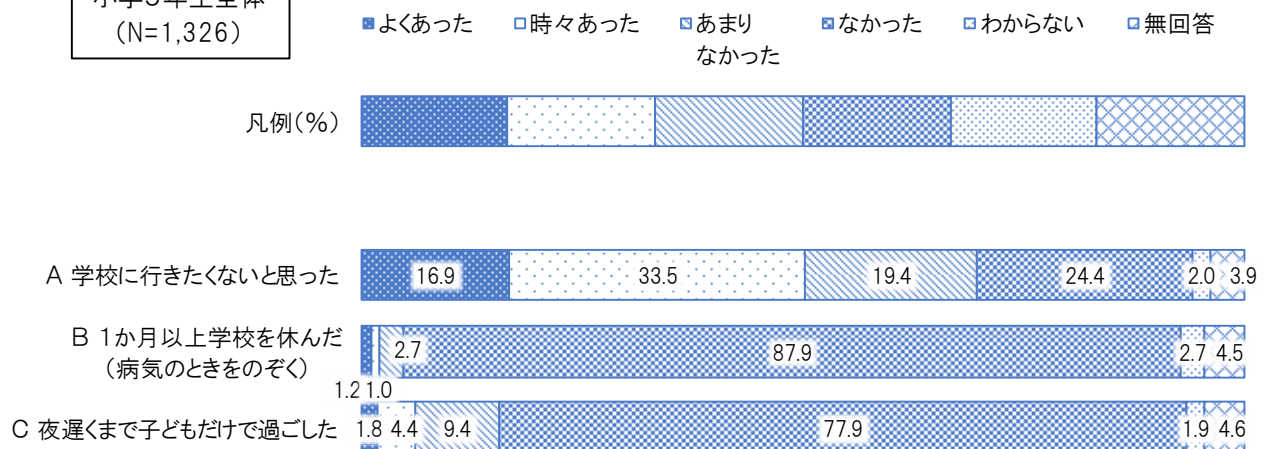


【6】各種経験状況

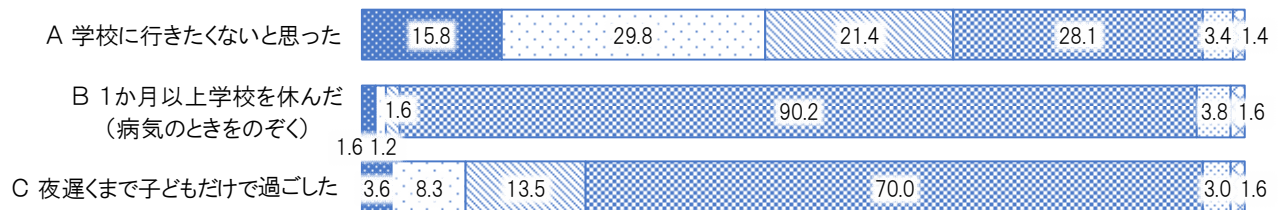
子／問 39 あなたは、これまでに次のようなことがありましたか。
 (それぞれ、あてはまる番号1つに○)

各種経験状況について「よくあった」の割合は、「A 学校に行きたくないと思った」では小学5年生全体で 16.9%，中学2年生全体で 15.8%となっている。「B 1か月以上学校を休んだ（病気のときをのぞく）」では小学5年生全体で 1.2%，中学2年生全体で 1.6%，「C 夜遅くまで子どもだけで過ごした」では小学5年生全体で 1.8%，中学2年生全体で 3.6%となっている。

小学5年生全体
(N=1,326)



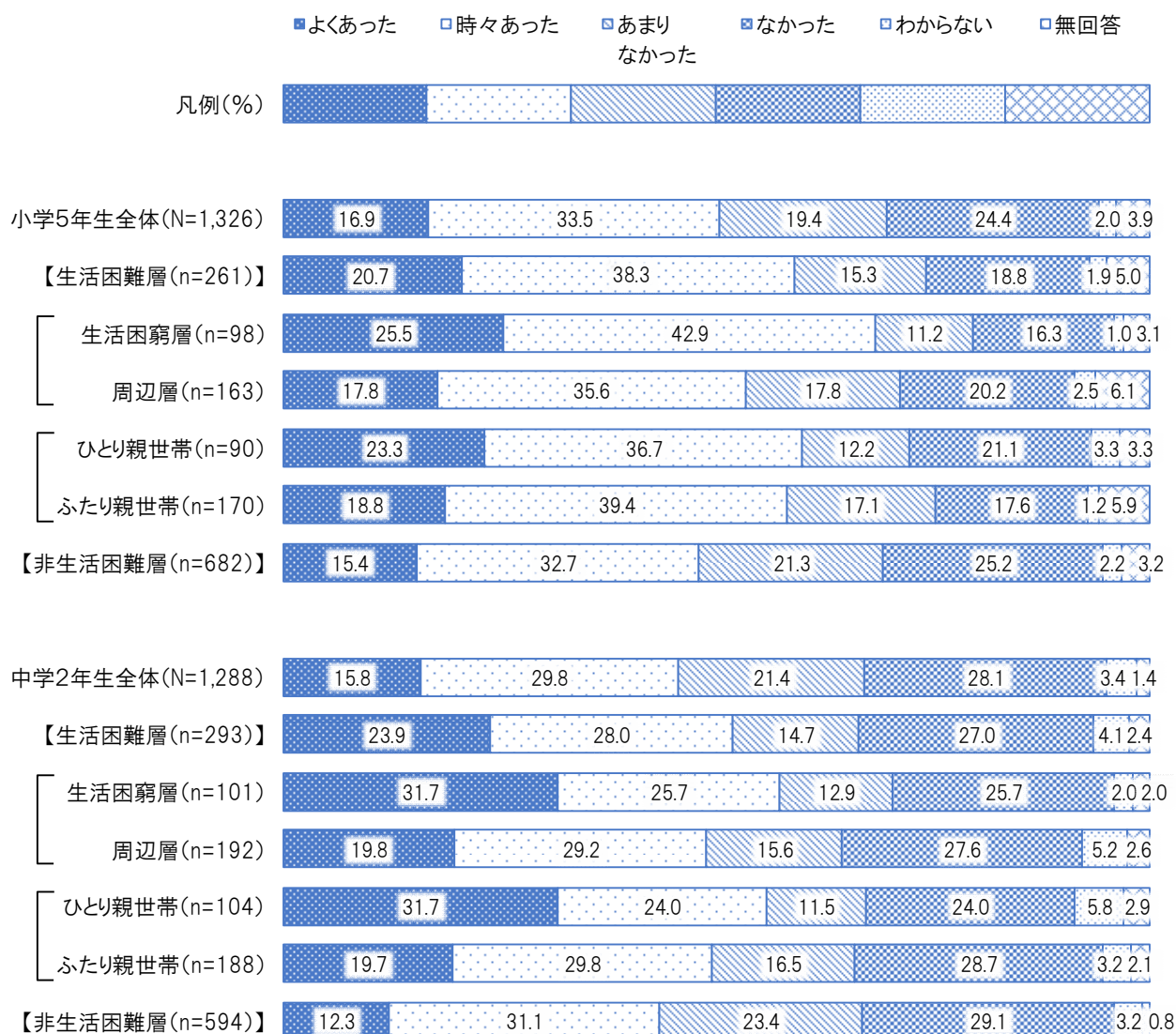
中学2年生全体
(N=1,288)



A 学校に行きたくないと思った

学校に行きたくないと思ったことについて「よくあった」の割合は、小学5年生の生活困窮層で25.5%、中学2年生の生活困窮層で31.7%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

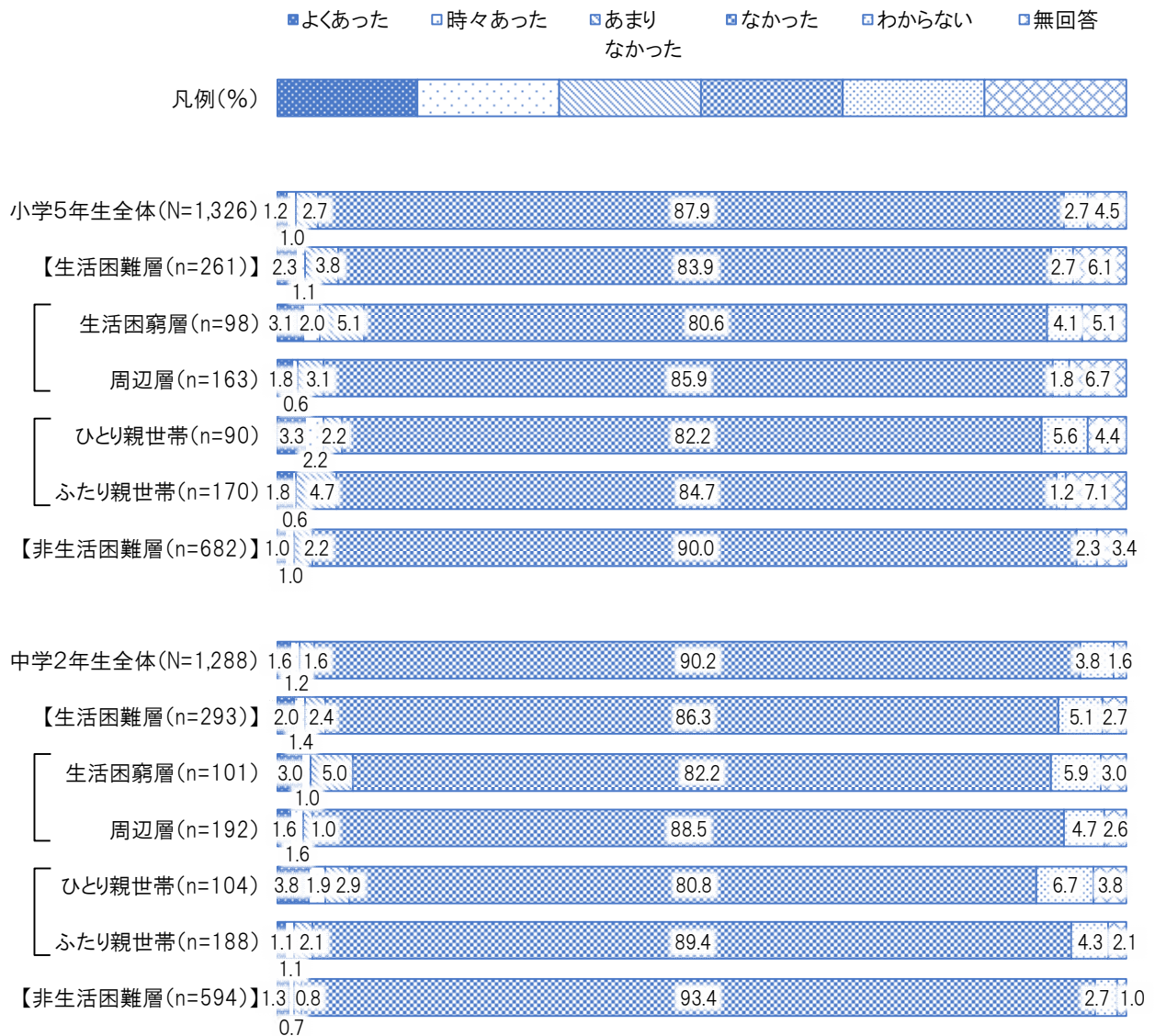
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともにひとり親世帯で「よくあった」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



B 1か月以上学校を休んだ（病気のときをのぞく）

1か月以上学校を休んだことについて「よくあった」の割合は、小学5年生の生活困窮層で3.1%、中学2年生の生活困窮層で3.0%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

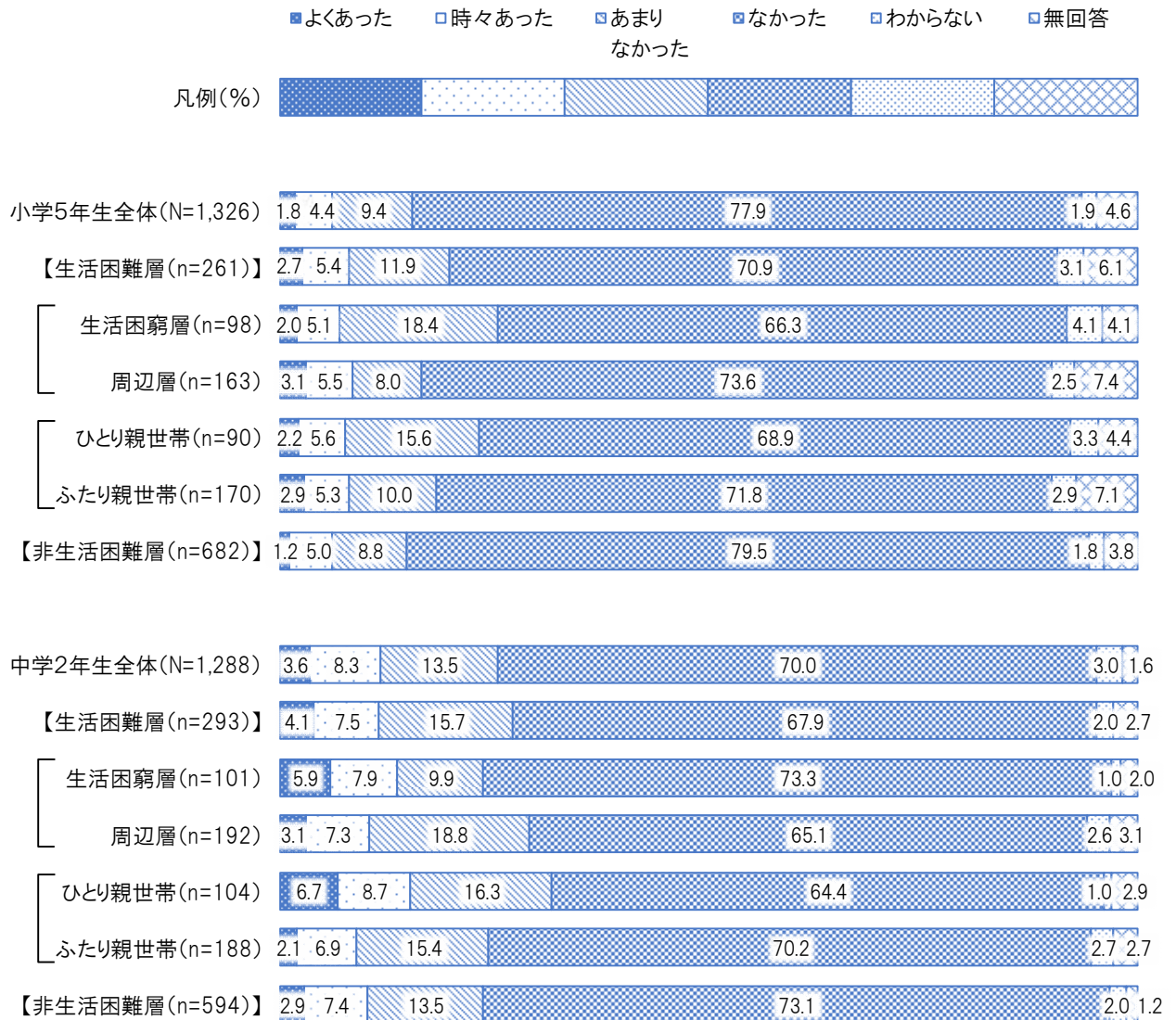
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともにひとり親世帯で「よくあった」の割合がふたり親世帯に比べてやや高くなっている。



C 夜遅くまで子どもだけで過ごした

夜遅くまで子どもだけで過ごしたことについて「よくあった」の割合は、小学5年生の生活困窮層で 2.0%，中学2年生の生活困窮層で 5.9%となっており、中学2年生の生活困窮層で高くなっている。

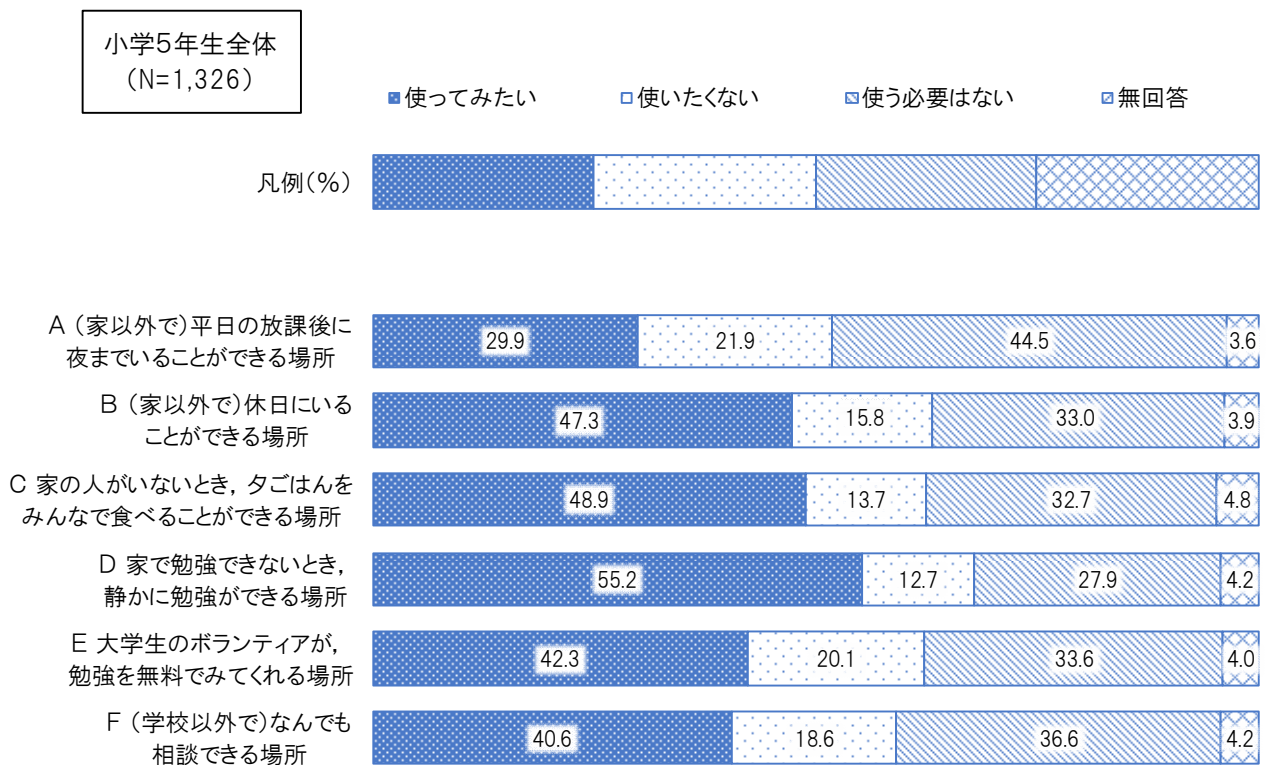
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「よくあった」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



【7】居場所関連等の支援プログラムの利用意向

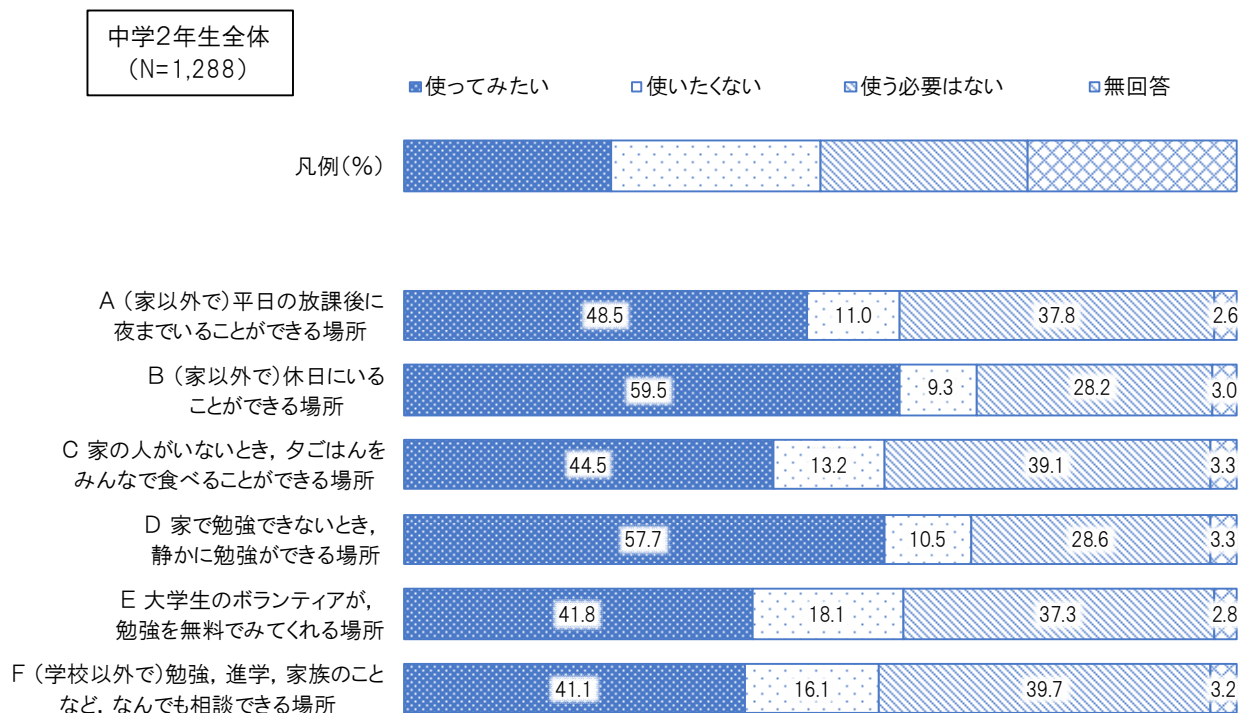
子／問 41 あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか。
(それぞれ、あてはまる番号 1 つに○)

支援プログラムの利用意向については、小学5年生全体では「使ってみたい」の割合が高い順に「D 家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所」(55.2%)、「C 家の人がないとき、夕ごはんをみんなで食べることができる場所」(48.9%)、「B (家以外で) 休日にいることができる場所」(47.3%)となっている。



注：D, Eの個別結果については、第3章 9学習関連の支援プログラムの利用意向に掲載

中学2年生全体では、「使ってみたい」の割合が高い順に「B（家以外で）休日にいることができる場所」(59.5%)、「D 家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所」(57.7%)、「A（家以外で）平日の放課後に夜までいることができる場所」(48.5%)となっている。

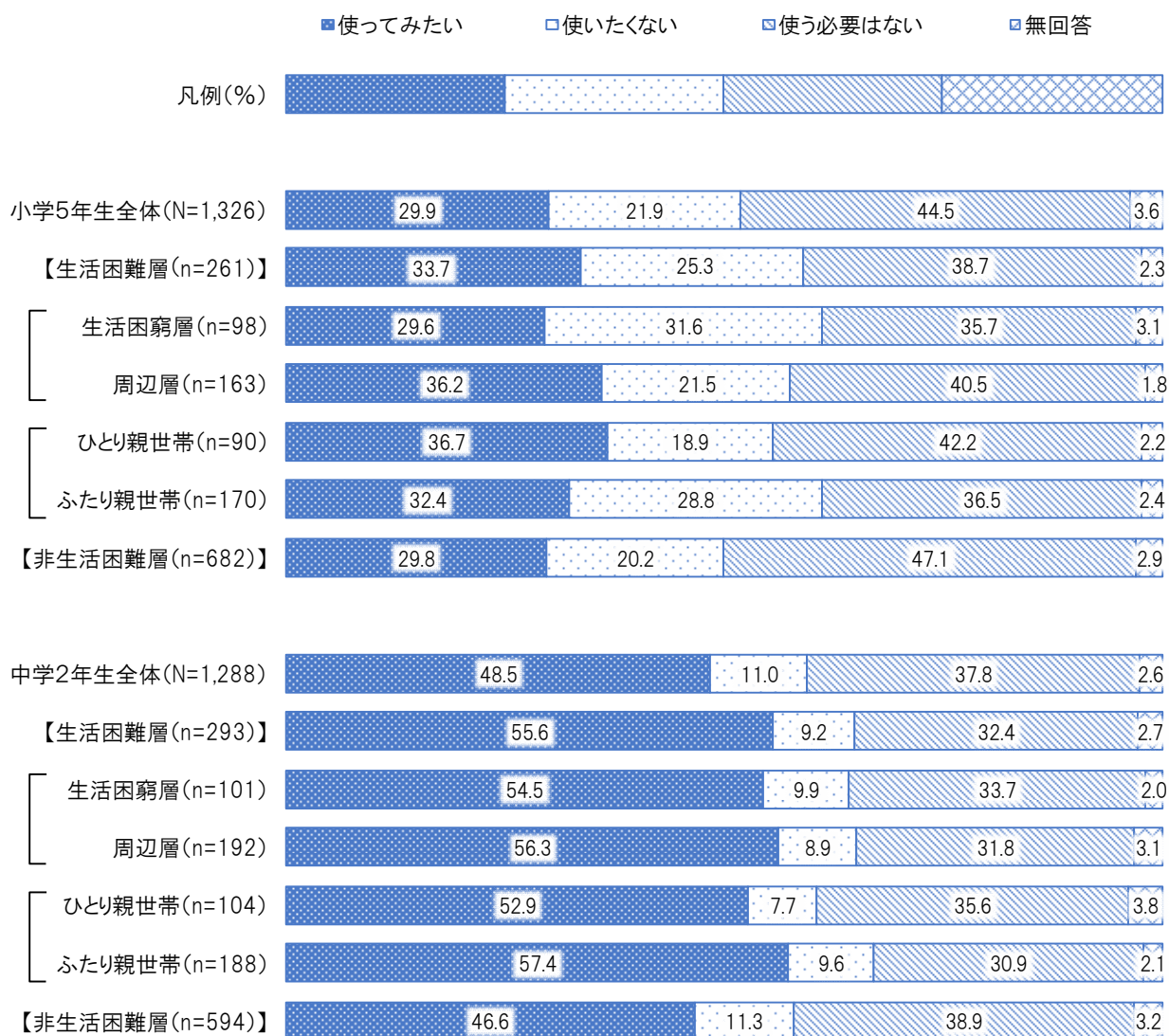


注:D, Eの個別結果については、第3章 9学習関連の支援プログラムの利用意向に掲載

A (家以外で) 平日の放課後に夜までいることができる場所

平日の放課後に夜までいることができる場所について「使ってみたい」の割合は、小学5年生の生活困窮層で29.6%、周辺層で36.2%となっている。中学2年生では、生活困窮層で54.5%、周辺層で56.3%となっており、非生活困難層に比べて高くなっている。

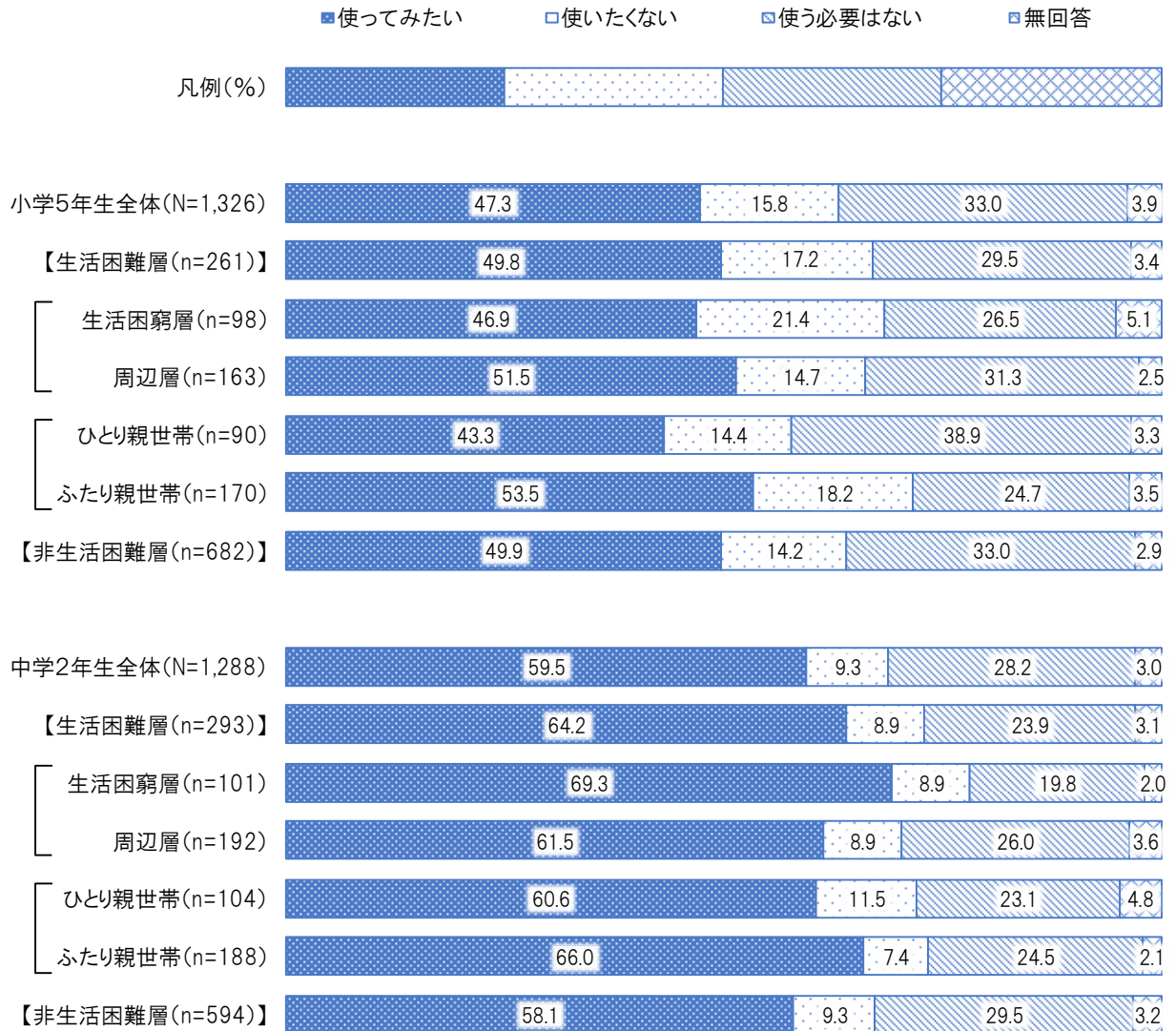
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のふたり親世帯で「使ってみたい」の割合がひとり親世帯に比べて高くなっている。



B (家以外で) 休日にいることができる場所

休日にいることができる場所について「使ってみたい」の割合は、小学5年生の生活困窮層で46.9%、周辺層で51.5%となっている。中学2年生では、生活困窮層で69.3%、周辺層で61.5%となっており、生活困窮層で高くなっている。

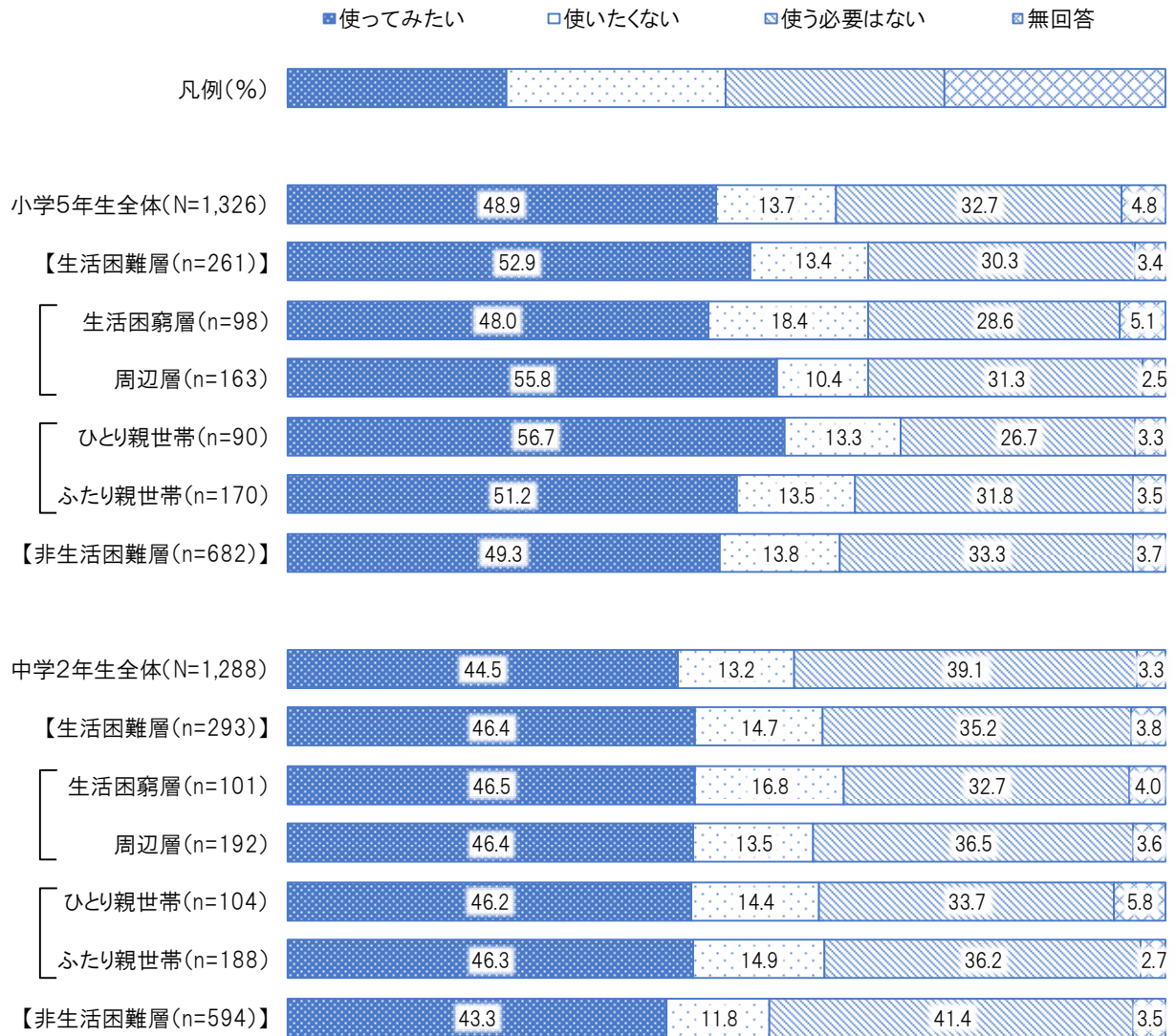
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともにふたり親世帯で「使ってみたい」の割合がひとり親世帯に比べて高くなっている。



C 家の人がないとき、夕ごはんをみんなで食べることができる場所

家の人がないとき、夕ごはんをみんなで食べることができる場所について「使ってみたい」の割合は、小学5年生の生活困窮層で48.0%、周辺層で55.8%となっており、周辺層で高くなっている。中学2年生では、生活困窮層で46.5%、周辺層で46.4%となっている。

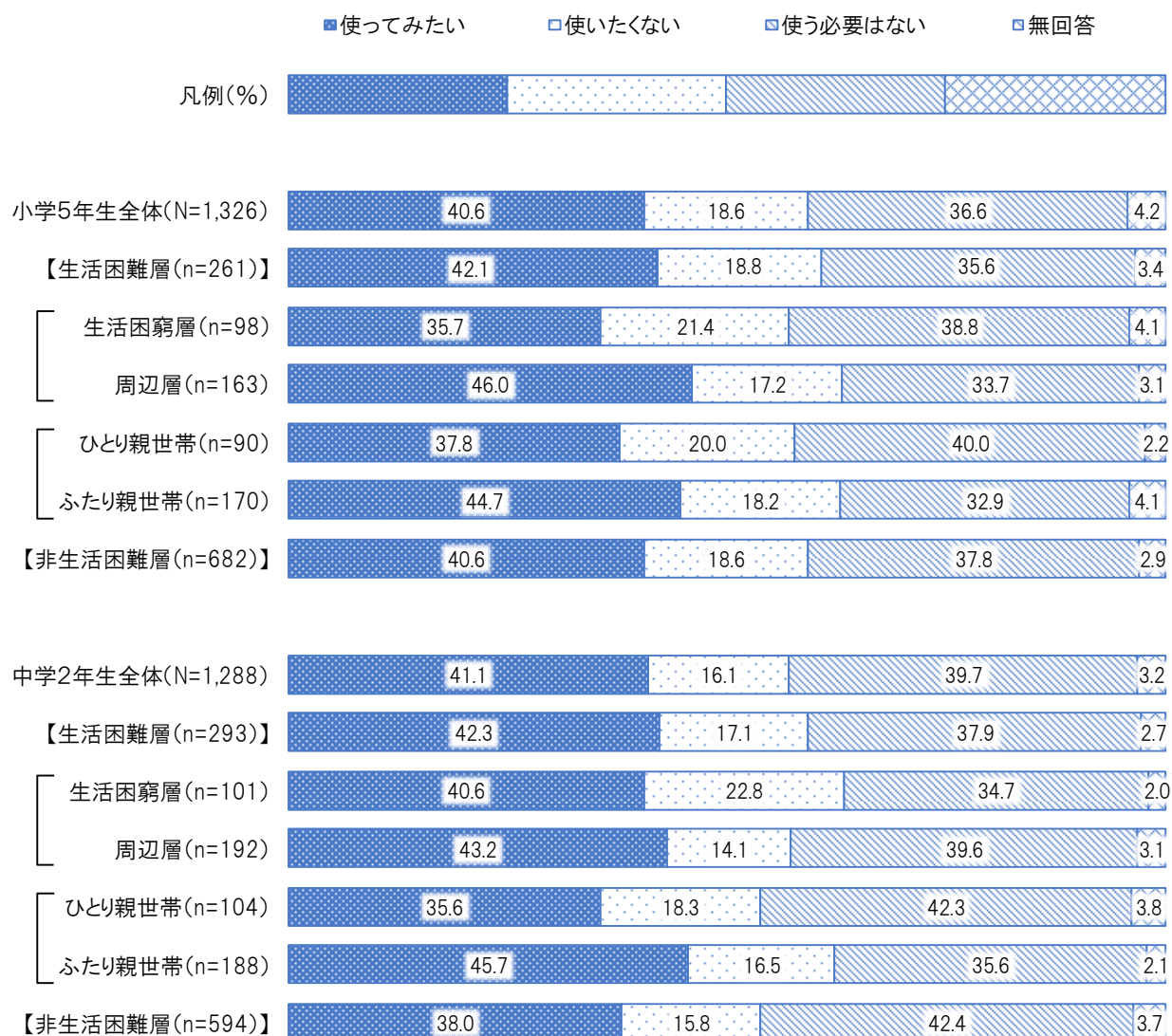
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生のひとり親世帯で「使ってみたい」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



F (学校以外で) 勉強, 進学, 家族のことなど, なんでも相談できる場所

勉強, 進学, 家族のことなど, なんでも相談できる場所について「使ってみたい」の割合は, 小学5年生の生活困窮層で 35.7%, 周辺層で 46.0%となっており, 生活困窮層で低くなっている。中学2年生では, 生活困窮層で 40.6%, 周辺層で 43.2%となっている。

生活困難層世帯タイプ別では, 中学2年生のふたり親世帯で「使ってみたい」の割合がひとり親世帯に比べて高くなっている。



第5章 子どもの健康と自己肯定感

【1】子どもの健康状態

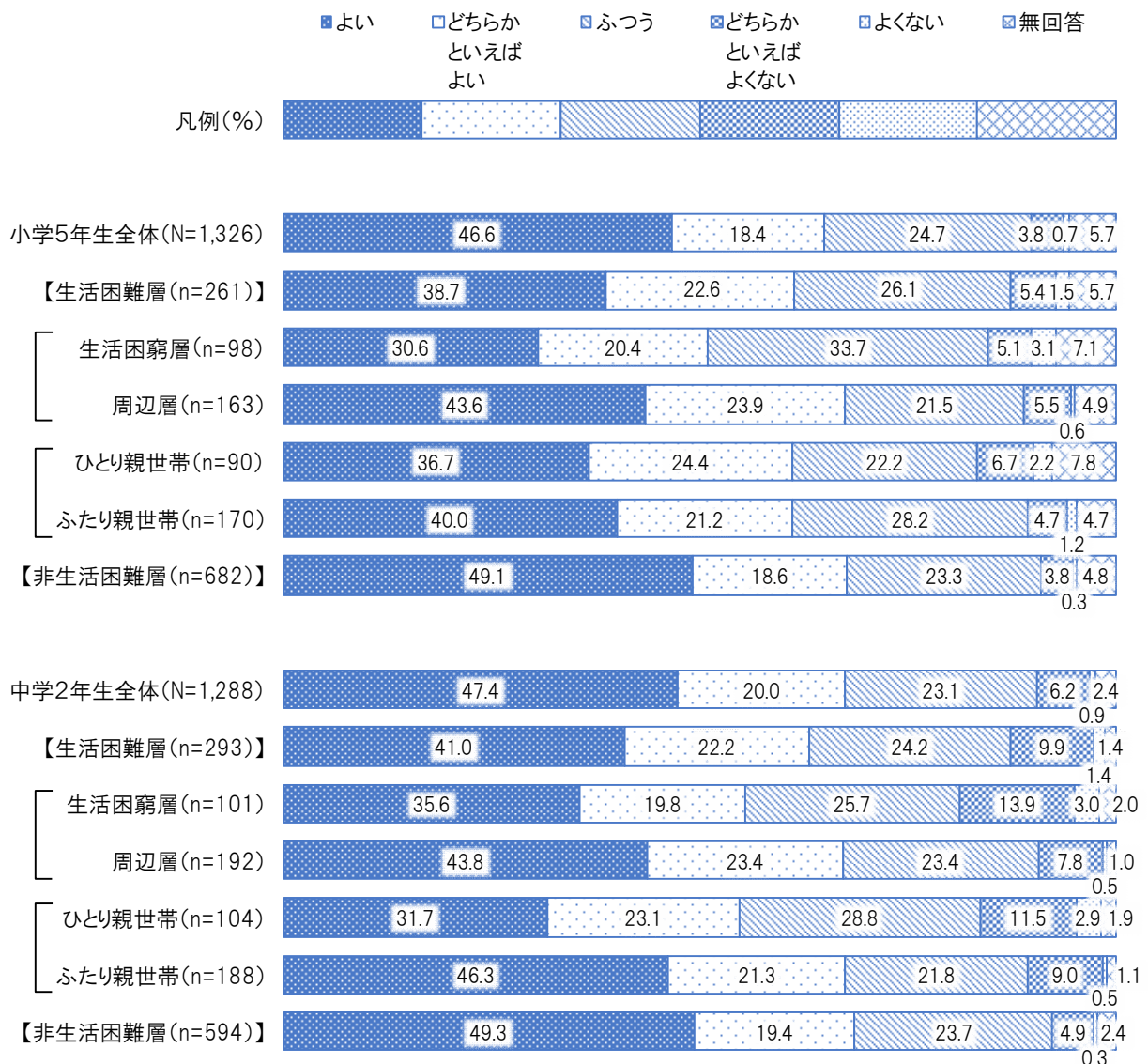
(1) 子どもの主観的健康状態

子／問 25 あなたは、現在の健康状態についてどう感じていますか。
(あてはまる番号1つに○)

子どもの主観的健康状態については、小学5年生全体では「よい」が46.6%、中学2年生全体では47.4%となっている。一方、「どちらかといえばよくない」「よくない」の合計は、小学5年生全体では4.5%、中学2年生全体では7.1%となっている。

生活困難度別にみた『よくない（合計）』の割合は、小学5年生の生活困窮層で8.2%、中学2年生で16.9%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともにひとり親世帯で『よくない（合計）』の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



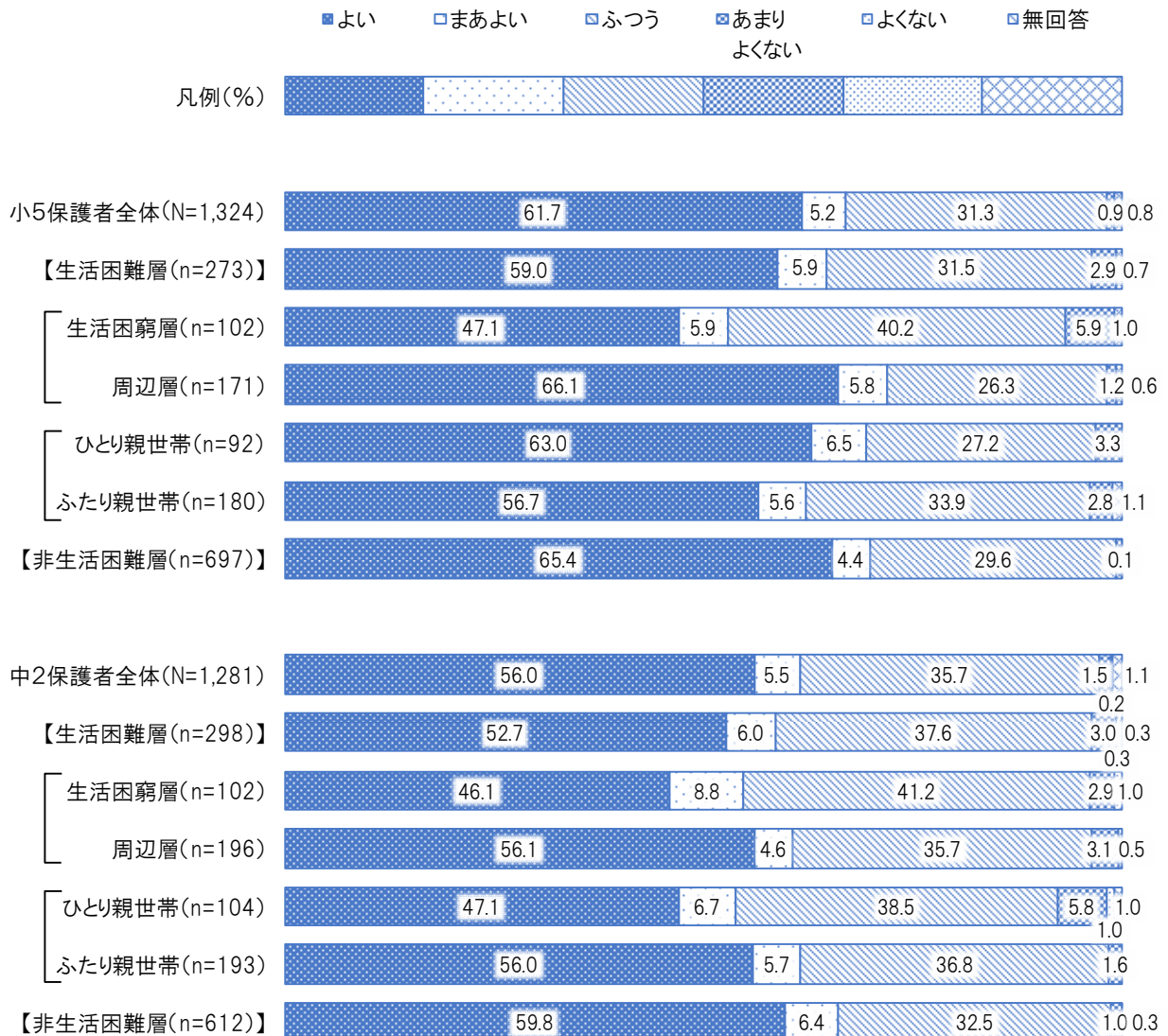
(2) 保護者から見た子どもの健康状態

保／問 15-2 お子さんの健康状態についておうかがいします。最も近いものに○をつけてください。(あてはまる番号1つに○)

保護者から見た子どもの健康状態については、小学5年保護者全体では「よい」が61.7%、中学2年保護者全体では56.0%となっている。一方、「どちらかといえばよくない」「よくない」の合計は、小学5年保護者全体では0.9%、中学2年保護者全体では1.7%となっている。

生活困難度別にみた『よくない(合計)』の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で5.9%、中学2年保護者で3.9%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のひとり親世帯で『よくない(合計)』の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



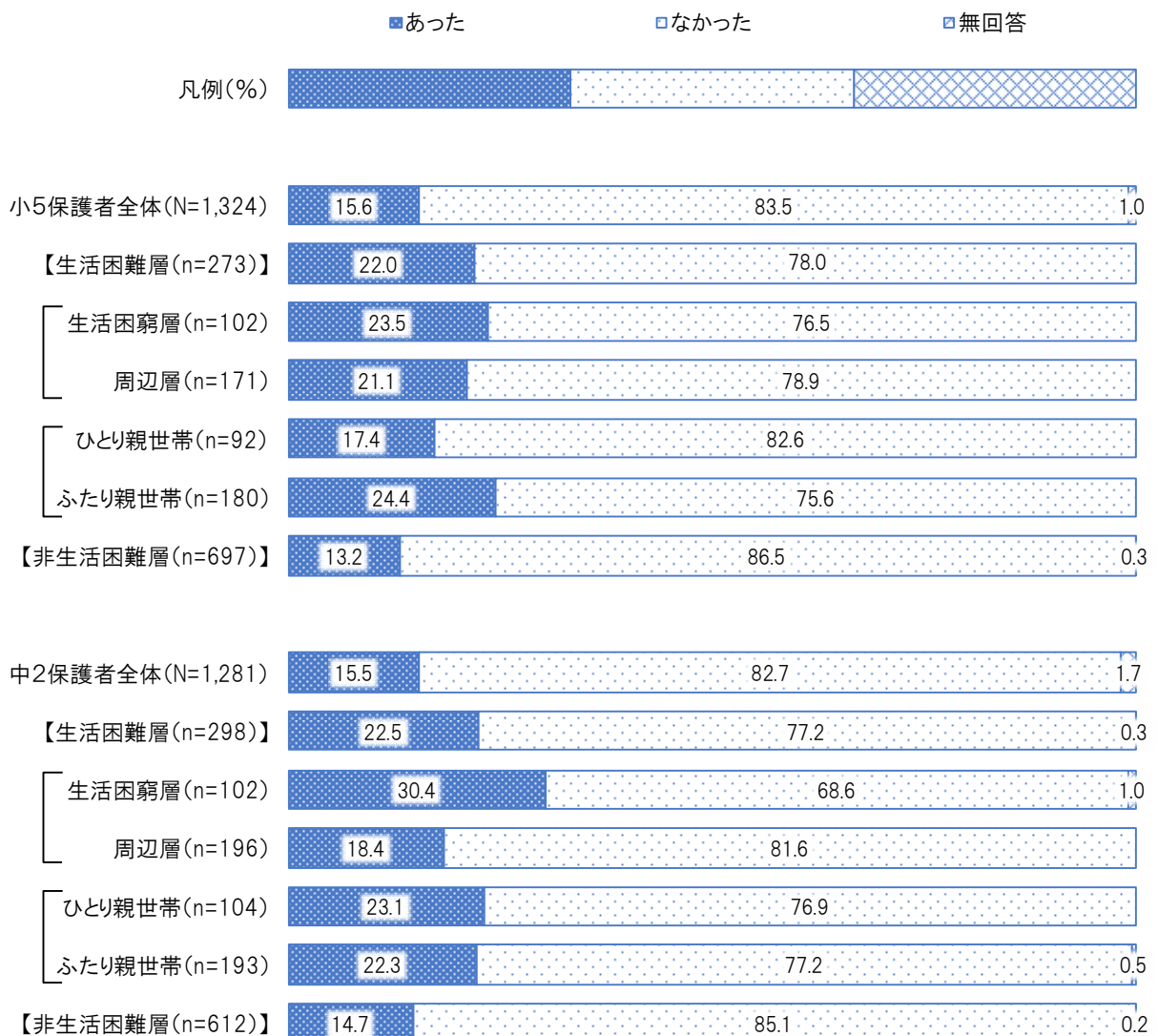
(3) 子どもの医療受診抑制経験とその理由

保／問 16 過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。(あてはまる番号1つに○)

子どもの医療受診抑制経験については、小学5年保護者全体では「あった」が15.6%、中学2年保護者全体では15.5%となっている。一方、「なかった」は、小学5年保護者全体では83.5%、中学2年保護者全体では82.7%となっている。

生活困難度別にみた「あった」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で23.5%、中学2年保護者で30.4%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

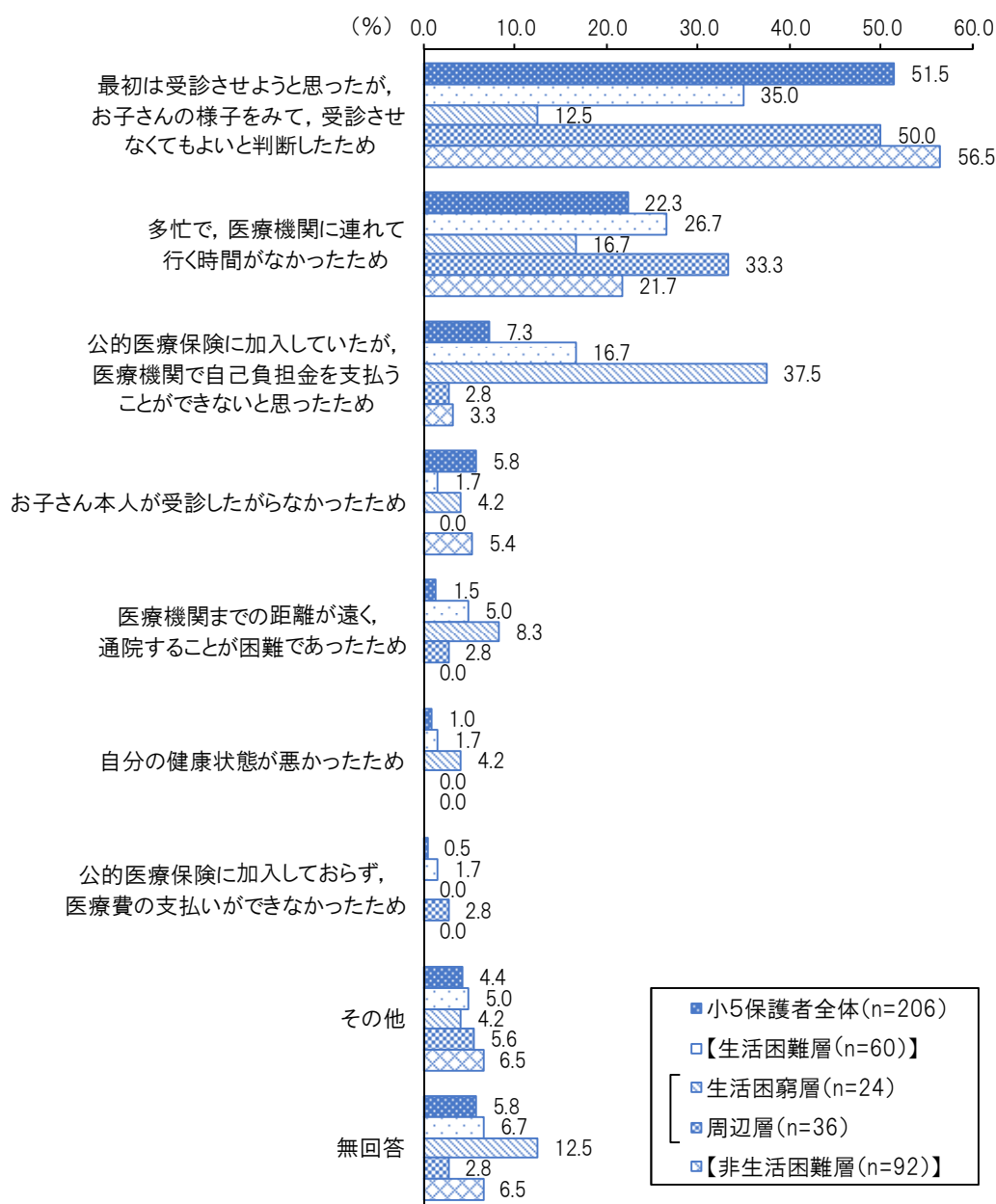
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のふたり親世帯で「あった」の割合がひとり親世帯に比べて高くなっている。



【問 16 で「1 あった」を選んだ方におうかがいします。】
 保／問 16-1 その理由は、何ですか。次の中から、最も近いものに○をつけてください。
 (あてはまる番号1つに○)

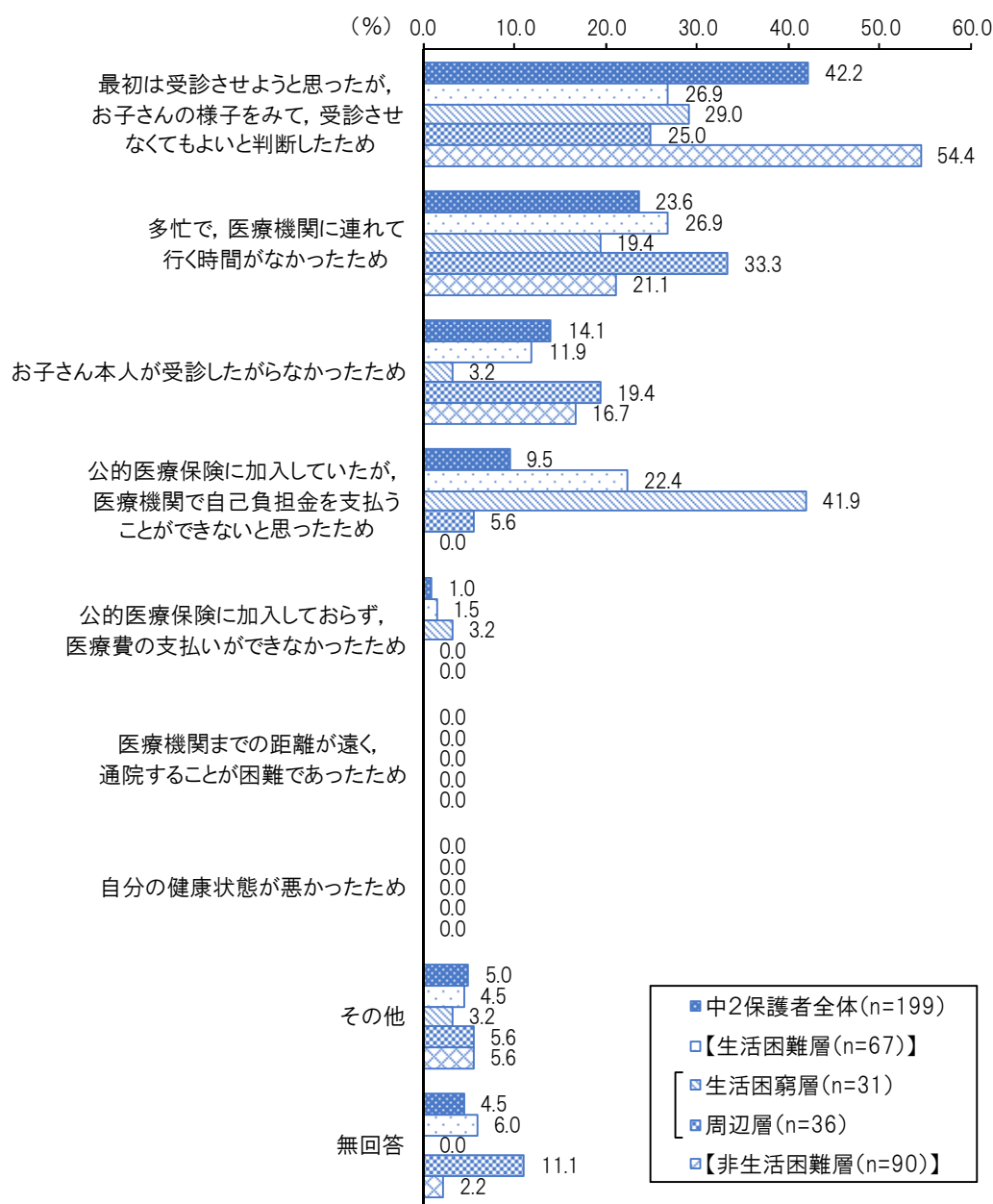
子どもの医療受診を抑制した理由について、小学5年保護者全体では「最初は受診させようと思ったが、お子さんの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため」が51.5%と最も高く、次いで「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」(22.3%)が続いている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「最初は受診させようと思ったが、お子さんの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため」「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」の割合が低く、「公的医療保険に加入していたが、医療機関で自己負担金を支払うことができないと思ったため」の割合が他の層を大きく上回っている。



中学2年保護者全体では、「最初は受診させようと思ったが、お子さんの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため」が42.2%と最も高く、次いで「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」(23.6%)、「お子さん本人が受診しなかったため」(14.1%)の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「最初は受診させようと思ったが、お子さんの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため」「お子さん本人が受診しなかったため」などの割合が低く、「公的医療保険に加入していたが、医療機関で自己負担金を支払うことができないと思ったため」の割合が他の層を大きく上回っている。



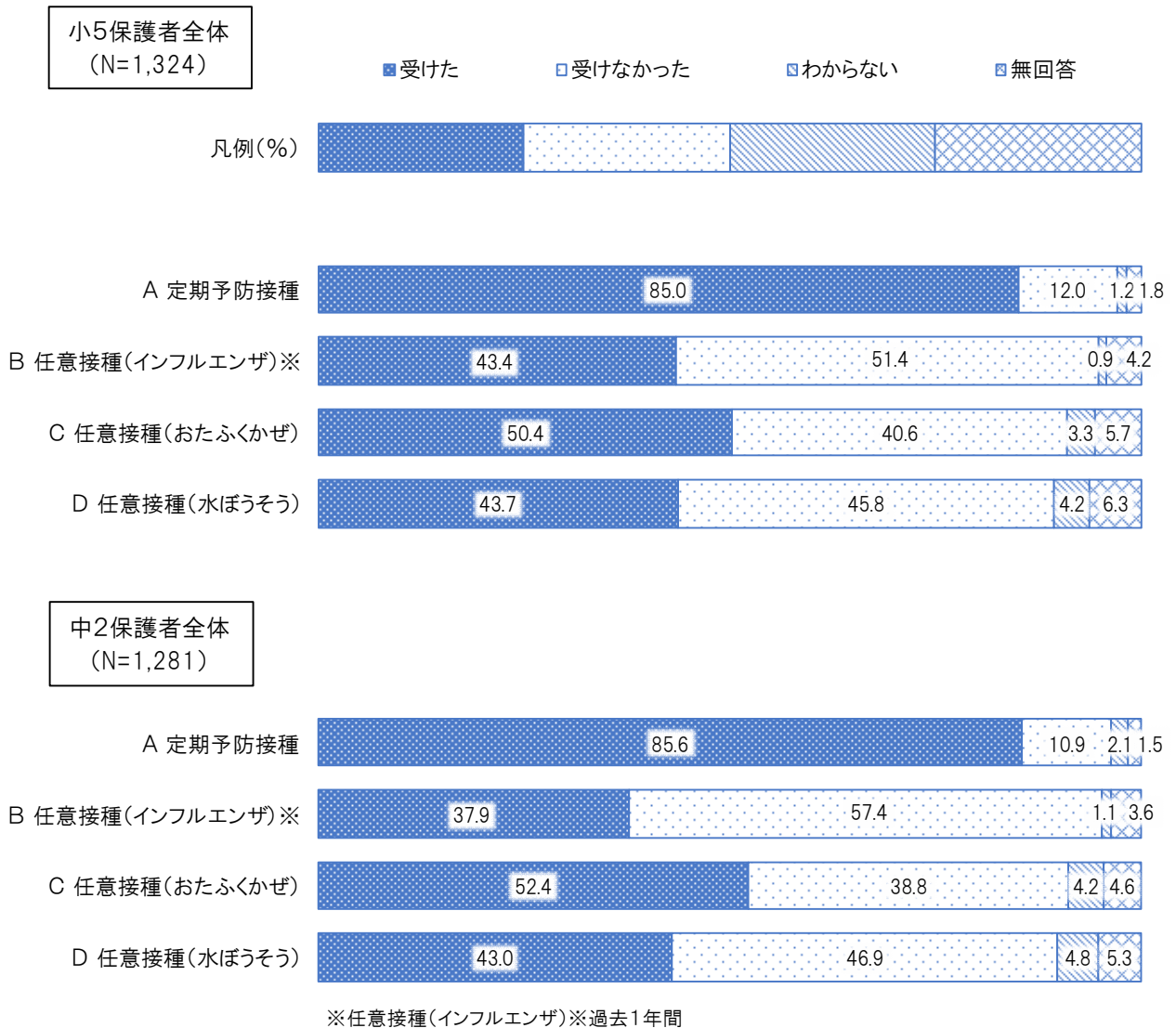
(4) 予防接種状況と未接種の理由

保／問 17 お子さんの予防接種の受診状況について、最も近いものに○をつけてください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

※定期予防接種（結核（BCG），麻しん・風しん，ポリオ等）は，無料で受けられます。任意接種（インフルエンザ，おたふくかぜ等）は自己負担がかかります。

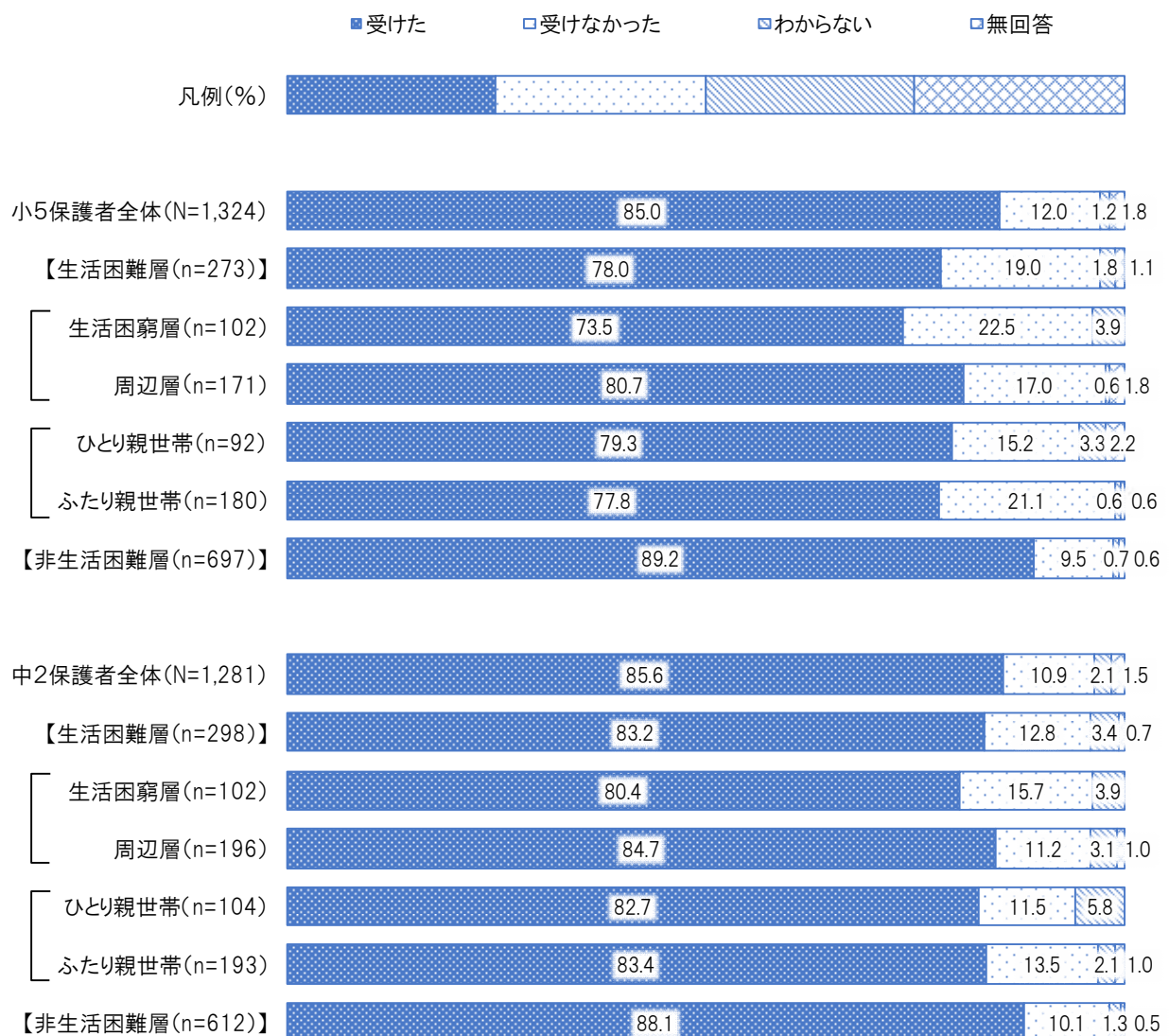
予防接種状況については，小学5年保護者全体では「受けた」の割合が高い順に「A 定期予防接種」（85.0%），「C 任意接種（おたふくかぜ）」（50.4%），「D 任意接種（水ぼうそう）」（43.7%），「B 任意接種（インフルエンザ）」（43.4%）となっている。

中学2年保護者全体では，「A 定期予防接種」（85.6%），「C 任意接種（おたふくかぜ）」（52.4%），「D 任意接種（水ぼうそう）」（43.0%），「B 任意接種（インフルエンザ）」（37.9%）となっている。



A 定期予防接種

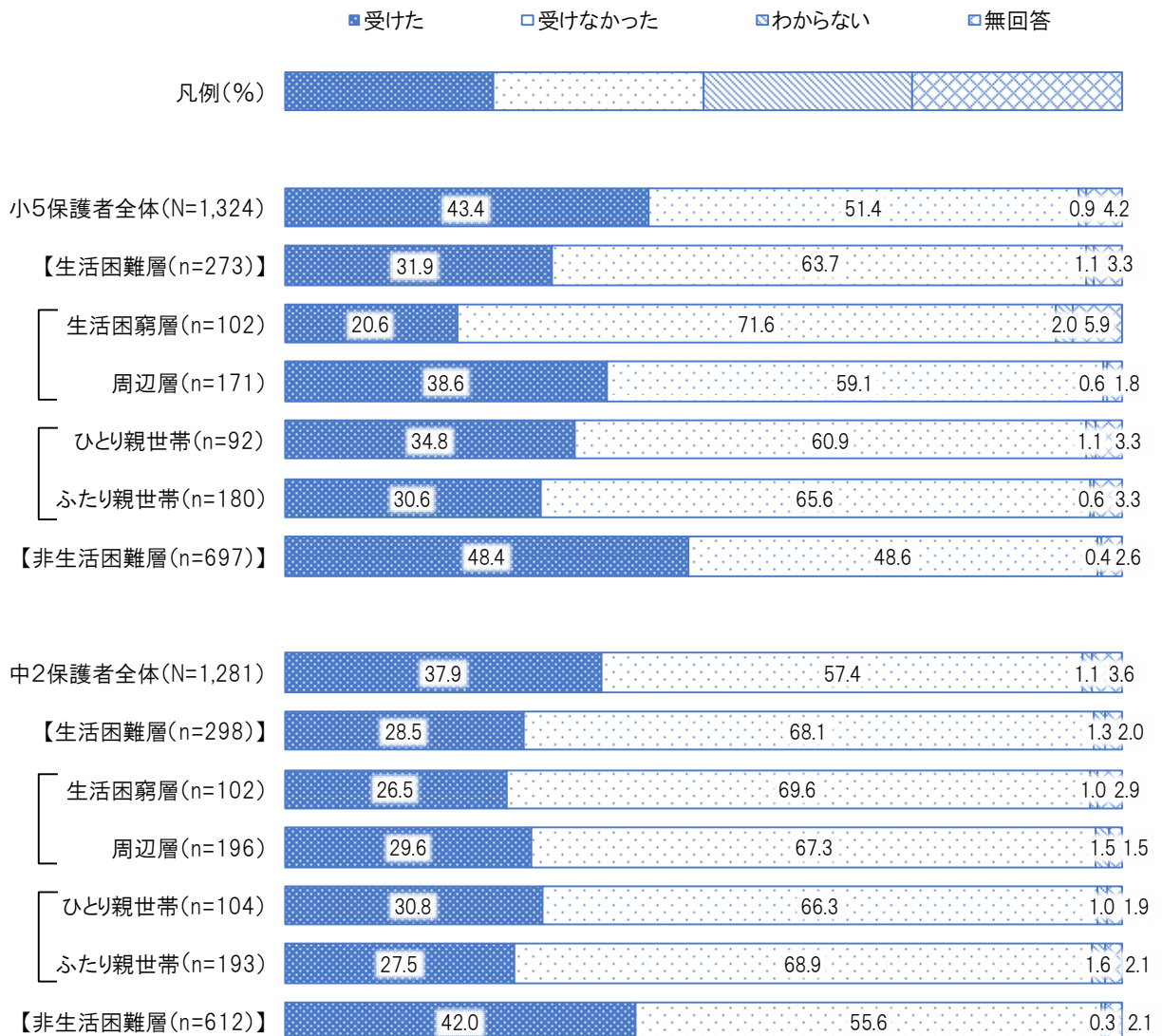
定期予防接種について「受けた」割合は、小学5年保護者の生活困窮層で73.5%、周辺層で80.7%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で80.4%、周辺層で84.7%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。



B 任意接種（インフルエンザ）※過去1年間

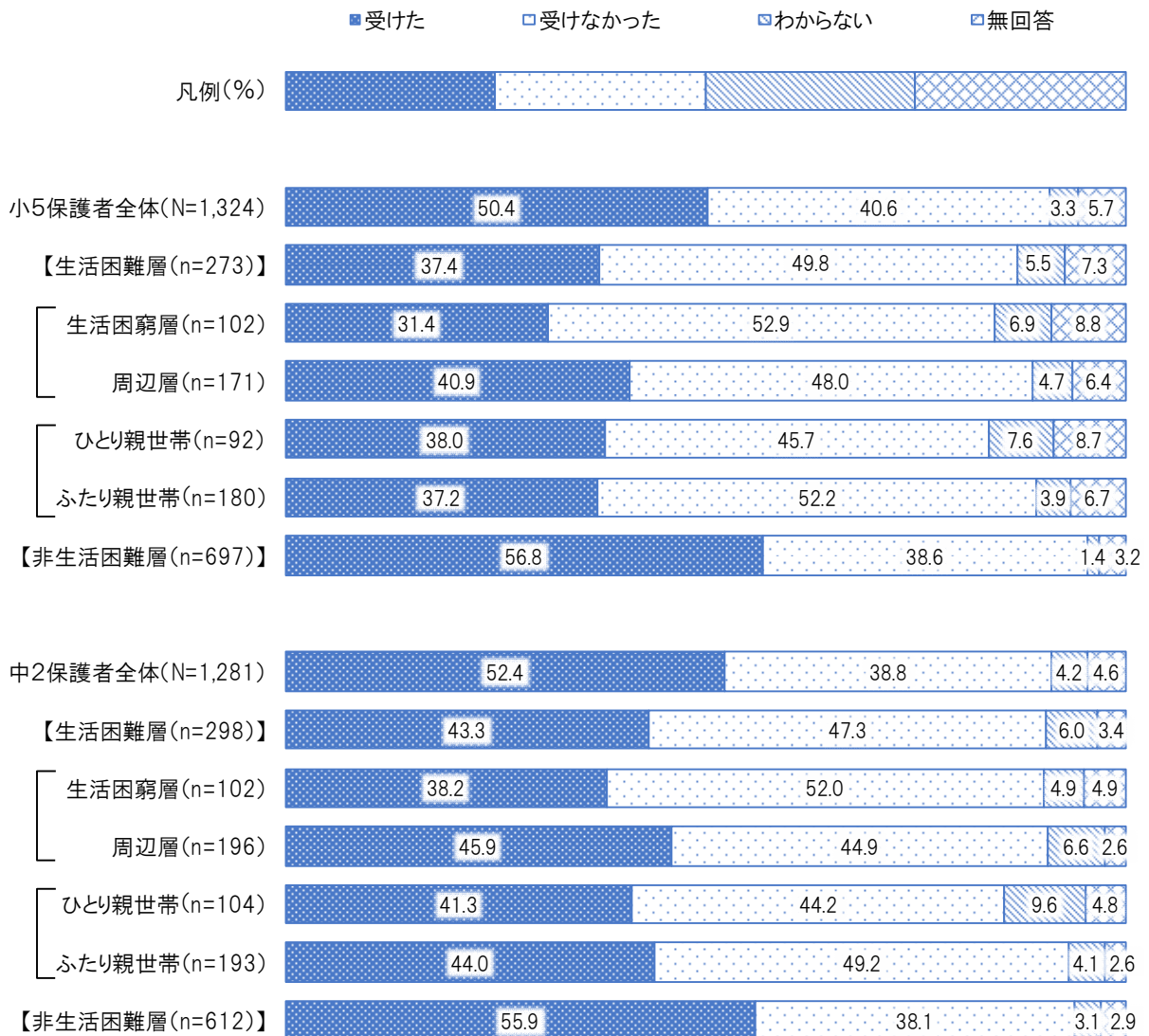
任意接種（インフルエンザ）について「受けた」割合は、小学5年保護者の生活困窮層で20.6%、周辺層で38.6%となっており、生活困窮層で低くなっている。中学2年保護者では、生活困窮層で26.5%、周辺層で29.6%となっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ふたり親世帯で「受けた」割合がひとり親世帯に比べて低くなっている。



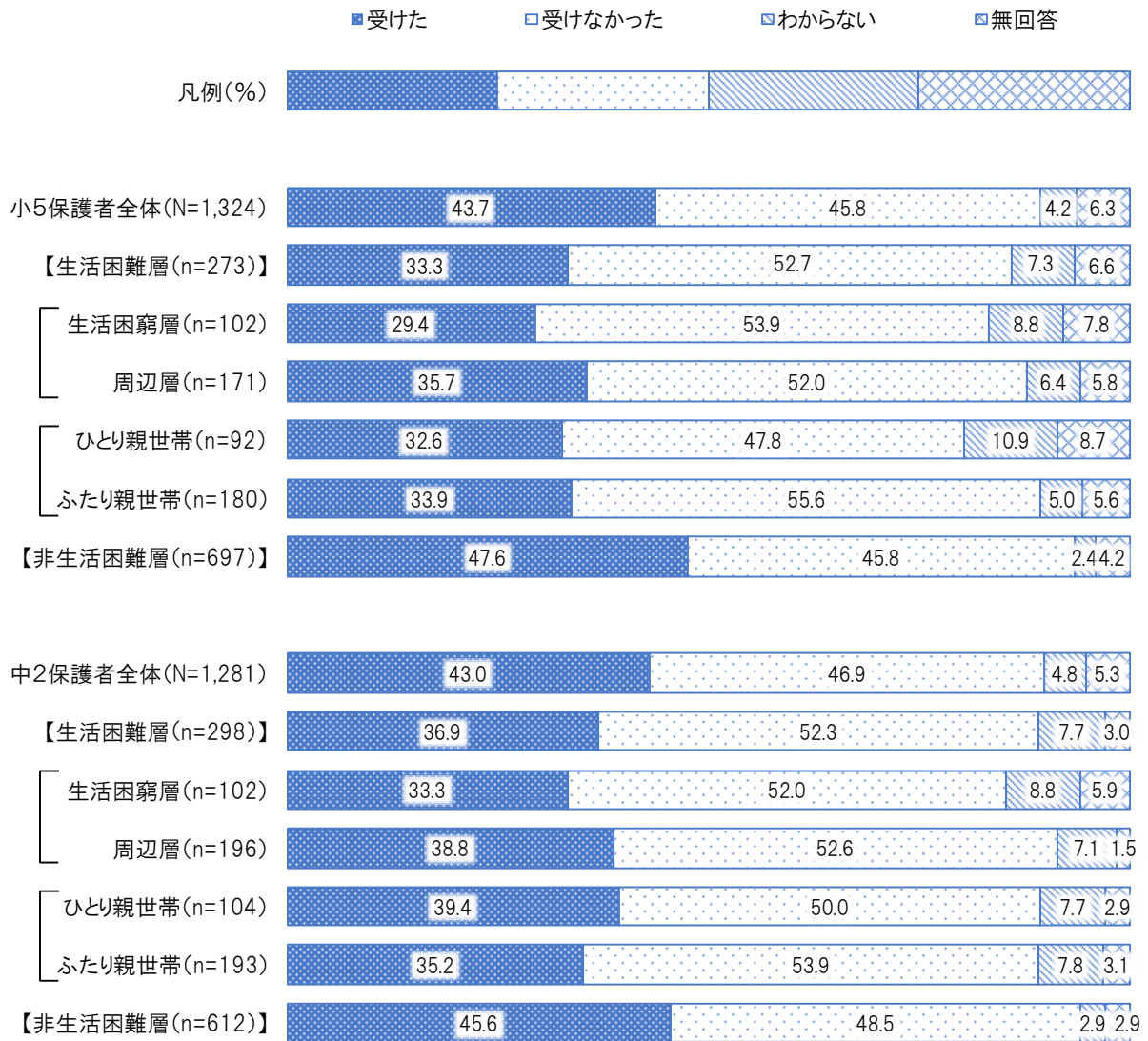
C 任意接種（おたふくかぜ）

任意接種（おたふくかぜ）について「受けた」割合は、小学5年保護者の生活困窮層で31.4%、周辺層で40.9%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で38.2%、周辺層で45.9%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。



D 任意接種（水ぼうそう）

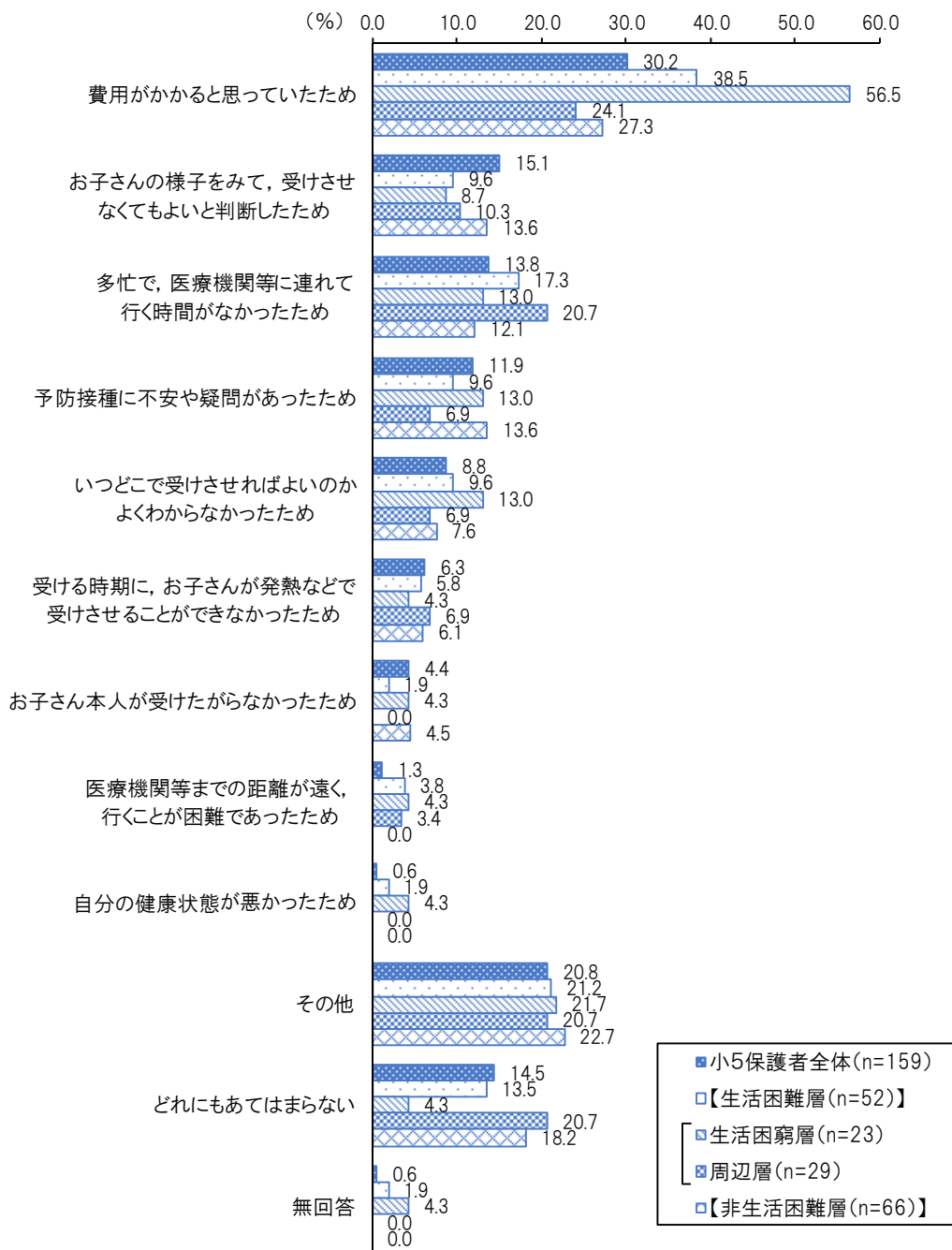
任意接種（水ぼうそう）について「受けた」割合は、小学5年保護者の生活困窮層で29.4%、周辺層で35.7%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で33.3%、周辺層で38.8%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。



【問 17「A 定期予防接種」について「2 受けなかった」と回答した人におうかがいします。】
 保／問 17-1 定期予防接種を受けないことがあったのはなぜですか。
 (あてはまる番号すべてに○)

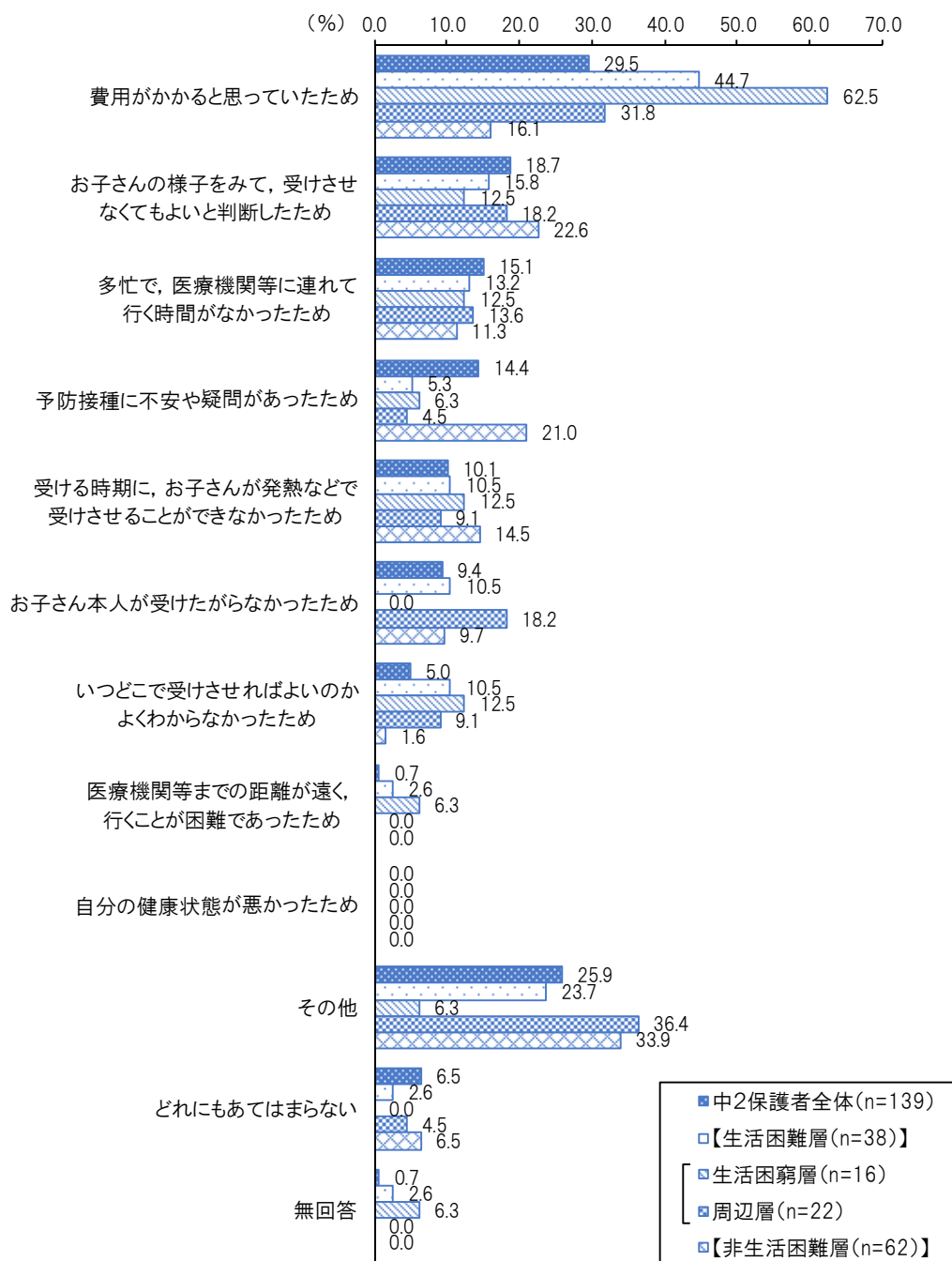
予防接種未接種の理由について、小学5年保護者全体では「費用がかかると思っていたため」が30.2%と最も高く、次いで「お子さんの様子を見て、受けさせなくてもよいと判断したため」(15.1%)、「多忙で、医療機関等に連れて行く時間がなかったため」(13.8%)の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「お子さんの様子を見て、受けさせなくてもよいと判断したため」などの割合が低く、「費用がかかると思っていたため」の割合が他の層を大きく上回っている。



中学2年保護者全体では、「費用がかかると思っていたため」が29.5%と最も高く、次いで「お子さんの様子を見て、受けさせなくてもよいと判断したため」(18.7%)、「多忙で、医療機関等に連れて行く時間がなかったため」(15.1%)の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「お子さんの様子を見て、受けさせなくてもよいと判断したため」などの割合が低く、「費用がかかると思っていたため」の割合が他の層を大きく上回っている。



(5) 虫歯の本数

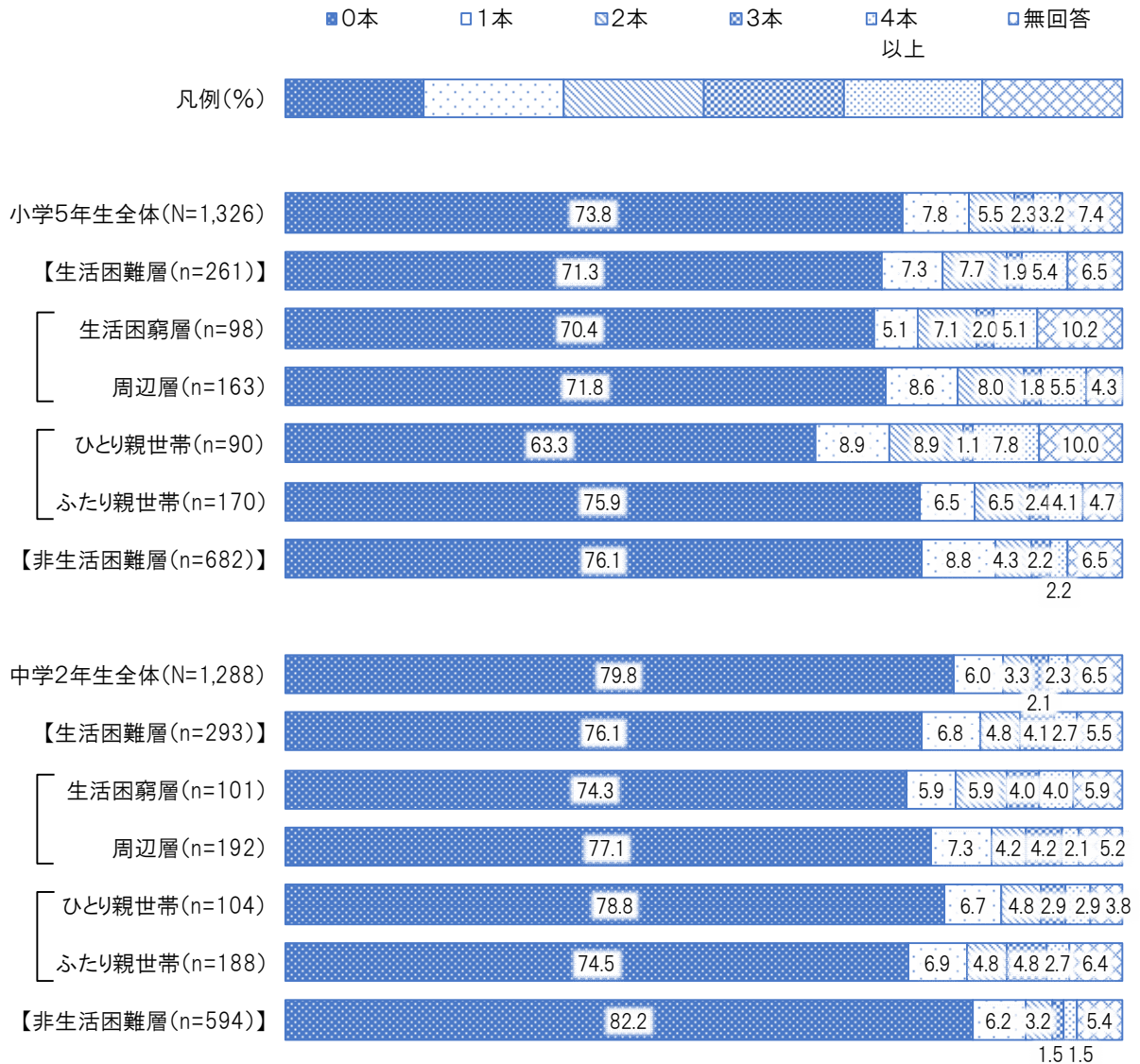
子／問 26 あなたは、今、虫歯がおおよそ何本くらいありますか。治療中のものも含みます。（数字で教えてください）

※虫歯がない場合は、0本と書いてください。治療が終わったものは数えません。

虫歯の本数については、小学5年生全体では「0本」が73.8%、中学2年生全体では79.8%となっている。一方、『1本以上（合計）』の割合は、小学5年生全体では18.8%、中学2年生全体では13.7%となっている。

生活困難度別にみた「0本」の割合は、小学5年生の生活困窮層で70.4%、中学2年生で74.3%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生のひとり親世帯で「0本」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



(6) 身長・体重

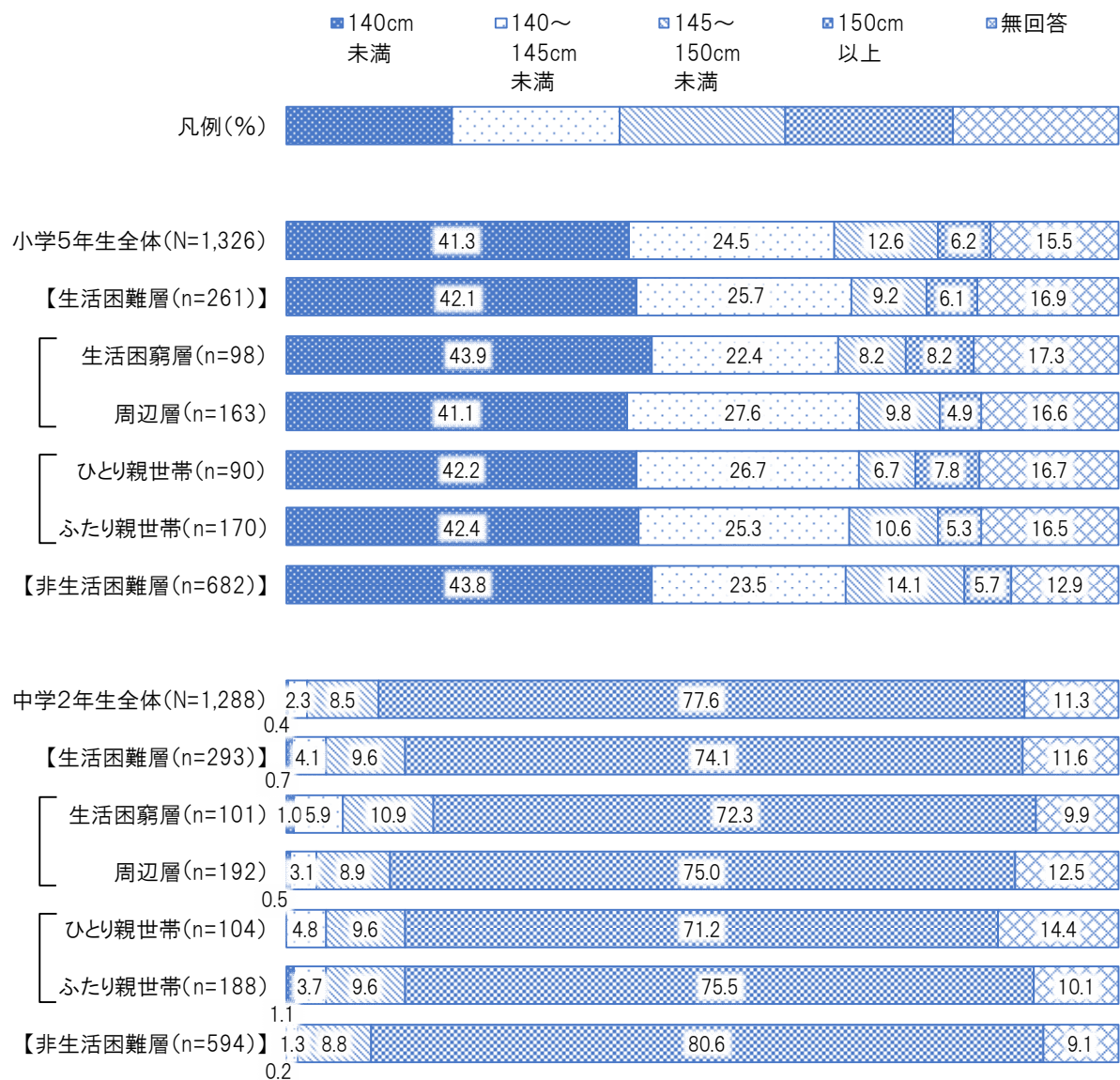
子/問2 あなたの身長・体重を教えてください。(カッコの中に数字で教えてください)

A 身長

身長について、小学5年生全体では「140cm 未満」が 41.3%と最も高く、次いで「140～145cm 未満」(24.5%)が続いている。中学2年生全体では「150cm 以上」が 77.6%となっている。

生活困難度別にみると、中学2年生の「150cm 以上」の割合は、生活困窮層でやや低くなっている。

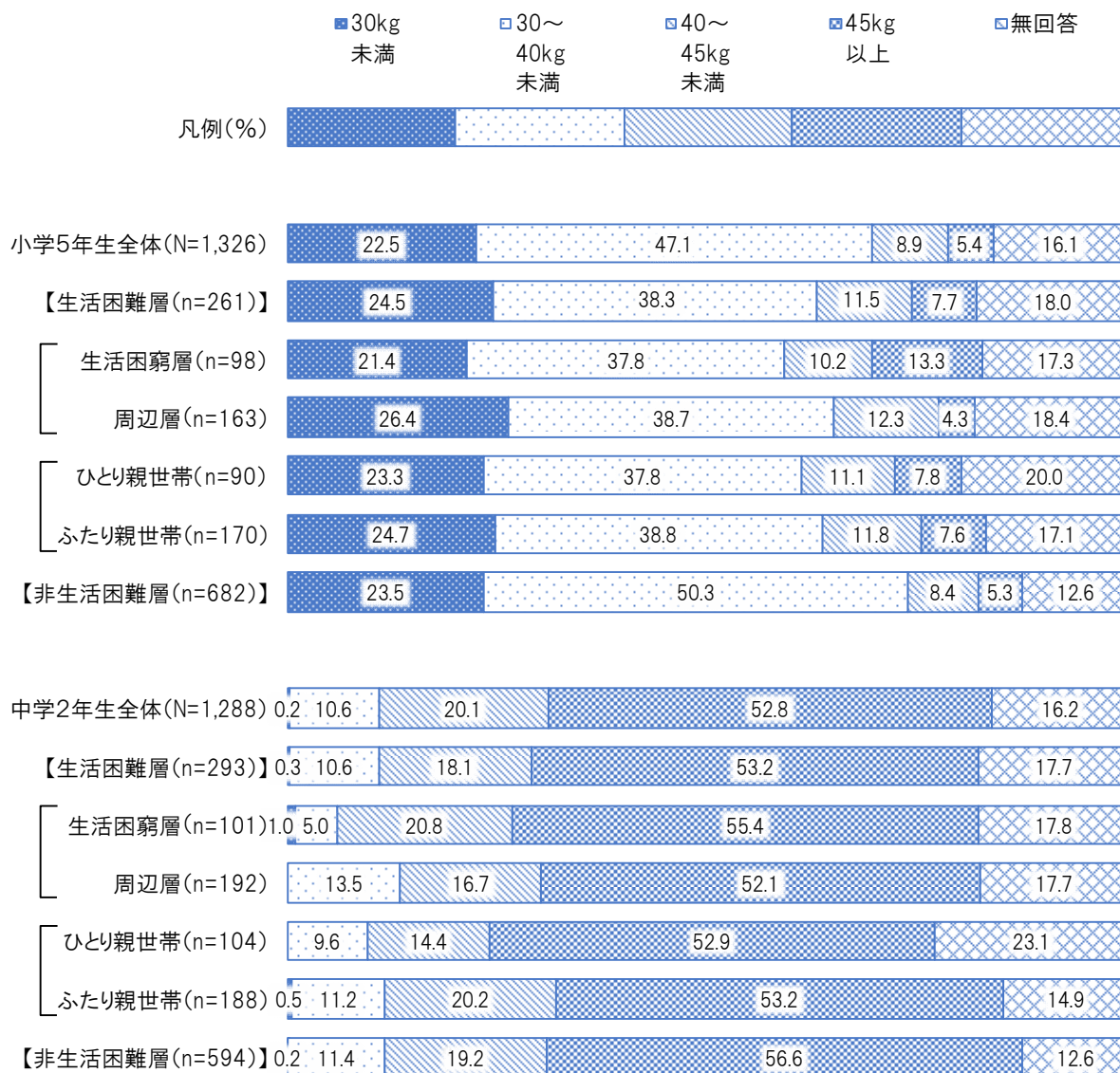
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「150cm 以上」の割合がふたり親世帯に比べてやや低くなっている。



B 体重

体重について、小学5年生全体では「30～40kg未満」が47.1%と最も高く、次いで「30kg未満」(22.5%)が続いている。中学2年生全体では「45kg以上」が52.8%と最も高く、次いで「40～45kg未満」(20.1%)となっている。

生活困難度別にみると、小学5年生の生活困窮層で「45kg以上」の割合が他の層を上回っている。

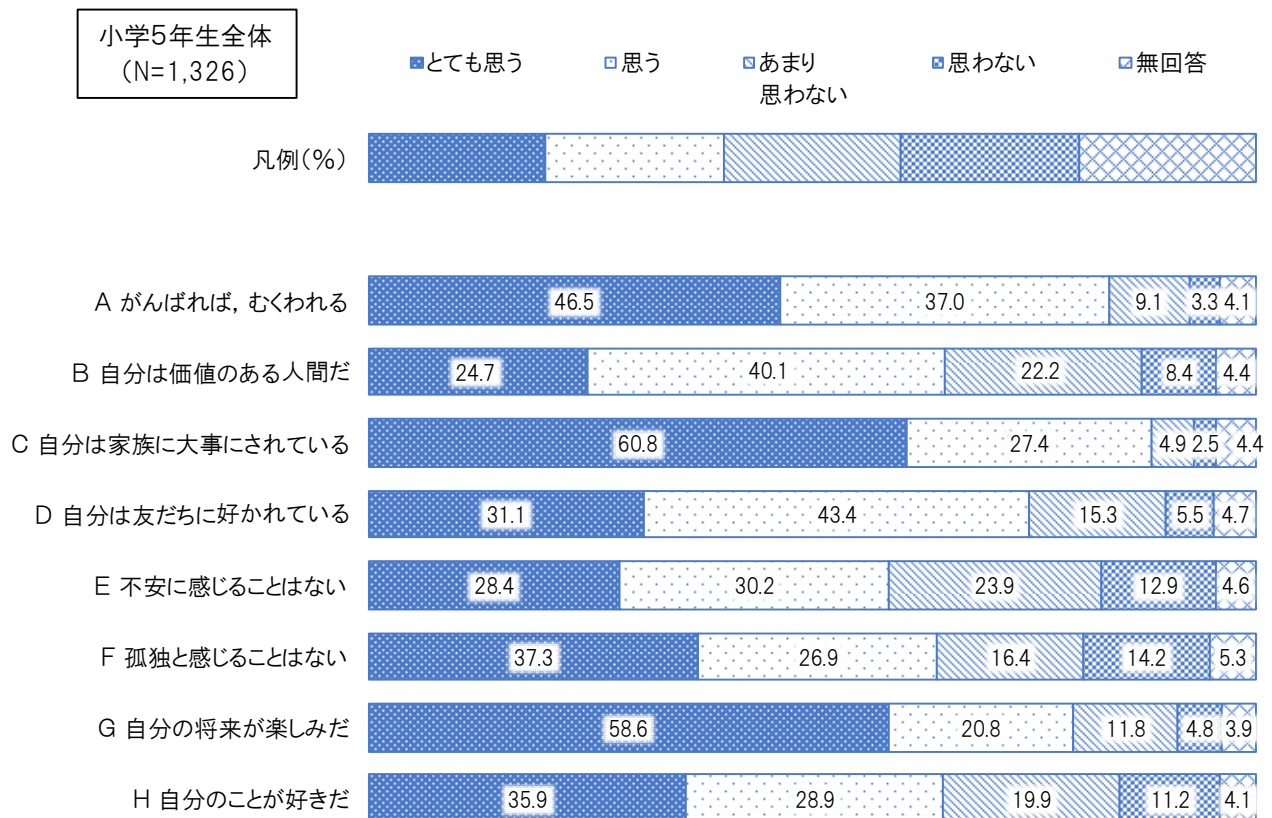


【2】自己肯定感

(1) 自己肯定感

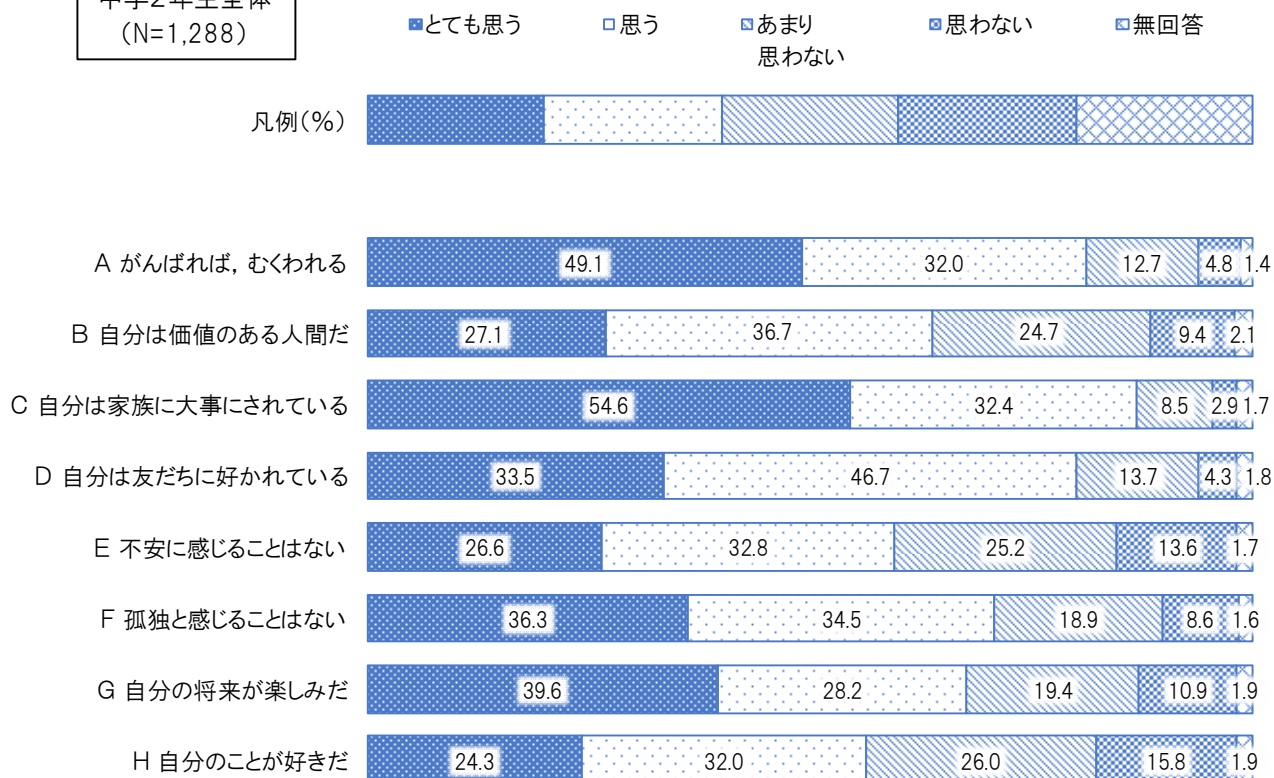
子／問 38 あなたの思いや気持ちについて、「1とても思う」から「4思わない」のうち、もっとも近いものに○をつけてください。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

自己肯定感については、小学5年生全体では「とても思う」の割合が高い順に「C 自分は家族に大事にされている」(60.8%)、「G 自分の将来が楽しみだ」(58.6%)、「A がんばれば、むくわれる」(46.5%)となっている。また、「思わない」では「F 孤独と感ずることではない」(14.2%)、「E 不安に感ずることではない」(12.9%)、「H 自分のことが好きだ」(11.2%)などがあげられる。



中学2年生全体では、「とても思う」の割合が高い順に「C 自分は家族に大事にされている」(54.6%),「A がんばれば,むくわれる」(49.1%),「G 自分の将来が楽しみだ」(39.6%)となっている。また,「思わない」では「H 自分のことが好きだ」(15.8%),「E 不安に感じることはない」(13.6%)などがあげられる。

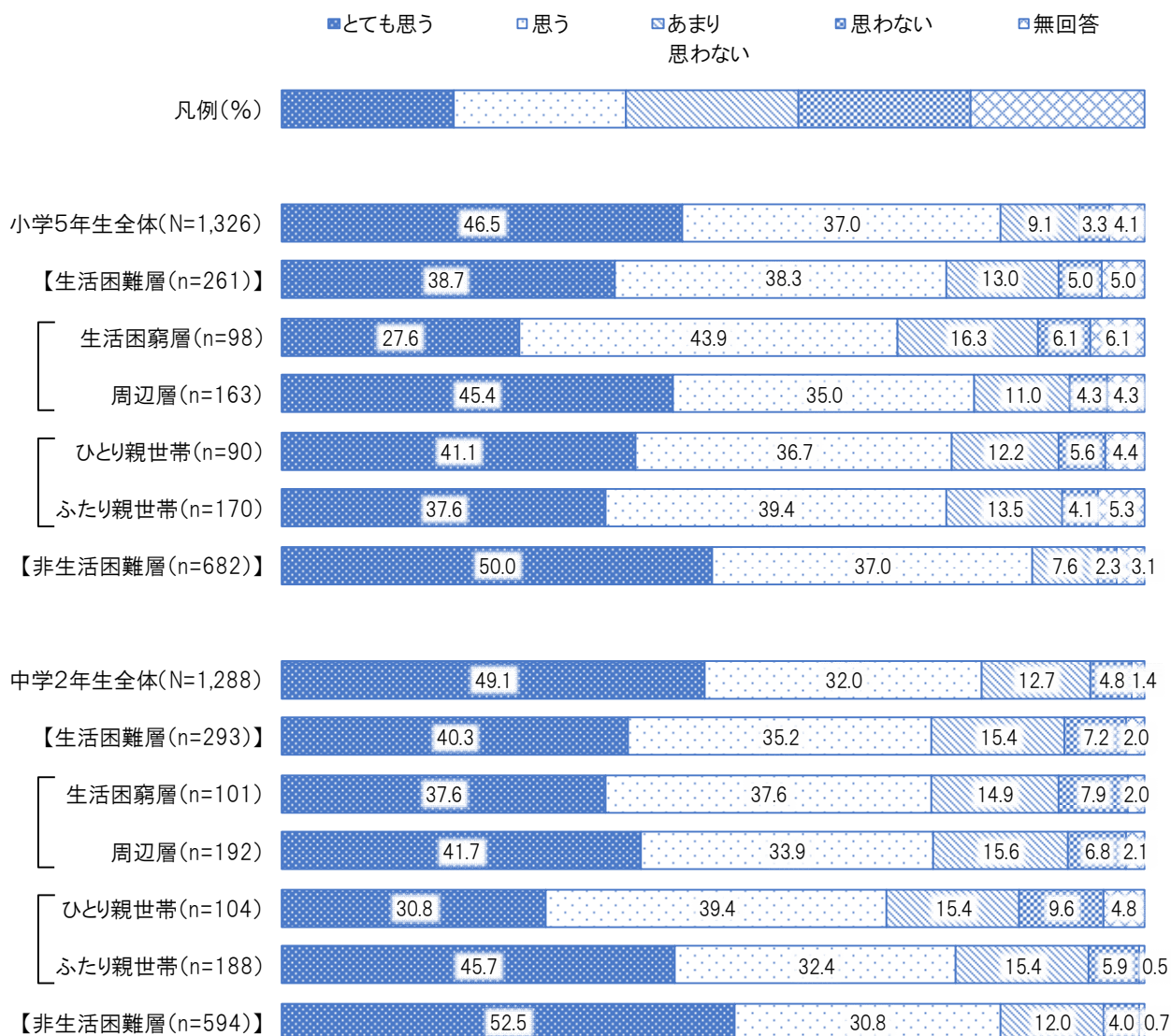
中学2年生全体
(N=1,288)



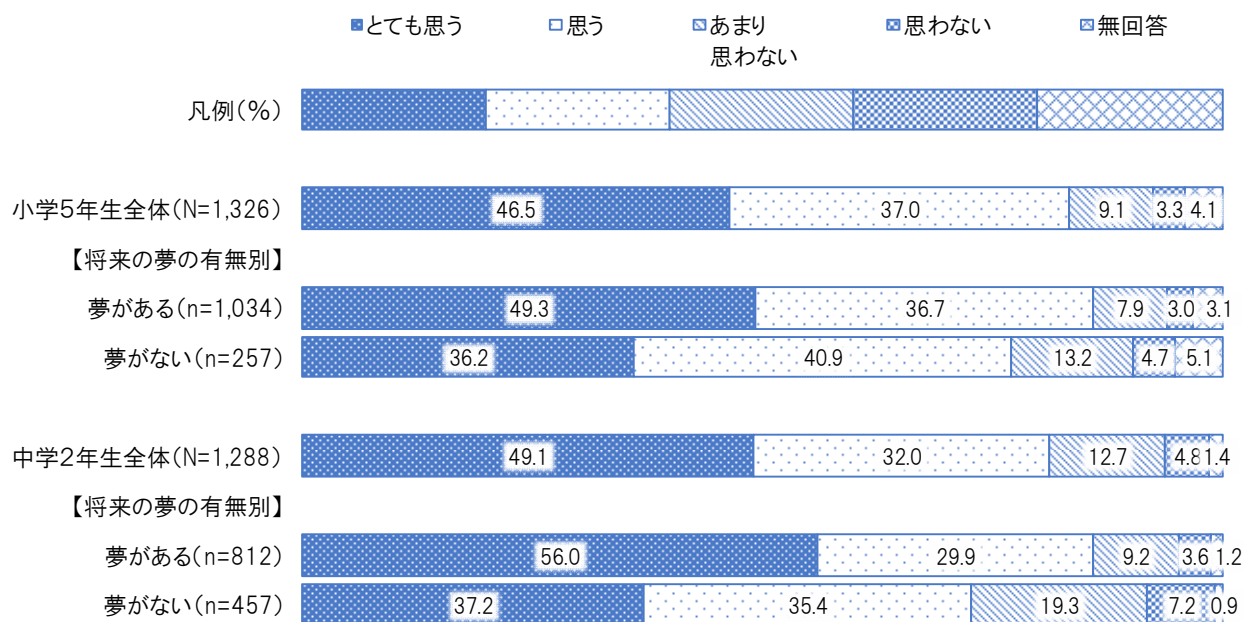
A がんばれば、むくわれる

がんばれば、むくわれると思うことについて「とても思う」の割合は、小学5年生の生活困窮層で27.6%、周辺層で45.4%となっている。中学2年生では、生活困窮層で37.6%、周辺層で41.7%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「とても思う」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



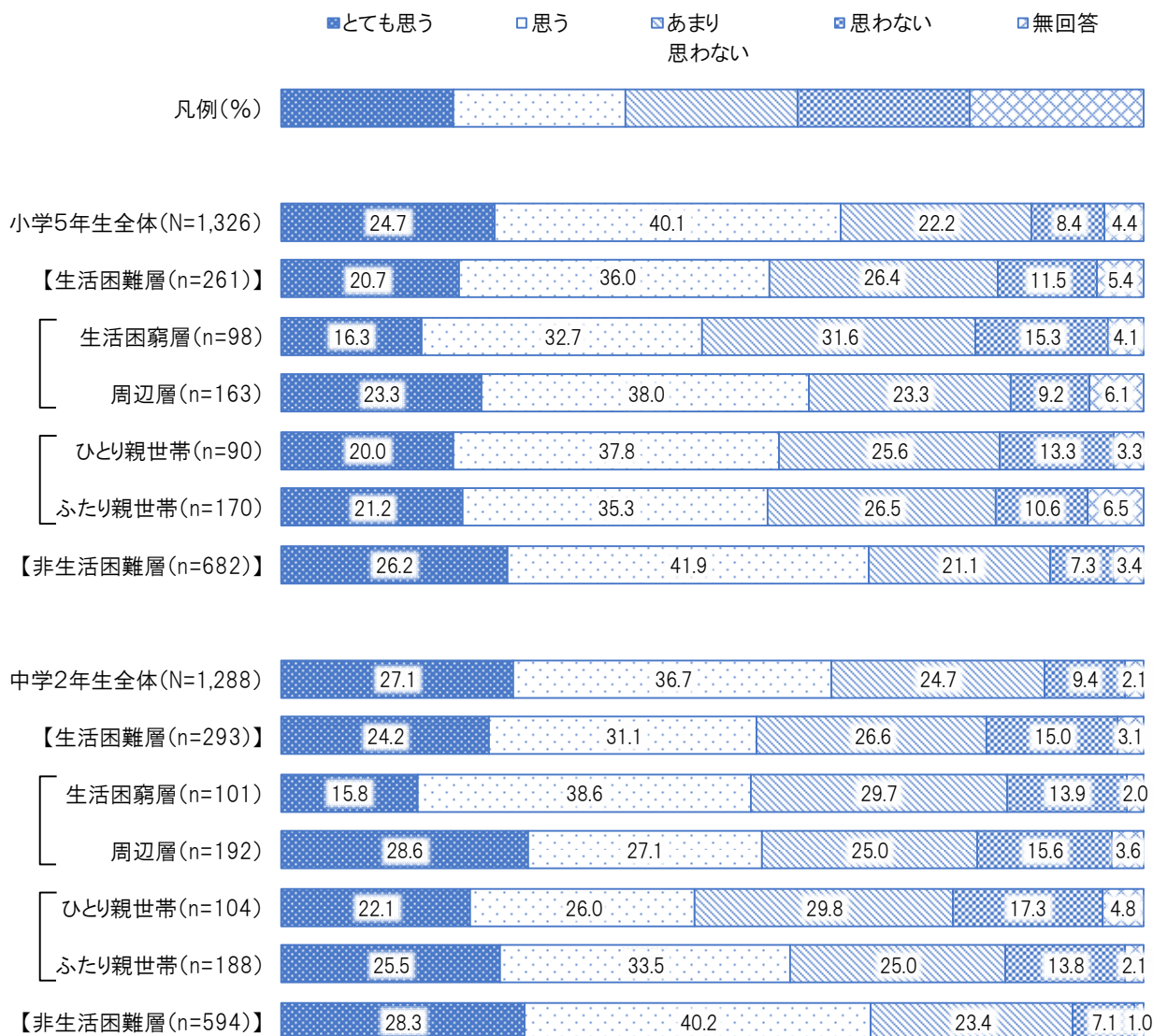
将来の夢の有無別（問5）でみると、小学5年生、中学2年生ともに夢がある層では、夢がない層に比べ「とても思う」の割合が高くなっている。



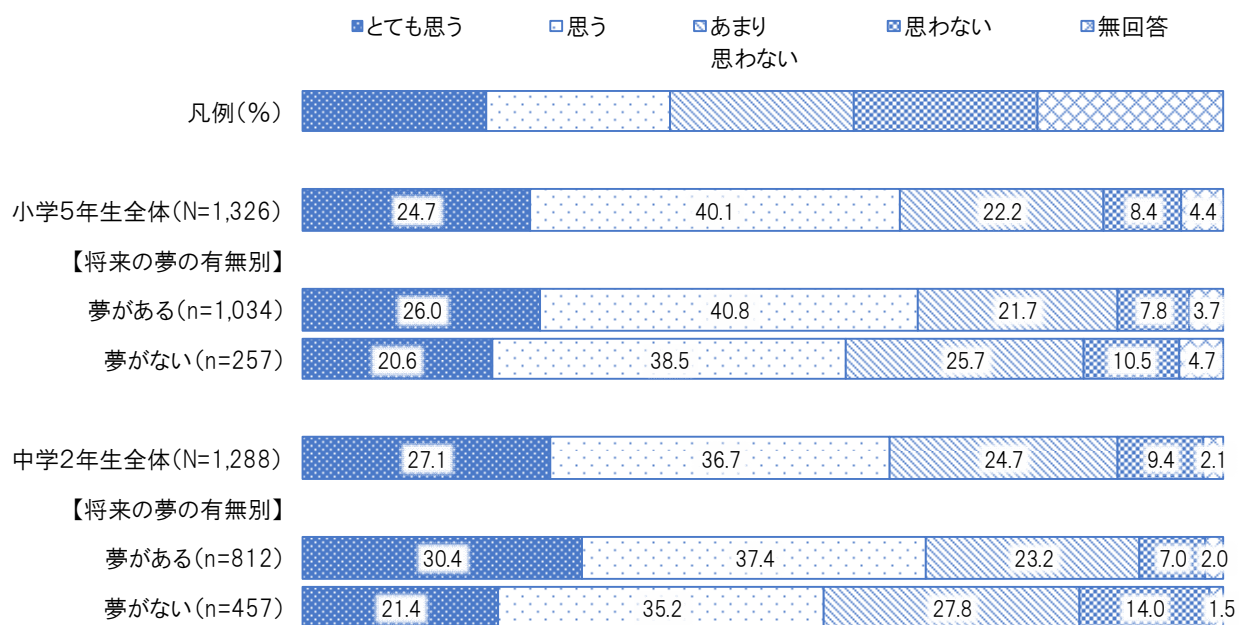
B 自分は価値のある人間だ

自分は価値のある人間だと思うことについて「とても思う」の割合は、小学5年生の生活困窮層で16.3%、周辺層で23.3%となっている。中学2年生では、生活困窮層で15.8%、周辺層で28.6%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「思う」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。

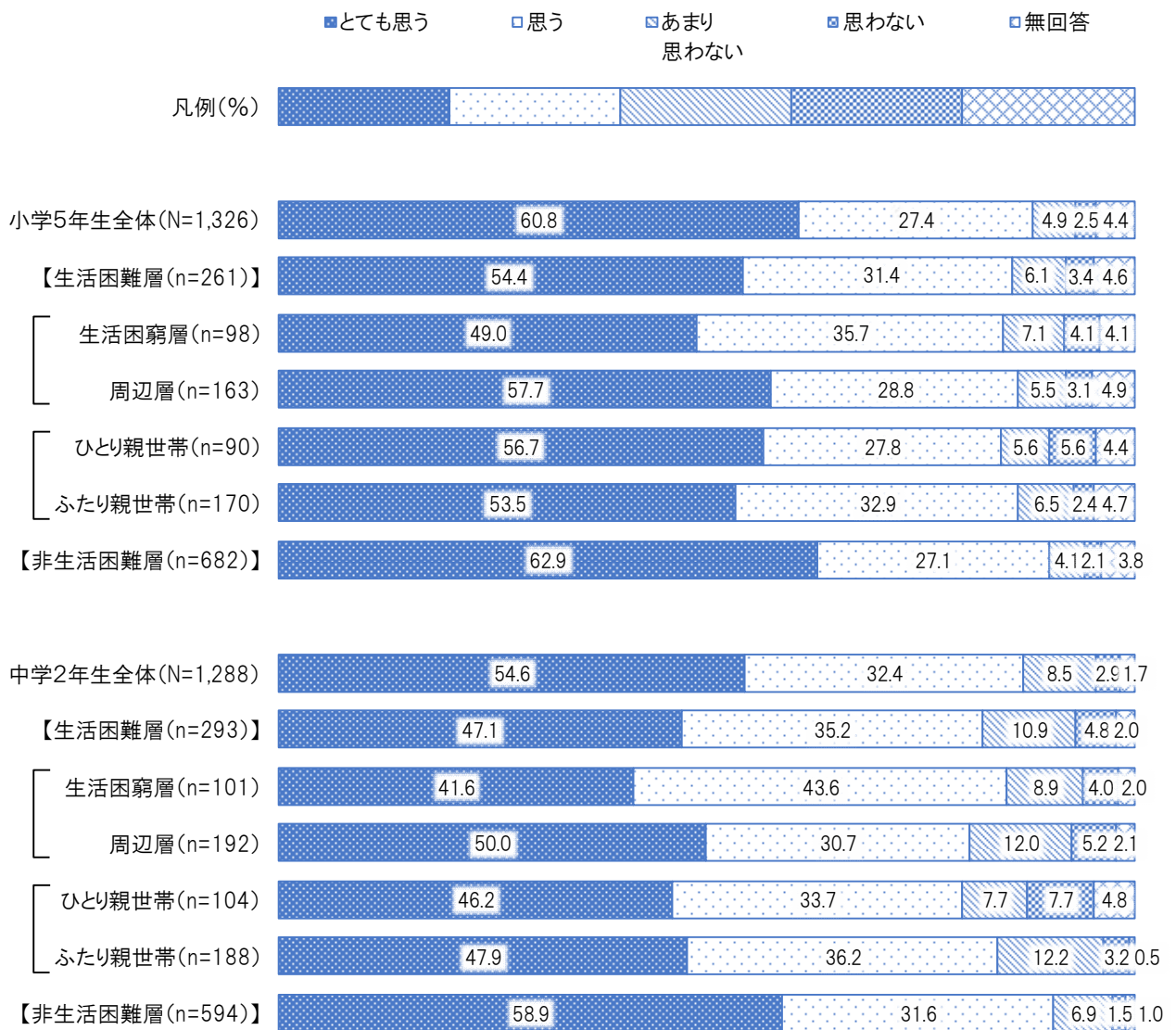


将来の夢の有無別（問5）でみると、小学5年生、中学2年生ともに夢がある層では、夢がない層に比べ「とても思う」の割合が高くなっている。



C 自分は家族に大事にされている

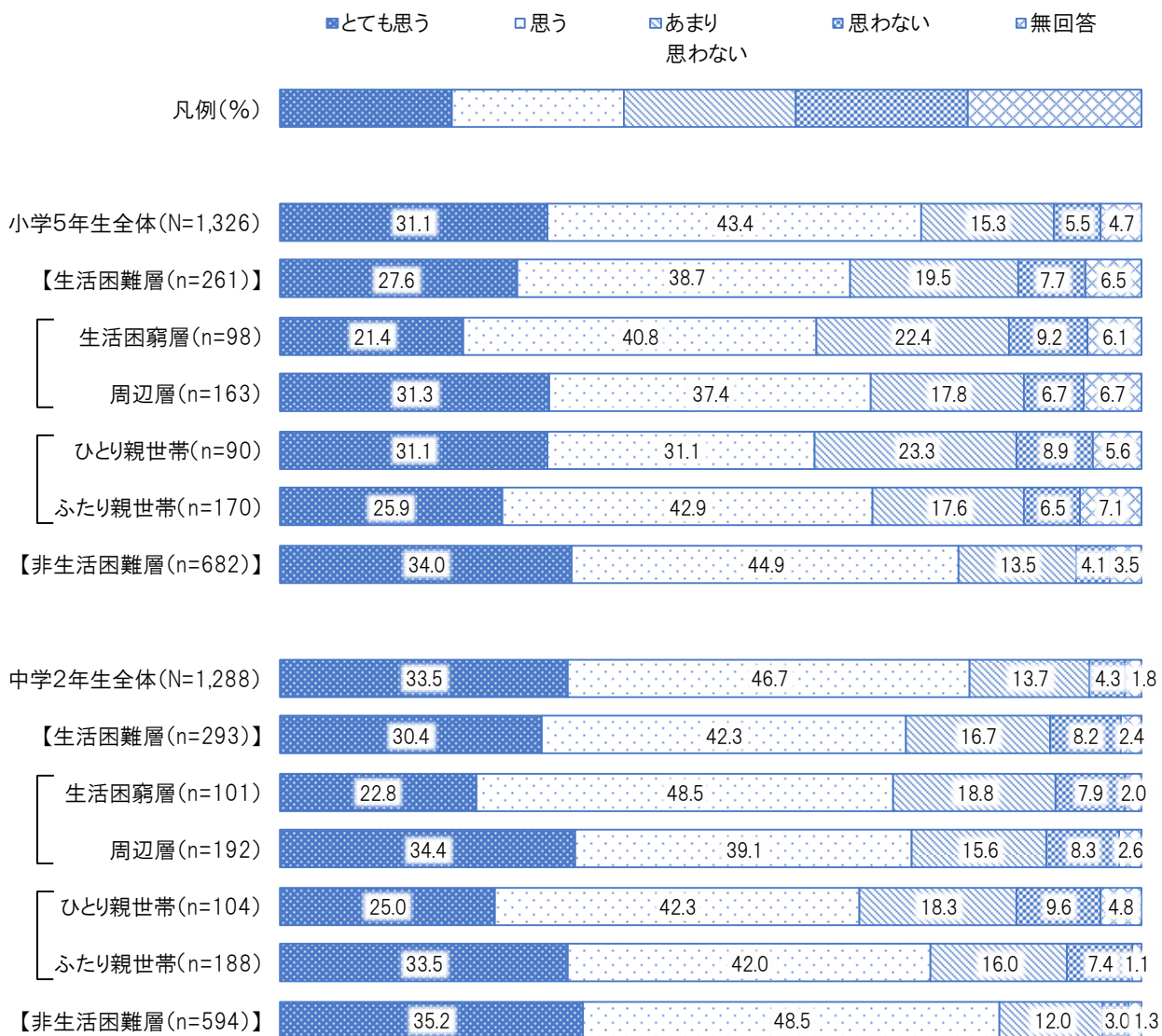
自分は家族に大事にされていると思うことについて「とても思う」の割合は、小学5年生の生活困窮層で49.0%、周辺層で57.7%となっている。中学2年生では、生活困窮層で41.6%、周辺層で50.0%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。



D 自分は友だちに好かれている

自分は友だちに好かれていると思うことについて「とても思う」の割合は、小学5年生の生活困窮層で21.4%, 周辺層で31.3%となっている。中学2年生では, 生活困窮層で22.8%, 周辺層で34.4%となっており, 生活困難度が高い層ほど低くなっている。

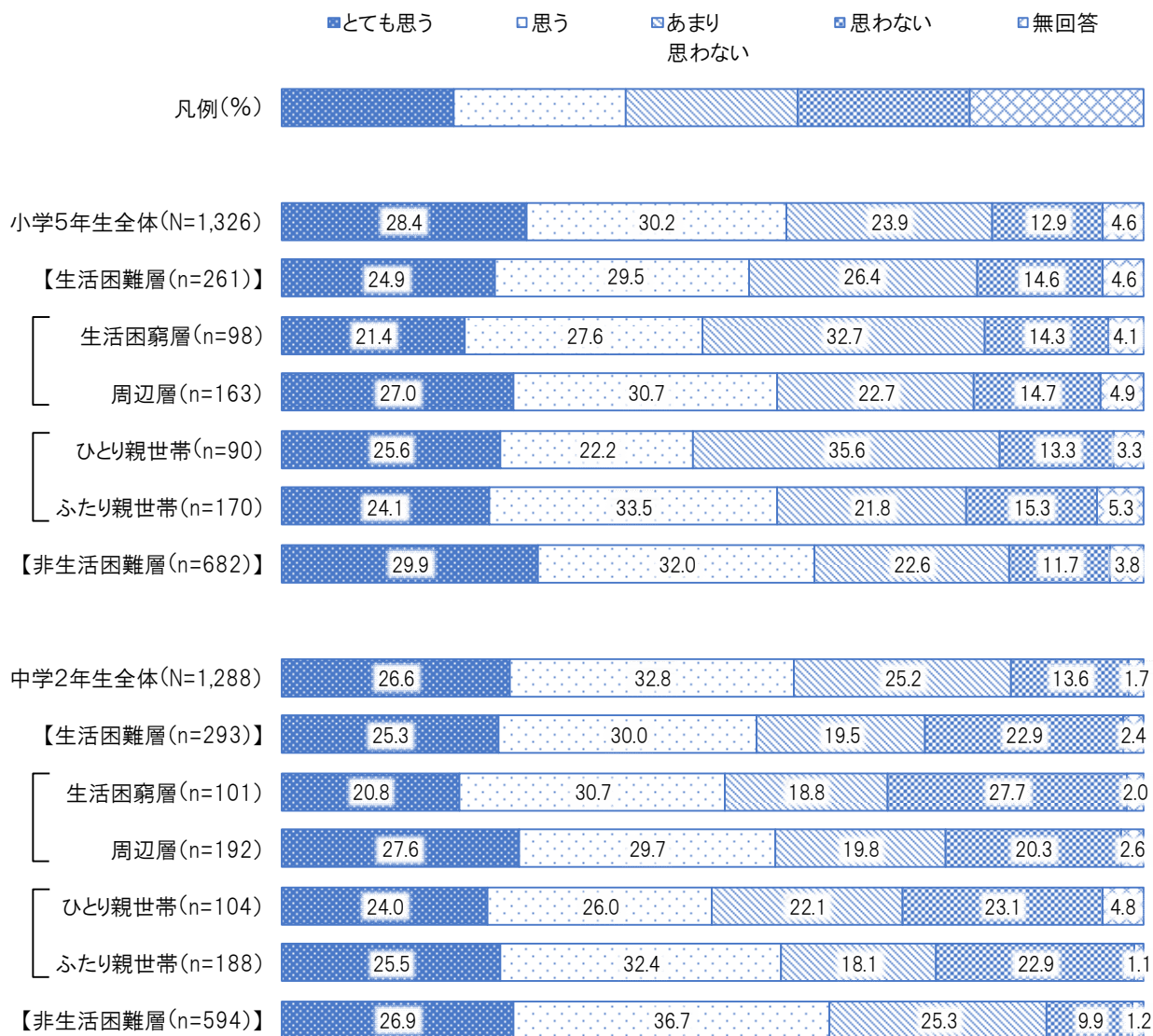
生活困難層世帯タイプ別では, 中学2年生のひとり親世帯で「とても思う」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



E 不安に感じることはない

不安に感じることはないと思うことについて「とても思う」の割合は、小学5年生の生活困窮層で21.4%、周辺層で27.0%となっている。中学2年生では、生活困窮層で20.8%、周辺層で27.6%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

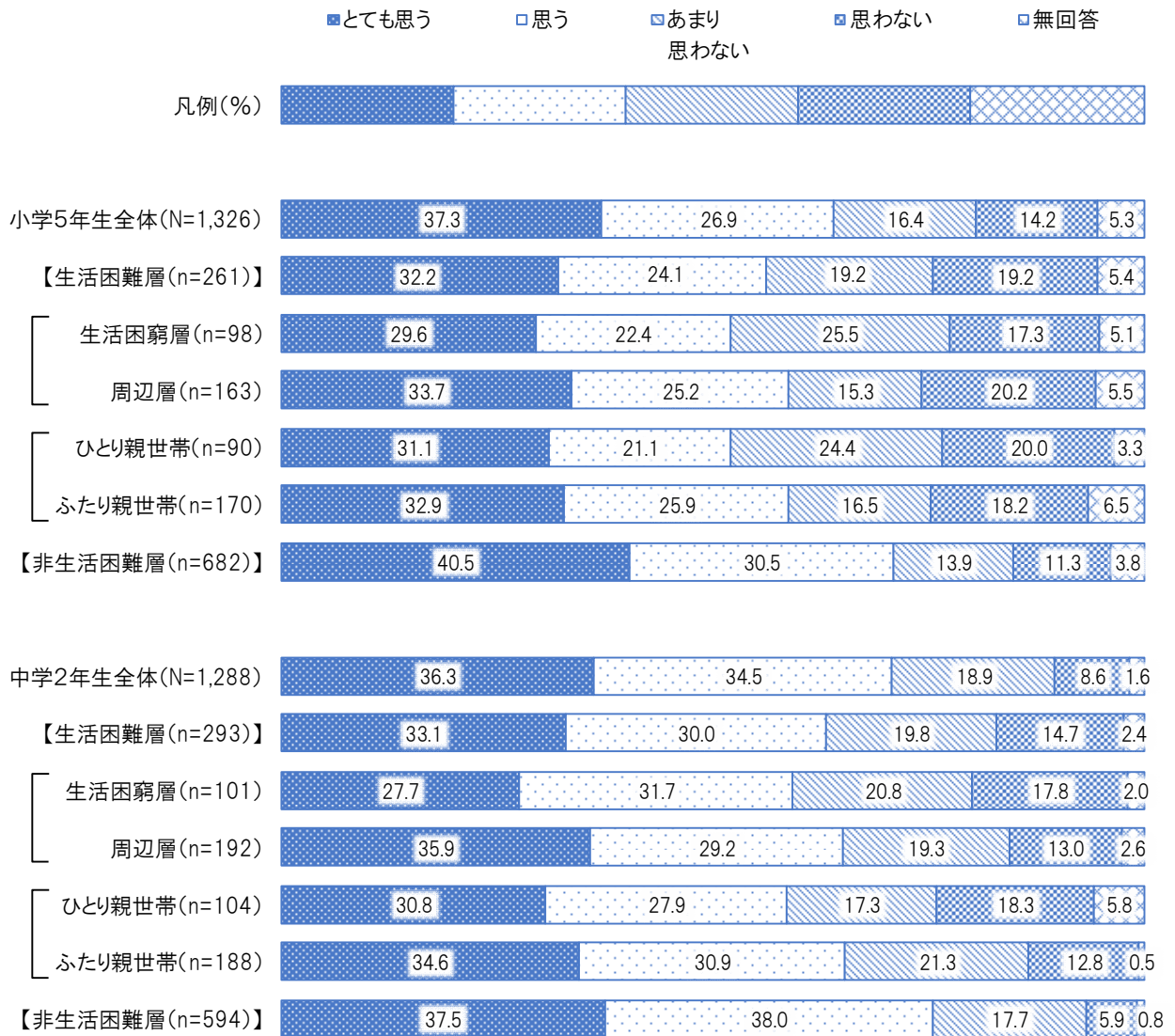
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともにひとり親世帯で「思う」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



F 孤独と感ずることはない

孤独と感ずることはないと思うことについて「とても思う」の割合は、小学5年生の生活困窮層で29.6%、周辺層で33.7%となっている。中学2年生では、生活困窮層で27.7%、周辺層で35.9%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

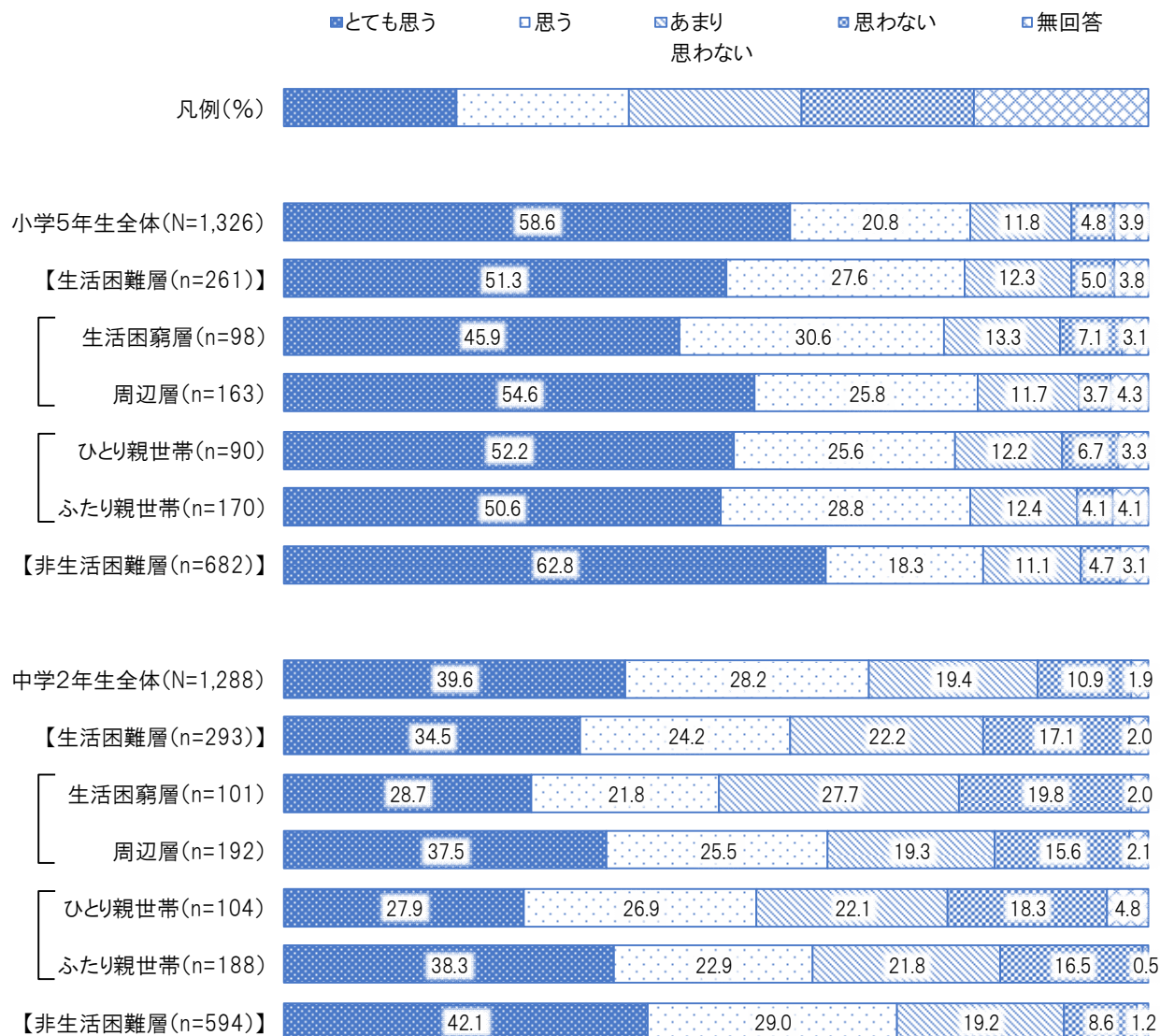
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「とても思う」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



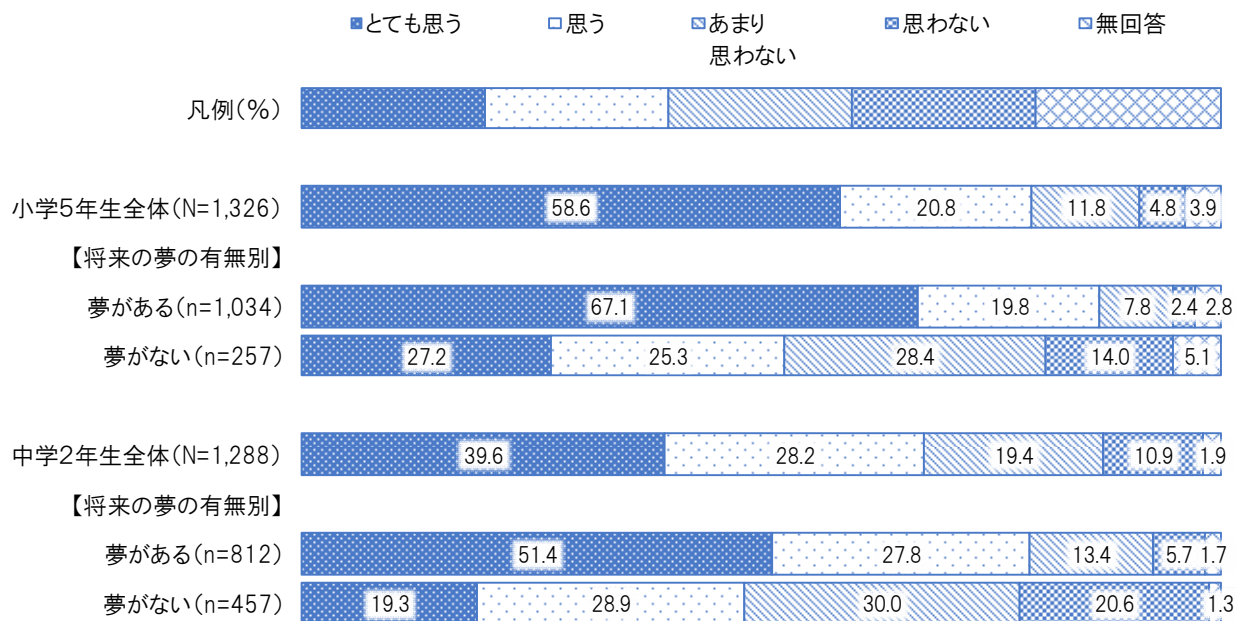
G 自分の将来が楽しみだ

自分の将来が楽しみだと思うことについて「とても思う」の割合は、小学5年生の生活困窮層で45.9%、周辺層で54.6%となっている。中学2年生では、生活困窮層で28.7%、周辺層で37.5%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「とても思う」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



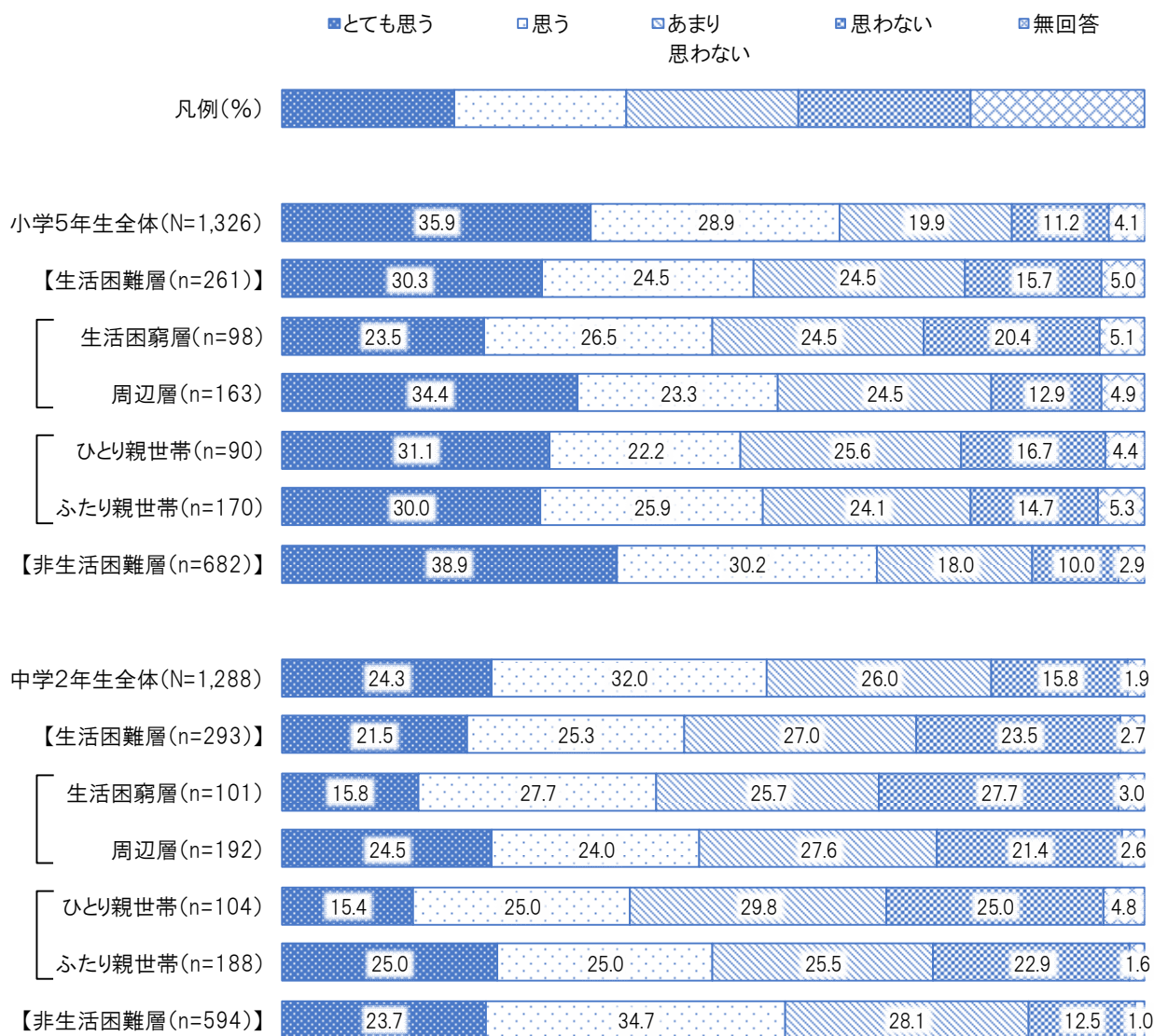
将来の夢の有無別（問5）でみると、小学5年生、中学2年生ともに、夢がある層では「とても思う」の割合が、夢がない層を大きく上回っている。



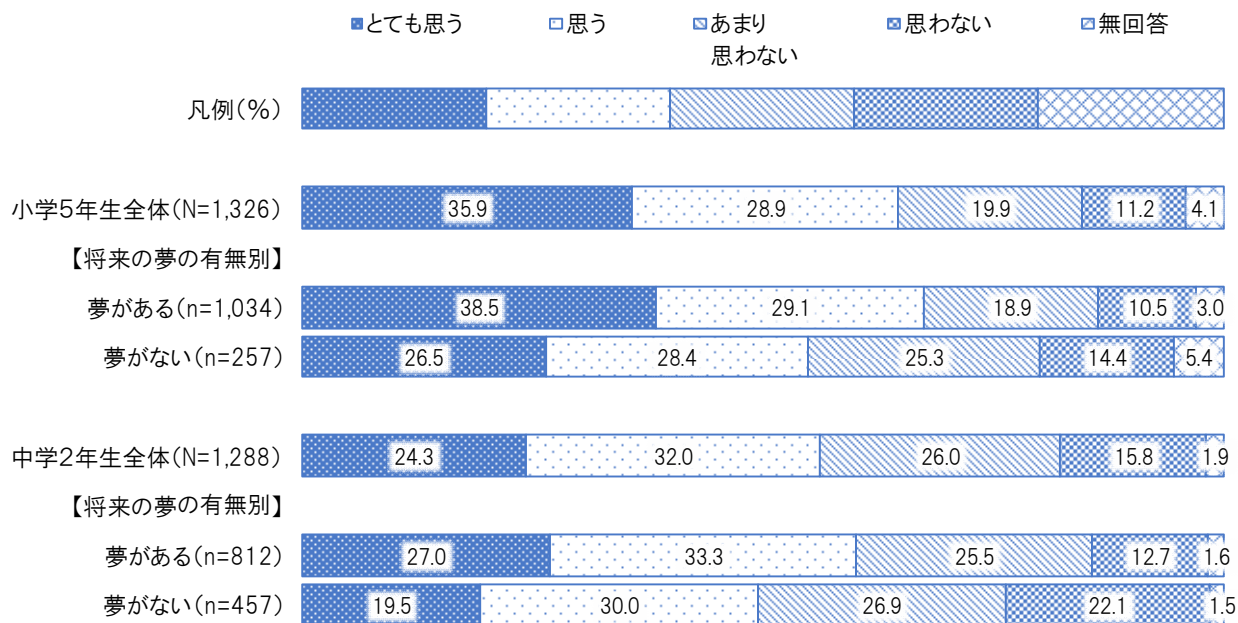
H 自分のことが好きだ

自分のことが好きだと思うことについて「とても思う」の割合は、小学5年生の生活困窮層で23.5%、周辺層で34.4%となっている。中学2年生では、生活困窮層で15.8%、周辺層で24.5%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「とても思う」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



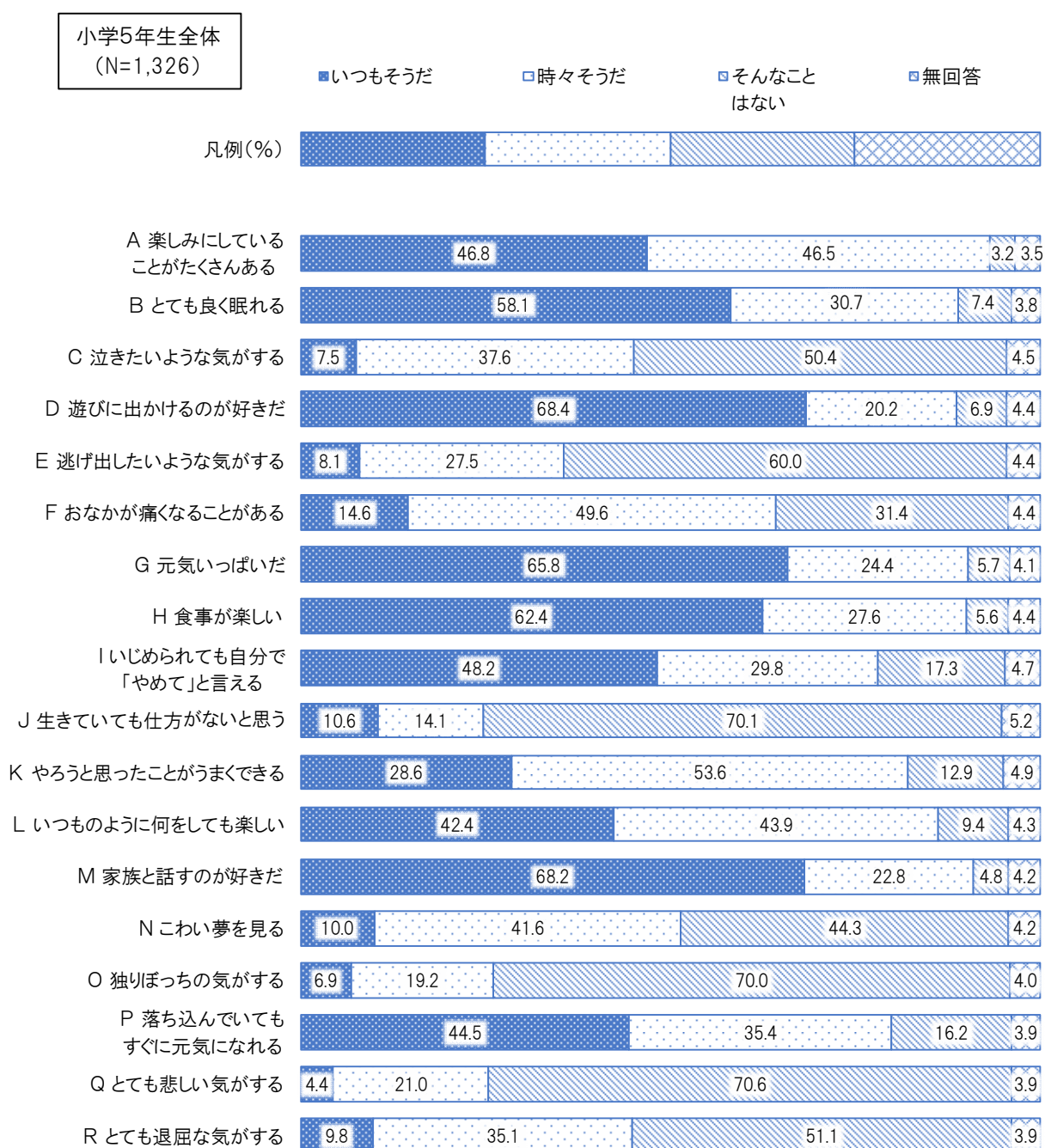
将来の夢の有無別（問5）でみると、小学5年生、中学2年生ともに夢がある層では、夢がない層に比べ「とても思う」の割合が高くなっている。



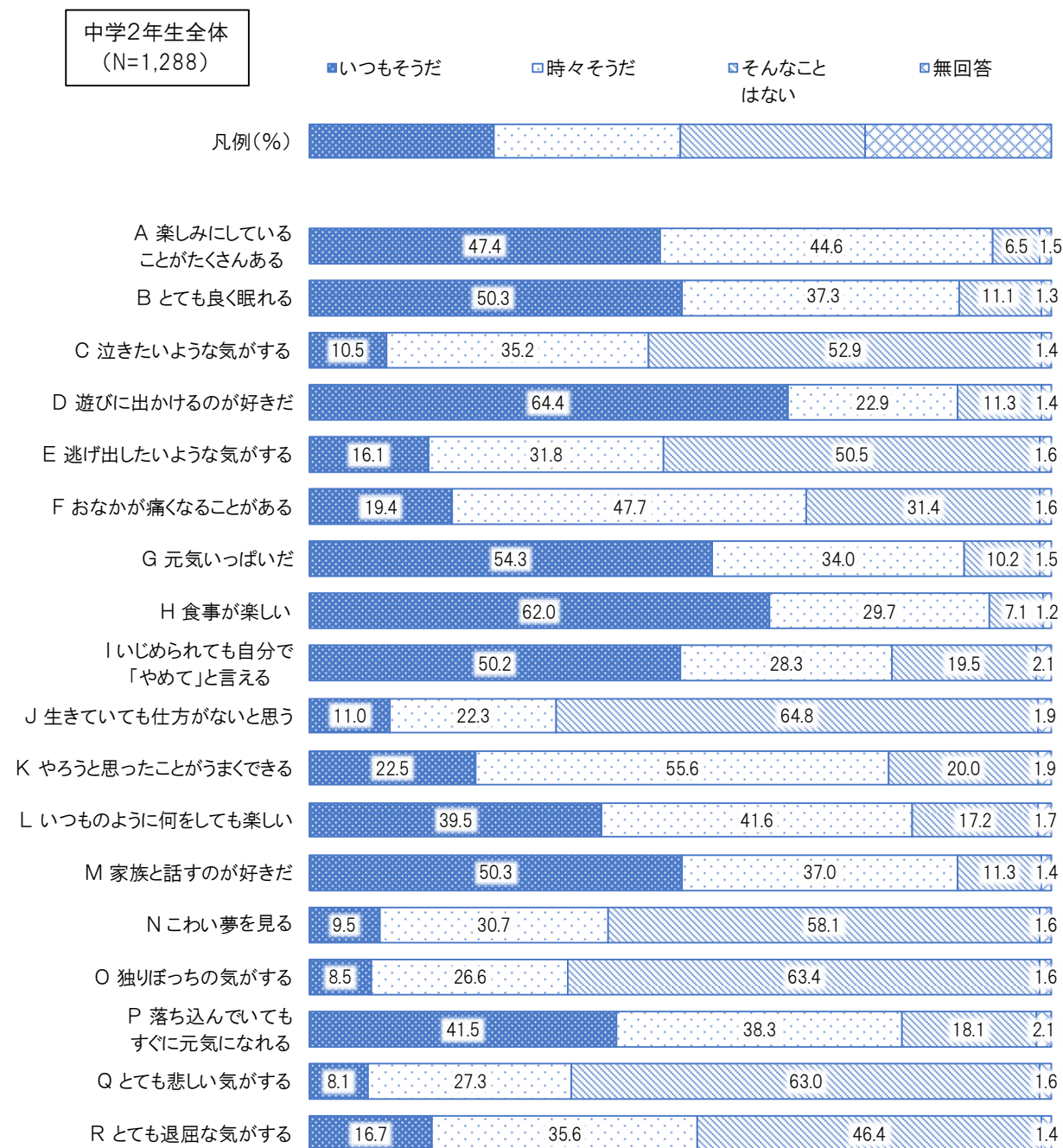
(2) 心の状態

子／問 40 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。この1週間はどんな1週間だったかあてはまるところに○をつけてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

心の状態については、小学5年生全体では「いつもそうだ」の割合が高い順に「D 遊びに出かけるのが好きだ」(68.4%)、「M 家族と話すのが好きだ」(68.2%)、「G 元気いっぱいだ」(65.8%)、「H 食事が楽しい」(62.4%)となっている。一方、「そんなことはない」では「Q とても悲しい気がする」(70.6%)、「J 生きていても仕方がないと思う」(70.1%)、「O 独りぼっちな気がする」(70.0%)などがあげられる。



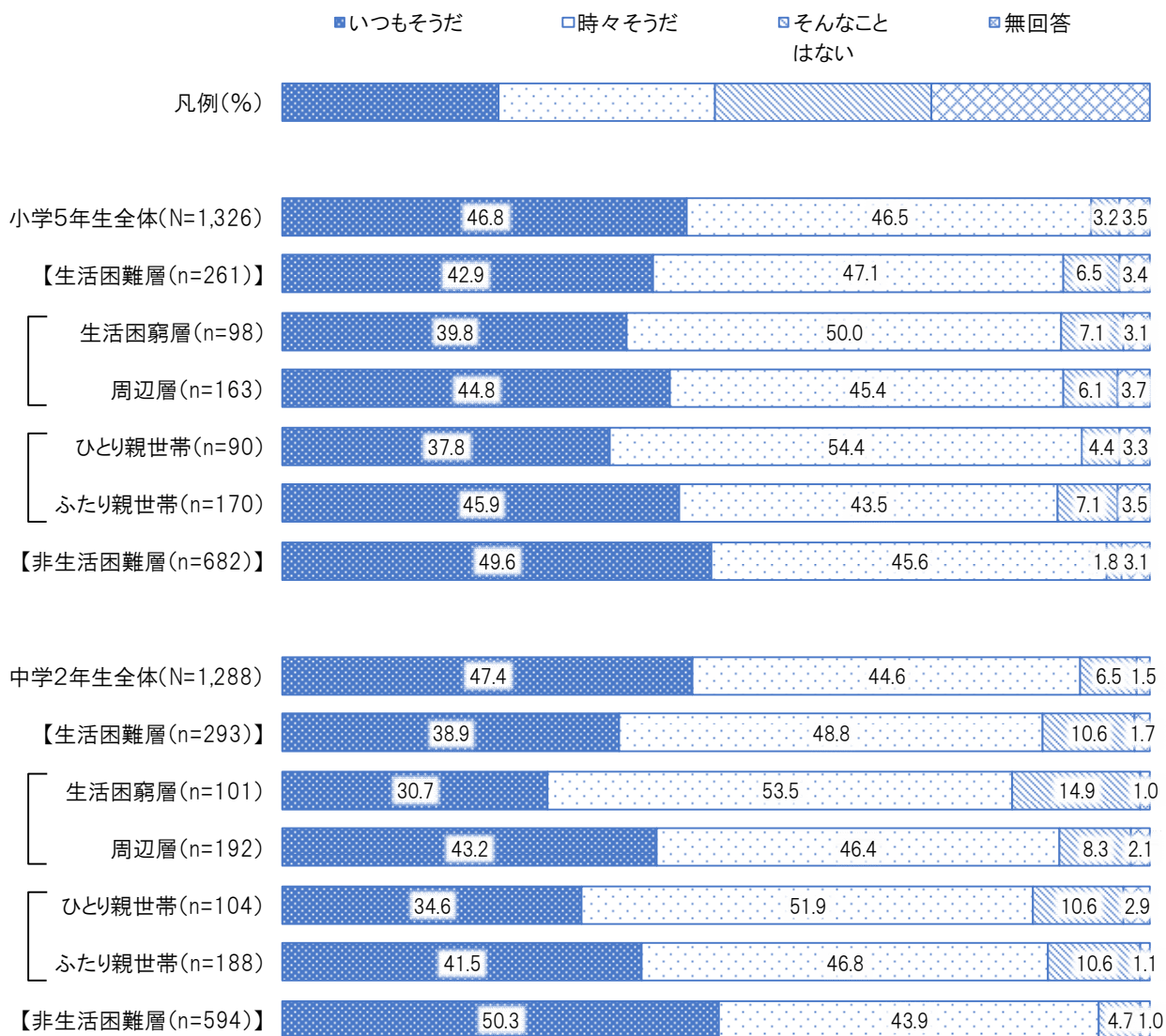
中学2年生全体では、「いつもそうだ」の割合が高い順に「D 遊びに出かけるのが好きだ」(64.4%)、「H 食事が楽しい」(62.0%)、「G 元気いっぱいだ」(54.3%)となっている。一方、「そんなことはない」では「J 生きていても仕方がないと思う」(64.8%)、「O ひとりぼっちの気がする」(63.4%)、「Q とても悲しい気がする」(63.0%)などがあげられる。



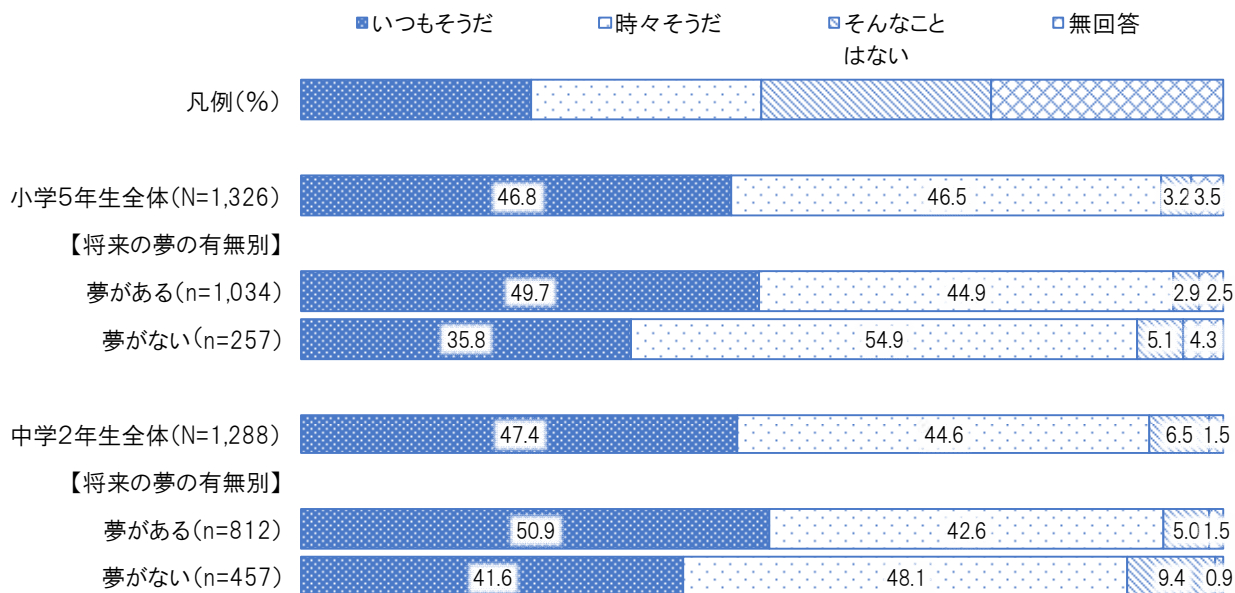
A 楽しみにしていることがたくさんある

楽しみにしていることがたくさんあることについて「いつもそうだ」の割合は、小学5年生の生活困窮層で39.8%、周辺層で44.8%となっている。中学2年生では、生活困窮層で30.7%、周辺層で43.2%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともにひとり親世帯で「いつもそうだ」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



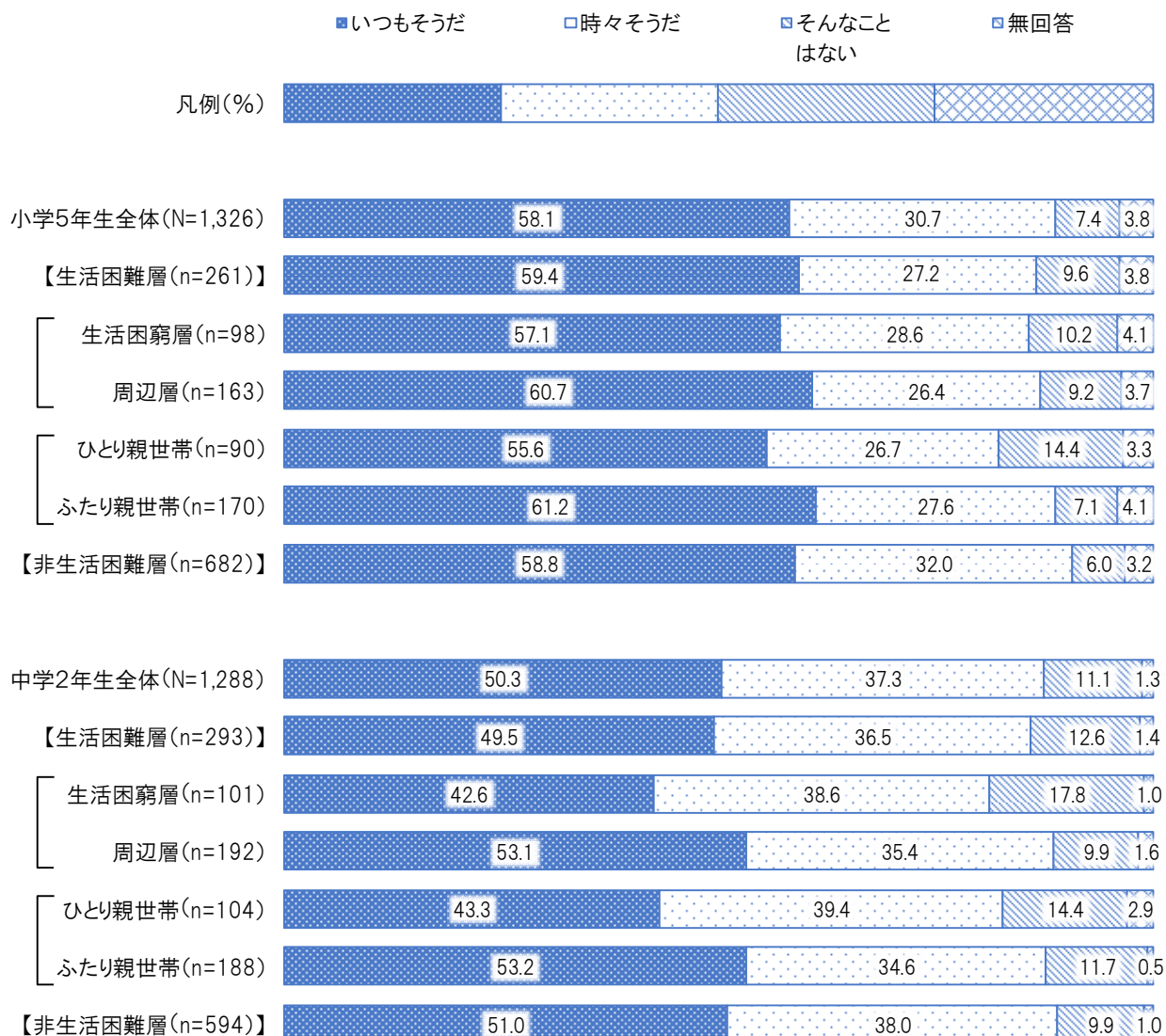
将来の夢の有無別（問5）でみると、小学5年生、中学2年生ともに夢がある層では、夢がない層に比べ「いつもそうだ」の割合が高くなっている。



B とても良く眠れる

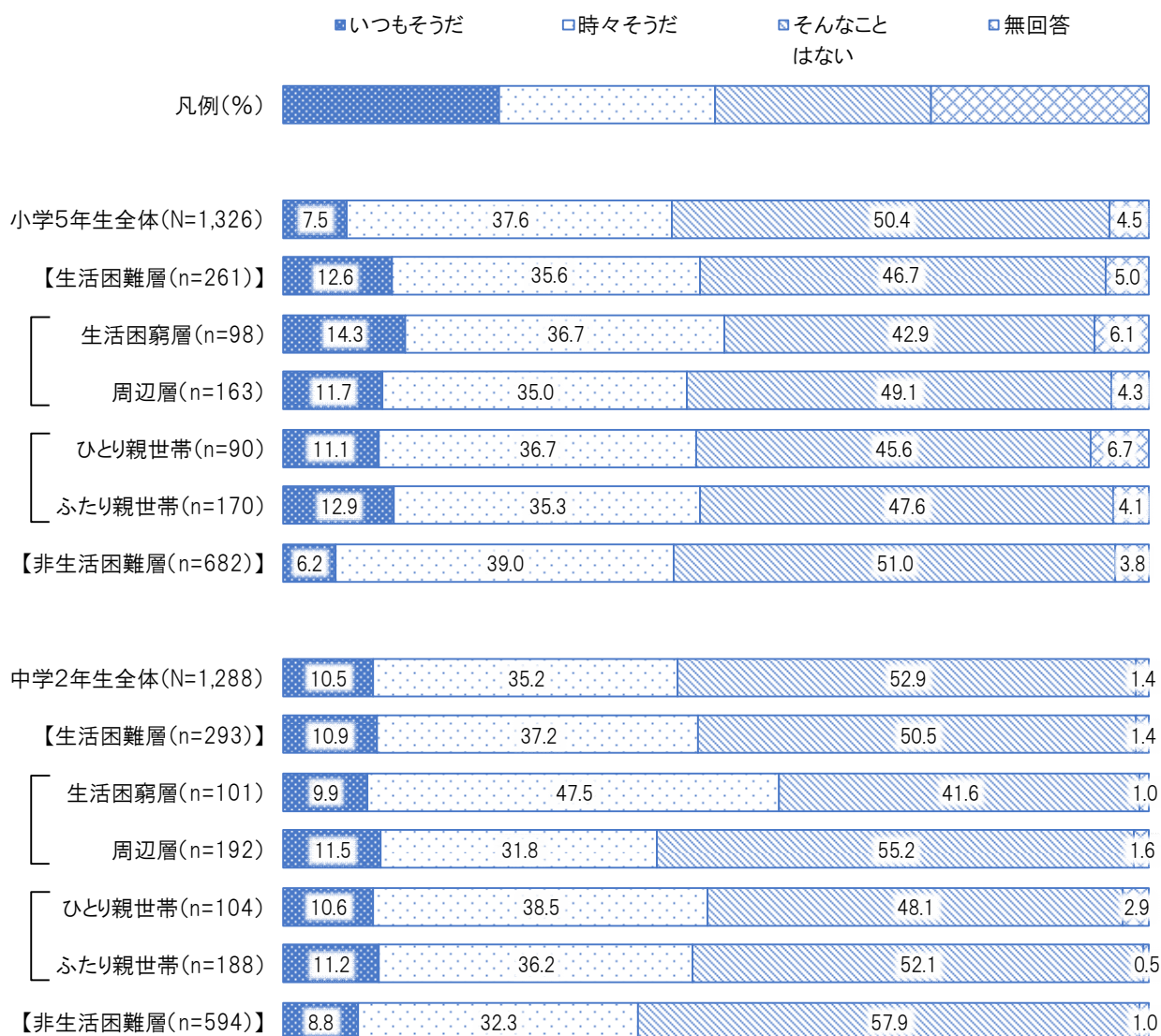
とても良く眠れることについて「いつもそうだ」の割合は、小学5年生の生活困窮層で57.1%，周辺層で60.7%となっている。中学2年生では、生活困窮層で42.6%，周辺層で53.1%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともにひとり親世帯で「いつもそうだ」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



C 泣きたいような気がする

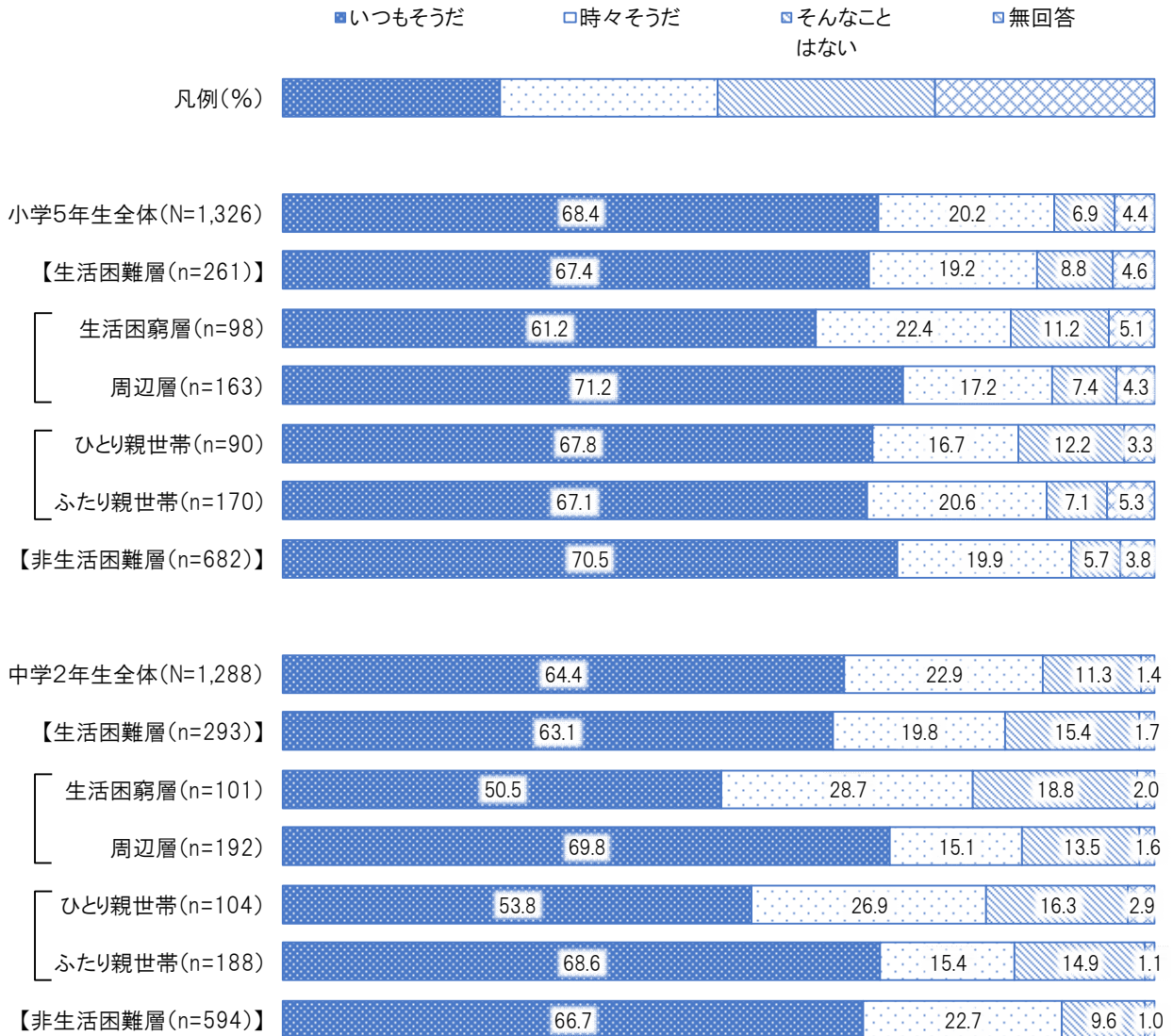
泣きたいような気がするということについて「いつもそうだ」「時々そうだ」の合計は、小学5年生の生活困窮層で 51.0%，周辺層で 46.7%となっている。中学2年生では、生活困窮層で 57.4%，周辺層で 43.3%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。



D 遊びに出かけるのが好きだ

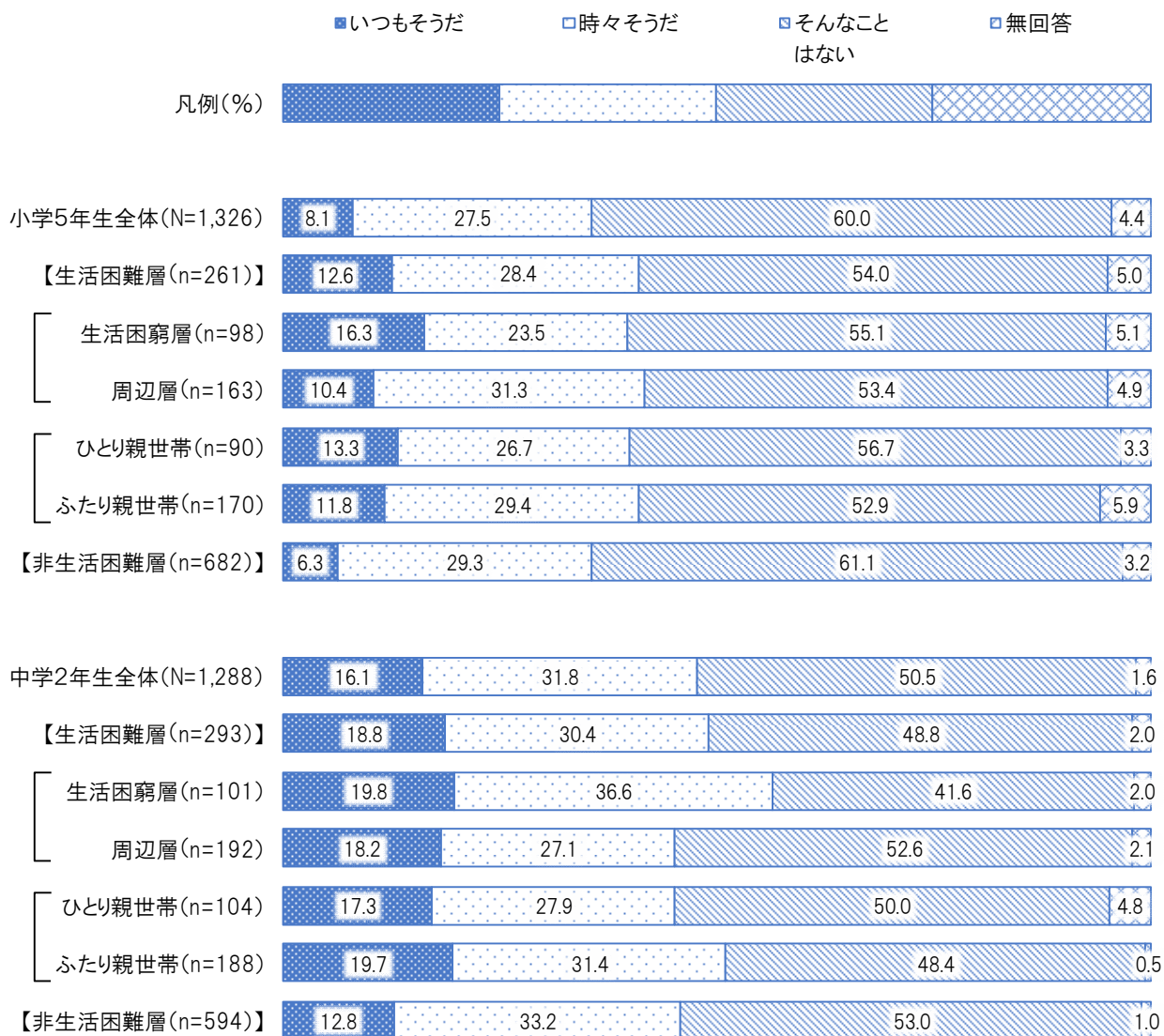
遊びに出かけるのが好きであることについて「いつもそうだ」の割合は、小学5年生の生活困窮層で61.2%、周辺層で71.2%となっている。中学2年生では、生活困窮層で50.5%、周辺層で69.8%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「いつもそうだ」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



E 逃げ出したいような気がする

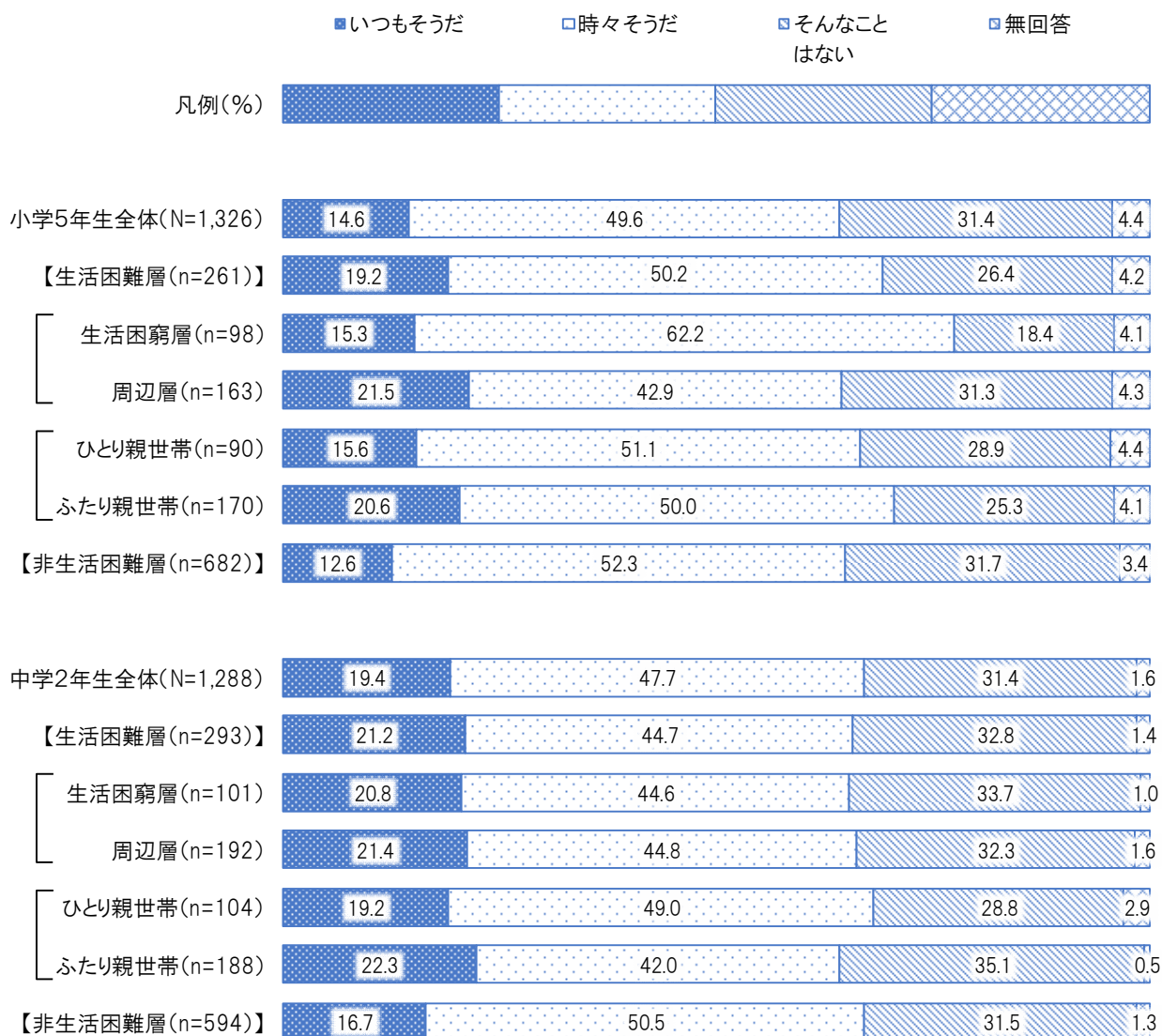
逃げ出したいような気がするということについて「いつもそうだ」「時々そうだ」の合計は、小学5年生の生活困窮層で39.8%、周辺層で41.7%となっている。中学2年生では、生活困窮層で56.4%、周辺層で45.3%となっており、生活困窮層で高くなっている。



F おなかが痛くなることがある

おなかが痛くなることがあることについて「いつもそうだ」「時々そうだ」の合計は、小学5年生の生活困窮層で77.5%、周辺層で64.4%となっており、生活困窮層で高くなっている。中学2年生では、生活困窮層で65.4%、周辺層で66.2%となっている。

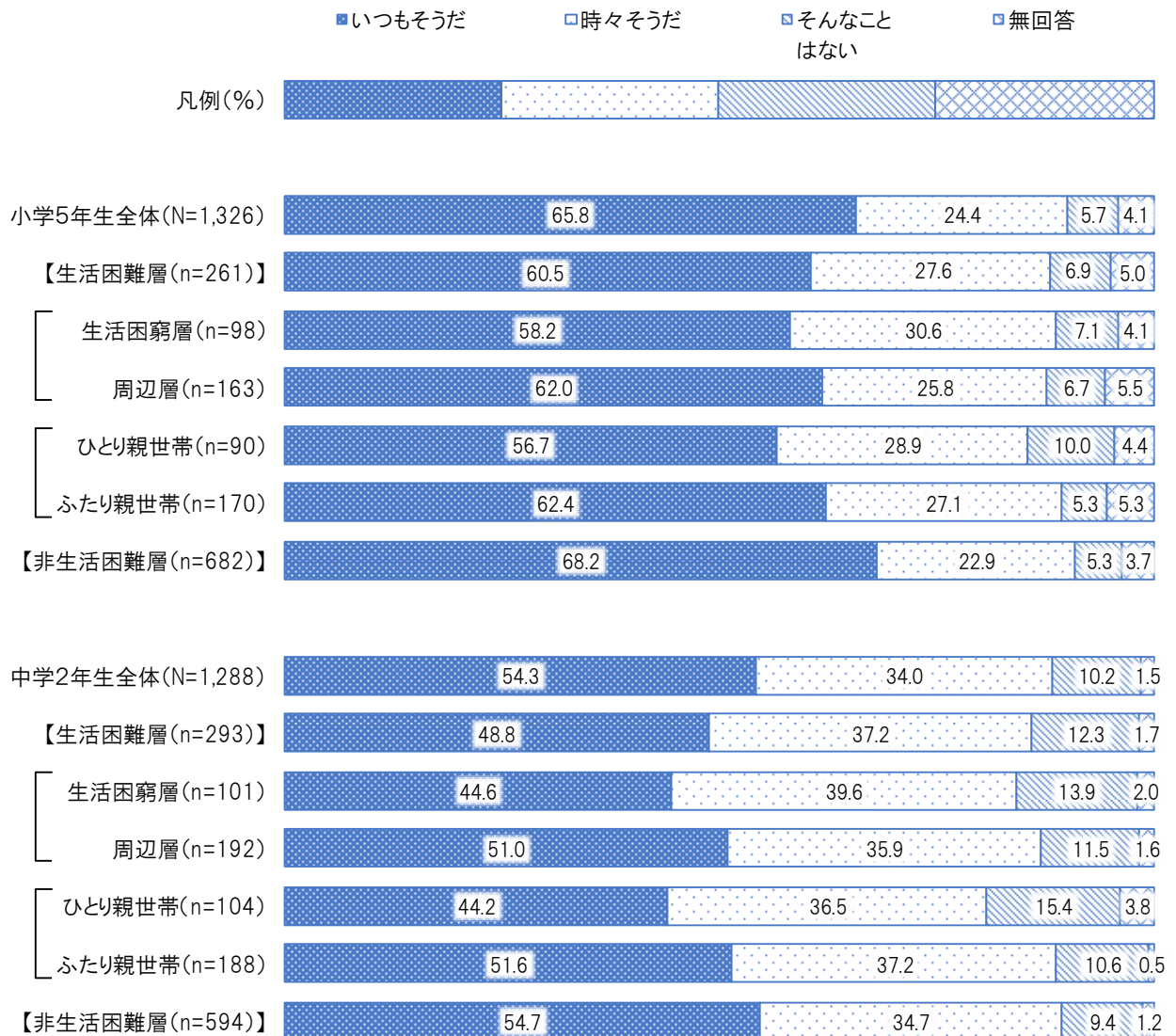
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともにふたり親世帯で「いつもそうだ」の割合がひとり親世帯に比べて高くなっている。



G 元気いっぱいだ

元気いっぱいであることについて「いつもそうだ」の割合は、小学5年生の生活困窮層で58.2%、周辺層で62.0%となっている。中学2年生では、生活困窮層で44.6%、周辺層で51.0%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

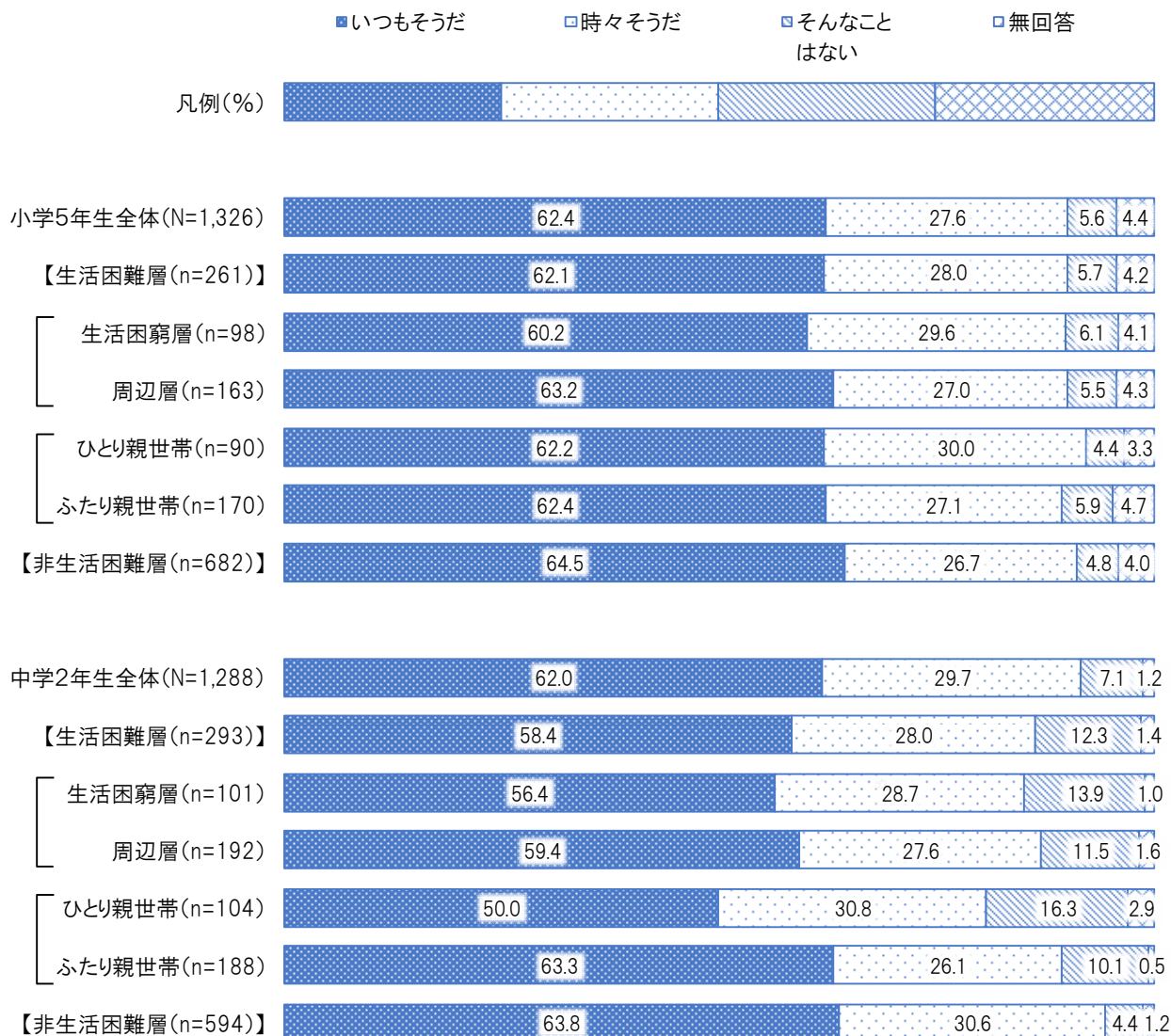
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともにひとり親世帯で「いつもそうだ」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



H 食事が楽しい

食事が楽しいことについて「いつもそうだ」の割合は、小学5年生の生活困窮層で60.2%、周辺層で63.2%となっている。中学2年生では、生活困窮層で56.4%、周辺層で59.4%となっており、生活困難度が高い層でやや低くなっている。

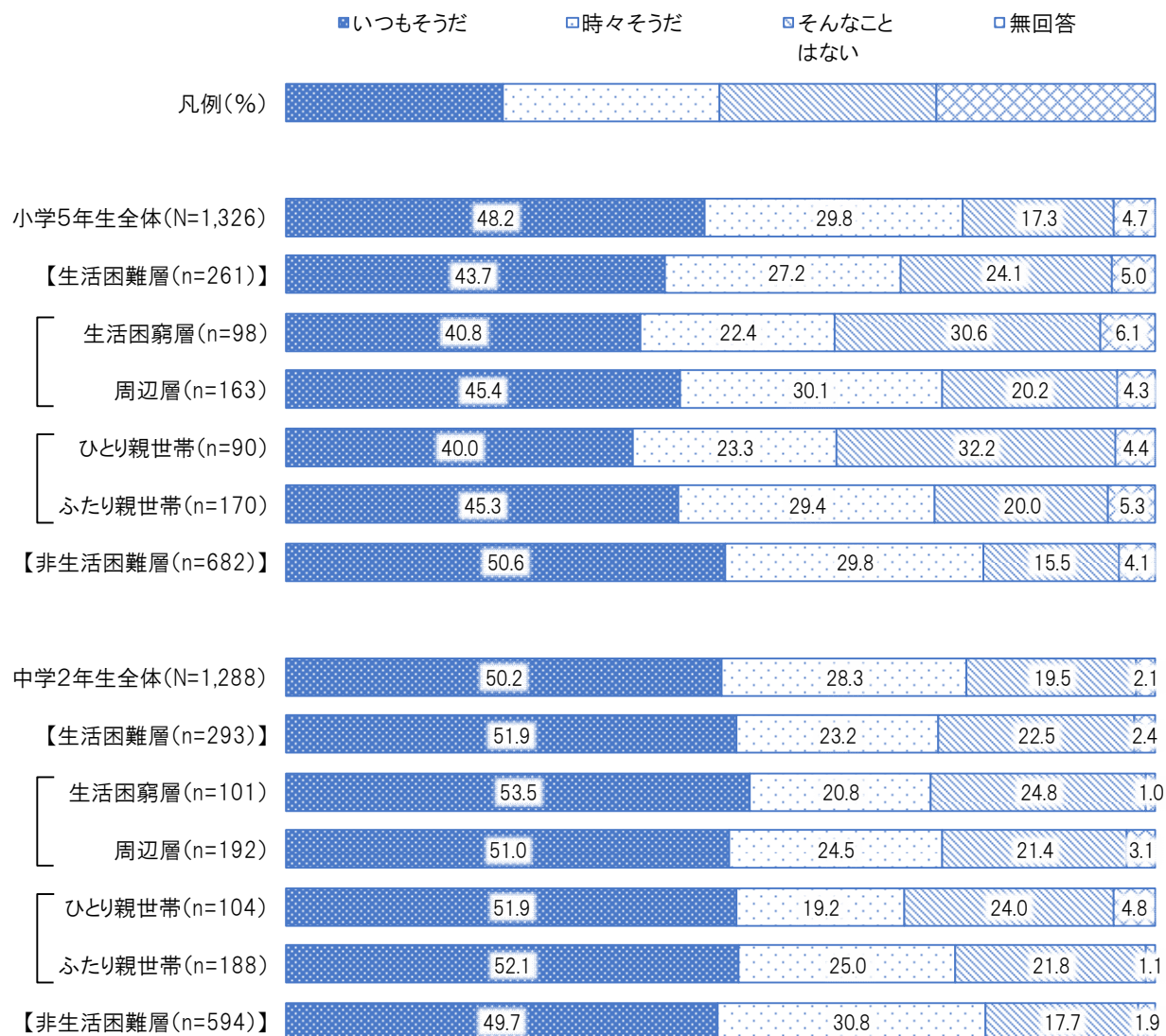
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「いつもそうだ」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



Ⅰ いじめられても自分で「やめて」と言える

いじめられても自分で「やめて」と言えることについて「いつもそうだ」「時々そうだ」の合計は、小学5年生の生活困窮層で63.2%、周辺層で75.5%となっており、生活困窮層で低くなっている。中学2年生では、生活困窮層で74.3%、周辺層で75.5%となっている。

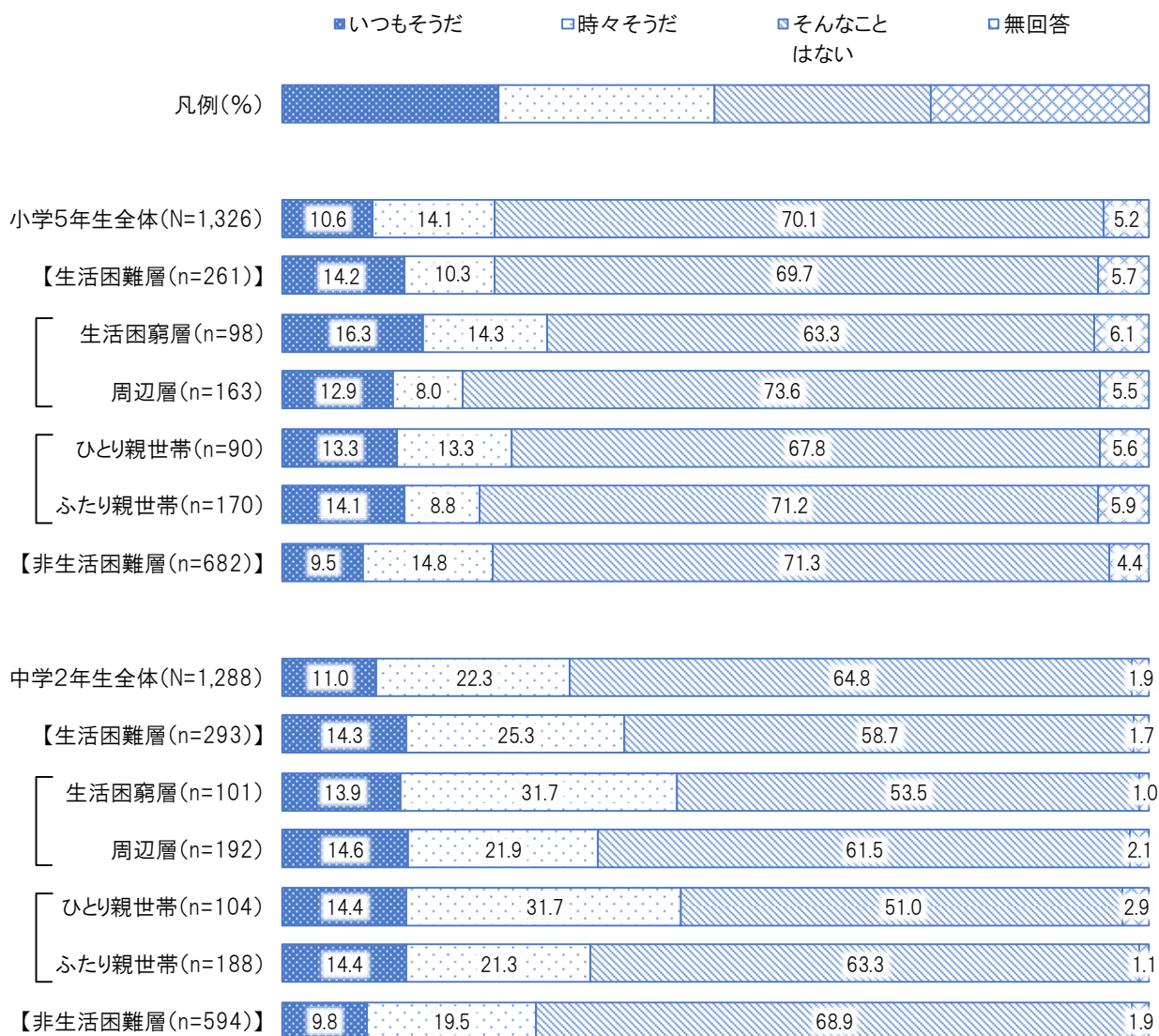
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともにひとり親世帯で「いつもそうだ」「時々そうだ」の合計がふたり親世帯に比べて低くなっている。



J 生きていても仕方がないと思う

生きていても仕方がないと思うことについて「いつもそうだ」「時々そうだ」の合計は、小学5年生の生活困窮層で30.6%、周辺層で20.9%となっている。中学2年生では、生活困窮層で45.6%、周辺層で36.5%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

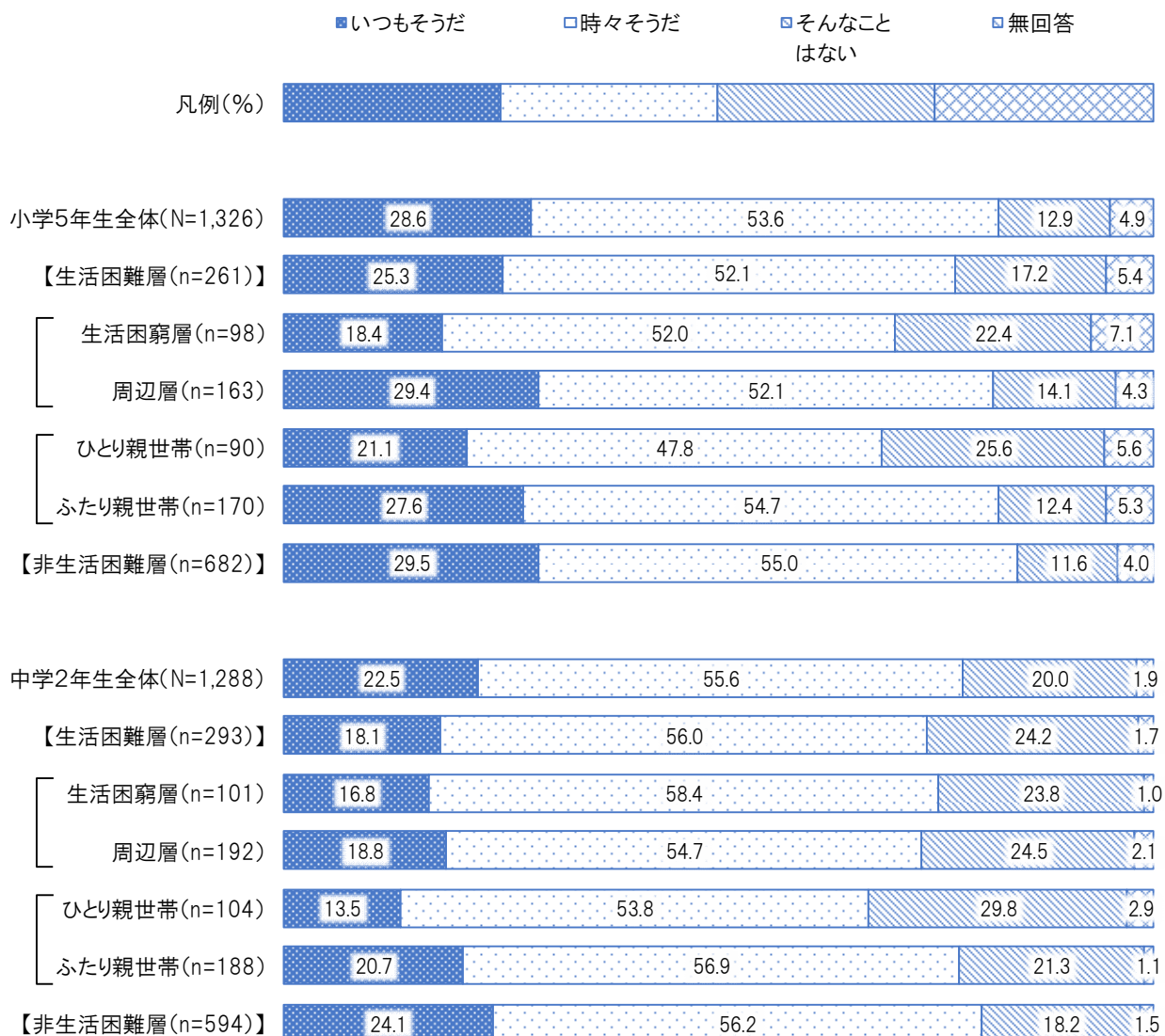
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともにひとり親世帯で「時々そうだ」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



K やろうと思ったことがうまくできる

やろうと思ったことがうまくできることについて「いつもそうだ」の割合は、小学5年生の生活困窮層で18.4%、周辺層で29.4%となっており、生活困窮層で低くなっている。中学2年生では、生活困窮層で16.8%、周辺層で18.8%となっている。

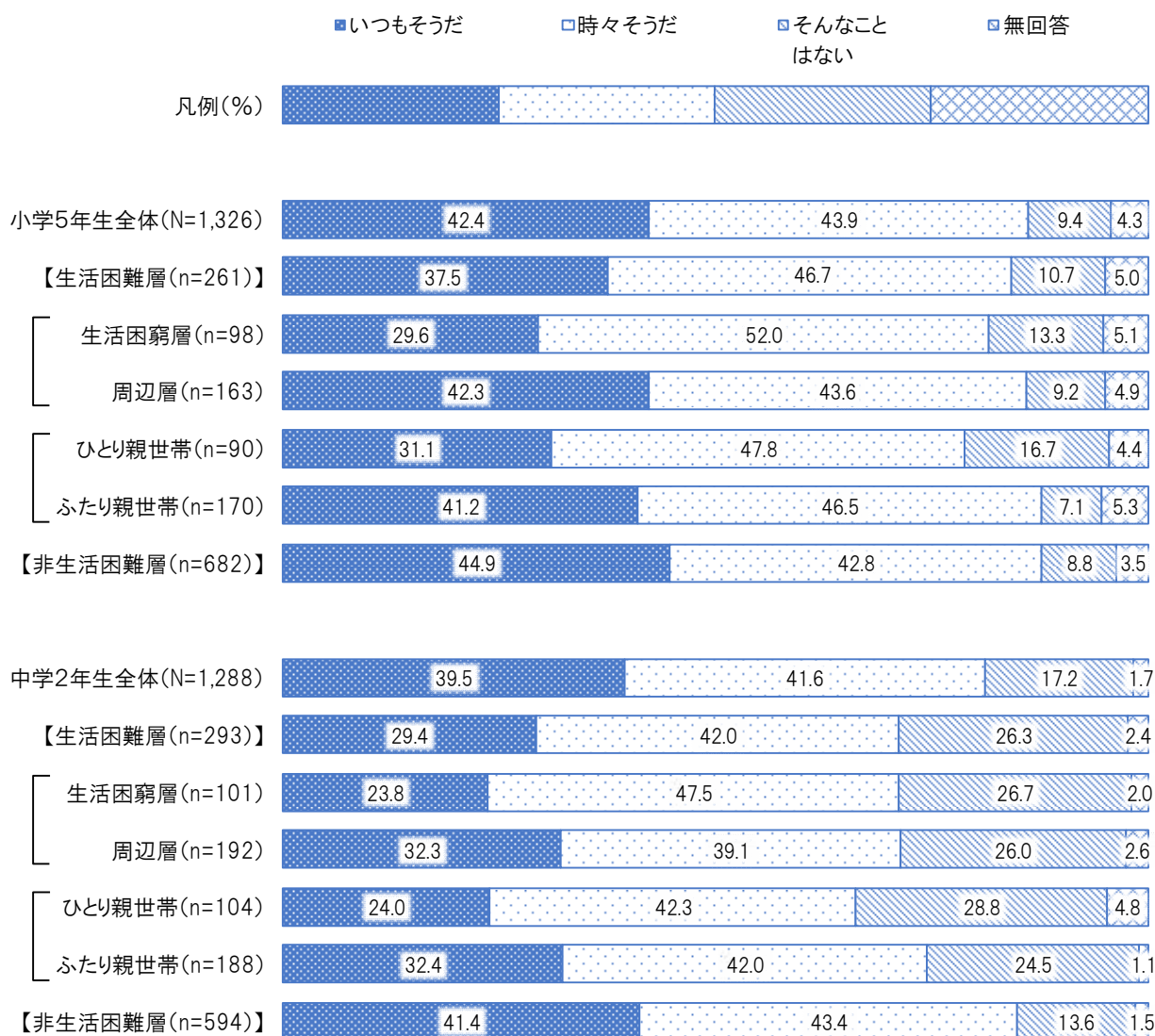
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともにひとり親世帯で「いつもそうだ」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



L いつものように何をしていても楽しい

いつものように何をしていても楽しいと感じることについて「いつもそうだ」の割合は、小学5年生の生活困窮層で29.6%、周辺層で42.3%となっている。中学2年生では、生活困窮層で23.8%、周辺層で32.3%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

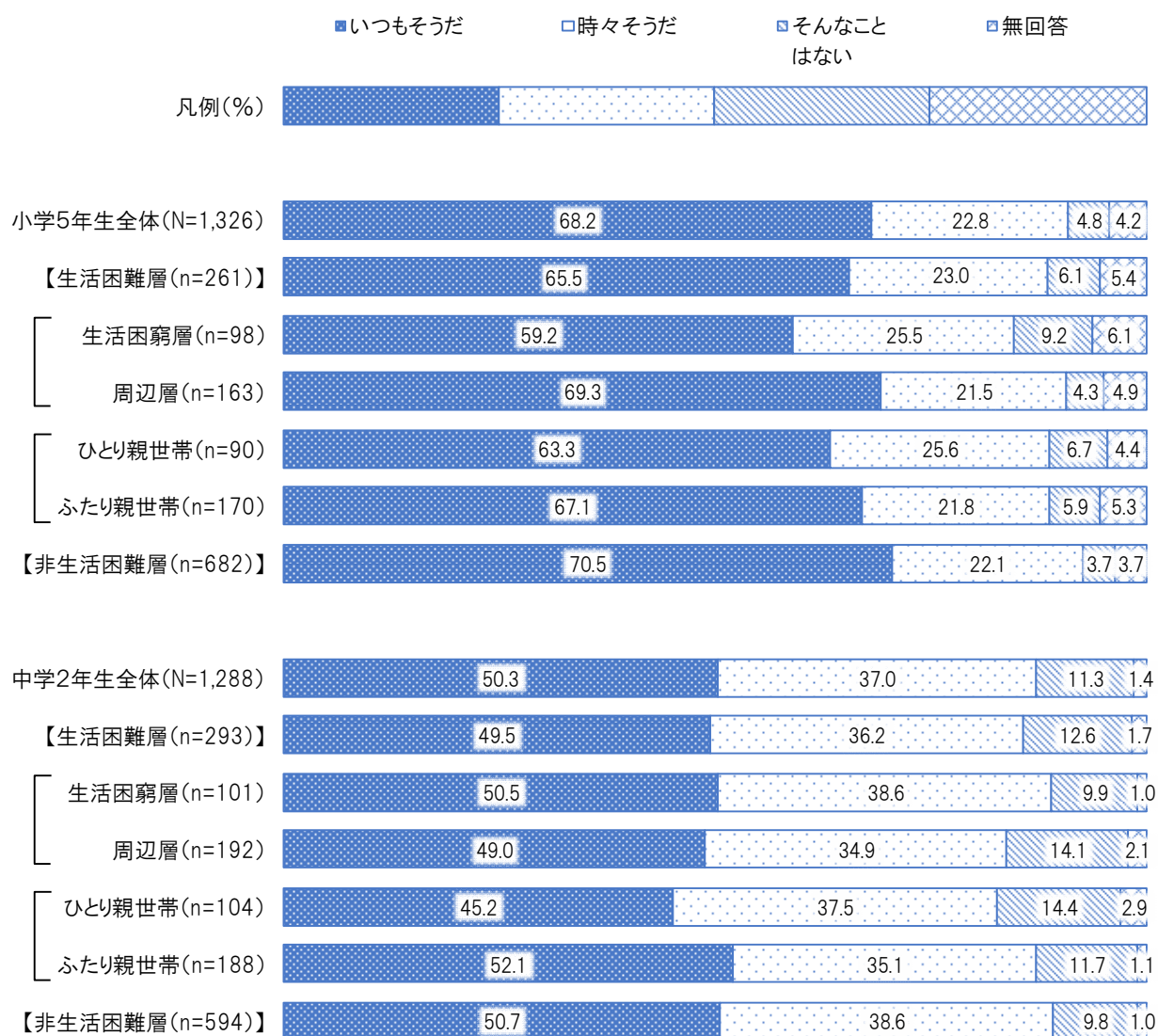
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともにひとり親世帯で「いつもそうだ」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



M 家族と話すのが好きだ

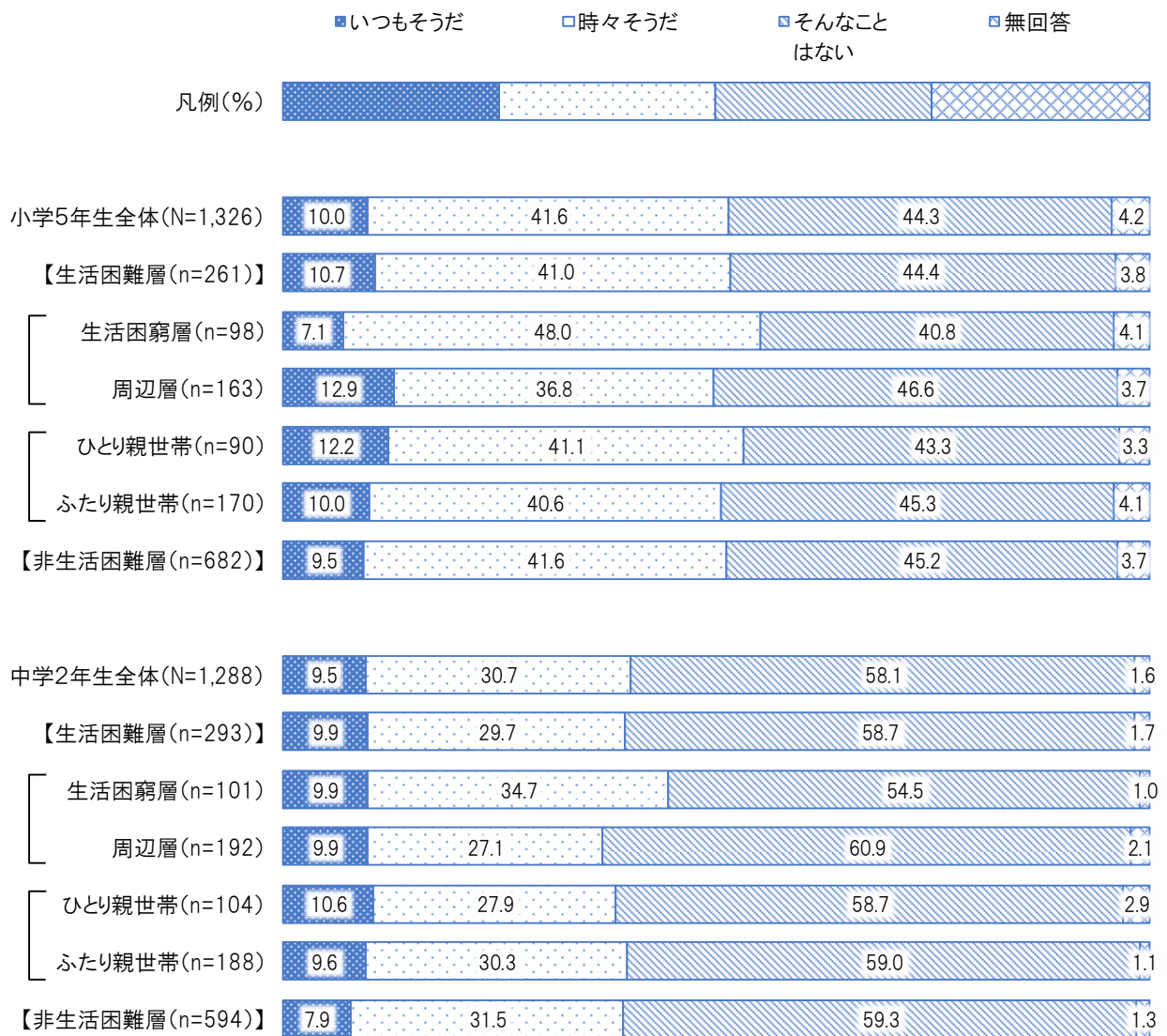
家族と話すのが好きであることについて「いつもそうだ」の割合は、小学5年生の生活困窮層で59.2%、周辺層で69.3%となっており、生活困窮層で低くなっている。中学2年生では、生活困窮層で50.5%、周辺層で49.0%となっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともにひとり親世帯で「いつもそうだ」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



N こわい夢を見る

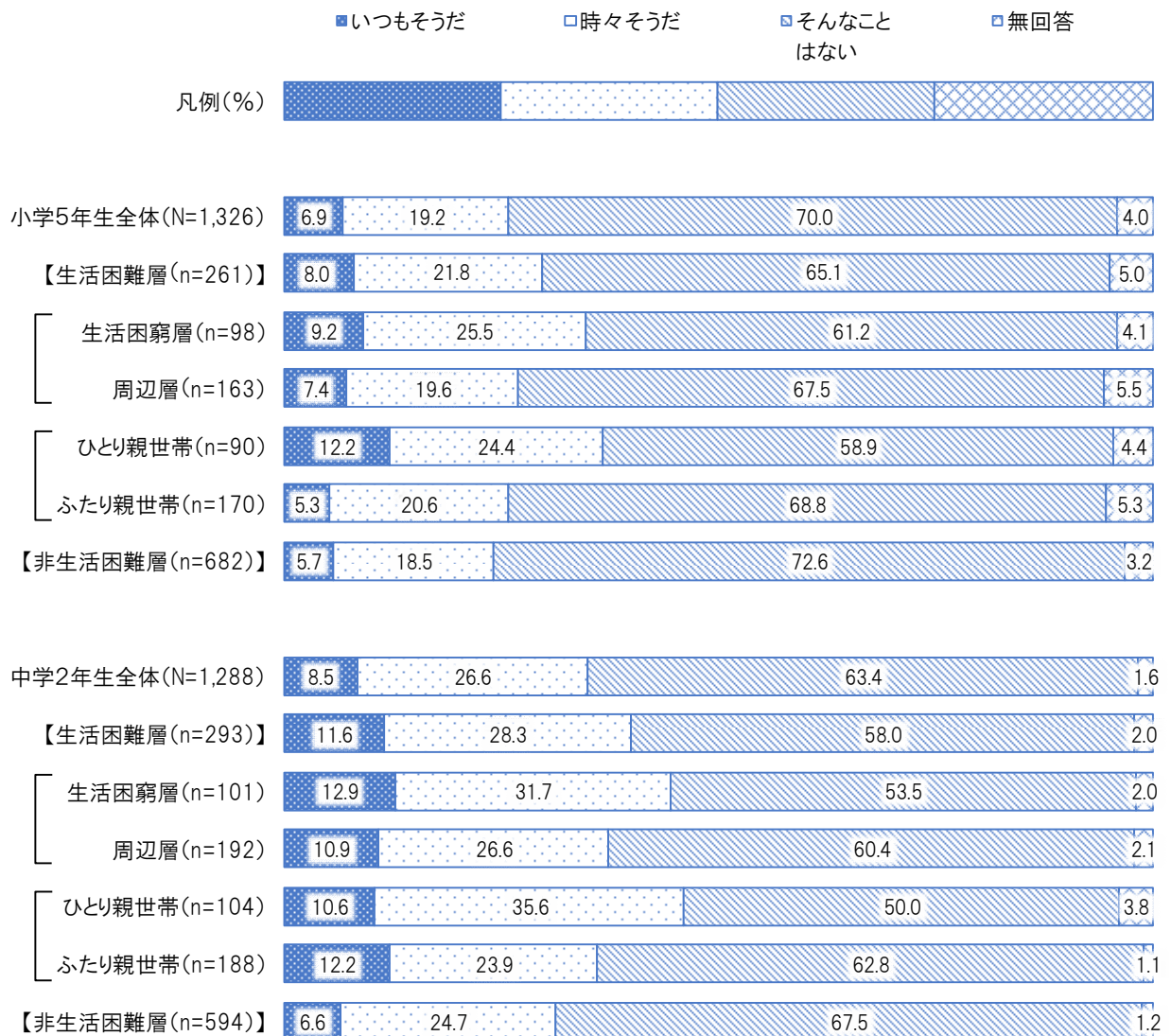
こわい夢を見ることについて「いつもそうだ」「時々そうだ」の合計は、小学5年生の生活困窮層で55.1%、周辺層で49.7%となっている。中学2年生では、生活困窮層で44.6%、周辺層で37.0%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。



○ 独りぼっちの気がする

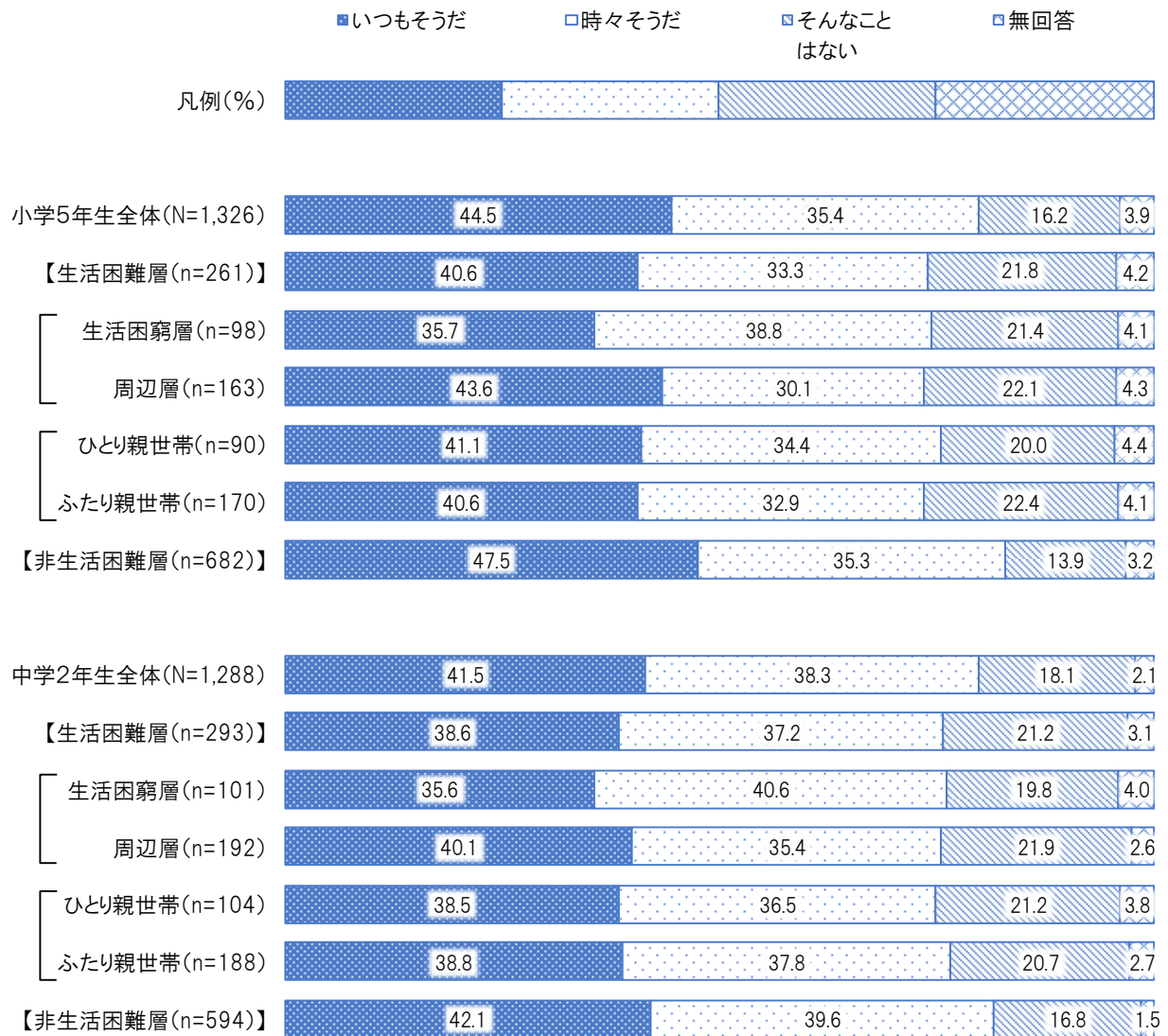
独りぼっちの気がすることについて「いつもそうだ」「時々そうだ」の合計は、小学5年生の生活困窮層で34.7%、周辺層で27.0%となっている。中学2年生では、生活困窮層で44.6%、周辺層で37.5%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともにひとり親世帯で「いつもそうだ」「時々そうだ」の合計がふたり親世帯に比べて高くなっている。



P 落ち込んでいてもすぐに元気になれる

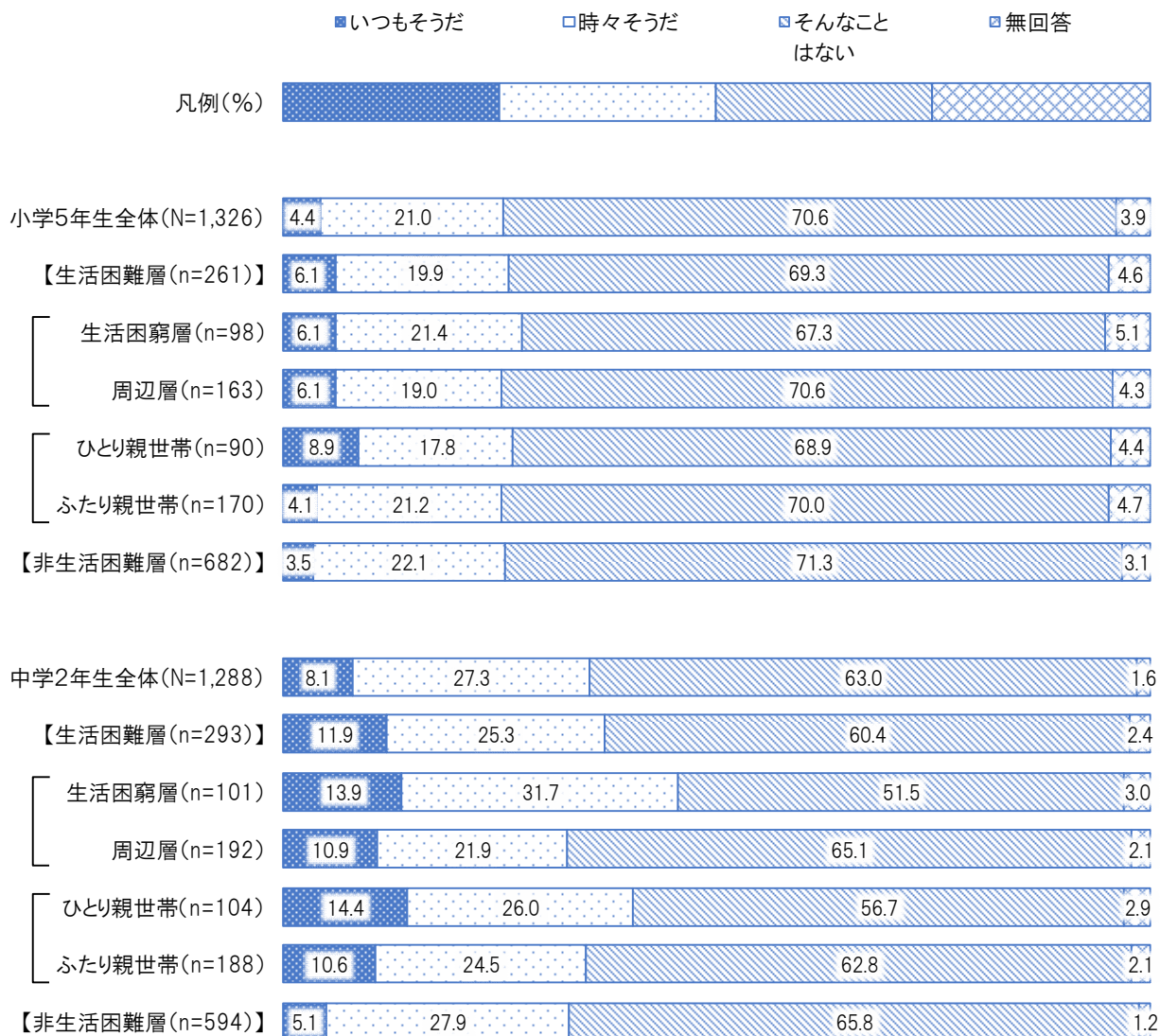
落ち込んでいてもすぐに元気になれることについて「いつもそうだ」の割合は、小学5年生の生活困窮層で 35.7%，周辺層で 43.6%となっている。中学2年生では、生活困窮層で 35.6%，周辺層で 40.1%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。



Q とても悲しい気がする

とても悲しい気がするということについて「いつもそうだ」「時々そうだ」の合計は、小学5年生の生活困窮層で27.5%、周辺層で25.1%となっている。中学2年生では、生活困窮層で45.6%、周辺層で32.8%となっており、生活困窮層で高くなっている。

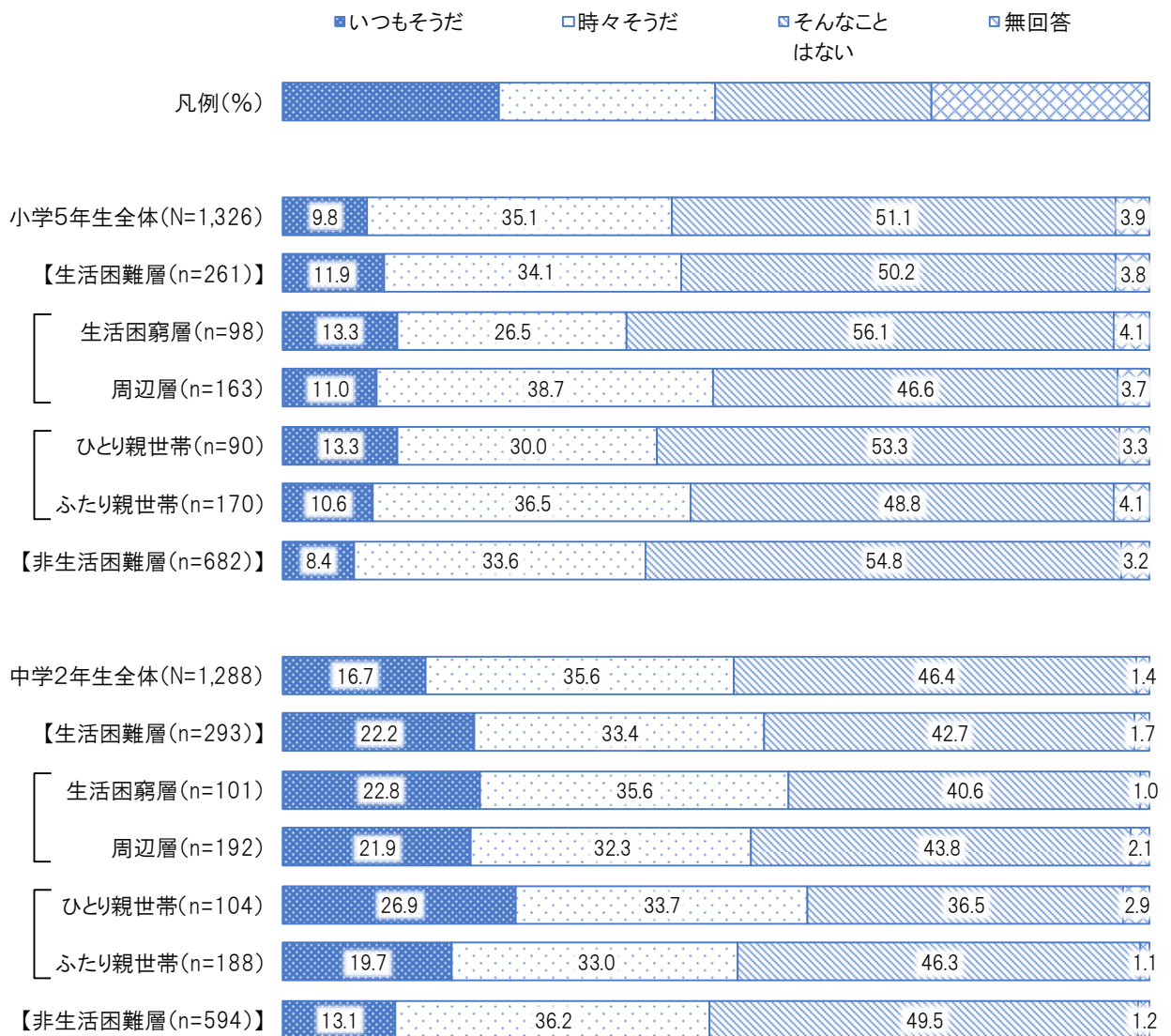
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともにひとり親世帯で「いつもそうだ」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



R とても退屈な気がする

とても退屈な気がするということについて「いつもそうだ」の割合は、小学5年生の生活困窮層で13.3%、周辺層で11.0%となっている。中学2年生では、生活困窮層で22.8%、周辺層で21.9%となっており、非生活困難層に比べて高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともにひとり親世帯で「いつもそうだ」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



第6章 子育てと各種制度・サービス

【1】子育てにかかる費用

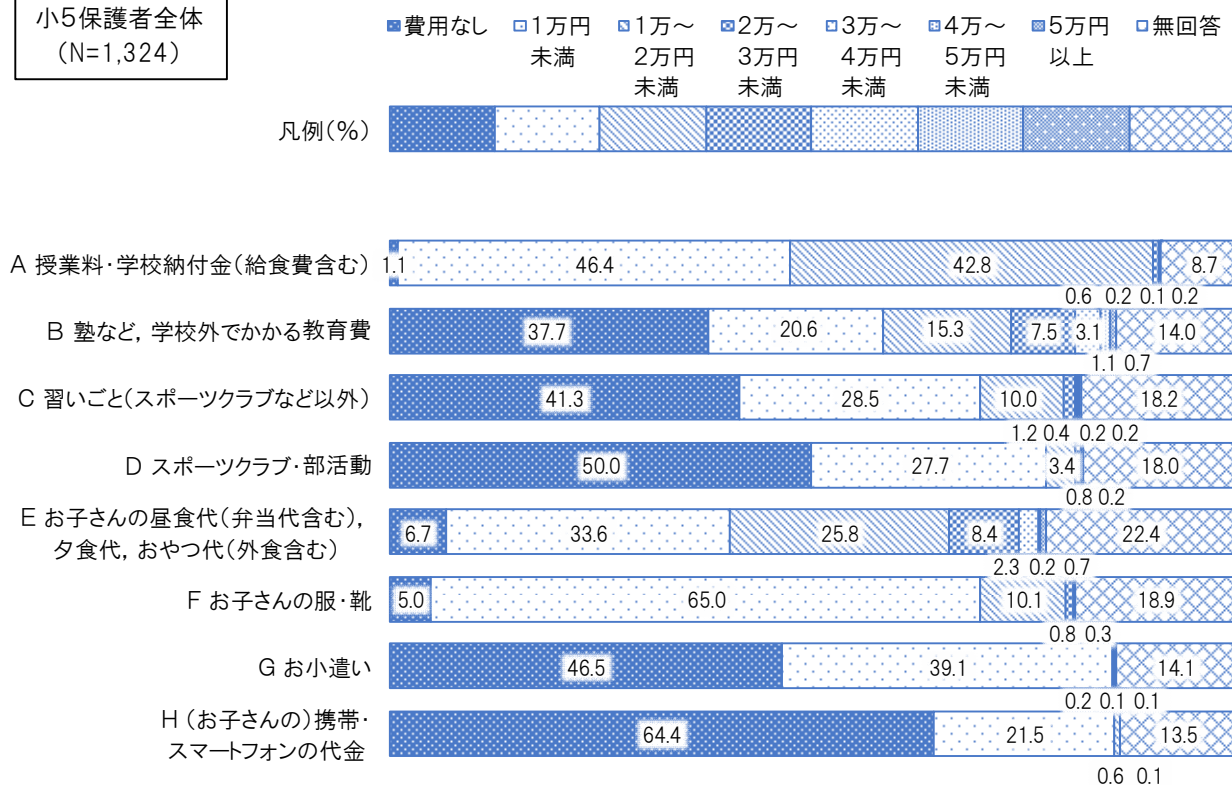
保／問 19 この調査票を持ち帰ったお子さんの生活費や学費について、おうかがいします。次のA～Hの費用は、毎月いくらくらいかかっていますか。平均的な金額を教えてください。（枠内に数字で回答してください）

※費用がかからない場合は、0とご記入ください。

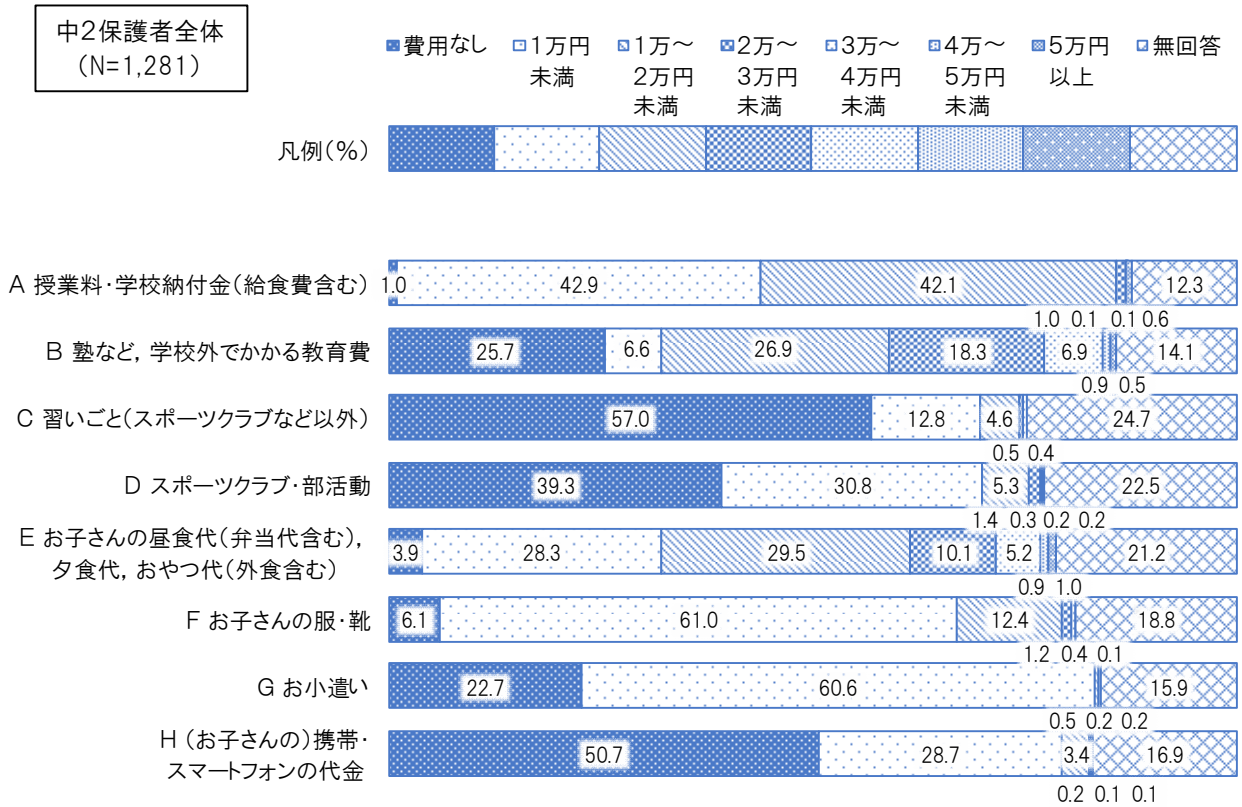
※お子さんの学校がある日の昼食が、給食の場合、給食費はAに含めてください。お子さんの学校がある日の昼食が弁当などの場合、弁当などの代金はEに含めてください。

子育てにかかる費用については、小学5年保護者全体では「1万円未満」「1万～2万円未満」を合計した割合が高い順に「A 授業料・学校納付金（給食費含む）」(89.2%)、「F お子さんの服・靴」(75.1%)、「E お子さんの昼食代（弁当代含む）、夕食代、おやつ代（外食含む）」(59.4%)となっている。一方、「費用なし」では「H（お子さんの）携帯・スマートフォンの代金」(64.4%)、「D スポーツクラブ・部活動」(50.0%)などがあげられる。

小5保護者全体
(N=1,324)

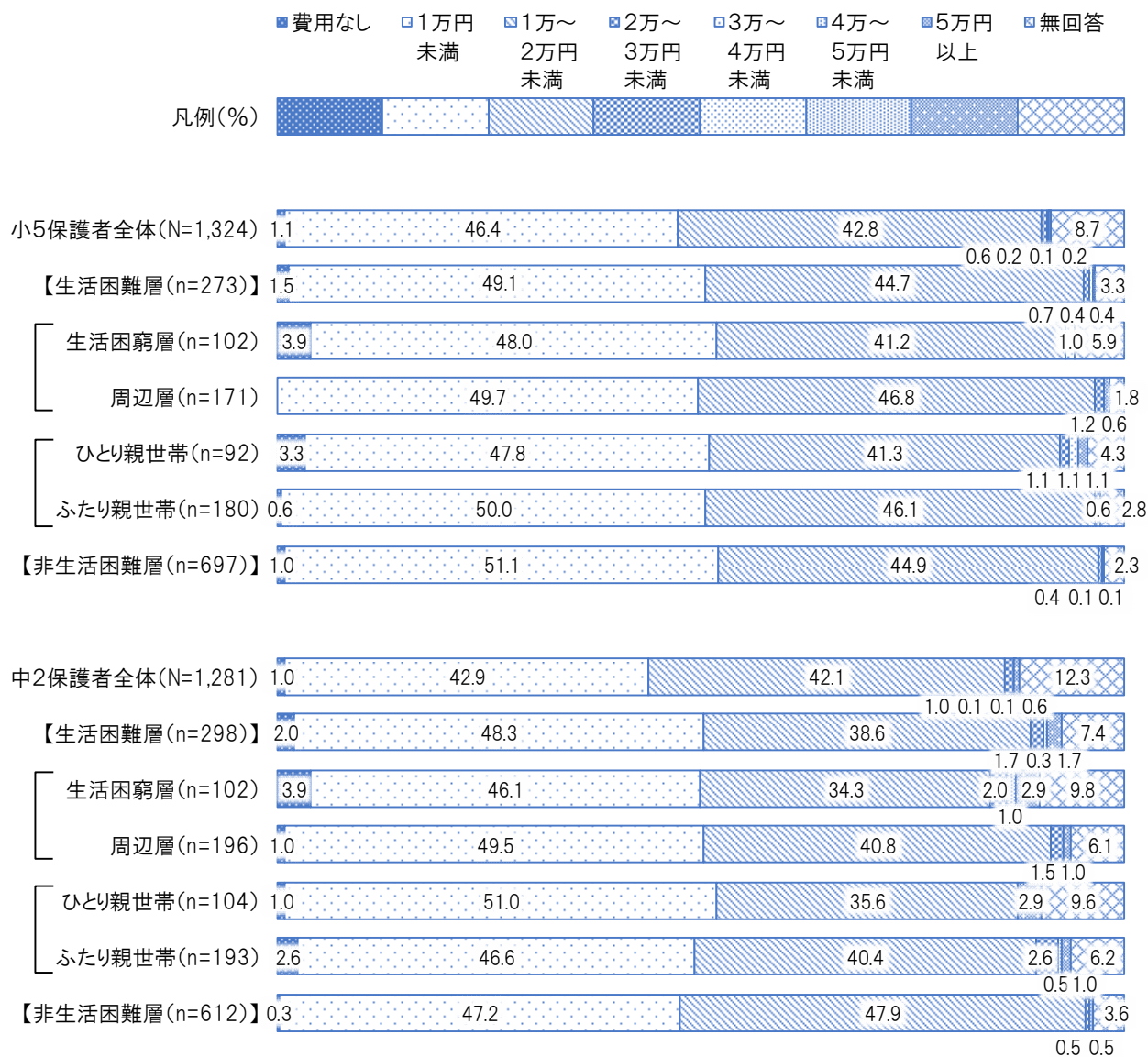


中学2年保護者全体では、「1万円未満」「1万～2万円未満」を合計した割合が高い順に「A 授業料・学校納付金（給食費含む）」(85.0%)、「F お子さんの服・靴」(73.4%)、「G お小遣い」(61.1%)となっている。一方、「費用なし」では「C 習いごと（スポーツクラブなど以外）」(57.0%)、「H（お子さんの）携帯・スマートフォンの代金」(50.7%)などがあげられる。



A 授業料・学校納付金（給食費含む）

授業料・学校納付金について、小学5年保護者全体では「1万円未満」が46.4%、「1万～2万円未満」が42.8%となっている。中学2年保護者全体では「1万円未満」が42.9%、「1万～2万円未満」が42.1%となっている。

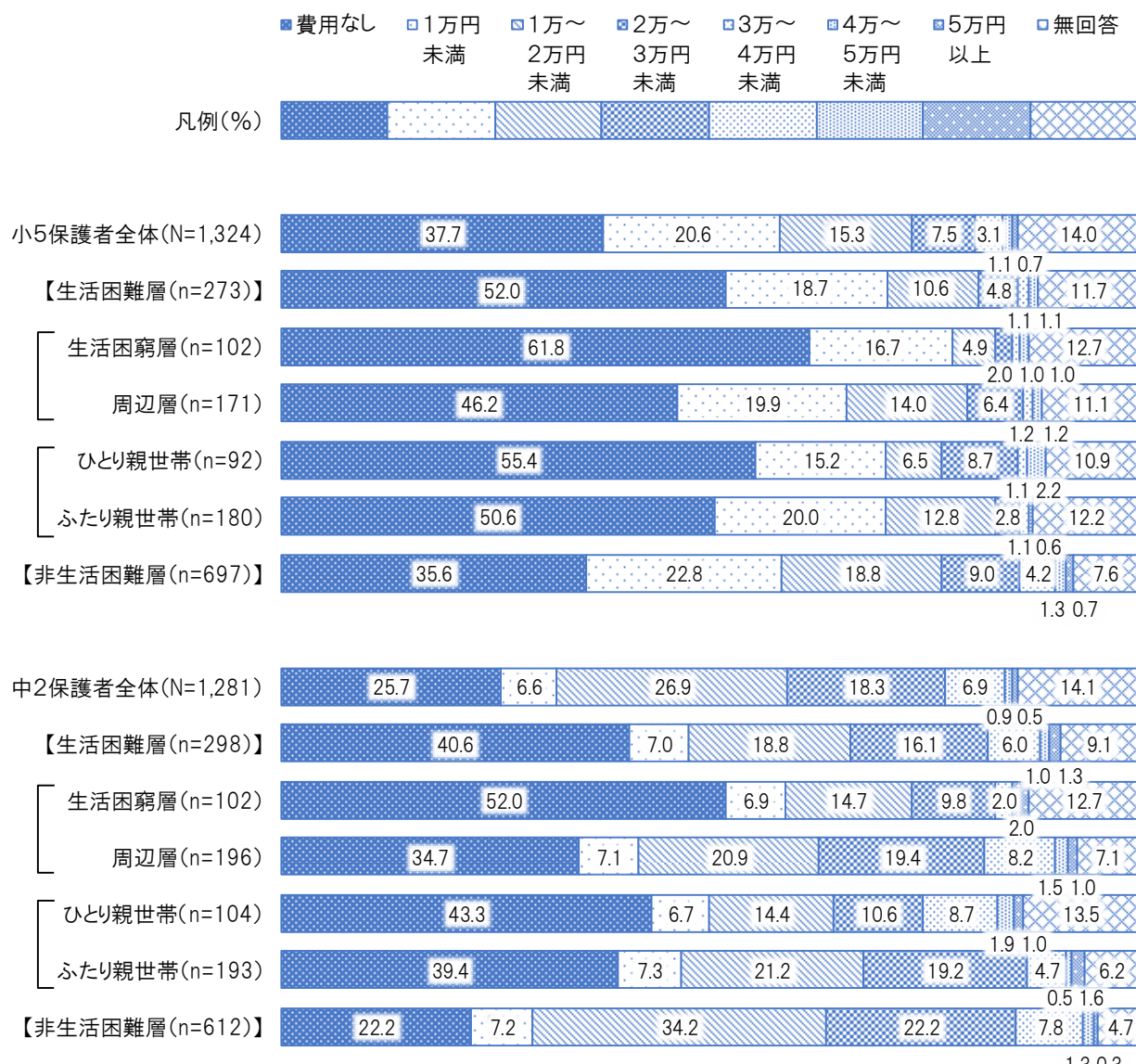


B 塾など、学校外でかかる教育費

塾など、学校外でかかる教育費について、小学5年保護者全体では「費用なし」が37.7%と最も高く、次いで「1万円未満」(20.6%)、「1万～2万円未満」(15.3%)となっている。中学2年保護者全体では「1万～2万円未満」が26.9%と最も高く、次いで「費用なし」(25.7%)、「2万～3万円未満」(18.3%)となっている。

生活困難度別にみた「費用なし」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で61.8%、中学2年保護者で52.0%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「費用なし」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。

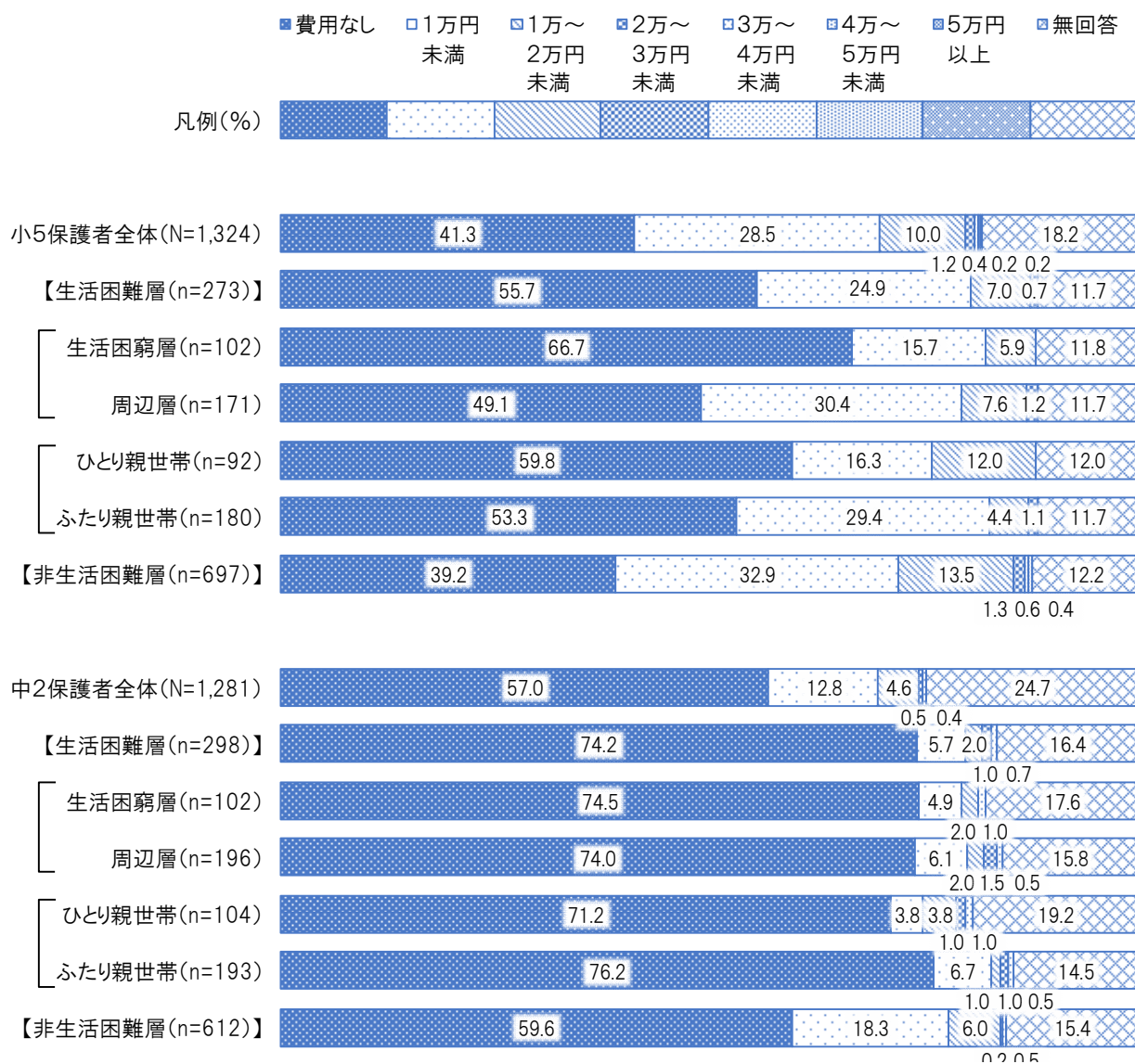


C 習いごと（スポーツクラブなど以外）

習いごとについて、小学5年保護者全体では「費用なし」が41.3%と最も高く、次いで「1万円未満」（28.5%）が続いている。中学2年保護者全体では「費用なし」が57.0%と最も高く、次いで「1万円未満」（12.8%）となっている。

生活困難度別にみた「費用なし」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で66.7%、中学2年保護者で74.5%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のひとり親世帯で「費用なし」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。

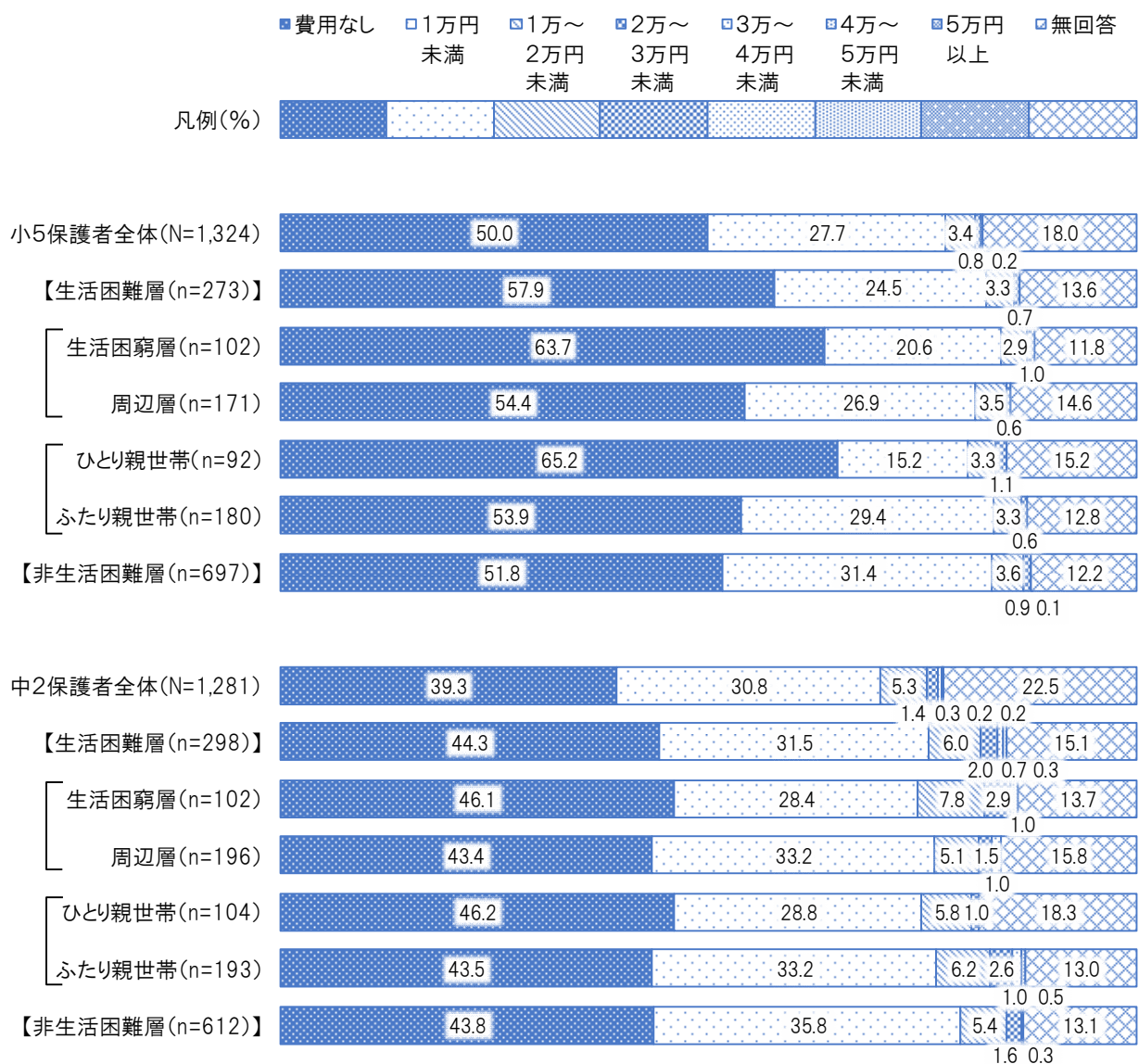


D スポーツクラブ・部活動

スポーツクラブ・部活動について、小学5年保護者全体では「費用なし」が50.0%と最も高く、次いで「1万円未満」(27.7%)が続いている。中学2年保護者全体では「費用なし」が39.3%と最も高く、次いで「1万円未満」(30.8%)となっている。

生活困難度別にみた「費用なし」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で63.7%、中学2年保護者で46.1%となっており、小学5年保護者の生活困窮層で高くなっている。

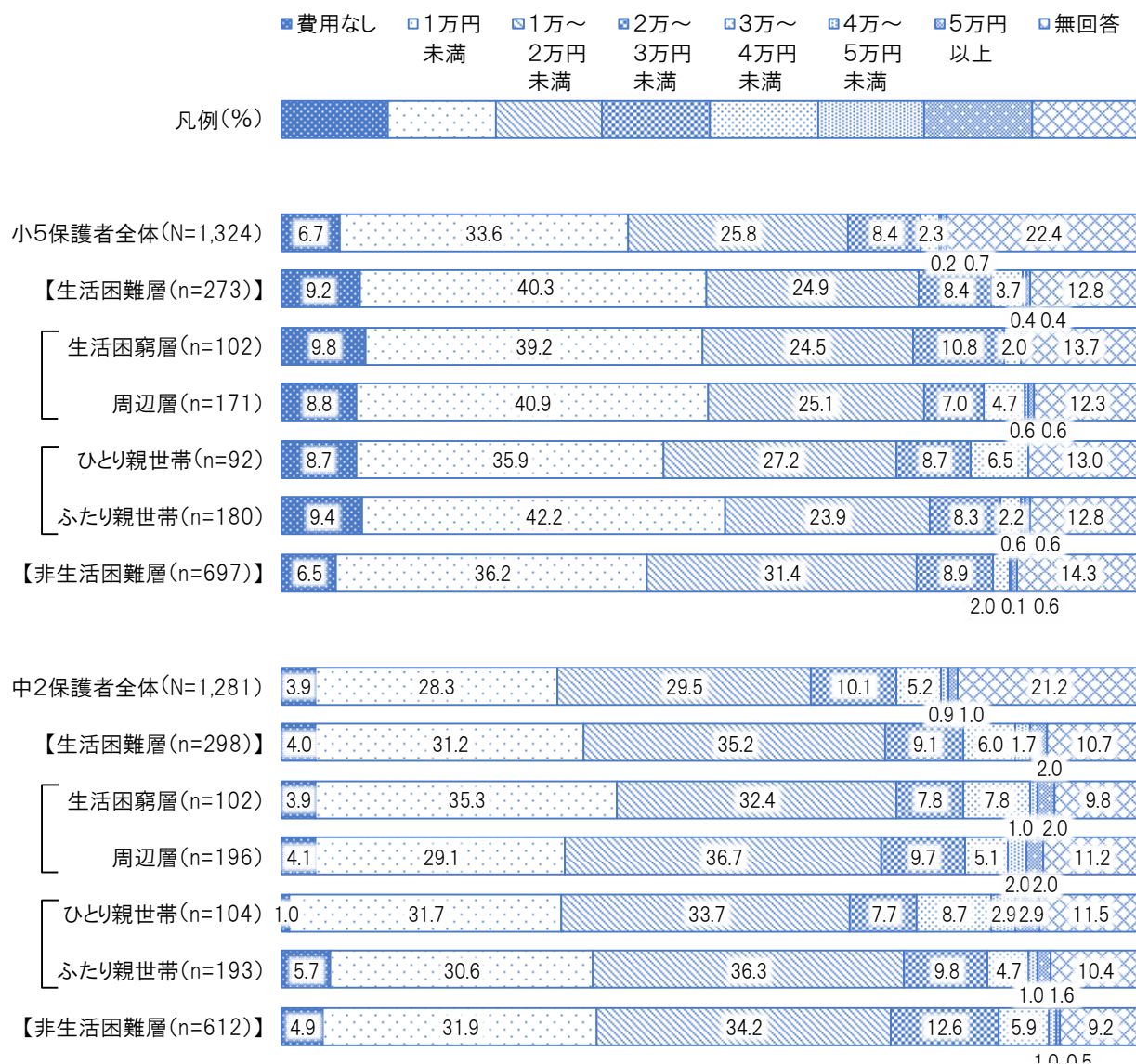
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のひとり親世帯で「費用なし」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



E お子さんの昼食代（弁当代含む），夕食代，おやつ代（外食含む）

お子さんの昼食代，夕食代，おやつ代について，小学5年保護者全体では「1万円未満」が33.6%と最も高く，次いで「1万～2万円未満」（25.8%）が続いている。中学2年保護者全体では「1万～2万円未満」が29.5%，「1万円未満」が28.3%となっている。

生活困難度別にみた「1万円未満」の割合は，小学5年保護者の生活困窮層で39.2%，中学2年保護者で35.3%となっており，中学2年保護者の生活困窮層で高くなっている。

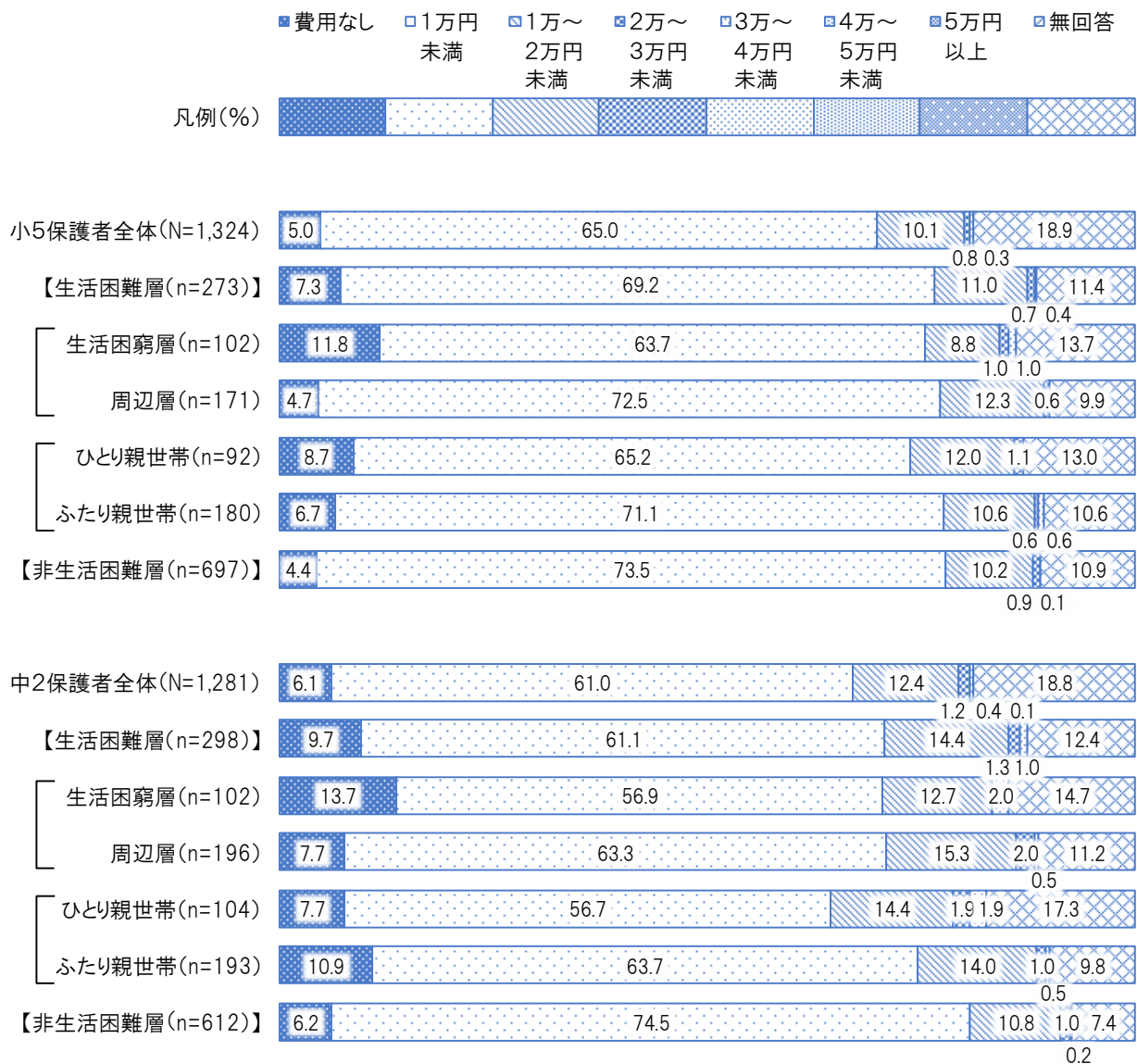


F お子さんの服・靴

お子さんの服・靴について、小学5年保護者全体では「1万円未満」が65.0%と最も高く、次いで「1万～2万円未満」(10.1%)が続いている。中学2年保護者全体では「1万円未満」が61.0%と最も高く、次いで「1万～2万円未満」(12.4%)となっている。

生活困難度別にみた「費用なし」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で11.8%、中学2年保護者で13.7%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ふたり親世帯で「1万円未満」の割合がひとり親世帯に比べて高くなっている。

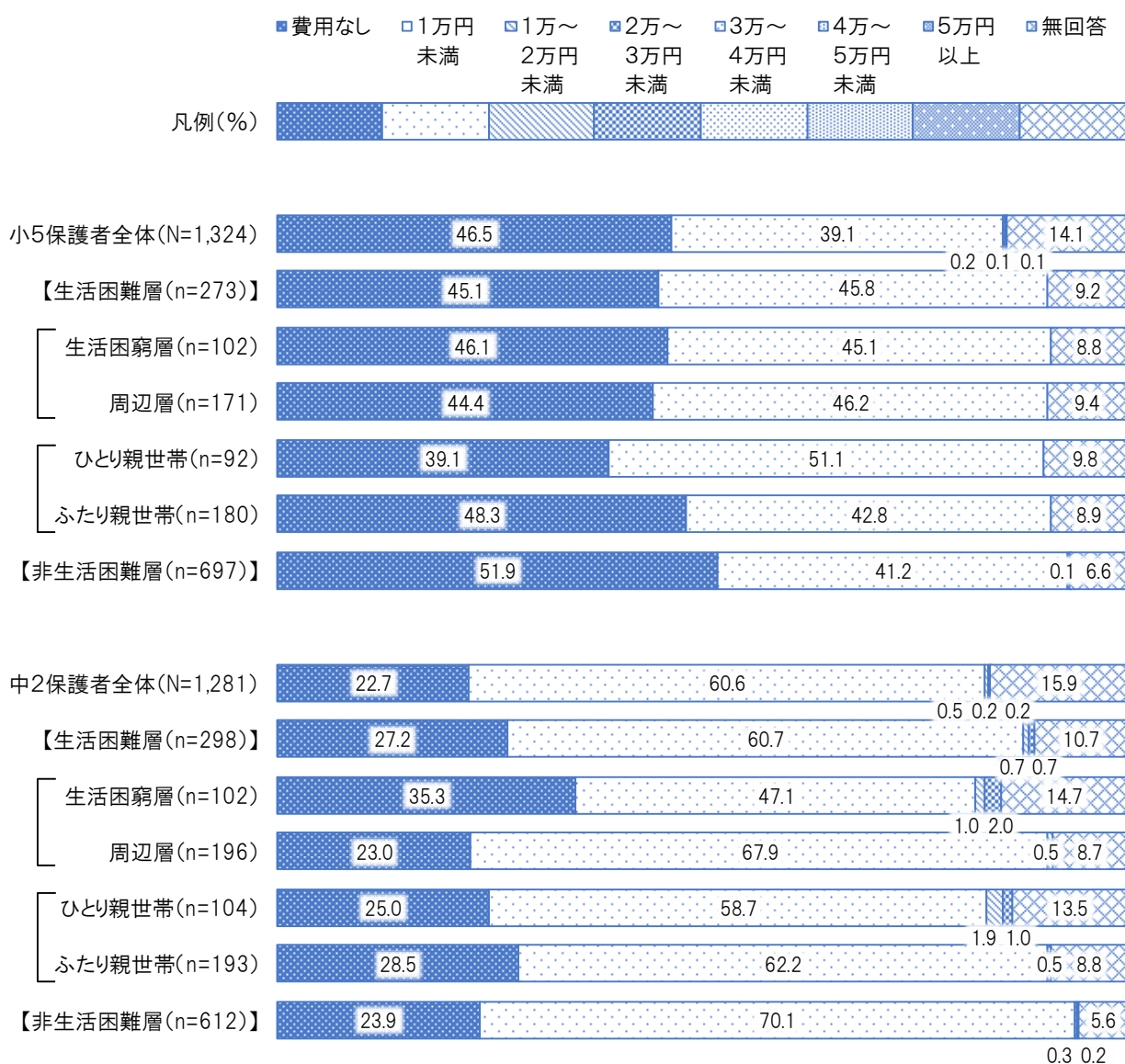


G お小遣い

お小遣いについて、小学5年保護者全体では「費用なし」が46.5%と最も高く、次いで「1万円未満」(39.1%)が続いている。中学2年保護者全体では「1万円未満」が60.6%と最も高く、次いで「費用なし」(22.7%)となっている。

生活困難度別にみた「費用なし」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で46.1%、中学2年保護者で35.3%となっており、中学2年保護者の生活困窮層で高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ふたり親世帯で「費用なし」の割合がひとり親世帯に比べて高くなっている。

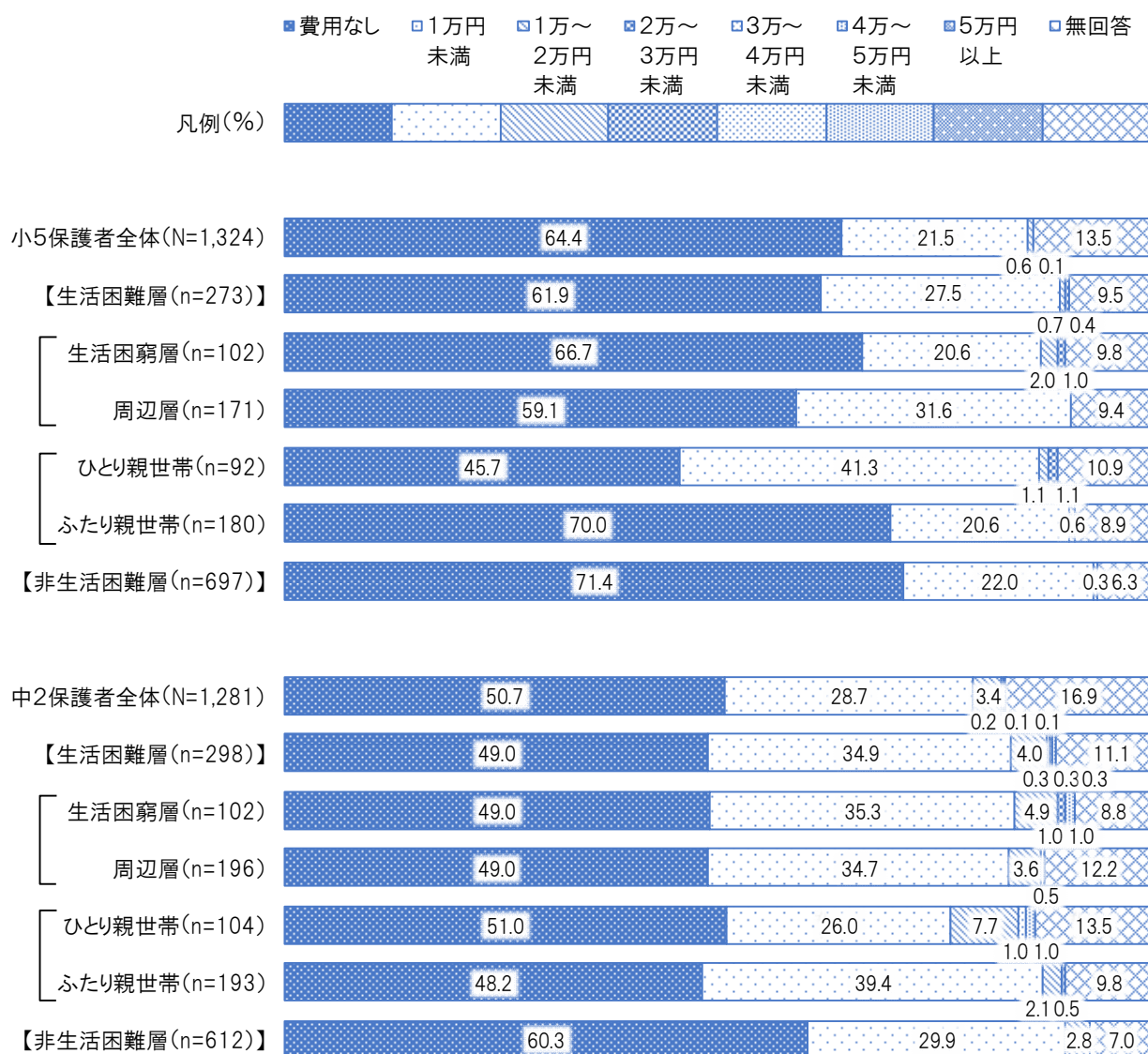


H (お子さんの) 携帯・スマートフォンの代金

(お子さんの) 携帯・スマートフォンの代金について、小学5年保護者全体では「費用なし」が64.4%と最も高く、次いで「1万円未満」(21.5%)が続いている。中学2年保護者全体では「費用なし」が50.7%と最も高く、次いで「1万円未満」(28.7%)となっている。

生活困難度別にみた「費用なし」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で66.7%、中学2年保護者で49.0%となっており、小学5年保護者の生活困窮層で高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のひとり親世帯で「1万円未満」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



【2】 就学援助

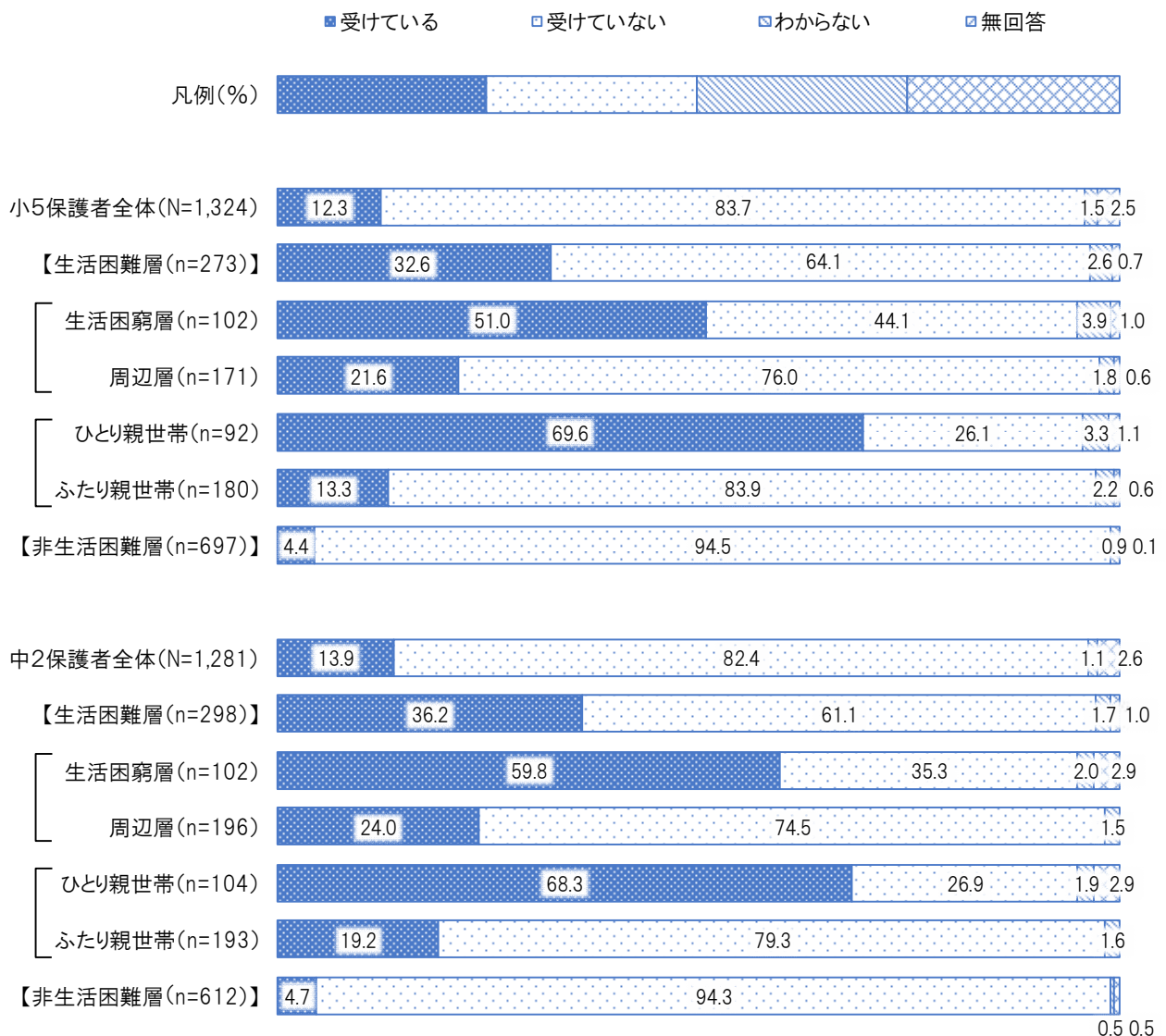
（1） 就学援助受給状況と受給していない理由

保／問 20 あなたのご家庭では、この調査票を持ち帰ったお子さんのために就学援助を受けていますか。（あてはまる番号1つに○）
 ※「就学援助」制度は、経済的な理由により就学が困難な子どもたちの保護者に対して、援助を行い、子どもたちが等しく義務教育を受けることができるようにするための制度です。
 ※特別支援教育就学奨励費は除きます。

就学援助受給状況については、小学5年保護者全体では「受けている」が12.3%、中学2年保護者全体では13.9%となっている。一方、「受けていない」の割合は、小学5年保護者全体では83.7%、中学2年保護者全体では82.4%となっている。

生活困難度別にみた「受けている」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で51.0%、中学2年保護者で59.8%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

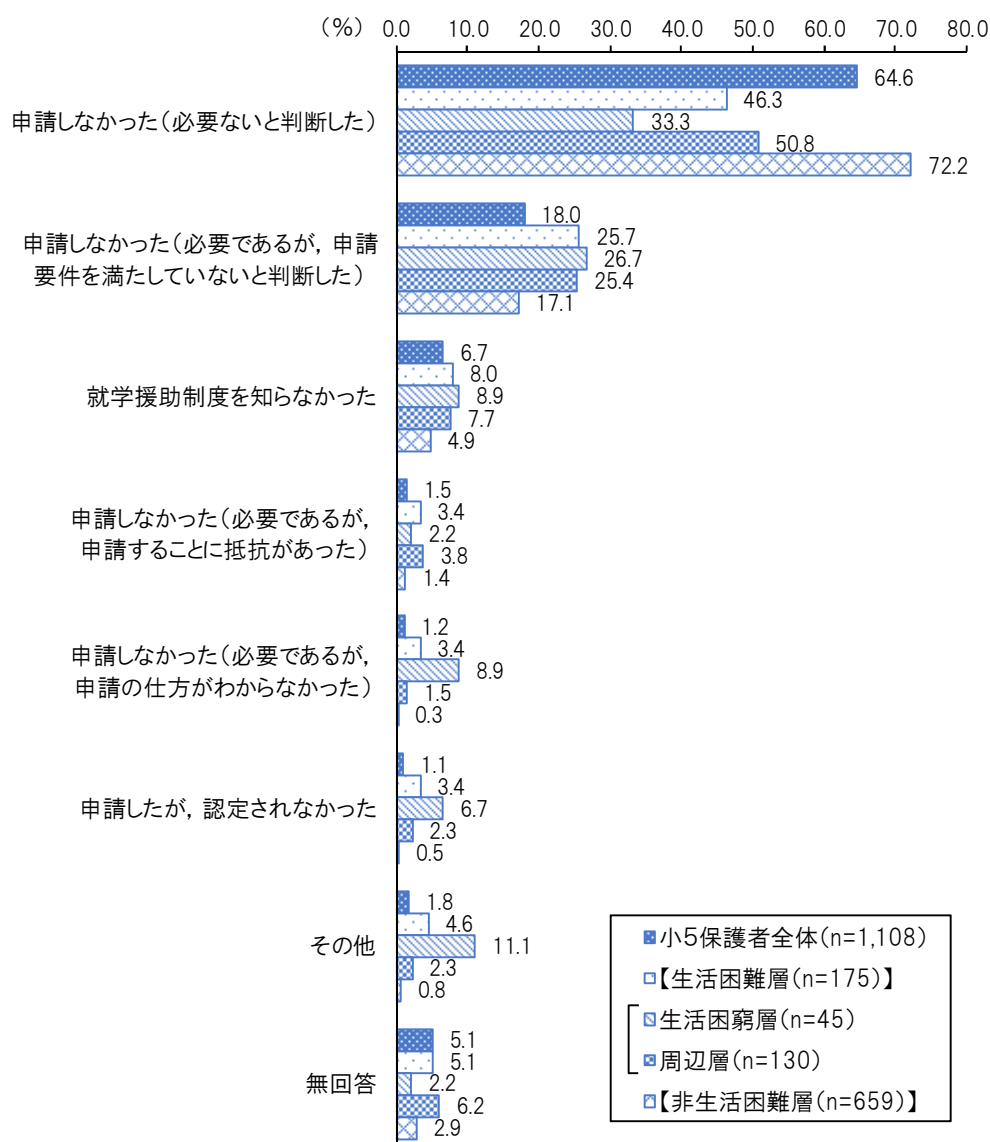
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「受けている」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



【問 20 で「2 受けていない」を選んだ方におうかがいします。】
 保／問 20-2 受けてない理由は、何ですか。次のうち最も近いものに○をつけてください。
 い。（あてはまる番号1つに○）

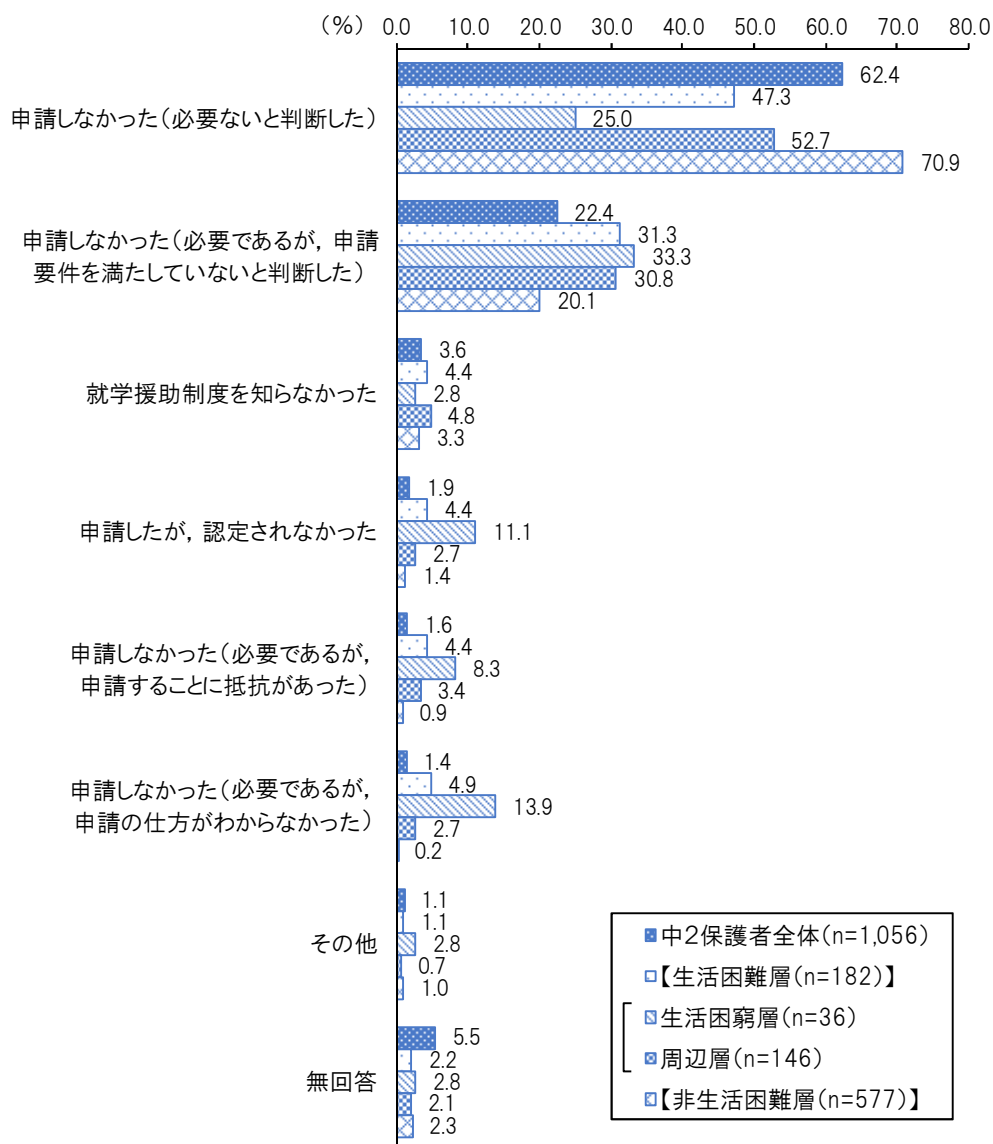
就学援助を受給していない理由について、小学5年保護者全体では「申請しなかった（必要ないと判断した）」が 64.6%と最も高く、次いで「申請しなかった（必要であるが、申請要件を満たしていないと判断した）」（18.0%）が続いている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「申請しなかった（必要ないと判断した）」の割合が低く、「申請しなかった（必要であるが、申請の仕方がわからなかった）」「申請したが、認定されなかった」などの割合が他の層に比べて高くなっている。



中学2年保護者全体では、「申請しなかった(必要ないと判断した)」が62.4%と最も高く、次いで「申請しなかった(必要であるが、申請要件を満たしていないと判断した)」(22.4%)が続いている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「申請しなかった(必要ないと判断した)」の割合が低く、「申請したが、認定されなかった」「申請しなかった(必要であるが、申請の仕方がわからなかった)」などの割合が他の層に比べて高くなっている。



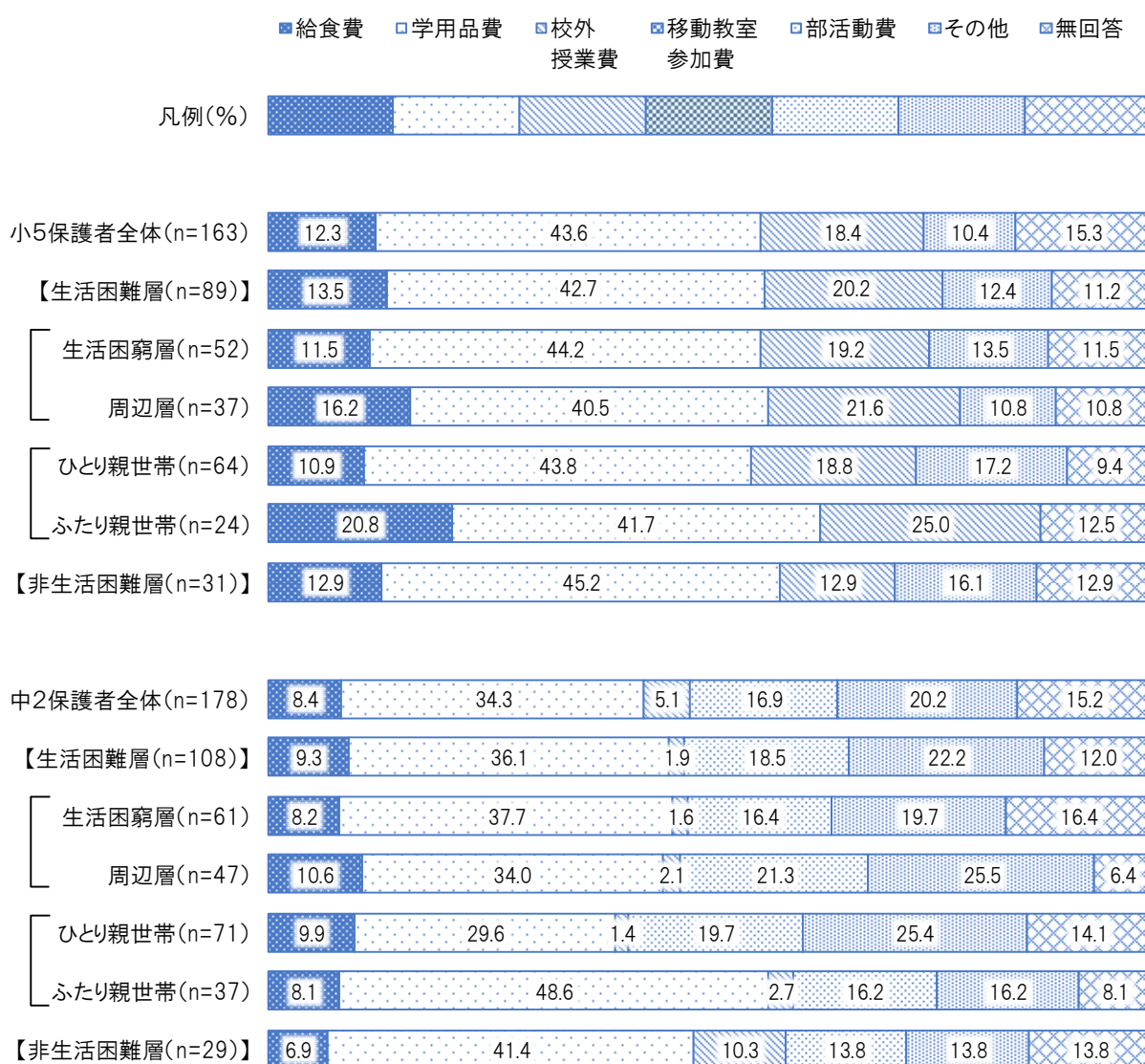
(2) 支給額と実費との差が大きい経費

【問 20 で「1 受けている」を選んだ方におうかがいします。】
 保／問 20-1 就学援助で支給されている額と実際にかかった額とで、その差が大きいものは何の経費ですか。（あてはまる番号1つに○）

支給額と実費との差が大きい経費について、小学5年保護者全体では「学用品費」が43.6%と最も高く、次いで「校外授業費」(18.4%)、「給食費」(12.3%)となっている。中学2年保護者全体では「学用品費」が34.3%と最も高く、次いで「部活動費」(16.9%)となっている。

生活困難度別にみた「学用品費」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で44.2%、中学2年保護者で37.7%となっており、生活困窮層は周辺層に比べて高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のふたり親世帯で「学用品費」の割合がひとり親世帯を大きく上回っている。



【3】 公的年金等の支給額

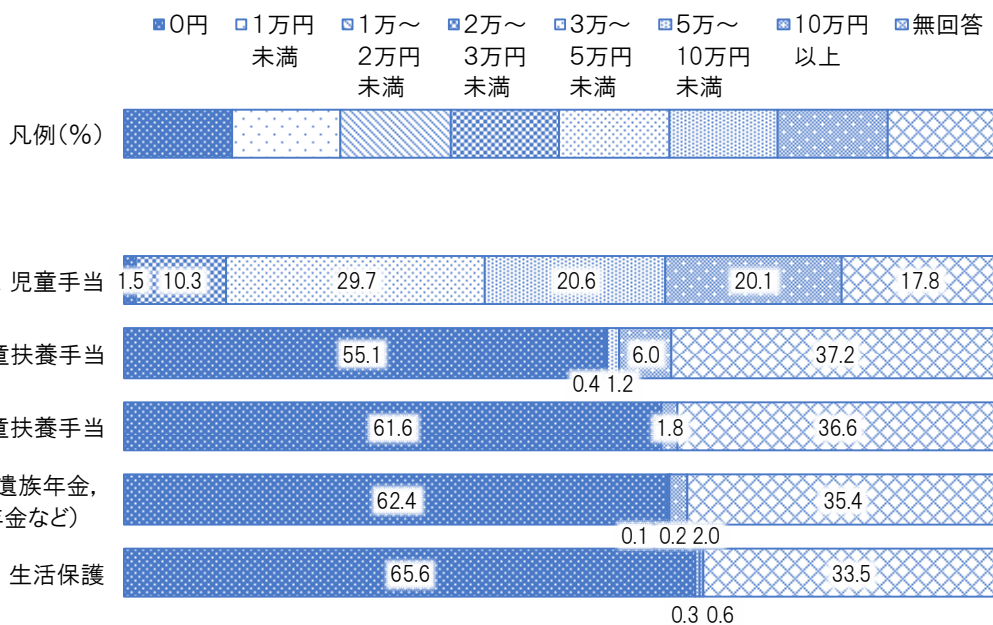
保／問 21 あなたの世帯で、次のような公的年金，社会保障給付金の1回あたりの支給額はいくらですか。（枠内に数字で回答してください）

※該当する収入がない場合には，0とご記入ください。
 ※兄弟姉妹等にかかわる手当等も含まれます。

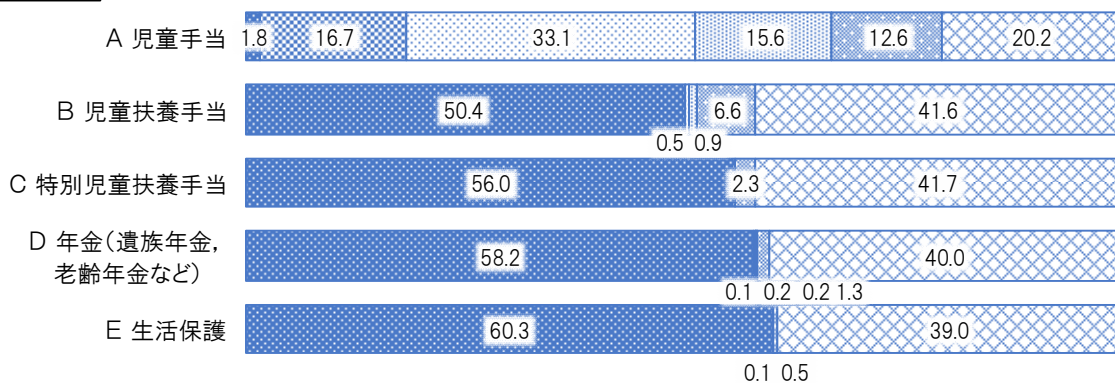
公的年金等の支給額については，小学5年保護者全体では『支給あり（0円，無回答以外の合計）』の割合が高い順に「A 児童手当」（80.7%），「B 児童扶養手当」（7.6%），「D 年金（遺族年金，老齢年金など）」（2.3%），「C 特別児童扶養手当」（1.8%）となっている。

中学2年保護者全体では『支給あり（0円，無回答以外の合計）』の割合が高い順に「A 児童手当」（78.0%），「B 児童扶養手当」（8.0%），「C 特別児童扶養手当」（2.3%），「D 年金（遺族年金，老齢年金など）」（1.8%）となっている。

小5保護者全体
(N=1,324)



中2保護者全体
(N=1,281)

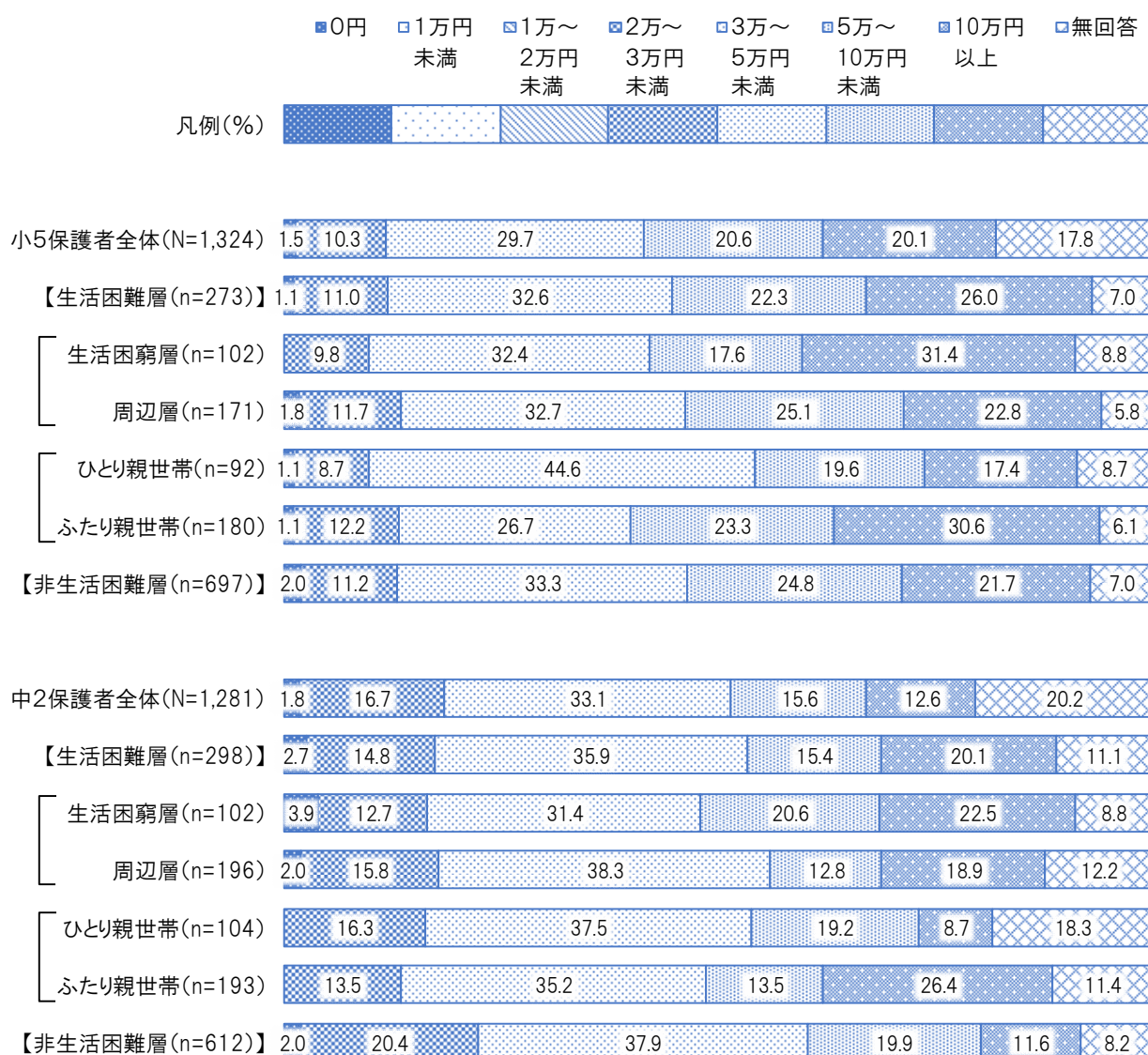


A 児童手当

児童手当について、小学5年保護者全体では「3万～5万円未満」が29.7%と最も高く、次いで「5万～10万円未満」(20.6%)、「10万円以上」(20.1%)が続いている。中学2年保護者全体では「3万～5万円未満」が33.1%と最も高く、次いで「2万～3万円未満」(16.7%)、「5万～10万円未満」(15.6%)となっている。

生活困難度別にみた「10万円以上」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で31.4%、中学2年保護者で22.5%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ふたり親世帯で「10万円以上」の割合がひとり親世帯に比べて高くなっている。

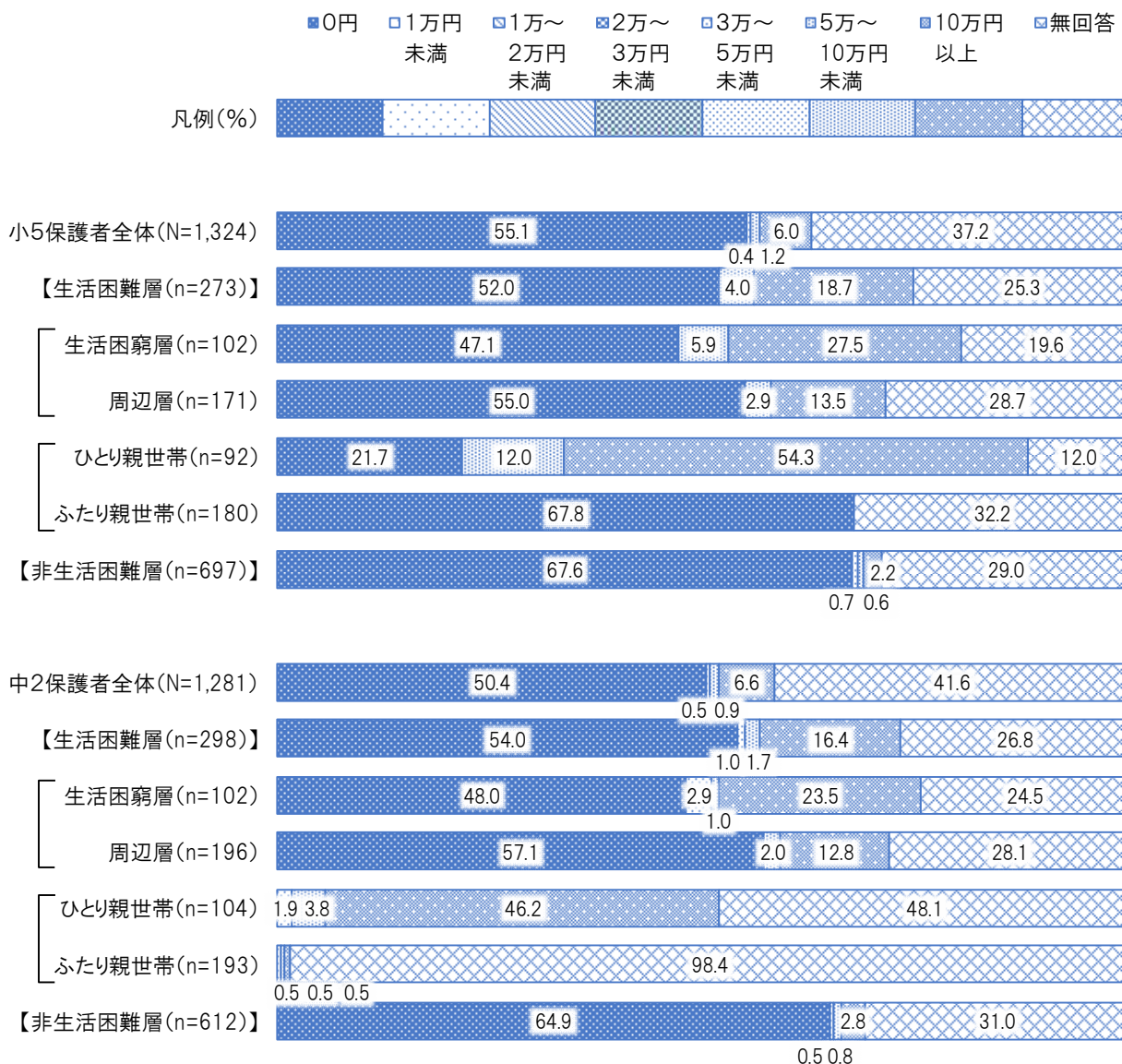


B 児童扶養手当

児童扶養手当について、小学5年保護者全体では、「10万円以上」が6.0%、「5万～10万円未満」が1.2%となっている。中学2年保護者全体では、「10万円以上」が6.6%、「5万～10万円未満」が0.9%となっている。

生活困難度別にみた「10万円以上」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で27.5%、中学2年保護者で23.5%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「10万円以上」の割合が約半数を占めている。

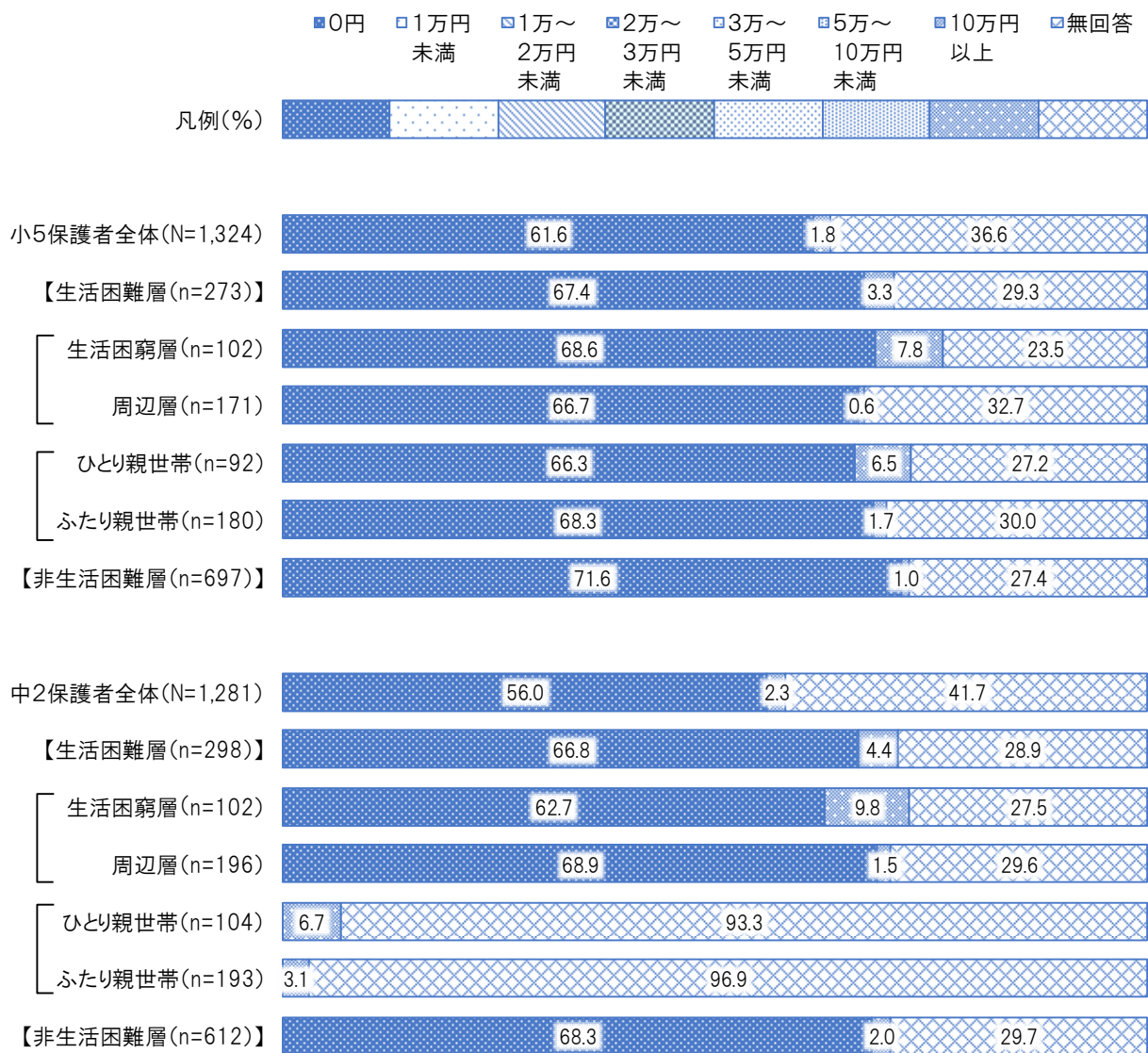


C 特別児童扶養手当

特別児童扶養手当について、小学5年保護者全体では「10万円以上」が1.8%、中学2年保護者全体では2.3%となっている。

生活困難度別にみた「10万円以上」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で7.8%、中学2年保護者で9.8%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

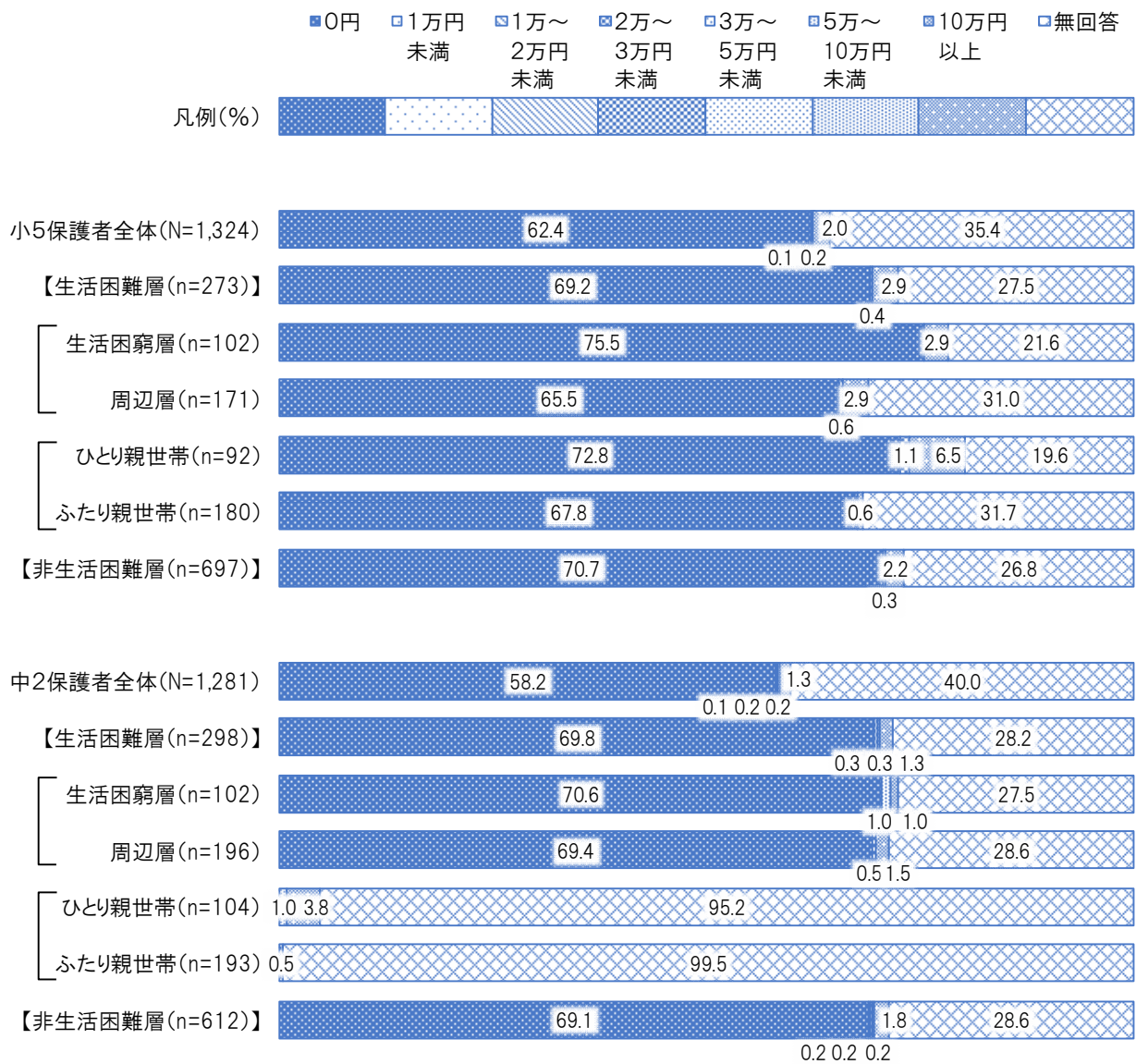
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「10万円以上」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



D 年金（遺族年金，老齢年金など）

年金（遺族年金，老齢年金など）について，小学5年保護者全体では「10万円以上」が2.0%，中学2年保護者全体では1.3%となっている。

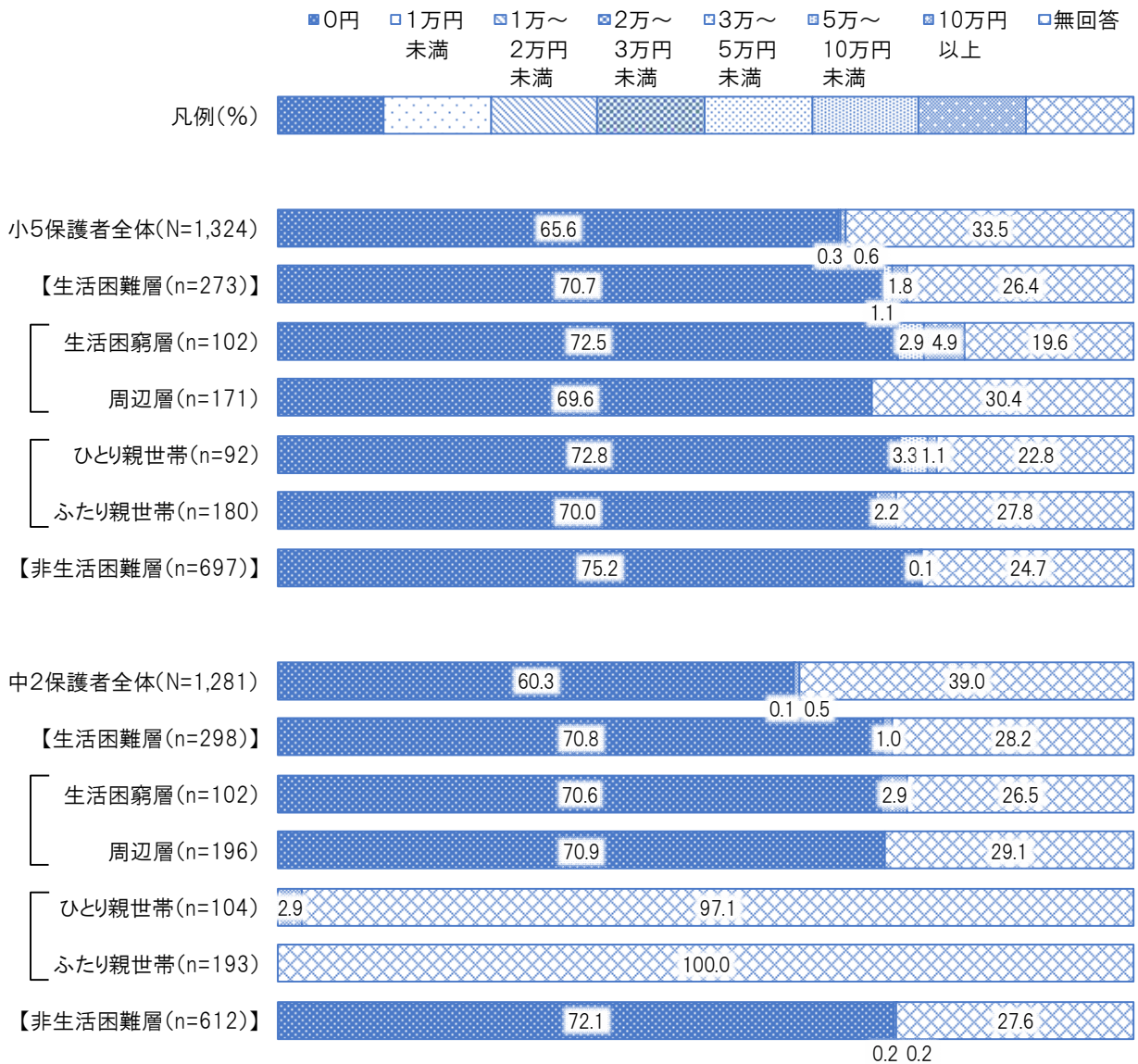
生活困難度別にみた「10万円以上」の割合は，小学5年保護者の生活困窮層で2.9%，中学2年保護者で1.0%となっている。



E 生活保護

生活保護について、小学5年保護者全体では「10万円以上」が0.6%、中学2年保護者全体では0.5%となっている。

生活困難度別にみた「10万円以上」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で4.9%、中学2年保護者で2.9%となっている。



【4】世帯年収

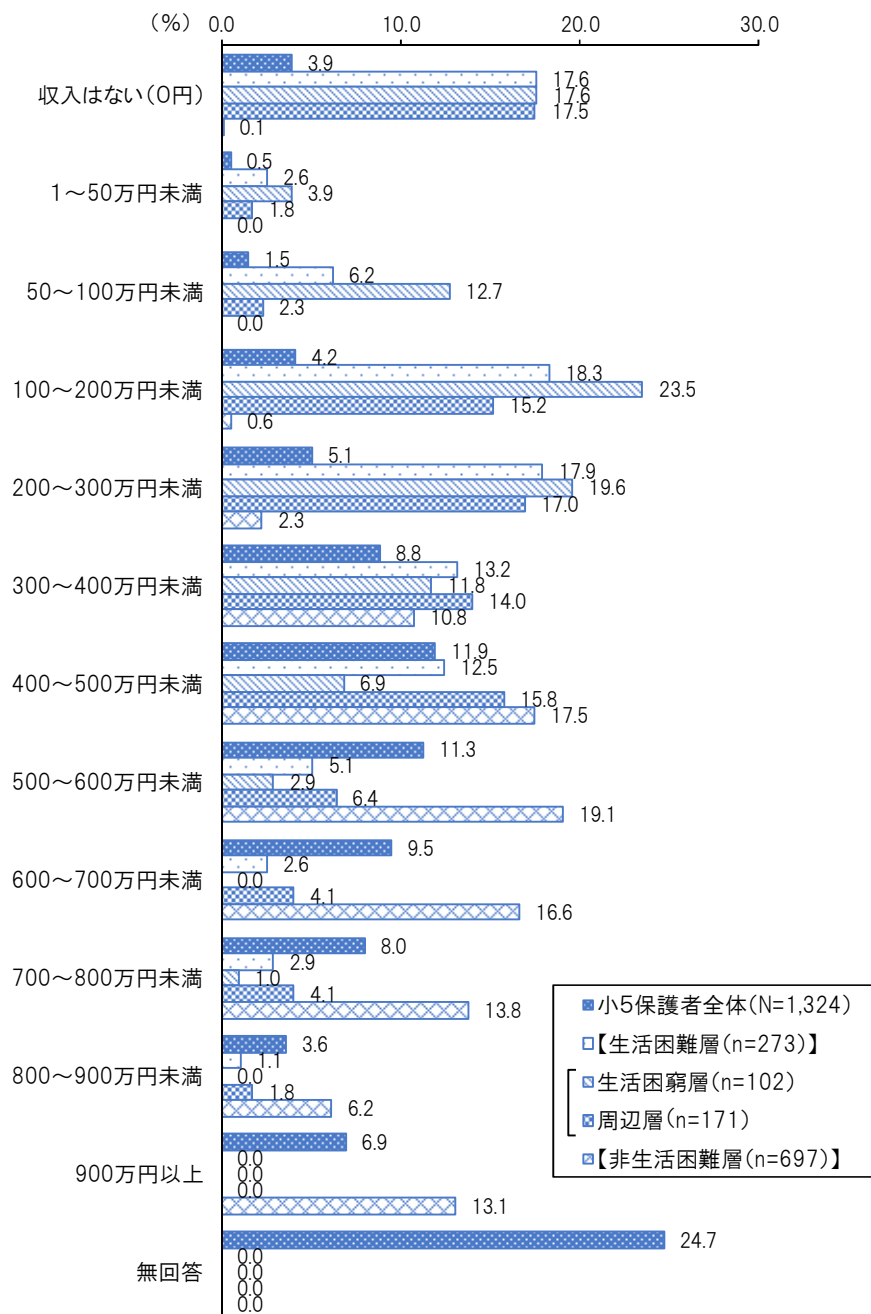
保／問 22 上記問 21 で回答いただいた，公的年金と社会保障給付金以外の収入についてお聞きします。お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の，おおよその年間収入（税込）はいくらですか。（あてはまる番号1つに○）

※収入には，勤労収入（パート，アルバイトを含む），事業収入（自営業等），農業収入，不動産収入，利子・配当金，個人年金，仕送りや元配偶者からの養育費を含みますが，上記問 21 で回答いただいた公的年金と社会保障給付金は除いてお考えください。

※複数の収入源がある場合（お父さまが勤労収入，お母さまに事業収入など）は，おおよその合算値(合計額)を教えてください。

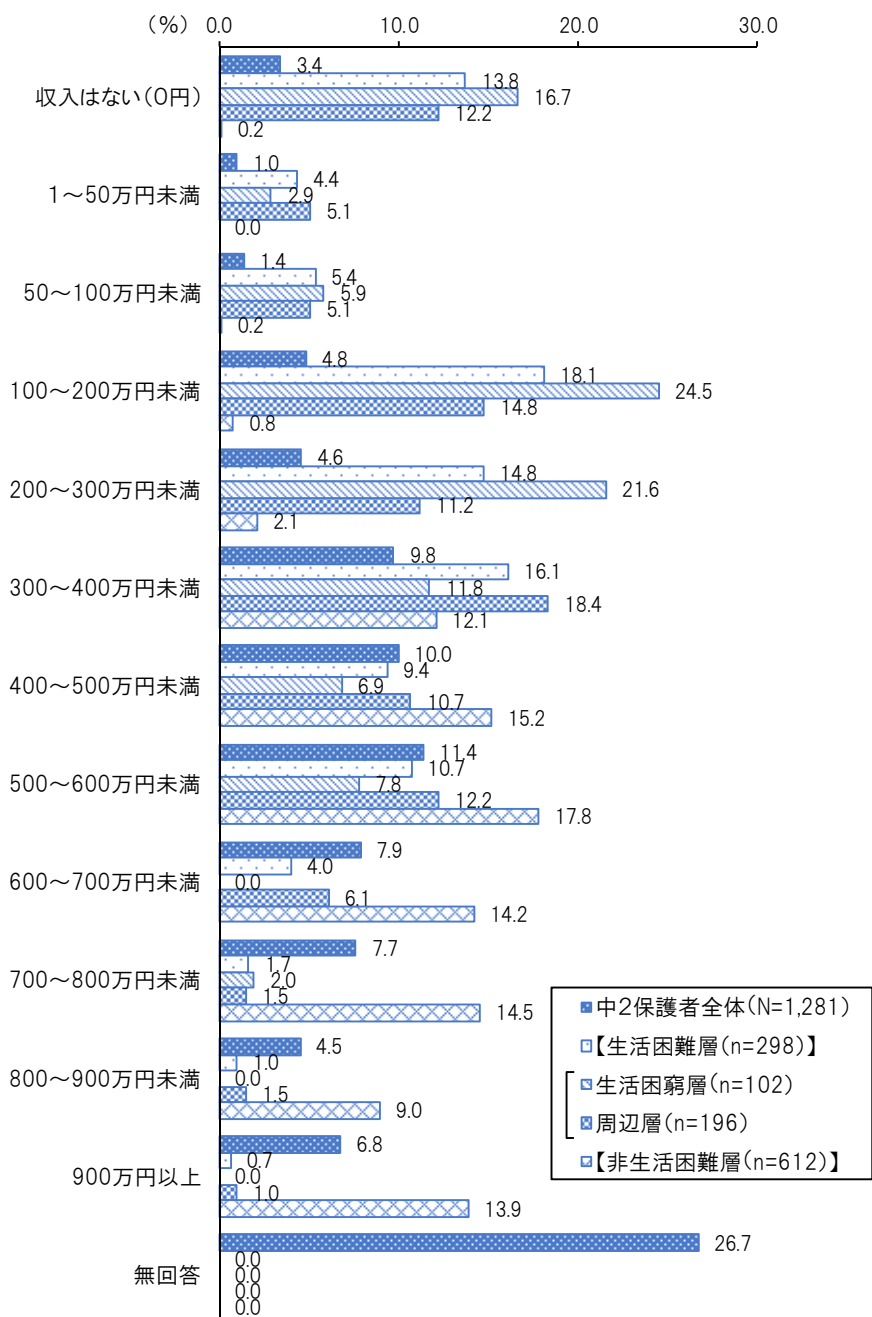
世帯年収について，小学5年保護者全体では「400～500万円未満」が11.9%と最も高く，次いで「500～600万円未満」(11.3%)，「600～700万円未満」(9.5%)が続いている。

生活困難度別にみると，生活困窮層は「50～100万円未満」「100～200万円未満」の割合が他の層に比べて高くなっている。

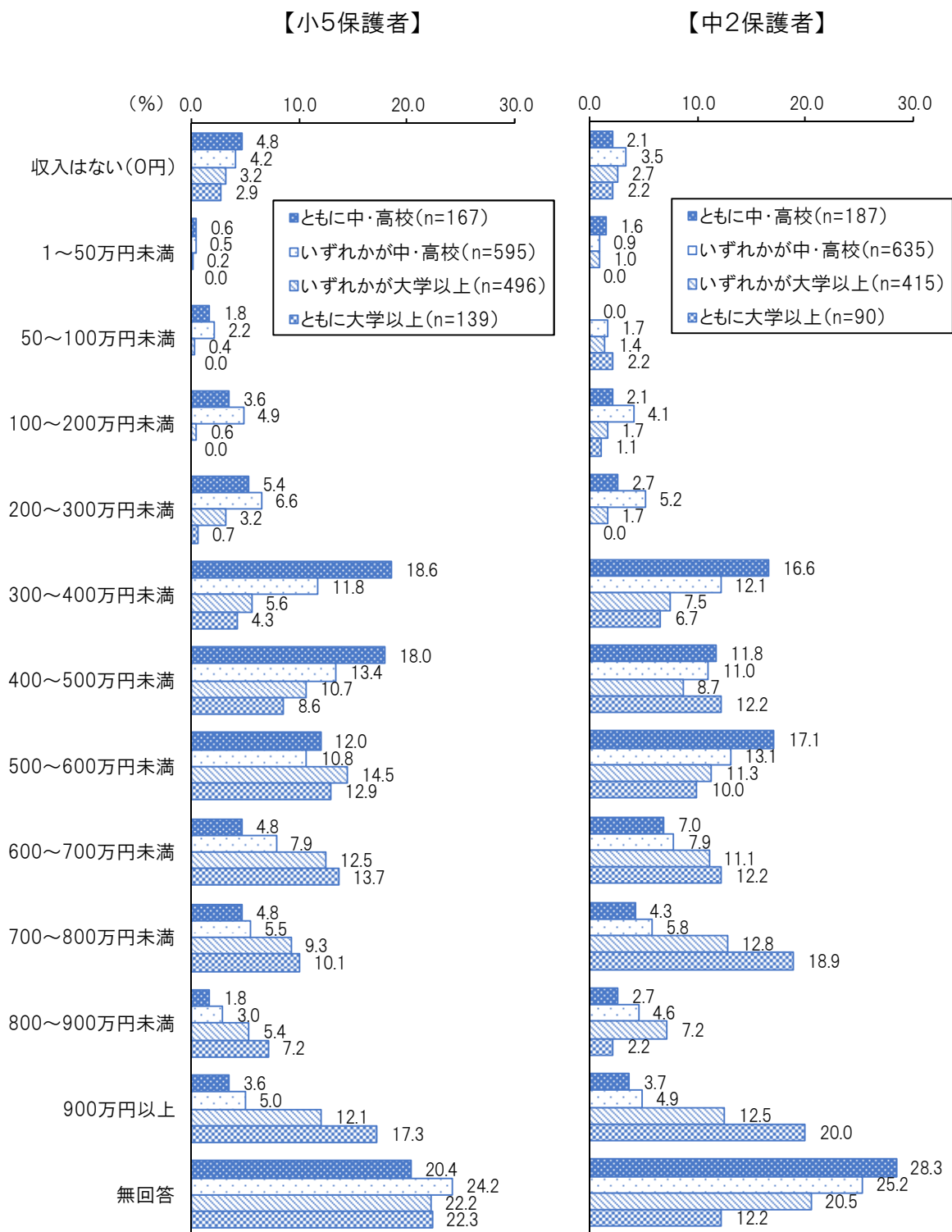


中学2年保護者全体では、「500～600万円未満」が11.4%と最も高く、次いで「400～500万円未満」(10.0%)、「300～400万円未満」(9.8%)が続いている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「100～200万円未満」「200～300万円未満」の割合が他の層に比べて高くなっている。



保護者の学歴別（問 36・問 37）でみると、小学5年保護者，中学2年保護者ともに，ともに中・高校では他の層に比べ「300～400万円未満」の割合が高く，ともに大学以上では「900万円以上」の割合が他の層を大きく上回っている。

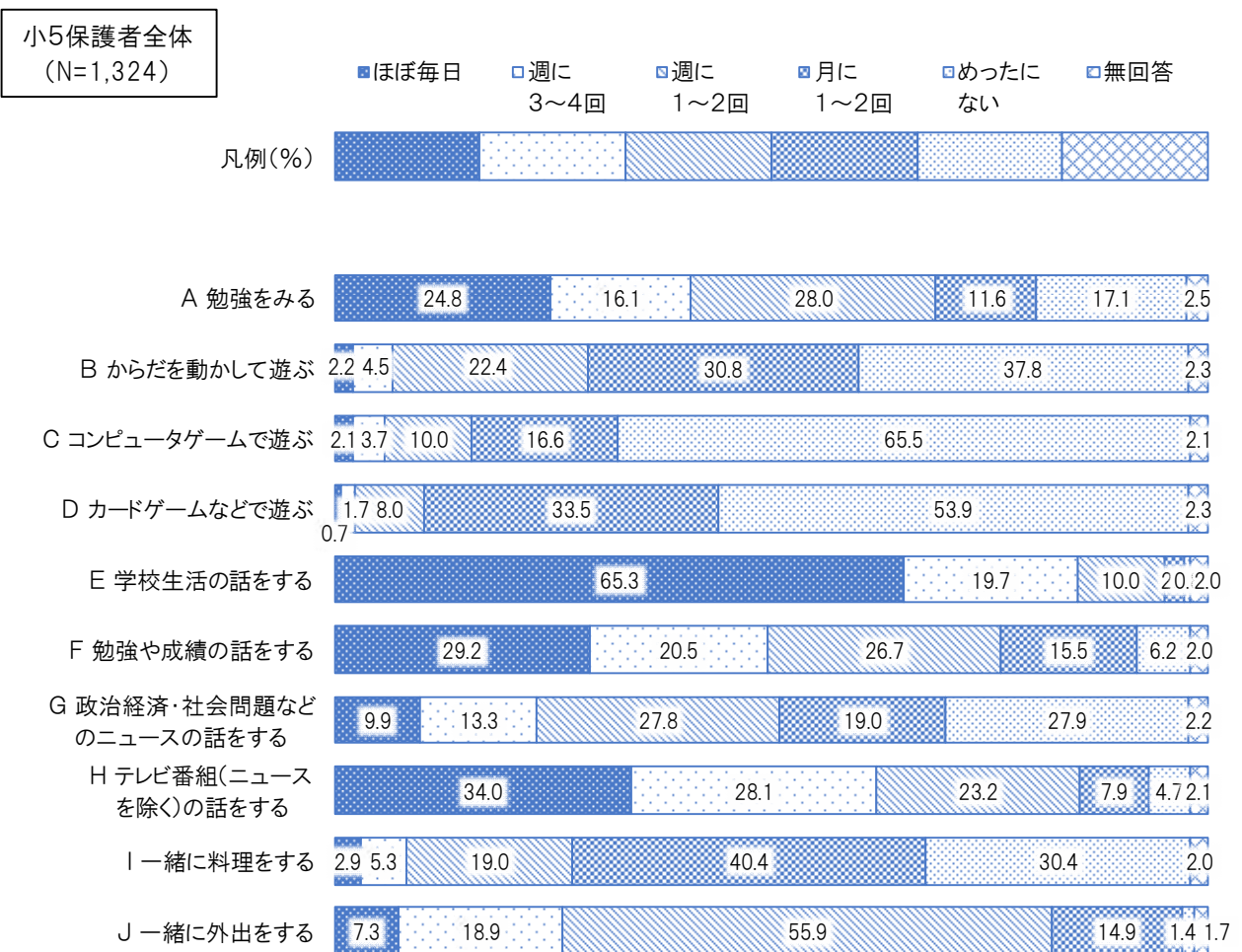


【5】子どもとのかかわり

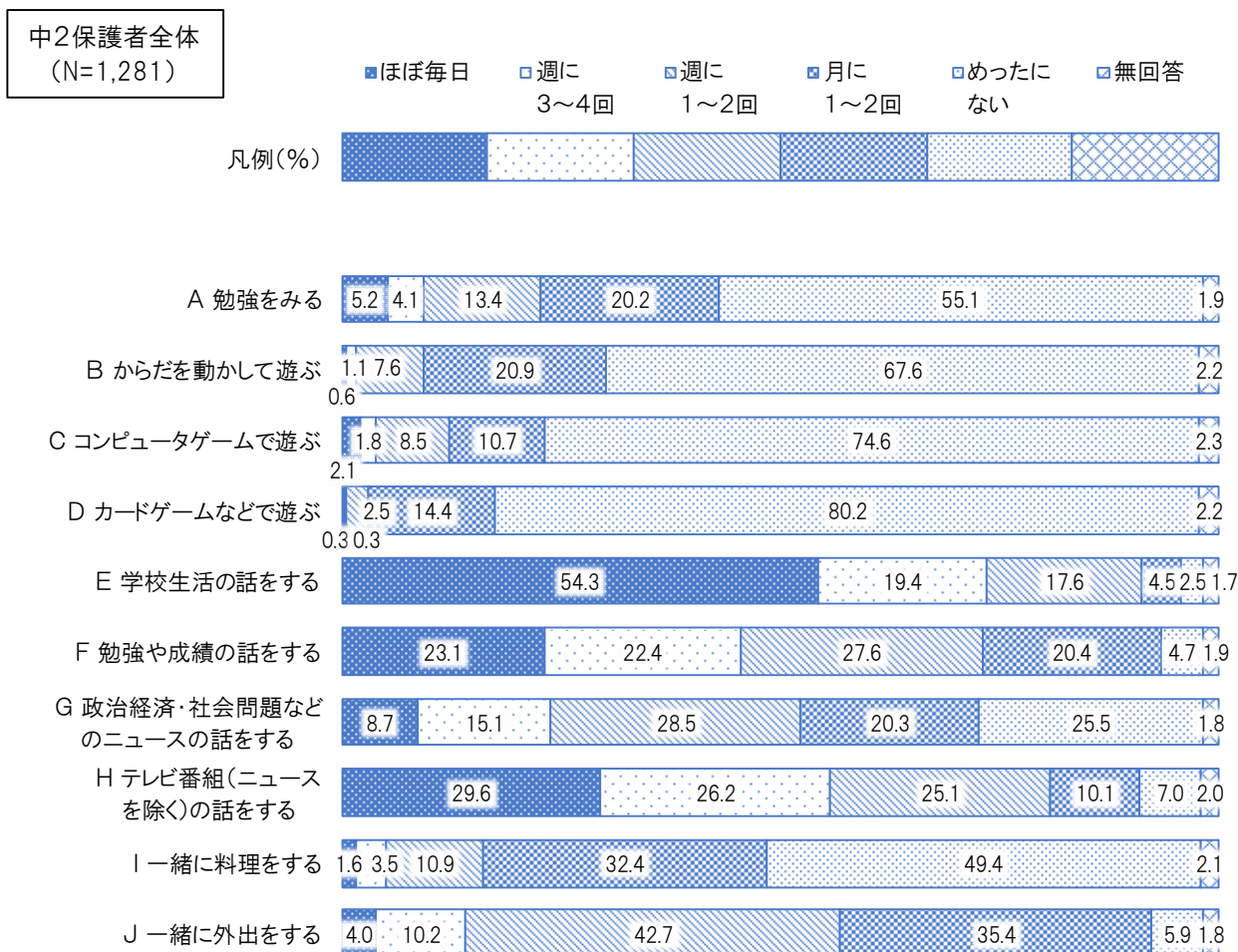
(1) 子どもとのかかわり頻度

保／問 25 あなたの家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。
 (それぞれ、あてはまる番号1つに○)

子どもとのかかわり頻度については、小学5年保護者全体では「ほぼ毎日」の割合が高い順に「E 学校生活の話をする」(65.3%)、「H テレビ番組(ニュースを除く)の話をする」(34.0%)、「F 勉強や成績の話をする」(29.2%)となっている。一方、「めったにない」では「C コンピュータゲームで遊ぶ」(65.5%)、「D カードゲームなどで遊ぶ」(53.9%)、「B からだを動かして遊ぶ」(37.8%)などがあげられる。



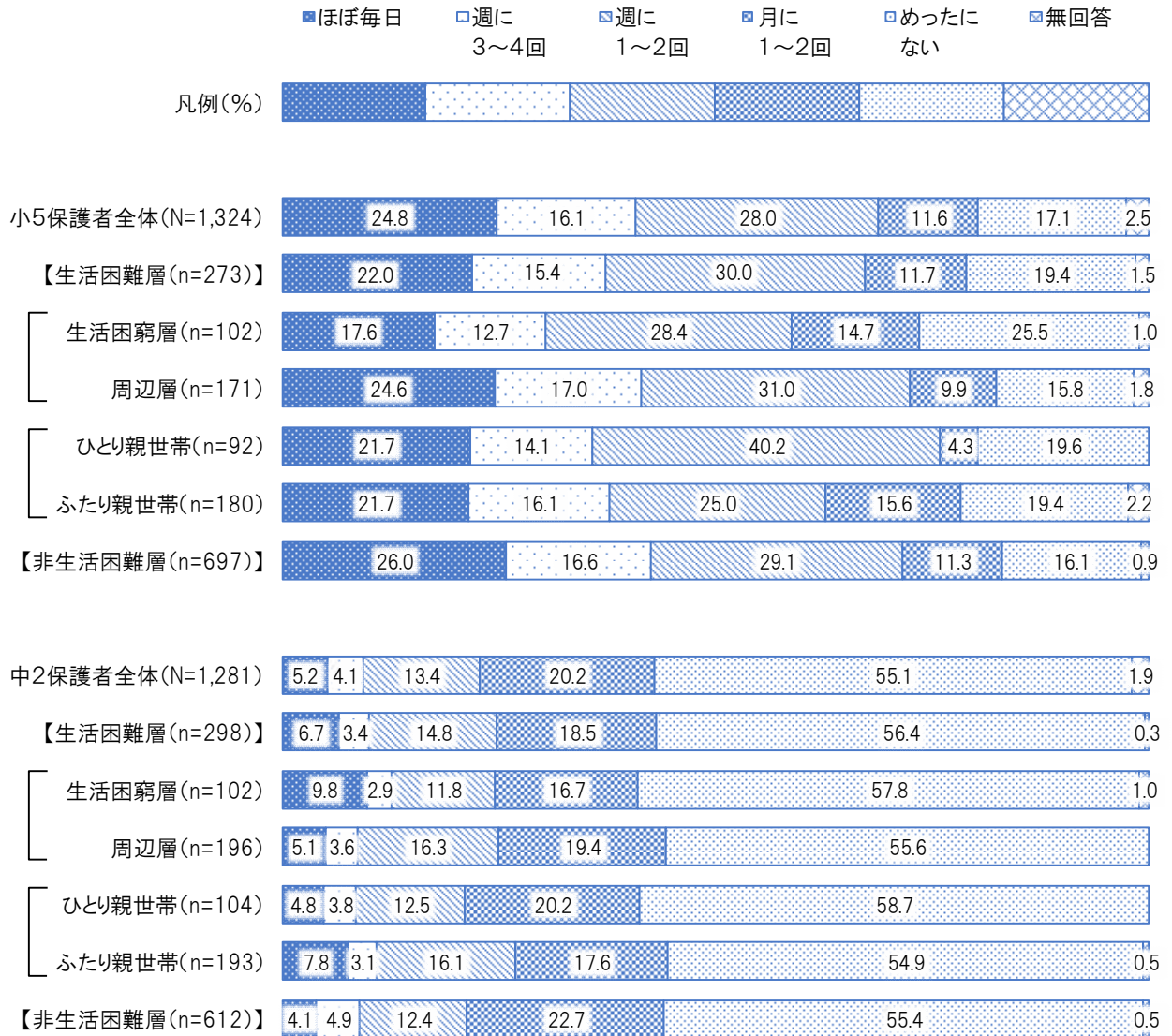
中学2年保護者全体では、「ほぼ毎日」の割合が高い順に「E 学校生活の話をする」(54.3%)、「H テレビ番組(ニュースを除く)の話をする」(29.6%)、「F 勉強や成績の話をする」(23.1%)となっている。一方、「めったにない」では「D カードゲームなどで遊ぶ」(80.2%)、「C コンピュータゲームで遊ぶ」(74.6%)、「B からだを動かして遊ぶ」(67.6%)などがあげられる。



A 勉強をみる

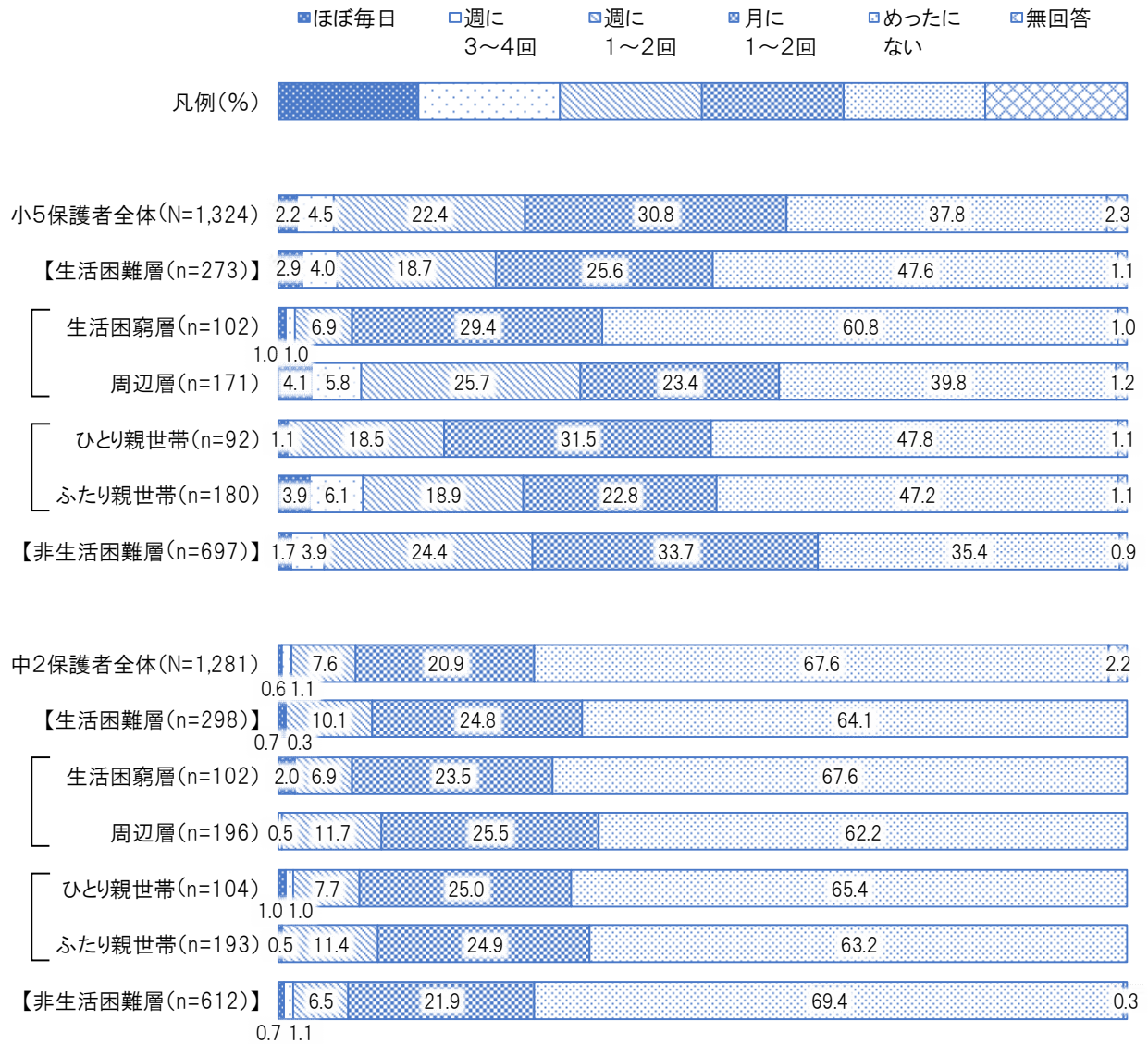
勉強をみることについて「ほぼ毎日」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で17.6%、周辺層で24.6%となっており、生活困窮層で低くなっている。中学2年保護者では、生活困窮層で9.8%、周辺層で5.1%となっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のひとり親世帯で「週に1～2回」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



B からだを動かして遊ぶ

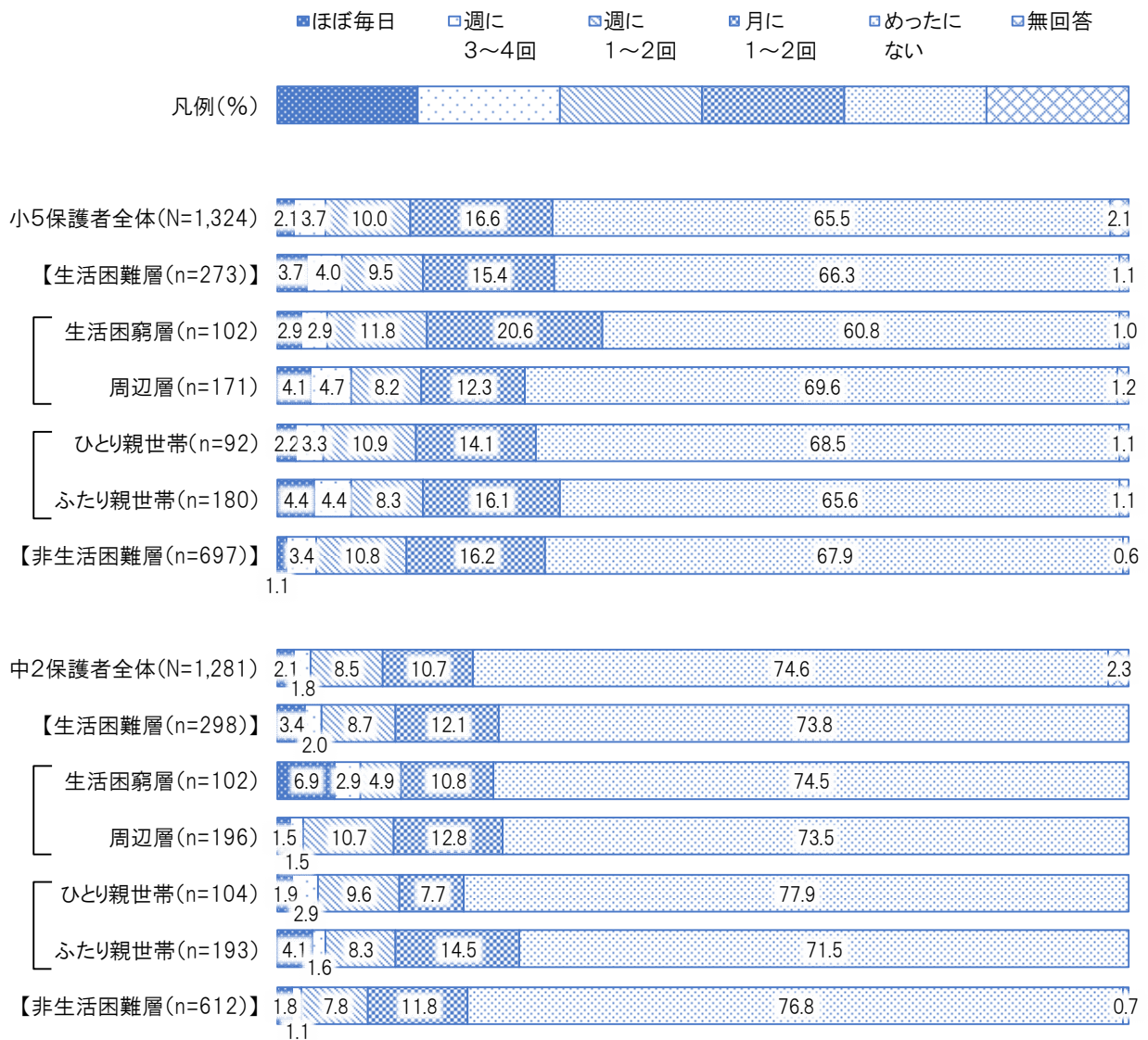
からだを動かして遊ぶことについて「めったにない」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で60.8%、周辺層で39.8%となっており、生活困窮層で高くなっている。中学2年保護者では、生活困窮層で67.6%、周辺層で62.2%となっている。



C コンピュータゲームで遊ぶ

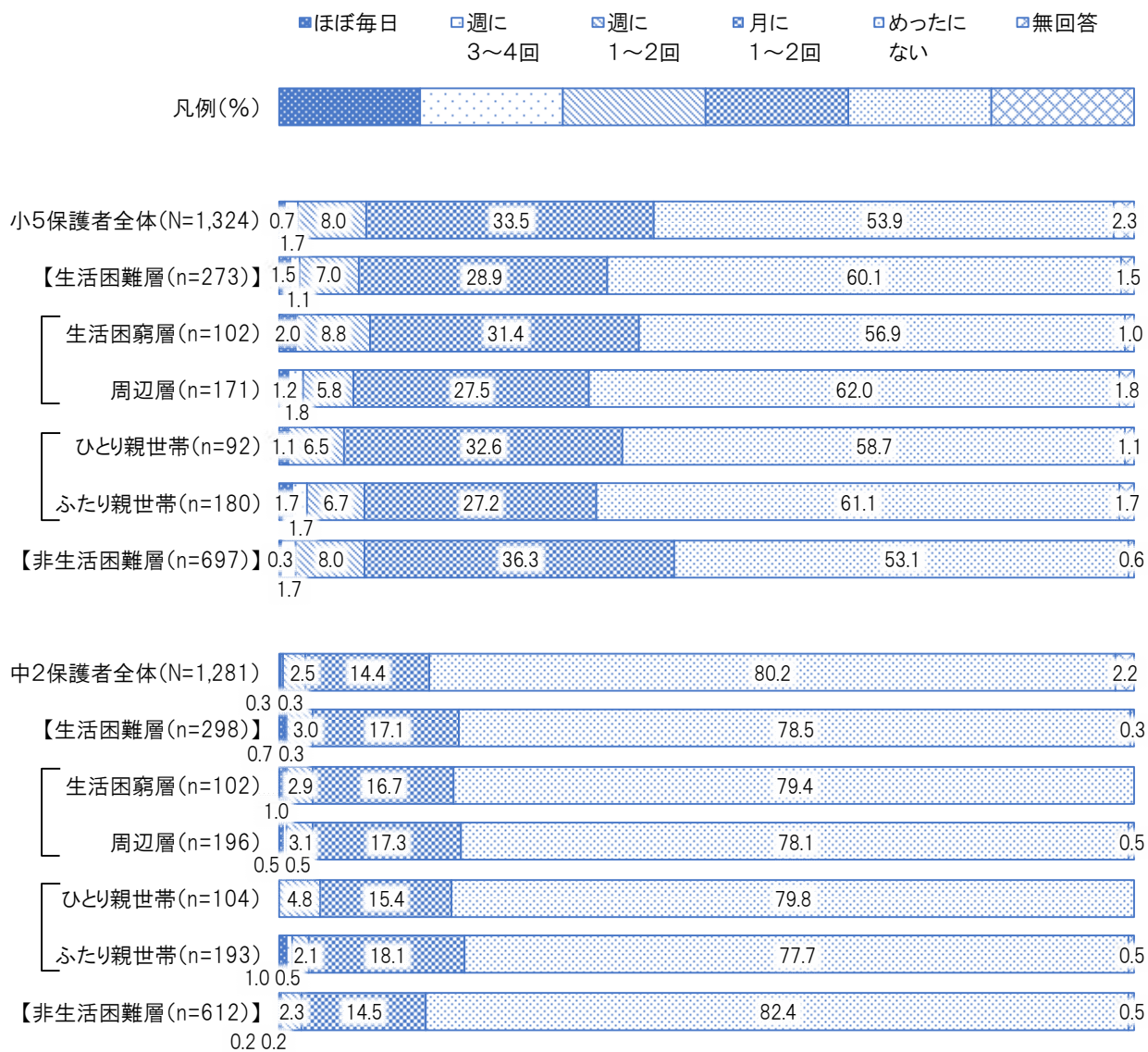
コンピュータゲームで遊ぶことについて「月に1～2回」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で20.6%、周辺層で12.3%となっており、生活困窮層で高くなっている。中学2年保護者では、生活困窮層で10.8%、周辺層で12.8%となっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のふたり親世帯で「月に1～2回」の割合がひとり親世帯に比べて高くなっている。



D カードゲームなどで遊ぶ

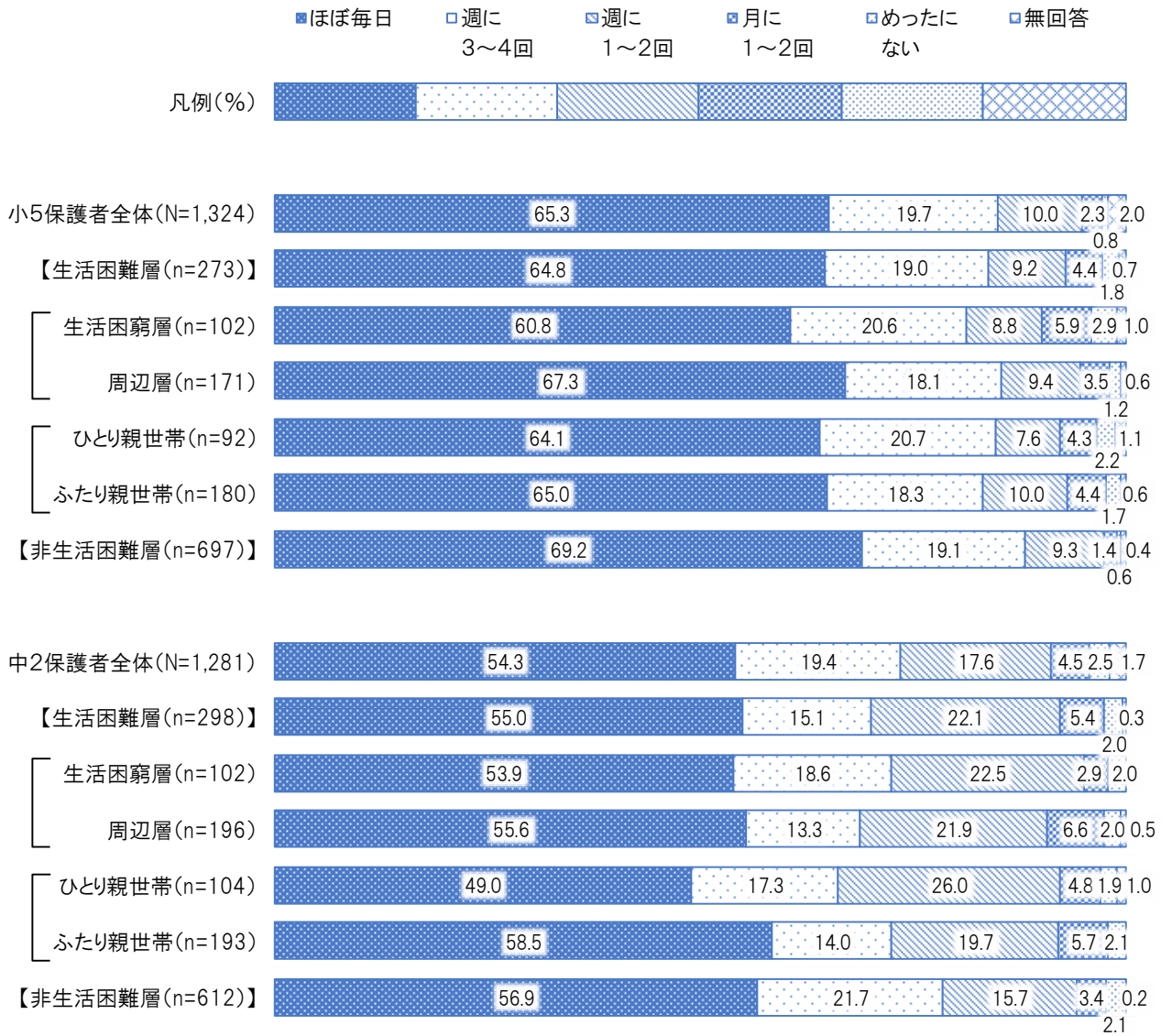
カードゲームなどで遊ぶことについて「めったにない」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で 56.9%，周辺層で 62.0%となっており、周辺層で高くなっている。中学2年保護者では、生活困窮層で 79.4%，周辺層で 78.1%となっている。



E 学校生活の話をする

学校生活の話をするについて「ほぼ毎日」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で60.8%、周辺層で67.3%となっており、生活困窮層で低くなっている。中学2年保護者では、生活困窮層で53.9%、周辺層で55.6%となっている。

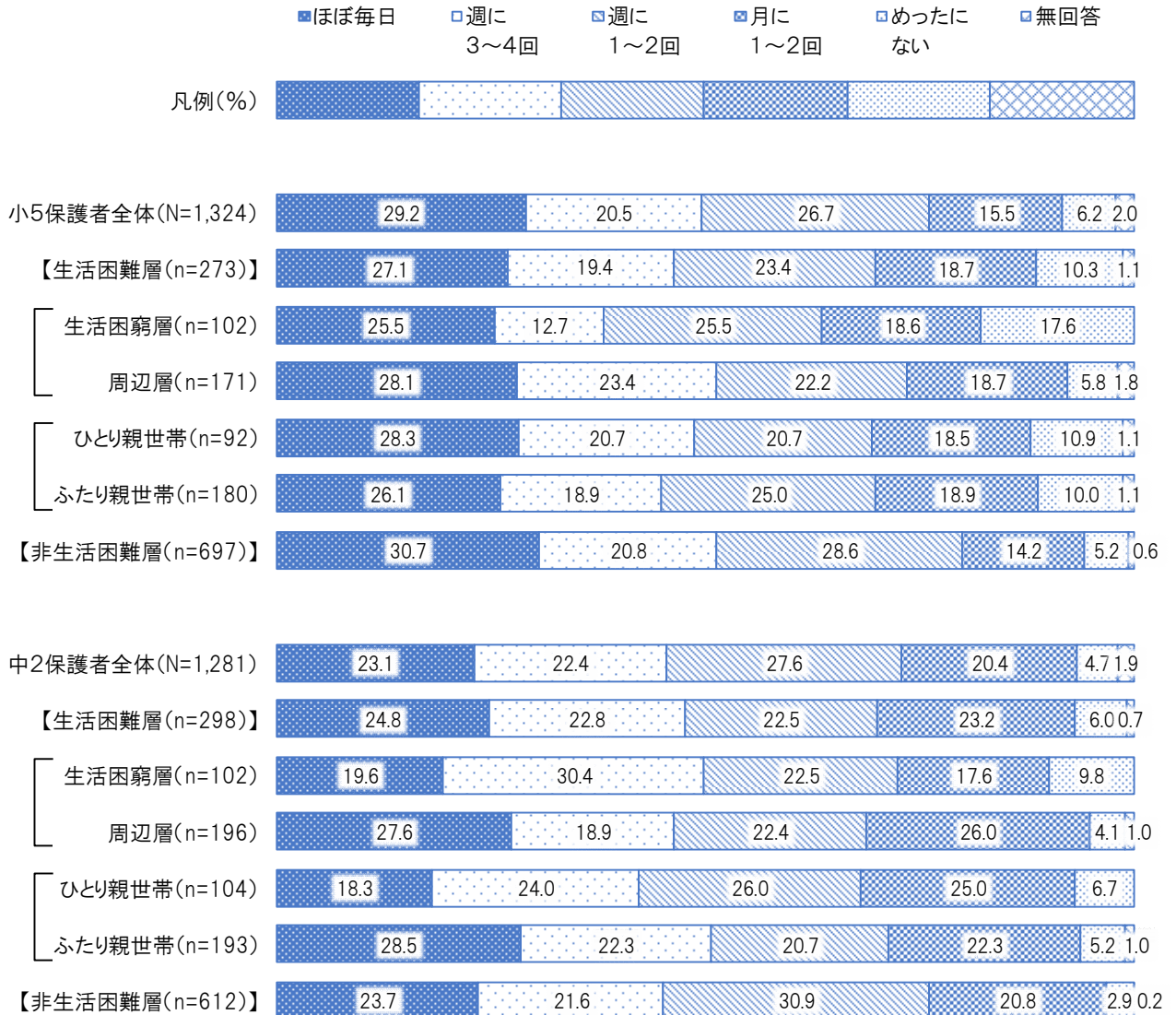
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のひとり親世帯で「ほぼ毎日」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



F 勉強や成績の話をする

勉強や成績の話をするについて「ほぼ毎日」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で25.5%、周辺層で28.1%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で19.6%、周辺層で27.6%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

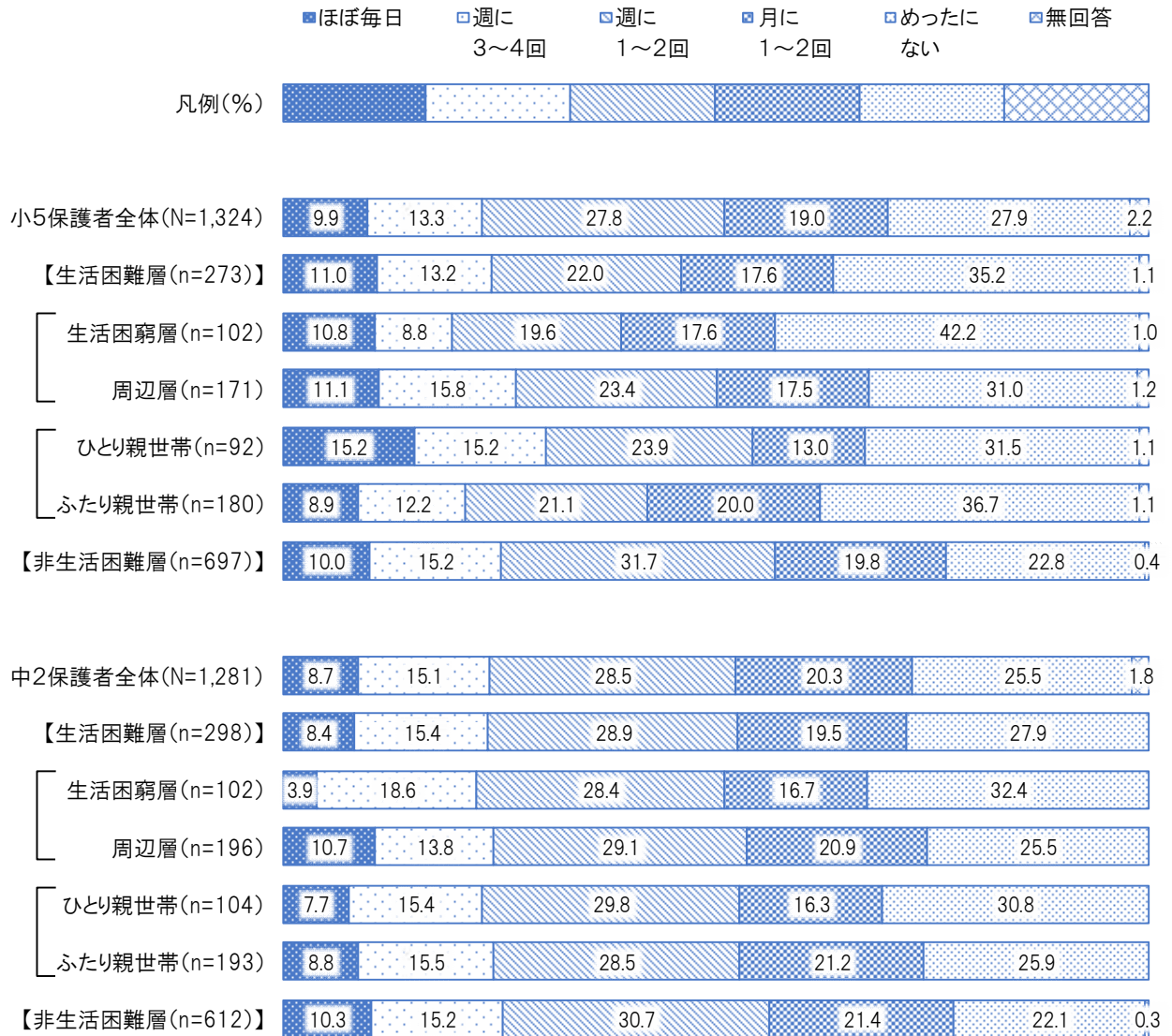
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のひとり親世帯で「ほぼ毎日」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



G 政治経済・社会問題などのニュースの話をする

政治経済・社会問題などのニュースの話をすることについて「ほぼ毎日」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で10.8%、周辺層で11.1%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で3.9%、周辺層で10.7%となっており、生活困窮層で低くなっている。

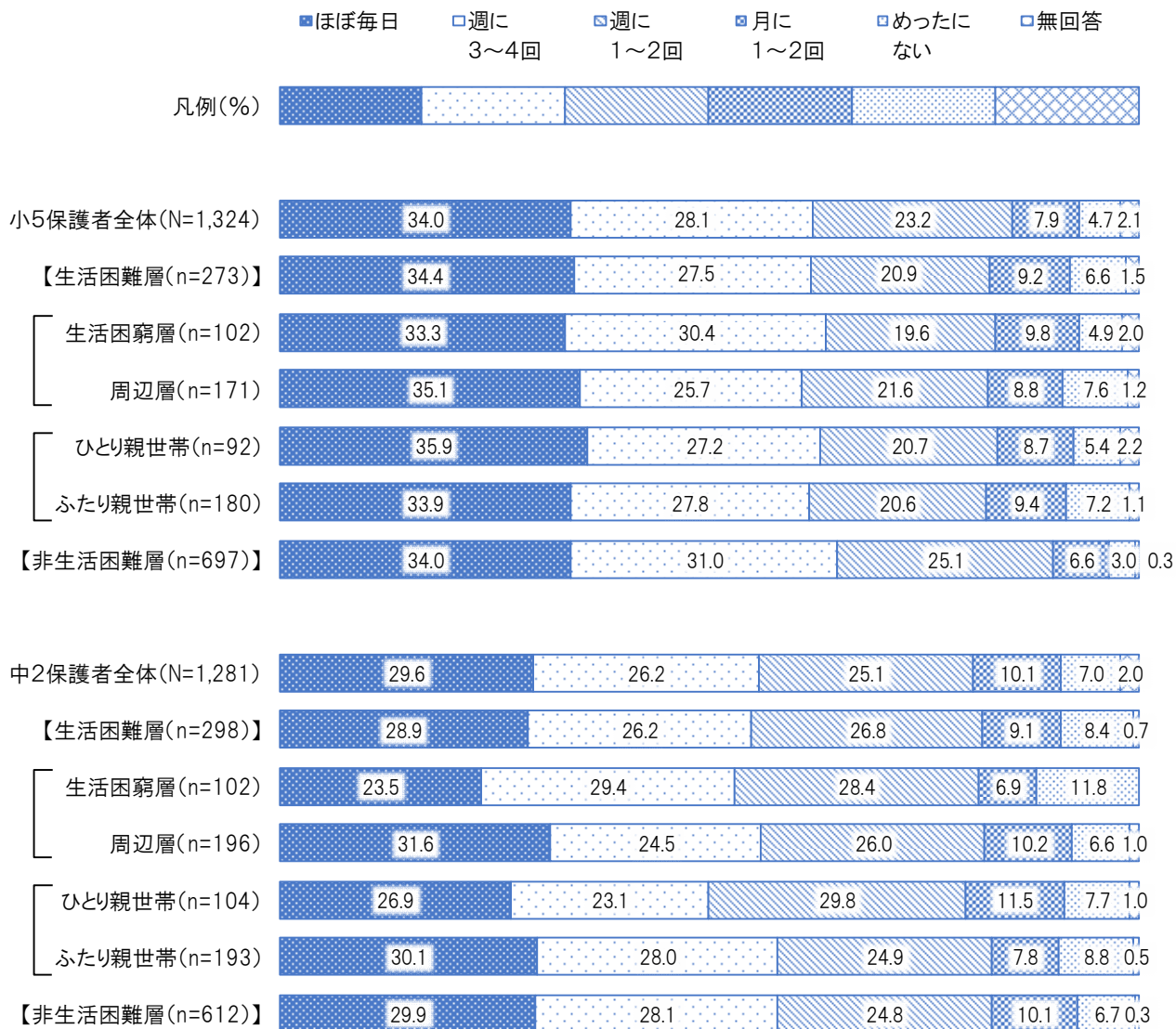
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のひとり親世帯で「ほぼ毎日」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



H テレビ番組（ニュースを除く）の話をする

テレビ番組（ニュースを除く）の話をすることについて「ほぼ毎日」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で33.3%、周辺層で35.1%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で23.5%、周辺層で31.6%となっており、生活困窮層で低くなっている。

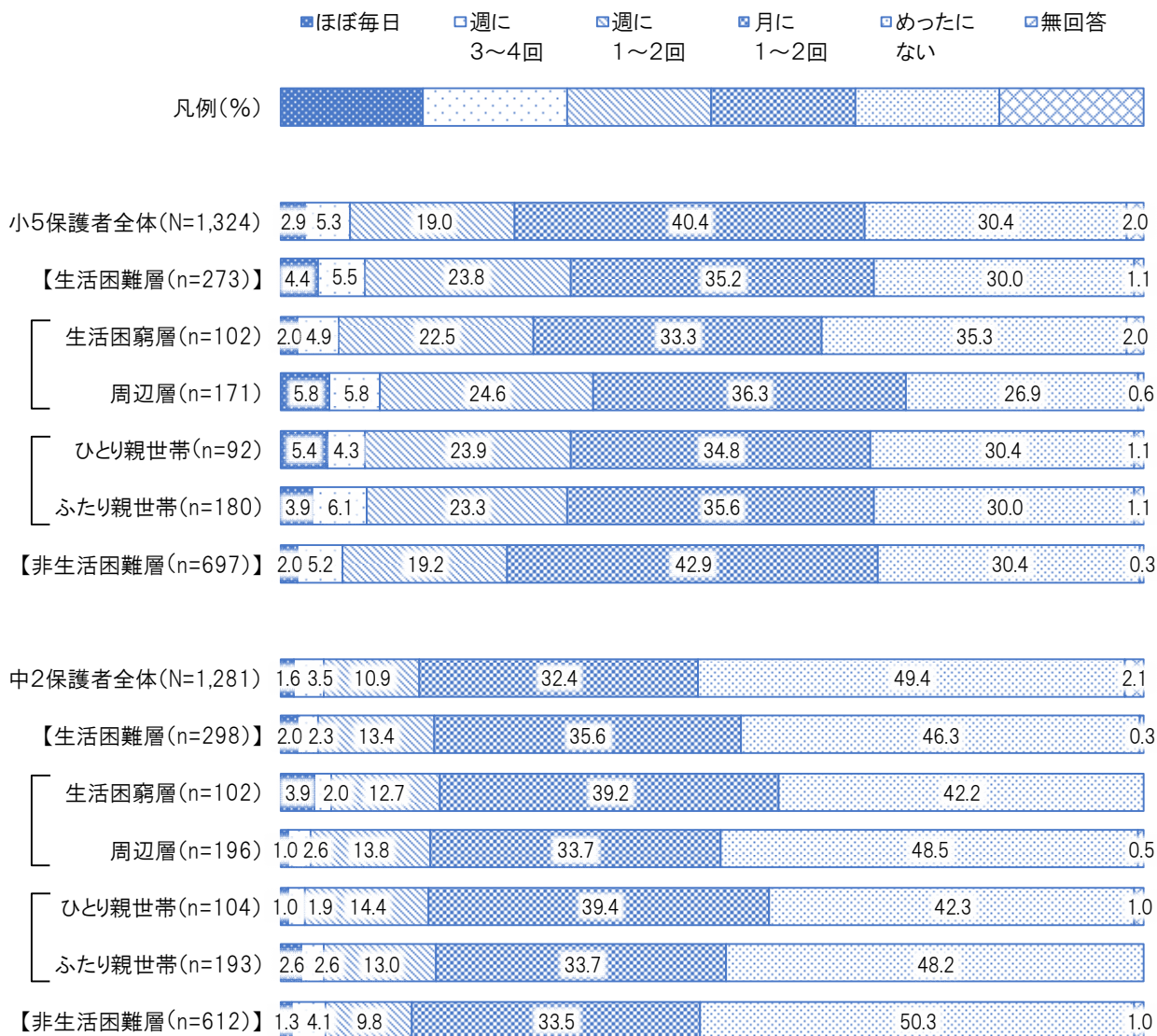
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のひとり親世帯で「ほぼ毎日」の割合がふたり親世帯に比べてやや低くなっている。



I 一緒に料理をする

一緒に料理をすることについて「めったにない」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で35.3%、周辺層で26.9%となっており、生活困窮層で高くなっている。中学2年保護者では、生活困窮層で42.2%、周辺層で48.5%となっている。

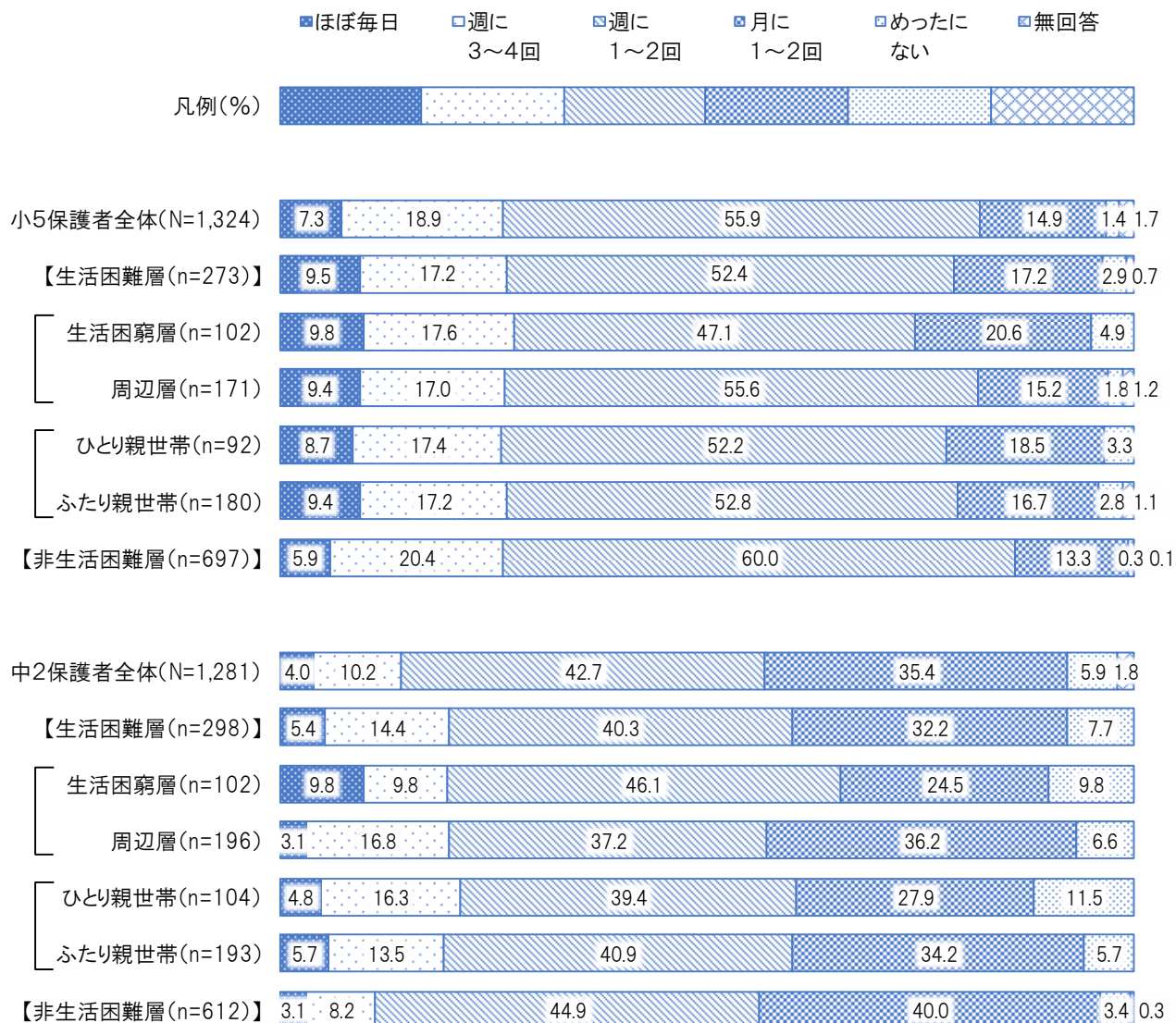
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のひとり親世帯で「月に1～2回」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



J 一緒に外出をする

一緒に外出をすることについて「めったにない」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で4.9%、周辺層で1.8%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で9.8%、周辺層で6.6%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のひとり親世帯で「めったにない」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



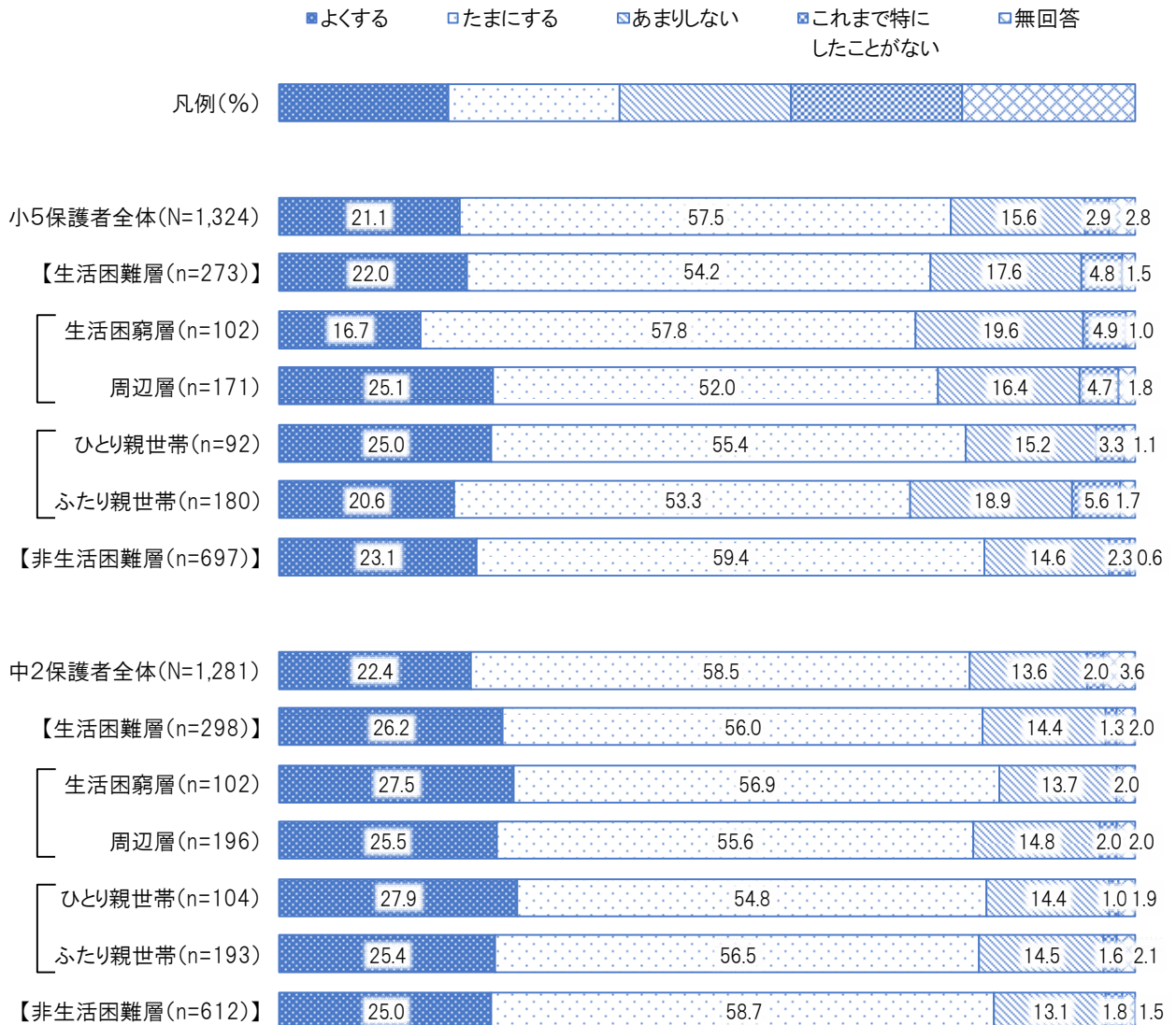
(2) 子どもの将来についての会話

保／問 26 あなたは、お子さんの将来（夢・進路・職業等）について、お子さんと一緒に考えたり、話したりすることがありますか。（あてはまる番号1つに○）

子どもの将来についての会話については、小学5年保護者全体では「よくする」の割合が21.1%、中学2年保護者全体では22.4%となっている。一方、「あまりしない」「これまで特にしたことがない」の合計は、小学5年保護者全体では18.5%、中学2年保護者全体では15.6%となっている。

生活困難度別にみた「よくする」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で16.7%、中学2年保護者で27.5%となっており、小学5年保護者の生活困窮層で低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のひとり親世帯で「よくする」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



【6】子どものしつけ

保／問 28 あなたのご家庭では、お子さんに対して、次のことをしていますか。
（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

こどものしつけについては、小学5年保護者全体では「あてはまる」の割合が高い順に「D 悪いことをしたらきちんと叱っている」(81.5%)、「G 小さいころ、絵本の読み聞かせをした」(44.3%)、「I 計画的に勉強するよう促している」(37.2%)、「E 本や新聞を読むようにすすめている」(37.1%)となっている。一方、「あてはまらない」では「J 英語や外国の文化に触れるよう意識している」(24.1%)、「F 読んだ本の感想を話し合ったりしている」(14.7%)などがあげられる。

小5保護者全体
(N=1,324)

■あてはまる □どちらか
 たとえば
 あてはまる □どちらか
 たとえば
 あてはま
 らない ■あてはま
 らない □持たせ
 ていない
 (※) □無回答

凡例(%)



A テレビゲームで遊ぶ時間を限定している



B 携帯電話やスマートフォンの使い方についてルールや約束をつくっている



※持たせていない(テレビゲームや携帯電話など)

■あてはまる □どちらか
 たとえば
 あてはまる □どちらか
 たとえば
 あてはま
 らない ■あてはま
 らない □無回答

凡例(%)



C よいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている



D 悪いことをしたらきちんと叱っている



E 本や新聞を読むようにすすめている



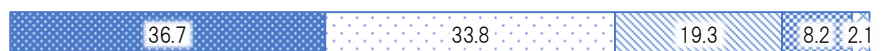
F 読んだ本の感想を話し合ったりしている



G 小さいころ、絵本の読み聞かせをした



H 「勉強しなさい」とよく言っている



I 計画的に勉強するよう促している



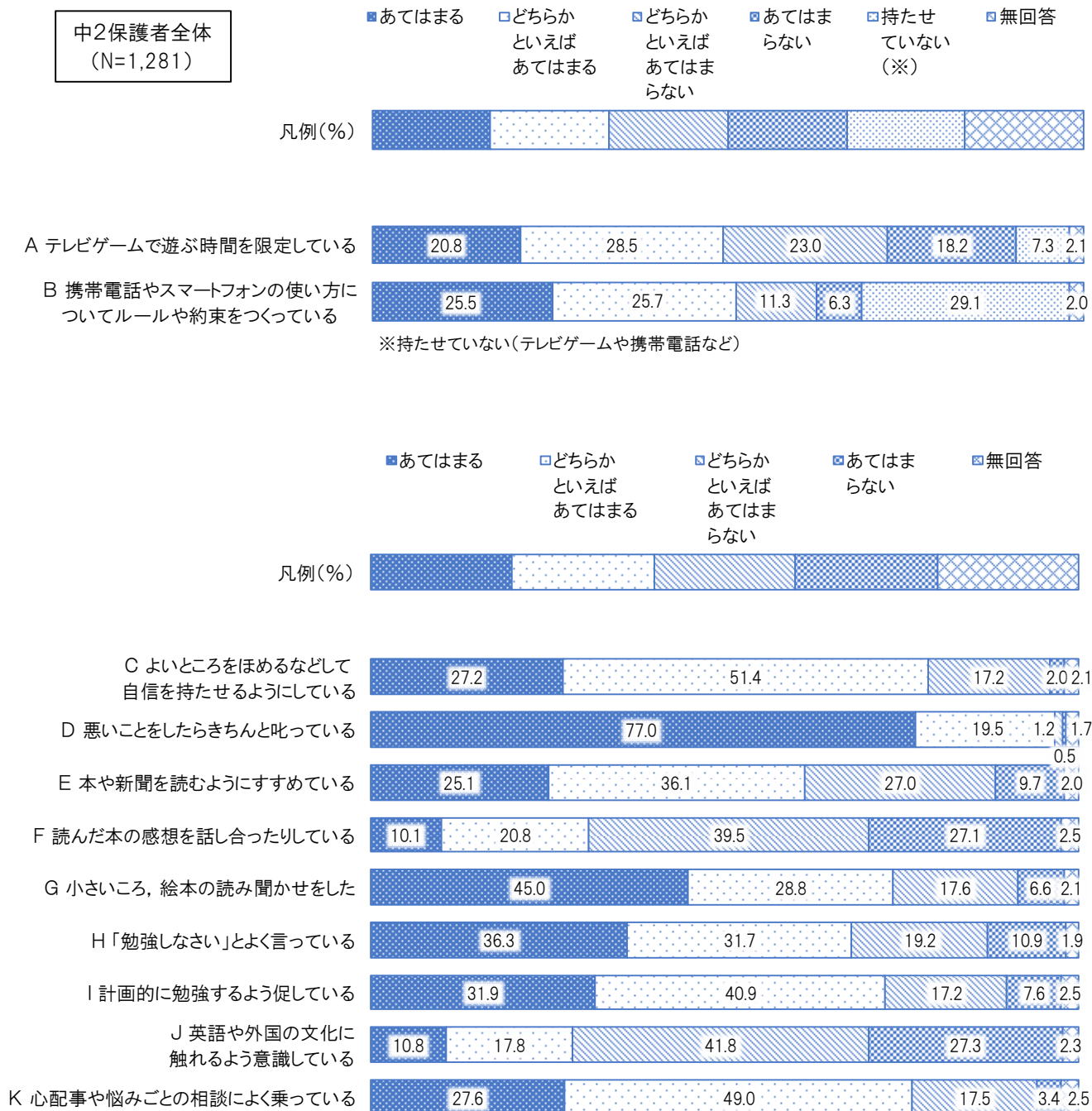
J 英語や外国の文化に触れるよう意識している



K 心配事や悩みごとの相談によく乗っている



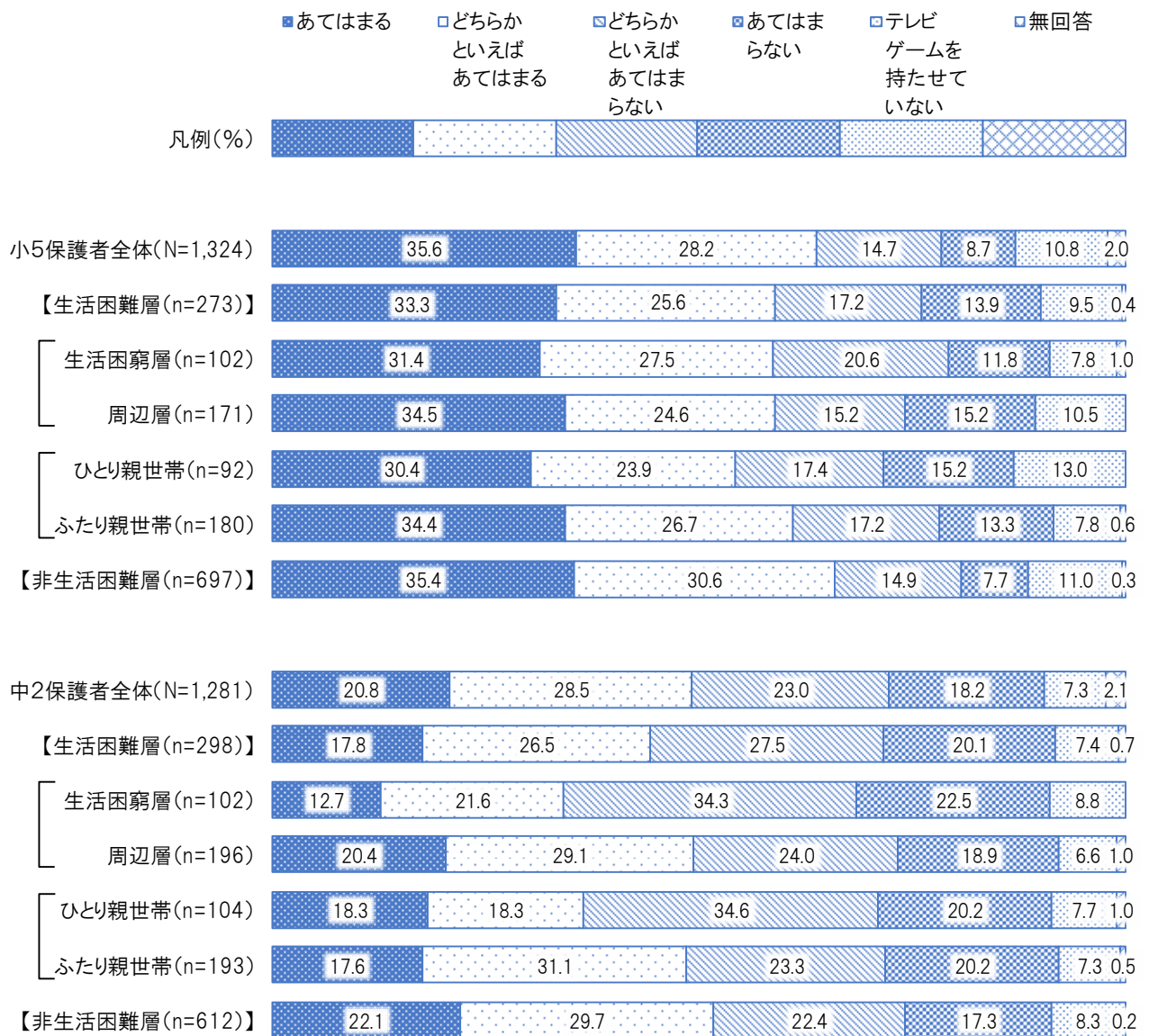
中学2年保護者全体では、「あてはまる」の割合が高い順に「D 悪いことをしたらきちんと叱っている」(77.0%)、「G 小さいころ、絵本の読み聞かせをした」(45.0%)、「H 勉強しなさいとよく言っている」(36.3%)となっている。一方、「あてはまらない」では「J 英語や外国の文化に触れるよう意識している」(27.3%)、「F 読んだ本の感想を話し合ったりしている」(27.1%)などがあげられる。



A テレビゲームで遊ぶ時間を限定している

テレビゲームで遊ぶ時間を限定していることについて「あてはまる」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で31.4%、周辺層で34.5%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で12.7%、周辺層で20.4%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

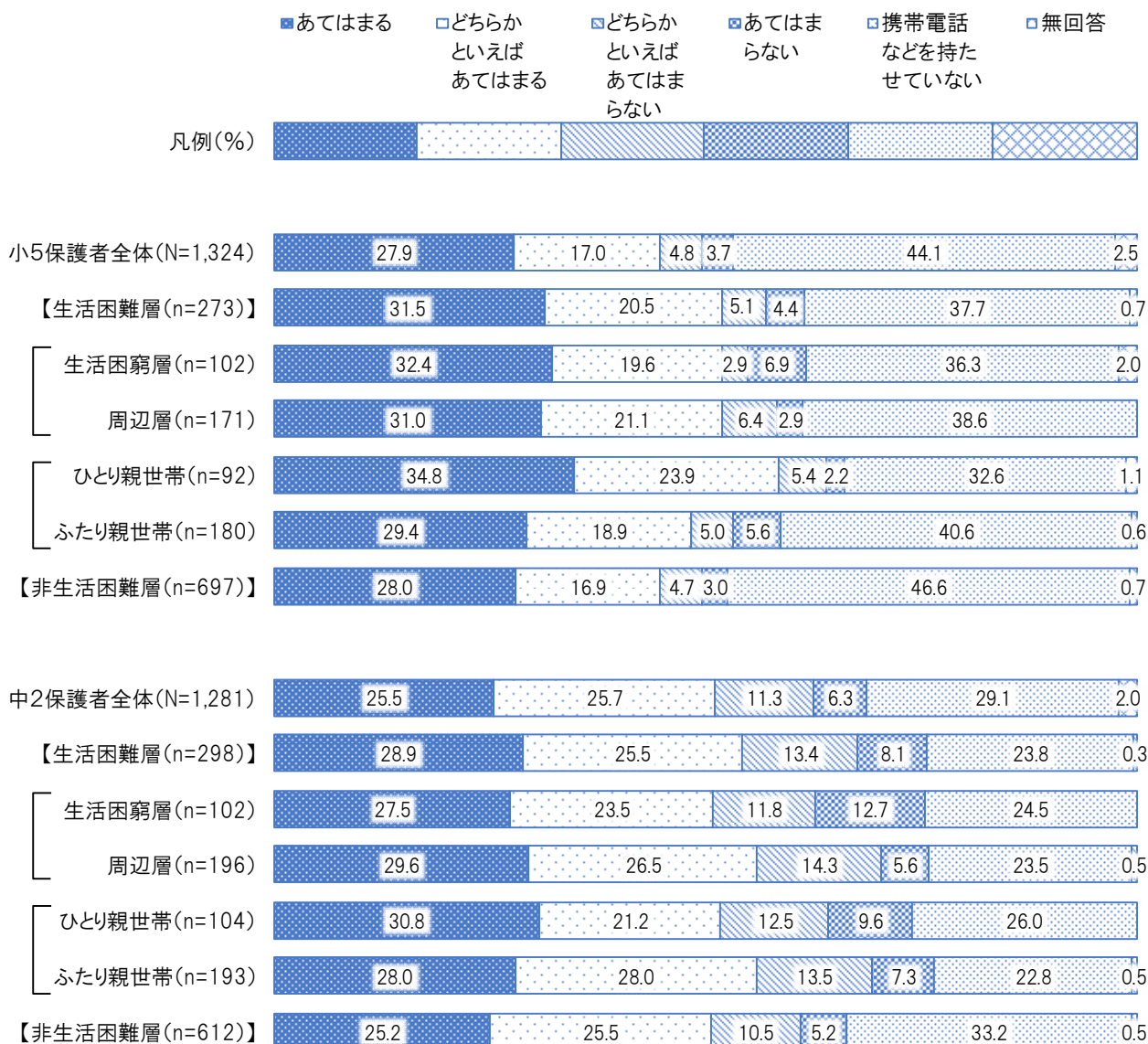
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のひとり親世帯で「どちらかといえばあてはまる」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



B 携帯電話やスマートフォンの使い方についてルールや約束をつくっている

携帯電話やスマートフォンの使い方についてルールや約束をつくっていることについて「あてはまらない」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で6.9%，周辺層で2.9%となっている。中学2年保護者では，生活困窮層で12.7%，周辺層で5.6%となっており，生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

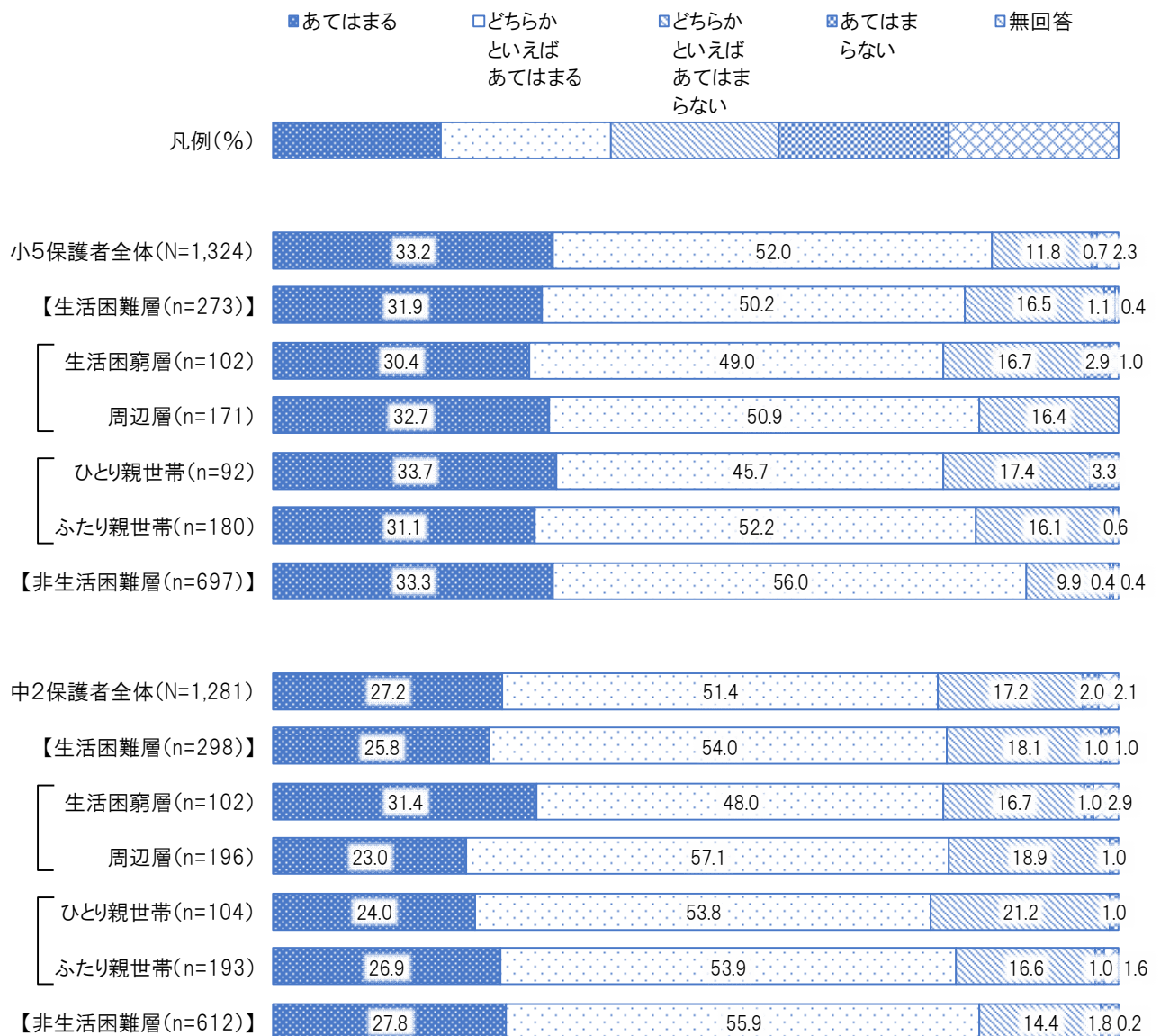
生活困難層世帯タイプ別では，小学5年保護者のひとり親世帯で「あてはまる」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



C よいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている

よいところをほめるなどして自信を持たせるようにしていることについて「あてはまる」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で30.4%、周辺層で32.7%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で31.4%、周辺層で23.0%となっており、生活困窮層で高くなっている。

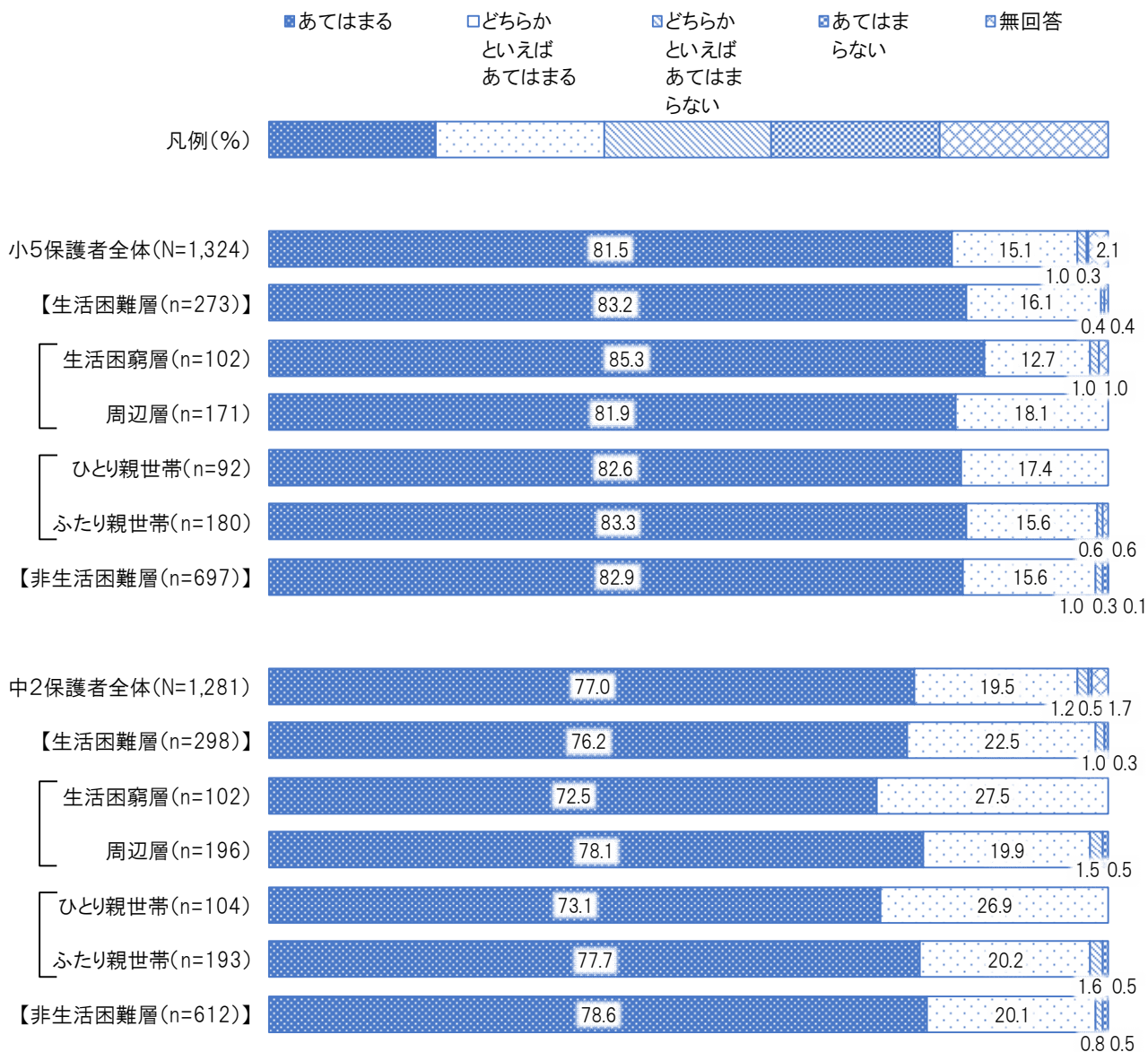
生活困難層世帯タイプ別では中学2年保護者のひとり親世帯で「どちらかといえばあてはまらない」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



D 悪いことをしたらきちんと叱っている

悪いことをしたらきちんと叱っていることについて「あてはまる」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で85.3%、周辺層で81.9%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で72.5%、周辺層で78.1%となっており、生活困窮層で低くなっている。

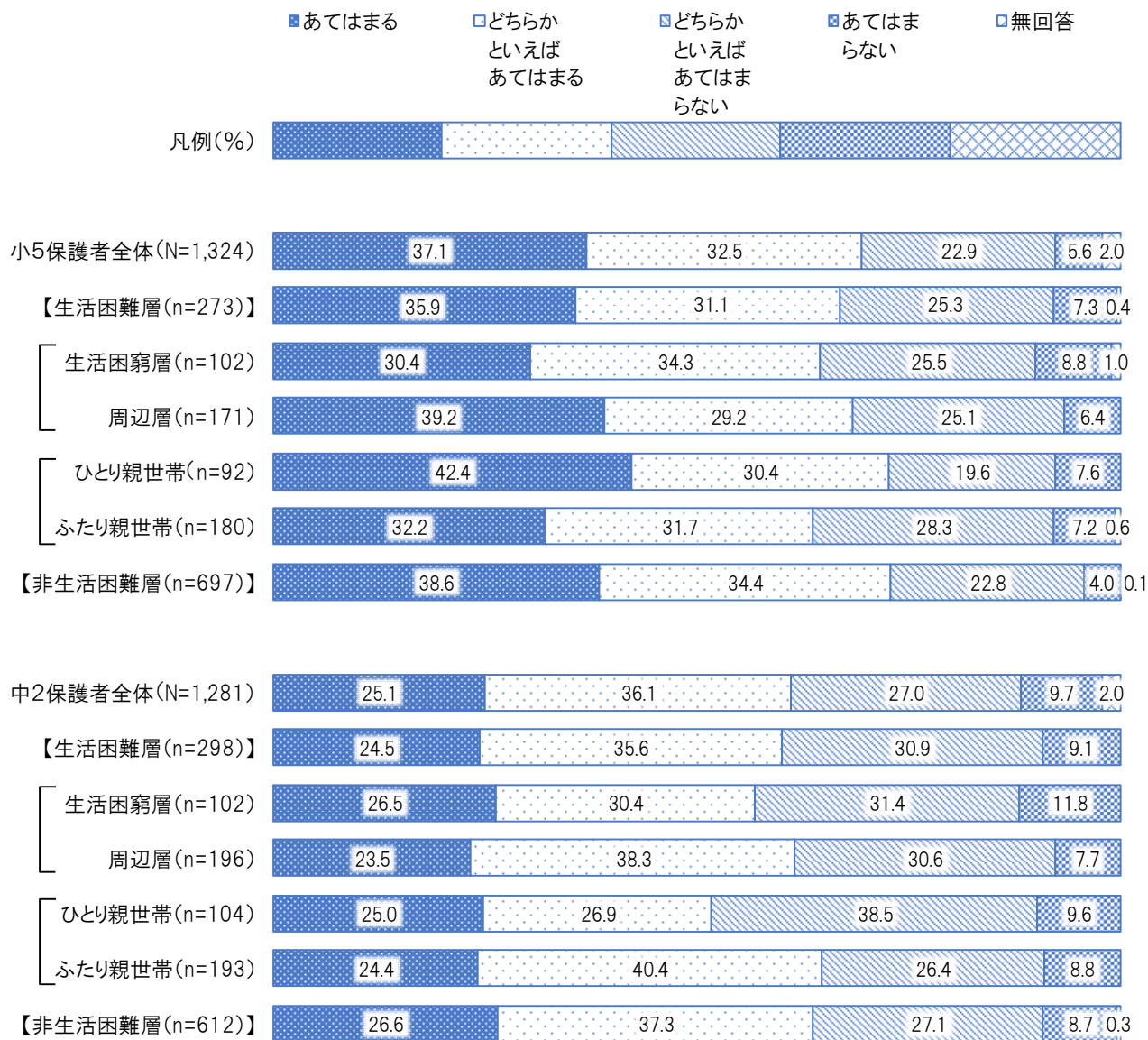
生活困難層世帯タイプ別では中学2年保護者のひとり親世帯で「あてはまる」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



E 本や新聞を読むようにすすめている

本や新聞を読むようにすすめていることについて「あてはまる」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で30.4%、周辺層で39.2%となっており、生活困窮層で低くなっている。中学2年保護者では、生活困窮層で26.5%、周辺層で23.5%となっている。

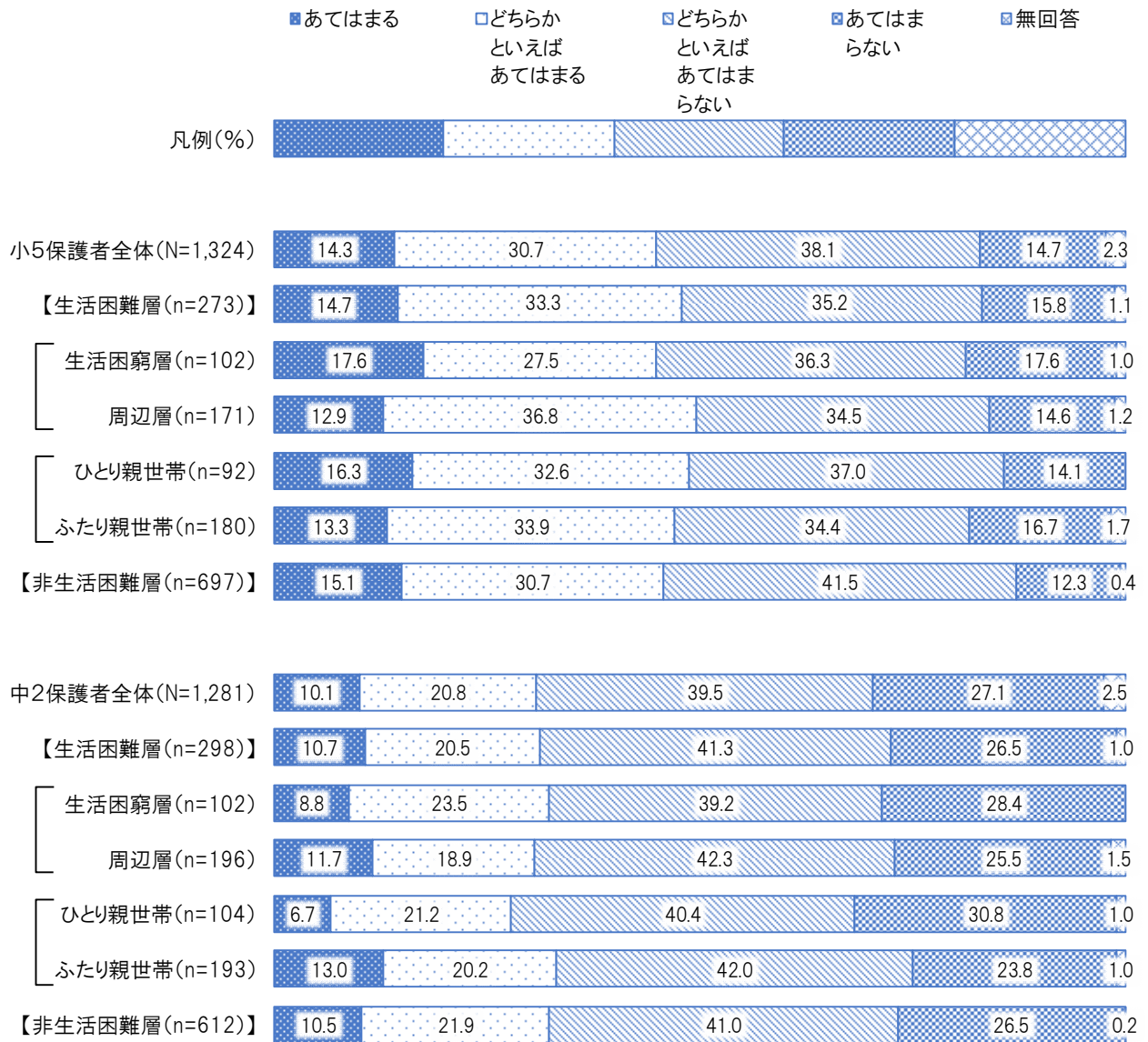
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のひとり親世帯で「あてはまる」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



F 読んだ本の感想を話し合ったりしている

読んだ本の感想を話し合ったりしていることについて「あてはまる」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で17.6%、周辺層で12.9%となっており、生活困窮層で高くなっている。中学2年保護者では、生活困窮層で8.8%、周辺層で11.7%となっている。

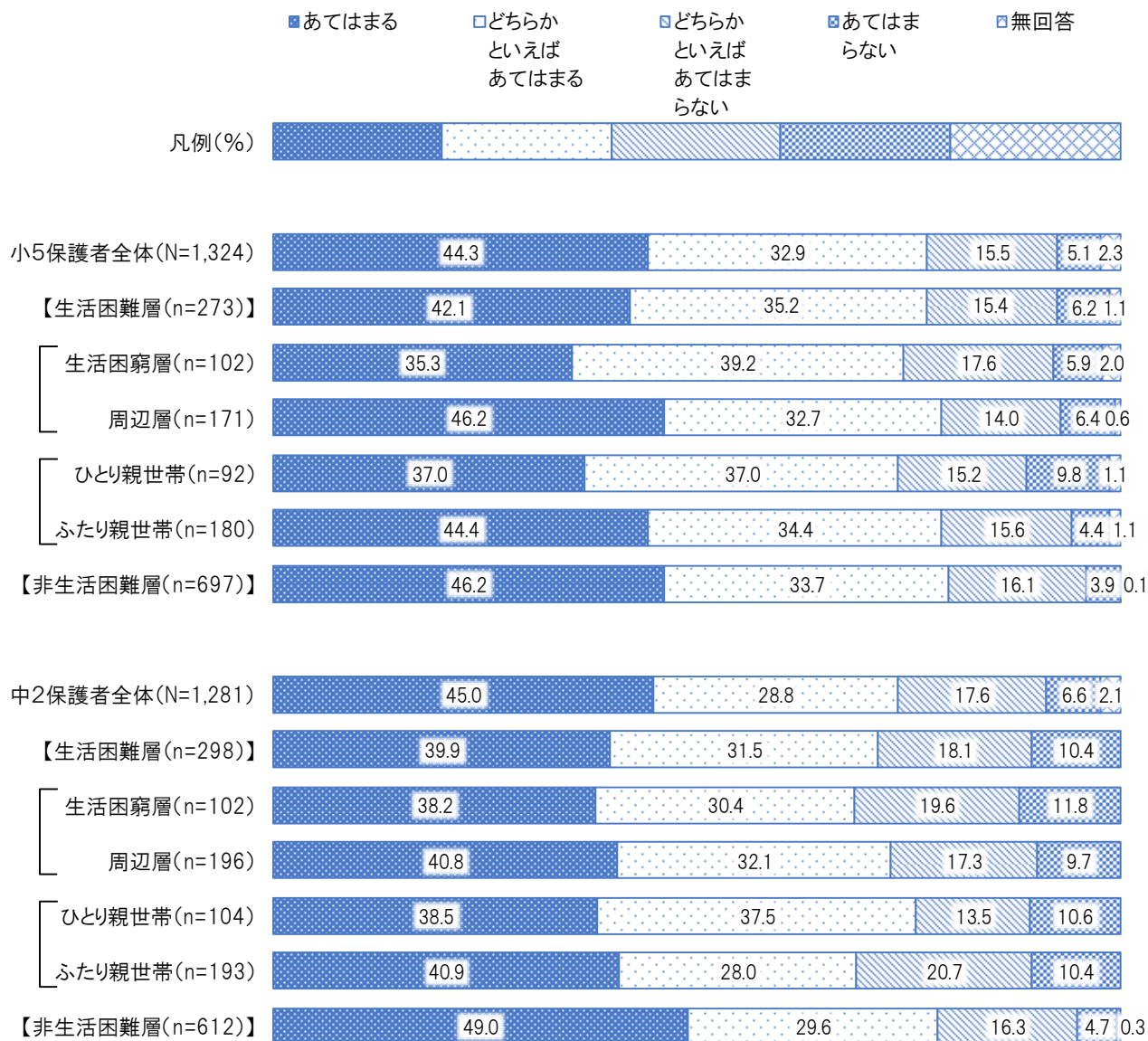
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のひとり親世帯で「あてはまる」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



G 小さいころ、絵本の読み聞かせをした

小さいころ、絵本の読み聞かせをしたことについて「あてはまる」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で35.3%、周辺層で46.2%となっており、生活困窮層で低くなっている。中学2年保護者では、生活困窮層で38.2%、周辺層で40.8%となっている。

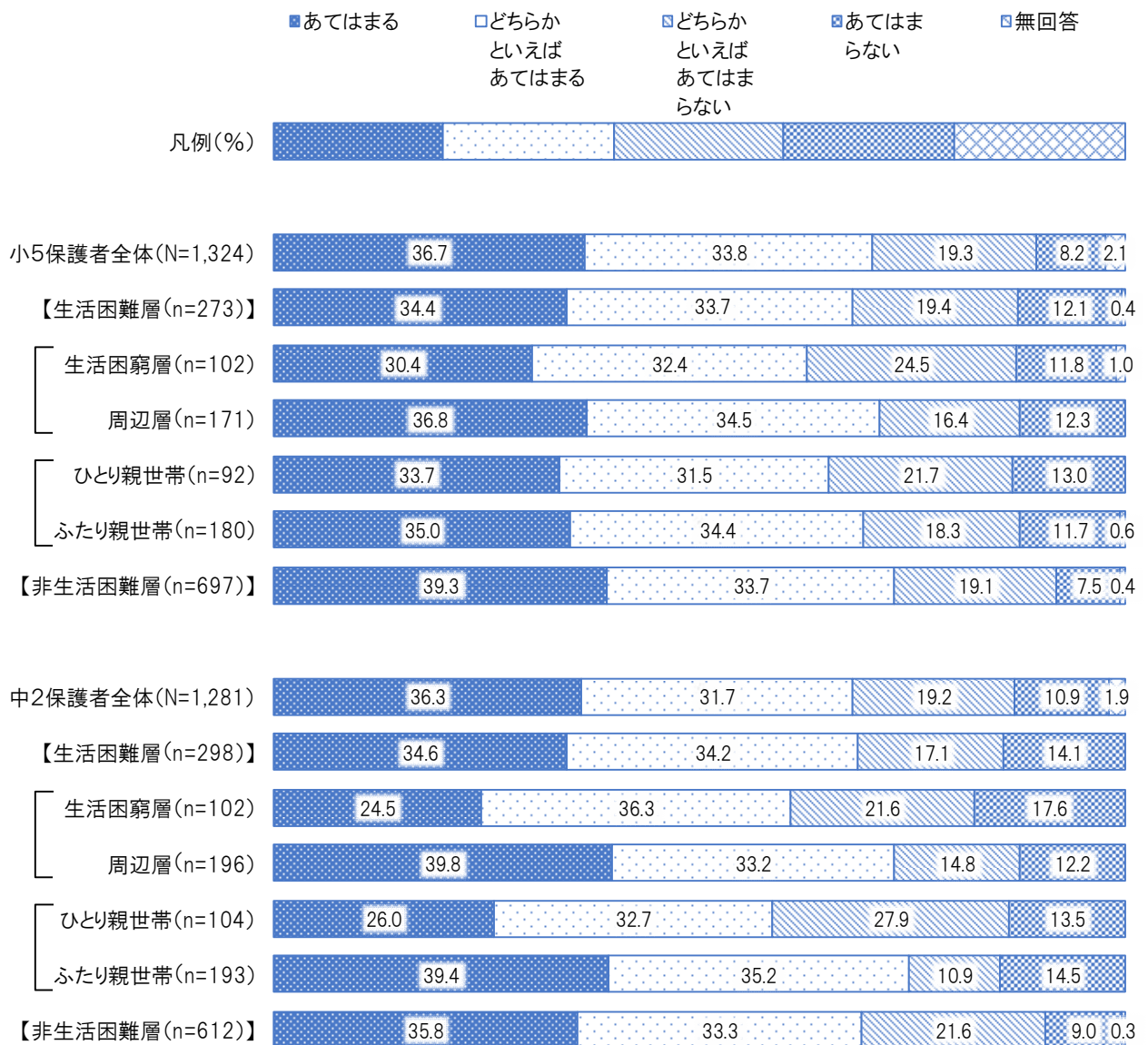
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のひとり親世帯で「あてはまる」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



H 「勉強しなさい」とよく言っている

「勉強しなさい」とよく言っていることについて「あてはまる」の割合は、小学5年保護者の生活困難層で30.4%、周辺層で36.8%となっている。中学2年保護者では、生活困難層で24.5%、周辺層で39.8%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

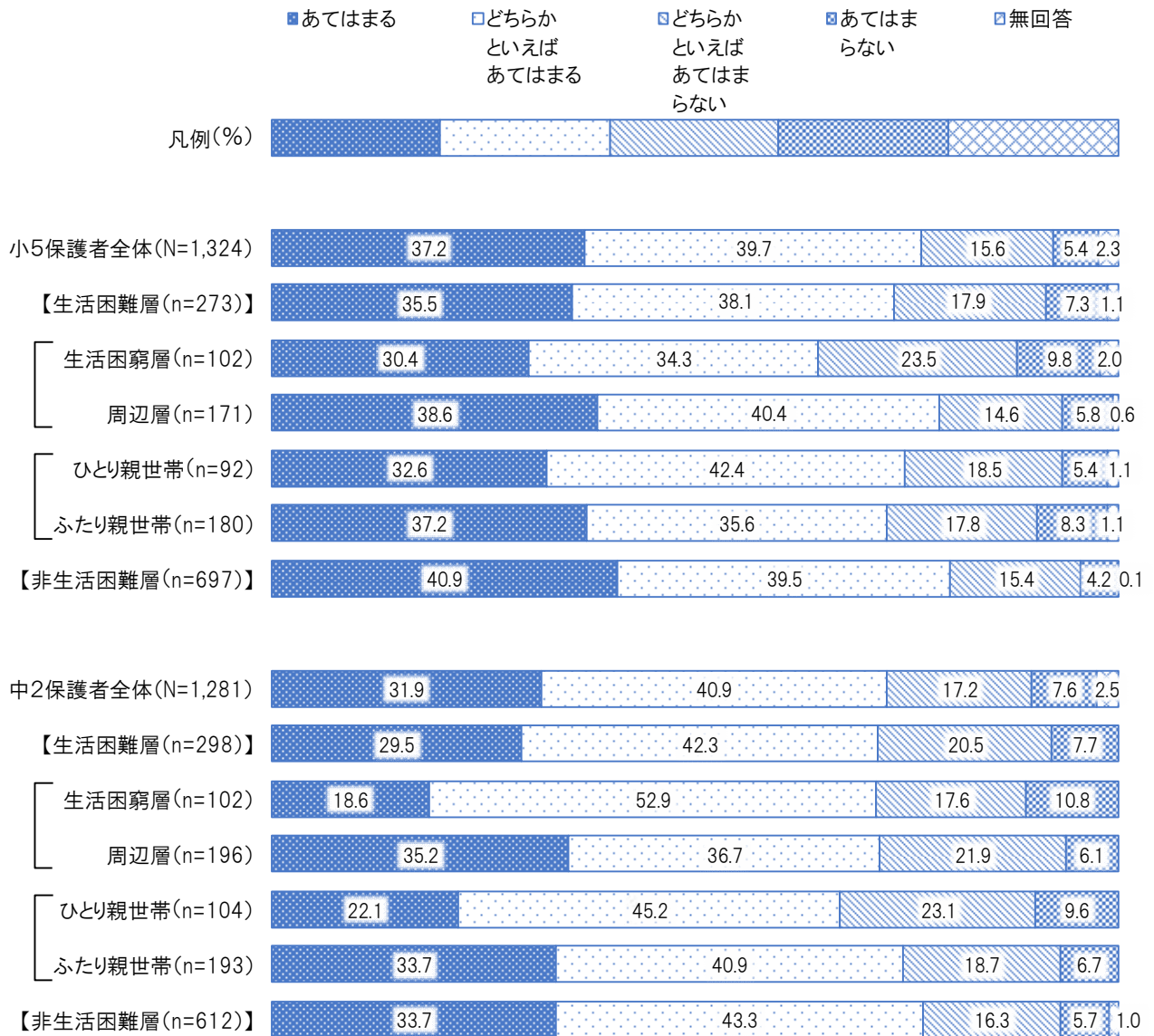
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のひとり親世帯で「あてはまる」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



I 計画的に勉強するよう促している

計画的に勉強するよう促していることについて「あてはまる」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で30.4%、周辺層で38.6%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で18.6%、周辺層で35.2%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

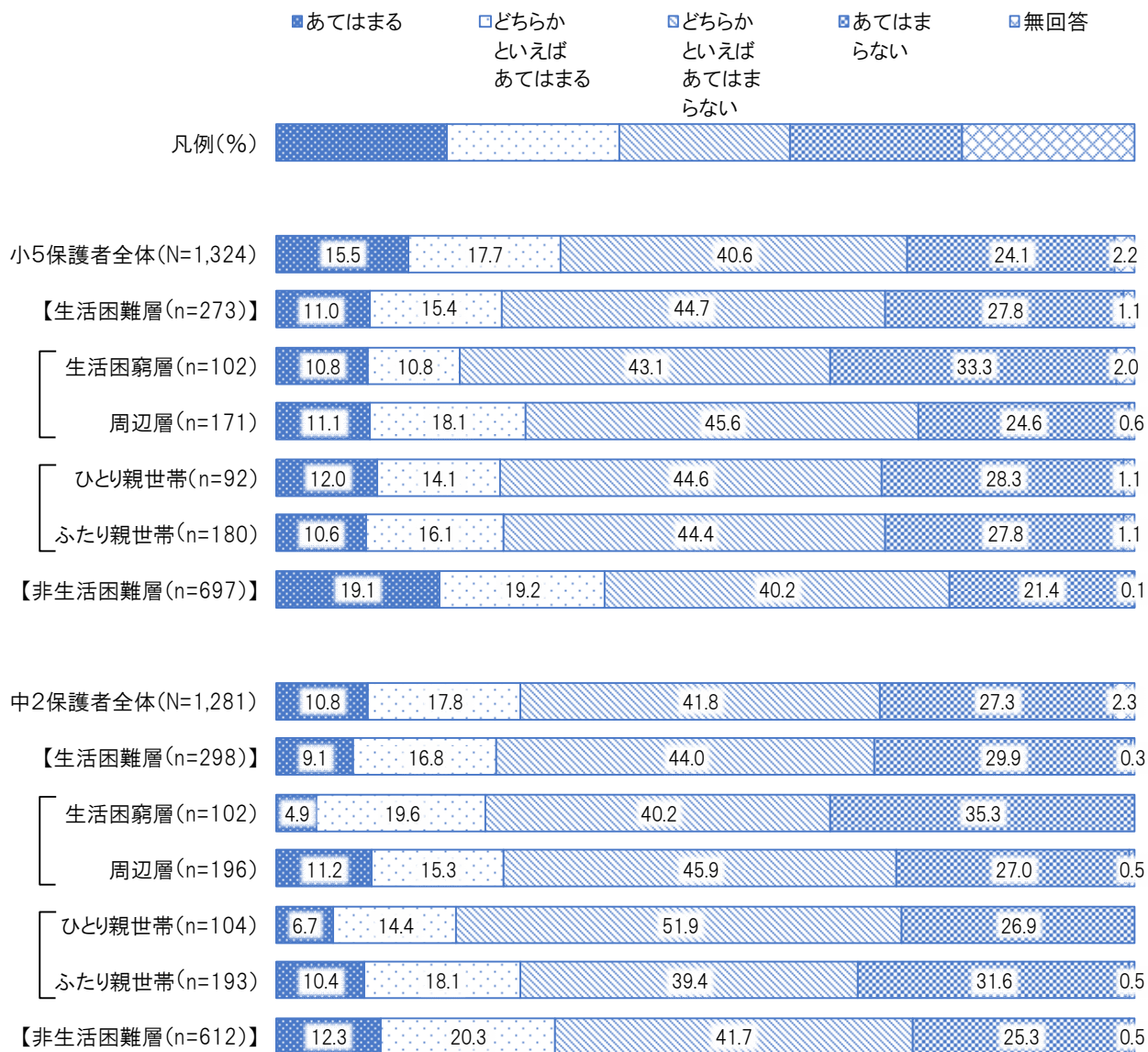
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「あてはまる」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



J 英語や外国の文化に触れるよう意識している

英語や外国の文化に触れるよう意識していることについて「あてはまる」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で10.8%、周辺層で11.1%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で4.9%、周辺層で11.2%となっており、生活困窮層で低くなっている。

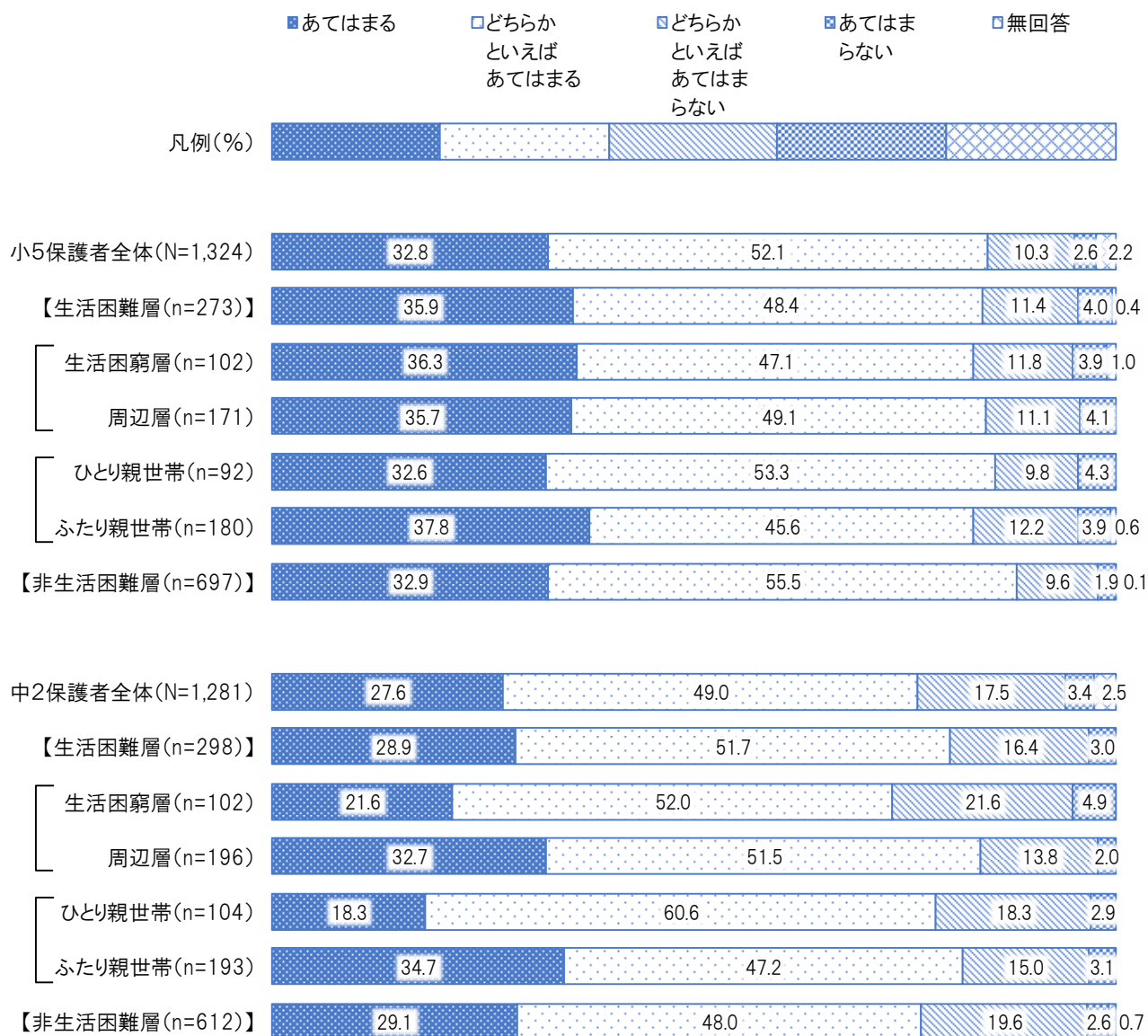
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のひとり親世帯で「あてはまる」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



K 心配事や悩みごとの相談によく乗っている

心配事や悩みごとの相談によく乗っていることについて「あてはまる」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で36.3%、周辺層で35.7%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で21.6%、周辺層で32.7%となっており、生活困窮層で低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「あてはまる」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。

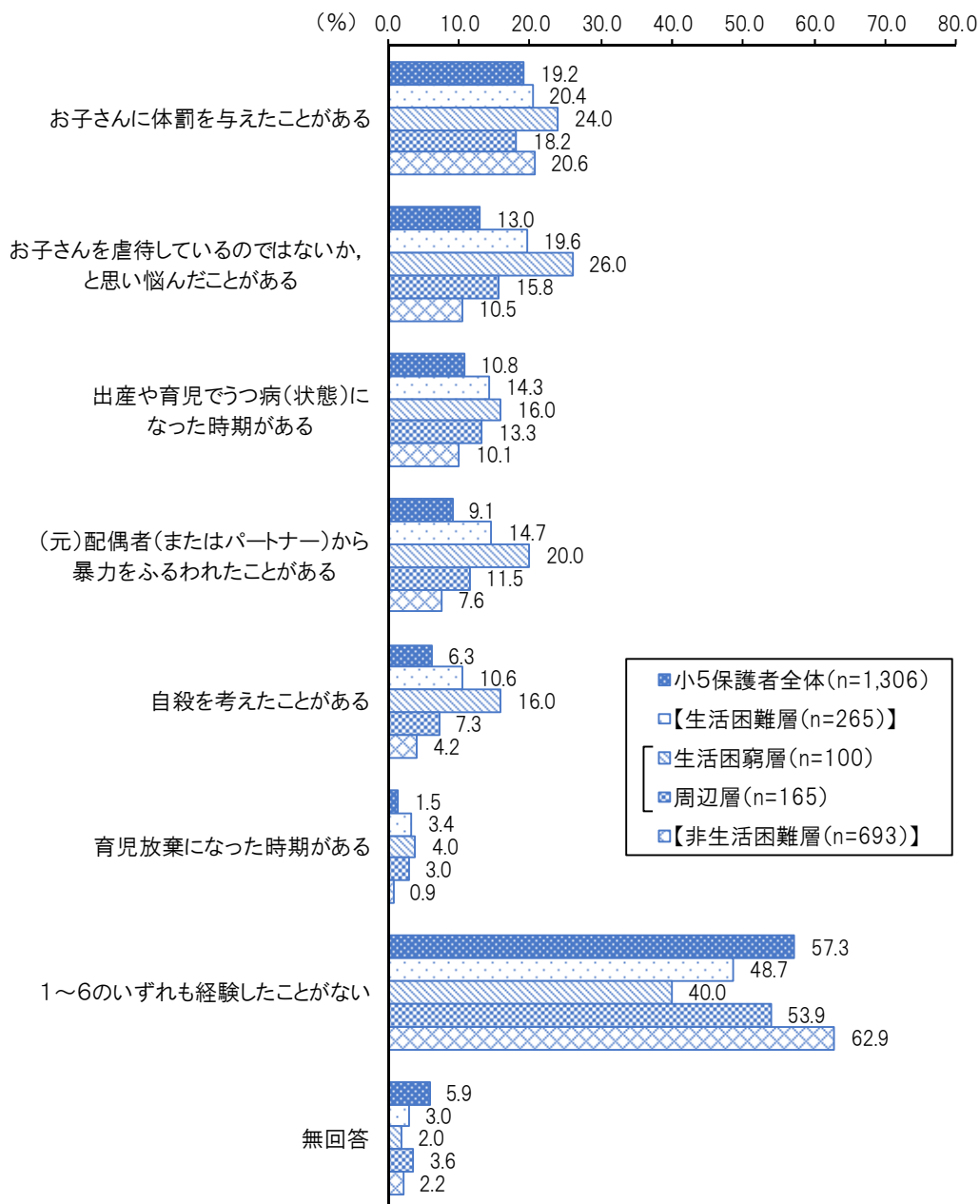


【7】子育て上の経験

保／問 41 あなたは子育てにかかわってから、次のような経験をしたことがありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

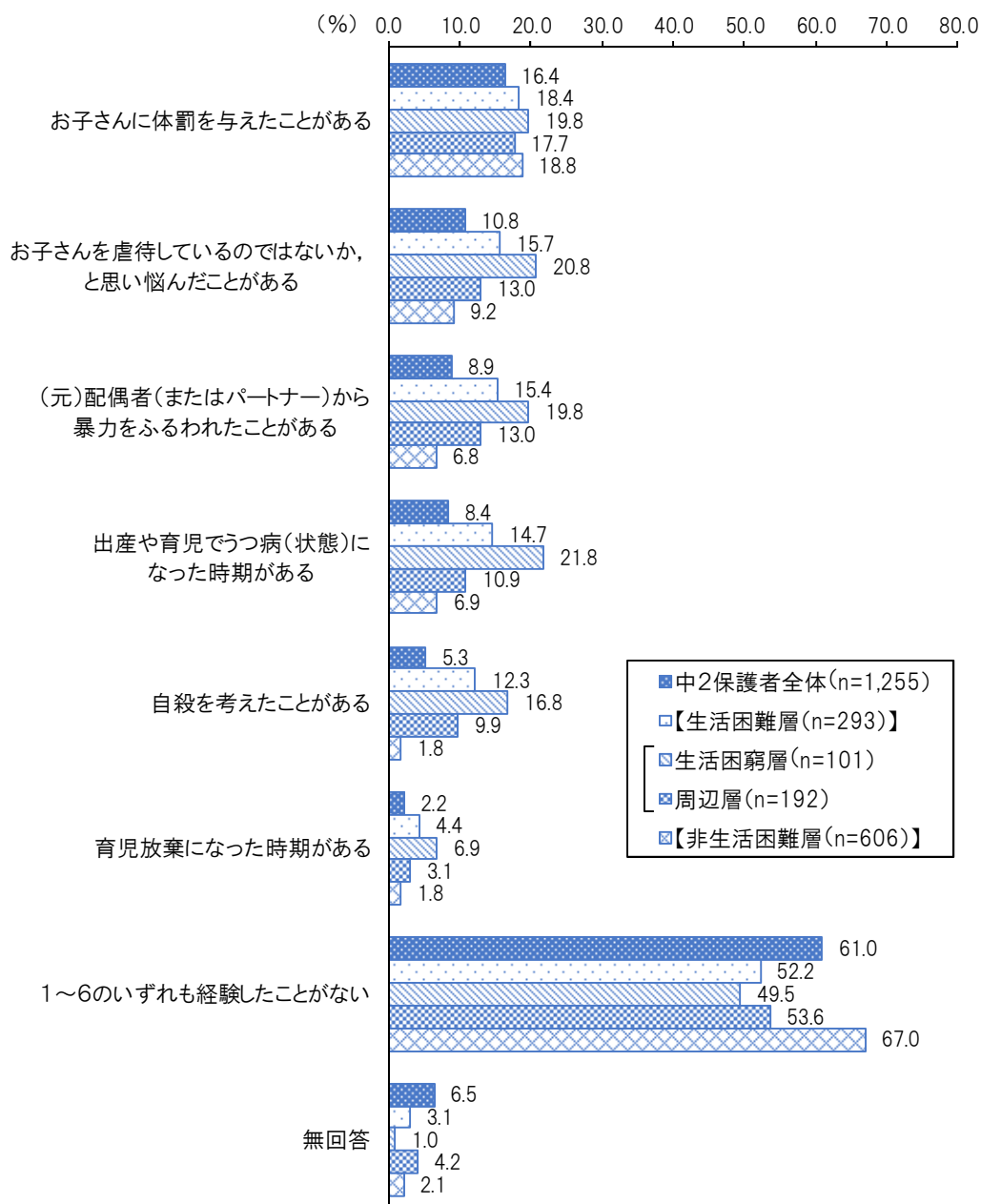
子育て上の経験について、小学5年保護者全体では「お子さんに体罰を与えたことがある」が19.2%と最も高く、次いで「お子さんを虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」(13.0%)、「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」(10.8%)の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「お子さんを虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」「(元)配偶者(またはパートナー)から暴力をふるわれたことがある」「自殺を考えたことがある」などの割合が他の層に比べて高くなっている。



中学2年保護者全体では、「お子さんに体罰を与えたことがある」が16.4%と最も高く、次いで「お子さんを虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」(10.8%)が続いている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「お子さんを虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」「(元)配偶者(またはパートナー)から暴力をふるわれたことがある」「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」などの割合が他の層に比べて高くなっている。



【8】 制度・サービスの利用

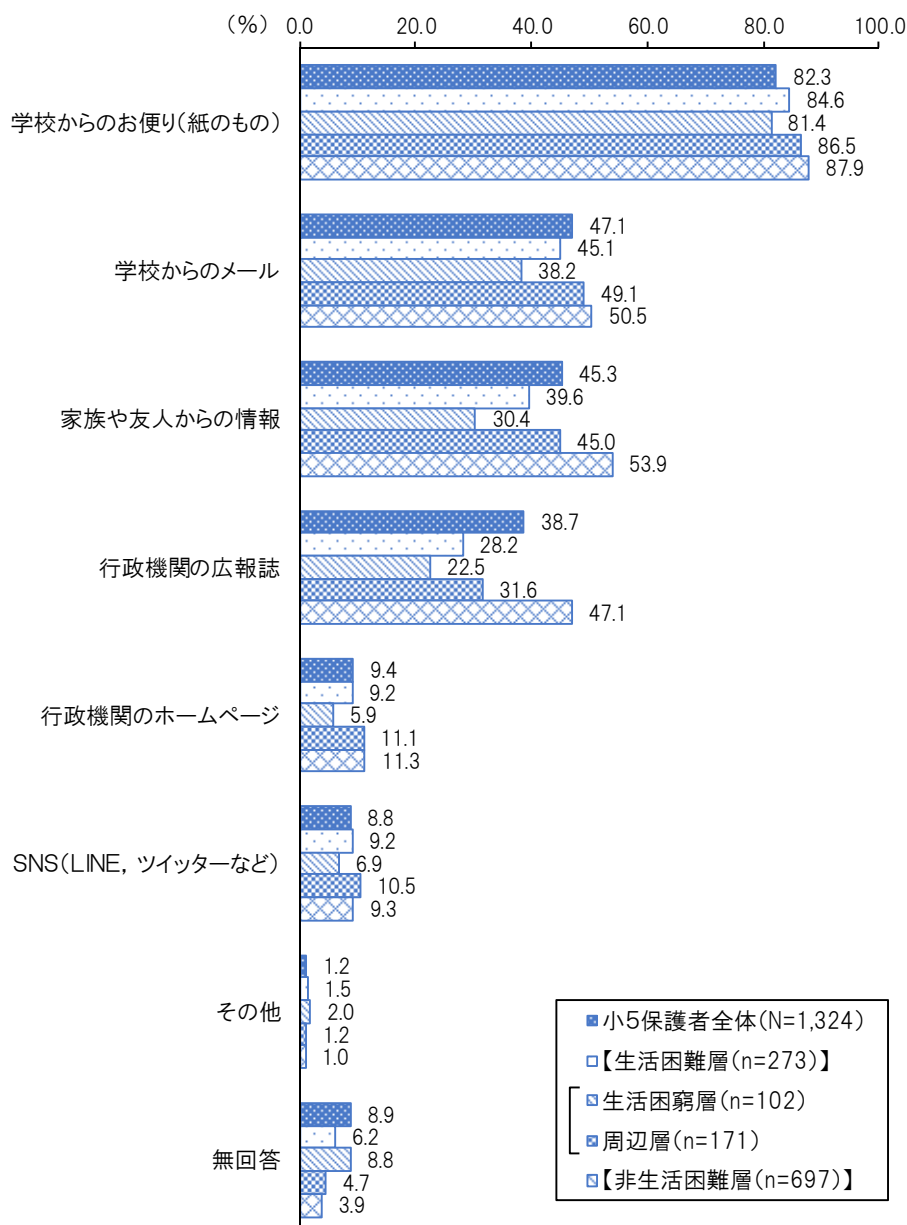
(1) 子ども関連情報の入手方法の現状と意向

保／問 43 あなたは、子どもに関する施策等の情報をどのような方法で受け取っていますか。また、今後、受け取りたいですか。（それぞれ、あてはまる番号すべてに○）

A 現在の受け取り方法

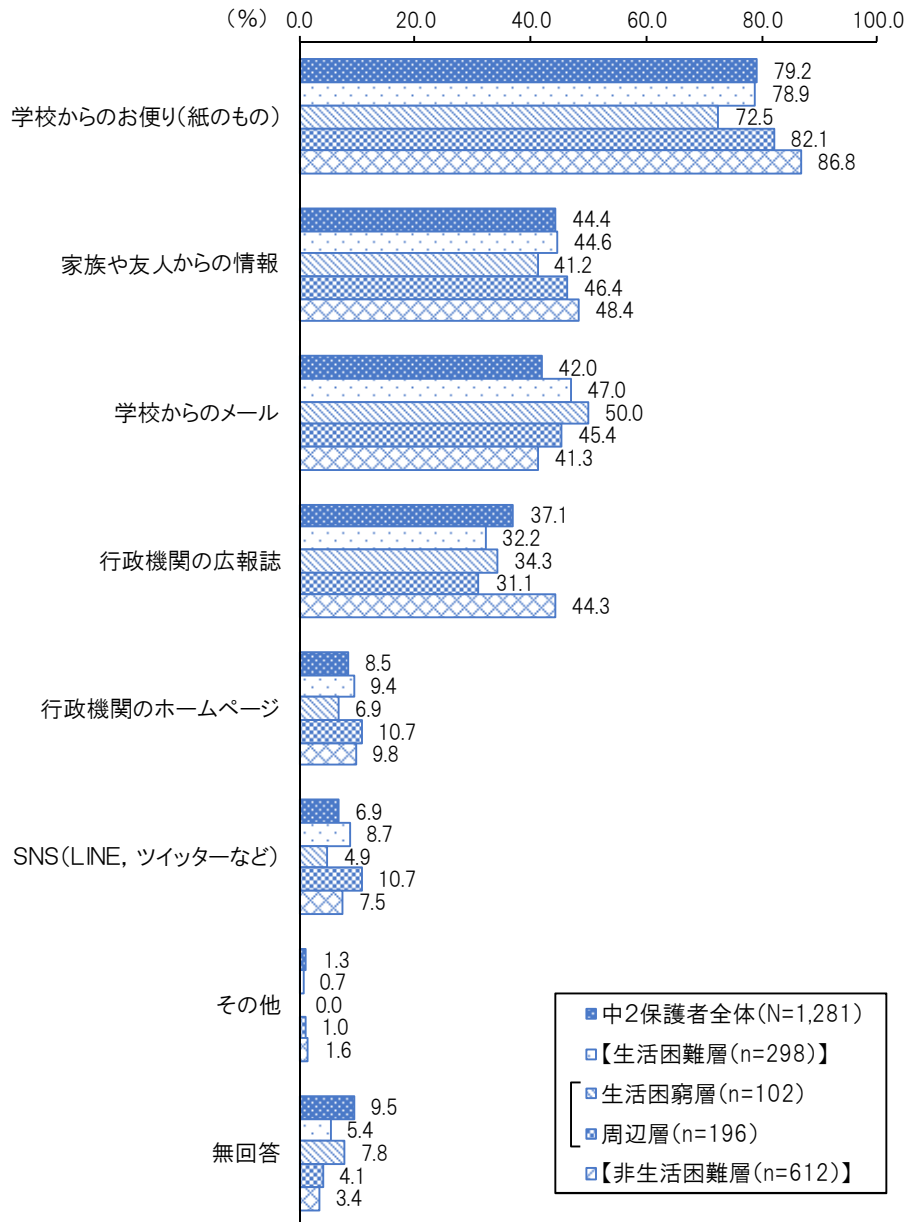
現在の受け取り方法について、小学5年保護者全体では「学校からのお便り（紙のもの）」が 82.3%と最も高く、次いで「学校からのメール」（47.1%）、「家族や友人からの情報」（45.3%）の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「学校からのメール」「家族や友人からの情報」「行政機関の広報誌」などの割合が他の層に比べて低くなっている。



中学2年保護者全体では、「学校からのお便り（紙のもの）」が79.2%と最も高く、次いで「家族や友人からの情報」（44.4%）、「学校からのメール」（42.0%）の順となっている。

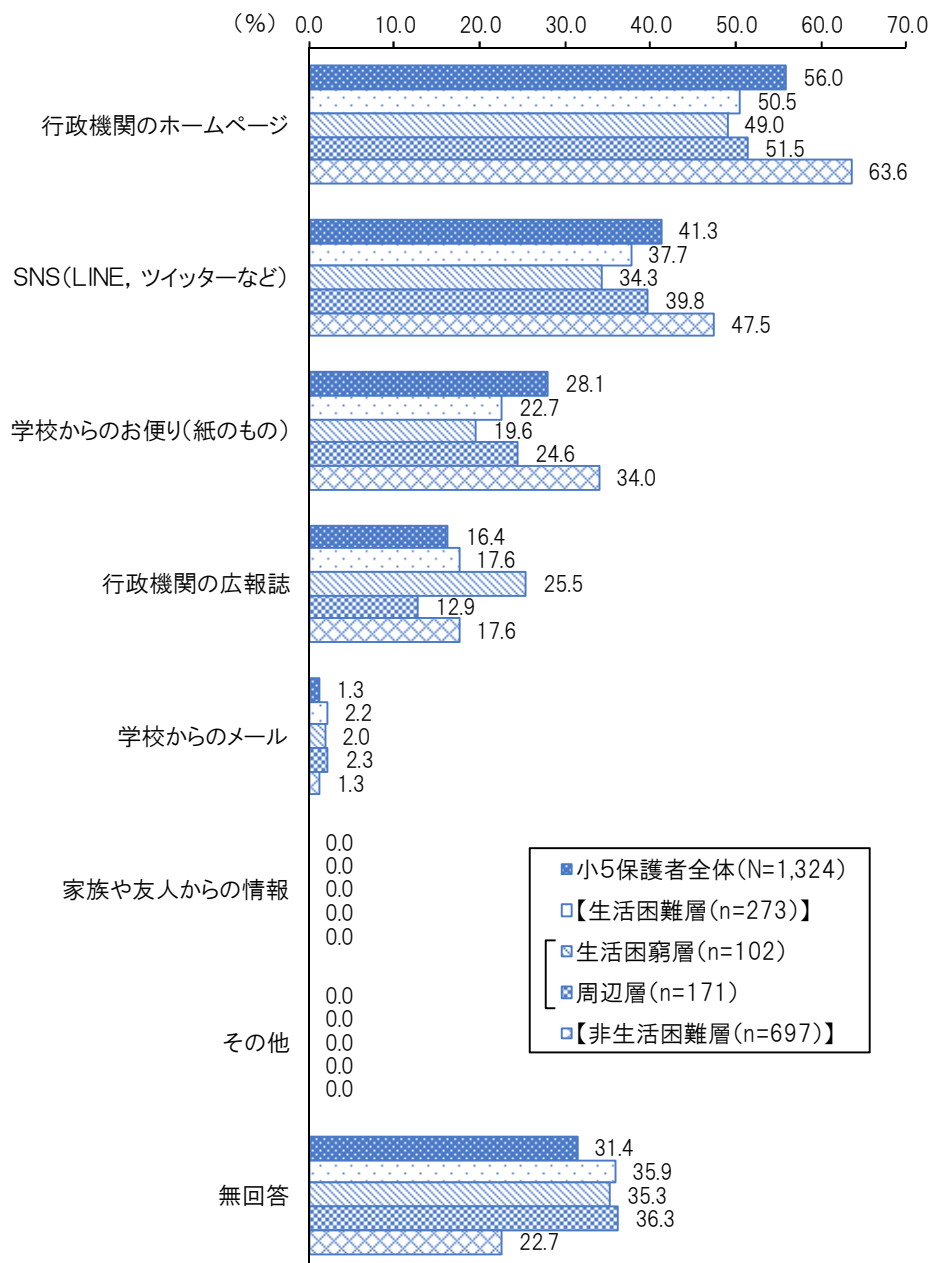
生活困難度別にみると、生活困窮層は「学校からのお便り（紙のもの）」「家族や友人からの情報」などの割合が低く、「学校からのメール」が他の層に比べて高くなっている。



B 今後、受け取りたい方法

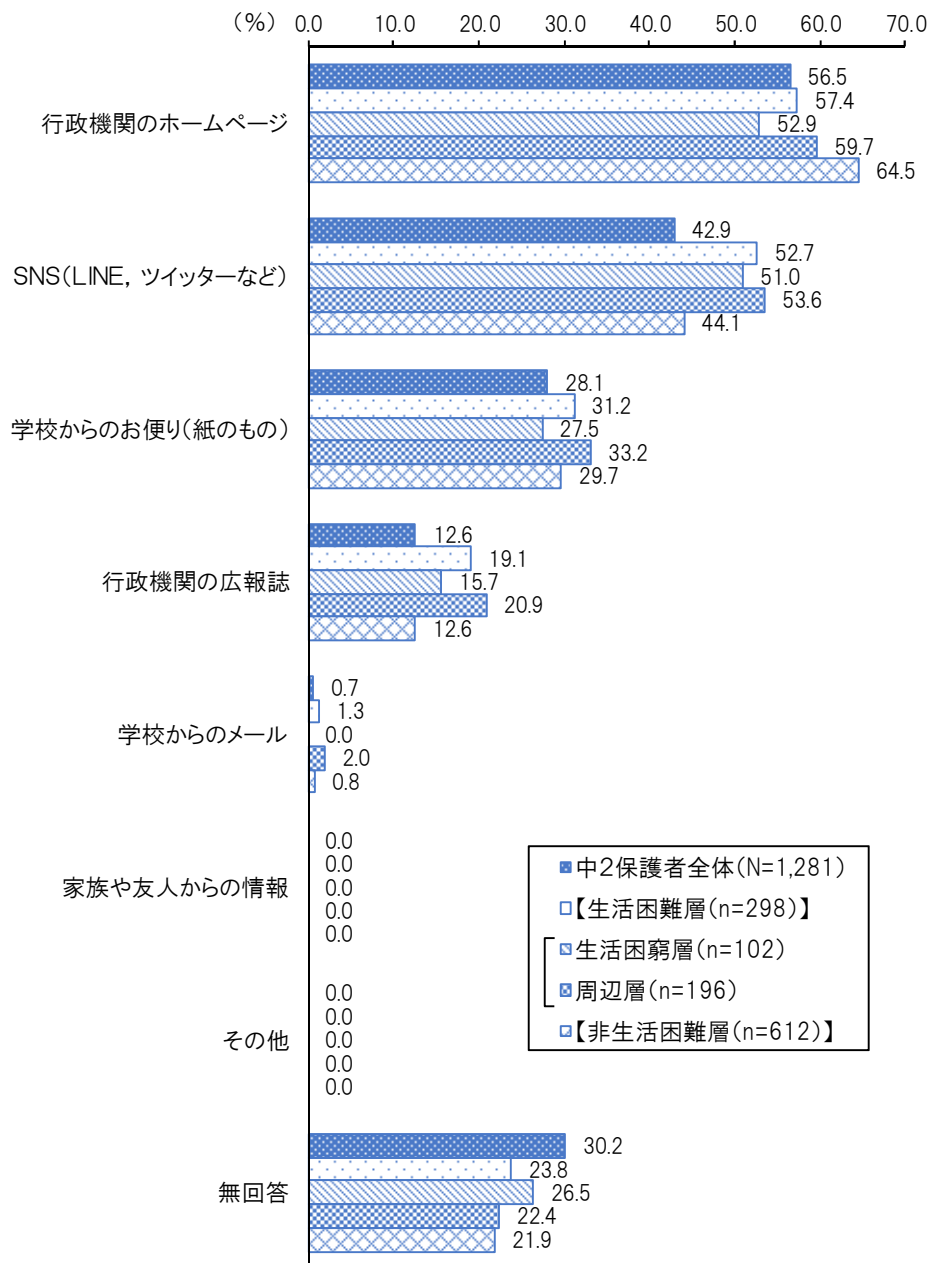
今後、受け取りたい方法について、小学5年保護者全体では「行政機関のホームページ」が56.0%と最も高く、次いで「SNS（LINE、ツイッターなど）」（41.3%）、「学校からのお便り（紙のもの）」（28.1%）の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「SNS（LINE、ツイッターなど）」「学校からのお便り（紙のもの）」などの割合が低く、「行政機関の広報誌」が他の層に比べて高くなっている。



中学2年保護者全体では、「行政機関のホームページ」が56.5%と最も高く、次いで「SNS（LINE，ツイッターなど）」（42.9%）、「学校からのお便り（紙のもの）」（28.1%）の順となっている。

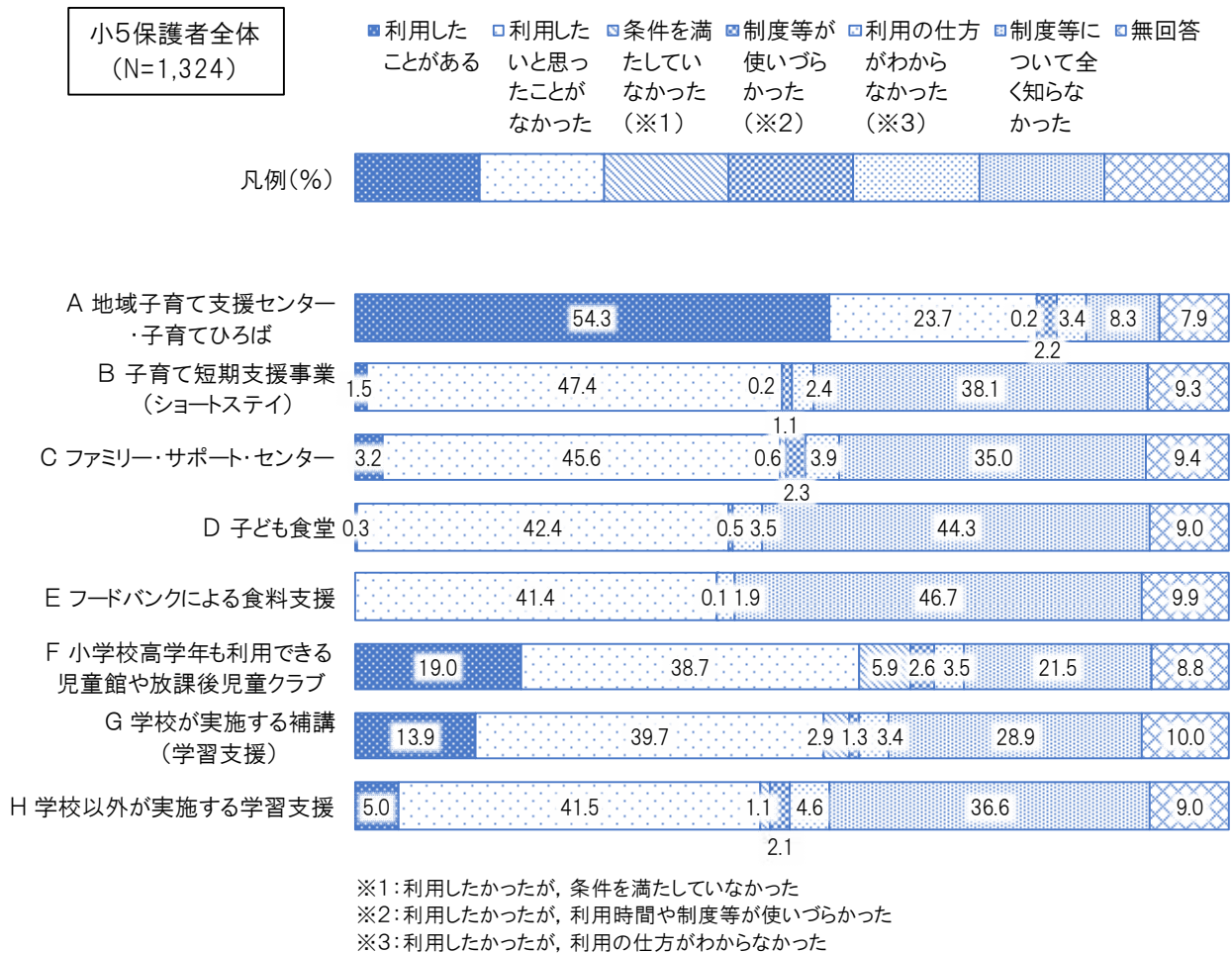
生活困難度別にみると，生活困窮層は「行政機関のホームページ」「学校からのお便り（紙のもの）」「行政機関の広報誌」などの割合が他の層に比べて低くなっている。



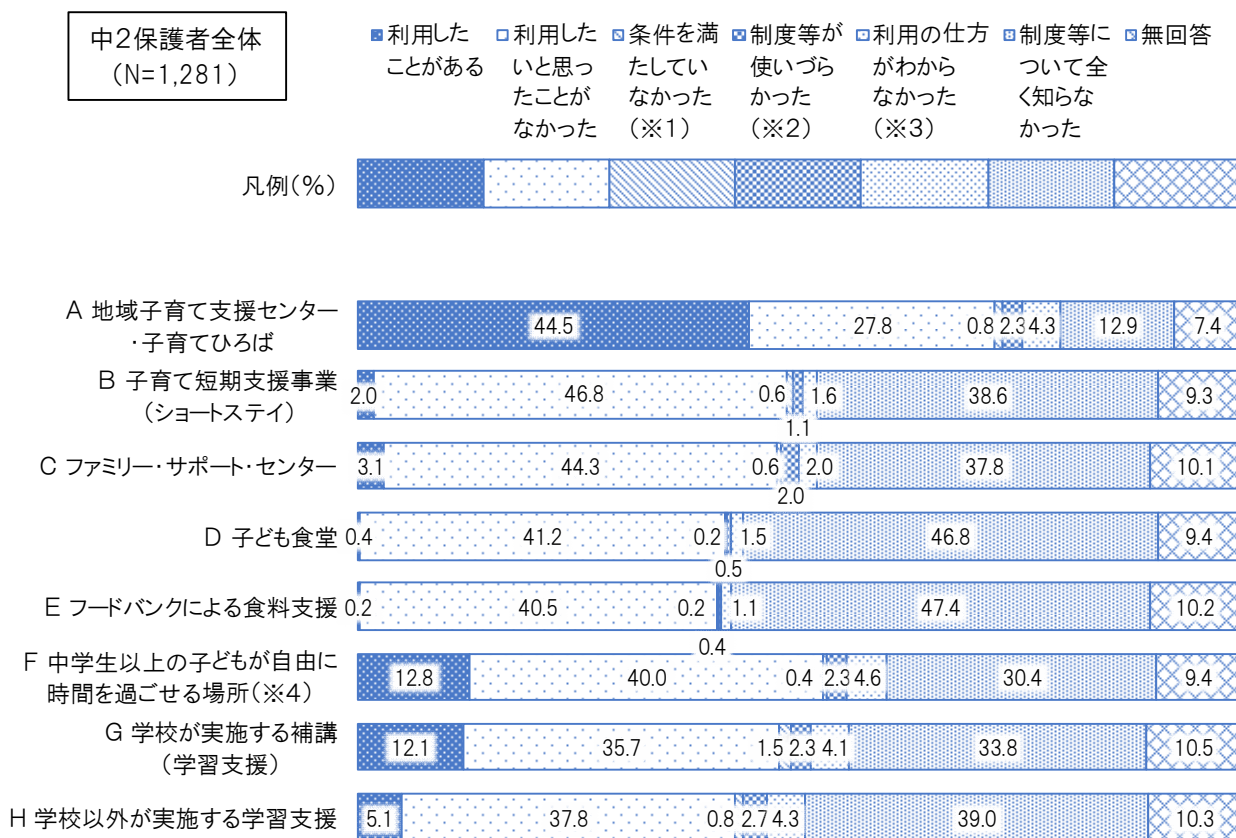
(2) 各種支援制度の利用経験

保／問 44 次のA～Hの支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。
 利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。
 (それぞれ、あてはまる番号1つに○)

各種支援制度の利用経験については、小学5年保護者全体では「利用したことがある」の割合が高い順に「A 地域子育て支援センター・子育てひろば」(54.3%)、「F 小学校高学年も利用できる児童館や放課後児童クラブ」(19.0%)、「G 学校が実施する補講(学習支援)」(13.9%)となっている。一方、「制度等について全く知らなかった」では「E フードバンクによる食料支援」(46.7%)、「D 子ども食堂」(44.3%)などがあげられる。



中学2年保護者全体では、「利用したことがある」の割合が高い順に「A 地域子育て支援センター・子育てひろば」(44.5%)、「F 中学生以上の子どもが自由に時間を過ごせる場所(児童館・公民館など)」(12.8%)、「G 学校が実施する補講(学習支援)」(12.1%)となっている。一方、「制度等について全く知らなかった」では「E フードバンクによる食料支援」(47.4%)、「D 子ども食堂」(46.8%)などがあげられる。



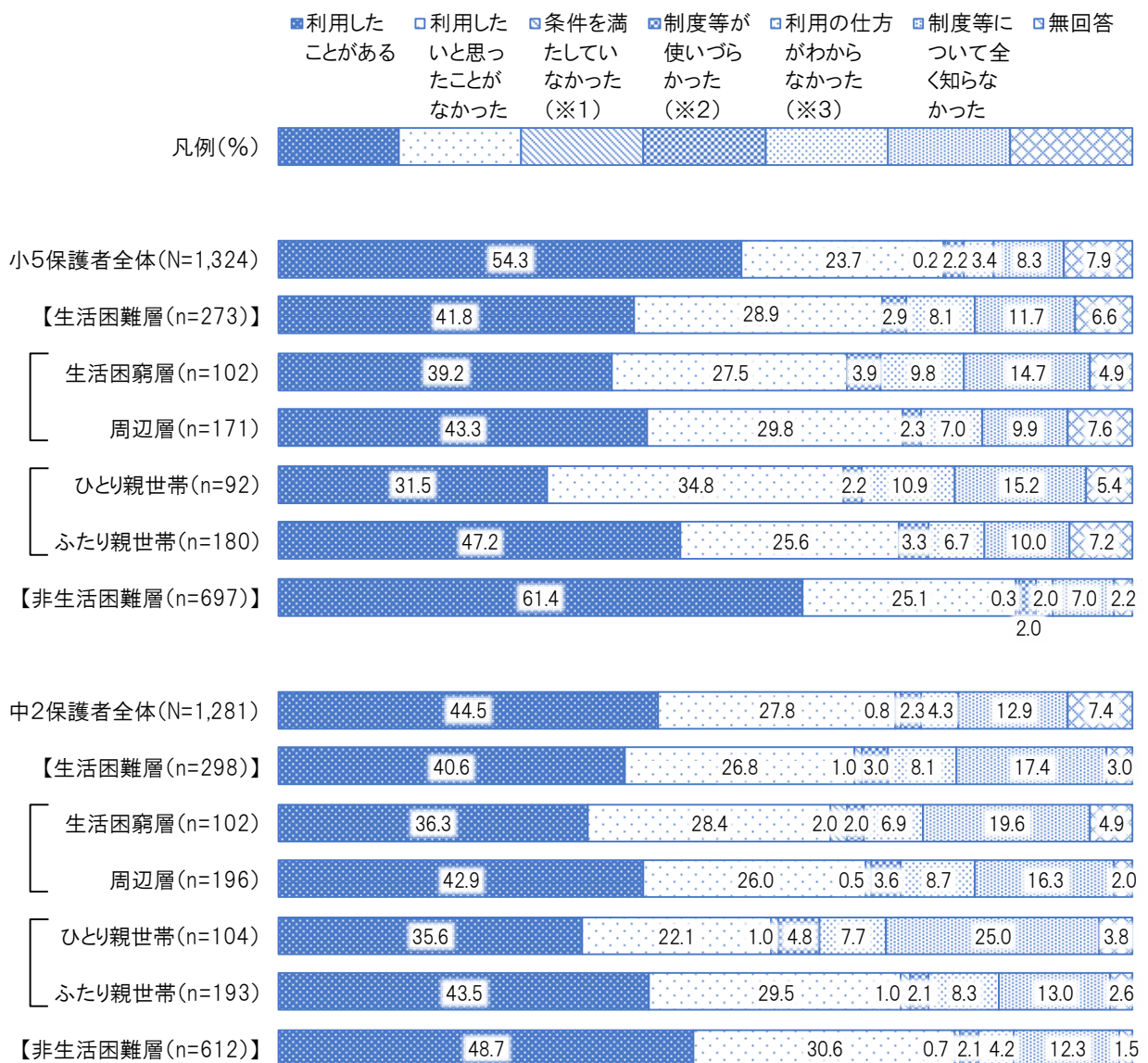
※1: 利用したかったが、条件を満たしていなかった
 ※2: 利用したかったが、利用時間や制度等が使いづらかった
 ※3: 利用したかったが、利用の仕方がわからなかった
 ※4: 中学生以上の子どもが自由に時間を過ごせる場所(児童館・公民館など)

A 地域子育て支援センター・子育てひろば

地域子育て支援センター・子育てひろばについて、小学5年保護者全体では「利用したことがある」が54.3%と最も高く、次いで「利用したいと思ったことがなかった」(23.7%)、「制度等について全く知らなかった」(8.3%)となっている。中学2年保護者全体では「利用したことがある」が44.5%と最も高く、次いで「利用したいと思ったことがなかった」(27.8%)、「制度等について全く知らなかった」(12.9%)となっている。

生活困難度別にみた「利用したことがある」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で39.2%、中学2年保護者で36.3%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「利用したことがある」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



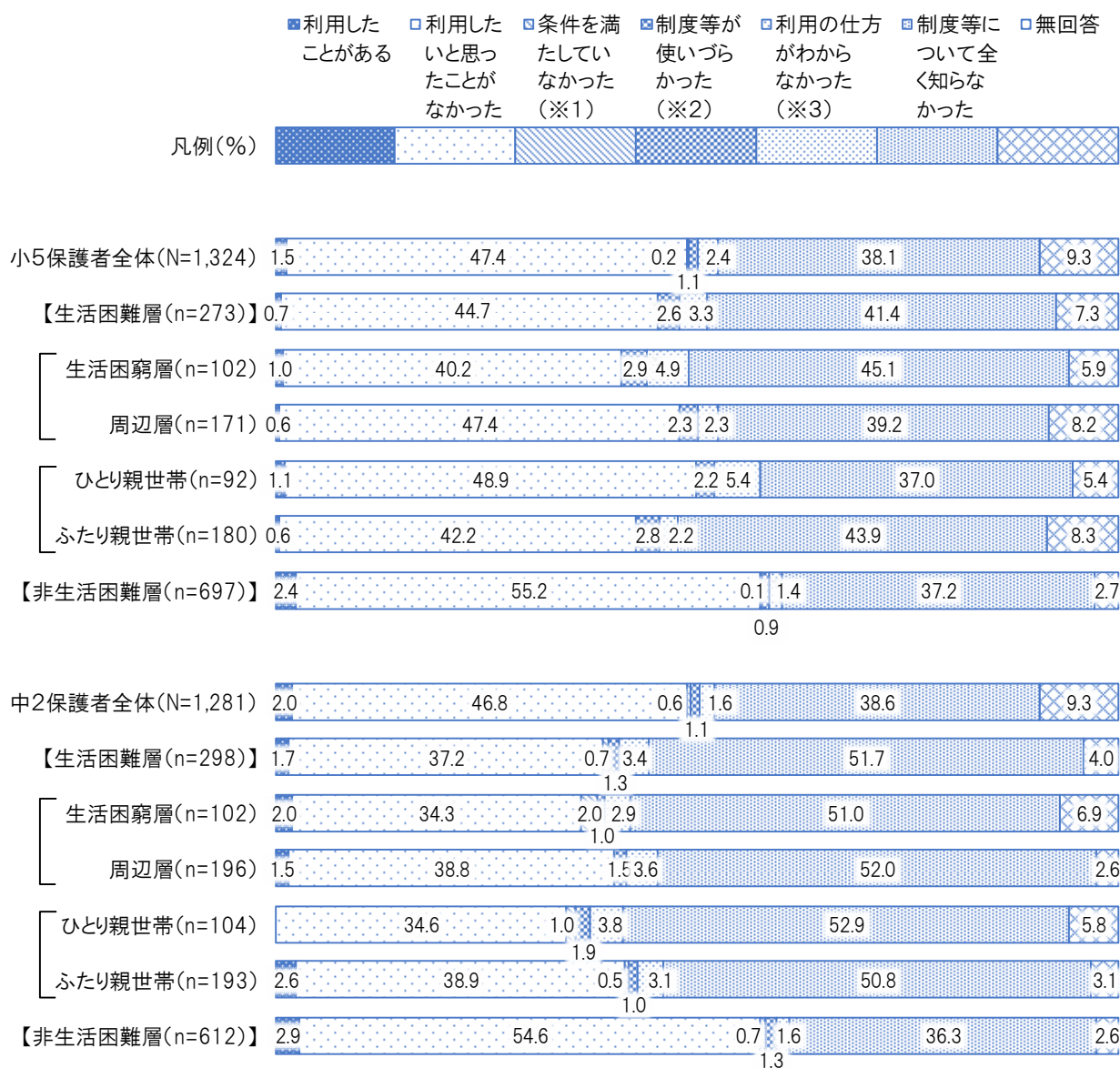
※1: 利用したかったが、条件を満たしていなかった
 ※2: 利用したかったが、利用時間や制度等が使いづらかった
 ※3: 利用したかったが、利用の仕方がわからなかった

B 子育て短期支援事業（ショートステイ）

子育て短期支援事業（ショートステイ）について、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が47.4%、「制度等について全く知らなかった」が38.1%となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が46.8%、「制度等について全く知らなかった」が38.6%となっている。

生活困難度別にみた「制度等について全く知らなかった」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で45.1%、中学2年保護者で51.0%となっており、非生活困難層に比べてそれぞれ高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のふたり親世帯で「制度等について全く知らなかった」の割合がひとり親世帯に比べて高くなっている。



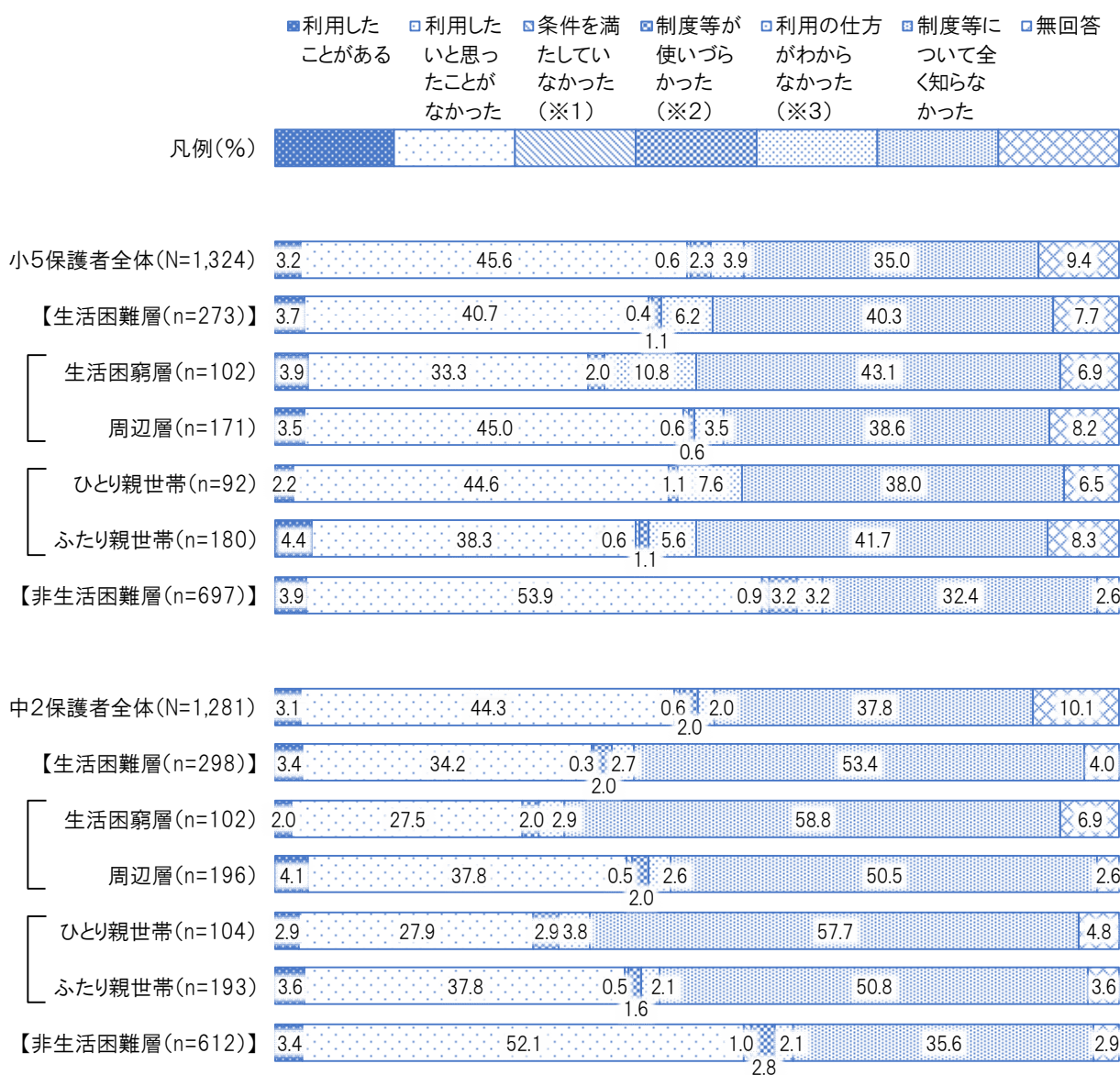
※1：利用したかったが、条件を満たしていなかった
 ※2：利用したかったが、利用時間や制度等が使いづらかった
 ※3：利用したかったが、利用の仕方がわからなかった

C ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センターについて、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が45.6%、「制度等について全く知らなかった」が35.0%となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が44.3%、「制度等について全く知らなかった」が37.8%となっている。

生活困難度別にみた「制度等について全く知らなかった」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で43.1%、中学2年保護者で58.8%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のひとり親世帯で「制度等について全く知らなかった」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



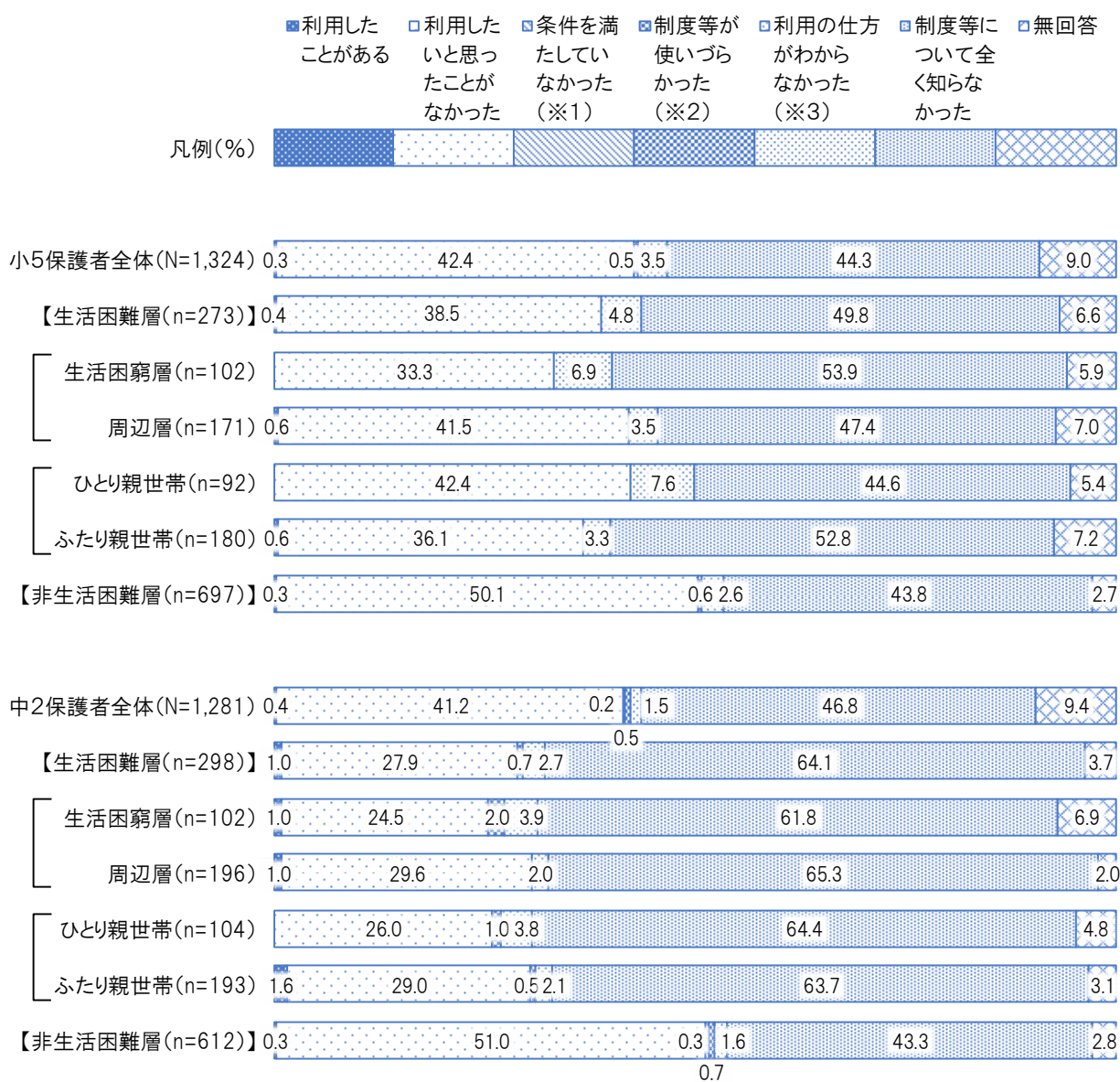
※1: 利用したかったが、条件を満たしていなかった
 ※2: 利用したかったが、利用時間や制度等が使いづらかった
 ※3: 利用したかったが、利用の仕方がわからなかった

D 子ども食堂

子ども食堂について、小学5年保護者全体では「制度等について全く知らなかった」が44.3%、「利用したいと思ったことがなかった」が42.4%となっている。中学2年保護者全体では「制度等について全く知らなかった」が46.8%、「利用したいと思ったことがなかった」が41.2%となっている。

生活困難度別にみた「制度等について全く知らなかった」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で53.9%、中学2年保護者で61.8%となっており、非生活困難層に比べてそれぞれ高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のひとり親世帯で「利用したかったが、利用の仕方がわからなかった」がふたり親世帯に比べて高くなっている。

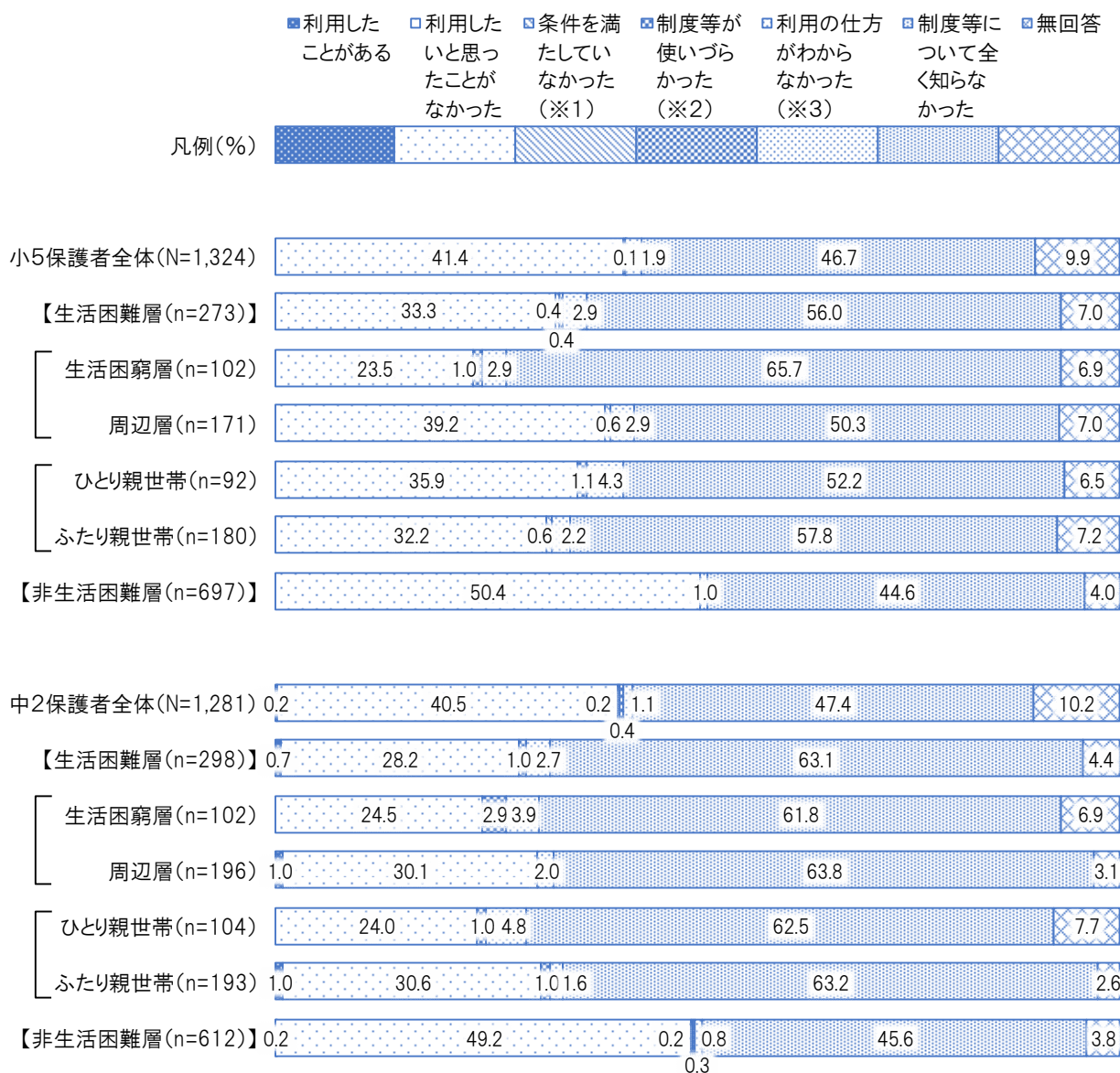


※1: 利用したかったが、条件を満たしていなかった
 ※2: 利用したかったが、利用時間や制度等が使いづらかった
 ※3: 利用したかったが、利用の仕方がわからなかった

E フードバンクによる食料支援

フードバンクによる食料支援について、小学5年保護者全体では「制度等について全く知らなかった」が46.7%、「利用したいと思っただけでなかった」が41.4%となっている。中学2年保護者全体では「制度等について全く知らなかった」が47.4%、「利用したいと思っただけでなかった」が40.5%となっている。

生活困難度別にみた「制度等について全く知らなかった」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で65.7%、中学2年保護者で61.8%となっており、小学5年保護者の生活困窮層で高くなっている。



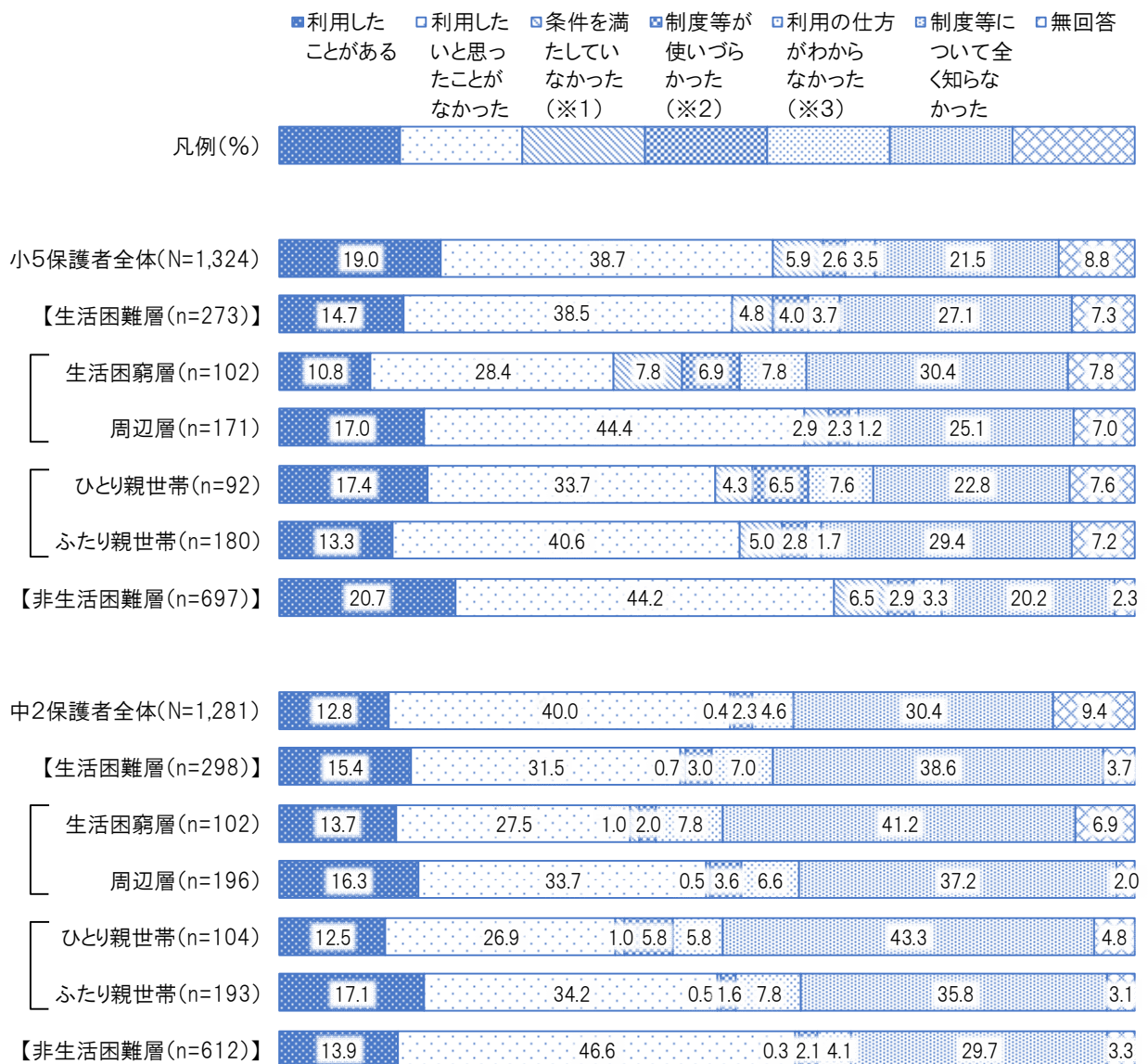
※1: 利用したかったが、条件を満たしていなかった
 ※2: 利用したかったが、利用時間や制度等が使いづらかった
 ※3: 利用したかったが、利用の仕方がわからなかった

F 中学生以上の子どもが自由に時間を過ごせる場所*（児童館・公民館など）

子どもが自由に時間を過ごせる場所について、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が38.7%と最も高く、次いで「制度等について全く知らなかった」(21.5%)、「利用したことがある」(19.0%)となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が40.0%と最も高く、次いで「制度等について全く知らなかった」(30.4%)、「利用したことがある」(12.8%)となっている。

生活困難度別にみた「制度等について全く知らなかった」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で30.4%、中学2年保護者で41.2%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ふたり親世帯で「利用したいと思ったことがなかった」の割合がひとり親世帯に比べて高くなっている。



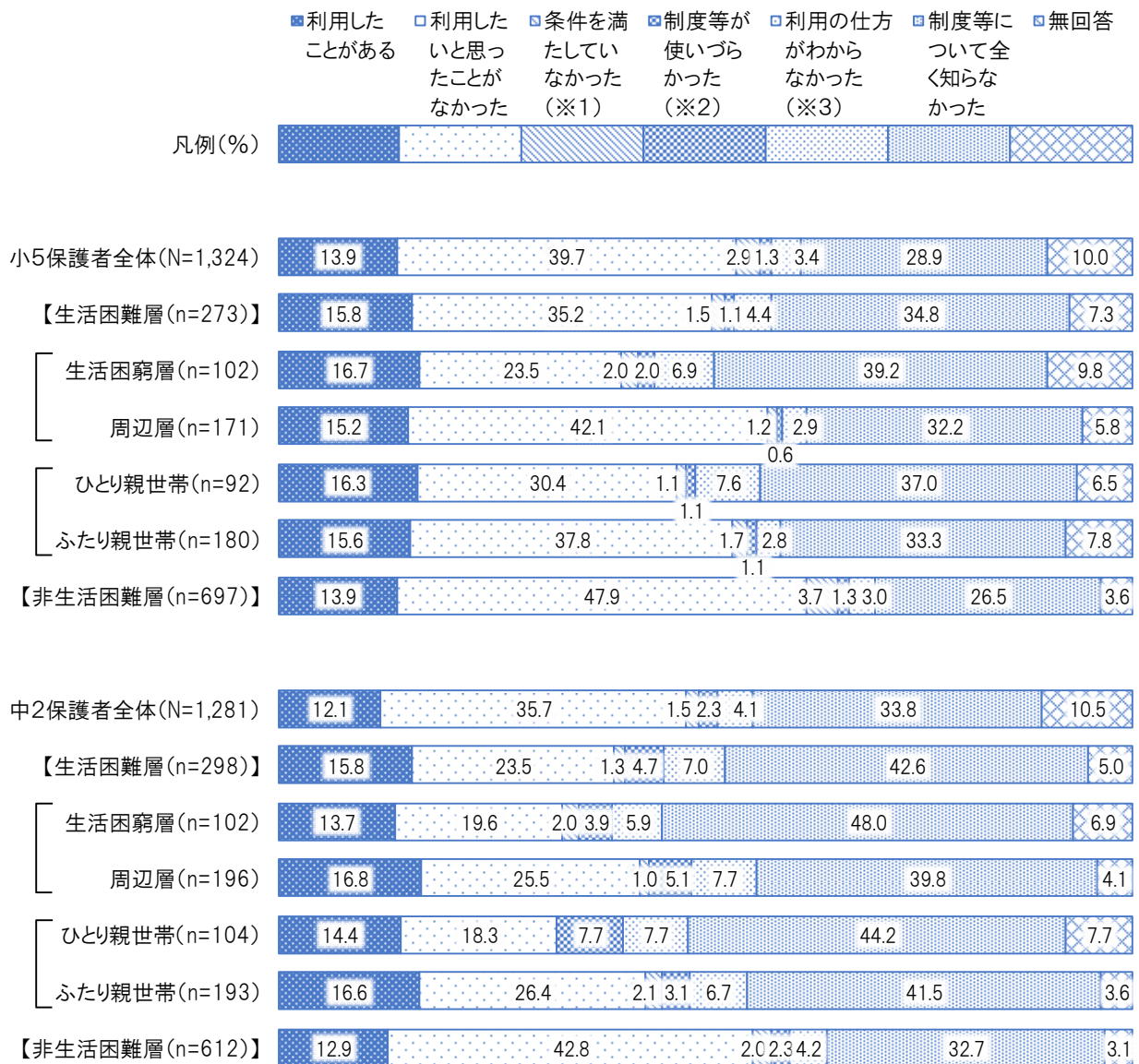
※1: 利用したかったが、条件を満たしていなかった
 ※2: 利用したかったが、利用時間や制度等が使いづらかった
 ※3: 利用したかったが、利用の仕方がわからなかった
 ※小学生票では「小学校高学年も利用できる児童館や放課後児童クラブ」

G 学校が実施する補講（学習支援）

学校が実施する補講（学習支援）について、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が39.7%と最も高く、次いで「制度等について全く知らなかった」（28.9%）、「利用したことがある」（13.9%）となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が35.7%と最も高く、次いで「制度等について全く知らなかった」（33.8%）、「利用したことがある」（12.1%）となっている。

生活困難度別にみた「制度等について全く知らなかった」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で39.2%、中学2年保護者で48.0%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ふたり親世帯で「利用したいと思ったことがなかった」の割合がひとり親世帯に比べて高くなっている。



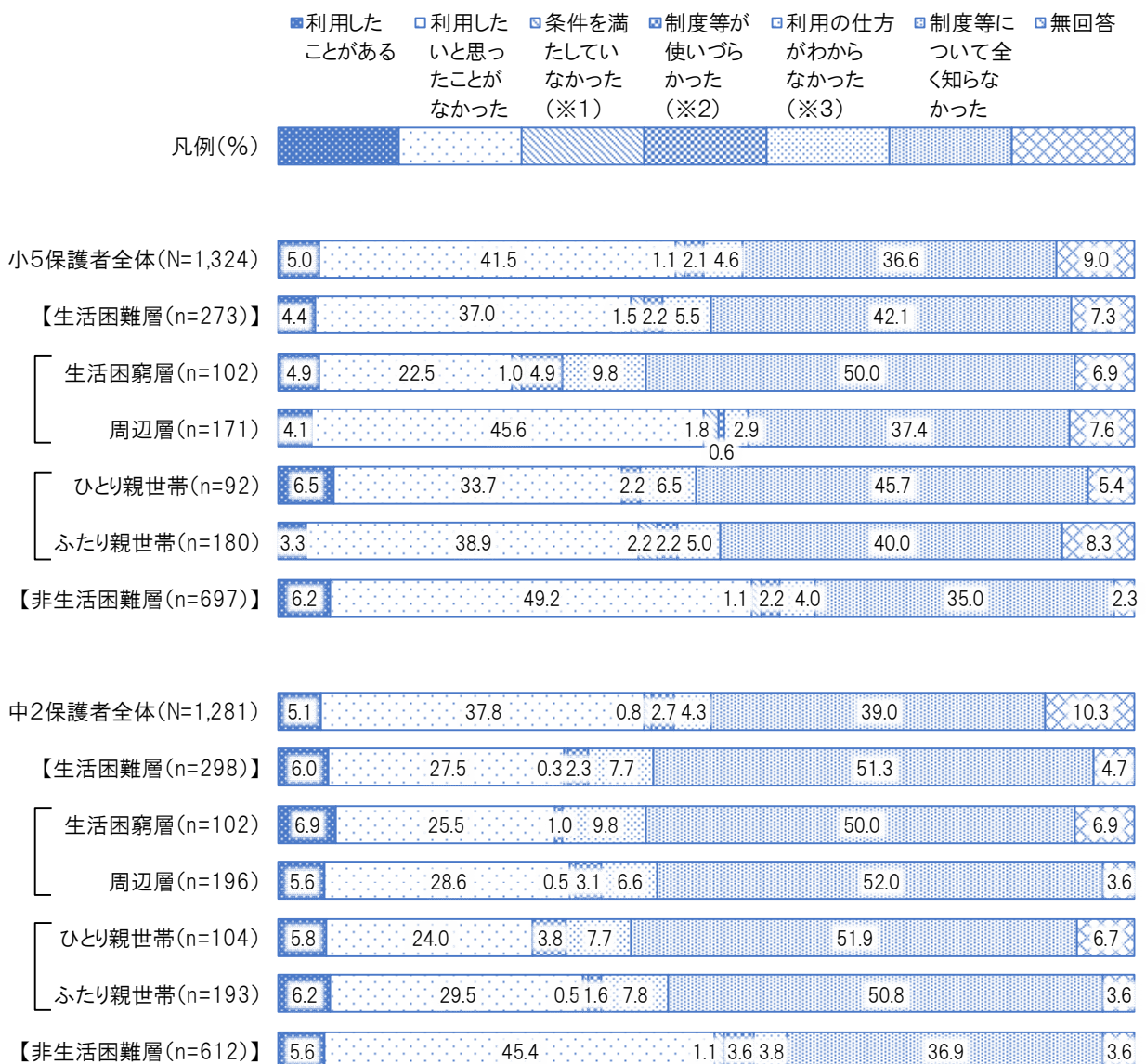
※1: 利用したかったが、条件を満たしていなかった
 ※2: 利用したかったが、利用時間や制度等が使いづらかった
 ※3: 利用したかったが、利用の仕方がわからなかった

H 学校以外が実施する学習支援

学校以外が実施する学習支援について、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が41.5%、「制度等について全く知らなかった」が36.6%となっている。中学2年保護者全体では「制度等について全く知らなかった」が39.0%、「利用したいと思ったことがなかった」が37.8%となっている。

生活困難度別にみた「制度等について全く知らなかった」の割合は、小学5年保護者、中学2年保護者ともに生活困窮層で50.0%となっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ふたり親世帯で「利用したいと思ったことがなかった」の割合がひとり親世帯に比べて高くなっている。



※1: 利用したかったが、条件を満たしていなかった

※2: 利用したかったが、利用時間や制度等が使いづらかった

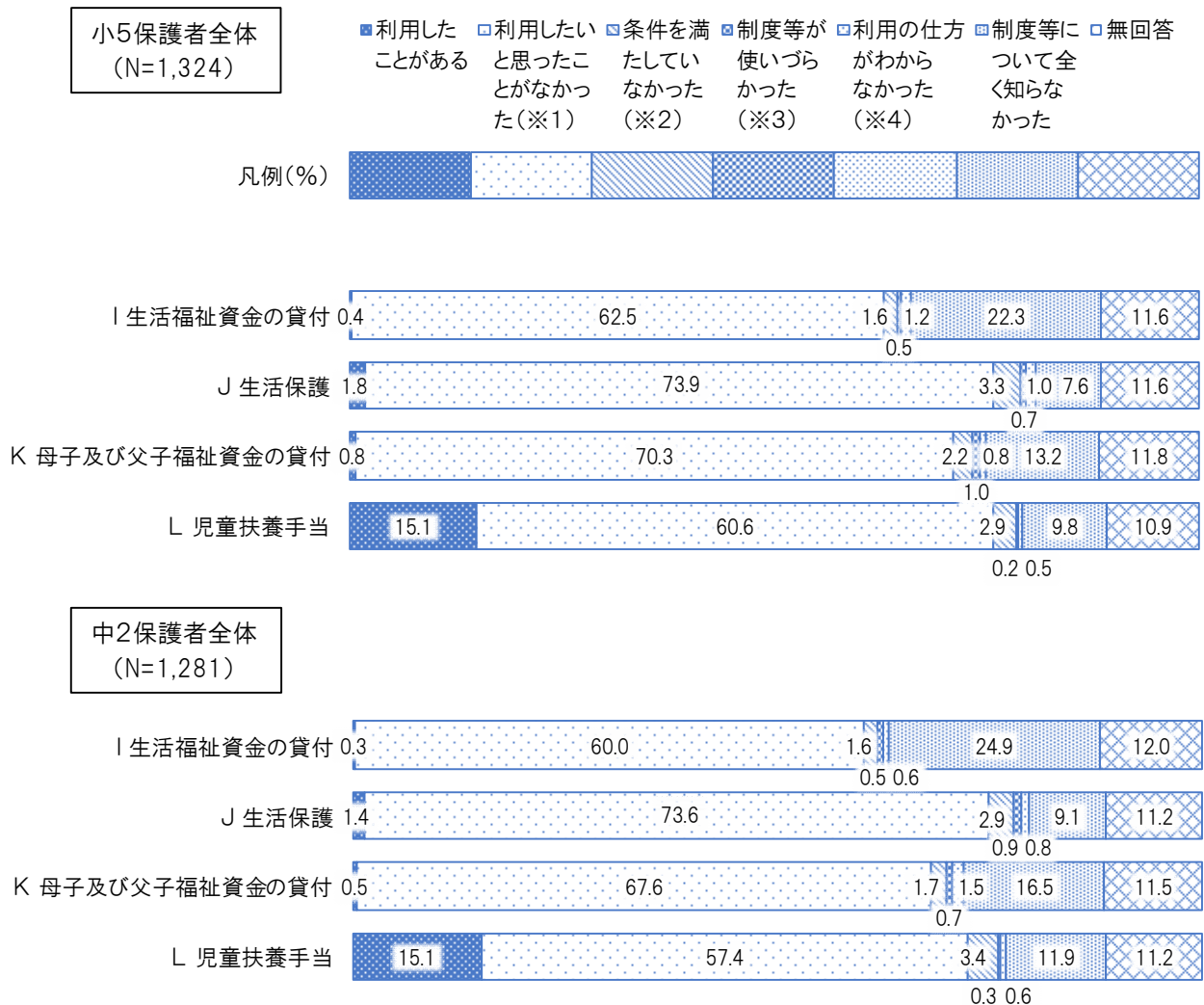
※3: 利用したかったが、利用の仕方がわからなかった

(3) 各種経済的支援制度の利用経験

保／問 45 次のI～Lの支援制度等は、これまでに利用・受給（以下「利用」という。）したことがありますか。
 利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。
 （それぞれ、あてはまる番号1つに○）

各種経済的支援制度の利用経験について、小学5年保護者全体の「利用したことがある」では「L 児童扶養手当」（15.1%）などがあげられる。一方、「制度等について全く知らなかった」では「I 生活福祉資金の貸付」（22.3%）、「K 母子及び父子福祉資金の貸付」（13.2%）などがあげられる。

中学2年保護者全体の「利用したことがある」では「L 児童扶養手当」（15.1%）などがあげられる。一方、「制度等について全く知らなかった」では「I 生活福祉資金の貸付」（24.9%）、「K 母子及び父子福祉資金の貸付」（16.5%）などがあげられる。



中2保護者全体 (N=1,281)

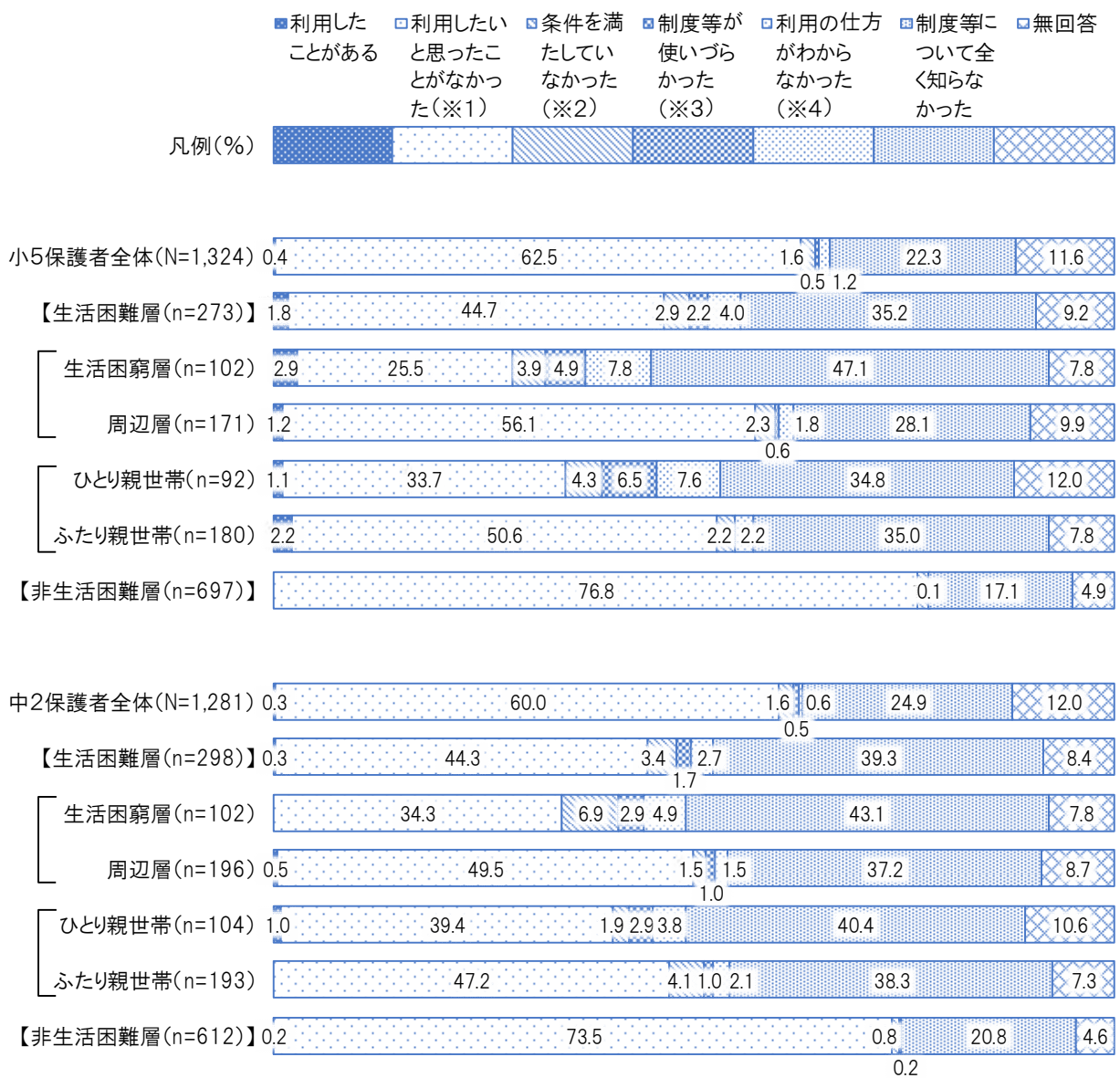
※1: 利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度等の対象外であった)
 ※2: 利用したかったが、条件を満たしていなかった
 ※3: 利用したかったが、制度等が使いづらかった
 ※4: 利用したかったが、利用の仕方がわからなかった

I 生活福祉資金の貸付

生活福祉資金の貸付について、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が62.5%、「制度等について全く知らなかった」が22.3%となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が60.0%、「制度等について全く知らなかった」が24.9%となっている。

生活困難度別にみた「制度等について全く知らなかった」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で47.1%、中学2年保護者で43.1%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「利用したいと思ったことがなかった」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



※1: 利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度等の対象外であった)
 ※2: 利用したかったが、条件を満たしていなかった
 ※3: 利用したかったが、制度等が使いづらかった
 ※4: 利用したかったが、利用の仕方がわからなかった

J 生活保護

生活保護について、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が73.9%、「制度等について全く知らなかった」が7.6%となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が73.6%、「制度等について全く知らなかった」が9.1%となっている。

生活困難度別にみた「利用したことがある」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で14.7%、中学2年保護者で6.9%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「利用したことがある」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



※1: 利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度等の対象外であった)

※2: 利用したかったが、条件を満たしていなかった

※3: 利用したかったが、制度等が使いづらかった

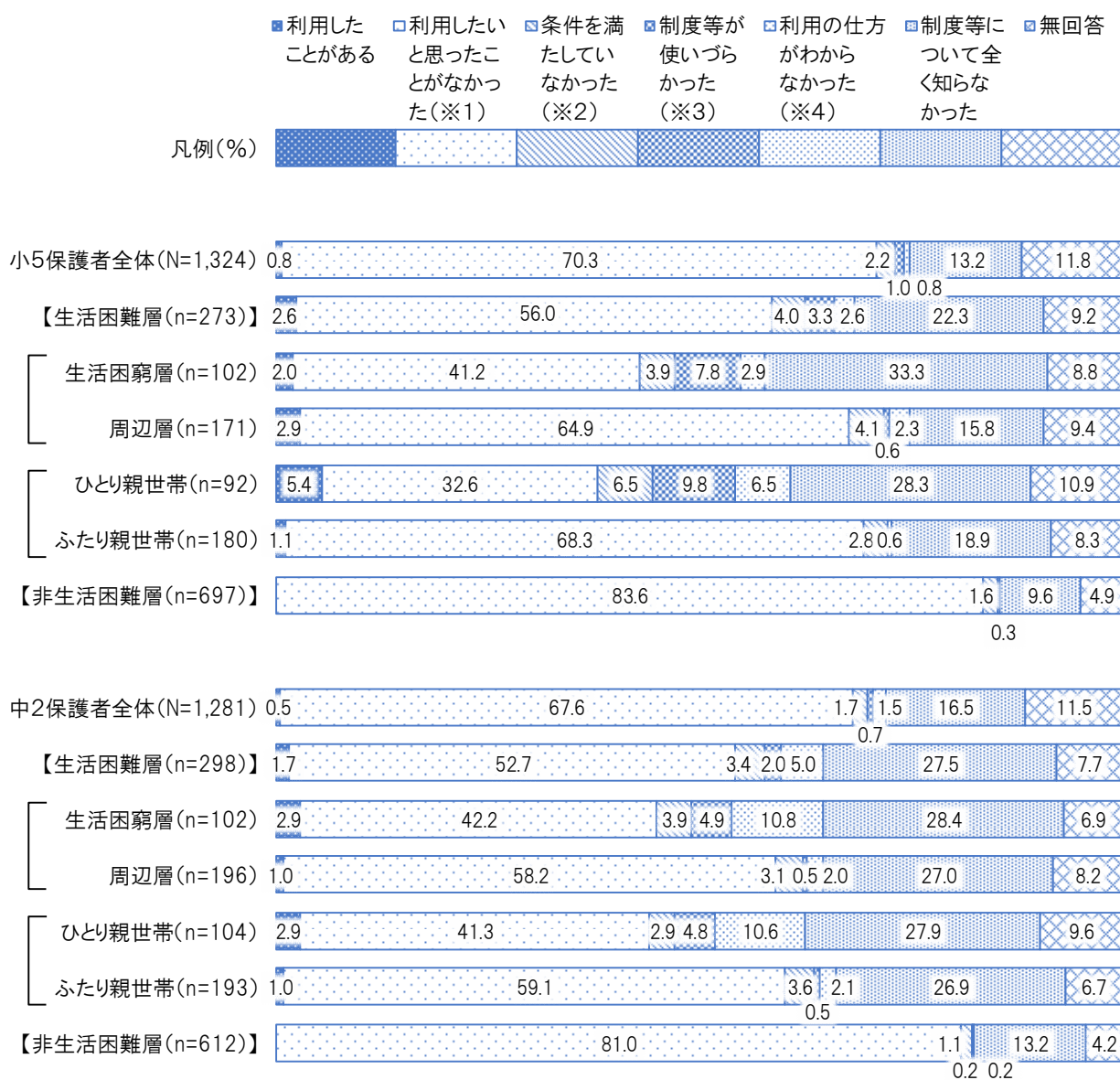
※4: 利用したかったが、利用の仕方がわからなかった

K 母子及び父子福祉資金の貸付

母子及び父子福祉資金の貸付について、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が70.3%、「制度等について全く知らなかった」が13.2%となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が67.6%、「制度等について全く知らなかった」が16.5%となっている。

生活困難度別にみた「利用したかったが、制度等が使いづらかった」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で7.8%、中学2年保護者で4.9%となっており、生活困窮層で高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のひとり親世帯で「制度等について全く知らなかった」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



※1: 利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度等の対象外であった)

※2: 利用したかったが、条件を満たしていなかった

※3: 利用したかったが、制度等が使いづらかった

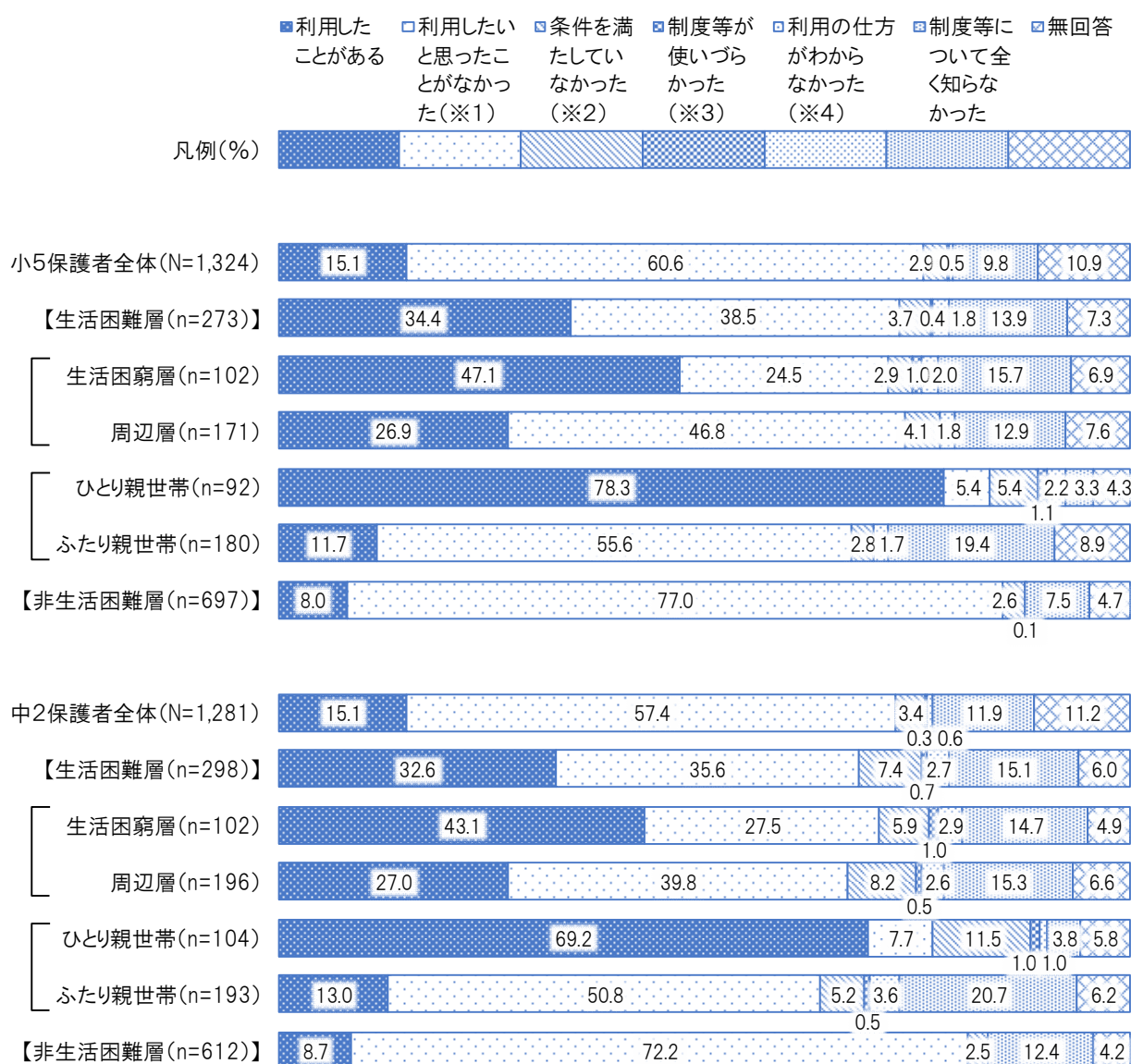
※4: 利用したかったが、利用の仕方がわからなかった

L 児童扶養手当

児童扶養手当について、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が60.6%と最も高く、次いで「利用したことがある」(15.1%)、「制度等について全く知らなかった」(9.8%)となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が57.4%と最も高く、次いで「利用したことがある」(15.1%)、「制度等について全く知らなかった」(11.9%)となっている。

生活困難度別にみた「利用したことがある」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で47.1%、中学2年保護者で43.1%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「利用したことがある」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



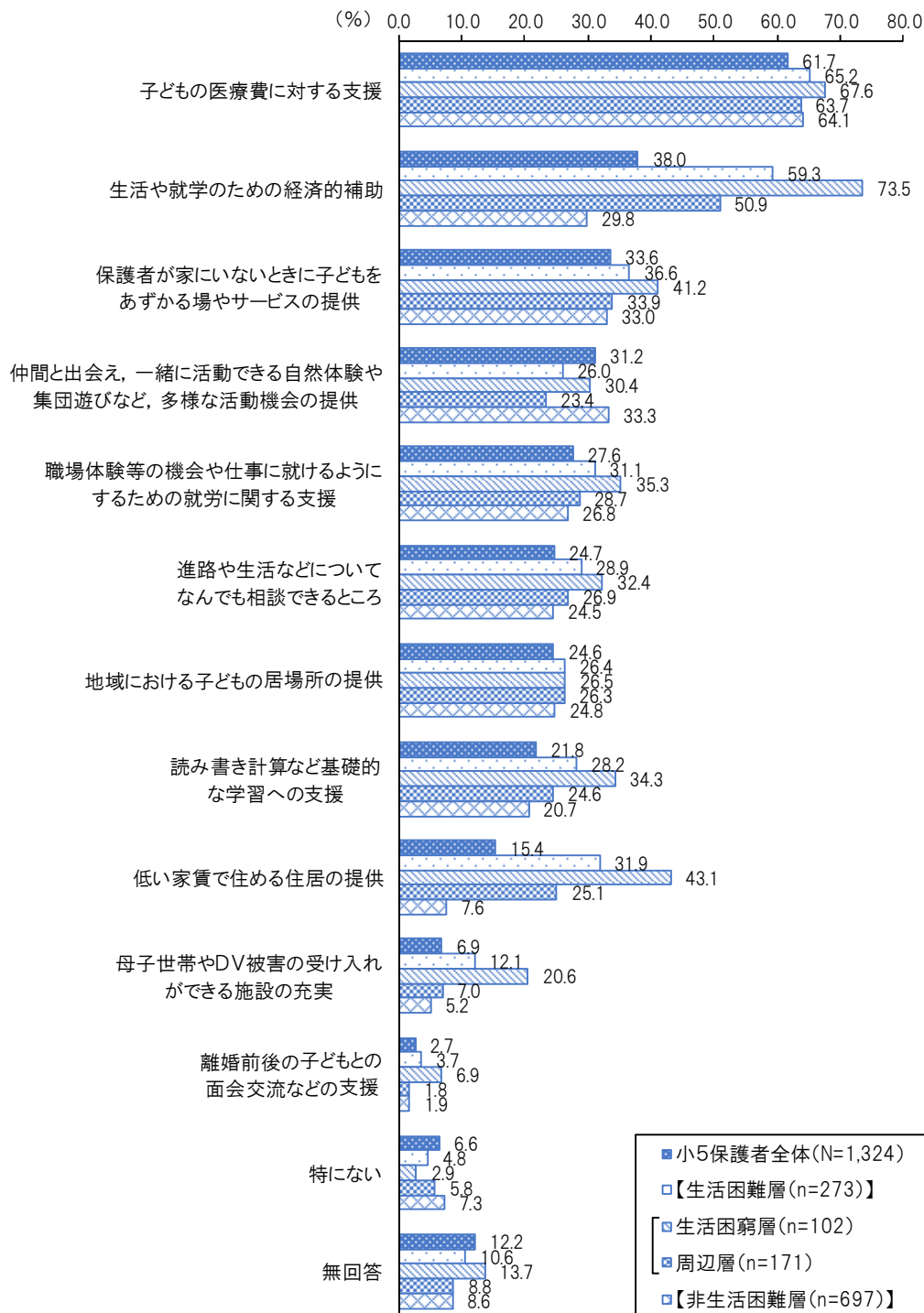
※1: 利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度等の対象外であった)
 ※2: 利用したかったが、条件を満たしていなかった
 ※3: 利用したかったが、制度等が使いづらかった
 ※4: 利用したかったが、利用の仕方がわからなかった

(4) 将来的に必要と思う支援

保／問 48 あなたとあなたの子どもにとって、現在、または将来的に、どのような支援があると良いと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

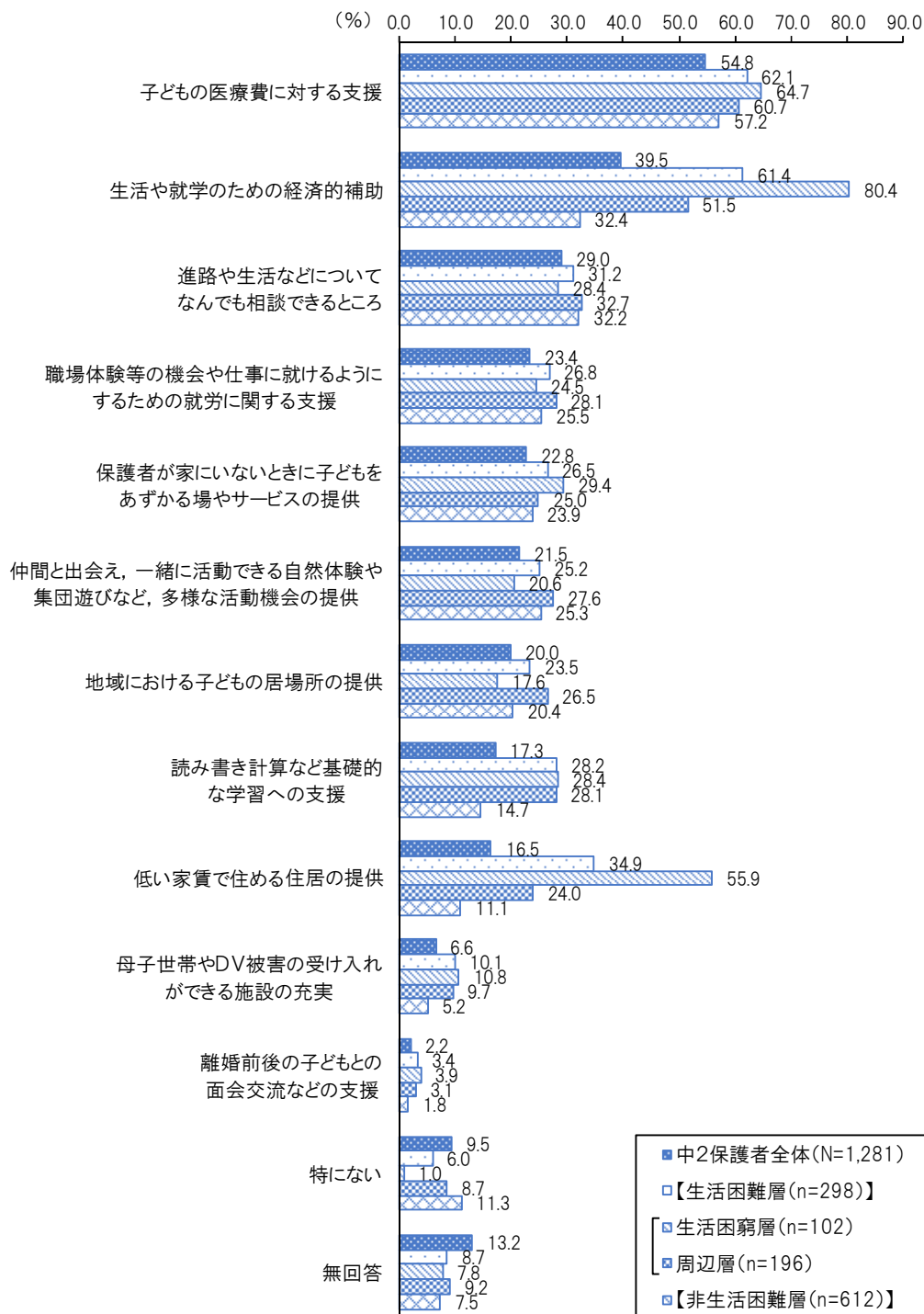
必要な支援について、小学5年保護者全体では「子どもの医療費に対する支援」が61.7%と最も高く、次いで「生活や就学のための経済的補助」(38.0%)、「保護者が家にいないときに子どもをあずかる場やサービスの提供」(33.6%)が続いている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「生活や就学のための経済的補助」「低い家賃で住める住居の提供」「母子世帯やDV被害の受け入れができる施設の充実」などの割合が他の層を大きく上回っている。

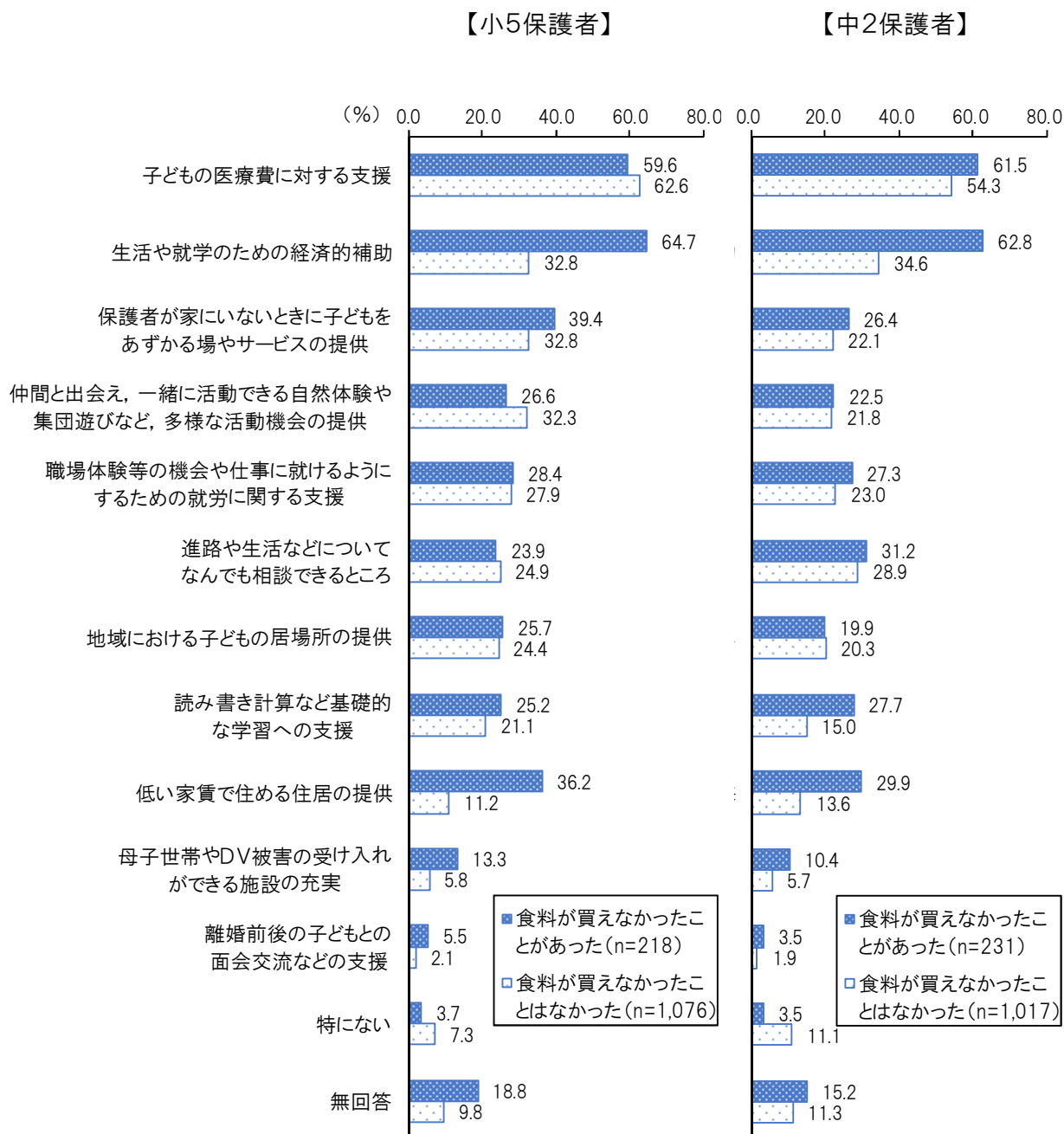


中学2年保護者全体では、「子どもの医療費に対する支援」が54.8%と最も高く、次いで「生活や就学のための経済的補助」(39.5%)、「進路や生活などについてなんでも相談できるところ」(29.0%)が続いている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「生活や就学のための経済的補助」「低い家賃で住める住居の提供」などの割合が他の層を大きく上回っている。



食料が買えなかった経験別（問 31）でみると、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、食料が買えなかったことがあった層では、「生活や就学のための経済的補助」「低い家賃で住める住居の提供」などの割合が、食料が買えなかったことがなかった層を大きく上回っている。



【9】相談

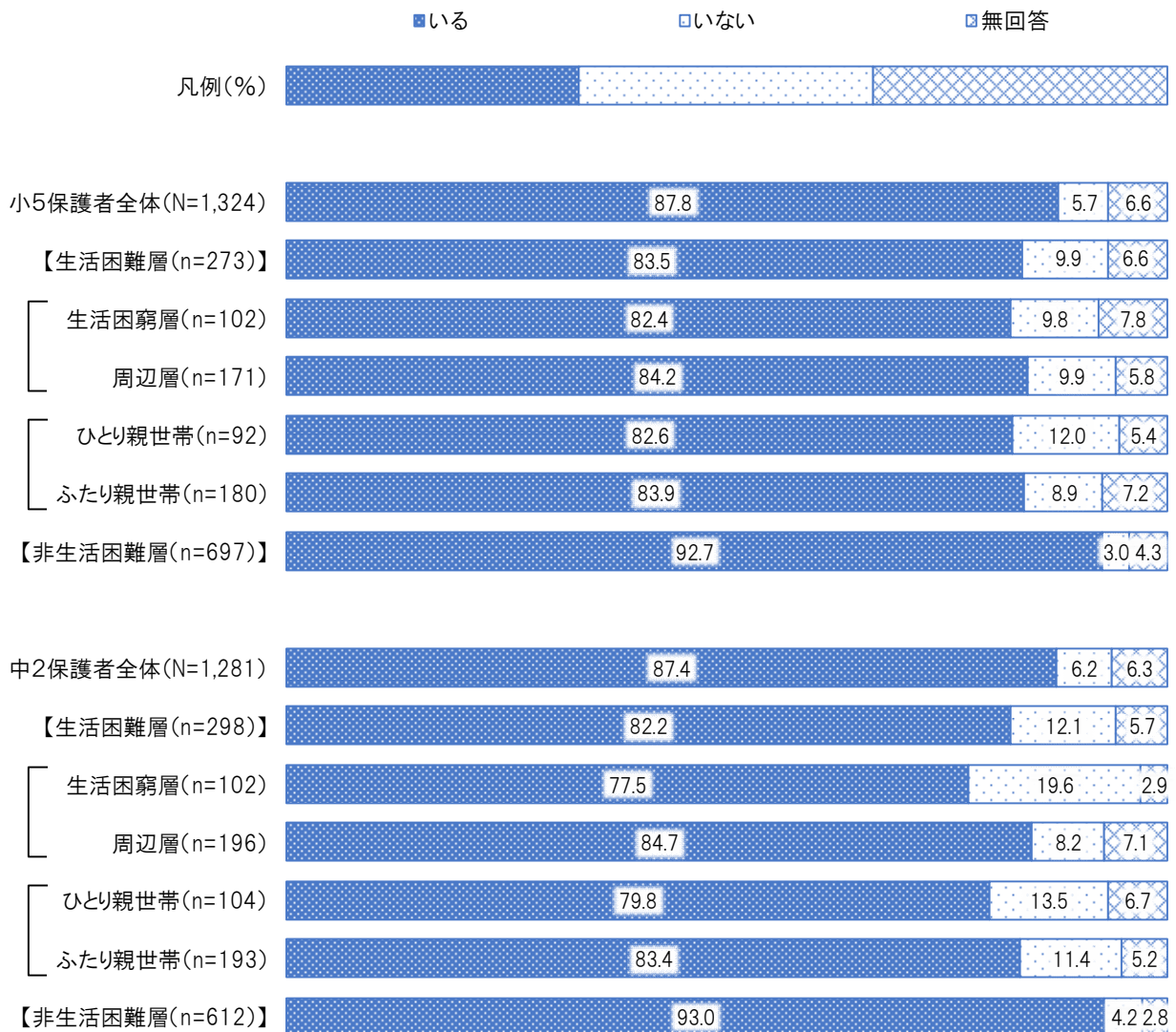
（1）相談相手の有無

保／問 46 あなたは、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人（家族、友人、親戚、同僚など）がいますか。（あてはまる番号1つに○）

相談相手の有無については、小学5年保護者全体では「いる」が87.8%、中学2年保護者では87.4%となっている。一方、「いない」は、小学5年保護者全体では5.7%、中学2年保護者全体では6.2%となっている。

生活困難度別にみた「いない」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で9.8%、中学2年保護者で19.6%となっており、中学2年保護者の生活困窮層で高くなっている。

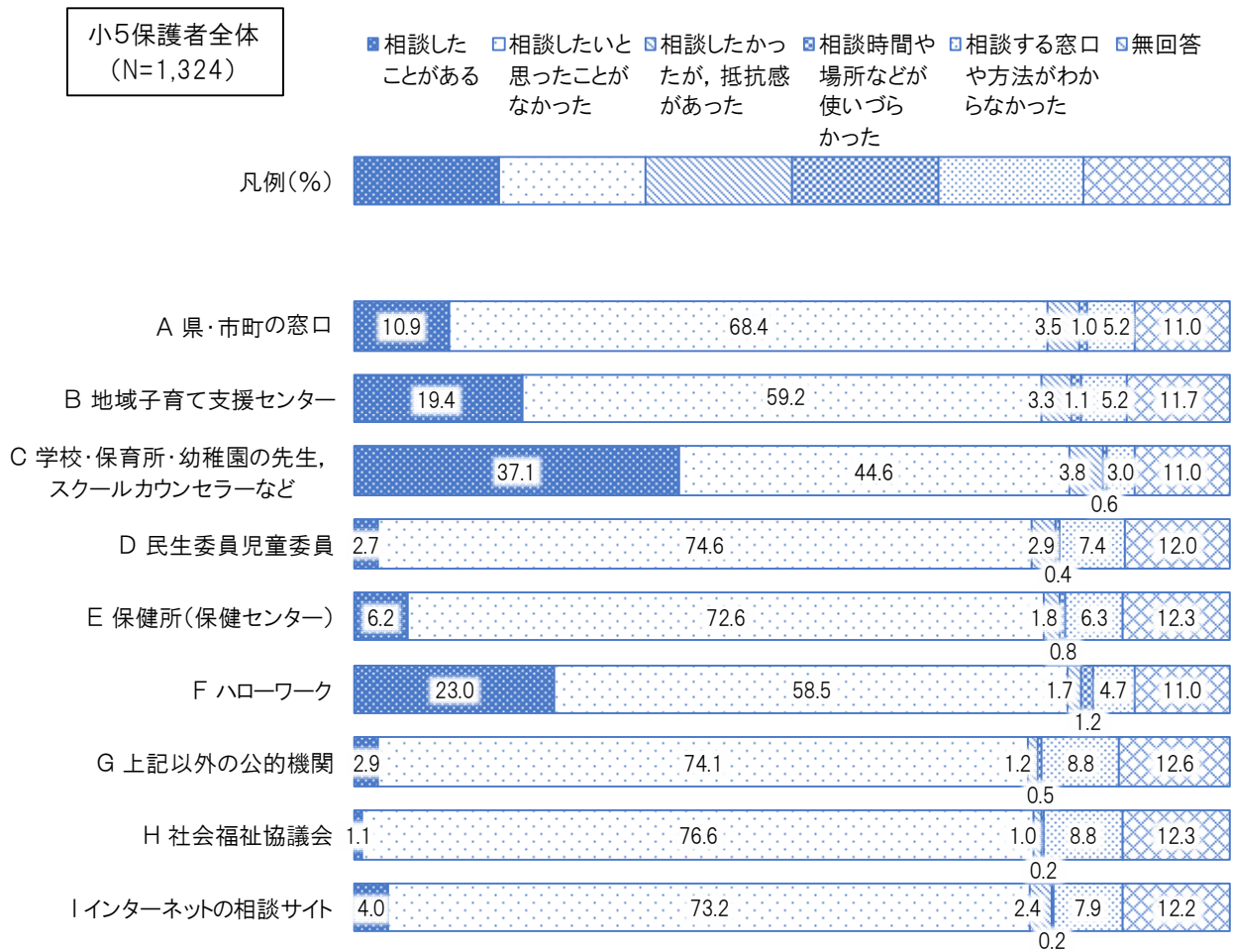
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「いない」の割合がふたり親世帯に比べてやや高くなっている。



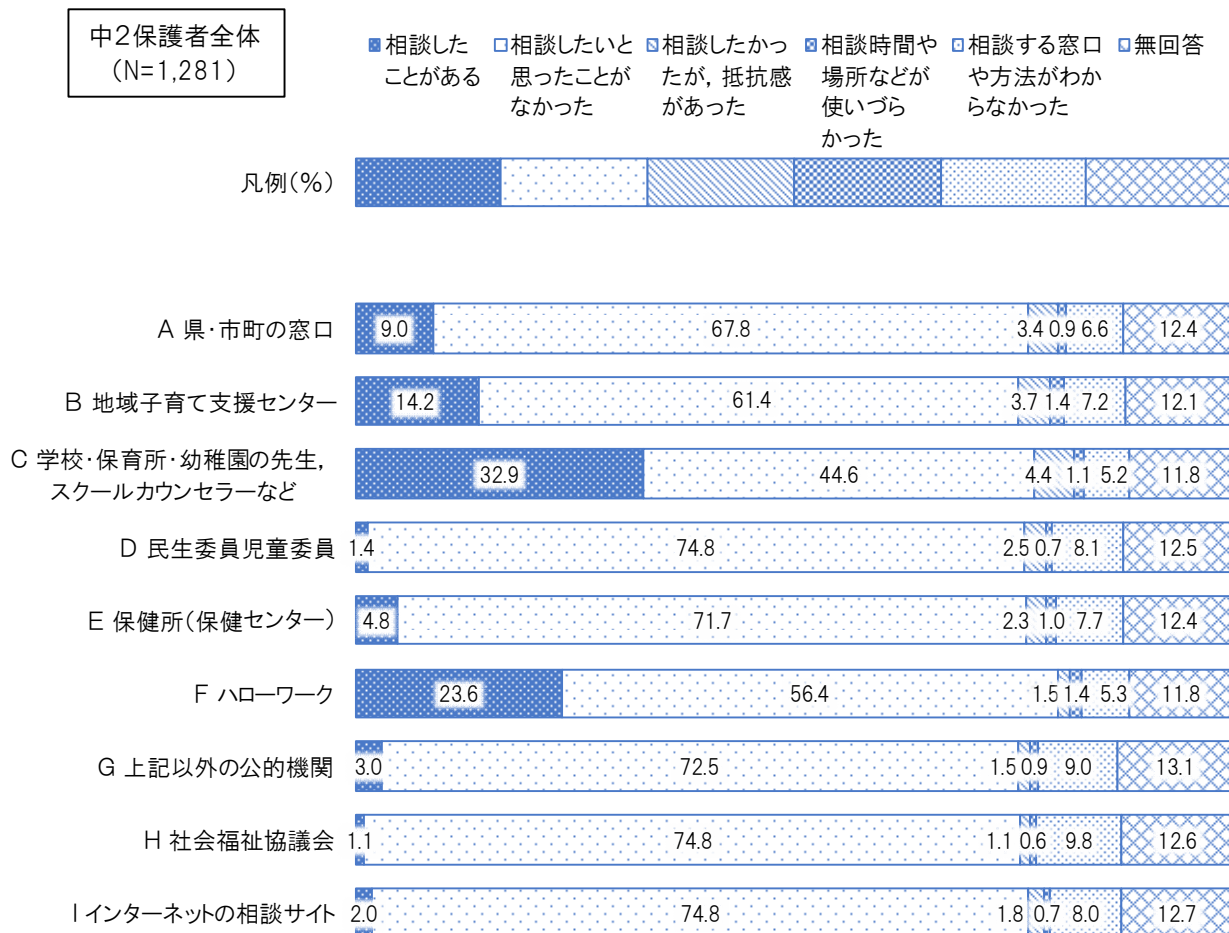
(2) 公的相談機関の利用経験

保／問 47 あなたは、これまでに困ったときに次の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

公的相談機関の利用経験については、小学5年保護者全体では「相談したことがある」の割合が高い順に「C 学校・保育所・幼稚園の先生，スクールカウンセラーなど」(37.1%)，「F ハローワーク」(23.0%)，「B 地域子育て支援センター」(19.4%) となっている。一方，「相談する窓口や方法がわからなかった」では「G 上記以外の公的機関」「H 社会福祉協議会」(各 8.8%) などがあげられる。



中学2年保護者全体では「相談したことがある」の割合が高い順に「C 学校・保育所・幼稚園の先生，スクールカウンセラーなど」(32.9%)，「F ハローワーク」(23.6%)，「B 地域子育て支援センター」(14.2%)となっている。一方，「相談する窓口や方法がわからなかった」では「H 社会福祉協議会」(9.8%)，「G 上記以外の公的機関」(9.0%)などがあげられる。

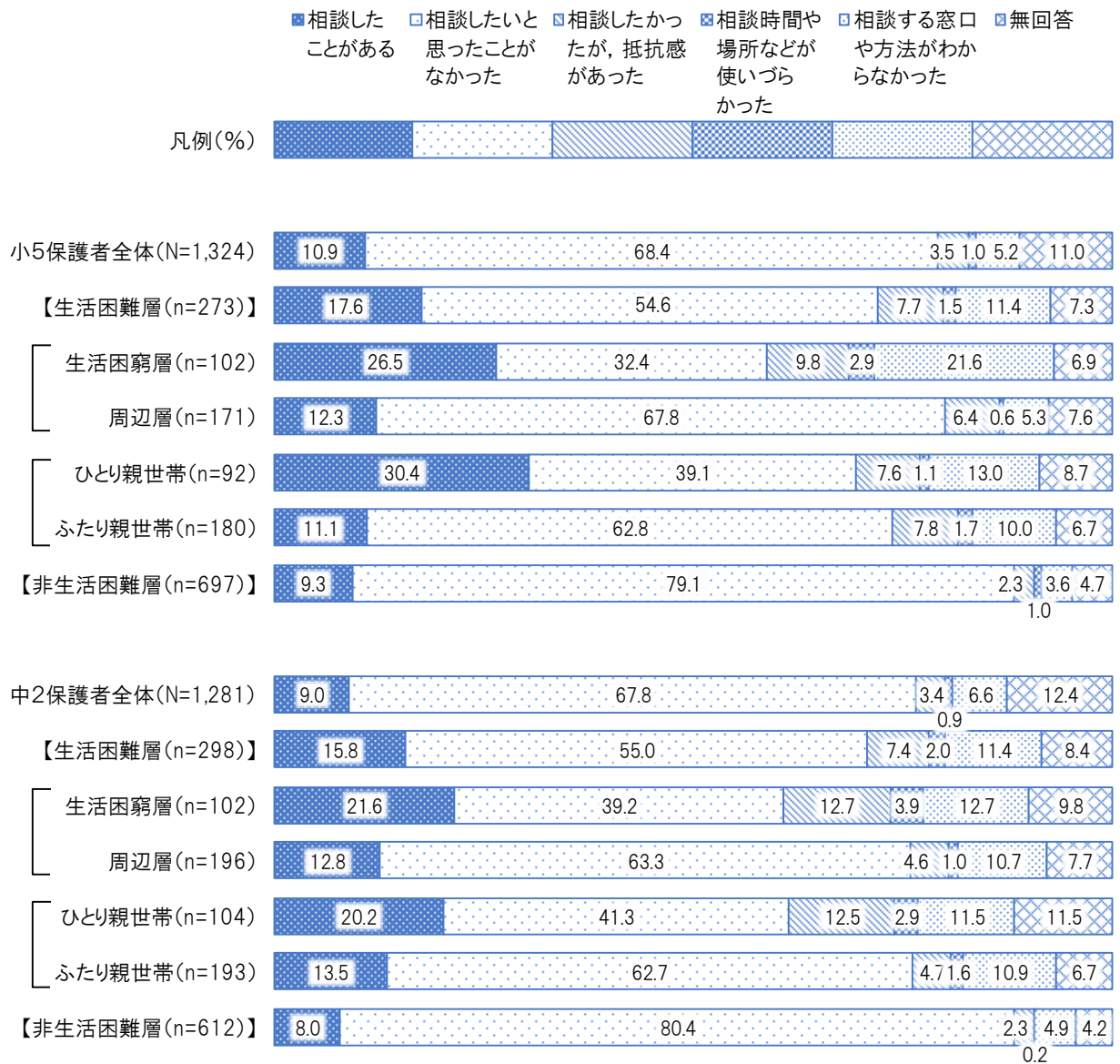


A 県・市町の窓口

県・市町の窓口について、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が68.4%、「相談したことがある」が10.9%となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が67.8%、「相談したことがある」が9.0%となっている。

生活困難度別にみた「相談したことがある」割合は、小学5年保護者の生活困窮層で26.5%、中学2年保護者で21.6%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「相談したことがある」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。

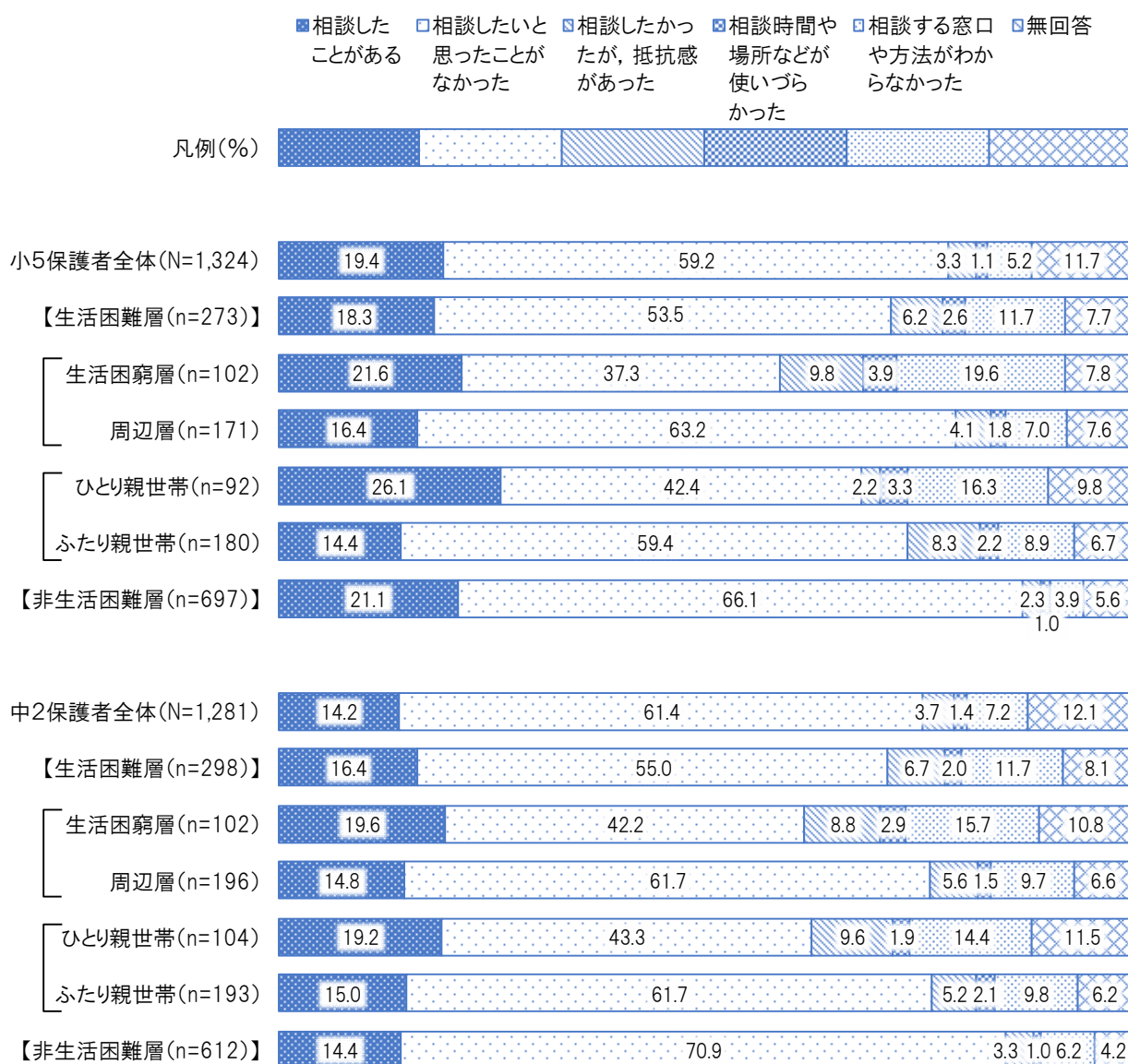


B 地域子育て支援センター

地域子育て支援センターについて、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が59.2%、「相談したことがある」が19.4%となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が61.4%、「相談したことがある」が14.2%となっている。

生活困難度別にみた「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で19.6%、中学2年保護者で15.7%となっており、生活困窮層で高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともにひとり親世帯で「相談したことがある」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。

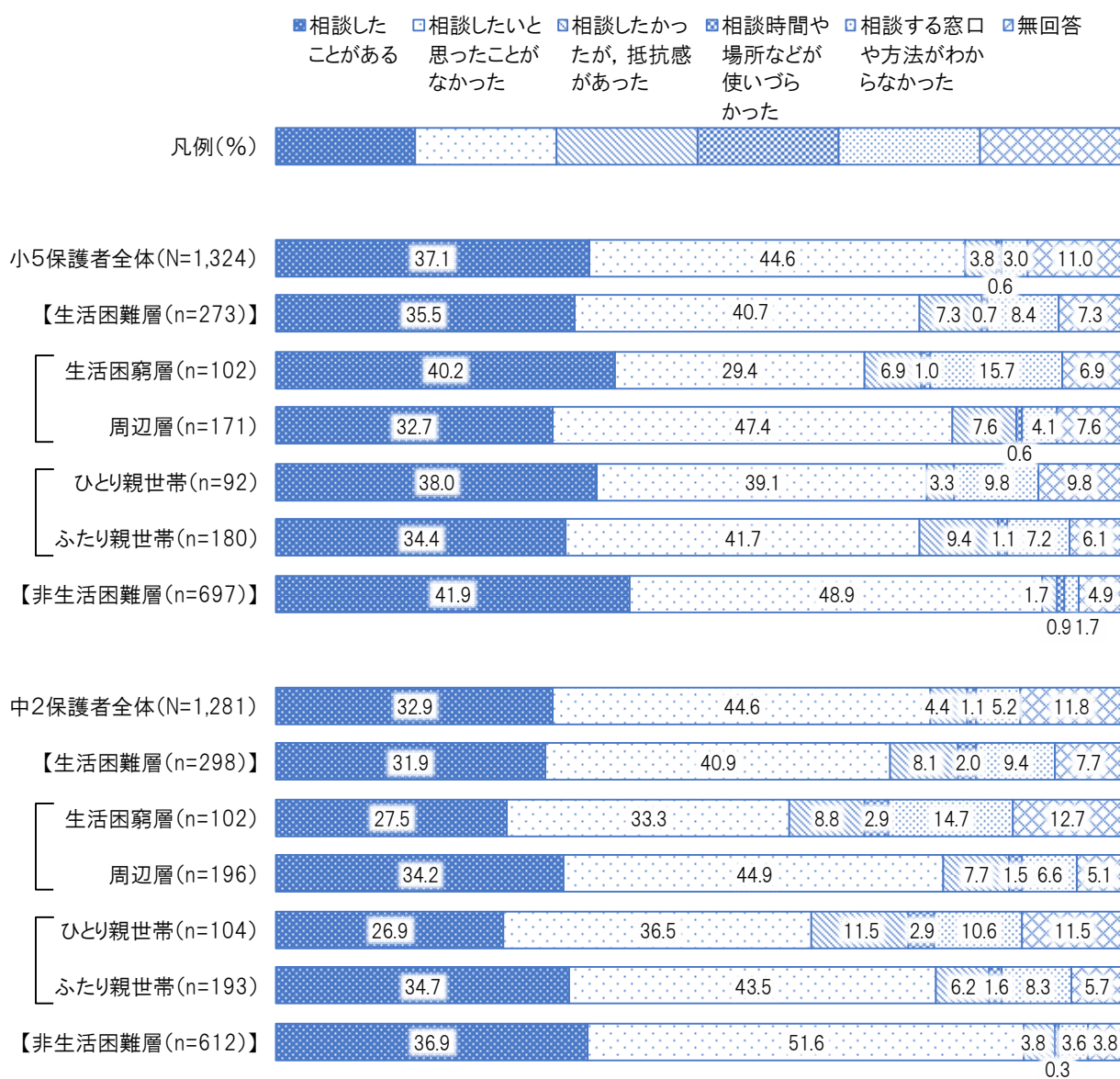


C 学校・保育所・幼稚園の先生，スクールカウンセラーなど

学校・保育所・幼稚園の先生，スクールカウンセラーなどについて，小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が44.6%，「相談したことがある」が37.1%となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が44.6%，「相談したことがある」が32.9%となっている。

生活困難度別にみた「相談したことがある」の割合は，小学5年保護者の生活困窮層で40.2%，中学2年保護者で27.5%となっており，中学2年保護者の生活困窮層で低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では，中学2年保護者のひとり親世帯で「相談したことがある」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。

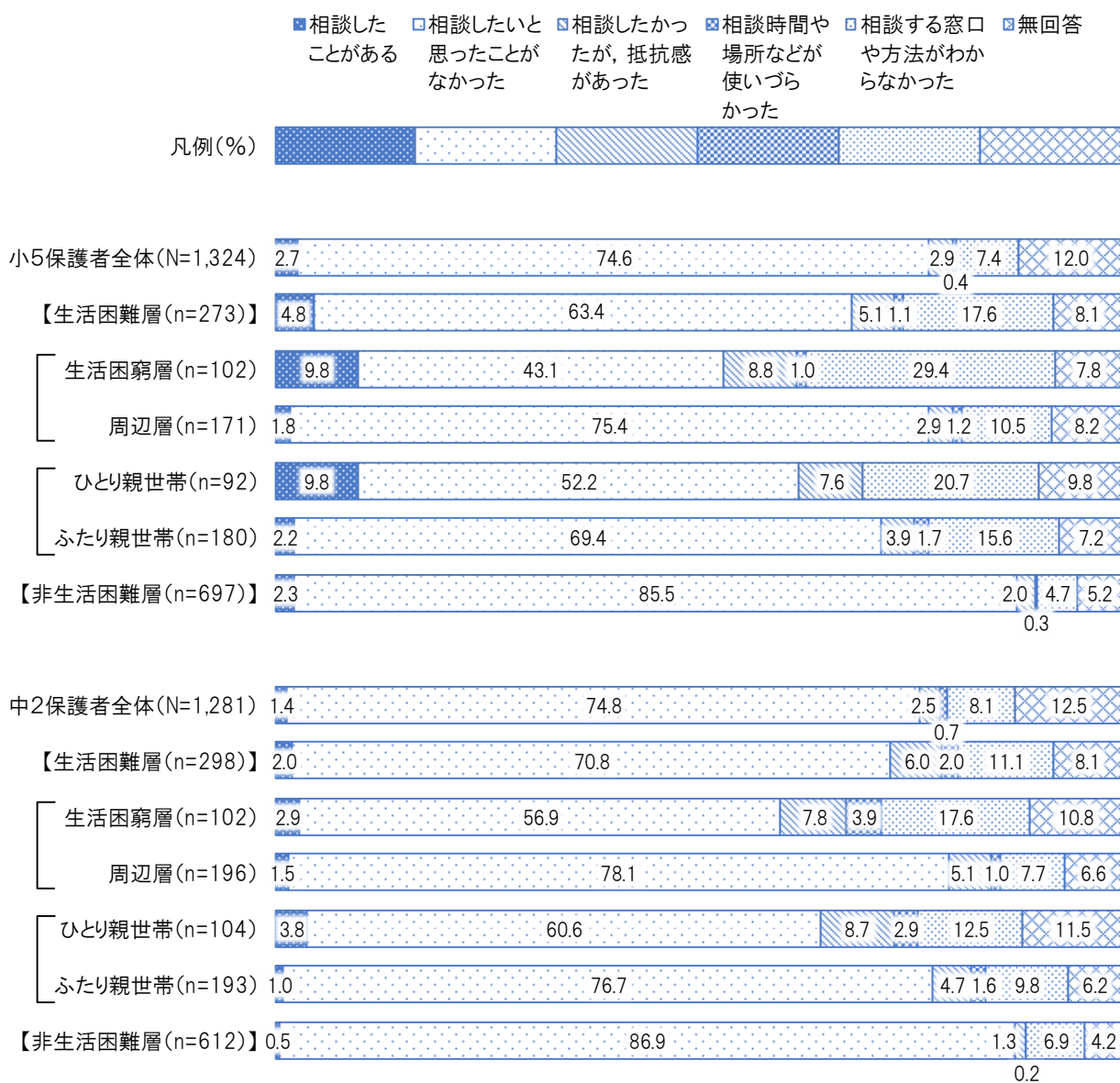


D 民生委員児童委員

民生委員児童委員について、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が74.6%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が7.4%となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が74.8%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が8.1%となっている。

生活困難度別にみた「相談したことがある」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で9.8%、中学2年保護者で2.9%となっており、小学5年保護者の生活困窮層で高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のひとり親世帯で「相談したことがある」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



E 保健所（保健センター）

保健所（保健センター）について、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が72.6%、「相談したことがある」が6.2%となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が71.7%、「相談したことがある」が4.8%となっている。

生活困難度別にみた「相談したことがある」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で8.8%、中学2年保護者で3.9%となっており、小学5年保護者の生活困窮層で高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のひとり親世帯で「相談したことがある」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。

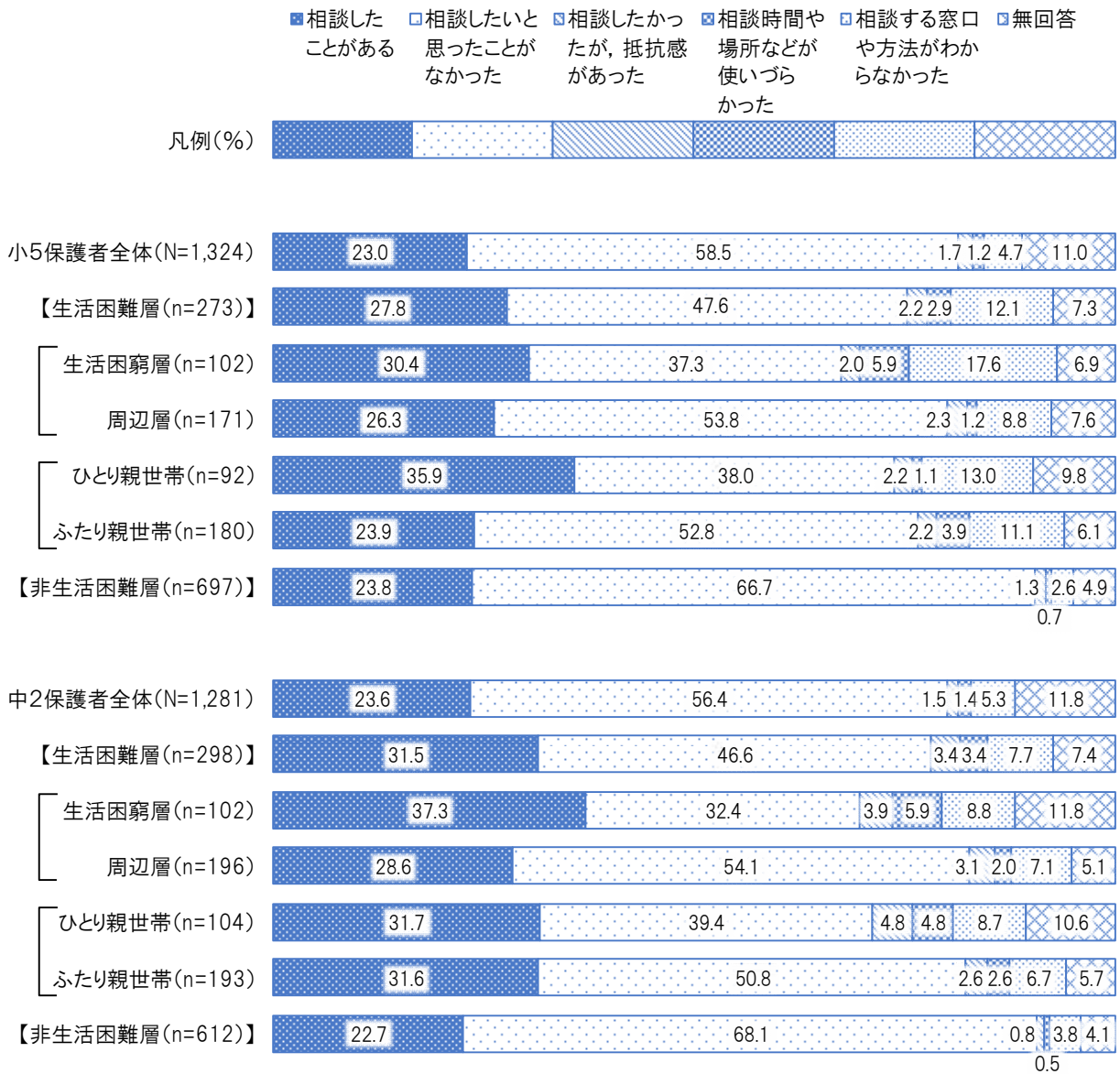


F ハローワーク

ハローワークについて、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が58.5%、「相談したことがある」が23.0%となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が56.4%、「相談したことがある」が23.6%となっている。

生活困難度別にみた「相談したことがある」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で30.4%、中学2年保護者で37.3%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のひとり親世帯で「相談したことがある」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。

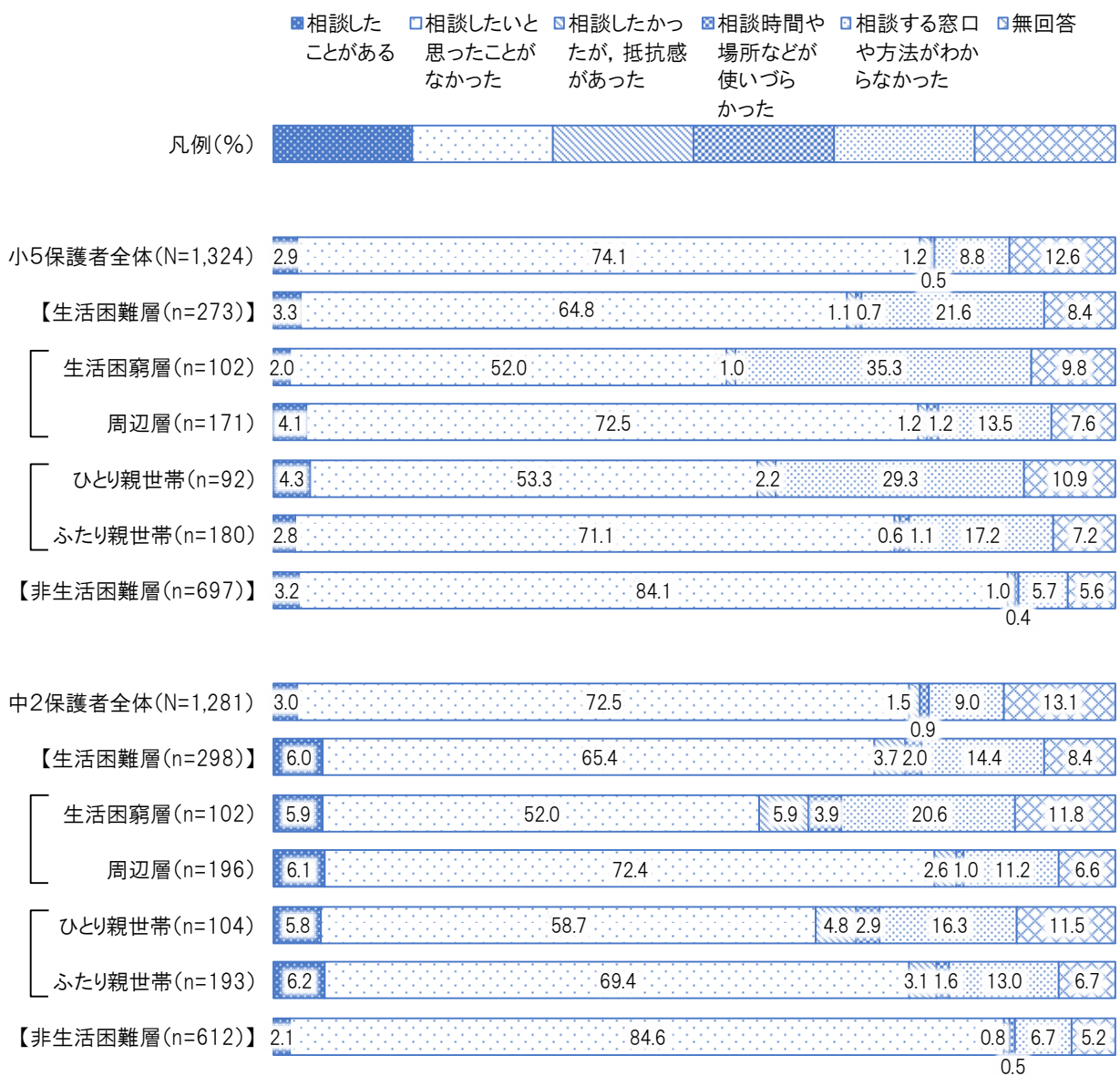


G 上記以外の公的機関

上記以外の公的機関について、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が74.1%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が8.8%となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が72.5%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が9.0%となっている。

生活困難度別にみた「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で35.3%、中学2年保護者で20.6%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。

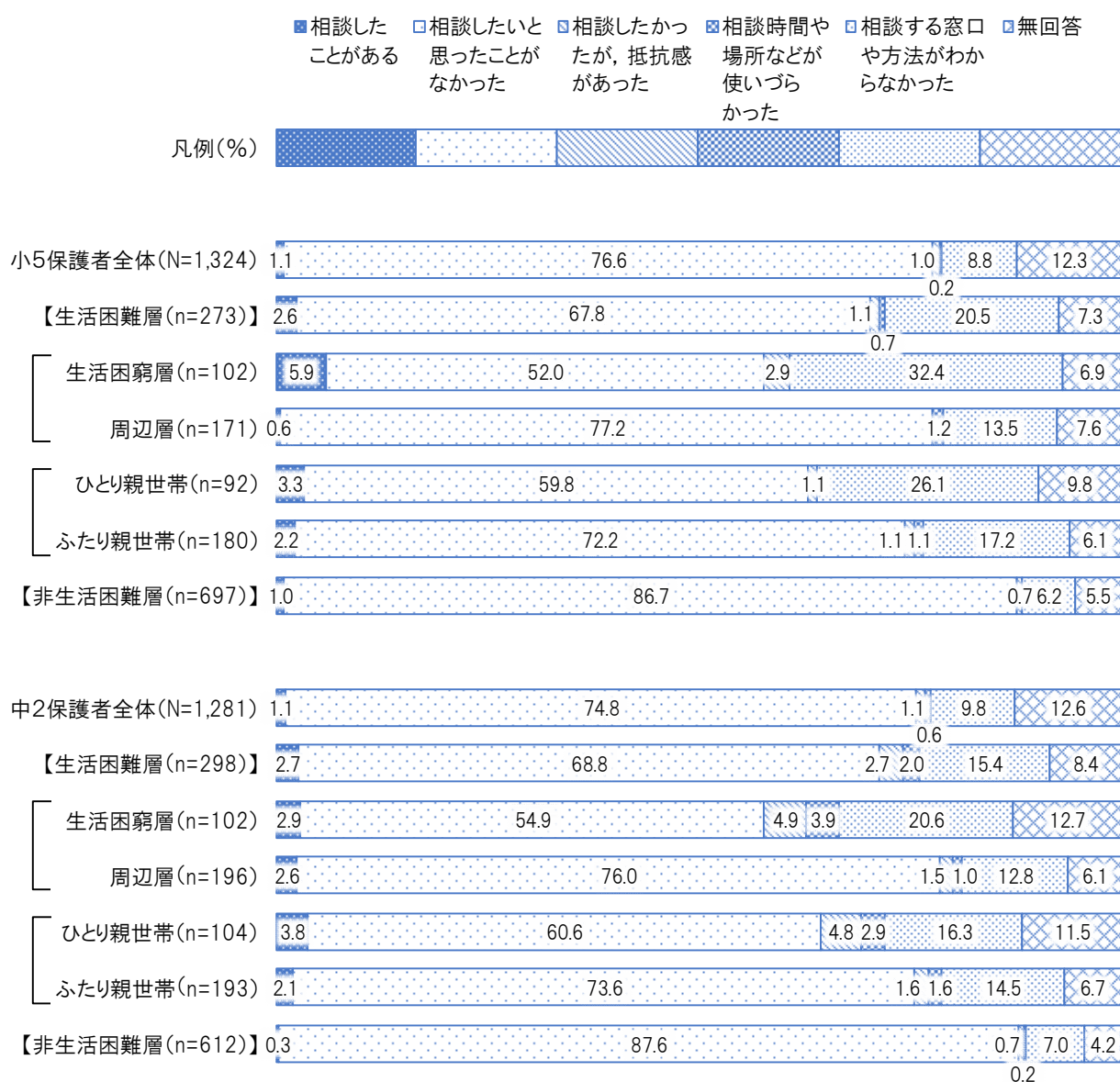


H 社会福祉協議会

社会福祉協議会について、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が76.6%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が8.8%となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が74.8%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が9.8%となっている。

生活困難度別にみた「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で32.4%、中学2年保護者で20.6%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のひとり親世帯で「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。

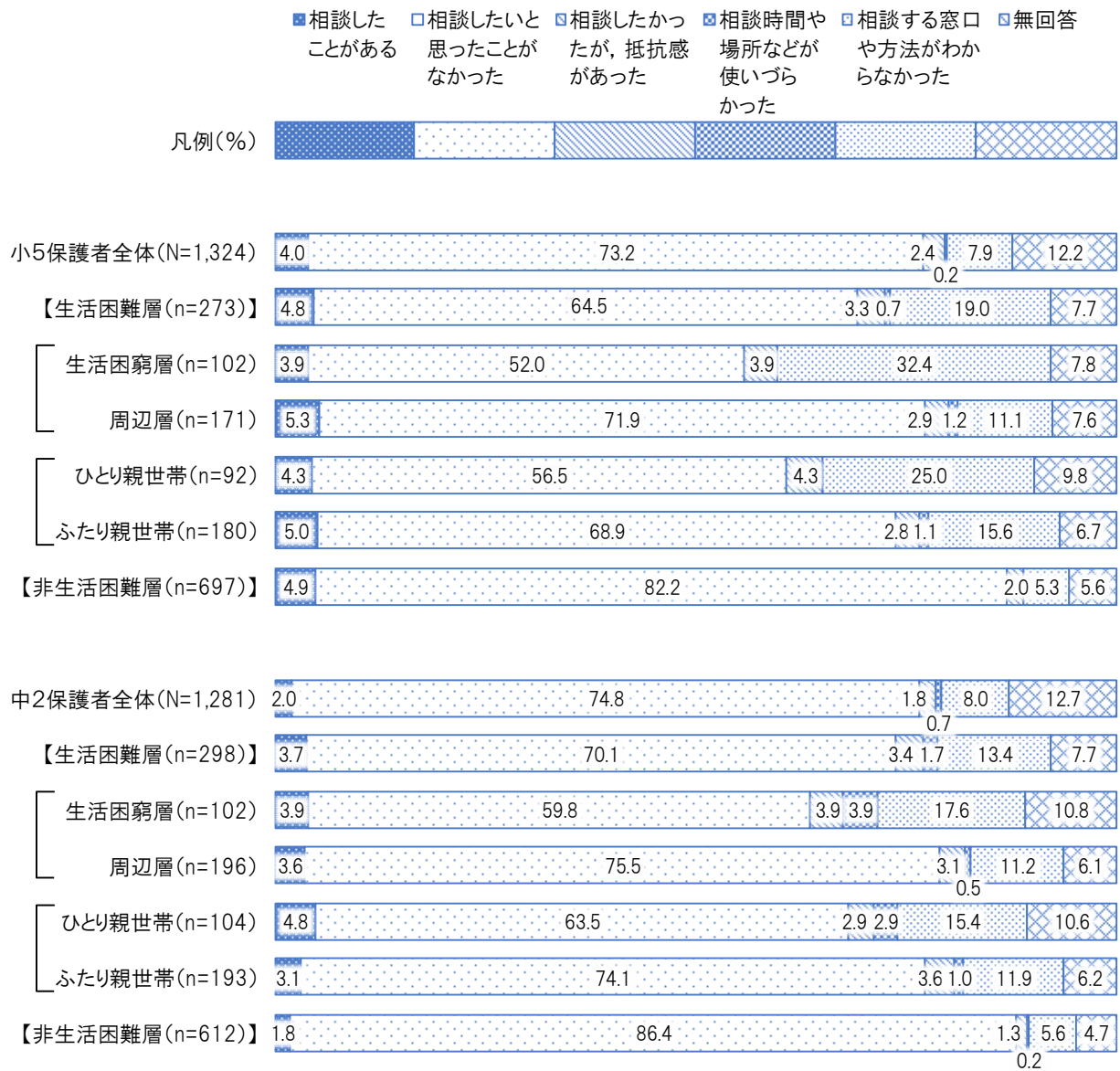


I インターネットの相談サイト

インターネットの相談サイトについて、小学5年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が73.2%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が7.9%となっている。中学2年保護者全体では「利用したいと思ったことがなかった」が74.8%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が8.0%となっている。

生活困難度別にみた「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で32.4%、中学2年保護者で17.6%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。

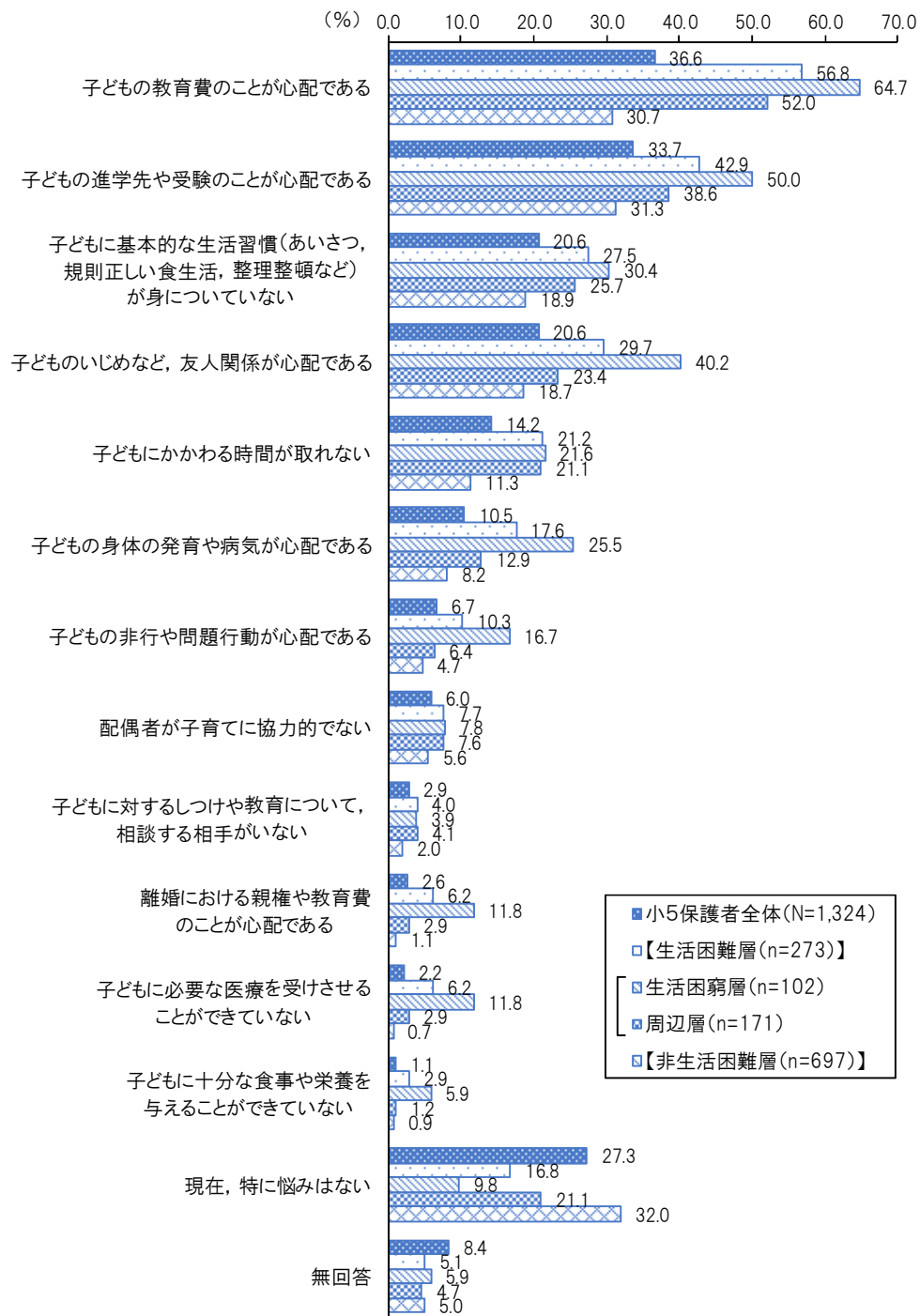


(3) 子どもについて悩んでいること

保／問 49 子どものことについて、現在、悩んでいることはありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

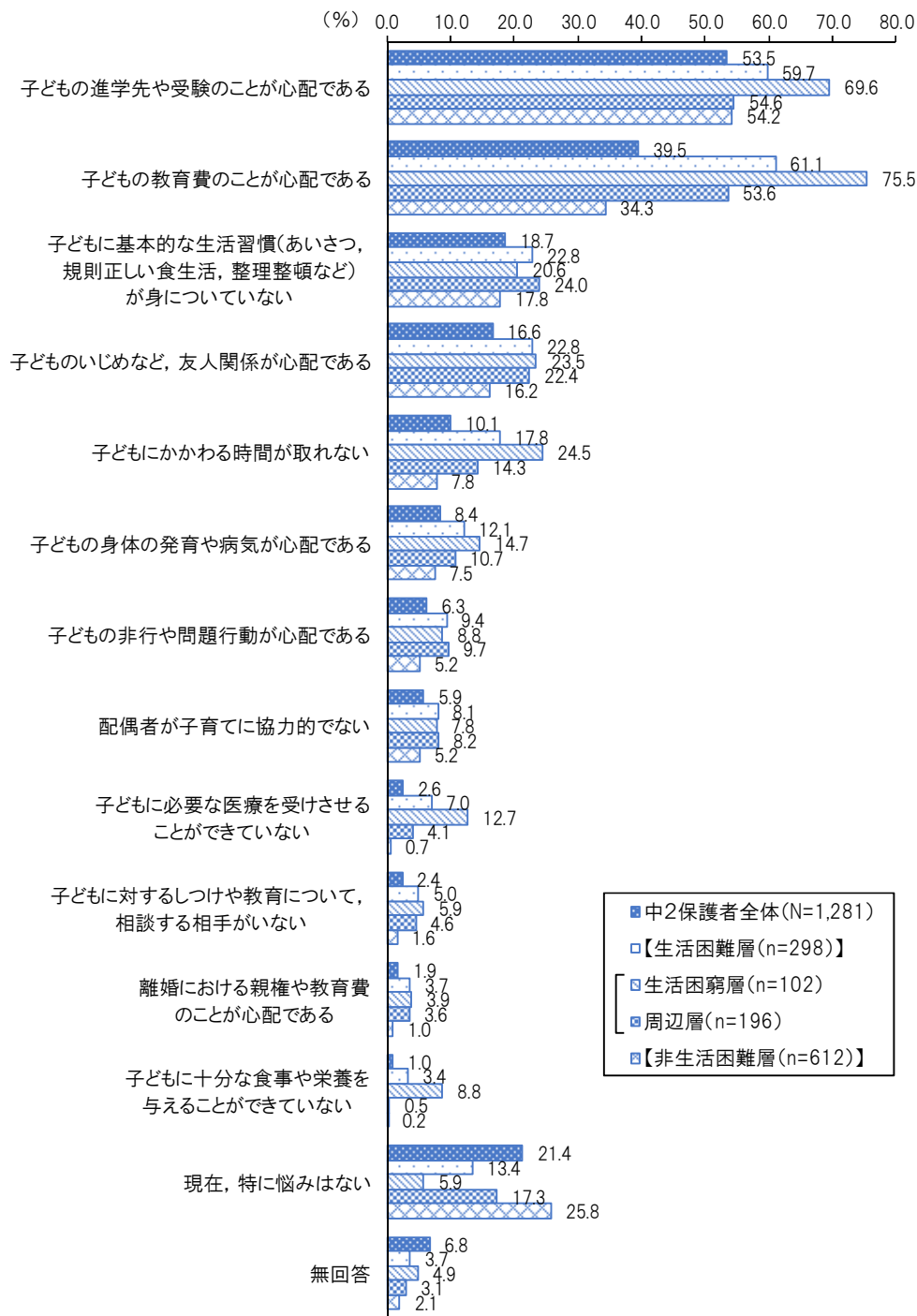
悩んでいることについて、小学5年保護者全体では「子どもの教育費のことが心配である」が36.6%と最も高く、次いで「子どもの進学先や受験のことが心配である」(33.7%)、「子どもに基本的な生活習慣(あいさつ, 規則正しい食生活, 整理整頓など)が身につけていない」「子どものいじめなど, 友人関係が心配である」(各20.6%)の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「現在, 特に悩みはない」の割合が低く、「子どもの教育費のことが心配である」「子どもの進学先や受験のことが心配である」「子どものいじめなど, 友人関係が心配である」などの割合が他の層に比べて高くなっている。

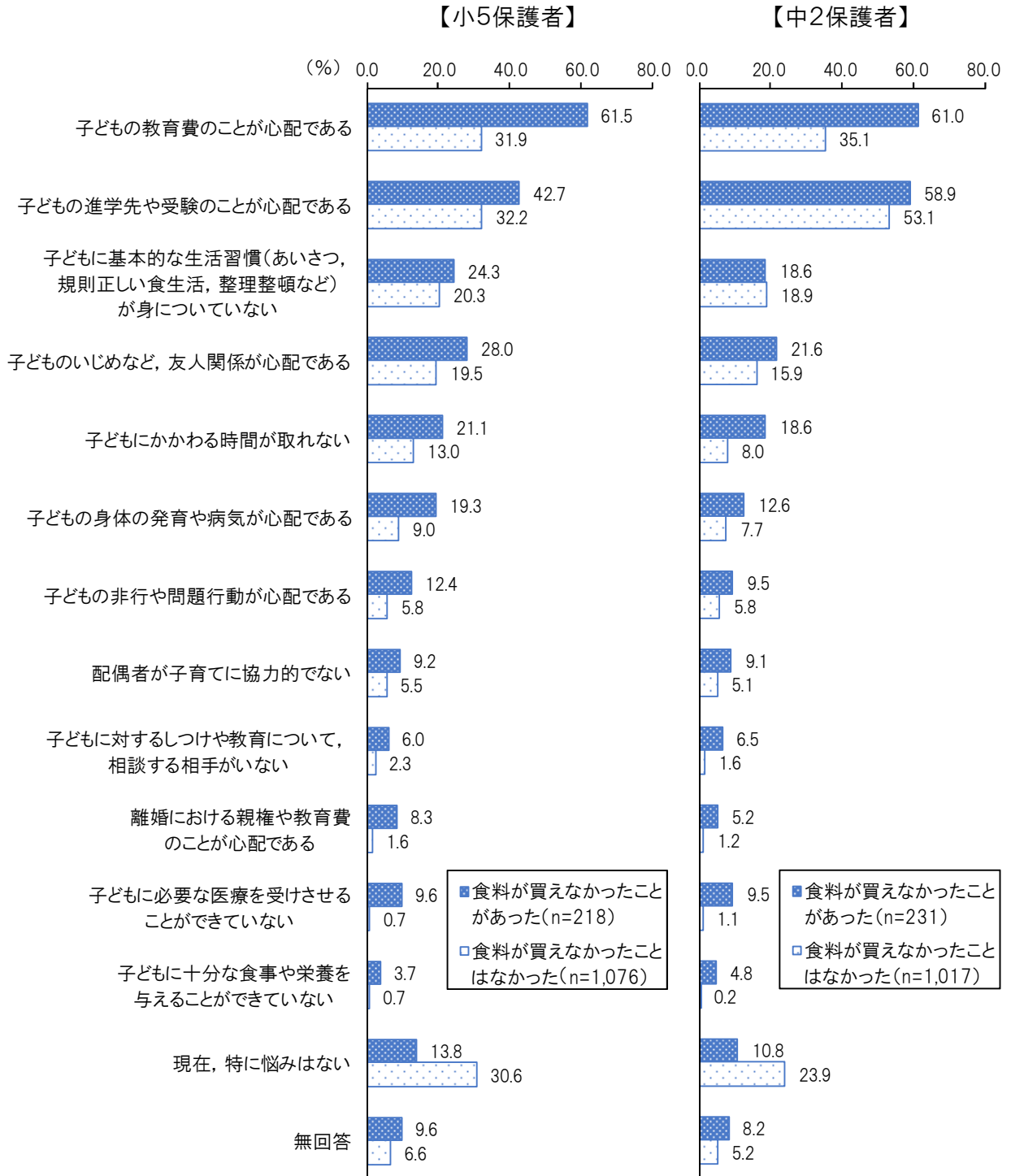


中学2年保護者全体では、「子どもの進学先や受験のことが心配である」が53.5%と最も高く、次いで「子どもの教育費のことが心配である」(39.5%)、「子どもに基本的な生活習慣(あいさつ, 規則正しい食生活, 整理整頓など)が身につけていない」(18.7%)の順となっている。

生活困難度別にみると, 生活困窮層は「現在, 特に悩みはない」の割合が低く, 「子どもの進学先や受験のことが心配である」「子どもの教育費のことが心配である」などの割合が他の層を大きく上回っている。



食料が買えなかった経験別（問 31）でみると、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、食料が買えなかったことがあった層では、食料が買えなかったことがなかった層に比べ「現在、特に悩みはない」の割合が低く、「子どもの進学先や受験のことが心配である」や「子どもの教育費のことが心配である」などの割合が、食料が買えなかったことがなかった層を大きく上回っている。



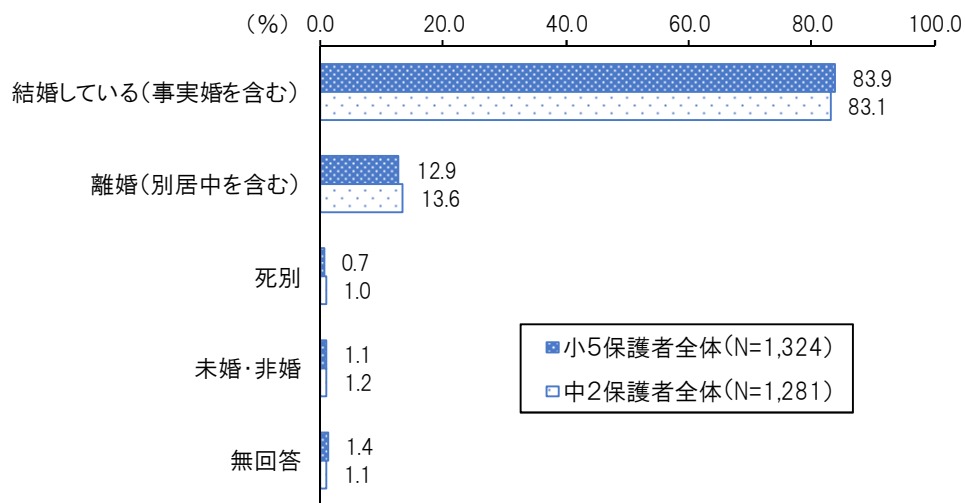
第7章 保護者の状況

【1】回答者

(1) 婚姻状況

保／問5 現在のあなたの婚姻状況を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

婚姻状況については、小学5年保護者、中学2年保護者ともに「結婚している(事実婚を含む)」が8割以上を占め、「離婚(別居中を含む)」が1割程度となっている。



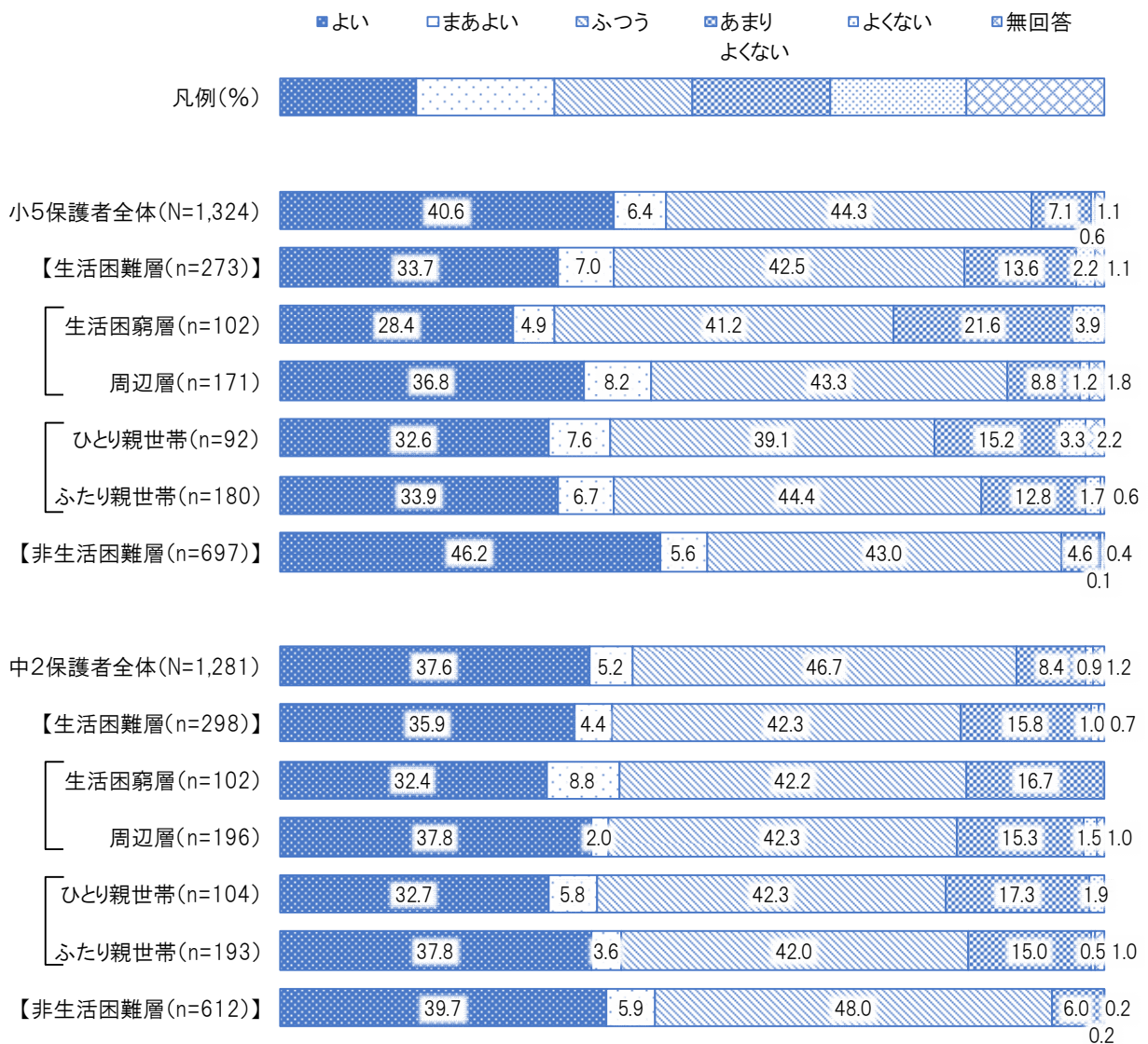
(2) 健康状態

保／問 15-1 あなたの健康状態についておうかがいします。最も近いものに○をつけてください。(あてはまる番号1つに○)

健康状態については、小学5年保護者全体では「よい」の割合が40.6%、中学2年保護者全体では37.6%となっている。一方、「あまりよくない」「よくない」の合計は、小学5年保護者全体では7.7%、中学2年保護者全体では9.3%となっている。

生活困難度別にみた『よくない(合計)』の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で25.5%、中学2年保護者で16.7%となっており、小学5年保護者の生活困窮層で高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で『よくない(合計)』の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



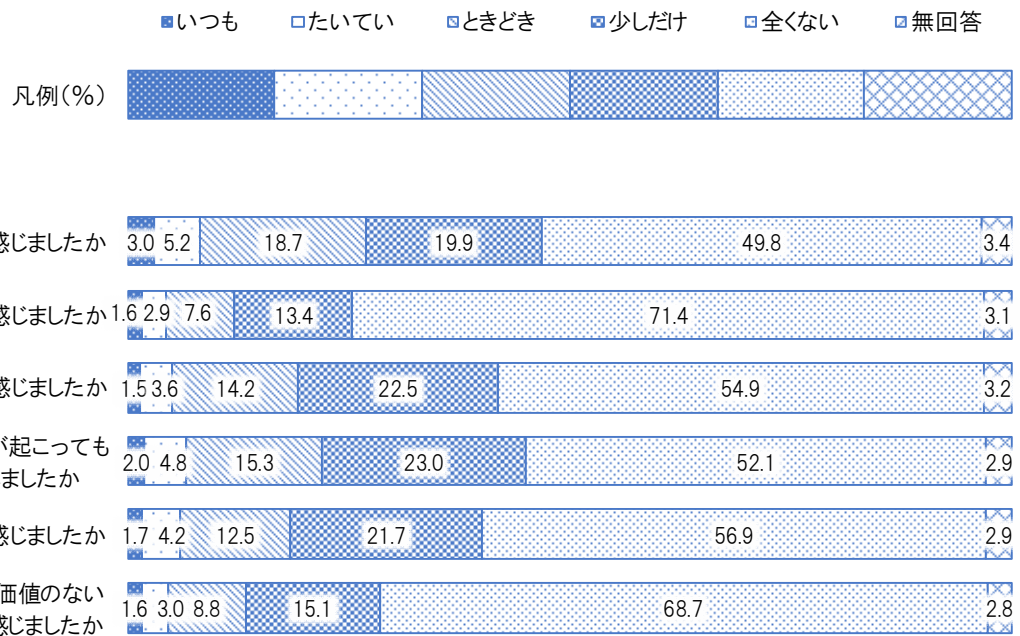
(3) 心の状態

保／問 18 次のA～Fの質問について、あなたは、1か月の間に次のことがありましたか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

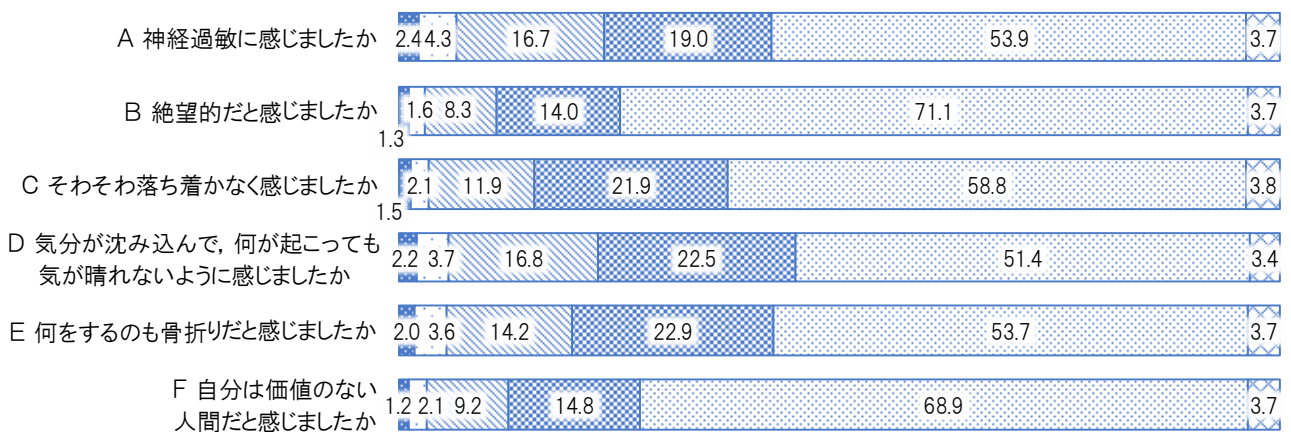
心の状態について、小学5年保護者全体では、「いつも」「たいてい」「ときどき」を合計した割合が高い順に「A 神経過敏に感じる」(26.9%)、「D 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じる」(22.1%)、「C そわそわ落ち着かなく感じる」(19.3%)となっている。

中学2年保護者全体では、「いつも」「たいてい」「ときどき」を合計した割合が高い順に「A 神経過敏に感じる」(23.4%)、「D 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じる」(22.7%)、「E 何をするのも骨折りだと感じる」(19.8%)となっている。

小5保護者全体
(N=1,324)



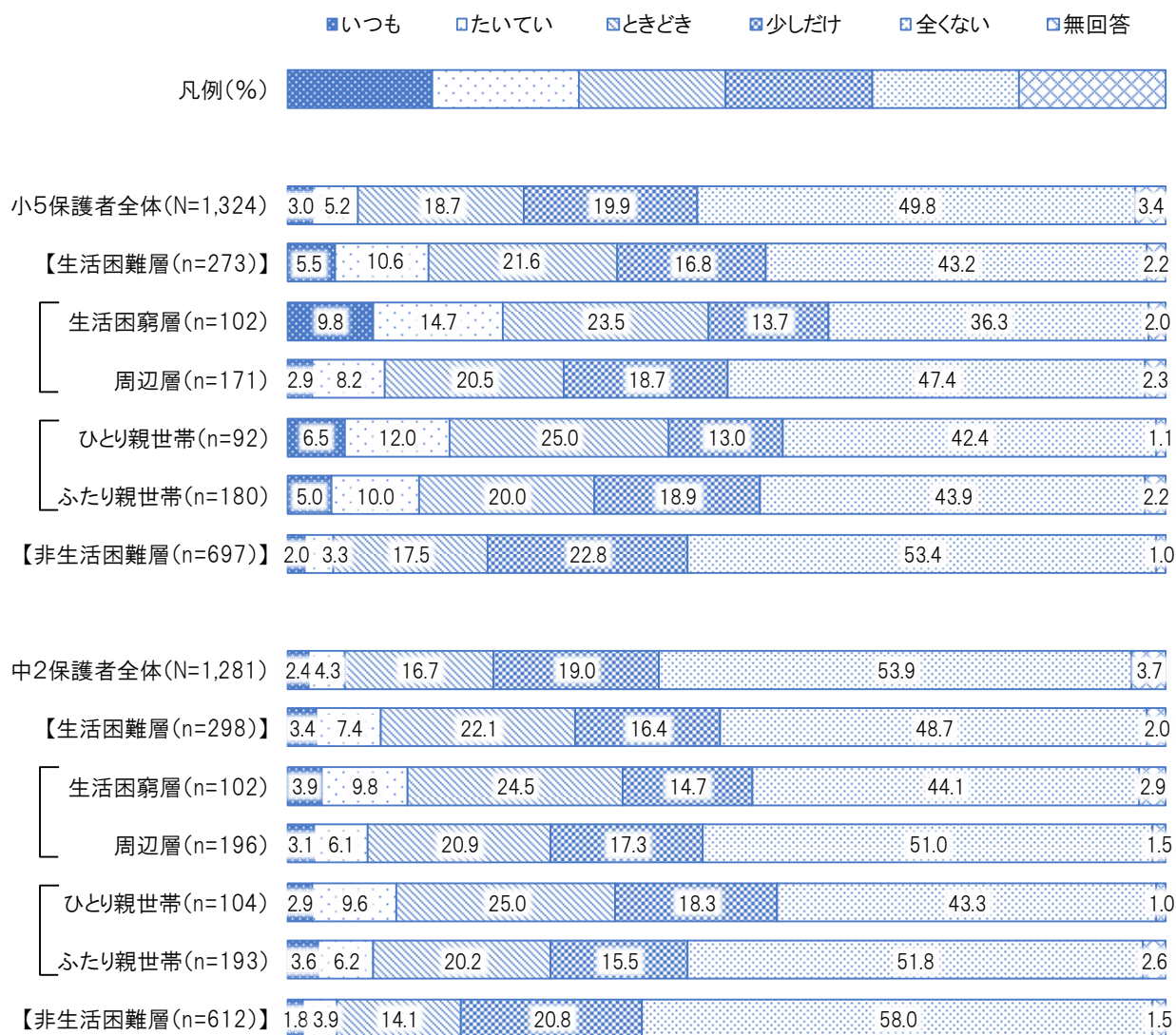
中2保護者全体
(N=1,281)



A 神経過敏に感じましたか

神経過敏に感じるということについて「いつも」「たいてい」「ときどき」の合計は、小学5年保護者の生活困窮層で48.0%、周辺層で31.6%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で38.2%、周辺層で30.1%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

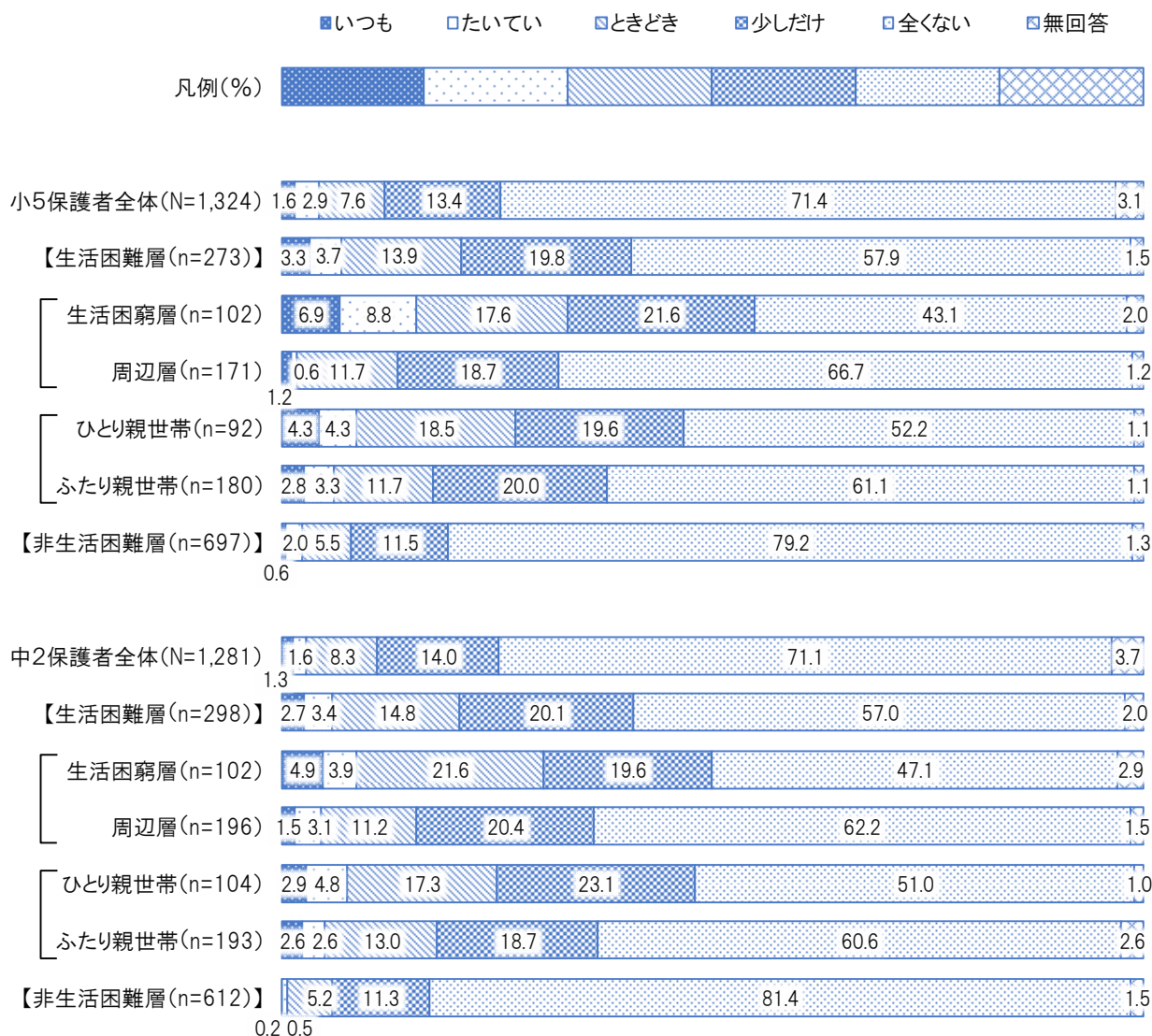
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「ときどき」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



B 絶望的だと感じましたか

絶望的だと感じるについて「いつも」「たいてい」「ときどき」の合計は、小学5年保護者の生活困窮層で33.3%、周辺層で13.5%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で30.4%、周辺層で15.8%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

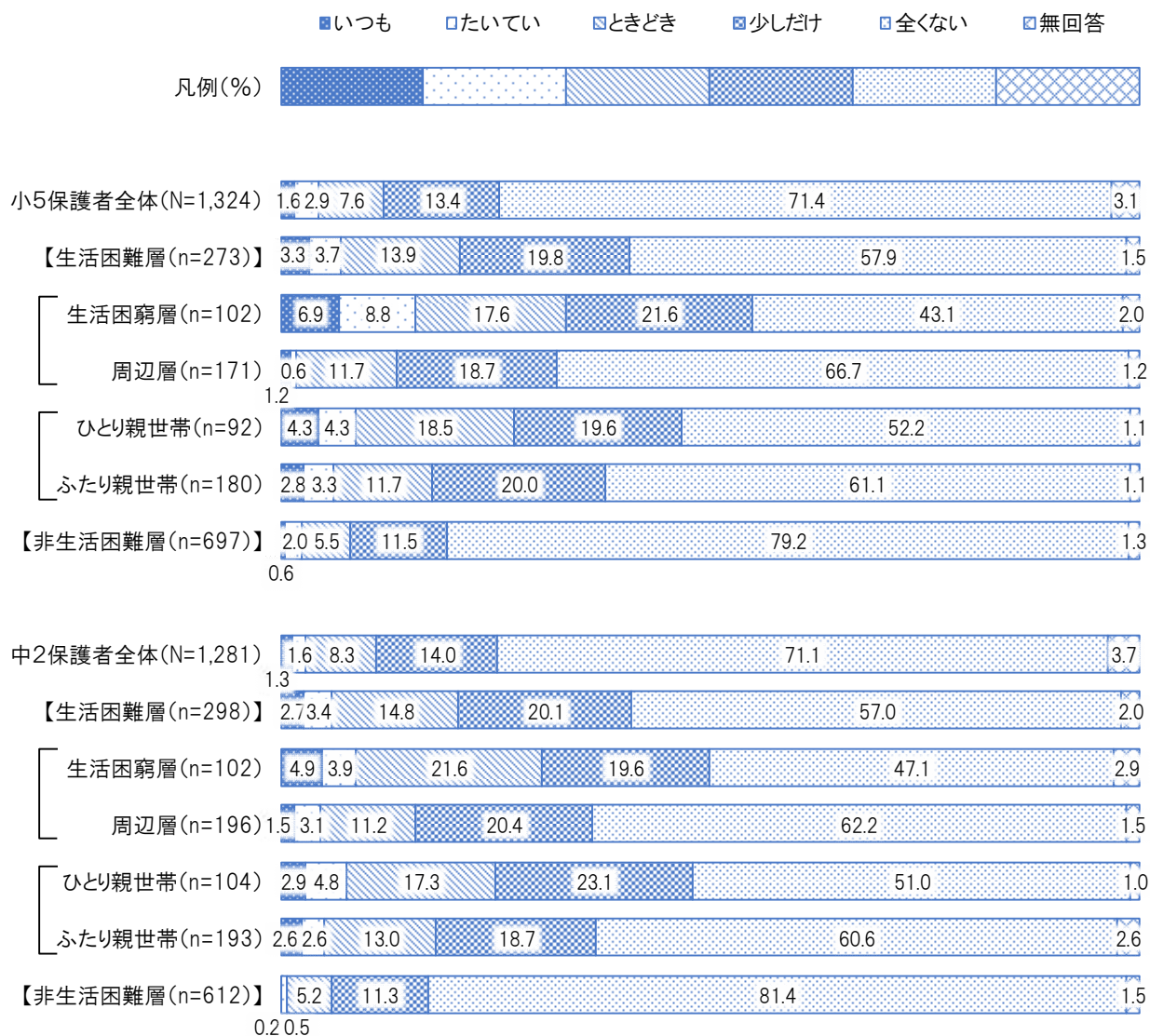
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「ときどき」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



C そわそわ落ち着かなく感じましたか

そわそわ落ち着かなく感じるということについて「いつも」「たいてい」「ときどき」の合計は、小学5年保護者の生活困窮層で 38.3%，周辺層で 24.6%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で 30.4%，周辺層で 21.4%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

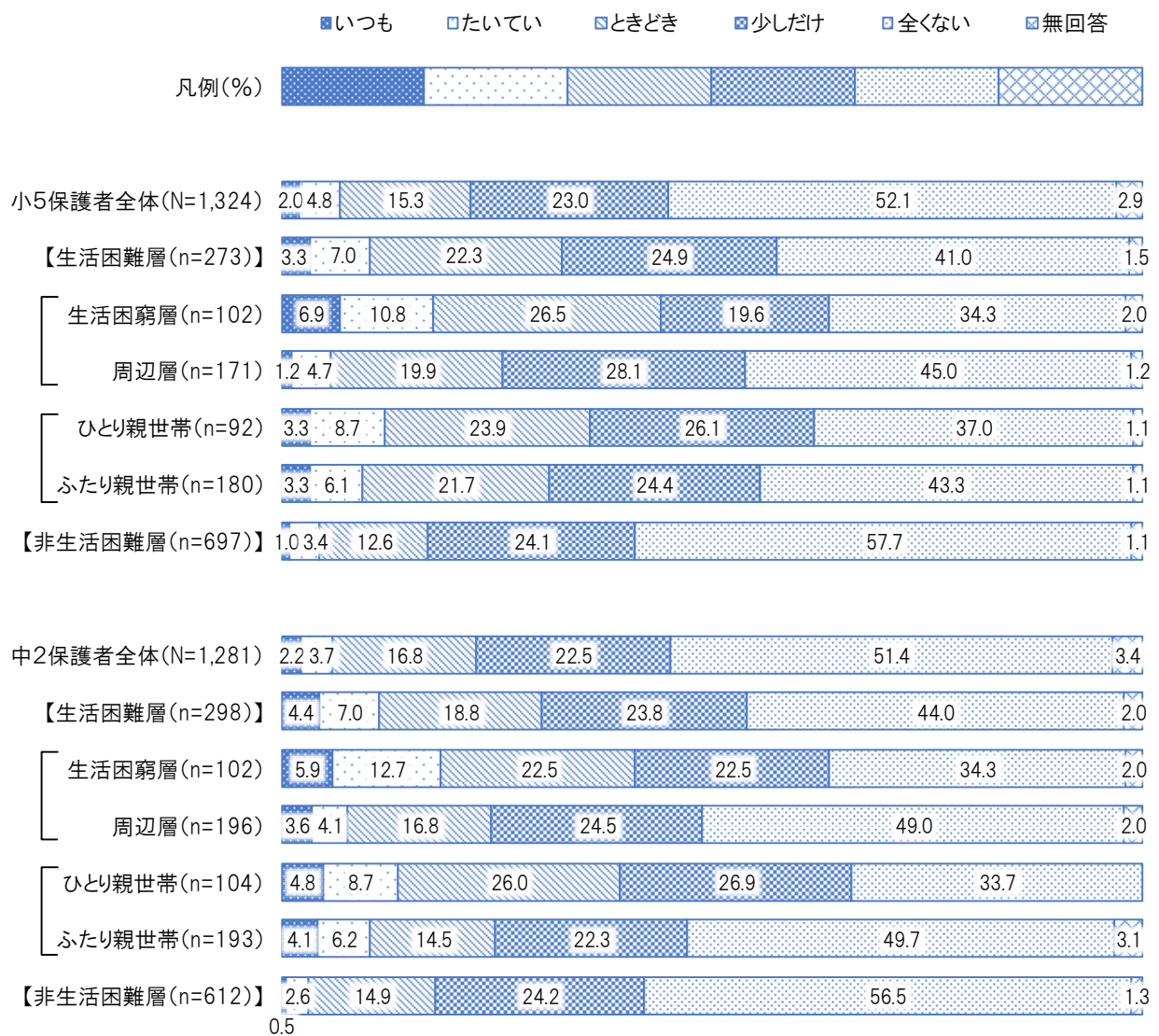
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「ときどき」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



D 気分が沈み込んで、何が起ころしても気が晴れないように感じましたか

気分が沈み込んで、何が起ころしても気が晴れないように感じるについて「いつも」「たいてい」「ときどき」の合計は、小学5年保護者の生活困窮層で44.2%、周辺層で25.8%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で41.1%、周辺層で24.5%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

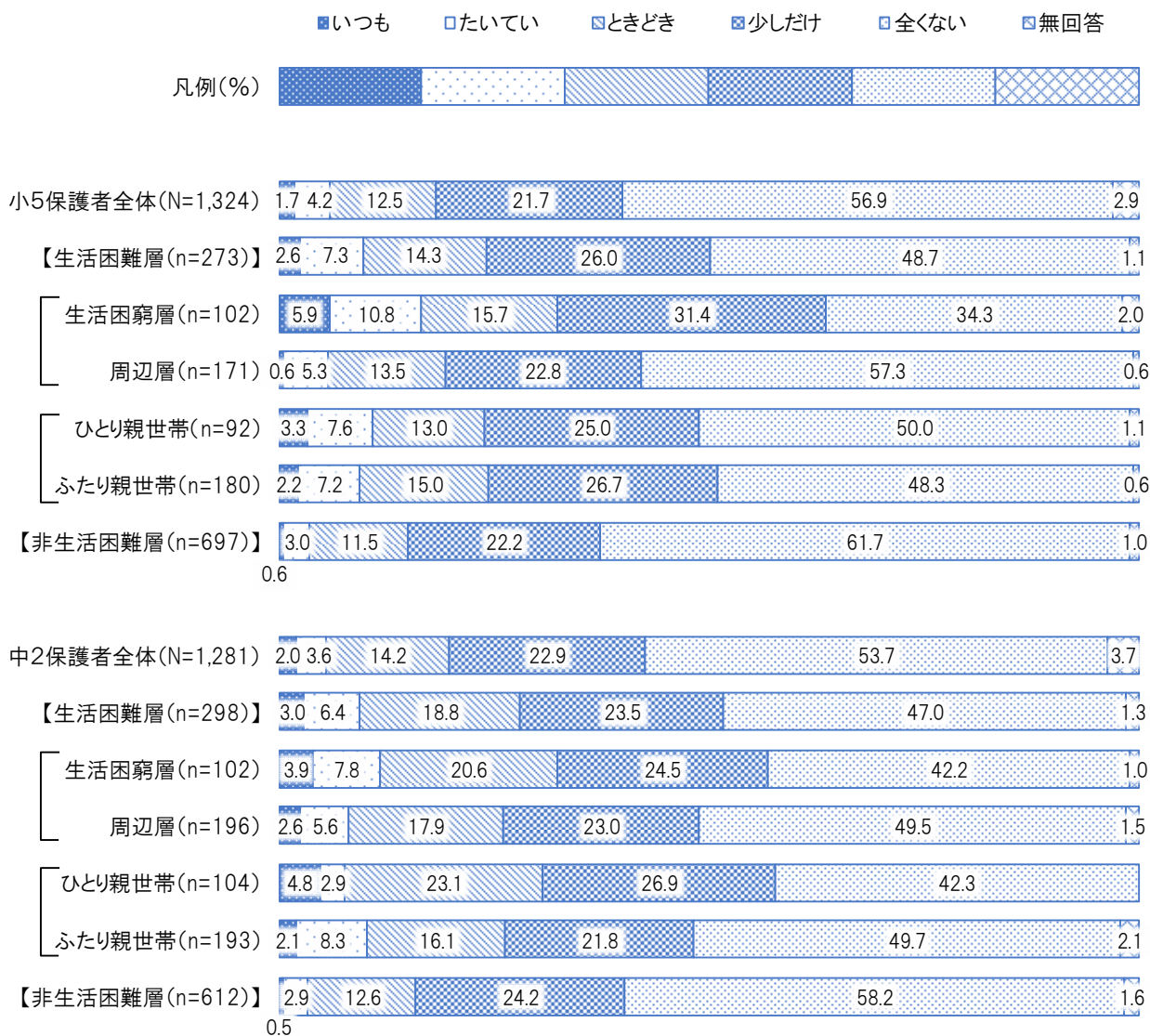
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のひとり親世帯で「ときどき」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



E 何をするのも骨折りだと感じましたか

何をするのも骨折りだと感じるということについて「いつも」「たいてい」「ときどき」の合計は、小学5年保護者の生活困窮層で32.4%、周辺層で19.4%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で32.3%、周辺層で26.1%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

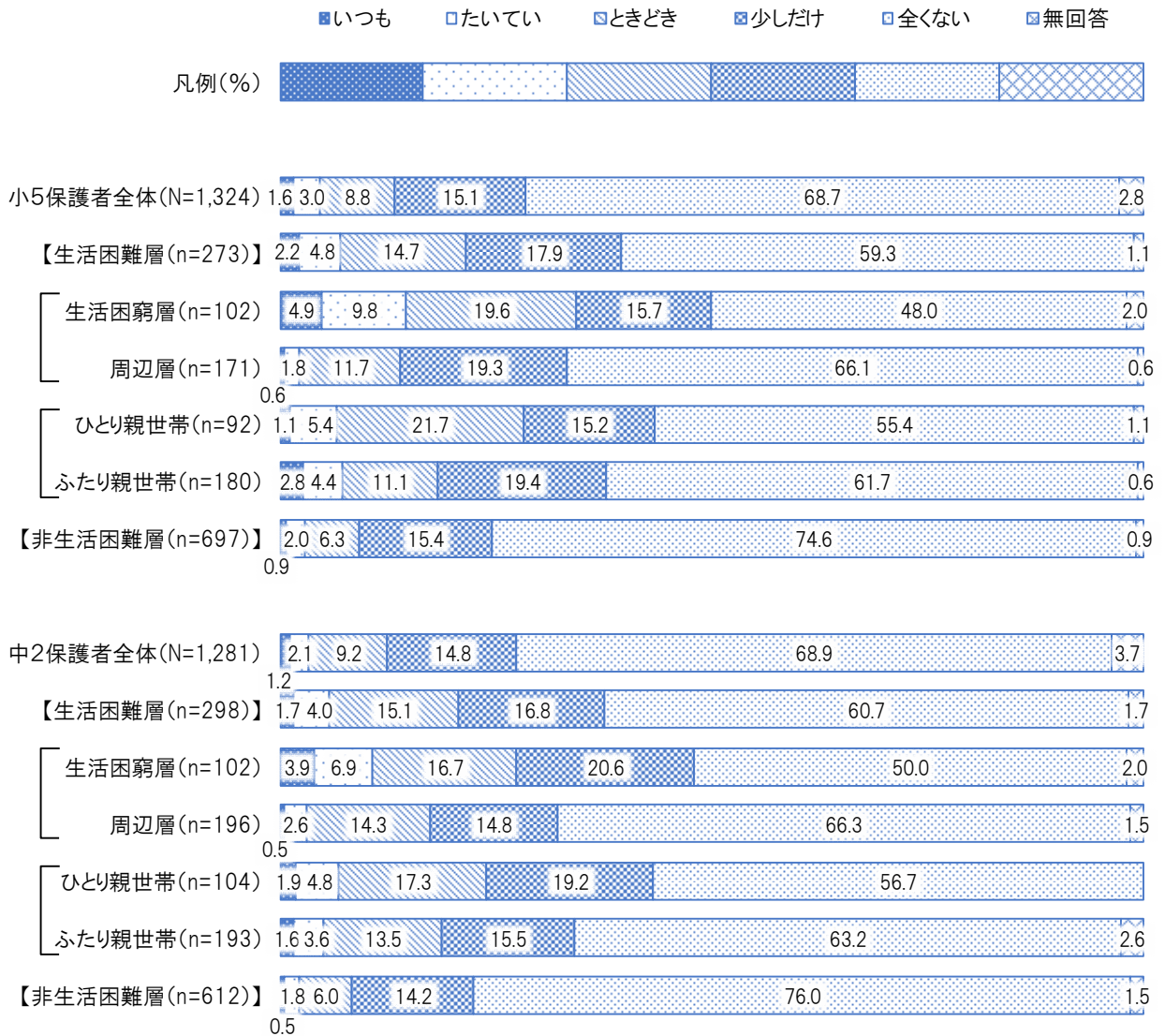
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のひとり親世帯で「ときどき」「少しだけ」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



F 自分は価値のない人間だと感じましたか

自分は価値のない人間だと感じるということについて「いつも」「たいてい」「ときどき」の合計は、小学5年保護者の生活困窮層で34.3%、周辺層で14.1%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で27.5%、周辺層で17.4%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のひとり親世帯で「ときどき」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



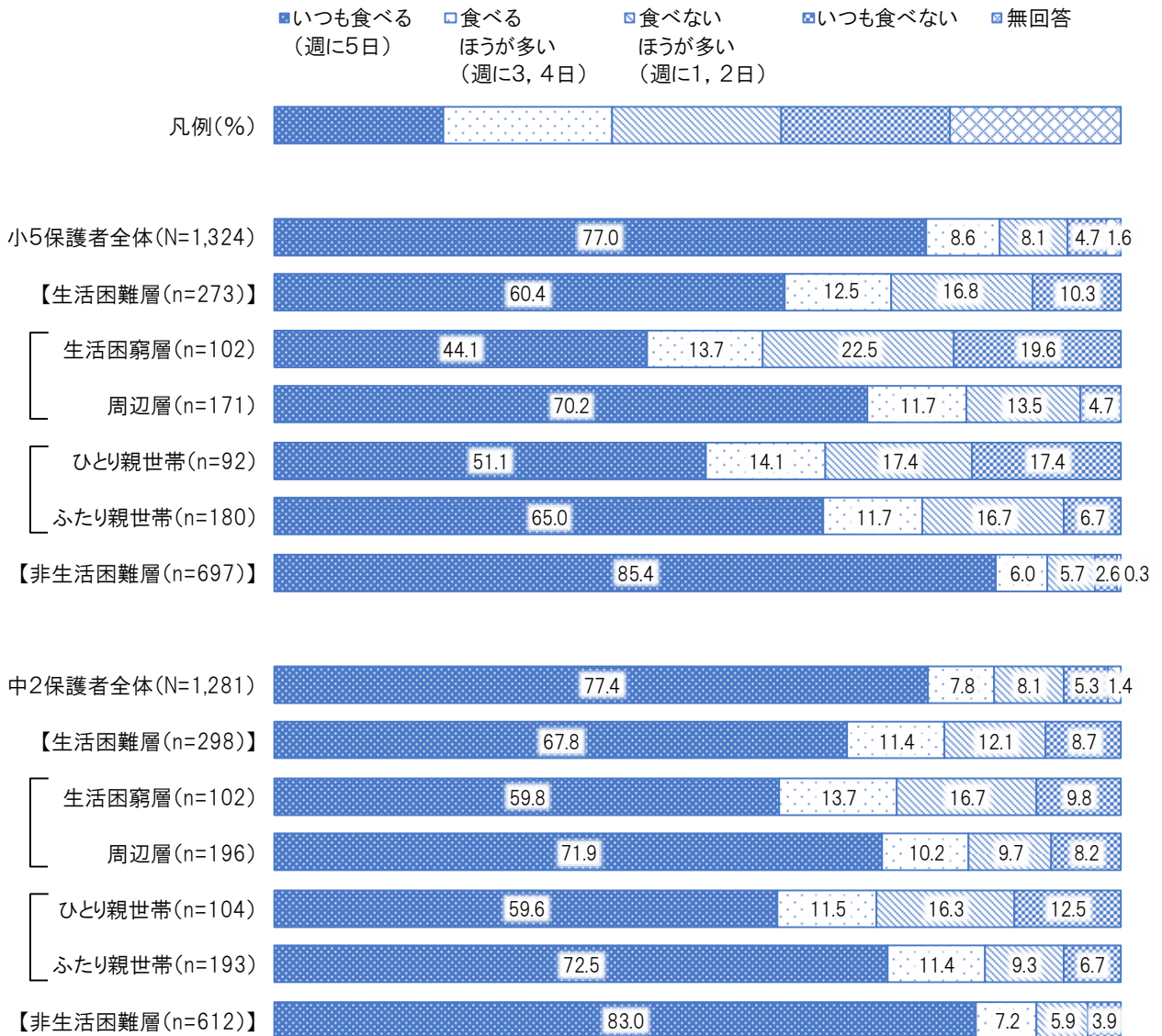
(4) 朝食をとる頻度

保／問 23 あなたは、平日（お子さんが学校に行く日）に毎日、朝ごはんを食べますか。
（あてはまる番号1つに○）

朝食をとる頻度について、小学5年保護者全体では「いつも食べる（週に5日）」が77.0%と最も高く、次いで「食べるほうが多い（週に3, 4日）」(8.6%), 「食べないほうが多い（週に1, 2日）」(8.1%)となっている。中学2年保護者全体では「いつも食べる（週に5日）」が77.4%と最も高く、次いで「食べるほうが多い（週に3, 4日）」(7.8%), 「食べないほうが多い（週に1, 2日）」(8.1%), 「食べるほうが多い（週に3, 4日）」(7.8%)となっている。

生活困難度別にみた「いつも食べる（週に5日）」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で44.1%, 中学2年保護者で59.8%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「いつも食べる（週に5日）」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。

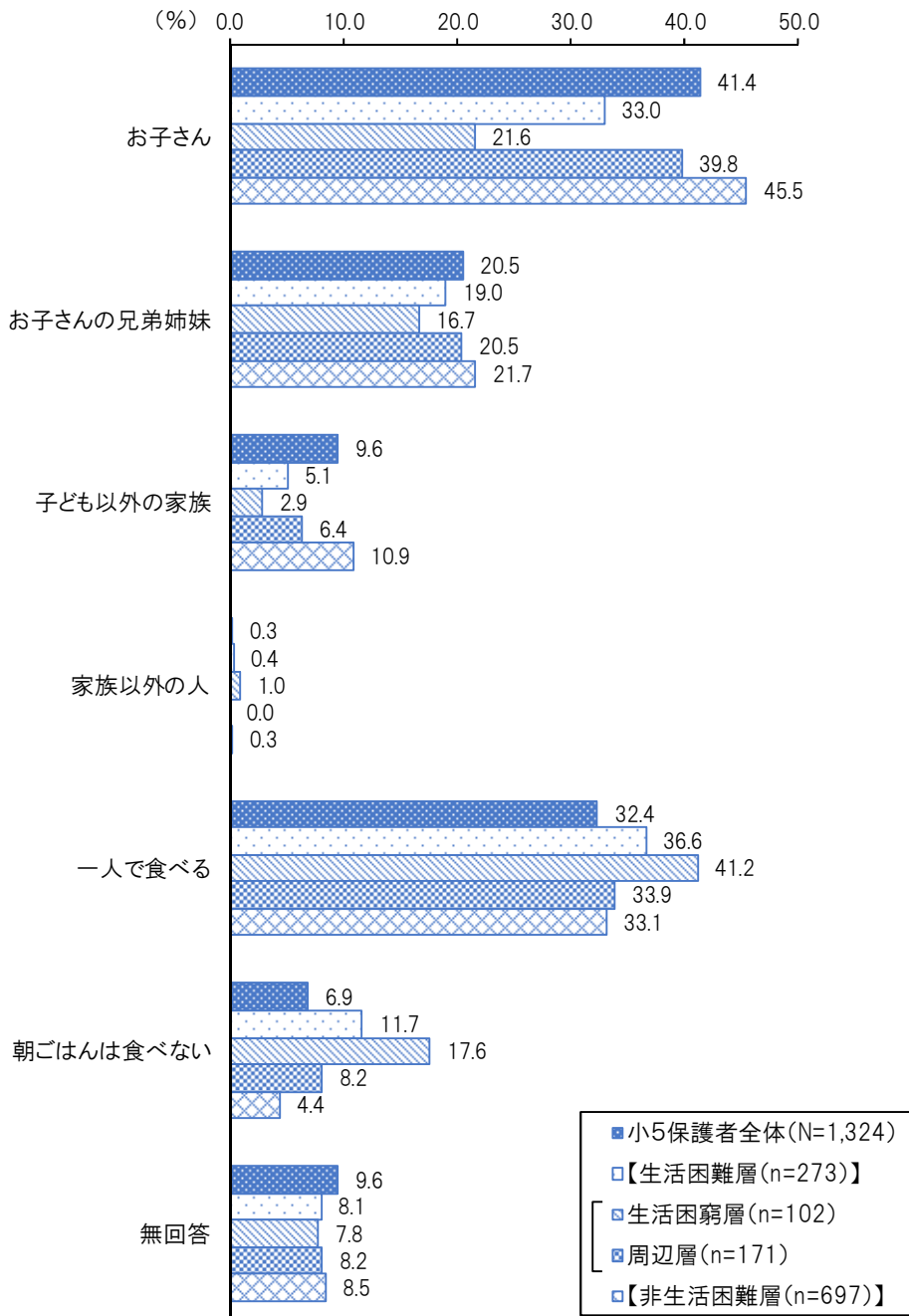


(5) 朝食を一緒にとる人

保／問 24 あなたは、平日（お子さんが学校に行く日）に朝ごはんをだれと食べますか。
（あてはまる番号すべてに○）

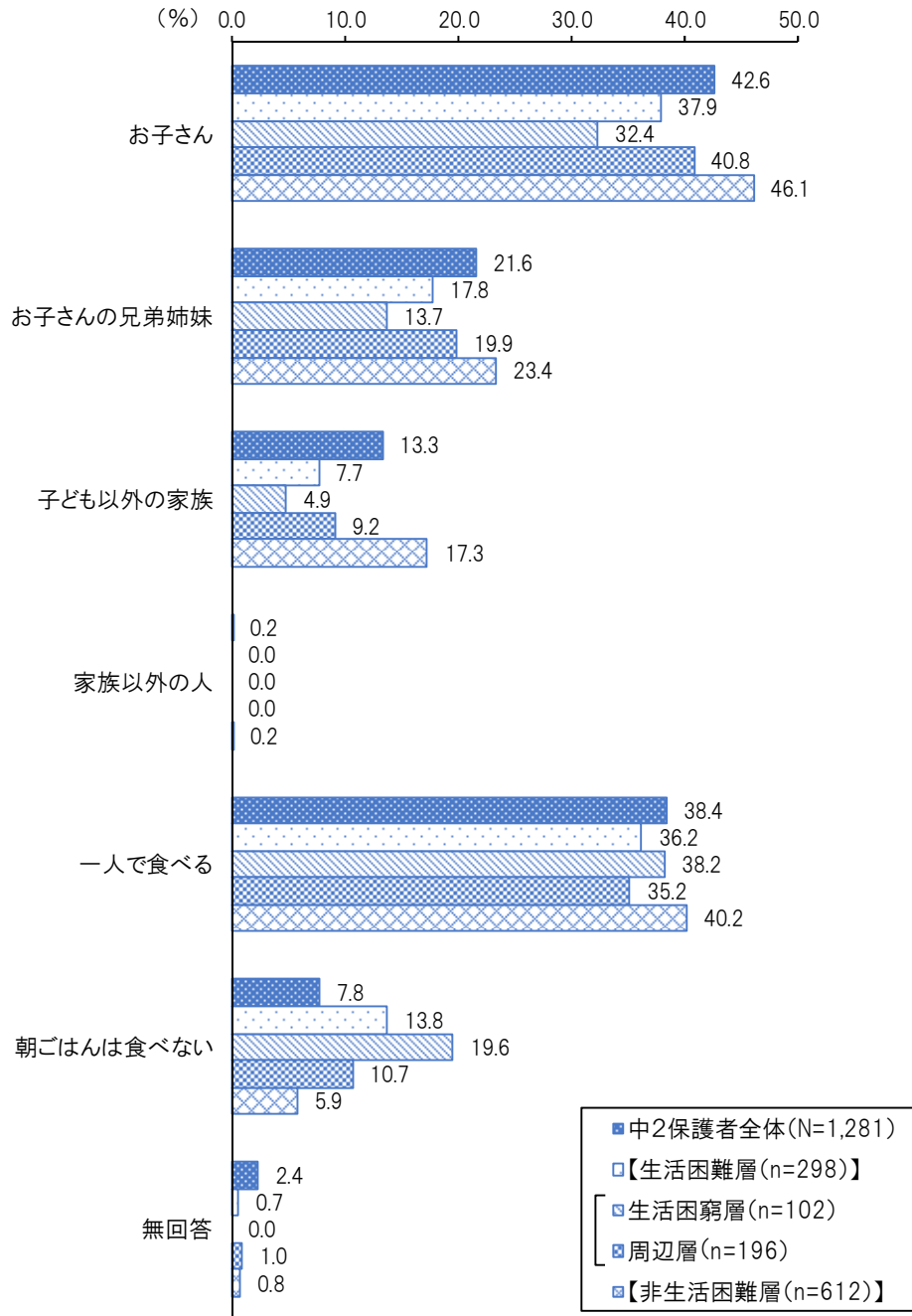
朝食を一緒にとる人について、小学5年保護者全体では「お子さん」が41.4%と最も高く、次いで「一人で食べる」(32.4%)、「お子さんの兄弟姉妹」(20.5%)の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「お子さん」などの割合が低く、「一人で食べる」「朝ごはんは食べない」の割合が他の層に比べて高くなっている。



中学2年保護者全体では、「お子さん」が42.6%と最も高く、次いで「一人で食べる」(38.4%)、「お子さんの兄弟姉妹」(21.6%)の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「お子さん」などの割合が低く、「朝ごはんは食べない」の割合が他の層に比べて高くなっている。

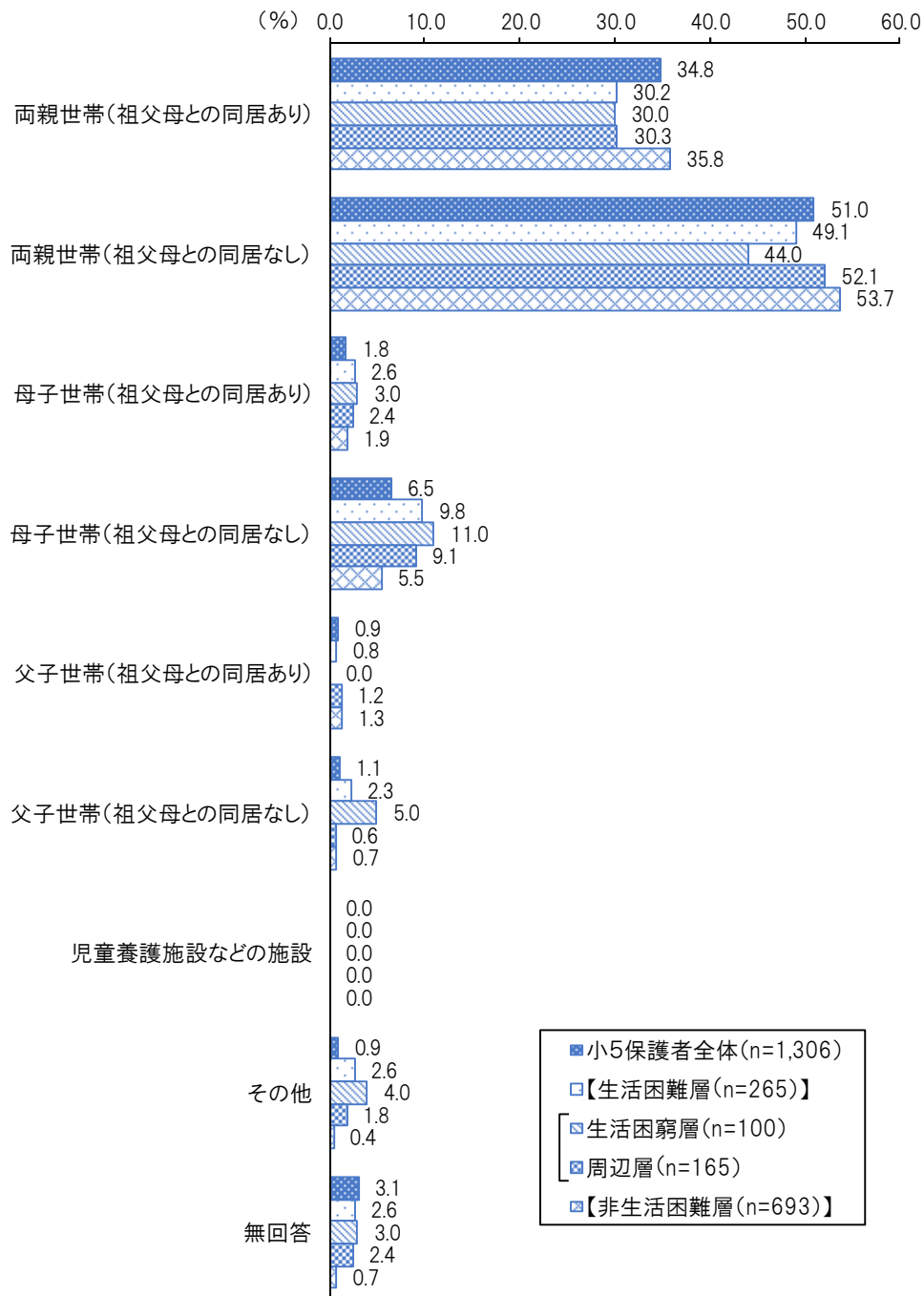


(6) 15歳の頃の家族構成

保／問 38 あなたが15歳の頃のご家庭の様子に最も近いものに○をつけてください。
(あてはまる番号1つに○)

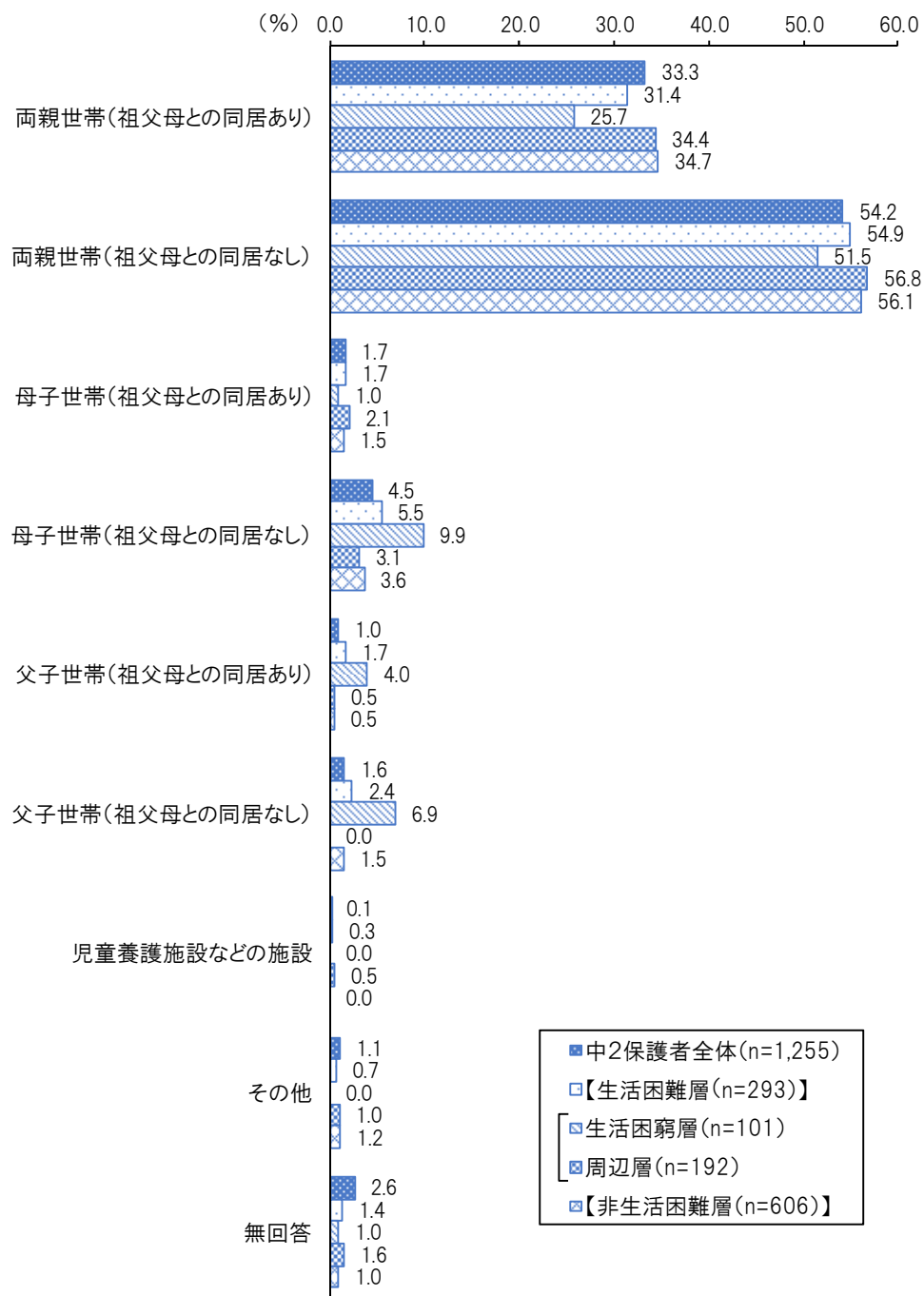
15歳の頃の家族構成について、小学5年保護者全体では「両親世帯(祖父母との同居なし)」が51.0%と最も高く、次いで「両親世帯(祖父母との同居あり)」(34.8%)が続いている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「両親世帯(祖父母との同居なし)」の割合が低く、「母子世帯(祖父母との同居なし)」「父子世帯(祖父母との同居なし)」の割合が他の層に比べて高くなっている。



中学2年保護者全体では、「両親世帯（祖父母との同居なし）」が54.2%と最も高く、次いで「両親世帯（祖父母との同居あり）」（33.3%）が続いている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「両親世帯（祖父母との同居あり）」などの割合が低く、「母子世帯（祖父母との同居なし）」「父子世帯（祖父母との同居なし）」などの割合が他の層に比べて高くなっている。



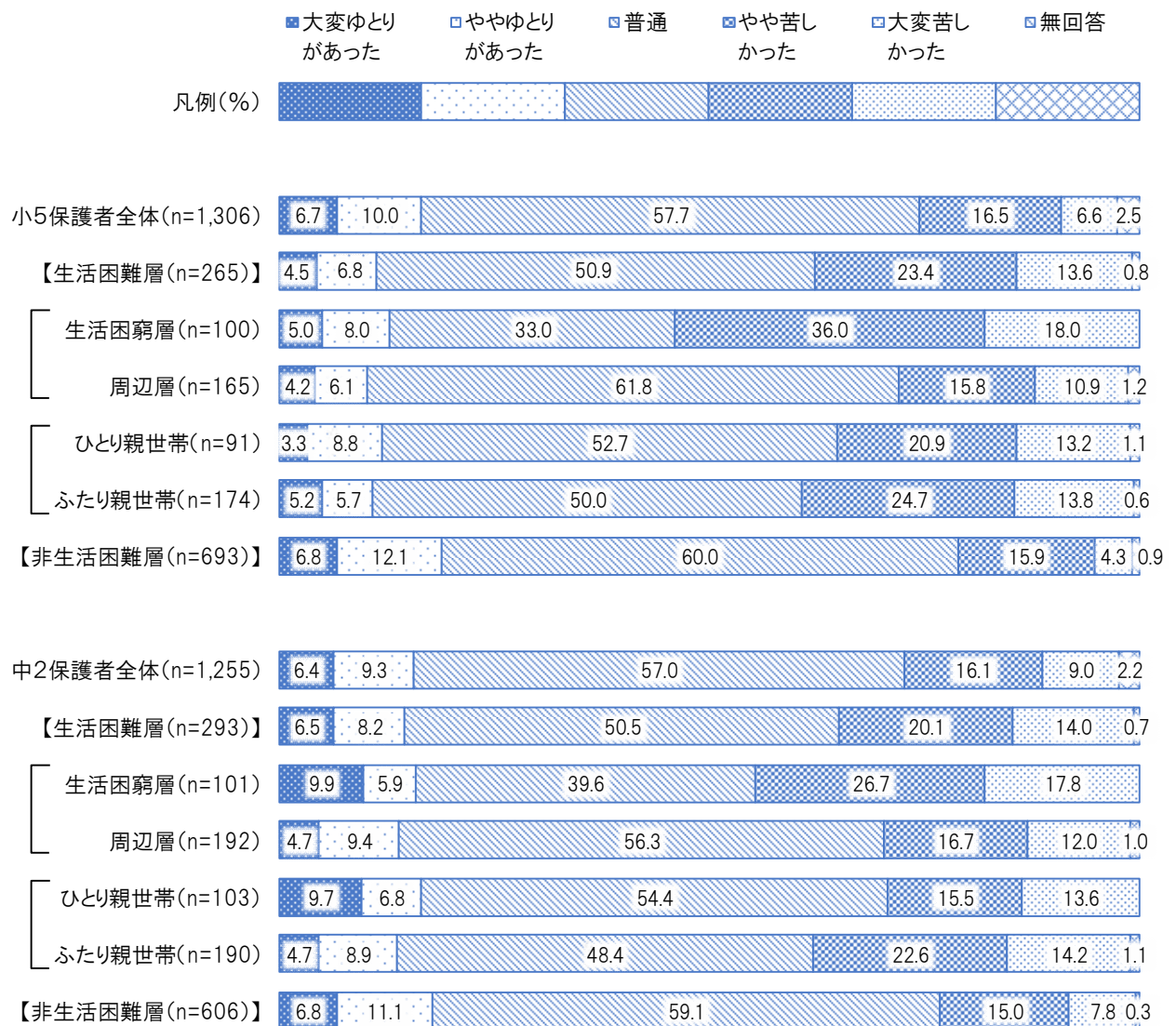
(7) 15歳の頃の(主観的)暮らし向き

保/問 39 あなたが15歳の頃の、あなたのご家庭の暮らし向きについて、最も近いものに○をつけてください。(あてはまる番号1つに○)

15歳の頃の(主観的)暮らし向きについては、小学5年保護者全体では「大変ゆとりがあった」「ややゆとりがあった」の合計が16.7%、中学2年保護者全体では15.7%となっている。一方、「やや苦しかった」「大変苦しかった」の合計は、小学5年保護者全体では23.1%、中学2年保護者全体では25.1%となっている。

生活困難度別にみた『苦しかった(合計)』の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で54.0%、中学2年保護者で44.5%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ふたり親世帯で「やや苦しかった」の割合がひとり親世帯に比べて高くなっている。

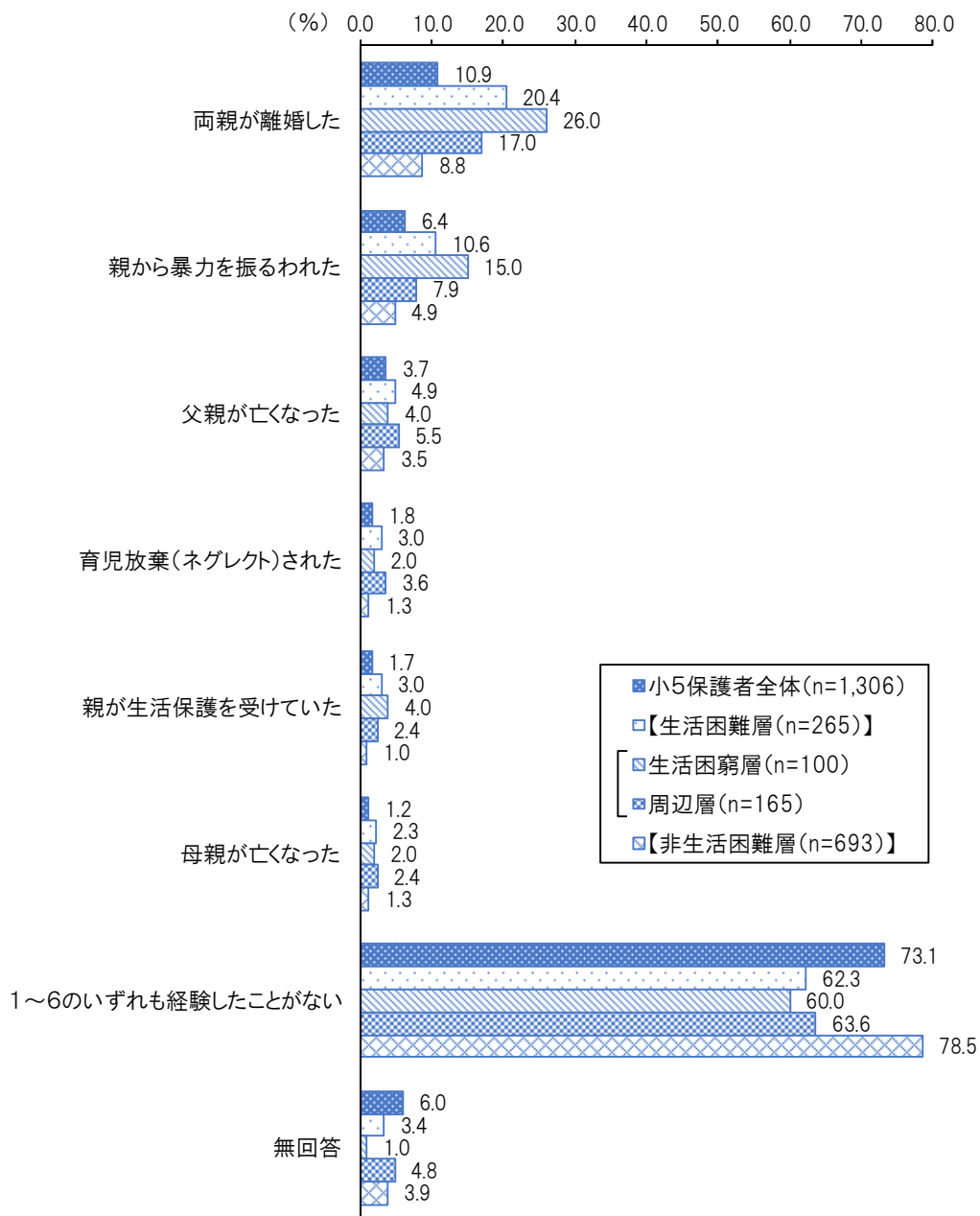


(8) 成人するまでの体験

保／問 40 あなたは、成人する前に次のような体験をしたことがありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

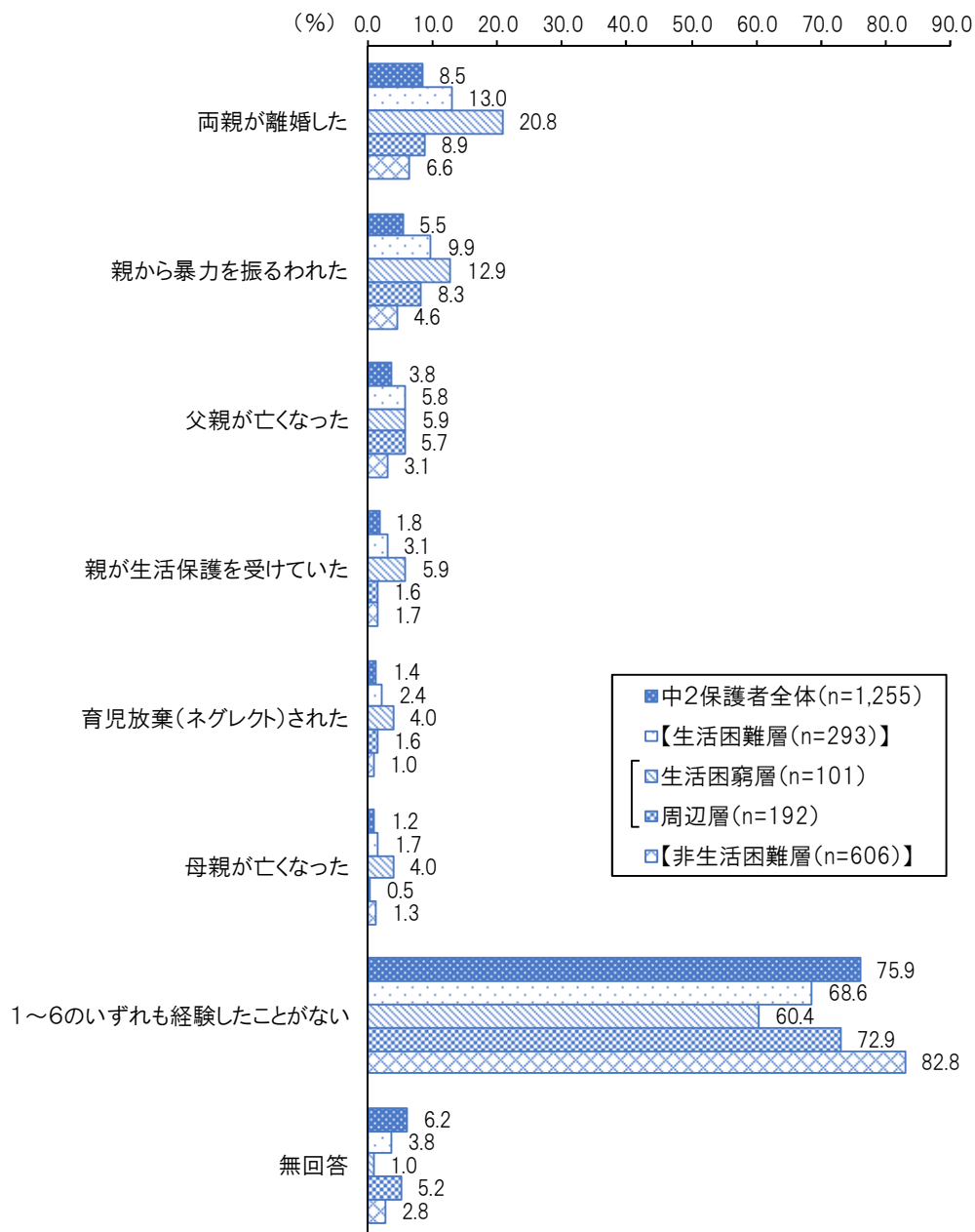
成人するまでの体験について、小学5年保護者全体では「両親が離婚した」が10.9%と最も高く、次いで「親から暴力を振るわれた」(6.4%)、「父親が亡くなった」(3.7%)の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「両親が離婚した」「親から暴力を振るわれた」などの割合が他の層に比べて高くなっている。



中学2年保護者全体では、「両親が離婚した」が8.5%と最も高く、次いで「親から暴力を振るわれた」(5.5%)、「父親が亡くなった」(3.8%)の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「両親が離婚した」「親から暴力を振るわれた」「親が生活保護を受けていた」などの割合が他の層に比べて高くなっている。

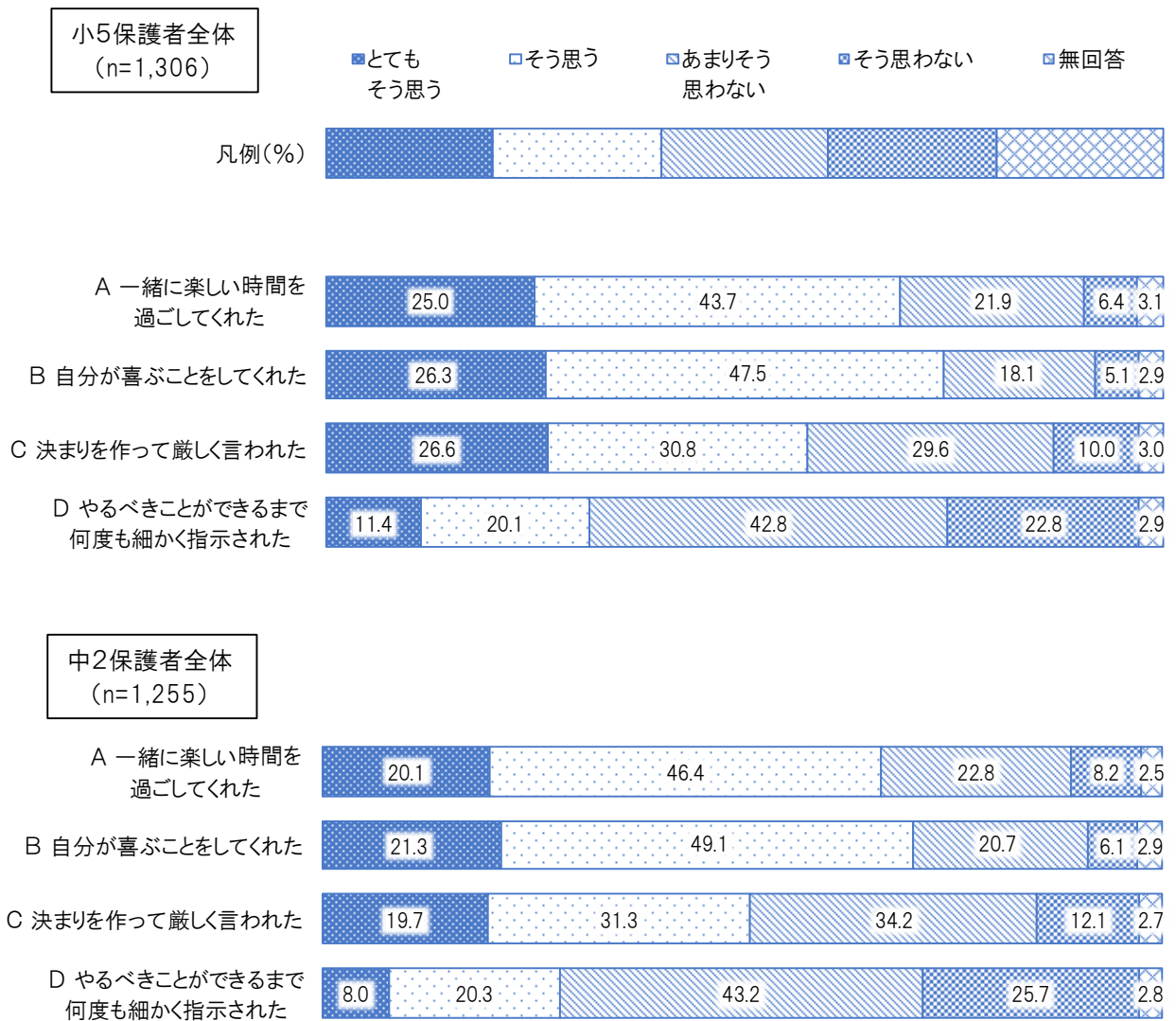


(9) 子どもの頃の親の接し方

保／問 42 あなたの親は子どものころのあなたに対してどのように接していましたか。
 もっとも近いと思うものに○をつけてください。
 (それぞれ、あてはまる番号1つに○)

子どもの頃の親の接し方について、小学5年保護者全体では、「とてもそう思う」の割合が高い順に「C 決まりを作って厳しく言われた」(26.6%)、「B 自分が喜ぶことをしてくれた」(26.3%)、「A 一緒に楽しい時間を過ごしてくれた」(25.0%)となっている。

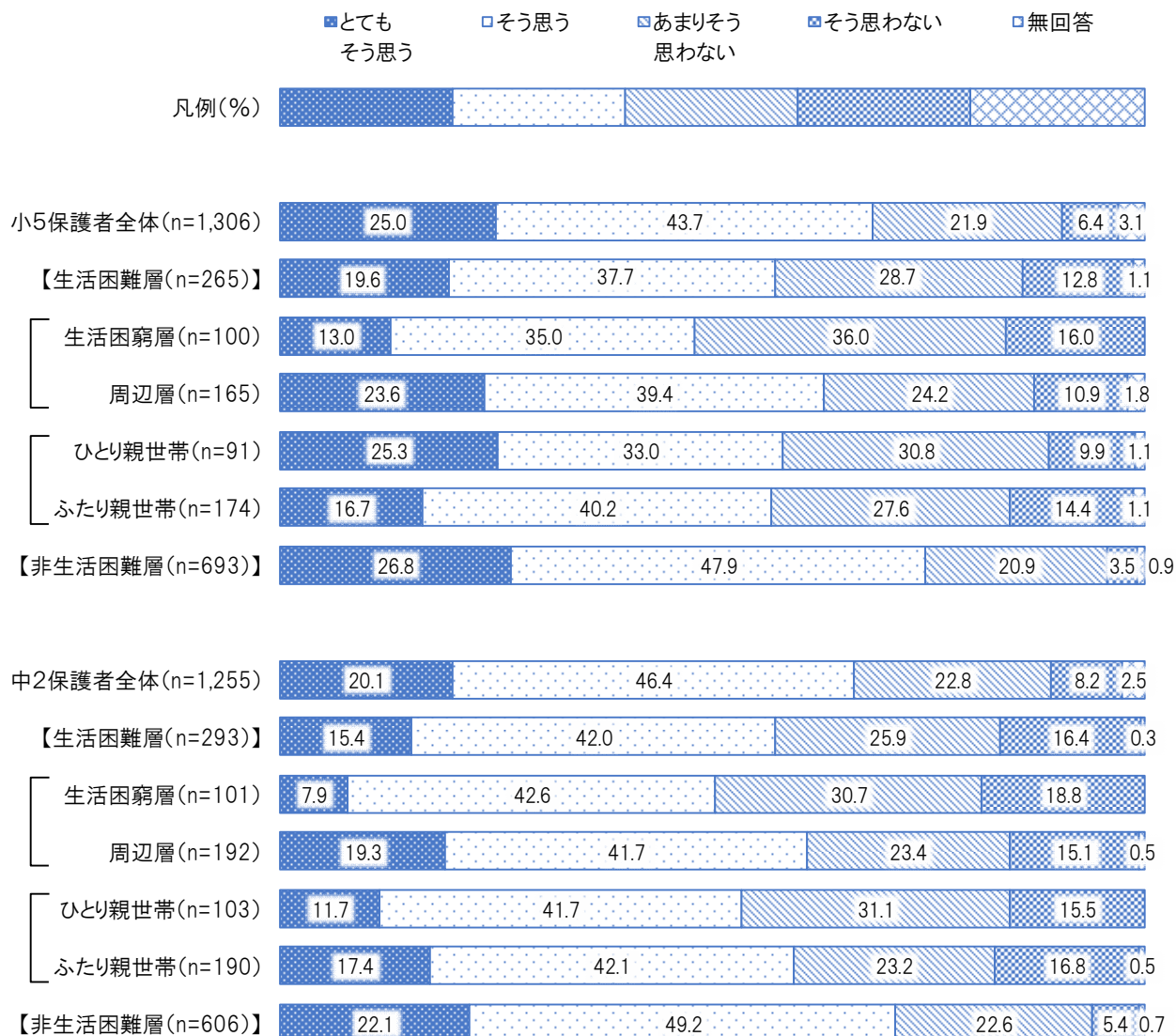
中学2年保護者全体では、「とてもそう思う」の割合が高い順に「B 自分が喜ぶことをしてくれた」(21.3%)、「A 一緒に楽しい時間を過ごしてくれた」(20.1%)、「C 決まりを作って厳しく言われた」(19.7%)となっている。



A 一緒に楽しい時間を過ごしてくれた

一緒に楽しい時間を過ごしてくれたことについて「とてもそう思う」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で13.0%、周辺層で23.6%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で7.9%、周辺層で19.3%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。

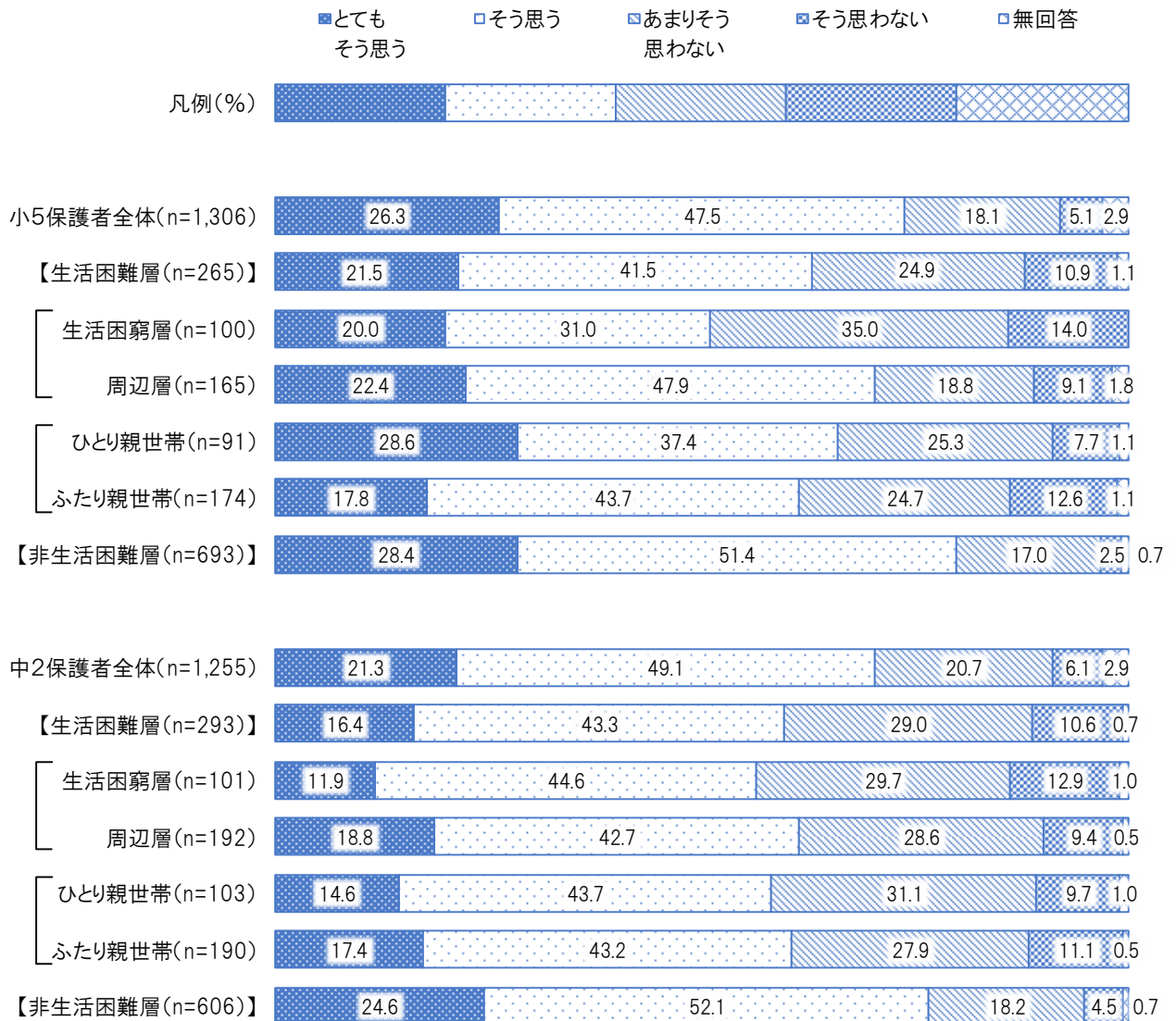
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のひとり親世帯で「とてもそう思う」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



B 自分が喜ぶことをしてくれた

自分が喜ぶことをしてくれたことについて「とてもそう思う」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で20.0%、周辺層で22.4%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で11.9%、周辺層で18.8%となっており、生活困窮層で低くなっている。

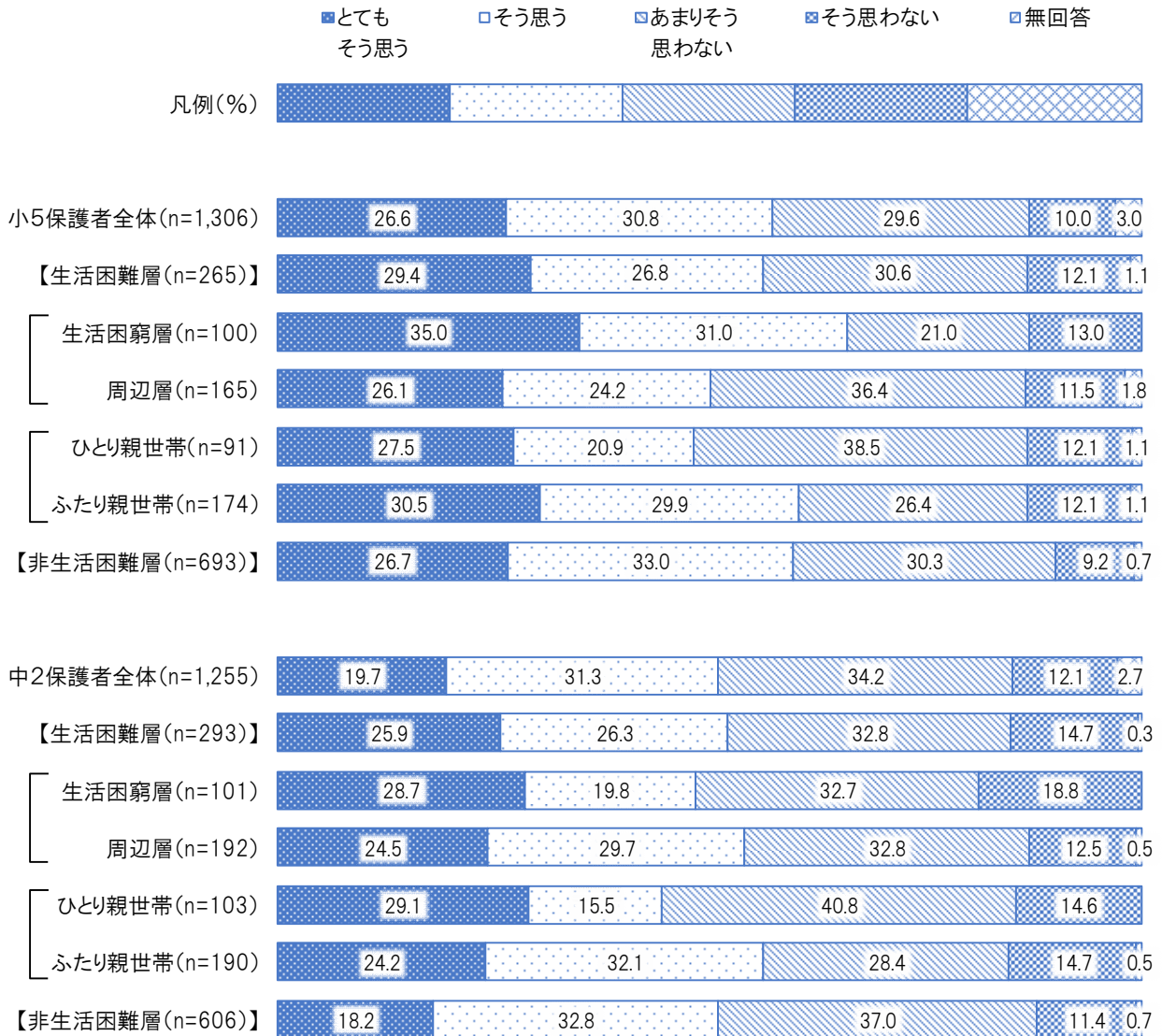
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のひとり親世帯で「とてもそう思う」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



C 決まりを作って厳しく言われた

決まりを作って厳しく言われたことについて「とてもそう思う」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で35.0%、周辺層で26.1%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で28.7%、周辺層で24.5%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

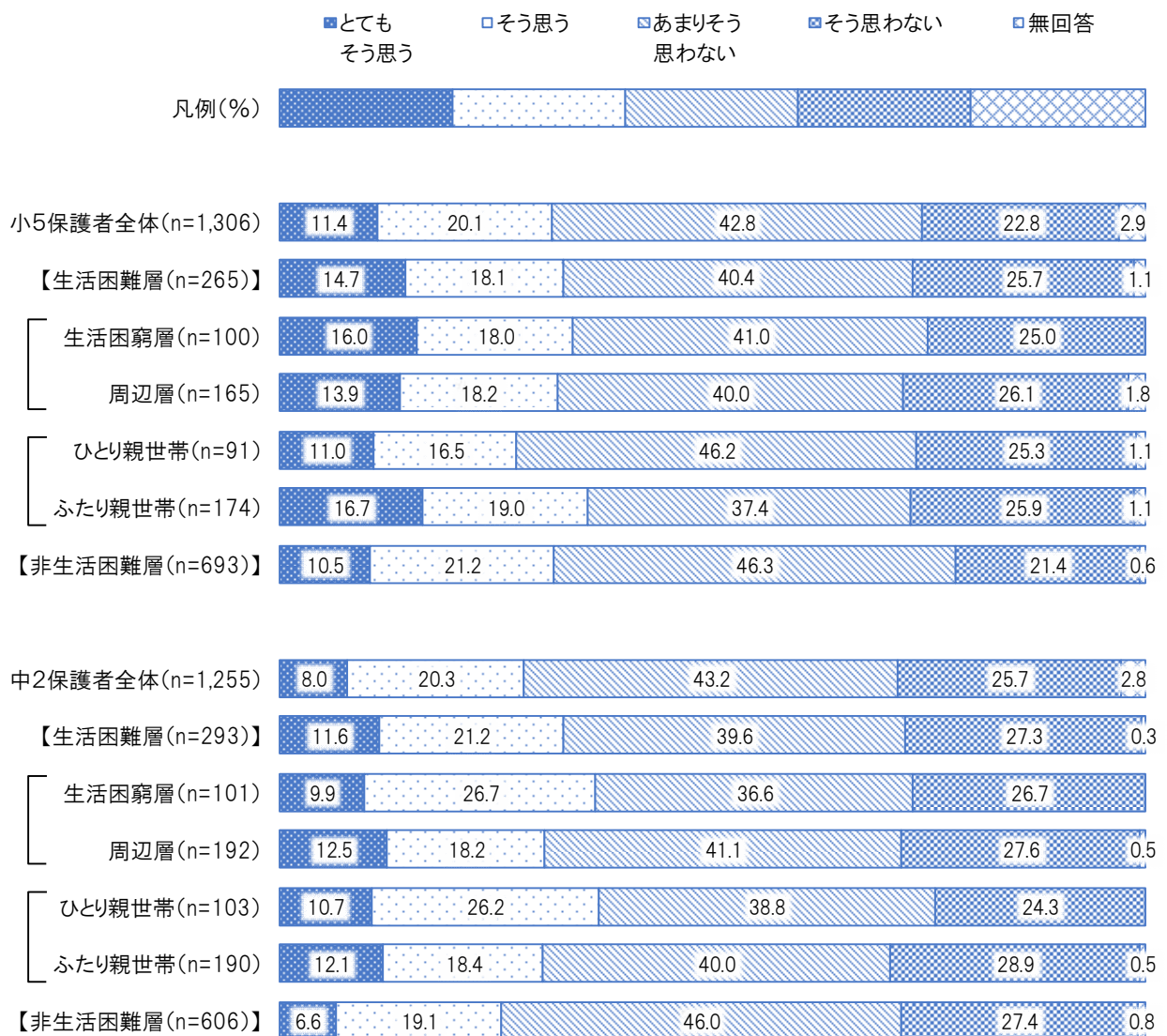
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年保護者のひとり親世帯で「とてもそう思う」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



D やるべきことができるまで何度も細かく指示された

やるべきことができるまで何度も細かく指示されたことについて「とてもそう思う」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で16.0%、周辺層で13.9%となっている。中学2年保護者では、生活困窮層で9.9%、周辺層で12.5%となっており、非生活困難層に比べてそれぞれ高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者のふたり親世帯で「とてもそう思う」の割合がひとり親世帯に比べて高くなっている。



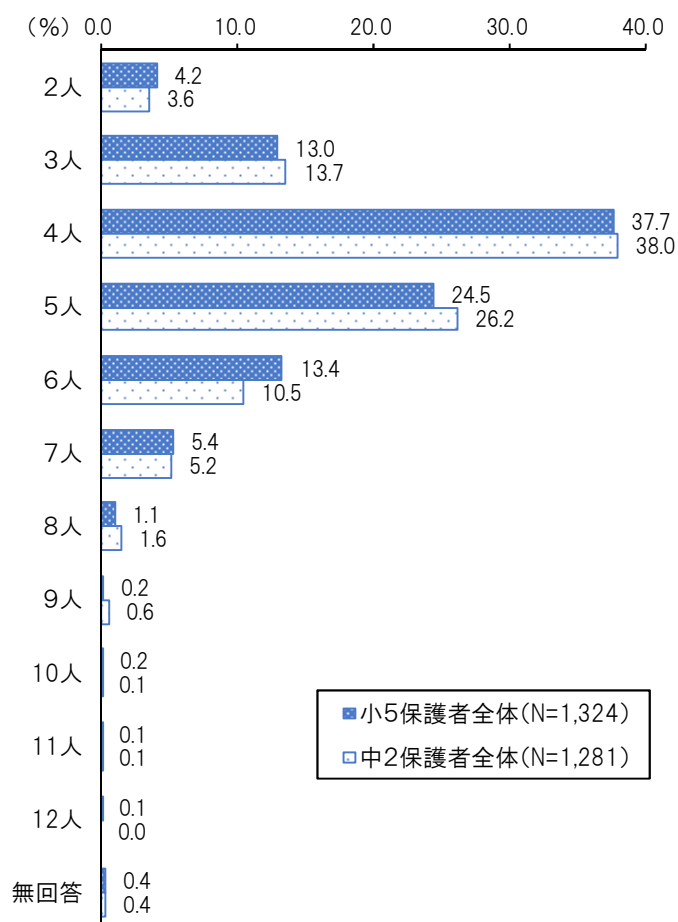
【2】 家族

(1) 人数

保／問6 お子さんと同居しているご家族の人数を教えてください。あなたとお子さんも含みます。（枠内に数字で回答してください）

※単身赴任しているご家族も含めてください。

人数については、小学5年生、中学2年生ともに「4人」が4割近くを占め最も高く、次いで「5人」が続き、以下ほぼ並んで「3人」「6人」となっている。



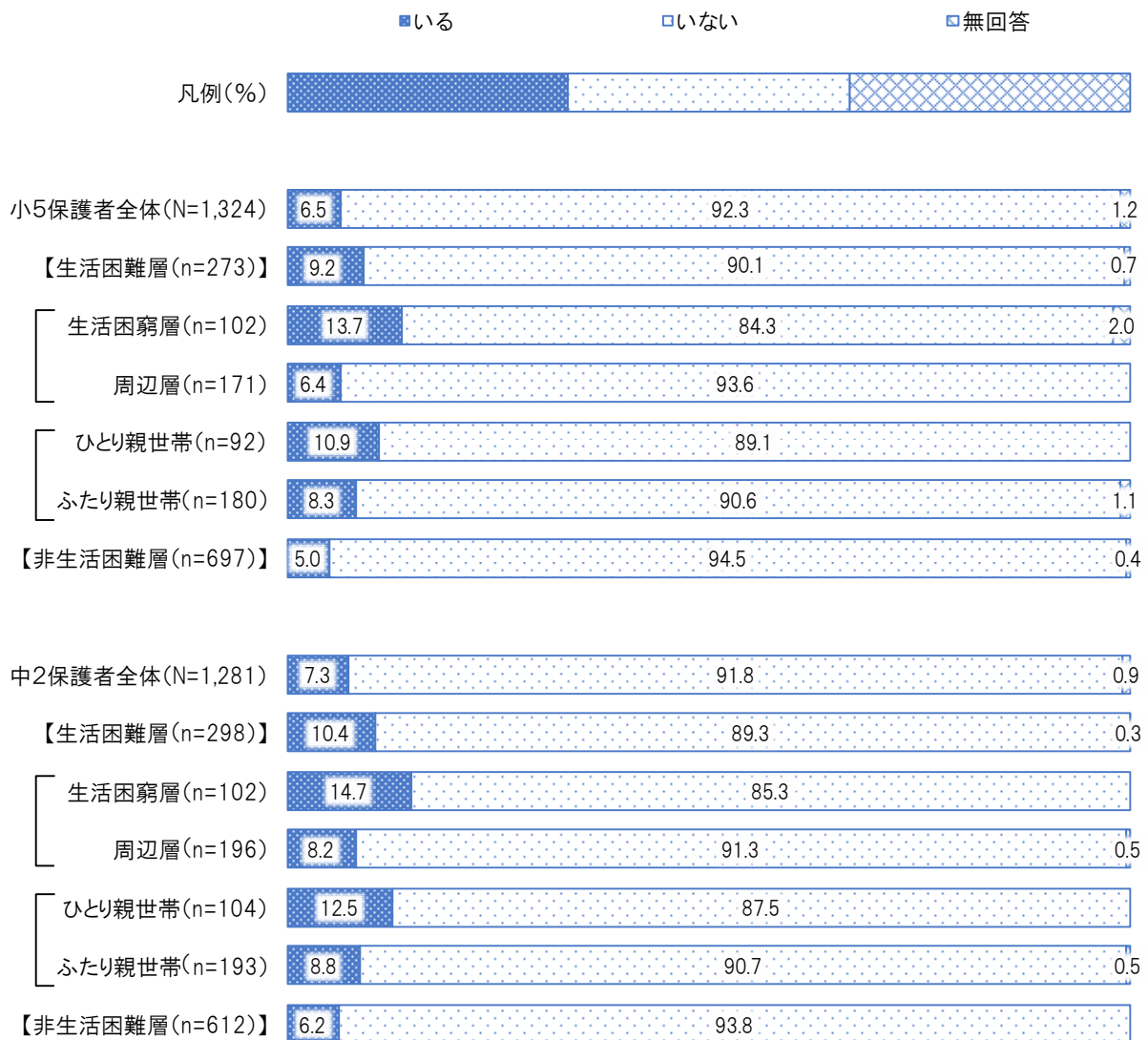
(2) 高齢・障害の同居家族の有無

保／問8 お子さんと同居しているご家族の中に、高齢であったり障害があったりするなど、介護が必要な方はいますか。(あてはまる番号1つに○)

高齢・障害の同居家族の有無について、小学5年保護者全体では「いる」が6.5%、中学2年保護者全体では7.3%となっている。一方、「いない」は小学5年保護者全体では92.3%、中学2年保護者全体では91.8%となっている。

生活困難度別にみた「いる」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で13.7%、中学2年保護者で14.7%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「いる」の割合がふたり親世帯に比べてやや高くなっている。

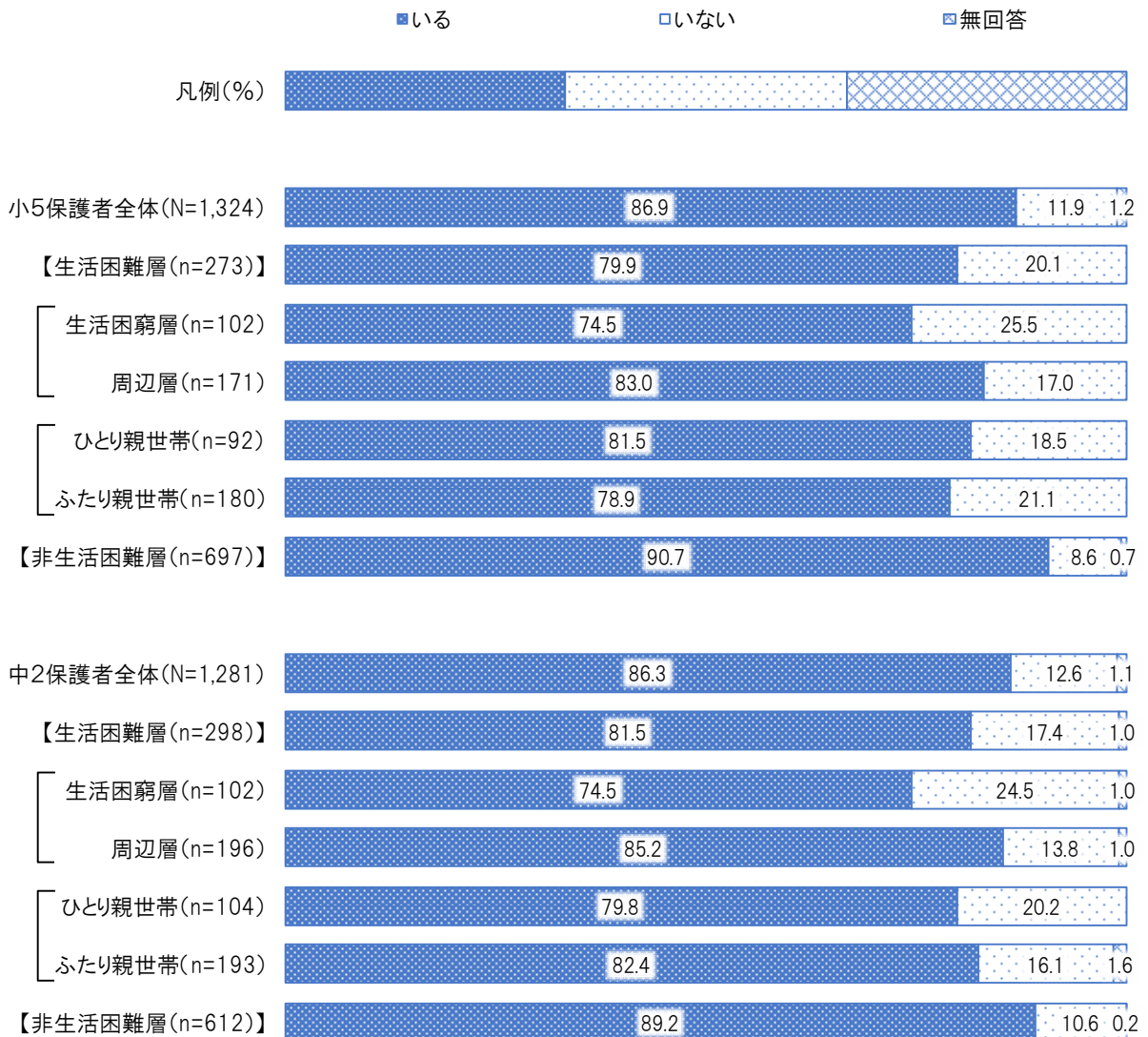


(3) 頼れる親族・友人の有無

保／問9 お子さんが病気の時や、ご自身の用事の時などに頼れる親族や友人などがいますか。(あてはまる番号1つに○)

頼れる親族・友人の有無について、小学5年保護者全体では「いる」が86.9%、中学2年保護者全体では86.3%となっている。一方、「いない」は小学5年保護者全体では11.9%、中学2年保護者全体では12.6%となっている。

生活困難度別にみた「いる」の割合は、小学5年保護者、中学2年保護者ともに生活困窮層で74.5%となっており、生活困難度が高い層ほど低くなっている。



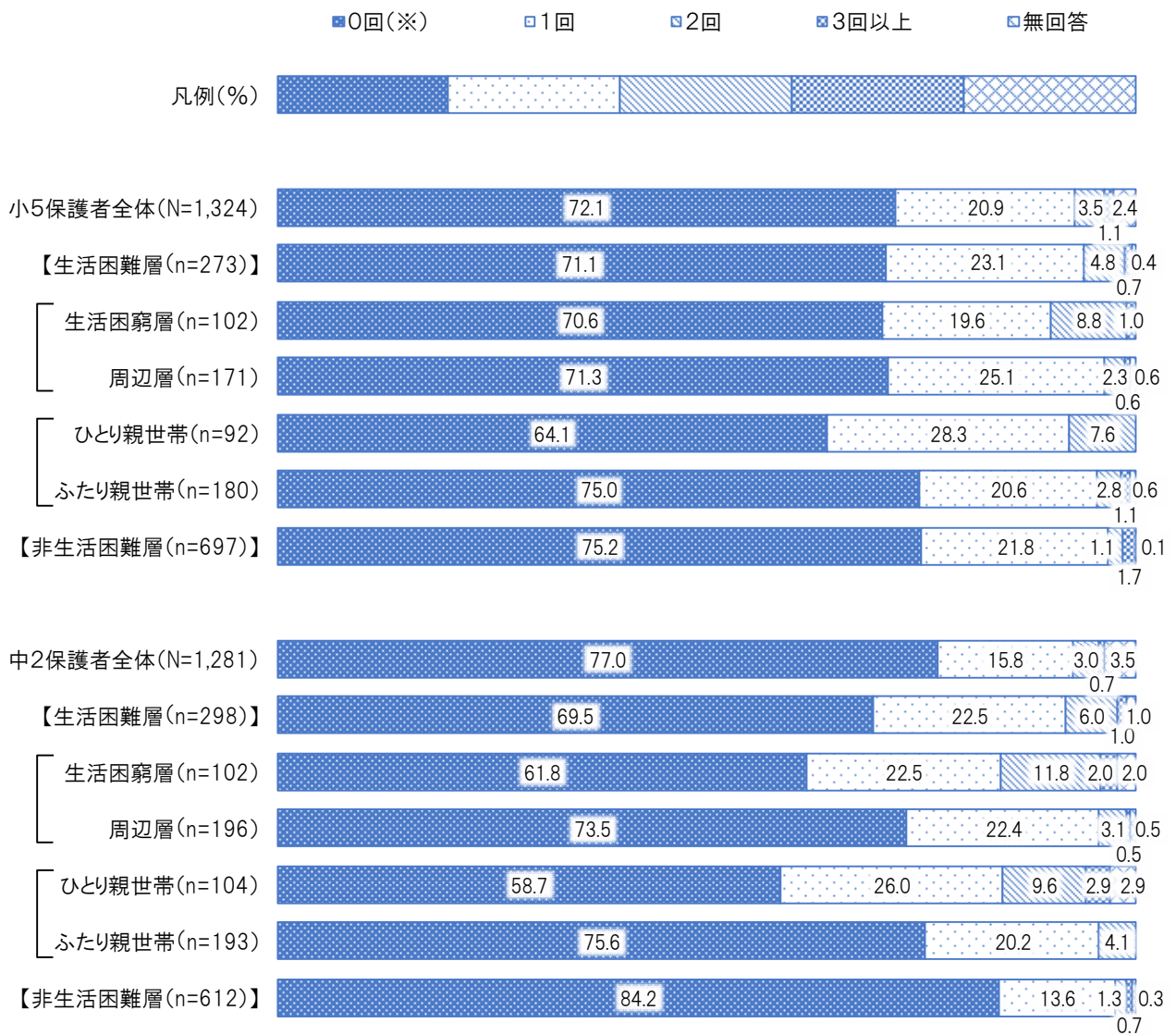
(4) 転居経験

保/問 34 あなたのご家庭では、過去5年間に、何回転居しましたか。
(あてはまる番号1つに○)

転居経験について、小学5年保護者全体では「0回（過去5年間で転居はしていない）」が72.1%、「1回」が20.9%となっている。中学2年保護者全体では「0回（過去5年間で転居はしていない）」が77.0%、「1回」が15.8%となっている。

生活困難度別にみた「0回（過去5年間で転居はしていない）」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で70.6%、中学2年保護者で61.8%となっており、中学2年保護者の生活困窮層で低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「1回」「2回」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



※0回(過去5年間で転居はしていない)

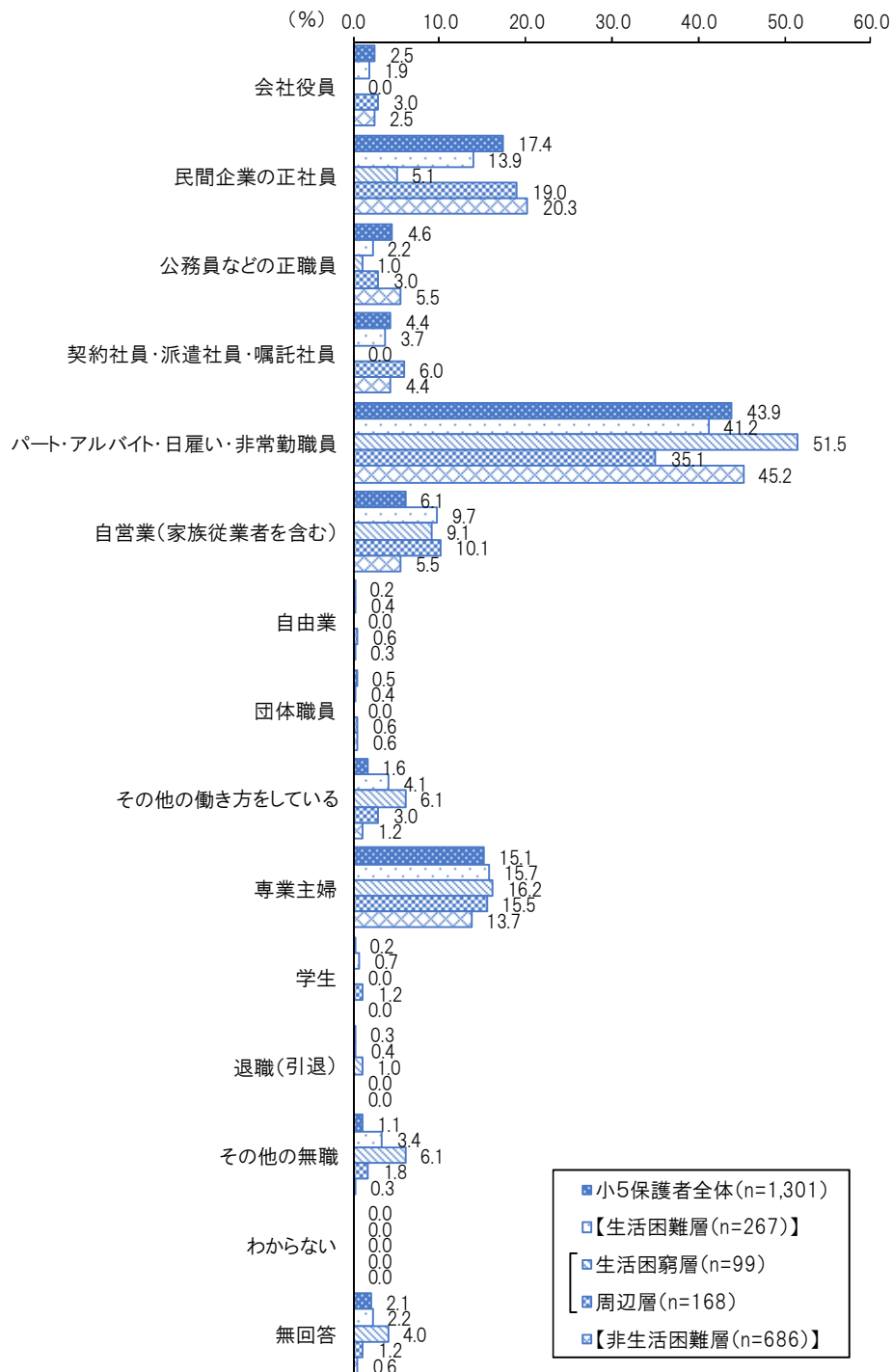
【3】母親のこと

(1) 職業

保／問 10 お子さんのお母さまの現在のお仕事は、次のどれに最も近いですか。
(あてはまる番号1つに○)

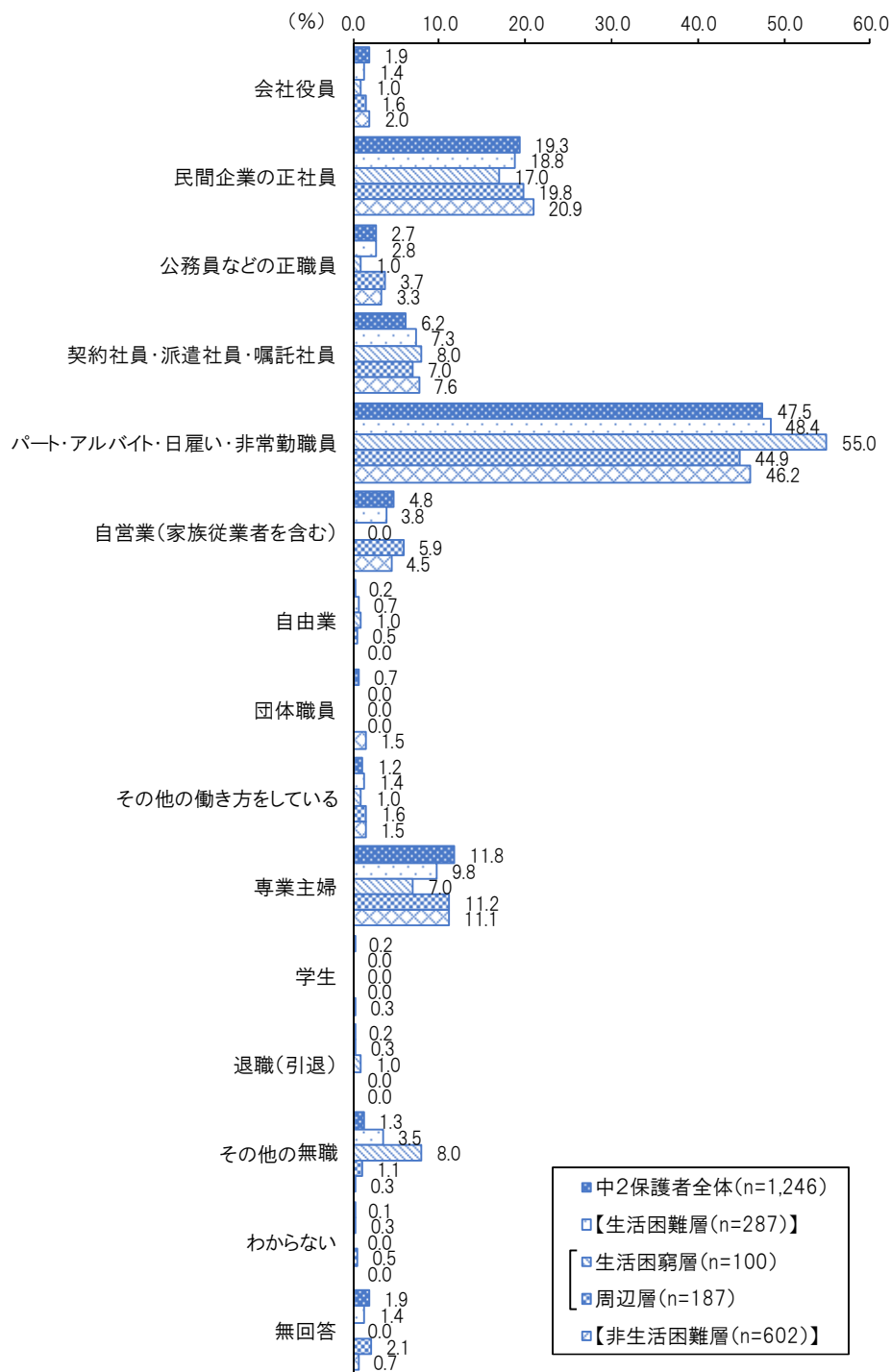
職業について、小学5年保護者全体では「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が43.9%と最も高く、次いで「民間企業の正社員」(17.4%)、「専業主婦」(15.1%)となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「民間企業の正社員」などの割合が低く、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」などの割合が他の層に比べて高くなっている。



中学2年保護者全体では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が47.5%と最も高く、次いで「民間企業の正社員」(19.3%)、「専業主婦」(11.8%)となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」「その他の無職」の割合が他の層に比べて高くなっている。



(2) 就労時間

【問 10 で「1」～「9」を選んだ方におうかがいします。】

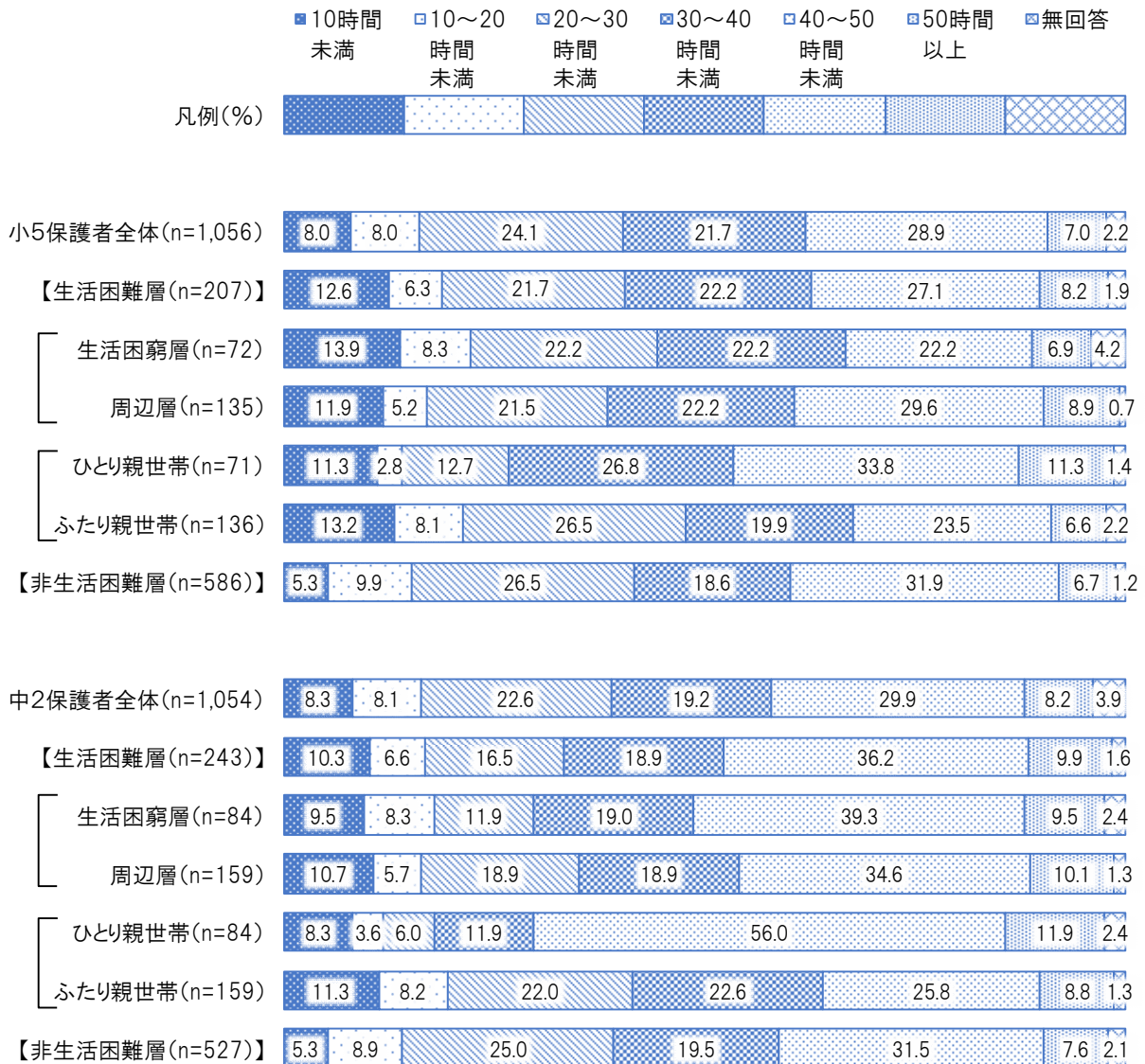
保／問 10-1 お子さんのお母さまは、1週間に平均何時間、お仕事をされていますか。
(枠内に数字で回答してください)

※複数のお仕事に従事しておられる場合は合算してください。

就労時間について、小学5年保護者全体では「40～50 時間未満」が 28.9%と最も高く、次いで「20～30 時間未満」(24.1%)、「30～40 時間未満」(21.7%)となっている。中学2年保護者全体では「40～50時間未満」が29.9%と最も高く、次いで「20～30時間未満」(22.6%)、「30～40 時間未満」(19.2%)となっている。

生活困難度別にみた「40～50 時間未満」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で22.2%、中学2年保護者で39.3%となっており、小学5年保護者の生活困窮層で低くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「40～50 時間未満」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。

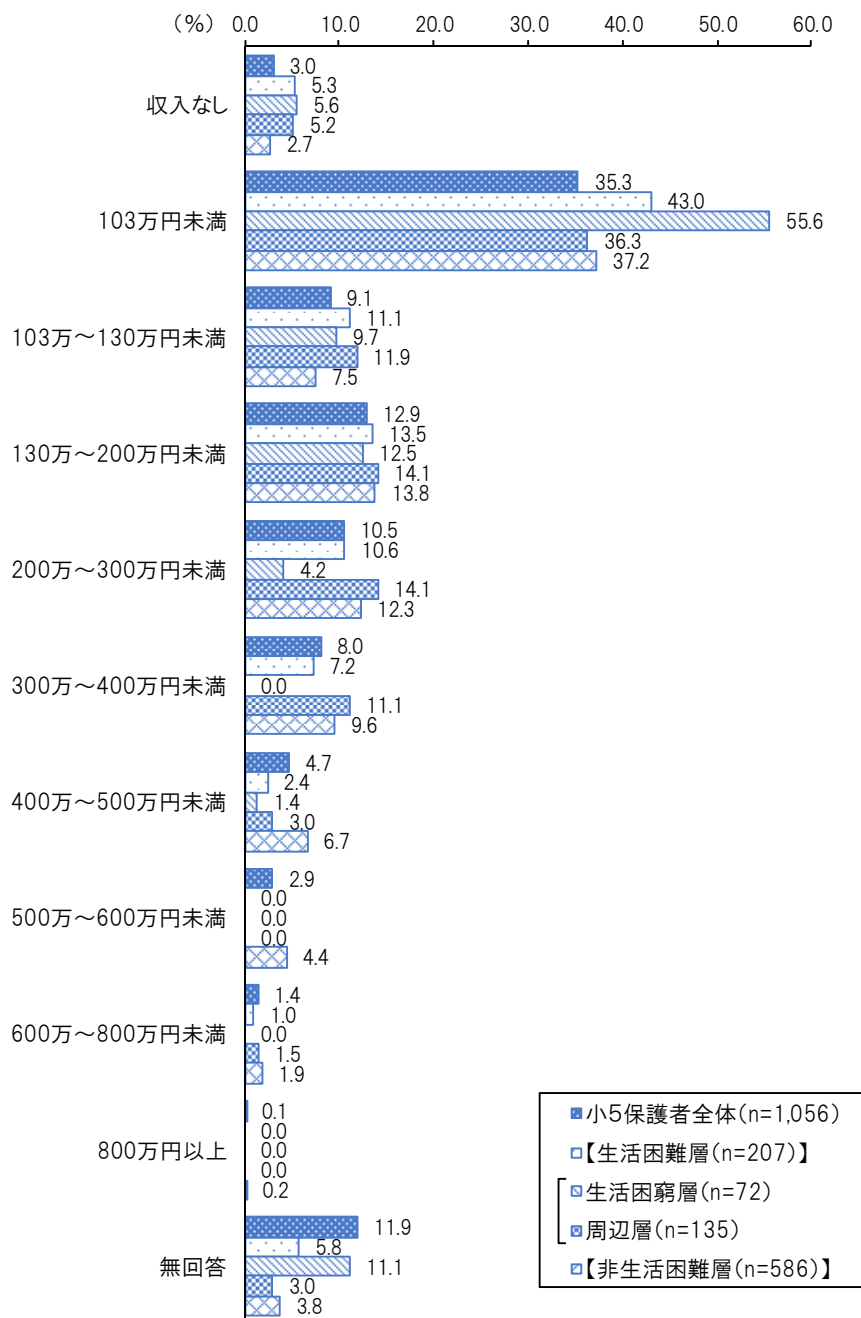


(3) 税込収入

【問 10 で「1」～「9」を選んだ方におうかがいします。】
 保／問 10-2 昨年1年間（平成 28 年 1 月～12 月）を合計した，お子さんのお母さまのお仕事からの収入（税込）は，およそいくらですか。
 （枠内に数字で回答してください）
 ※収入がない場合には，0 をご記入ください。

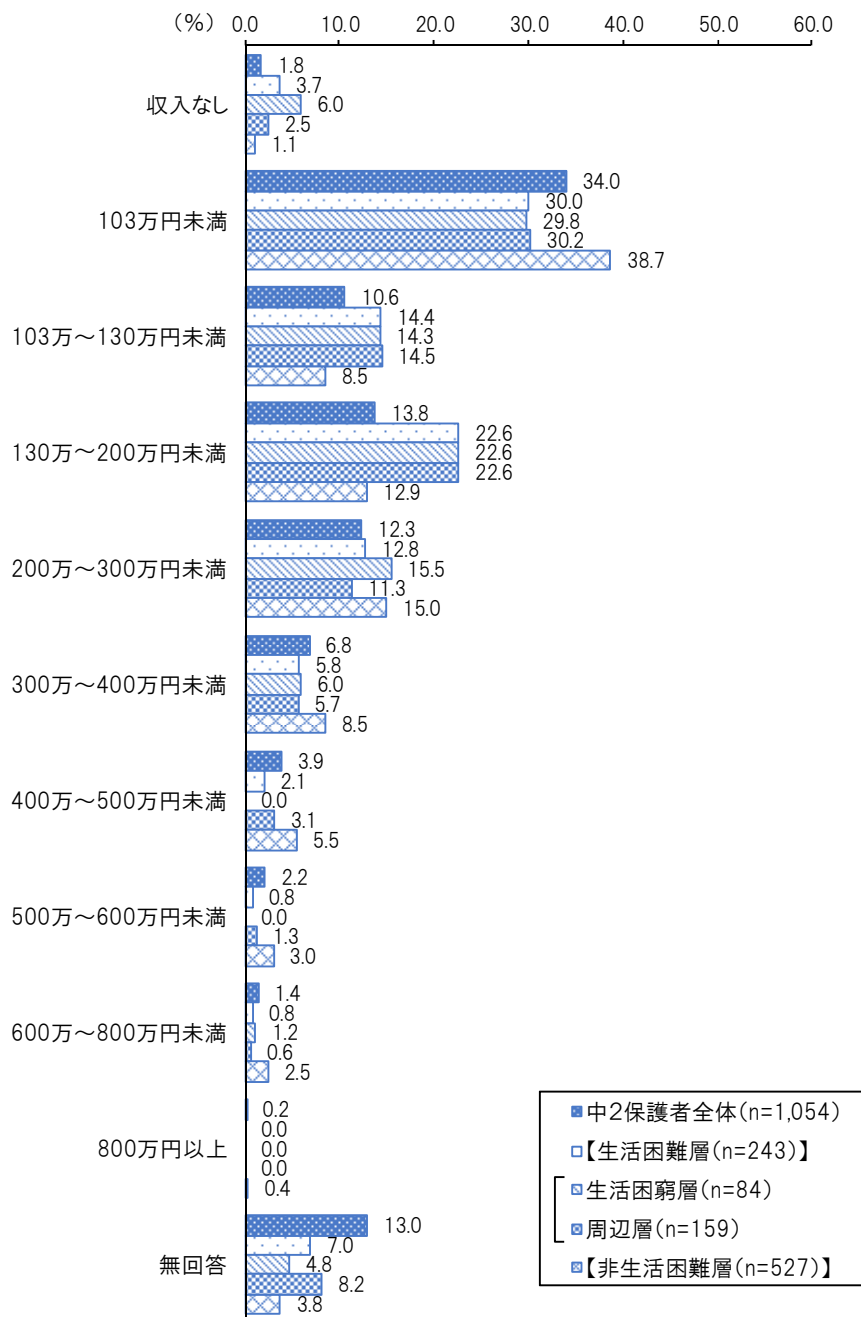
税込収入について，小学5年保護者全体では「103万円未満」が35.3%と最も高く，次いで「130万～200万円未満」（12.9%），「200万～300万円未満」（10.5%）となっている。

生活困難度別にみると，生活困窮層は「103万円未満」の割合が他の層に比べて高くなっている。



中学2年保護者全体では、「103万円未満」が34.0%と最も高く、次いで「130万～200万円未満」(13.8%)、「200万～300万円未満」(12.3%)となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「収入なし」などの割合が他の層に比べて高くなっている。

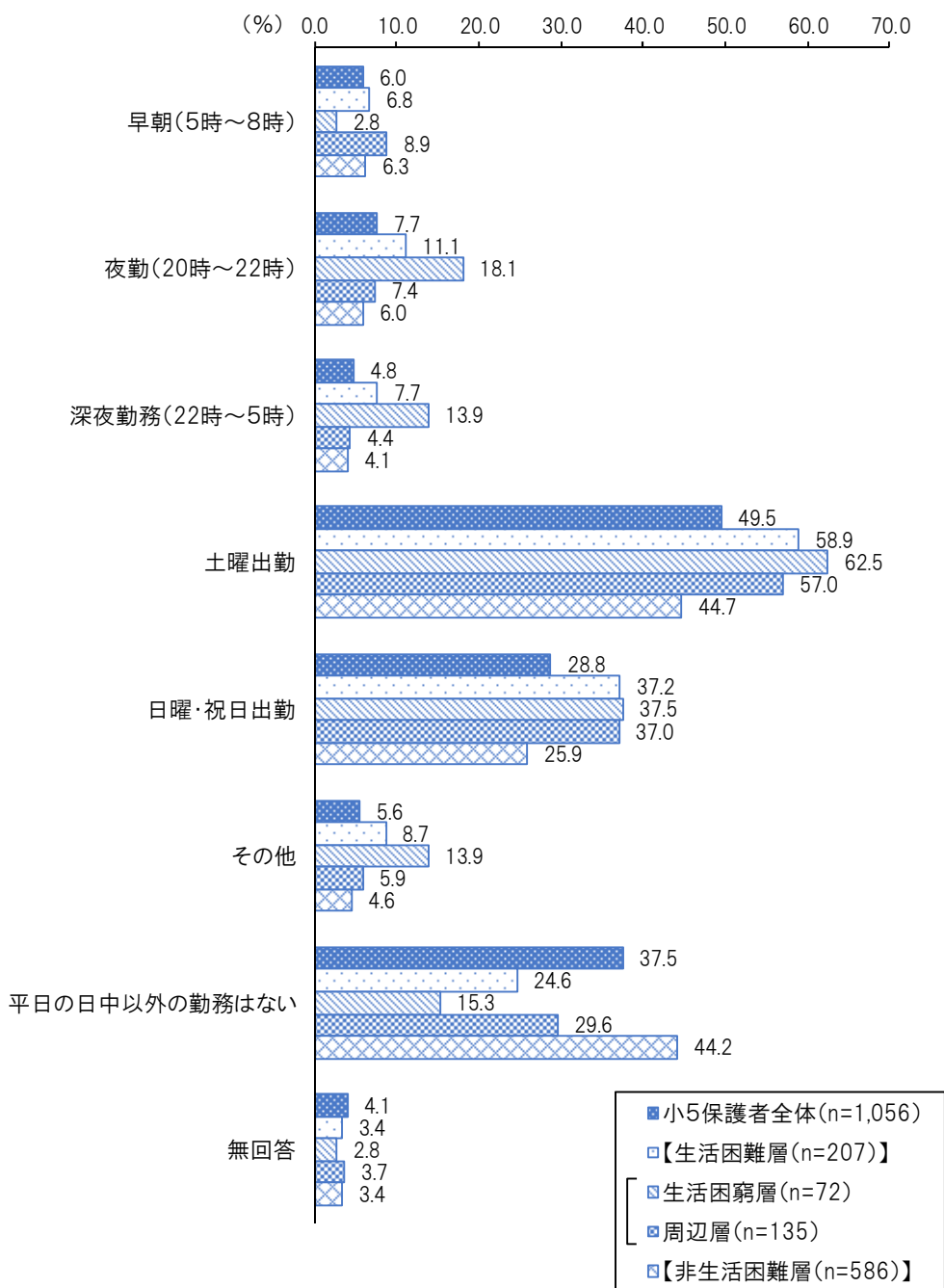


(4) 平日日中以外の勤務状況

【問 10 で「1」～「9」を選んだ方におうかがいします。】
 保／問 10-3 お母さまは、平日の日中以外の勤務がありますか。
 (あてはまる番号すべてに○)

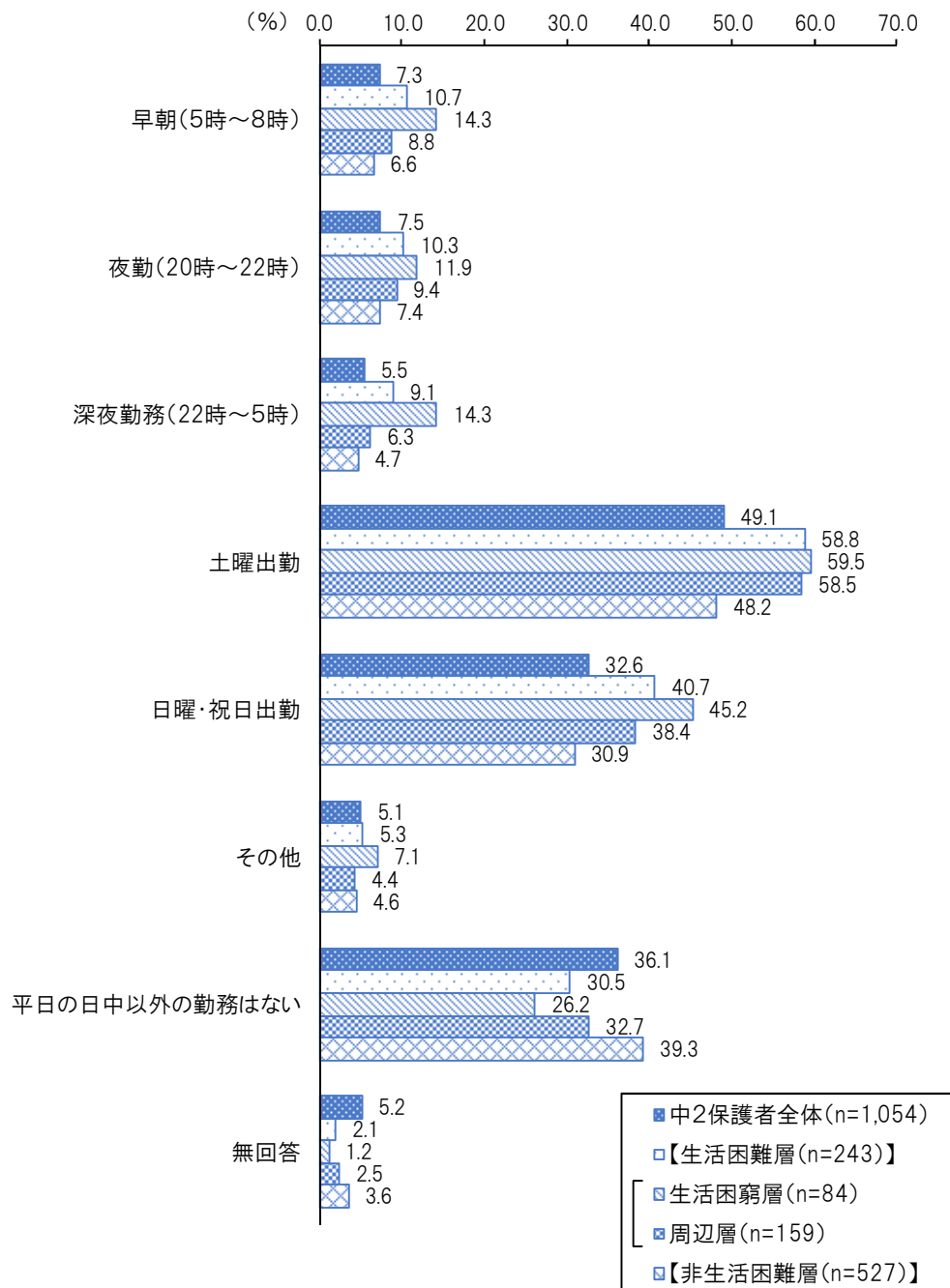
平日日中以外の勤務状況について、小学5年保護者全体では「土曜出勤」が49.5%と最も高く、次いで「平日の日中以外の勤務はない」(37.5%)、「日曜・祝日出勤」(28.8%)となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「平日の日中以外の勤務はない」の割合が低く、「夜勤(20時～22時)」「深夜勤務(22時～5時)」などの割合が他の層に比べて高くなっている。



中学2年保護者全体では、「土曜出勤」が49.1%と最も高く、次いで「平日の日中以外の勤務はない」(36.1%)、「日曜・祝日出勤」(32.6%)となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「平日の日中以外の勤務はない」の割合が低く、「早朝(5時～8時)」「深夜勤務(22時～5時)」「日曜・祝日出勤」などの割合が他の層に比べて高くなっている。

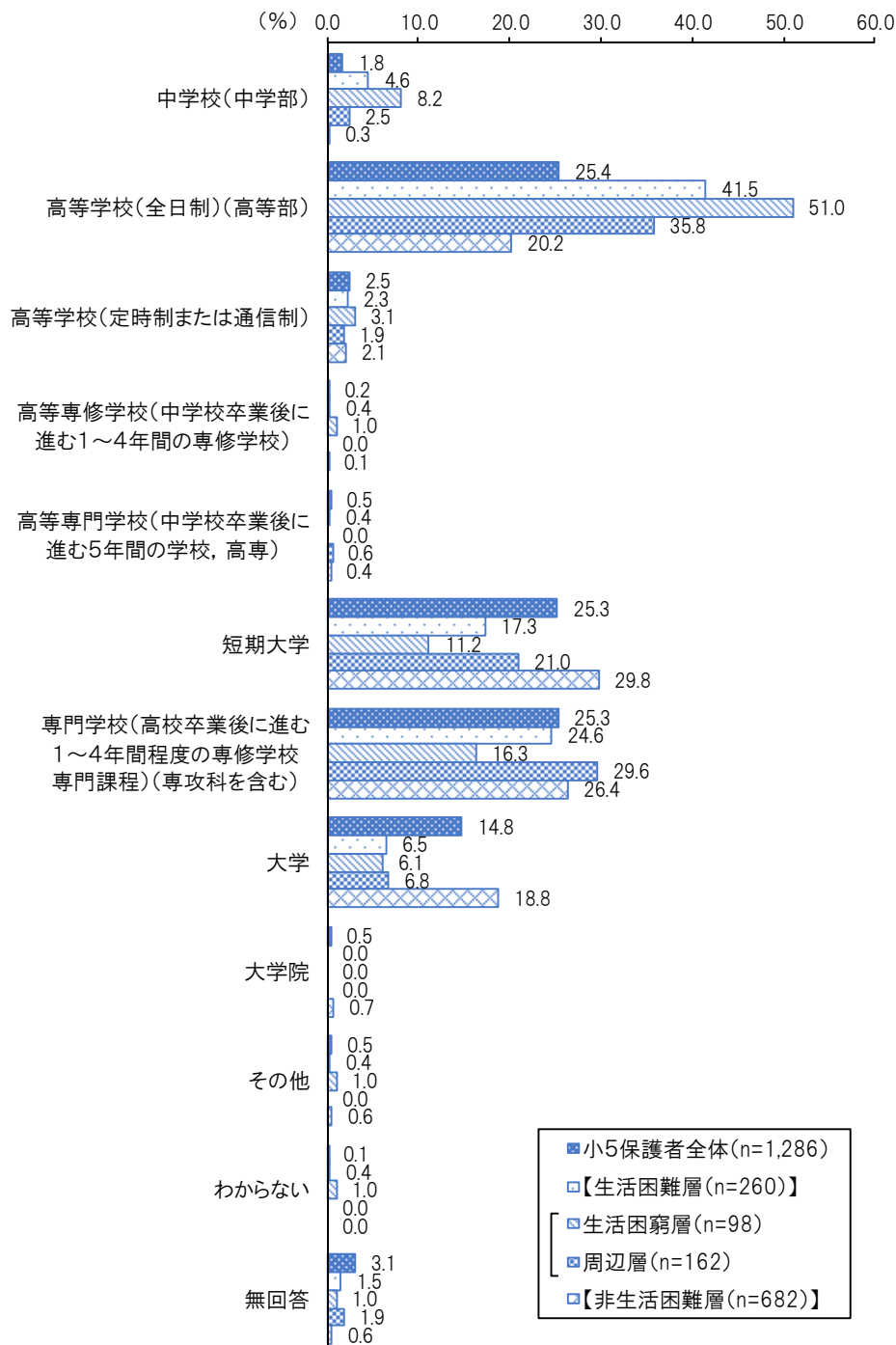


(5) 最終学歴

保／問 36 お子さんのお母さまが、最後に通われた学校は次のどれにあてはまりますか。
(あてはまる番号1つに○)

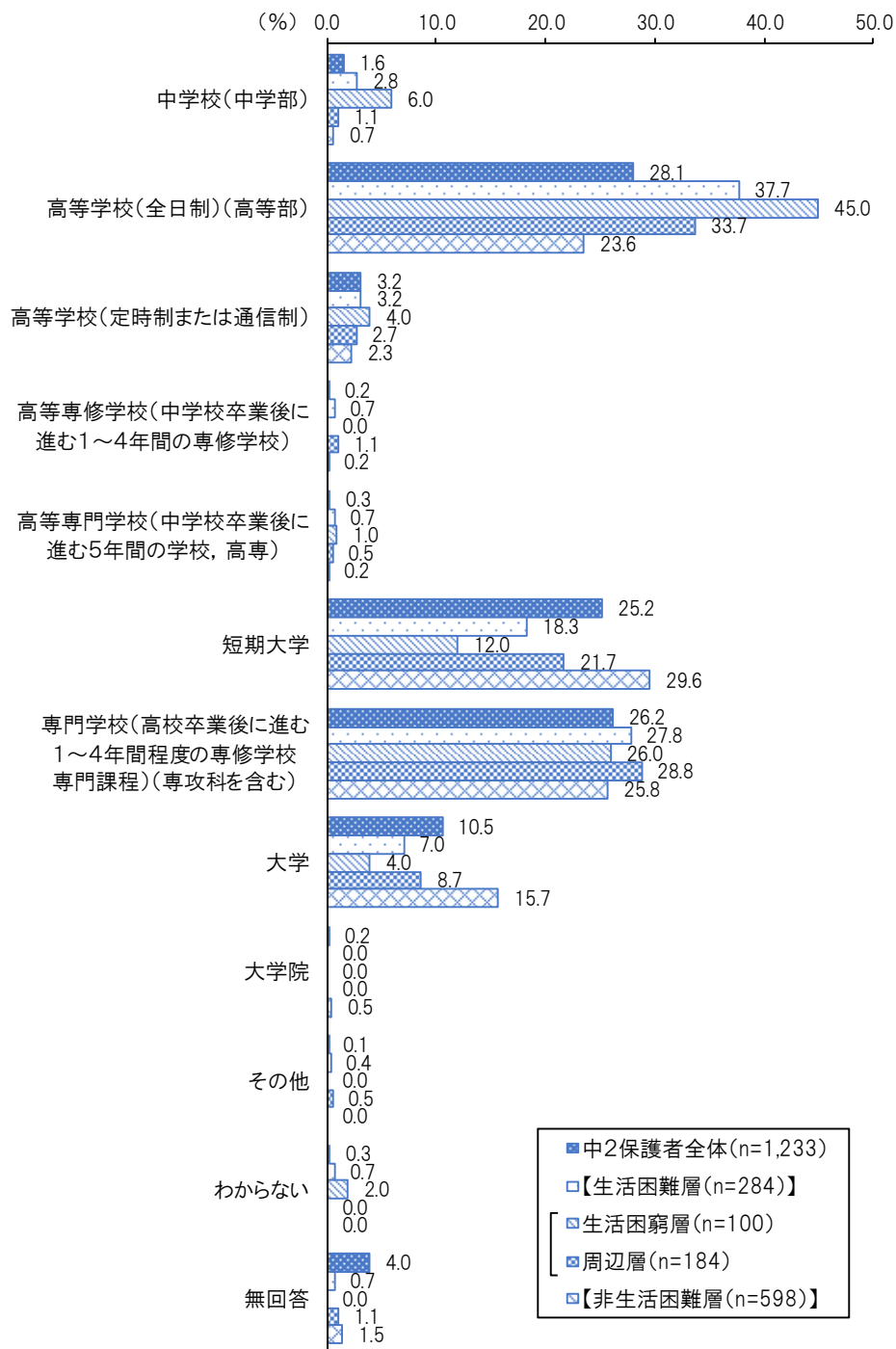
最終学歴について、小学5年保護者全体では「高等学校（全日制）（高等部）」が25.4%と最も高く、ほぼ並んで「短期大学」「専門学校（高校卒業後に進む1～4年間程度の専修学校専門課程）（専攻科を含む）」（各25.3%）が続いている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「短期大学」「専門学校（高校卒業後に進む1～4年間程度の専修学校専門課程）（専攻科を含む）」などの割合が低く、「中学校（中学部）」「高等学校（全日制）（高等部）」の割合が他の層に比べて高くなっている。



中学2年保護者全体では、「高等学校（全日制）（高等部）」が28.1%と最も高く、次いで「専門学校（高校卒業後に進む1～4年間程度の専修学校専門課程）（専攻科を含む）」（26.2%）、「短期大学」（25.2%）となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「短期大学」「大学」などの割合が低く、「中学校（中学部）」「高等学校（全日制）（高等部）」の割合が他の層に比べて高くなっている。



(6) 最終学校の卒業の有無

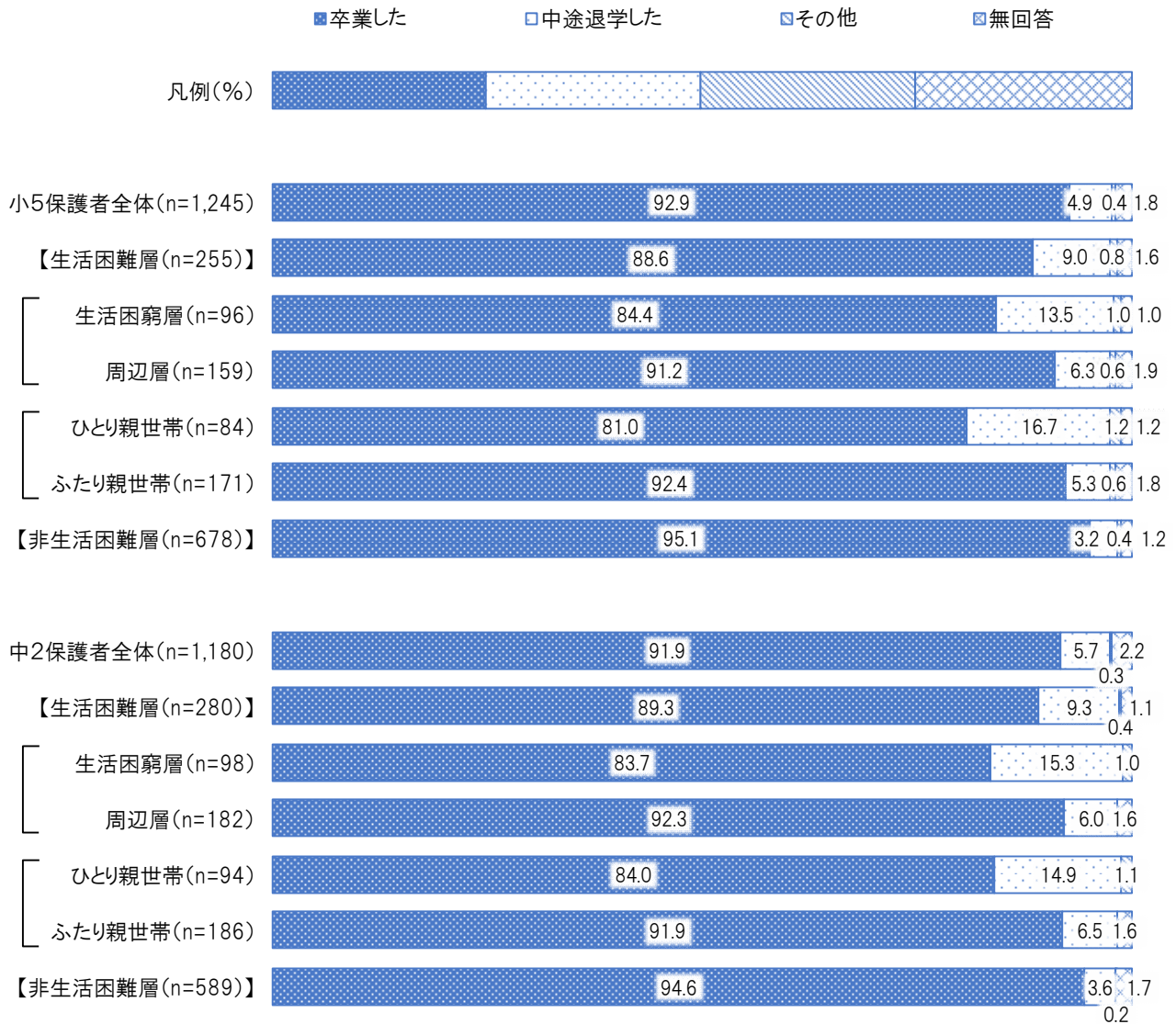
【問 36 で「1」～「10」を選んだ方におうかがいします。】

保／問 36-1 お子さんのお母さまは、問 36 で答えた学校を卒業されましたか。
(あてはまる番号1つに○)

最終学校の卒業の有無については、小学5年保護者全体では「卒業した」の割合が92.9%、中学2年保護者全体では91.9%となっている。一方、「中途退学した」の割合は、小学5年保護者全体では4.9%、中学2年保護者全体では5.7%となっている。

生活困難度別にみた「中途退学した」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で13.5%、中学2年保護者で15.3%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、ひとり親世帯で「中途退学した」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



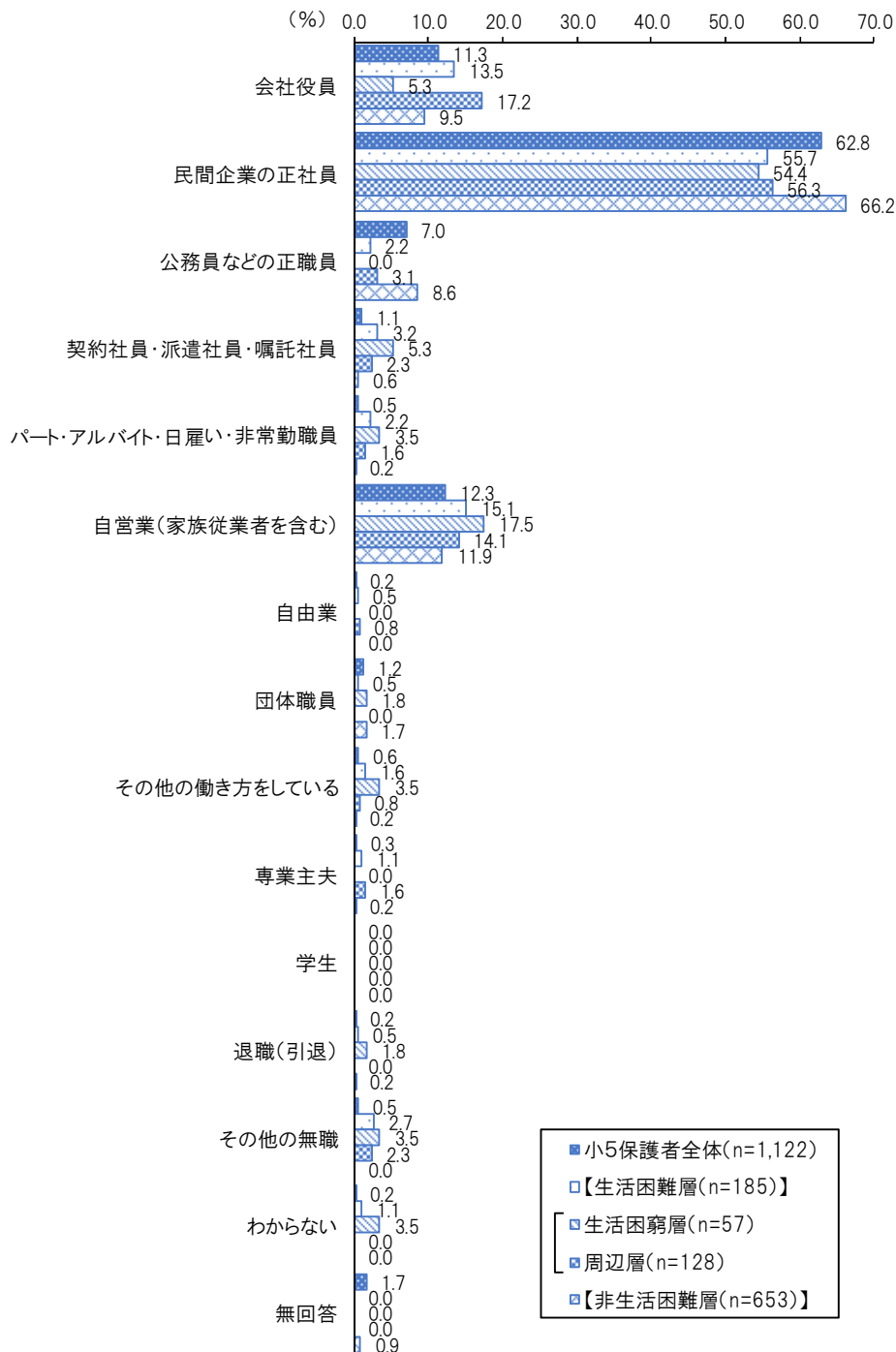
【4】父親のこと

(1) 職業

保／問 11 お子さんのお父さまの現在のお仕事は、次のどれに最も近いですか。
(あてはまる番号1つに○)

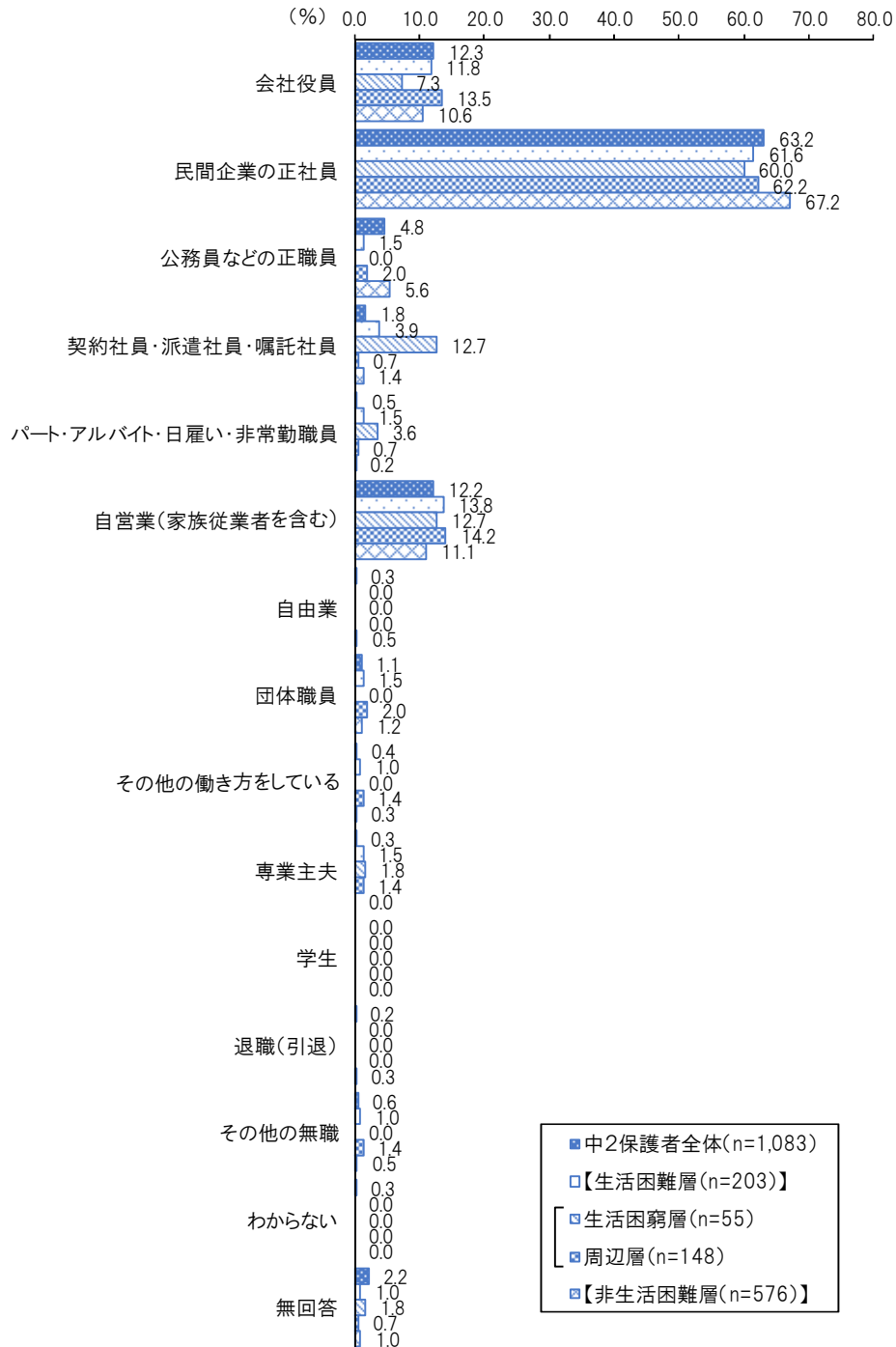
職業について、小学5年保護者全体では「民間企業の正社員」が62.8%と最も高く、次いで「自営業（家族従業者を含む）」(12.3%)、「会社役員」(11.3%)となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「会社役員」「民間企業の正社員」などの割合が低く、「契約社員・派遣社員・嘱託社員」「自営業（家族従業者を含む）」などの割合が他の層に比べて高くなっている。



中学2年保護者全体では、「民間企業の正社員」が63.2%と最も高く、次いで「会社役員」(12.3%)、「自営業(家族従業者を含む)」(12.2%)となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「会社役員」「民間企業の正社員」などの割合が低く、「契約社員・派遣社員・嘱託社員」の割合が他の層を大きく上回っている。



(2) 就労時間

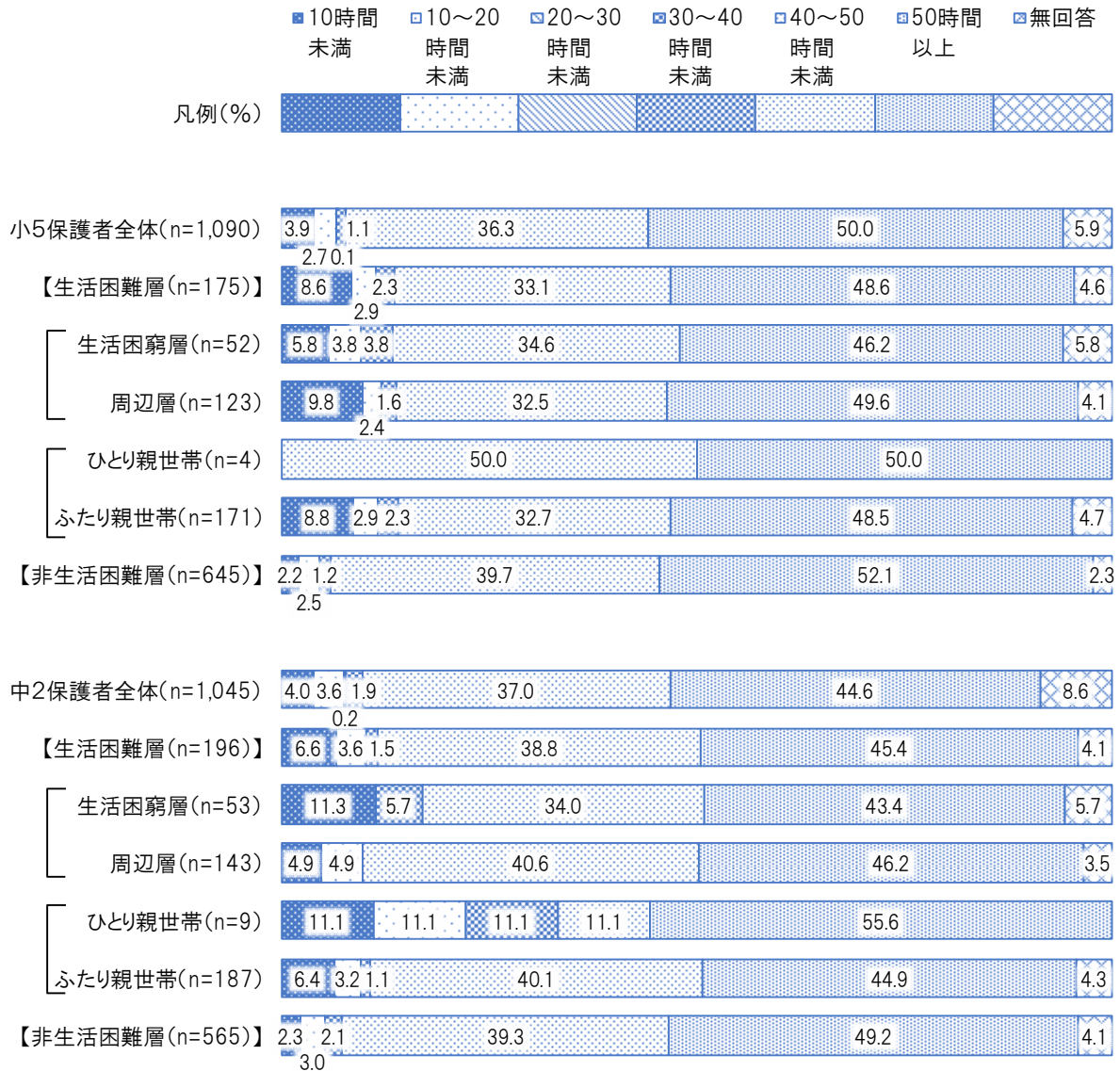
【問 11 で「1」～「9」を選んだ方におうかがいします。】

保／問 11-1 お子さんのお父さまは、1週間に平均何時間、お仕事をされていますか。
(枠内に数字で回答してください)

※複数のお仕事に従事しておられる場合は合算してください。

就労時間について、小学5年保護者全体では「50時間以上」が50.0%と最も高く、次いで「40～50時間未満」(36.3%)となっている。中学2年保護者全体では「50時間以上」が44.6%と最も高く、次いで「40～50時間未満」(37.0%)となっている。

生活困難度別にみた「50時間以上」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で46.2%、中学2年保護者で43.4%となっており、非生活困窮層に比べてそれぞれ低くなっている。



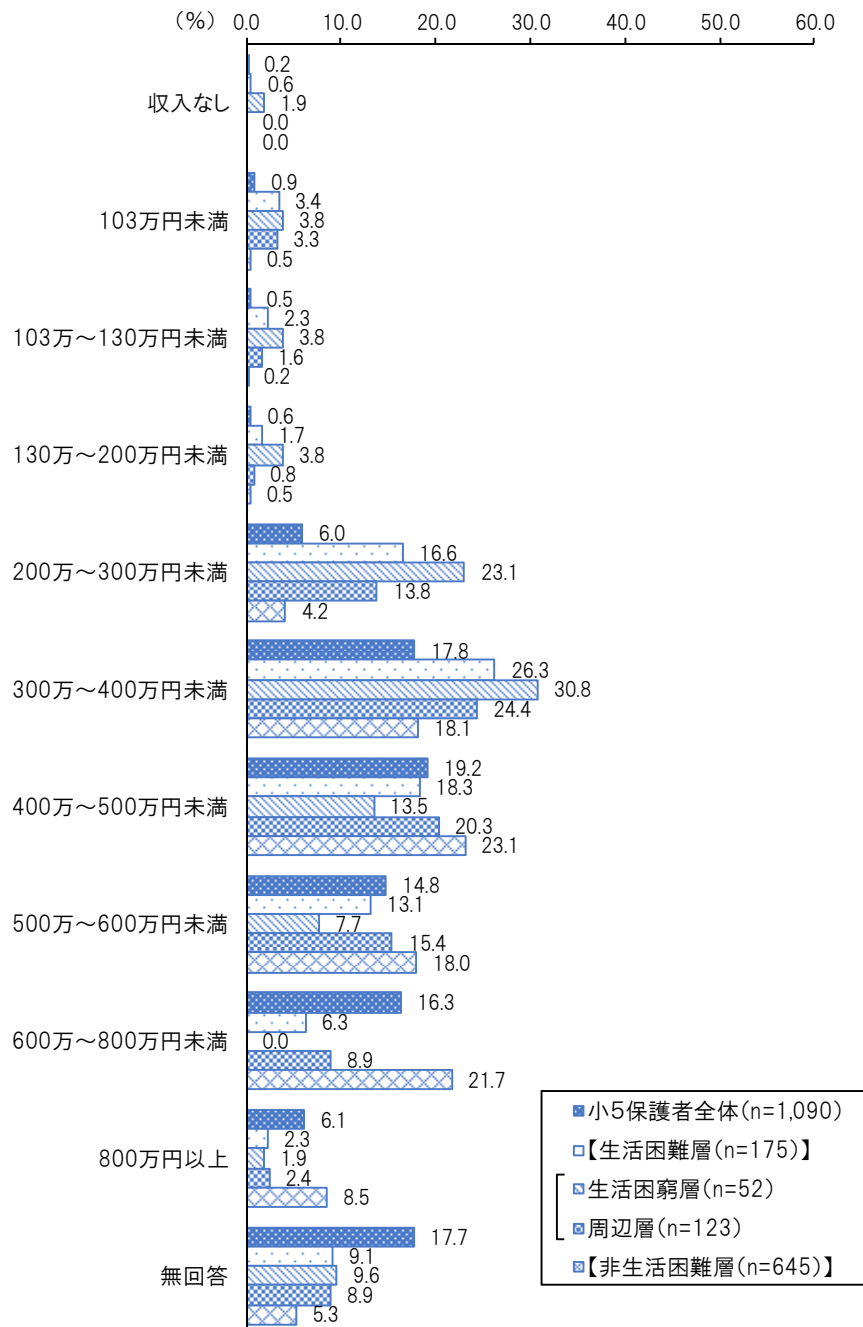
注：ひとり親世帯については、件数(n)が少ないため参考値として参照

(3) 税込収入

【問 11 で「1」～「9」を選んだ方におうかがいします。】
 保／問 11-2 昨年1年間（平成 28 年 1 月～12 月）を合計した，お子さんのお父さまのお仕事からの収入（税込）は，およそいくらですか。
 （枠内に数字で回答してください）
 ※収入がない場合には，0 をご記入ください。

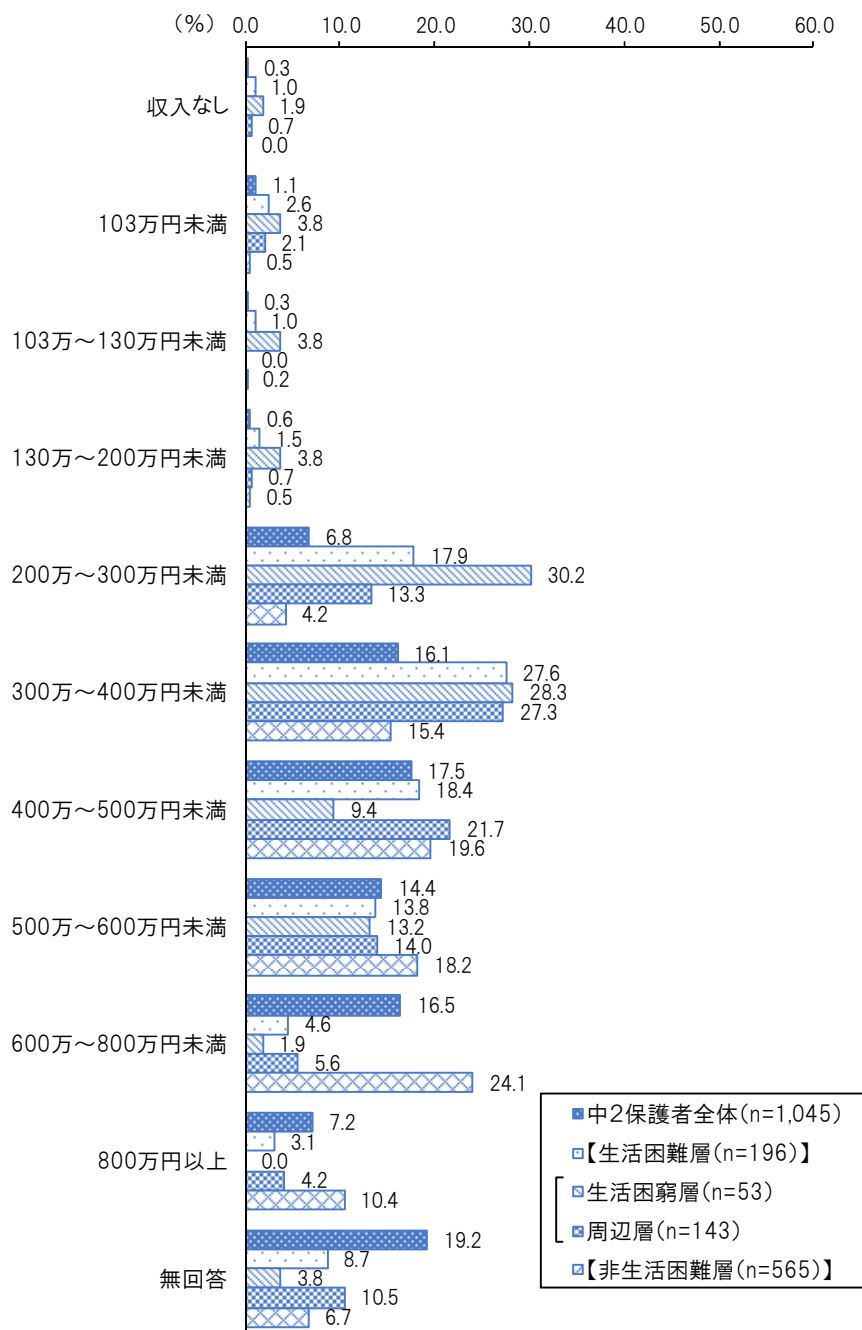
税込収入について，小学5年保護者全体では「400 万～500 万円未満」が 19.2%と最も高く，次いで「300 万～400 万円未満」（17.8%），「600 万～800 万円未満」（16.3%）となっている。

生活困難度別にみると，生活困窮層は「200 万～300 万円未満」「300 万～400 万円未満」などの割合が他の層に比べて高くなっている。



中学2年保護者全体では、「400万～500万円未満」が17.5%と最も高く、次いで「600万～800万円未満」(16.5%)、「300万～400万円未満」(16.1%)となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「200万～300万円未満」などの割合が他の層に比べて高くなっている。

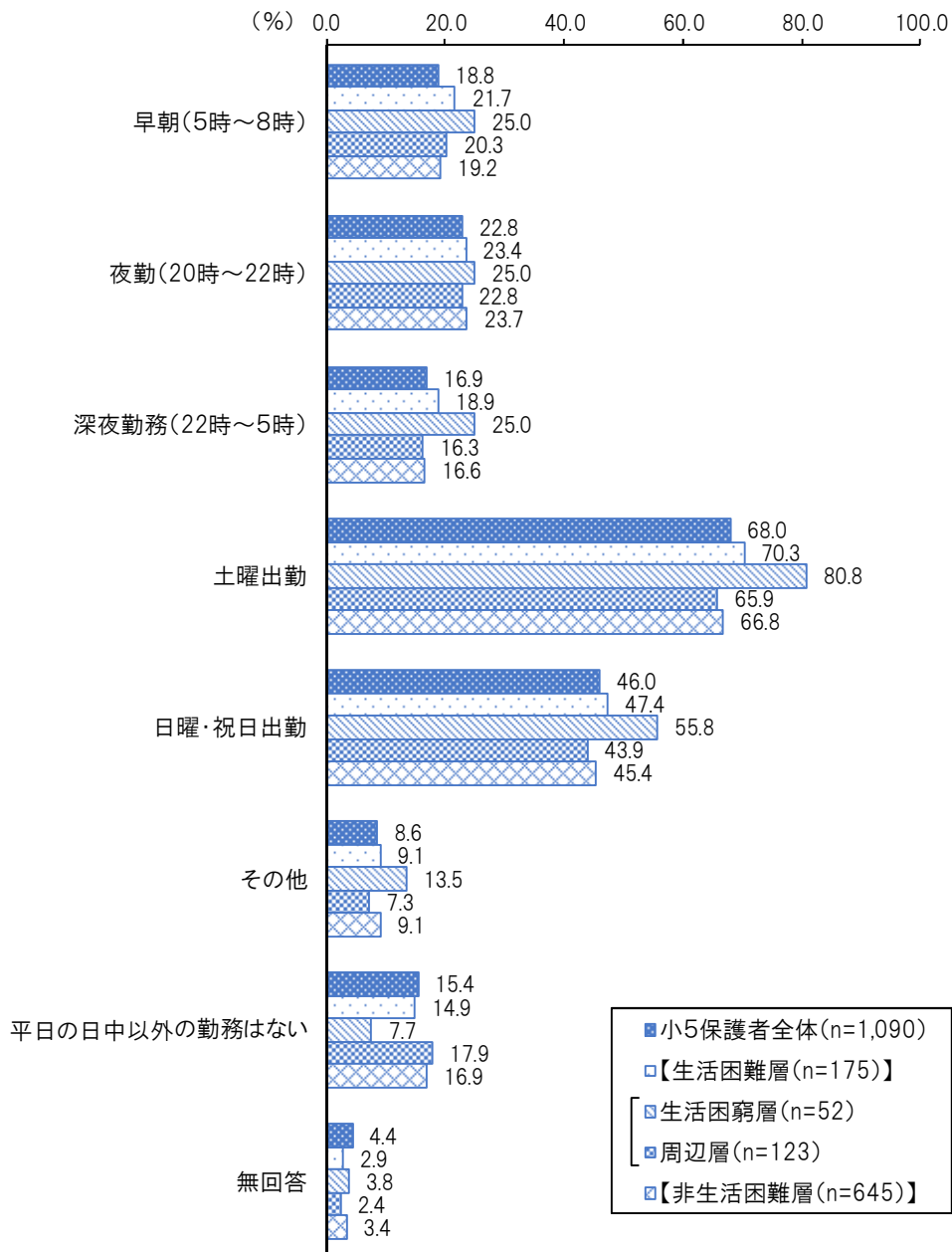


(4) 平日日中以外の勤務状況

【問 11 で「1」～「9」を選んだ方におうかがいします。】
 保／問 11-3 お父さまは、平日の日中以外の勤務がありますか。
 (あてはまる番号すべてに○)

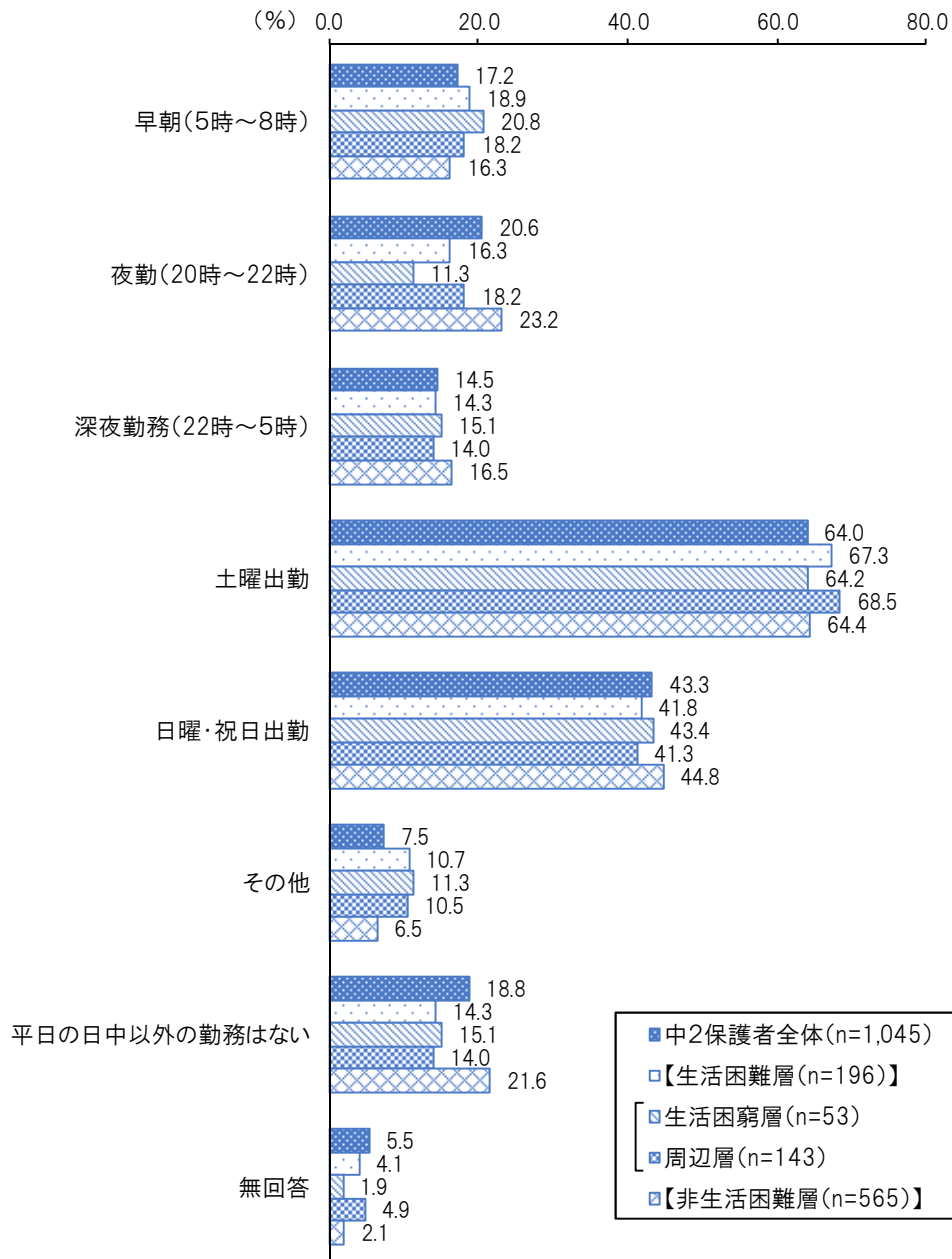
平日日中以外の勤務状況について、小学5年保護者全体では「土曜出勤」が68.0%と最も高く、次いで「日曜・祝日出勤」(46.0%)、「夜勤(20時～22時)」(22.8%)となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「平日の日中以外の勤務はない」の割合が低く、「深夜勤務(22時～5時)」「土曜出勤」「日曜・祝日出勤」の割合が他の層に比べて高くなっている。



中学2年保護者全体では、「土曜出勤」が64.0%と最も高く、次いで「日曜・祝日出勤」(43.3%)、「夜勤(20時～22時)」(20.6%)となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「夜勤(20時～22時)」の割合が他の層に比べて低くなっている。

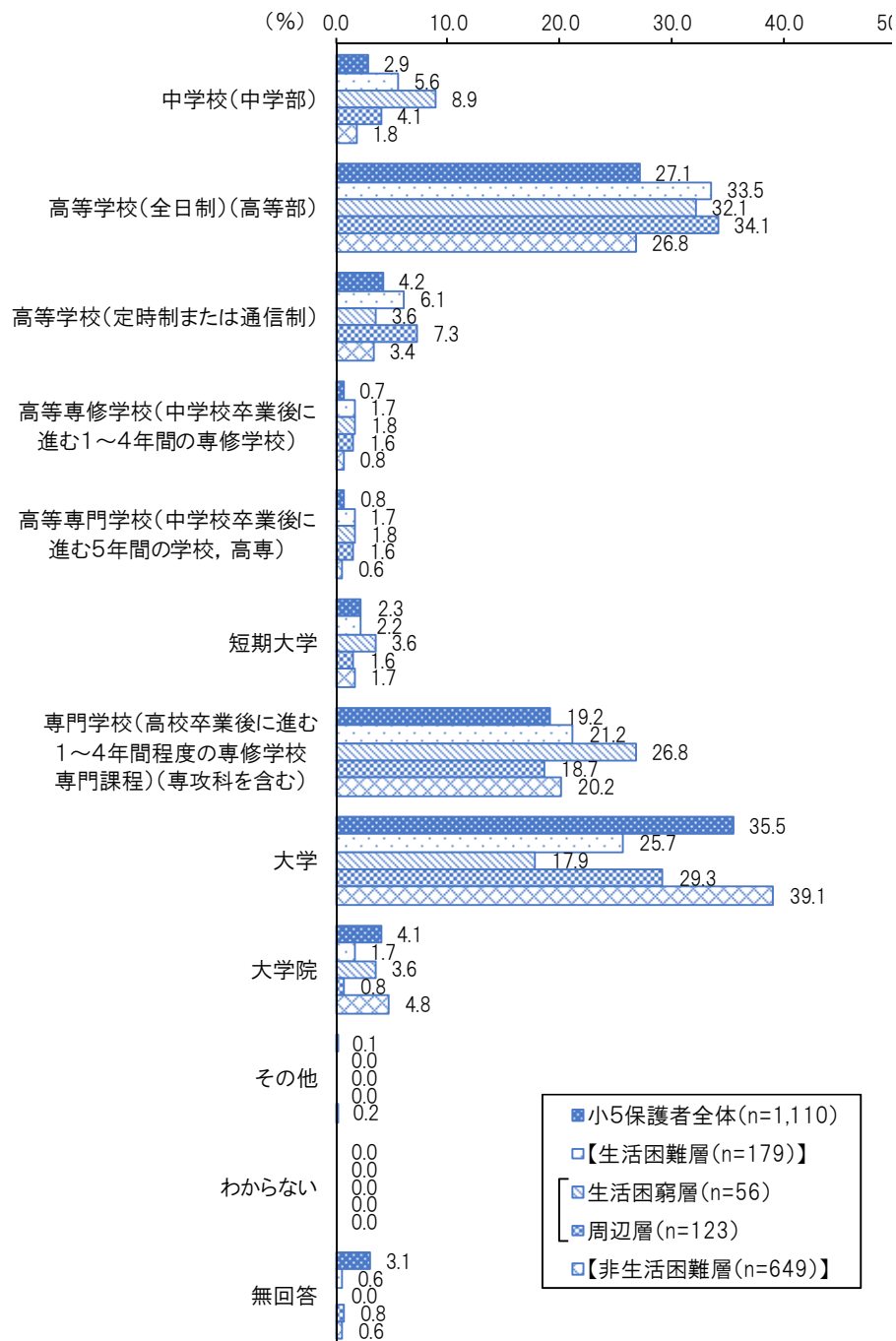


(5) 最終学歴

保／問 37 お子さんのお父さまが、最後に通われた学校は次のどれにあてはまりますか。
(あてはまる番号1つに○)

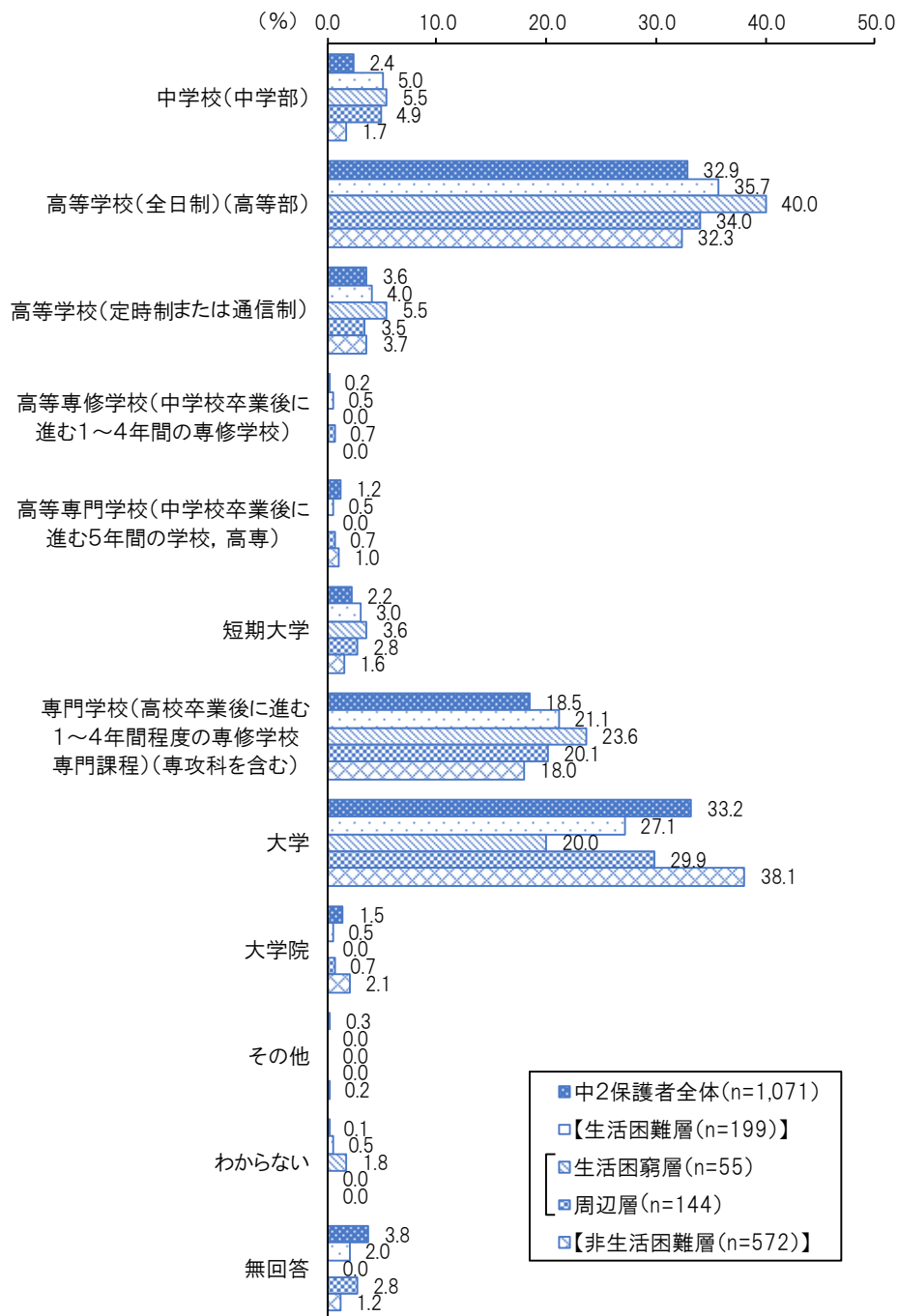
最終学歴について、小学5年保護者全体では「大学」が35.5%と最も高く、次いで「高等学校（全日制）（高等部）」（27.1%）、「専門学校（高校卒業後に進む1～4年間程度の専修学校専門課程）（専攻科を含む）」（19.2%）となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「大学」の割合が低く、「中学校（中学部）」「専門学校（高校卒業後に進む1～4年間程度の専修学校専門課程）（専攻科を含む）」などの割合が他の層に比べて高くなっている。



中学2年保護者全体では、「大学」が33.2%と最も高く、次いで「高等学校（全日制）（高等部）」（32.9%）、「専門学校（高校卒業後に進む1～4年間程度の専修学校専門課程）（専攻科を含む）」（18.5%）となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「大学」の割合が低く、「高等学校（全日制）（高等部）」「専門学校（高校卒業後に進む1～4年間程度の専修学校専門課程）（専攻科を含む）」などの割合が他の層に比べて高くなっている。

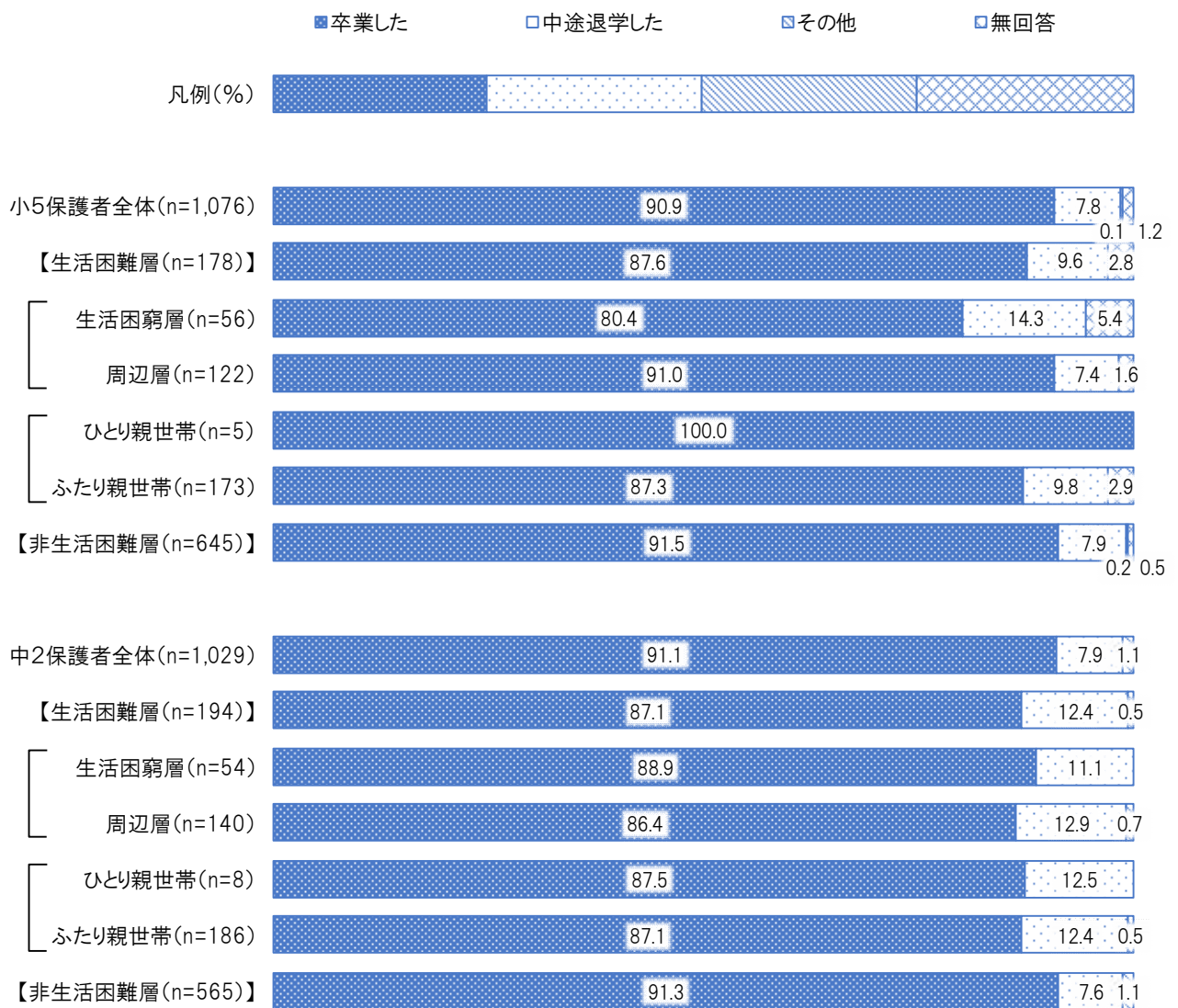


(6) 最終学校の卒業の有無

【問 37 で「1」～「10」を選んだ方におうかがいします。】
 保／問 37-1 お子さんのお父さまは、問 37 で答えた学校を卒業されましたか。
 (あてはまる番号1つに○)

最終学校の卒業の有無については、小学5年保護者全体では「卒業した」の割合が90.9%、中学2年保護者全体では91.1%となっている。一方、「中途退学した」の割合は、小学5年保護者全体では7.8%、中学2年保護者全体では7.9%となっている。

生活困難度別にみた「中途退学した」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で14.3%、中学2年保護者で11.1%となっており、小学5年保護者の生活困窮層で高くなっている。



注：ひとり親世帯については、件数(n)が少ないため参考値として参照

福山市子どもの生活実態調査 報告書

発 行 者／2018年（平成30年）3月
発 行 者／広島県 福山市 福山市ネウボラ推進課
〒720-8501 広島県福山市東桜町3番5号
TEL（084）928-1053
FAX（084）922-0846
